1117 花瀬村庄屋文書

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1		筑前国穂波郡花瀬村田畠御検地	慶長7	9	吉			正保2年9月まで追記	書冊	1	
2		〔花瀬村田畠名寄帳〕	（元禄頃ヵ）					給人別に記す。紙背に延宝8年宗旨改帳および元禄期人払帳を利用	書冊	1	
3		〔花瀬村田畠名寄帳〕						享保頃ヵ	書冊	1	後欠
4		〔穂波郡花瀬村田畠名寄帳〕	明和9	6		花瀬村庄屋 助太郎・組頭 才兵衛	味岡団右衛門	庄屋・組頭・郡奉行押印あり	書冊	1	
5		〔花瀬村田畠名寄帳〕	天明3卯	6		宮川孫左衛門			書冊	1	
6		〔花瀬村田畠名寄帳〕	寛政3亥	2		櫛田甚内			書冊	1	
7		〔花瀬村田畠名寄帳〕	寛政11	4		鈴木久左衛門			書冊	1	
8		穂波郡花瀬村田畠名寄帳	文化5	7		櫛田甚内			書冊	1	
9		〔穂波郡花瀬村田畠名寄帳〕	文政4	6		岡部覚十郎・浜田武八郎			書冊	1	
10		穂波郡花瀬村田畠名寄帳	天保8酉	9		山田新三郎			書冊	1	
11		穂波郡花瀬村田畠名寄帳	弘化4未	4		永田弥次郎・時枝中			書冊	1	
12		黒田定則 全	元和8戌	9				庭訓往来、定則、材用定則、覚等の写	書冊	1	
13		〔御法令〕	明和9辰	春				明和9年辰春 村之写取候様願御書え	書冊	1	
14		年々人払集 全	（自安永2）					明治2年まで花瀬村人数増減書上	書冊	1	
15		穂波郡花瀬村御山坪数書上帳	宝暦13未	7		穂波郡花瀬村庄屋　助太郎ほか2名	尾崎惣左衛門		書冊	1	
16		御国中郡夫村夫取分定書	明和7寅	12		津田源次郎ほか4名	御国中 大庄屋中・郡才判・庄屋中	郡夫可相立定ほか	書冊	1	
17		詮儀書出之事	天明5			花瀬村庄屋　伝治・同村組頭　才兵衛	伊岐須村大庄屋　儀兵衛	宝満宮取調書	書冊	1	
18		穂波郡花瀬村臨時切立米銭御聞届ヶ帳	天明5			花瀬村組頭 才兵衛・花瀬村庄屋 伝次	宮川孫左衛門		書綴	1	
19		詮議書出之事	（天明5）			花瀬村庄屋　伝治・同村組頭　才兵衛	儀兵衛	宝満社取調べ書	書冊	1	
20		倹約作法書	天明8申	正月		孫左衛門	嘉麻・穂波両郡大庄屋中		書冊	1	
21		穂波郡花瀬村御免用諸普請軸帳	文化6	8		花瀬村組頭 茂七、同　伝内、同村庄屋　甚九郎	櫛田甚内様御役所	奥書あり（大分村大庄屋次右衛門より櫛田甚内宛）	書冊	1	
22		穂波郡花瀬村御山坪数書上帳	文化11戌	3		花瀬村庄屋彦三郎、同村組頭　七右衛門、同　太市	〔箱田宅太夫、平野茂兵衛〕		書冊	1	
23		〔花瀬村明細書上案〕	文化12戌	3		花瀬村庄屋　彦三郎		郡奉行上原源一郎・山奉行箱田宅大夫・御目付役平野茂兵衛へ一冊宛進	書綴	1	
24		〔花瀬村明細書上控〕	文化12	12		花瀬村	上原源一郎		書綴	1	
25		心得之ヶ条	文政元年寅	11		岡部覚十郎（印）ほか6名	穂波郡片島村　大庄屋九蔵、同郡花瀬村　庄屋、組頭、百姓中	郡奉行印あり	書冊	1	
26		〔花瀬村神社書上〕	（文政3）	2		花瀬村庄屋　甚九郎、同村組頭　茂七	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所		書冊	1	
27		穂波郡花瀬村人別軒帳 伊岐須村触	文政4	5		花瀬村組頭茂七・田村庄屋甚九郎	上下嘉穂御役所		書冊	1	
28		穂波郡花瀬村人別軒帳 伊岐須村触	文政4	6		花瀬村組頭　茂七（印）、同　助蔵（印）、同村庄屋甚九郎（印）	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所		書冊	1	
29		規則帳書上ひかへ	文政7	3				花瀬村	書綴	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
30		規側〔則〕帳	(文政7ヵ)					村明細帳雛形	書綴	1	
31		穂波郡花瀬村御免用諸普請軸帳	天保2卯	8		花瀬村組頭　用作(印)、同　善次郎(印)、同村庄屋　甚九郎(印)	上座下座嘉麻穂波　御免方御役所	奥書あり(中村大庄屋清水宅右衛門より岸原七太夫・国吉仁兵衛宛)	書冊	1	
32		穂波郡花瀬村新百姓御仕居金借状帳	嘉永2酉	3		花セ村組頭　儀助ほか2名	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所	奥書あり(片嶋村大庄屋吉右衛門より永田弥次郎ほか1名宛)	書冊	1	
33		穂波郡花瀬村新百姓茂右衛門彦次郎忠作御仕居料御銀拝借年賦借状帳	嘉永2酉	3		花瀬村新百姓　忠作ほか3名	花瀬村庄屋　甚九郎ほか2名	奥書あり(同村組頭儀作ほか2名より片嶋村大庄屋吉右衛門宛)	書冊	1	
34	1～3	〔穂波郡花瀬村宗旨御改帳・人払	嘉永6						書冊	1	3冊合綴
34	1	穂波郡花瀬村宗旨御改帳　二冊之内浄土宗	嘉永6丑	3		花瀬村庄屋大庄屋格 甚九郎、同村組頭善次郎ほか1名	吉田専右衛門、野坂利右衛門		書冊	1	
34	2	穂波郡花瀬村宗旨御改帳　二冊之内真宗	嘉永6	3		穂波郡伊岐須村　安楽寺、同郡飯塚宿　明正寺	吉田専右衛門、野坂利右衛門		書冊	1	
34	3	穂波郡花瀬村人払帳	嘉永6酉	3		花瀬村庄屋 甚九郎	大庄屋 孫三郎		書冊	1	
35	1～7	〔穂波郡花瀬村・大時村宗旨御改	文久3亥	3					書冊	1	7冊合綴
35	1	穂波郡花瀬村宗旨御改帳 二冊之内浄土宗	文久3亥	3		穂波郡庄司村本誓寺	寺井茂八郎・牧市内		書冊	1	
35	2	穂波郡花瀬村宗旨御改帳　二冊之内真宗	文久3亥	3		穂波郡伊岐須村安楽寺同郡飯塚宿 明正寺	寺井茂八郎・牧市内		書冊	1	
35	3	穂波郡大日寺村宗旨御改帳　四冊之内浄土宗	文久3亥	3		穂波郡庄司村本誓寺	寺井茂八郎・牧市内		書冊	1	4冊之内
35	4	穂波郡大日寺村宗旨御改帳　四冊之真宗	文久3亥	3		穂波郡伊岐須村安楽寺同郡蓮台寺村光妙寺	穂波郡高田村福専寺 寺井茂八郎・牧市内		書冊	1	
35	5	穂波郡大日寺村宗旨御改帳　四冊之法華宗	文久3亥	3		穂波群飯塚宿　太養院	寺井茂八郎、牧市内		書冊	1	
35	6	穂波郡大日寺村宗旨御改帳　四冊之内禅宗	文久3	3		穂波群飯塚宿太郎丸村円満寺	寺井茂八郎、牧市内		書冊	1	
35	7	穂波郡大日寺村□□宗旨御改帳真宗	文久3	3			寺井茂八郎、牧市内		書冊	1	閲覧不可
36	1～3	〔穂波郡花瀬村人払帳・大日寺村宗旨改帳〕	文久4						書冊	1	3冊合綴
36	1	穂波郡花瀬村人払帳	文久4子			花瀬村庄屋大庄屋格 大和甚九郎・同村組頭			書冊	1	
36	2	穂波郡大日寺村□□宗旨御改帳真宗	文久4子			大日寺村□□庄屋 太右衛門・同村組頭 新三ほか	牧市内 寺井茂八郎		書冊	1	閲覧不可
36	3	穂波郡大日寺村宗旨御改帳 四冊之内 真宗	文久4子			穂波郡伊岐須村安楽寺、蓮台寺村光妙寺、高田村福専寺	牧市内 寺井茂八郎		書冊	1	
37		穂波郡花瀬村宗旨御改帳　二冊之	慶応3寅	3		庄屋、組頭	御奉行御両人	真宗	書綴	1	
38		〔地券証下付願〕	(明治5)					嘉麻郡川嶋村福間嘉七郎分ほか	書綴	1	
39		第七大区十一小区建花寺村円野角蔵養育御枚米奉願候	明治6	5		円の角蔵	福岡県権令沢簡徳ほか2名		書綴	1	案文
40		十七歳ヨリ四十歳迄ノ者控	明治6	6				花瀬村	書冊	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
41		十七歳二十歳四十歳迄書上控	明治7	7					書冊	1	
42		借用証書之事	明治8亥	5	5	花瀬村　借主　大和与一郎(印)、仝　大和武三郎(印)、受人　上尾清四郎(印)ほか1名	片島村　林田平三郎	地券証にて金100円借用	書綴	1	
43		地券証写	明治8亥	5	5	花瀬村　大和与市郎(印)、大和武三郎	片嶋村　林田平三郎	反別3町余分につき	書綴	1	
44		地券証添書	明治8亥	6		花瀬村保長　大和武三郎(印)	椿村　青柳市平次	代価89円・枚数15枚分につき	書綴	1	
45		借用証書	明治8亥	6		花瀬村借主　室甚次郎(印)、受人　青柳直平	椿村　青柳市平次	地券証引当にて金55円借用	罫紙	1	
46		〔福岡県布達綴〕	(明治8)					官有地民有地取調べにつき、花瀬村	書綴	1	一部印刷
47		金子借用証	明治9	1		借主　大和茂四郎	久野一禧ほか2名	金104円借用	書綴	1	
48		金子借用証	明治9	1		借主　大和茂四郎(印)	久野一禧ほか2名	金104円借用	書綴	1	
49		田畑地券証書入借用証	明治9	3	1	第七大区十四小区花瀬村各面中(花瀬村大和彦三郎、大和武七ほか14			書冊	1	
50		証	(明治)9	4	18	花瀬村　秋光次吉(印)、同村惣代　大和武三郎(印)	片嶋村　林田平三郎	借用金抵当の内、秋光吉次郎分名義換えにつき	書綴	1	
51		記	明治9	4	28	花瀬村　秋光次吉、同村惣代　大和武三郎	片嶋村　林田平三郎	借用金抵当の内、秋光吉次郎分名義換えにつき	書綴	1	50の案文
52		借金証	明治9	12	2	第六大区二小区花瀬村借主大和与一郎(印)	久野一禧ほか2名	地券証9枚分抵当にて金36円借用	書綴	1	
53		〔借用証綴〕	(明治9)			第六大区二小区花瀬五十六番ノ四　借主大和茂四郎(印)ほか	久野一禧ほか2名など	金114円余借用ほか	書綴	1	
54		添書	明治10	2	1	第六大区二小区花瀬村借主大和武三郎ほか1名	中村早苗、福原徳次郎	金192円借用につき、返済金請取証(中村早苗より大和武三郎ほか宛)付	書綴	1	
55		官林木願当木帳	明治14	1		第二ノ組			書冊	1	55、56は紙縒一括
56		官林木願当木帳下調子						大日寺村・建花寺村ほか8ヶ村分	長綴	1	55、56は紙縒一括
57		〔布告布達綴〕	(明治14)						書綴	1	
58		〔布告布達綴〕	(明治14)						書綴	1	
59		〔友愛会節倹方法につき村中談合会決議〕	(明治14)					節倹期限など13ヶ条書上	書綴	1	友愛会規約1通・村中決議案文1通挟
60		〔布告布達綴〕	(明治14)						書綴	1	「伊川」と墨書あり
61		〔布告〕	明治15	2	14	太政大臣三条実美、内務卿山田顕義		府県会規則改正につき。第10号	書綴	1	「花瀬行」と墨書あり
62		〔布告布達綴〕	(明治15)						書綴	1	「花瀬行」と朱書あり
63		〔布告綴〕	(明治15)					水産博覧会規則	書綴	1	「花」と朱書あり
64		〔布告布達綴〕	(明治15)						書綴	1	「花」と墨書あり
65		〔布告布達綴〕	(明治15)					添書(村役場より建花寺ほか村々惣代中宛)付	書綴	1	「村々ニ配布分」と朱書あり
66		〔布告布達綴〕	(明治15)						書綴	1	「花瀬村行」と墨書あり

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
67		〔告示〕	明治15	7	5	福岡県令　岸良俊介		県会日限延会。第33号	切紙	1	
68		〔布達〕	明治15	10	26	嘉麻穂波郡郡長　山中立木		飯塚中学校開校。天第18号	紙	1	
69		〔布告布達綴〕	(昭和15)					治安裁判所管轄区郡分管町村名ほか	書綴	1	
70		〔布達〕	明治15	8	11	嘉穂郡穂波郡　郡長山中立木		衛生通信担当者事務取扱心得。天5号	書綴	1	「花瀬村」と墨書あり
71		〔布告布達綴〕	(明治15)						書綴	1	「花瀬村行」と朱書あり
72		〔布告布達綴〕	(明治15)						書綴	1	「花瀬村」と墨書あり
73		〔布告布達綴〕	(明治15)						書綴	1	「大日寺花瀬村両村分」と朱書あり
74		大日寺村分地所取調帳	明治15	旧12	1	大和武三郎			書冊	1	
75		〔布達〕	明治16	1	15	嘉麻郡穂波郡　郡役所		嘉麻穂波教育会会員当選者につき	書綴	1	「大日寺村」と朱書あり
76		〔布告布達綴〕	(明治16)						書綴	1	「大日寺村花瀬村分」と朱書あり
77		新溜池願潰地絵図控	明治16	9	20	八木山村、高田村、大分			書冊	1	
78		土木件方面聯合会議案	明治16			第二ノ組			書冊	1	切紙1点（本年度人選方法につき）挟込
79		〔堰変更願・堰変更ニ付承諾証綴〕	(明治18)	4			〔福岡県令岸良俊介〕	絵図付	書綴	1	
80		土木修繕仕役切符渡台帳　甲	明治18			土木委員　大和甚九郎			書冊	1	
81		土木修繕仕役切符渡台帳　乙	明治18			土木委員補助　大和武三			書冊	1	
82		土木修繕仕役切符渡台帳　甲乙	明治19			土木委員　大和甚九郎			書冊	1	
83		自十七年至廿一年既往五ヶ年間土木実費支出同実費負担額比較取調表	(明治17～21)					嘉麻郡・穂波郡各村分	書冊	1	
84		自十七年至廿一年已往五ヶ年間郡長管理ノ土木実費郡長管理外ノ土木実費平均賦課額取調表	(明治17～21)					嘉麻郡・穂波郡各村分	書冊	1	
85		旧慣土木実費河川仕訳表	(明治17～21)					嘉麻郡内各村分	書冊	1	
86		旧慣外聯合村土木実費取調表	(明治17～21)					穂波郡内各村分	書冊	1	
87		明治二十二年度嘉麻穂波臨時土木連合町村会決議録	明治22						書冊	1	「土木委員大和行」と朱書あり
88		明治廿二年度嘉麻穂波郡臨時連合町村会決議録	明治22						書冊	1	
89		明治二十三年度嘉麻穂波臨時連合町村会決議録	明治23						書冊	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
90		宝満神社再築ニ付日誌会計出夫日記簿	明治42	8	31起	棟梁大工嘉穂郡稲築村大字山野白門　白土丈平			書冊	1	「明治四拾四年五月弐拾五日上棟式挙行ス」と表紙墨書あり。No.90～103袋・紐一括。袋上書「明治四十四年　花瀬区　村社宝満社神殿改築ニ付諸願書及一切ノ諸目録入　委員惣代　大[ ]」
91		宝満神社神殿渡殿再築費受領証	明治42	9	1			領収証類	書冊	1	
92		〔宝満神社改築工事関係一件綴〕	明治42	9	23	社掌　青柳貞延、氏子惣代　大和甚一郎、室甚次郎、大和定五郎など	嘉穂郡役所所長　谷保馬など	神殿改築願・縮小ニ付理由・費用収支予算書他ニ神殿之側面、正面、平面図有り	書綴	1	
93		〔宝満神社材木伐採関係綴〕	明治42	11	1	社掌　青柳貞延、氏子惣代　大和甚一郎、室甚次郎、大和定五郎など	福岡県知事寺原長輝など	追申書・神社境内木材伐採願・村社宝満宮社殿改築費収支予算書	書綴	1	
94		〔神殿改築関係願書等綴〕	(明治42)					上申書・改築費収支予算書・縮小ニ付理由書など	書綴	1	
95		宝満社神殿改築　大工出夫日記帖	明治44	2	20迄			白土丈平人夫ノ部ほか	長帳	1	
96		明治四十四年五月弐拾四日以後一時物品取換エ簿及不用品売却代金控	明治44	5	25			大和彦市・室甚太郎・室甚十郎・大和定五郎・大和三次郎・大和直・室弥次郎・大和平蔵・大和茂助分	書冊	1	「花瀬区宝満社神殿改築上棟式五弐拾五日晴天」と表紙墨書あり
97		〔宝満宮神殿改築碑図〕	(明治44)	5				発起人ほか人名・寄附金額書上	書簡	1	封筒あり。封筒表上書「大和様」、同裏上書「寄附金額人
98		〔宝満神社改築工事関係一件綴〕	(明治44)					神殿改築工事諸届・願書・品物受取書	書綴	1	
99		〔宝満神社改築工事関係一件綴〕	(明治44)					封筒1通・葉書3枚・契約書など	書綴	1	
100		村社神殿改築費人夫帖	(明治44)						長帳	1	
101		古材木代	(明治44)					人別代銭書上	長綴	1	
102		不用材木ノ落札	(明治44)					人別入札高書上	長綴	1	
103		寄附金人名　花瀬区中	(明治44)			〔花瀬区宝満社氏子一同〕		大和甚一郎100円ほか寄附総額429円分	書綴	1	付紙2枚貼付（改築費ほか書上）
104		〔回達〕	(明治)	11	12	第七大区調所	村々小区副戸長中	地図引方入込につき村々準備および手当用意の件	書綴	1	
105		〔届書雛形〕	(明治)			大和甚九郎分		「自今人員受払之案」、「戸主届案」ほ	書綴	1	
106		地券代価	(明治)					納入分111枚ほか書上	書綴	1	
107		〔花瀬村田畑図〕	(近世)					大和武七・同甚九郎ほか林反別書上	継紙	1	
108		御用会達々手控帳	嘉永元年申	7	吉	庄屋甚九郎			袖帳	1	
109		〔御用日記帳〕	(嘉永3)	6					袖帳	1	
110		〔御用日記〕帳	(安政2)			甚九郎			袖帳	1	
111		〔御用日記帳〕	(文久3)						袖帳	1	同4年まで
112		〔御〕用日記帳	(慶応元)						袖帳	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
113		両村御用帳	慶応2寅	正月ヨ					袖帳	1	
114		郡々田畠其外累年之控	明治2巳	11		庄屋 大和甚九郎			袖帳	1	虫損あり。水損につき閲覧不可
115		御普請御用控帳	明治3午	正月	吉	保正　大和甚九郎			袖帳	1	
116		御用日記帳	明治5申	3		建花寺村			袖帳	1	
117		明治八年亥年手帳	(明治8)						袖帳	1	
118		悲(非)常御備請取通	弘化4未	2		大庄屋元預ヶ　花瀬村			小横帳	1	
119		御米御通	弘化4未	9		花瀬村			小横帳	1	未記入
120		慈引帳	嘉永3戌	3	22	穂波郡花瀬村用　大和彦三郎		算用の問題書上	小横帳	1	
121		御年貢未御通写帳	嘉永6丑	10ニ改ム		庄屋甚九郎			小横帳	1	明治4年まで
122		村方達御用手帳	万延2酉	3	15ヨリ	庄屋甚九郎			小横帳	1	
123		御米大豆御通写	文久元年酉	9ヨリ		大日寺村 庄屋甚九郎代			小横帳	1	
123	B	御通人馬通	文久2戌	正月		継所	花瀬村		小横帳	1	
124		諸品万御通	天保3辰	正月	吉祥	薩摩屋　武兵衛(印)	花瀬村　甚九郎		小横帳	1	
125		御通	天保5午	正月	吉	ちとせ屋　孫六	花瀬村　庄屋甚九郎		小横帳	1	
126		御通	天保11子	正月		[　　]屋　□□(孫六カ)	花瀬庄屋　甚九郎		小横帳	1	
127		丑通	天保12	正月	吉	ちとせや　孫六	花せ庄屋　甚九郎		小横帳	1	
128		御通	天保13寅			ちとせ屋　孫六	花瀬村　甚九郎		小横帳	1	
129		御通	天保14卯	正月	吉	ちとせ屋　孫六	花せ庄屋　甚九郎		小横帳	1	
130		染代附帳	嘉永2酉	正月	11	花瀬村　大和甚九郎			小横帳	1	
131		御通	文久3亥			[　　](ちとせ)屋　孫六			小横帳	1	
132		酒かよひ	文久3亥	正月	11	伊支須酒屋　五八郎	花瀬村　甚九郎		小横帳	1	
133		酒通	元治2丑	正月	11	伊支須酒屋　五八郎	庄屋　大和甚九郎		小横帳	1	
134		万御通	明治3午	3	吉	糀屋　善五郎	庄屋　大和甚九郎		小横帳	1	
135		染御通	明治3午	正月	吉	音丸(乙丸ヵ)紺屋　又三郎(印)	花瀬村　大和甚九郎		小横帳	1	
136		御用米銭諸指出御通　二冊之内	明治5申	3		建花寺村庄屋　大和甚九郎	大庄屋許　御役場		小横帳	1	
137		諸品御通	明治7戌	正月		角屋　又吉	大和甚九郎		小横帳	1	
138～		〔袋〕	明治32			筑前国嘉穂郡大谷村幸袋 伊藤戻太郎		袋上書「御通 花瀬」	袋	1	
138		御通	明治32			筑前嘉穂郡幸袋　薬種商伊藤戻太郎	花瀬出張所　大塚仙達		長綴	1	
139		薬種之御通	明治32			筑前小竹　加藤薬舘　薬春堂　加藤龍太郎	花瀬区御出張所　大塚仙達		長綴	1	
140		薬種之御通	明治32			筑前国飯塚町　村上直次郎	花瀬御出張所　大塚仙達		長綴	1	
141		肥料通	明治40			飯塚東町　茅野瀬助	大和武三郎		小横帳	1	
142		櫨実并金子通イ	子(幕末)	10		片嶋　助右衛門(印)	花瀬村　甚九郎		小横帳	1	
143		大福万覚帳	文政6未	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
144		大福万[覚帳]	天保4巳	正月	11	〔大和甚九郎カ〕			長帳	1	
145		大福万覚帳	天保7申	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
146		大福万[覚帳]	天保9戌	正月					長帳	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
147		大福日記覚帳	天保12丑	正月	11	大和彦三郎			長帳	1	
148		大福日記万覚帳	天保12			大和甚九郎			長帳	1	
149		大福万覚帳	天保13寅	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
150		大福日記覚帳	天保14卯	正月	11	大和彦三郎			長帳	1	
151		大福万覚帳	安政(2)卯	正月	(11カ)	大和甚九郎			長帳	1	
152		大福万覚帳	安政(3)辰	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
153		大福万覚帳	安政4巳	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
154		大福万覚帳	安政5午	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
155		大福万覚帳	安政7申	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
156		大福万覚帳	万延2酉	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
157		〔大福万覚帳〕	(安政6未)			〔大和甚九郎〕			長帳	1	表紙欠
158		大福万覚帳	文久3亥	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
159		大福万覚帳	文久4子	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
160		大福万[覚帳]	元治2丑	正月	10	〔大和甚九郎ヵ〕			長帳	1	表紙下部欠
161		大福万覚帳	慶応2寅	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
162		大福万覚帳	慶応3卯	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
163		大福万覚帳	慶応4辰	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
164		大福万覚帳	明治3午	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
165		大福万覚帳	明治4未	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
166		大福万覚帳	明治5申	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
167		大福万覚帳	明治6癸酉	1	11	大和甚九郎			長帳	1	
168		大福万覚帳	明治7戌	1	11	大和甚九郎			長帳	1	
169		大福万覚帳	明治8亥	1	11	大和甚九郎			長帳	1	
170		大福万覚帳	明治9子	1	11	大和甚九郎			長帳	1	
171		大福万覚帳	明治10丑	1		大和甚九郎			長帳	1	
172		大福万覚帳	明治18酉	1	11	大和武三郎			長帳	1	
173		大福万覚帳	明治19戌	1	11	大和武三郎			長帳	1	
174		大福万覚帳	明治20丁亥	1		大和武三郎			長帳	1	
175		大福万覚帳	明治21戊子	1	11	大和武三郎			長帳	1	
176		大福万覚帳	明治22己丑	1	11	大和武三郎			長帳	1	
177		大福万覚帳	明治23庚寅	1	11	大和武三郎			長帳	1	
178		大福万覚帳	明治25辰	1	11	大和武三郎			長帳	1	
179		大福万覚帳	明治27午	1	11	大和武三郎			長帳	1	
180		大福万覚帳	明治28未	1	11	大和武三郎			長帳	1	
181		大福万覚帳	明治29申	1	11	大和武三郎			長帳	1	
182		大福万覚帳	明治31戌	1	11	大和武三郎			長帳	1	
183		大福万覚帳	明治32亥	1	11	大和武三郎		帳紐に記1通括付（小麦・大豆算用書	長帳	1	
184		大福万覚帳	明治34丑	1	11	大和直			長帳	1	
185		大福万覚帳	明治34丑	1	11	大和武三郎			長帳	1	
186		大福万覚帳	明治35寅	1	11	大和武三郎			長帳	1	
187		大福万覚帳	明治38巳	正月	11				長帳	1	
188		大福万覚帳	明治39午	1	11				長帳	1	
189		大福万覚帳	明治40丁未	1	11	大和定五郎			長帳	1	
190		大福万覚帳	明治41戊申	正月	11	大和定五郎			長帳	1	
191		大福万覚帳	明治42己酉	正月	11	大和定五郎			長帳	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
192		大福万覚帳	明治43			大和定五郎			長帳	1	
193		大福万覚帳	明治44			大和定五郎			長帳	1	
194		大福万覚帳	明治45			大和定五郎			長帳	1	
195		大福万覚帳	大正2			大和定五郎			長帳	1	
196		大福万覚帳	大正3			大和定五郎			長帳	1	
197		〔大福万覚帳〕	（近世後期）			大和定五郎			長綴	1	
198		万覚帳	大正11			大和定五郎			長帳	1	
199		万覚帳	大正12			大和定五郎			長帳	1	
200		下女下人隙附帳	天保8酉	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
201		下女下人隙附帳	(安政2卯)			大和甚九郎			長帳	1	
202		下女下人隙附帳	安政4巳	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
203		下女下人隙附帳	安政5午	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
204		下女下人隙附帳	安政7申	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
205		下女下人隙附帳	万延2酉	正月	1(1)	大和甚九郎			長帳	1	
206		下女下人隙附帳	文久2戌	正月	1(1)	大和甚九郎			長帳	1	
207		下女下人隙附帳	慶応2寅	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
208		下女下人隙附帳	慶応3卯	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
209		下女[下人隙附帳]	慶(応4)辰	（正月）	11	大和甚九郎			長帳	1	表紙下部欠
210		下女下人隙附帳	明治2巳	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
211		下女下人隙附帳	明治3午	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
212		下女下人隙附帳	明(治4未)	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
213		下女下人隙附帳	明治5申	正月	(1)1	大和甚九郎			長帳	1	
214		下女下人隙附帳	明治6癸酉	1	11	大和甚九郎			長帳	1	
215		下女下人隙附帳	明治7戌	1	11	大和甚九郎			長帳	1	
216		下女下人隙附帳	明治8亥	1	11	大和甚九郎			長帳	1	
217		下女下人隙附帳	明治26巳	1	11	大和甚九郎			長帳	1	
218		下女下人隙附帳	明治27午	1	11	大和武三郎			長帳	1	
219		下女下人隙附帳	明治28未	1	11	大和武三郎			長帳	1	
220		下女下人隙附帳	明治30酉	1	11	大和武三郎			長帳	1	
221		下女下人隙附帳	明治37子	12	13ヨリ	大和武三郎			長帳	1	
222		下女下人算用根帳　茂右衛門さん用此帳ニ有之	（幕末期）			大和甚九郎			長帳	1	紙背：天保期 庄司村・中村文書
223		〔下男下女給米算用覚〕	（文久2カ）						長綴	1	明治4年頃まで
224		〔下男下女給米算用覚〕	（明治7）						長綴	1	明治30年頃まで
225		巳秋米銭請払帳	弘化2	8		〔大和甚九郎〕			長帳	1	
226		寅秋米銭請払帳	（安政元年ヵ）			大和甚九郎			長帳	1	安政2年卯～万延2年の一括中にあり
227		未秋米銭請払帳	未(安政6ヵ)			大和甚九郎			長帳	1	
228		米銭請払帳	万延元年申	10		大和甚九郎			長帳	1	
229		米銭請払帳	文久元年酉	9		大和甚九郎			長帳	1	
230		酉秋米銭請払帳	（万延2ヵ）			大和甚九郎			長帳	1	安政2卯～万延2年の一括中にあり
231		亥秋米銭請払帳	亥秋（近世後期・幕末期）			大和甚九郎			長帳	1	
232		米銭請払帳	慶応2寅	10		大和甚九郎			長帳	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
233		米銭請払帳	慶応4辰	6		大和甚九郎			長帳	1	
234		米銭請払帳	明治2巳	9		大和甚九郎			長帳	1	
235		米銭請払帳	明治4未	11		大和甚九郎			長帳	1	
236		明治六年酉秋米銭請払帳	明治6			大和甚九郎			長帳	1	
237		米銭請払帳	明治7戌	11		大和甚九郎			長帳	1	
238		米金請払帳	明治8亥	11	14	大和甚九郎			長帳	1	
239		〔米銭請払帳〕							長綴	1	
240		御年貢米大豆引附帳	天保6未	9		庄屋　甚九郎			長帳	1	
241		御年貢米大豆引附帳	天保7申	9		庄屋　甚九郎			長帳	1	
242		御年貢米大豆引附帳	天保11子	9		庄屋　甚九郎、組頭　弥助、相府　弥右衛門			長帳	1	
243		御年貢米大豆引附帳	安政3辰	9		庄屋　甚九郎、組頭　用作、相府　甚市			長帳	1	
244		御年貢米大豆引附帳	安政6未	9		庄屋　甚九郎、組頭　用作、相府　武七			長帳	1	
245		御年貢米大豆引附帳	万延元年申	9		庄屋　甚九郎、組頭　善次郎、相府　与一郎			長帳	1	
246		御年貢米大豆引附帳	文久元年酉	9		庄屋　甚九郎、蔵方　用作、武七			長帳	1	
247		御年貢米大豆引附帳	文久2戌	9		庄屋　甚九郎、蔵方　善次郎、与一郎			長帳	1	
248		御年貢米大豆引附帳	文久3亥	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方善次郎、甚作			長帳	1	
249		御年貢米大豆引附帳	元治元年子	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方与一郎、武七			長帳	1	
250		御年貢米大豆引附帳	慶応元年丑	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方善次郎、茂四郎			長帳	1	
251		御年貢米大豆引附帳	慶応2寅	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方与一郎、武七			長帳	1	
252		御年貢米大豆引附帳	文久元年酉	9		庄屋　甚九郎、同助役　勝右衛門、組頭　田仲伊平、蔵方　作五郎			長帳	1	
253		御年貢米大豆引附帳	文久2戌	9		庄屋　甚九郎、蔵方　甚内、長右衛門			長帳	1	
254		御年貢米大豆引附帳	文久3亥	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方田中伊平、蔵方儀平			長帳	1	
255		御年貢米大豆引附帳	元治元年子	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方勝蔵、作五郎			長帳	1	
256		御年貢米大豆引附帳	元治元年子	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方勝蔵、作五郎			長帳	1	
257		御年貢米大豆引附帳	慶応元年丑	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方甚内、伊右衛門			長帳	1	
258		御年貢米大豆引附帳	慶応2寅	9		庄屋　大和甚九郎、同□□　良右衛門、蔵方 田中伊平、長右衛門			長帳	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
259		御上納米銭請払帳	文久元年酉	9		大日寺村　庄屋　甚九郎			長帳	1	
260		御上納米銭請払帳	文久3亥	9		大日寺村　庄屋　大和甚九郎			長帳	1	
261		御上納米銭請払帳	元治元年子	9		大日寺村　庄屋　大和甚九郎			長帳	1	
262		御上納米銭請払帳	慶応元年丑	9		大日寺村　庄屋　大和甚九郎			長帳	1	
263		御上納米銭請払帳	慶応2寅	9		大日寺村　庄屋　大和甚九郎			長帳	1	
264		御上納米銭請払帳	(慶応3)			大日寺村　庄屋　大和甚九郎			長帳	1	
265		御上納銭引附帳	文久2戌	9		庄屋　甚九郎、蔵方　甚内、長右衛門			長帳	1	
266		御上納銭引附帳	文久3亥	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方　田中伊平、儀平			長帳	1	
267		御上納銭引附帳	慶応2寅	9		庄屋　大和甚九郎、同助役　良右衛門、蔵方　田中伊平、長右衛門			長帳	1	
268		御上納銀引附帳	文久元年酉	9		庄屋　甚九郎、蔵方　用作、武七			長帳	1	
269		御上納銀引附帳	文久2戌	9		庄屋　甚九郎、蔵方　善次郎、与一郎			長帳	1	
270		御上納銀引附帳	文久3亥	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方　善次郎、甚作			長帳	1	
271		御上納銀引附帳	元治元年子	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方　与一郎、武七			長帳	1	
272		御上納銀引附帳	慶応元年丑	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方　善次郎、茂四郎			長帳	1	
273		御上納銀引附帳	慶応3卯	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方　善次郎、茂四郎			長帳	1	
274		御年貢諸切立米高割帳	安政3辰	9					長帳	1	
275		御年貢諸切立米高割帳	安政4巳	9					長帳	1	
276		御年貢諸切立米高割方帳	安政5午	9		庄屋　甚九郎、組頭　善次郎、相府			長帳	1	276～282合綴
277		御年貢米諸切立高割帳	安政6未	9		庄屋　甚九郎、蔵方　用作、武七			長帳	1	
278		御上納米銭高割帳	万延元年申	9		庄屋　甚九郎、蔵方　善次郎、与一郎			長帳	1	
279		御上納米銭高割帳	文久元年酉	9		庄屋　甚九郎、組頭　用作、蔵方　武七			長帳	1	
280		米銭割方根帳	文久2戌	9		庄屋　甚九郎、蔵方　善次郎、与市郎			長帳	1	
281		米銭割方根帳	文久3亥	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方　善次郎、甚作			長帳	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
282		米銭割方根帳	慶応元年丑	9		庄屋　甚九郎、蔵方　善次郎、茂四郎			長帳	1	
283		米銭割方根帳	慶応2寅	9		庄屋　大和甚九郎、蔵方　与市郎、武七			長帳	1	
284		諸切銭割方根帳	天保12丑	正月	11	庄屋　甚九郎			長帳	1	
285		諸切銭割方根帳	弘化3午	正月	11	庄屋　甚九郎			長帳	1	
286		諸切銭割方根帳	弘化4未	正月	11	庄屋　甚九郎			長帳	1	
287		諸切銭割方根帳	嘉永2酉	正月	11	庄屋　甚九郎			長帳	1	
288		諸割方根帳	元治2丑	3		庄屋　大和甚九郎、同助役　良右衛門			長帳	1	
289		文政十一年分諸上納銀銭取立帳	文政11			庄屋　甚九郎			長帳	1	
290		天保十三年諸上[納銀銭取立帳]	天保13						長帳	1	表紙下部欠
291		天保十五年諸上納銀銭取立帳	天保15						長帳	1	
292		弘化二年諸上納銀銭取立帳	弘化2					社人殿分共	長帳	1	
293		万延元年申上納銀取立帳	万延元年申			庄屋　甚九郎、蔵方　善次郎、与市郎			長帳	1	
294		御年貢米御歳入帳	文政6未	9					長帳	1	
295		当辰村雑用臨時切立帳	安政3	9ヨリ		中村触之内　花瀬村			長帳	1	
296		安政4巳年村雑用臨時切立帳				穂波郡中村触之内 花瀬			長帳	1	No.296～298合綴
297		安政6年未村雑用書上村控　花瀬村分	安政6未						長帳	1	
298		安政7年申村雑用書上村控　花瀬村分	安政7申						長帳	1	
299		御年貢米未進并借入引附帳	安政3辰	9		庄屋　甚九郎、組頭　用作、相府　甚市			長帳	1	
300		穂波郡花瀬村御徳割帳	安政3辰	6		花瀬村組頭　用作(印)、善次郎(印)、同村庄屋　甚九郎(印)	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所		長帳	1	
301		村雑用臨時切立帳	文久2戌	正月ヨリ		大日寺村　庄屋　甚九郎、年番　勝蔵			長帳	1	
302		穂波郡花瀬村御徳割帳	明治2午	6		花瀬村組頭　与一郎(印)、同　善次郎(印)、同村庄屋　金子弥七郎(印)	上座下座嘉麻穂波　御郡御役所		長帳	1	
303		御用米銭御請取通帳	明治2巳	10ヨリ		花瀬村庄屋　大和甚九郎(印)	触口元　御役場		長帳	1	
304		貢祖米豆引付帳	明治6酉	10		□□(保長ヵ)　大和彦三郎、相符 大和甚九郎			長帳	1	
305		御用米豆割方帳	明治2巳	正月		庄屋　大和甚九郎			長帳	1	
306		御用米銭割方帳	明治未	正月					長帳	1	
307		〔米銭請取帳〕							長綴	1	
308		御頼成就御□楽入用[　　]	文化8未	9	12				長帳	1	
309		未ノ年増除未村預ヶ之方申秋取立割帳	文化9申	9					長帳	1	
310		御館小板葺[　　]	文化10戌	正月					長帳	1	表紙下部欠
311		倹約作法ニ付衣頼御免方改控帳	文化14丑	4	15				長帳	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
312		穂波郡堀池村古屋敷夫積り書上帳	文政3辰	9		堀池村庄屋　彦三郎	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所		長帳	1	
313		文政六年分御備油代取立帳	文政6						長帳	1	表紙墨書「未十月四日割方六日切大庄屋元払」
314		堀池村借渡し〔米銭〕書上〔帳〕	文政9戌	10		花瀬村　彦三郎	堀池村庄屋　十右衛門		長帳	1	表紙一部欠
315		年々種子抜覚帳	文政12丑	3	2	大和甚九郎			長帳	1	
316		追年ノ分年々籾種子控帳	明治24卯	旧2	18改メ	大和本家			長帳	1	
317		〔諸願口上差出控〕	（文政元年）			〔花瀬村庄屋〕			書綴	1	天保14年まで
318		潤野焚石山斤先約定前金子請取通帳	天保4己	4		大和甚九郎			長帳	1	
319		穂波郡花瀬村当酉春粮物喰足米拝借御願帳	天保8			花瀬村組頭　弥助（印）、同　茂七（印）、同村庄屋　甚九郎（印）	上座下座嘉麻穂波　御郡御役所		長帳	1	表紙墨書「此外新百生仕居銀書上扣も有」
320		〔諸願口上差出控〕	（天保8）	3					長綴	1	嘉永6年3月まで
321		御用御触状写帳	天保13寅	正月	11	庄屋　甚九郎			長帳	1	
322		村切銭触雑用仕組出銭割方帳	天保14卯	12					長帳	1	
323		稲抱附石付帳	天保15辰	8	12ニ改ル	大和甚助書			長帳	1	
324		穂波郡花瀬村当秋田畠極々及損毛百性中取続出来不仕粮物御救御拝借御願帳	弘化4未	11					長帳	1	
325		新百性御仕居金拝借渡帳	嘉永2酉	3					長帳	1	
326		穂波郡花瀬村洪水荒田数書上帳	嘉永3	6		花瀬村庄屋　甚九郎、同村組頭　弥助、同　用助	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所		長綴	1	
327		戌洪水荒田起立下調子見込書上	嘉永4	正月		幸袋触　花瀬村			長帳	1	
328		御通小廻公役控帳津出シ控	嘉永4亥	正月	11				長帳	1	
329		嘉永五年より年々未進判御願帳控	（嘉永4）						長帳	1	明治3年まで
330		〔諸願口上差出控〕	（嘉永5）	6					長綴	1	安政7年2月まで。表紙欠カ
331		御用御触状写帳	安政3辰	正月	11	庄屋　甚九郎			長帳	1	
332		御通公役万控帳	安政3辰	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
333		諸口銭割方并口々不足仕約メ帳	安政3辰	12		庄屋　甚九郎、組頭　用作、相府　甚市			長帳	1	
334		年々養育一件書上累年之控合帳	安政4巳	正月ニ改ル		庄屋　甚九郎			長帳	1	
335		大鋸大工日記帳	安政5午	正月改		大和甚九郎、大和氏			長帳	1	
336		去ル子戌両年洪水荒田書上并竈数櫨植立村立増減シ借財道付後片付分有無シ道付後ニ村方江借リ入調子書上帳	安政5午	8	6日ニ書上ル				長帳	1	表紙墨書「触中合帳ニ付手本帳ニ而認メ書上候分」
337		諸品当時指引帳	安政6未	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
338		去ル戌洪水荒御田地年限請分調子書上帳	安政6未	5		中村触之内　花瀬村			長帳	1	
339		安政七申正月分諸書上累年季	安政7申	正月		庄屋　甚九郎			長帳	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
340		未諸払蔵仕約メ過未進算用帳	万延2申	11		庄屋　良右衛門、組頭　勝右衛門、相符　平七			長帳	1	
341		大日寺村籾種子預帳	申	極月	19日ニ改ル				長帳	1	表紙墨書「大庄屋上へ之手扣并証文控帳」
342		去ル子年洪水未タ荒代地起立再手入料御願帳	万延2酉	3		穂波郡　大日寺村			長帳	1	
343		花瀬大日寺両村面役書上帳	万延2酉	4		庄屋　甚九郎			長帳	1	
344		御払下ヶ米并御救米渡方帳	文久元年酉	正月		大日寺村			長帳	1	表紙墨書「人別渡方名寄帳者別帳ニ有之」
345		〔瀧ケ下石垣普請願〕	文久元年	6		大日寺村組頭　田中壮平、甚内、勝右衛門、庄屋甚九郎			長綴	1	
346		御用御触状并御通　人馬出方控帳	文久2戌	正月	11	庄屋　甚九郎			長帳	1	
347		穂波郡大日寺村御田地肥料御願	文久2戌	2					長帳	1	
348		文久二歳戌三月御物借御達書写	文久2			大日寺村庄屋　甚九郎			長帳	1	
349		花瀬大日寺両村面役書上帳	文久2戌	4					長帳	1	
350		村雑用諸負之外臨時切立調子帳	文久2	10		年番　勝造			長帳	1	
351		文久二年御拝借渡方現銭請払覚	文久2			庄屋　甚九郎			長帳	1	
352		諸御用指出[　　]控帳	文久3亥	正月よ		庄屋　大和甚九郎		花瀬・大日寺両村分	長帳	1	
353		去ル子年洪水未タ荒代地起立再手入料御願帳	文久3亥	2		穂波郡　大日寺村			長帳	1	
354		穂波郡大日寺村頭百姓良右衛門分家新百姓御仕居料御願帳	文久3亥	3					長帳	1	
355		花瀬大日寺両村本誓寺・名子誓紙・人高目録御山誓紙控　□□分共ニ	文久3亥	3					長帳	1	標題の「本誓寺」の「寺」の上に(紙)とあり。閲覧不可
356		花瀬村大日寺両村面役書上之控	文久3亥	4		両村庄屋甚九郎			長帳	1	
357		花瀬大日寺両村本誓紙・名子誓紙・御山誓紙・人高目録 □□分共	文久4子	3					長帳	1	閲覧不可
358		花瀬・大日寺両村懐婦臨月書上控	文久4子	正月ヨ					長帳	1	
359		花瀬村産子書上控帳	元治2丑	正月ヨ					長帳	1	明治2年まで
360		大鋸大工日記控帳	元治2丑	正月	11	大和氏			長帳	1	
361		御通人馬出方帳	元治2丑	正月	11				長帳	1	
362		割方物并村取替根揃帳	元治元年子	10		庄屋　大和甚九郎			長帳	1	
363		村并御番口切符辻割方手控帳	慶応2寅	10		庄屋　大和甚九郎			長帳	1	
364		銘々壱作稲作水年貢年々受取渡	慶応3卯	11改					長帳	1	
365		御上納銭間通帳	明治2巳	4改		花瀬村庄屋　金子弥七郎(印)	触口役　清水宅右衛門	花瀬村組頭与一郎請持	長帳	1	
366		明治二年巳春ヨリ八月迄村方粮米貸付根帳	(明治2)			組頭　与一郎、甚次郎			長帳	1	表紙墨書「此帳先々人別名寄有り」
367		〔米銭未進約メ帳〕	(明治2)						長綴	1	明治3年までか
368		御米御囲御入用諸品納帳	明治3午	10		普請方　彦四郎、助役　大和甚九郎			長帳	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
369		御代官借用根帳 金子融殿分借入	明治3午	11					長帳	1	表紙墨書「不用」
370		穂波郡花瀬村相対借財書上帳	明治4未	正月					長帳	1	
371		建花寺村米銭請払帳	明治5壬申	4月ヨリ		庄屋　大和甚九郎			長帳	1	
372		明治四年未二月村仕組御願申上ル御願書控	明治4未	正月		花瀬村組頭 室甚次郎、同大和与一郎、同村庄屋福沢十平	内の　御民事方	村方百姓借財積み重なりたるにつき	長綴	1	
373		御拝借高人別割宛雑用約帳	明治5壬申	7		組頭　大和与一郎、室甚次郎、副戸長　福沢十平			長帳	1	
374		村雑用書抜控帳	明治5壬申	12					長帳	1	
375		壬申歳違改メ	壬申 (明治5年)					忠七母とめほか	長綴	1	
376		己午未三ヶ年算用扣	明治6酉	2					長帳	1	
377		租税金取立帳	明治6酉	12		保長　大和武三郎			長帳	1	
378		諸税金取立帳	明治12卯	12ヨリ					長帳	1	明治13年まで
379		ナカ面仕役台帳	明治13			土木掛　大和甚九郎		箇所別・村別面徭人数書上	長帳	1	
380		非常破損仕戻仕役簿	明治14			大和甚九郎		村別・箇所別人足・諸色費用書上、「落成」印あり	長帳	1	
381		十五年度仕役人足調子簿	(明治)15					村別面徭規定人数、溜池以下種別人足数書上	長帳	1	
382		非常破損修繕仕役帳	明治15			大和甚九郎		村別・箇所別坪数・人足数書上 、「落成」印あり	長帳	1	
383		溜池修繕仕役簿	明治15			大和甚九郎		村別・箇所別人足・賃銭等書上、「落成」印あり	長帳	1	
384		郡道及橋梁夫県ヶ帳	明治15			大弐ノ組		村別・箇所別人足・諸色・賃銭書上、「落成」印あり	長帳	1	
385		樋管堰堤防橋梁仕役簿 （朱印）「第壱号」	明治15			大和甚九郎		村別・箇所別諸色・人足・賃銭書上、「落成」印あり	長帳	1	
386		樋管堰堤防橋梁仕役帳 （朱印）「第弐号」	明治15			大和甚九郎		村別・箇所別諸色・人足・賃銭書上、「落成」印あり	長帳	1	
387		溜池修繕仕役簿	明治16			大和甚九郎		村別・箇所別諸色・人足・賃銭書上、「落成」印あり	長帳	1	
388		溜池新築ニ付夫掛帳	明治16			大和甚九郎		村別・箇所別諸色・人足・賃銭書上、「落成」印あり	長帳	1	
389		樋閘堰堤防橋梁仕役帳 （朱書）「第2号」	明治16			大和甚九郎		村別・箇所別諸色・人足・賃銭書上、「落成」印あり	長帳	1	
390		非常破損修繕仕役簿 （朱書)「壱号」	明治17			第弐ノ組		村別・箇所別諸色・人足・賃銭書上、「落成」印あり	長帳	1	
391		非常破損修繕仕役簿 （朱書)「弐号」	明治17			第弐ノ組		村別・箇所別諸色・人足・賃銭書上、「落成」印あり	長帳	1	
392		平常土木現夫仕役台帳	明治18					村別に現夫数の内訳（溜池・堤防など）を書上、末尾に現金差引を記載	長帳	1	
393		平常土木修繕仕役帳　第壱号	明治18			大和甚九郎		村別・箇所別諸色・人足・賃銭書上「落成」印あり	長帳	1	
394		平常土木修繕仕役帳　第弐号	明治18			大和甚九郎		村別・箇所別諸色・人足・賃銭書上、「落成」印あり	長帳	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
395		平常土木修繕仕役帳　第三号	明治18			大和甚九郎		村別・箇所別諸色・人足・賃銭書上、「落成」印あり、末尾に合計を記載、村支弁と両郡賃に内訳	長帳	1	
396		十七年度後非常破損修繕仕役帳第壱号	明治18			大和甚九郎		村別・箇所別諸色・人足・賃銭書上、「落成」印あり	長帳	1	
397		十七年度後非常破損修繕仕役帳第弐号	明治18			大和甚九郎		村別・箇所別諸色・人足・賃銭書上、「落成」印あり、末尾に惣計を記載	長帳	1	
398		村長披露招待者人名簿	大正13	6	7	大和定五郎			長帳	1	
399		申秋米銭[請払帳]	申(近世)						長帳	1	表紙下部欠
400		戌秋米銭請払帳	戌(近世)			大和甚九郎			長帳	1	
401		御年貢米津〔ヵ〕出帳	(近世)						長帳	1	
402		御救米割方目安帳	(近世)						長帳	1	
403		未拝借貸渡根帳并二年賦割付帳	未(近世)						長帳	1	
404		未正月分同八月割迄役使控	未(近世)						長綴	1	
405		酉年御通小廻リ公役算用帳	酉(近世)						長帳	1	
406		覚	亥(近世)	極月		千年や孫六	花瀬村　甚九郎		長綴	1	
407		未年銭未進約メ	未(近世)						長綴	1	
408		申冬村方未進米銭書抜	申(近世)						長綴	1	
409		〔御渡米書附〕	(近世)						長綴	1	
410		記	(明治)			第大〔ママ〕七十四小区花瀬村		地券証写し書上	長綴	1	
411		戌年約メ	(近世)					諸年上納に払込分8貫500文ほか書上	長綴	1	
412		〔諸品代書上〕	卯(近世)	12		筑前飯塚宿反物荒物小売所　米花屋善五郎	花瀬村庄屋　大和甚九郎	上久留米かす5尺代銭3貫400文ほか	長綴	1	
413		〔籾米受払書上〕	(近世)					卯年分	長綴	1	
414		明治五年申蔵通・明治五申年銭通	(明治5)					彦三郎分	長綴	1	
415		森崎屋林木出方控	(近世)						長綴	1	
416		金子融殿算用	未(近世)	6				未6月改目録分米5俵余ほか	長綴	1	
417		御通りヶ条書写	(近世)			庄屋　甚九郎			長帳	1	
418		〔米銭出入書上〕	(近世)						長綴	1	
419		〔諸所行用銭書上〕	(近世)					内野行きほか甚助分1貫259文など	長綴	1	
420		〔米俵数書上〕	(近世)						長綴	1	
421		〔銭割付書上〕	(近世)						長綴	1	
422		〔銭高書上〕	(近世)					小廻りほか甚左衛門分5貫87文など	長綴	1	
423		〔御囲穀切立俵数書上〕	(嘉永2)	(10)		(花瀬村組頭・庄屋)			長綴	1	
424	1	嘉永六年丑冬算用分	嘉永6						長綴	1	424-1～5紙縒一括
424	2	諸切銭割方根帳	文久2戌	正月	11	庄屋　甚九郎			長帳	1	
424	3	諸品当時帳	文久2戌	正月	11	大和甚九郎			長帳	1	
424	4	米銭請払覚帳	文久2戌	9		大和甚九郎			長帳	1	
424	5	〔米銭請払覚帳〕	(幕末期)					甚作講ほか	長綴	1	
425	1～47	〔袋〕	安政4巳	正月	元日	花瀬村		袋上書「大庄屋元并普請方問屋請取目録入」	袋	1	425-1～47袋一括
425	1	公儀御目附様御下向人馬割	巳(安政4)	6		大庄屋元(印)	花瀬村	人足5人	切紙	1	
425	2	肥後様御下向達人馬割	巳(安政4)	5		大庄屋元(印)	花瀬村		切紙	1	
425	3	水野筑後守様御下向達人馬割	巳(安政4)	閏5		大庄屋元(印)	花瀬村		切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
425	4	薩摩様御下向人馬割	巳(安政4)	5		大庄屋元(印)	花瀬村		切紙	1	
425	5	覚（辰間通出銭・非常方出銭）	卯(安政3)	12		大庄屋元(印)	花瀬村		切紙	1	
425	6	受取	(安政4年ヵ)	8	23	山口屋　和七	花瀬村	半縄2斤につき	切紙	1	
425	7	預手形	巳(安政4)	11	15	花瀬村庄屋　甚九郎	船庄屋　弥四郎	米25俵につき	切紙	1	
425	8	十月上納銀	巳(安政4)	10		大庄屋元(印)	花瀬村	洲口・玉子分銀14匁書上	切紙	1	
425	9	〔郡切立米割付〕	巳(安政4)	11		大庄屋元(印)	花瀬村	庄屋払分ほか米6俵余につき	切紙	1	
425	10	〔手伝夫銭割付〕	(安政ヵ)				花瀬村	社松橋材木持出大工手伝夫200文、郡屋手伝夫166文につき	切紙	1	
425	11	四月上納銀	午(安政5)	4		大庄屋元(印)	花瀬村	洲口・玉子分銀14匁につき内訳・支払期日書上	切紙	1	
425	12	〔夫銭割付〕	巳(安政4)	6		大庄屋元(印)	花瀬村	定飛脚夫銭并異国舟渡来御国中割内住橋飯塚橋杭柱流失一ノ谷荒手繕5口夫銭992文につき	切紙	1	
425	13	養育備米代	(安政ヵ)	11	27	大庄屋元(印)	花瀬村	銭3貫540文割付	切紙	1	
425	14	受取(神楽座料米・月次御供米1俵)	巳(安政4)	12	29	青柳式部	甚九郎	御神楽座料米ほか米1俵、乙丸講金の世話につき伺い	切紙	1	
425	15	十一月上納銀	巳(安政4)	11		大庄屋元(印)	花瀬村	三品銀ほか16貫245文書上	折紙	1	
425	16	覚	(安政ヵ)					大日寺ほか村別俵数書上	切紙	1	
425	17	触用前借証拠之事	安政5	2		年番　甚九郎(印)、伴蔵(印)	花瀬村	金1歩借用	切紙	1	端裏書「花瀬」
425	18	受取	(安政ヵ)	2	9	大庄屋元(印)		花瀬村・蓮台寺各605文につき	継紙	1	
425	19	壱朝軒寺納銭	巳(安政4)	10		大庄屋元(印)	花瀬村	銭995文割付	切紙	1	
425	20	御除米之内御銀会所納分割戻し	巳(安政4)	12		大庄屋(印)	花瀬村	銭3貫920文書上	切紙	1	
425	21	請取（御除米 30俵）	巳(安政4)	11	26	大庄屋元(印)	花瀬村	御除米分30俵書上	切紙	1	
425	22	書状	(安政ヵ)	2	10	花瀬村庄屋　甚九郎(印)	上〔竹園寺〕	印判仕立替依頼	切紙	1	印判代250文受取の竹園寺加筆あり
425	23	〔上納銀覚〕	卯(安政2)	11		大庄屋元(印)	花瀬村	三宝銀60目余ほか書上	折紙	1	
425	24	当年中本通請負臨時人馬割	巳(安政4)	3		大庄屋元(印)	花瀬村	人足46人・馬5疋	切紙	1	
425	25	薩摩奥女中人馬割	巳(安政4)	2		大庄屋元(印)	花瀬村	人足6人	切紙	1	
425	26	薩摩様御登達人馬割	巳(安政4)	2		大庄屋元(印)	花瀬村	人足16人・馬2疋・雑用銭234文	切紙	1	
425	27	肥後様御登人馬割	巳(安政4)	2		大庄屋元(印)	花瀬村	人足12人・馬2疋・雑用銭162文	切紙	1	
425	28	薩摩御隠居様肥後若殿様前後大奥女中非常御通当年中受負渡前人足割	巳(安政4)	5		大庄屋元(印)	花瀬村	人足57人	切紙	1	
425	29	十月上納銀	巳(安政4)	10		大庄屋元(印)	蓮台寺村	洲口・玉子・鉄炮札〆28匁5分2厘書上	切紙	1	
425	30	覚	(安政ヵ)	10	27	角屋　長兵衛(印)	花瀬村庄屋　甚九郎様	大豆代米4俵受取	切紙	1	
425	31	覚	(安政ヵ)	8	12	大庄屋元(印)	花瀬村	若松波除夫銭175文割付	切紙	1	
425	32	〔割付書上〕	(安政ヵ)			大庄屋元(印)	花瀬村	養育備米代・夫銭四口割当り・一朝軒・触雑用見込割〆14貫264文につき	切紙	1	
425	33	〔納米算用書上〕	(安政ヵ)				花瀬村	御除米ほか30俵1斗5合につき	継紙	1	
425	34	〔触用銭割付〕	(安政ヵ)			大庄屋元(印)	花瀬	山口屋瀬助払ほか触用銭9貫538文書	折紙	1	
425	35	〔鶏・玉子・銭払方覚〕	巳(安政4)	11			蓮台寺村	鶏400目ほか書上	折紙	1	
425	36	〔書状〕	(安政ヵ)	5	29	大庄屋　役場(印)	庄屋　甚九郎	御役所より御頼につき大振鶏1羽坂下へ持出し願い	継紙	1	
425	37	請取	(安政ヵ)	2	17	出勤中	花瀬村　庄屋元	踊入用鶏1羽につき	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
425	38	御免踊諸入切割	午(安政5)	2		大庄屋元(印)		庄屋出銅分ほか1貫776文につき	切紙	1	
425	39	〔上納銀覚〕	(安政ヵ)			大庄屋元　役場(印)	花瀬	三品銀60目余ほか書上	折紙	1	
425	40	〔書状〕	(安政ヵ)	5	25	問屋　永七	花瀬庄屋　甚九郎	肥後様薩摩様両達雑用銭御村割当分則和三郎指出申候御世話被下候。肥後様薩摩様両達雑用銭村割当分指出につき世話願い	継紙	1	
425	41	〔納銭算用書上〕	巳(安政4)	4		大庄屋元(印)	花瀬村	辰年分触用割当ほか銭12貫455文につ	折紙	1	
425	42	覚	卯(安政3)	12		醤油屋　善右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	松の友3升書上	切紙	1	
425	43	御用米銭諸間通	安政4巳	4		大庄屋元(印)	花瀬村		小横帳	1	
425	44	覚	(安政ヵ)	12		醤油屋　善右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	先目録指出分・銭2貫100文書上	切紙	1	
425	45	〔銭高書上〕	(安政ヵ)		17			蓮台寺分銭1貫673文	切紙	1	
425	46	〔納米不足分書上〕	巳(安政4)	12		大庄屋役場(印)	花瀬村	御除ヶ未年諸掛リ不足分1斗余ほか	切紙	1	
425	47-1	止宿証こ	安政3	11		井上宗八、加藤平四郎		花瀬村へ止宿の件	切紙	1	435-47-1～3は同一の切紙に記入
425	47-2	賄証こ	安政3辰	11		郡浦御詮儀御手付　水嶋喜六、大和才右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	花瀬村へ止宿の件	切紙	1	
425	47-3	止宿証こ	安政3	7		大庄屋　宅右衛門、普請才判　彦四郎	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所	花瀬村へ止宿の件	切紙	1	
426	1～5	〔袋〕	安政4巳	3		花瀬村		袋上書き「安政四年 借財道付帳 巳三月 花瀬村」	袋	1	426-1～5袋一括
426	1	穂波郡花瀬村銀主中貸付米銭道付書上帳	安政4巳			花瀬村　惣平、彦三郎、武七、同村組頭　善次郎、同村庄屋　甚九郎	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所		長帳	1	
426	2	穂波郡花瀬村借財他方銀主名元書上帳	安政4巳	3		組頭取　惣平(花瀬村組頭　用作、善次郎、同村庄屋甚九郎)	(大庄屋　宅右エ門)		長帳	1	
426	3	穂波郡花瀬村蔵借財銀主道付方書上帳	安政4巳	3		花瀬村組頭　用作、善次郎、同村庄屋　甚九郎	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所		長帳	1	
426	4	穂波郡花瀬村人別米銭借用分道付方書上帳	安政4巳	3		組頭取　惣平			長帳	1	
426	5	穂波郡花瀬村人別米銭借用分道付方書上帳	安政4巳	3		組頭取　惣平			長帳	1	
427	1～8	〔袋〕	安政4巳	正月ニ改ル				袋上書き「滞在御願書并寺往来入ル」	袋	1	427-1～8袋一括、表題は袋上書
427	1	〔丑年誓紙控〕	丑(嘉永6)	3		(庄屋・大庄屋格　甚九郎、組頭　善次郎、用作)		名子誓紙・山判誓紙ほか分につき人名書上	長綴	1	
427	2	〔寅年誓紙控〕	寅(安政1)			(庄屋・大庄屋格　甚九郎、組頭　善次郎、用作)		名子誓紙・山判誓紙ほか分につき人名書上	長綴	1	
427	3	〔卯年誓紙控〕	卯(安政2)			(庄屋・大庄屋格　甚九郎、組頭　善次郎、用作)		名子誓紙・山判誓紙ほか分につき人名書上	長綴	1	
427	4	未年誓紙控	未(安政6)			(庄屋・大庄屋格　甚九郎、組頭　善次郎、用作)		名子誓紙・山判誓紙ほか分につき人名書上	長綴	1	
427	5	往来手形之事	安政3辰	4		肥後国熊本　須正寺(印)	所々町番所　御役人衆中	肥後国合志郡南方村吉次郎一家分、諸国霊社霊仏巡拝につき	竪紙	1	
427	6	穂波郡花瀬村旅日雇滞在御願帳	安政4巳	正月					長帳	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
427	7	面役請証拠之事	安政6未	4		飯塚宿庄屋・大庄屋格通太(印)、同宿宮下組頭清左衛門(印)	花瀬村庄屋・大庄屋格甚九郎	当宿宮下村へ清左衛門壱季奉公につき	切紙	1	
427	8	〔書状〕	(安政ヵ)	6	11(安政4年改めの袋にあ	太郎丸村庄屋　小野山善次郎	花瀬村庄屋 大庄屋格 甚九郎		継紙	1	
428	1～40	〔袋〕	安政4巳	11		蓮台寺村		袋上書き「安政四年 諸方請取切符入ル 巳十一月 蓮台寺村」、袋裏書き「穂波郡花」	袋	1	
428	1	〔書状〕	(安政ヵ)	9	26	大庄屋　役場	蓮台寺村庄屋聞次　甚九郎	村素徳米大豆764俵余の算用掛違いの件につき取調べ願い	継紙	1	
428	2	〔書状〕	(安政ヵ)	10	6	山方役所	蓮台寺村　庄屋　甚九郎	其村植立杉根掃夫銭丁銭900文指出し願い	継紙	1	
428	3	〔書状〕	(安政ヵ)	11	2	庄屋　和六	庄屋　甚九郎様	養育書上一件帳・借財道付帳引渡し願		1	
428	4	〔書状〕	(安政ヵ)	11	12	又五郎	蓮台寺村庄屋　甚九郎	一件につき手元より取調べ申す事	継紙	1	前欠。端裏書「先日之触状写」
428	5	〔書状〕	(安政ヵ)	11	17	大庄屋　宅右衛門	庄屋　甚九郎	雇船致し積下す件につき通知	継紙	1	作成者欄の箇所「右衛門」の前にくずし字のまま記入
428	6	〔書状〕	(安政ヵ)	12	9			村内混雑にて庄屋留守の事、借用の達書今日返納の事	継紙	1	端裏に俵数など書上あり
428	7	〔書状〕	(安政ヵ)		(15日以前)			御米船囲諸品割方未納につき催促	継紙	1	
428	8	蓮台寺村庄屋組頭乍恐申上ルロ上之覚	(安政ヵ)			〔蓮台村庄屋・組頭〕		御郡代様通行筋にて蓮台寺村技郷池尻忠右衛門牛2疋負いたし見咎めの件につき	継紙	1	
428	9	〔銀銭算用書上〕	(安政ヵ)					寅・卯年蔵方分、村方割合分につき	継紙	1	
428	10	御触雑用	卯(安政2)	6		大庄屋元(印)	蓮台寺村	割当りほか銭23貫34文につき差引書上	継紙	1	
428	11	預り	卯(安政2)	極月	29	蓮台寺村聞次　庄屋　甚九郎	舩頭　忠助	蓮台寺御除米代銭1貫500文につき	継紙	1	
428	12	請取	辰(安政3)	正月	18	大庄屋　役場(印)	庄屋　甚九郎	蓮台寺村分8貫800文につき	切紙	1	
428	13	〔運上銀・材木代ほか書上〕	辰(安政3)	4		大庄屋元　役場(印)	蓮台寺村	洲口銀22匁余ほか支払願い	切紙	1	
428	14	受取	辰(安政3)	7	14	大庄屋元(印)	蓮台寺村	銭3貫830文、非常方払橋夫銭の内	切紙	1	
428	15	〔触入用雑用銭割付〕	辰(安政3)	8		大庄屋元払(印)	蓮台寺邑	触雑用銭ほか差引不足分10貫445文につき	継紙	1	
428	16	〔俵口米高書上〕	辰(安政3)	9		大庄屋元(印)	蓮台寺村	米46俵1斗1升4合につき	切紙	1	
428	17	覚	辰(安政3)	10	9	村屋　定次(印・「筑前若松・村屋」)	蓮台寺村　御蔵元	卯冬不足分元利6貫545文受取	継紙	1	
428	18	証拠	辰(安政3)	10	26	若松出勤庄屋　和六(印)	蓮台寺村	蓮台寺村若松御刎来1俵売払につき	切紙	1	
428	19	10月上納銀	辰(安政3)	10		大庄屋元(印)	蓮台寺	洲口ほか代銭3貫122文につき内訳・支払期日書上	切紙	1	
428	20	長崎御奉行様御登達人馬割	辰(安政3)	10		大庄屋元(印)	蓮台寺村	人足29人・馬2疋・雑用銭580文	切紙	1	
428	21	従公儀御指下シ大長持人馬割	辰(安政3)	10		大庄屋元(印)	蓮台寺村	人足12人	切紙	1	
428	22	来巳間通仕組出銭	辰(安政3)	12		大庄屋元(印)	蓮台寺村	銭14貫481文、問屋払い期日書上	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
428	23	覚	辰(安政3)	12	21	飯塚屋　七兵衛	連大寺村庄屋　甚九郎	はね米4俵御届	切紙	1	
428	24	覚	辰(安政3)	12		大庄屋元	蓮台寺村へ	役場為替ほか70貫245文書上	継紙	1	
428	25	〔米運賃書上〕	巳(安政4)	5		大庄屋元(印)	(蓮台寺村)	16俵運賃米2斗8升2合書上	継紙	1	
428	26	11月上納銀	巳(安政4)	11		大庄屋元(印)	蓮台寺村	三品銀ほか70貫595文につき内訳・支払期日書上	折紙	1	
428	27	為替手形	(安政ヵ)	7	9	大庄屋役場(印)	蓮台寺村庄屋　甚九郎	曽助殿へ先月切符指入の夫銭3貫982文御渡し願い	継紙	1	
428	28	〔上納銭書上〕	(安政ヵ)	10	13			十月上納鉄砲并山札銀2匁桝代分共3貫225文大庄屋へ払い	切紙	1	
428	29	受取	(安政ヵ)	11	17	中村役場(印)	蓮台寺聞次　庄屋　甚九	丁銭13貫600文につき	切紙	1	
428	30	覚	(安政ヵ)	12	3	村屋　定治(印・「筑前若松・村屋」)	蓮台寺村　御蔵元	払い米・諸雑用銭13貫807文につき算用書上	継紙	1	
428	31	覚	(安政ヵ)					牛馬祈祷米・村雑用ほか書上	継紙	1	端裏書「善平面役」
428	32	覚	(安政ヵ)					三品銀・小物成ほか諸上納分172貫945文につき差引不足書上、俵口米16俵若松上納の事	継紙	1	
428	33	〔諸上納銀銭割付〕	(安政ヵ)			大庄屋元　役所向(印)	蓮台寺	三品銀113匁余、御郡切立丁銭9貫342文ほか書上	折紙	1	付紙1枚あり(山方上納小割)
428	34	米払事・割方詰事	(安政ヵ)					「平恒牛一件」ほか書上	折紙	1	
428	35	〔諸雑用銭割付〕	(安政ヵ)			大庄屋元(印)	蓮台寺村	別紙夫銭四口割当り銭6貫18文ほか4件につき支払期日書上	切紙	1	
428	36	〔大庄屋元払米書上〕	(安政ヵ)				蓮台寺村	米11俵1斗1升、支払期日書上	切紙	1	
428	37	〔諸掛米割付〕	(安政ヵ)				蓮台寺村	米50俵3斗2升4合書上	継紙	1	
428	38	〔諸借用銭算用覚〕	(安政ヵ)				蓮台寺村	幸袋家作銀貸付ほか302貫635文につ	切紙	1	
428	39	〔書付〕	(安政ヵ)	12	3ヵ	和六	庄屋　甚九郎	人払帳・宗旨帳ほか相渡	切紙	1	
428	40	覚						櫨209斤につき差引残り書上	継紙	1	
429	1～10	〔袋〕	(安政3～)					袋上書き「午年冬 諸方目録入」	袋	1	安政5年まで。429-1～10袋一括
429	1	酒通	安政3年辰	正月	11	いきす酒屋　五八郎	花瀬村　甚九郎		小横帳	1	
429	2	現銭酒通	安政5午	正月	11	伊支須酒屋　五八郎	花瀬村　甚九郎		小横帳	1	
429	3	〔御通〕	(安政3辰ヵ)					魚・野菜・酢など食品の通帳	小横帳	1	
429	4	覚	(安政5午ヵ)					鯨1斤ほか食品の通帳	長綴	1	
429	5	覚	午(安政5)	12		薩摩屋　新介	花瀬村　甚九郎	〆高5貫187文につき米1俵代など差引書上	継紙	1	
429	6	覚	(安政ヵ)	6	朔日	司藤	花瀬　甚九郎	帯代ほか9貫500文書上	継紙	1	
429	7	覚	巳(安政4)	12		さつまや　新介	花瀬庄屋　甚九郎	品々代5貫187文ほかにつき差引書上	切紙	1	
429	8A	覚	巳(安政4)	極月		柴屋　藤三郎	花せノ庄屋甚助	綿1斤ほか代銭8貫134文書上	継紙	1	
429	8B	覚	(安政4ヵ)	5	24	司馬屋　藤三郎	花瀬村庄屋　甚九郎	木綿2反ほか代銭10貫108文書上	継紙	1	
429	9	覚	巳(安政4)	12	23	いき須酒屋 五八郎	花瀬　甚九郎	品代5貫953文差引相済	継紙	1	
429	10	覚	巳(安政4)	12		醤油屋　善右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	卯年銭2貫380文書上	切紙	1	
430	1～11	〔袋〕	安政5					袋上書き「坂ノ下代地一件書類入」	袋		430-1～11袋一括
430	1	去ル子年洪水御田地未タ荒大破ニ付代地起立仕法御願帳	安政5午	8		大日寺村組頭　長右衛門、同　弥平、同　勝右衛門、同村庄屋　赤間曽助	嘉麻穂波　御郡代御役所		長帳	1	表紙墨書「極控」

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
430	2	炭焼代地田主人別ニ引渡現畝調子覚帳	文久元酉	4					長帳	1	
430	3	未タ荒御田地午未両年起立地味善悪書上之事	文久2	正月		大日寺村庄屋　甚九郎	嘉麻穂波御郡代御役所		折紙	1	
430	4	未タ荒御田地午未両年起立之内地味善悪書上之事	（文久2）			（大日寺村庄屋　甚九郎）			長綴	1	No.430-3の案文
430	5	戌ノ年之分	文久2戌	4		大日寺組頭　田中伊平、同　甚内、同村庄屋助役勝右衛門、同村庄屋　甚九郎	嘉麻穂波　御郡代御役所	人別の田畝高・肥料代書上	折紙	1	
430	6	〔酉年分人別畝高・肥料代書上〕	酉（文久1）						折紙	1	
430	7	〔書状〕	（安政5～文久2）	正月	19	庄屋助役　勝右衛門	庄屋　甚九郎	御田地未タ荒午未両年起立ニ相成分善悪書上の指出の件につき	継紙	1	
430	8	〔人別田畝高書上〕	（安政5～文久2）					炭焼分につき	継紙	1	No.430-7の別紙か
430	9	穂波郡大日寺村庄屋組頭乍恐御願申上候事	（安政5～文久2）			大日寺村庄屋	御郡代御役所	荒地作り土入方夫米拝借願い	継紙	1	案文
430	10	坂下代地	（安政5～文久2）					弥平下々田1反・高9斗余ほか書上	切紙	1	
430	11	預リ手形之事	（安政5～文久2）	正月	25	花瀬村庄屋　甚九郎	福丸　平次郎	米12俵代49貫200文受取	切紙	1	
431	1～29	〔袋〕	安政6未					袋上書き「未年諸方目録入 板場御取	袋	1	431-1～29一括
431	1	現銭酒通	安政6未	正月	11	伊岐須酒屋　五八郎	花瀬村　甚九郎		小横帳	1	
431	2	御通	安政6未	正月	吉日	ちとせや　孫六	花瀬村庄屋　甚九郎		小横帳	1	
431	3	覚	安政6未	3		糀源	花瀬村庄屋　甚九郎	糀ほか6斗余書上	折紙	1	
431	4	御通	安政6未	5		司馬屋　藤三郎	花瀬村庄屋　甚九郎		小横帳	1	
431	5	請取	安政6未	11	22	□□屋　百右衛門	花瀬村　彦三郎	櫨7俵請取	切紙	1	
431	6	請取	安政6	12	20	蔵元　弥四郎	花瀬村	鶏1羽請取、大庄屋元より触付に相渡し分	継紙	1	
431	7	覚	安政6	12	21	薩新	甚九郎	品物2斤半相渡ほか	切紙	1	
431	8	請取	安政6	12	21	ちとせや　孫六	花瀬村庄屋　甚九郎	米2俵請取、坂下口算用取替願い	継紙	1	
431	9	覚	安政6	12	22	ちとせや　孫六	花瀬村庄屋　甚九郎	鯨1斤ほか代金1貫688文請取	継紙	1	
431	10	覚	安政6	12	22	□(段ヵ)上　弥市	花せ　甚九郎	〆高2貫931文につき差引残高相渡	切紙	1	
431	11	請取	安政6未	12	22	糀屋　源蔵(印)	花せ村庄屋　甚九郎	米1俵請取	切紙	1	
431	12	覚	安政6	12	23	松浦屋　弥市	庄屋　甚九郎	ろうそく半斤ほか代銭3貫131文請取	継紙	1	
431	13	受取	安政6	12	24	司店	花瀬庄屋　甚九郎	米2俵請取	切紙	1	
431	14	覚	安政6	12	26	柴屋　藤三郎	花せノ　甚九郎	米2俵受取	切紙	1	
431	15	請取	安政6	12	29	柴屋　藤三郎	花瀬村庄屋　甚九郎	米1俵請取	切紙	1	
431	16	請取	安政6	12	29	ちとせや　孫六	花瀬村庄屋　甚九郎	米1俵請取	切紙	1	
431	17	覚	未（安政6）	12		薩摩屋　新介	花瀬村　甚九郎	手形入り40匁ほか代銭1貫580文書上	継紙	1	
431	18	覚	未（安政6）	12		森崎屋　喜左衛門	花瀬　甚九郎	酒1升ほか代銭1貫540文書上	継紙	1	
431	19	覚	（安政6ヵ）	12		かじ　利助	花瀬村　甚九郎	鶴ばし釼一丁ほか代銭932文書上	継紙	1	
431	20	覚	未（安政6）	12		森崎屋　喜左衛門	花瀬　甚九郎	酒3升余代金720文書上	切紙	1	
431	21	請取	未（安政6）	12		伊岐須酒屋　五八郎	花瀬村庄屋　甚九郎	酒代米2俵につき	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
431	22	覚	未(安政6)	12		司馬屋　藤三郎	花瀬村庄屋　甚九郎	きせる1本ほか代銭31貫935文につき差引算用書上	継紙	1	
431	23	覚	午(安政5)	極月		司馬屋　藤三郎	花瀬村庄屋　甚九郎	笠1枚ほか代金23貫48文書上	継紙	1	
431	24	覚	申(万延1)	極月		司馬屋　藤三郎	花瀬村　彦三郎	煙草入り1つほか代銭1貫398文書上	切紙	1	
431	25	覚	申(万延1)	極月		司馬屋　藤三郎	花瀬村庄屋　甚九郎	三寸釘40本ほか代銭17貫179文書上	継紙	1	
431	26	覚	(幕末期)	2	21	司馬屋　藤三郎	花瀬村　庄屋甚九郎	代銭差引不足12貫379文請求	継紙	1	
431	27	覚	(幕末期)	3	20	司馬屋　藤三郎	花瀬　甚九郎	彦三郎殿貸し1貫398文ほか差引算用書上	継紙	1	
431	28	覚	(幕末期)					午年分23貫48文ほか銭差引書上	継紙	1	
431	29	覚	未(安政6)	12	30	酒屋　五八郎(印)	花セ　甚九郎	米2俵書上	切紙	1	
432	1～35	〔袋〕	安政7申	正月ヨリ		庄屋　甚九郎		袋上書き「御用諸切符入」	袋	1	432-1～35袋一括
432	1	夫通	安政6未	5ヨリ		花瀬村			小横帳	1	
432	2	御郡夫通	安政6未			花瀬村			小横帳	1	
432	3	御用米銭請取通	安政7申	正月		大庄屋役場	花瀬村		小横帳	1	
432	4	運賃通	万延元申	9		舟庄屋　直右衛門	花瀬村		小横帳	1	
432	5	穂波郡花瀬村ヨリ御納メ申上ル事	(幕末期)	12	4	花瀬村庄屋　甚九郎	嘉麻穂波　御郡代御役所	田方御通1冊ほか	切紙	1	
432	6	〔出夫書上〕	未(安政6)	6		花瀬村		154人余分につき	折紙	1	
432	7	〔出夫書上〕	(幕末期)					未年分村40人ほか書上	折紙	1	〔未年分、午年分〕
432	8	〔諸入用算用書上〕	申(万延1)	3		大庄屋元(印)		大行司仕構入用5貫358文ほかにつき	折紙	1	
432	9	秋松橋材木出方掛方手伝夫	(幕末期)	1	29	花瀬村		銭1貫2文につき	切紙	1	1月29日切
432	10	さつま様御登達	申(万延1)	3		花瀬村		夫15人、馬1疋ほか	切紙	1	
432	11	〔書付〕	申(万延1)	4		花瀬		飯塚郡屋へ薪12貫送付願い	切紙	1	
432	12	〔人足銭割付〕	申(万延1)	4		花瀬村		飯塚内野両茶屋手伝夫ほか銭723文支払いにつき	切紙	1	
432	13	〔手伝出夫書付〕	(幕末期)					御茶屋手伝夫2人ほか	切紙	1	
432	14	肥後若殿様御登達	申(万延1)	5			花瀬村	銭216文升屋五平払い	切紙	1	
432	15	〔人足銭割付〕		6	11		花瀬	長尾御木屋樫炭石炭薪代郡屋作事手伝夫秋松橋材木流出ニ付木材渡など銭538文彦四郎払い	切紙	1	6月11日切
432	16	申人馬わり	(万延1)	7			花瀬村		切紙	1	
432	17	肥後肥前若殿様臨時割	申(万延1)	9			花瀬	馬8疋ほか書上	切紙	1	
432	18	〔役銭割付〕	申(万延1)	10			花瀬	長尾御在宅入用炭薪・御茶屋郡屋繕いほか銭585文彦四郎払い	切紙	1	
432	19	臨時追割	申(万延1)	11			花瀬村	夫7人・馬10疋につき	切紙	1	
432	20	酉仕組銭	(幕末期)	12	23		花瀬村	銭6貫800文割付	切紙	1	12月23日切
432	21	路わり	(幕末期)					花瀬分出夫馬数書付	切紙	1	
432	22	〔役銭割付〕	□	3		大庄屋元(印)	花瀬村	御免踊出銭568文、早打御通馬雇銭1貫200文につき	切紙	1	
432	23	〔役銭割付〕	申(万延1)	6		大庄屋許(印)	花瀬村	御禁裏御祈祷入用銭49文につき	切紙	1	
432	24	〔役銭割付〕	申(万延1)	7		大庄屋許(印)	花瀬村	定飛脚夫銭765文につき	切紙	1	
432	25	〔役銭割付〕	申(万延1)	7		大庄屋許(印)	花瀬村	長尾諸給銭682文につき	切紙	1	
432	26	受取	(幕末期)	8	18	大庄屋許(印)、駅通方□屋　寿作(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	御免踊桟敷料銭1貫文ほかにつき	切紙	1	
432	27	〔運上銀割付〕	申(万延1)	9		大庄屋許(印)	花瀬村	洲口ほか銭2貫465文につき	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
432	28	〔米俵数書上〕	申(万延1)	10		大庄屋許(印)	花瀬村	未年拝借ほか米9俵余書上	切紙	1	
432	29	〔役銭割付〕	申(万延1)	10	15	大庄屋許(印)	花瀬村	中嶋東橋掛替分銭689文ほか書上	切紙	1	
432	30	〔役米割付綴〕	申(万延1)	11		大庄屋許(印)	花瀬村	飯塚宿枡屋五平払い米2俵余ほか	綴	1	切紙2枚紙縒綴
432	31	請取	(幕末期)	11	23	頭取　五平、同　太七	花瀬村	米2俵ほか	切紙	1	
432	32	請取	申(万延1)	11	25	大庄屋元(印)	花瀬村	田方御通1通ほか	切紙	1	
432	33	受取	申(万延1)	12	28	大庄屋元(印)	花瀬村　蔵役所	米2俵余につき	切紙	1	
432	34	受取	申(万延1)	11	8	彦四郎(印)	花瀬村	別夫銭585文につき	切紙	1	
432	35	キナユン功能	(近世)					薬効能書付	長綴	1	
432B	1～11	〔袋〕	(安政7)					袋上書き「申冬諸方目録入ル」	袋	1	432B-1～11袋一括
432B	1	酒かよひ	安政7申	正月	11	伊支須酒屋　五八郎	花瀬村　甚九郎		小横帳	1	
432B	2	覚	(安政7頃)	12	25	千孫	庄屋　甚九郎	鯨1斤ほか代銭4貫494文書上	継紙	1	
432B	3	覚	申(万延1)	11		糀源	花せ村庄屋　甚九郎	糀6斗余書上	継紙	1	
432B	4	覚	申(万延1)	12		ちとせ屋　孫六	庄屋　甚九郎	午4月分元利138匁余書上	継紙	1	
432B	5	覚	(安政7頃)	2	29	ちとせ屋　孫六	花せ庄屋　甚九郎	椎茸25匁ほか代銭3貫308文書上	継紙	1	
432B	6	覚	酉(文久1)	正月	24	森崎屋　彦左衛門	庄屋　甚九郎	当年分酒代3貫168文催促	継紙	1	
432B	7	おぼへ	申ノ(万延1)	12		かじノ　甫助	花瀬　甚九郎	鎌仕直し代・釘代ほか代銭538文書上	切紙	1	
432B	8	覚	(安政7頃)	12	29	古川寿助	花瀬村庄屋　甚九郎	夫半九郎分銭280文書上	切紙	1	
432B	9	覚	申(万延1)	12		こんや　又三郎	花瀬村　大和甚九郎	こんかせほか代銭9貫650文書上	継紙	1	
432B	10	覚	申(万延1)	12		森崎屋　喜左衛門	花瀬村　彦三郎	酒代1貫180文ほか書上	切紙	1	
432B	11	覚	申(万延1)	12	21	ちとせや　孫六	花瀬　庄屋　甚九郎	大4本ほか代銭1貫842文書上	切紙	1	
433	1～6	〔袋〕	酉(文久1)	正月				袋上書「万延二年御払下ヶ米請度去申冬未進借り入蒔麦畝数書上帳入　難渋之者書上入花瀬村分　大日寺村分」、袋裏上書「花瀬村宗旨御改帳　弐冊之内浄土宗」	袋	1	433-1～6袋一括
433	1	穂波郡大日寺村移住之社人青柳大炊忰磯十桜井入帳御願申上ル	文久2	正月		大日寺村庄屋　甚九郎(印)ほか3名	嘉麻穂波　御郡代御役所	奥書あり(中村大庄屋清水宅右衛門より四宮市右衛門・田中又十郎宛)	継紙	1	
433	2	花瀬大日寺両村御拝借并御救米人別小割書上帳村控	文久元酉	8		庄屋　甚九郎			長帳	1	
433	3	申年御上納米未進取約メ帳	申(万延1)			花瀬村			長帳	1	
433	4	申十二月十日未進立	申(万延1)					人別米俵数ほか書上	長綴	1	
433	5	覚	(文久1頃)	4	7	大行司出勤	花瀬村	かしめ18貫900目書上	切紙	1	
433	6	〔断簡〕	(幕末期)			(印・「筑前芦屋・「マル・大」・大黒や」)		莚代ほか書上	断片	8	
434	1～16	〔袋〕	(万延2)					袋上書き「酉年目録入」	袋	1	434-1～16袋一括
434	1	酒通	万延2酉	正月	11	伊岐須酒屋　五八郎	花瀬村　甚九郎		小横帳	1	
434	2	覚	酉(文久1)	12		紺屋　又右衛門	花瀬村　大和甚九郎	こん切りほか代銭18貫859文書上	継紙	1	434-2～5紙縒一括
434	3	覚	未(安政6)	12		紺屋　又三郎	花瀬村　庄屋甚九郎	鼠形女物ほか代銭11貫735文書上	継紙	1	
434	4	覚	巳ノ(安政4)	12		紺屋　又三郎	花瀬村　甚九郎	織糸かせほか代銭11貫595文書上	継紙	1	
434	5	覚	午(安政5)	12		こんや　又三郎	庄屋　甚九郎	浅き切ほか代銭7貫438文書上	継紙	1	
434	6	覚	酉(文久1)	12		しまや　新作	花瀬村　庄屋甚九郎	申年指引不足4貫76文ほか算用願い	継紙	1	
434	7	預り手形	文久元酉	12		花瀬村庄屋　甚九郎(印)	角屋　和蔵	正金10両につき	切紙	1	
434	8	覚	酉(文久1)	極月		司馬屋　藤三郎	花瀬村庄屋　甚九郎	足袋2足ほか代銭19貫197文書上	継紙	1	
434	9	おぼへ	酉(文久1)	12		かじ　利右衛門	花セ　甚九郎	かにつめ作かへ1丁ほか代銭338文書	切紙	1	
434	10	覚	酉(文久1)	12		醤油屋　善右衛門	花瀬　甚九郎	卯年分銭2貫380文書上	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
434	11	覚	酉(文久1)	12		糀源	花せ村庄屋　甚九郎	糀7斗余書上	折紙	1	
434	12	覚	酉(文久1)	12		森崎屋　喜左衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	酒代ほか代3貫104文書上	切紙	1	
434	13	覚	酉(文久1)	12		森崎屋　喜左衛門	花瀬　彦三郎	代銭1貫180文ほか書上	切紙	1	
434	14	〔米銭算用書上〕	(文久1頃)					米俵数書上	折紙	1	
434	15	〔用銭割付〕	(文久1頃)				甚九郎	銭898文ほか	切紙	1	
434	16	〔切紙〕	(文久1頃)					大日寺村庄屋大庄屋格甚九郎とあり	切紙	1	
435	1～2	〔袋〕	(文久2)					袋上書「御通り書物書類入ル」	袋	1	435-1～2袋一括
435	1	達御用手帳	文久2戌	正月		大和甚九郎			小横帳	1	文久2年戌　正月ヨリ
435	2	御通人馬通	文久2戌	正月		継所	大日寺村		小横帳	1	
436	1～10	〔袋〕	文久2					袋上書「戌冬諸方目録入」	袋	1	436-1～10袋一括
436	1	覚	酉(文久1)	極月		ちとせや　孫六	花せ村庄屋　甚九郎	塩鯛ほか諸品代銭書上	長綴	1	
436	2	覚	戌(文久2)	12		ちとせや　孫六	花セ村庄屋　甚九郎	塩4俵ほか代銭38貫350文書上	継紙	1	
436	3	覚	戌(文久2)	12		ちとせや　孫六	大日寺村庄屋　甚九郎	小中折1束ほか代銭10貫170文書上	継紙	1	
436	4	覚	戌(文久2)	12		乙丸紺屋　又右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	紺織りかせほか代銭6貫515文書上	継紙	1	
436	5	覚	戌(文久2)	極月		司馬屋　藤三郎	花瀬村庄屋　甚九郎	中折1状ほか代銭40貫493文書上	継紙	1	
436	6	覚	亥(文久3)	正月		ちとせや　孫六	庄屋　甚九郎	小中折1状ほか代銭50貫665文につき差引算用書上	切紙	1	
436	7-1	覚	申(万延1)	12		千年屋　孫六	花瀬村庄屋　甚九郎	ろうそく1斤ほか代銭19貫279文など引合願い	継紙	1	436-7-1、2同折
436	7-2	覚	(幕末期)	7	12	ちとせや　孫六	花せ村庄屋　甚九郎	ろうそく400目ほか代銭888文書上	切紙	1	
436	8	覚	(幕末期)	10	12	司馬屋　藤三郎	花瀬村　甚九郎	蝋そく5本ほか代銭1貫289文書上	継紙	1	
436	9	覚	(幕末期)	12	21	司藤	花瀬村　甚九郎	目録〆39貫58文につき差引算用書上	継紙	1	
436	10	覚	(幕末期)	12	23	司馬屋　藤三郎	花せ村　甚九郎	ろふそく半斤ほか代銭1貫707文書上	継紙	1	
437	1～62	〔袋〕	文久2戌	正月		庄屋　甚九郎		袋上書き「御用切符并請取入ル」	袋	1	437-1～62袋一括、表題は袋上書
437	1	穂波郡横田村庄屋彦三郎乍恐御注進申上ル事	文久2	7		横田村庄屋　彦三郎(印)	嘉麻穂波　御郡代御役所	大日寺村茂三郎宮角力・博打など好み郡村妨げに成るにつき詮儀願い	継紙	1	
437	2	〔書状〕	(幕末期)	5	10	帯屋　平三郎	花瀬村庄屋　甚九郎	御仕組銀受取ほか	切紙	1	
437	3	〔書状〕	(幕末期)	11	9	普請方　彦四郎	花瀬大日寺両村庄屋　甚九郎	大行司中師等の家建方職人賃銭割方の件	切紙	1	
437	4	〔書状〕	(幕末期)	11	13	大庄屋　役場	庄屋　甚九郎	当月上納銀受取の件、郡切立引合せの件ほか	切紙	1	
437	5	覚	戌(文久2)	11	4	花瀬・大日寺両村庄屋甚九郎(印)	嘉麻穂波　御郡代御役所	田方御通2冊ほか上納の事	折紙	1	
437	6	〔運上銀割付〕	戌(文久2)	4		大庄屋元(印)	花瀬村	洲口ほか4月運上2貫274文割付	切紙	1	
437	7	〔役銭割付〕	戌(文久2)	6		大庄屋元(印)	花瀬村	直飛脚夫銭ほか銭1貫540文割付	切紙	1	
437	8	〔役銭割付〕	戌(文久2)	6		大庄屋元(印)	大日寺村	直飛脚夫銭ほか銭4貫296文割付	切紙	1	
437	9	〔役銭割付〕	戌(文久2)	6		大庄屋元(印)	花瀬村	正福寺龍花院勧化寺納銭655文割付	切紙	1	
437	10	〔役銭割付〕	戌(文久2)	6		大庄屋元(印)	大日寺村	正福寺龍花院勧化寺納銭1貫809文割付	切紙	1	
437	11	〔役銭割付〕	戌(文久2)	8		大庄屋元(印)	花瀬村	踊入切割当り銭1貫993文ほか割付	切紙	1	
437	12	〔給米割付〕	戌(文久2)	9		大庄屋元(印)	花瀬村	大行事中出蔵番利介給米5升余同人	切紙	1	
437	13	〔運上銀割付〕	戌(文久2)	10		大庄屋元	花瀬村	洲口ほか3貫40文書上	切紙	1	
437	14	〔納米割付〕	戌(文久2)	10		大庄屋元(印)	花せ村	大行事現米納割付分20俵余書上	切紙	1	
437	15	〔上納銀割付〕	戌(文久2)	11		大庄屋元(印)	花瀬村	11月分三品銀60目余ほか書上	折紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
437	16	〔役銭割付〕	戌(文久2)	12		大庄屋元(印)	花瀬村	山口大神宮様寄附銭1貫210文片島山口屋払い	切紙	1	
437	17	〔役銭割付〕	戌(文久2)	11		大庄屋元(印)	花瀬村	御仕組金拝借高元利残り48貫441文ほか大行司上納	切紙	1	
437	18	〔役銭割付〕	戌(文久2)	12		大庄屋元(印)	花瀬村	奉幣使之内割方銭2貫854文ほか割付	切紙	1	
437	19	覚	午(安政5)	12		森崎屋　喜左衛門	花瀬　彦三郎	酒代1貫180文ほか書上	切紙	1	
437	20	〔梅苗割付〕	(幕末期)	正月	24	大庄屋元(印)	花瀬村	梅苗8本郡家払い	切紙	1	
437	21	覚	(幕末期)	12	朔日	蔵番　利助	大日寺村　米払　多作	蝋4つほか代銭960文書上	切紙	1	
437	22	〔書付〕	(幕末期)					花瀬村よりの年賦米1斗余上納願い	切紙	1	
437	23	触用ひかえ	(幕末期)					大日寺・花瀬玉子鶏数書上	長綴	1	
437	24	請取	戌(文久2)	4	14	大庄屋役場(印)	花瀬村	当月諸上納銭2貫274文受取	切紙	1	
437	25	請取	戌(文久2)	7	9	大庄屋元(印)	花瀬村	正福寺龍花院奉加寺納ほか銭2貫195文請取	切紙	1	
437	26	請取	戌(文久2)	7	10	直方　清水寿作(印)	花せ村	舟賃ほか銭1貫200文請取	切紙	1	
437	27	請取	戌(文久2)	8	11	出勤庄屋　伴蔵	花瀬村	社倉御備上納麦1俵余請取	切紙	1	
437	28	覚	戌(文久2)	8	15	御仕組受持　帯屋　平三郎	花瀬村　甚九郎	巳元金5両につき算用書上	切紙	1	
437	29	請取	戌(文久2)	8	28	大庄屋元(印)	花せ村	踊出銭1貫993文請取	切紙	1	
437	30	請取	戌(文久2)	11	13	大庄屋元(印)	花瀬村	当月上納銀23貫400文受取	継紙	1	
437	31	覚	戌(文久2)	10	13	菓子屋利平	花瀬村庄屋　甚九郎	京都愛宕山御初穂米4升余請取	切紙	1	
437	32	請取	戌(文久2)	11	15	庄屋　篠崎仁右衛門(印)	花せ村	諸返納米17俵請取	切紙	1	
437	33	請取	戌(文久2)	12	23	大庄屋役場(印)	花瀬村	御郡切立米3俵請取	切紙	1	
437	34	請取	戌(文久2)	12	23	大庄屋役場(印)	大日寺村	御郡切立米13俵余請取	切紙	1	
437	35	〔初穂銭割付〕	戌(文久2)	12		大庄屋元(印)	花瀬村	大社蝗除御祈祷御初穂銭541文割付	切紙	1	
437	36	請取	(幕末期)	2	12	帯屋　平三郎(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	御仕組金銀預4貫550文受取	切紙	1	
437	37	受取	(幕末期)	3	25	直方　清水寿作(印)	大日寺村	仕組銭3貫400文受取	切紙	1	
437	38	受取	(幕末期)	7	3	伊藤和六	花瀬庄屋　甚九郎	切手2貫文受取	切紙	1	
437	39	覚	(幕末期)	7	19	からしや　源蔵(印)	甚九郎	花瀬・大日寺村分御初穂840文受取	切紙	1	
437	40	請取	(文久2)	閏8	27	大庄屋役場(印)	庄屋　甚九郎	名寄帳両村分ほか請取	切紙	1	
437	41	請取	(文久2)	閏8	28	大庄屋元(印)	大日寺村	進物用鶏卵30請取	切紙	1	花瀬村宛分1通糊付付属
437	42	覚	(幕末期)	9	20	蔵番　利助	花瀬村	家質米2升受取	切紙	1	
437	43	受取	(幕末期)	9	29	大庄屋役場(印)	庄屋　甚九郎	触用口金2歩ほか受取	切紙	1	
437	44	請取	(幕末期)	10	7	山口屋　和七	花瀬村庄屋　甚九郎	触雑用口銭3貫400文受取	切紙	1	
437	45	受取	(幕末期)	11	22	庄屋　六右衛門	庄屋　甚九郎(印)	触用口に丁銭8貫600文受取	切紙	1	
437	46	請取	(幕末期)	11	22	山口屋　和七	大日寺村庄屋　甚九郎	米1俵・銭2貫500文受取	切紙	1	
437	47	請取	(幕末期)	12	25	彦四郎	花瀬村	長屋夫銭1貫431文ほか請取	切紙	1	
437	48	覚	(幕末期)	極月	3	帯屋　久左衛門	花瀬村　甚九郎	金元利6両余相渡	切紙	1	
437	49	間通追割	酉(文久1)	9		大庄屋元(印)	花瀬村	夫38人ほか割付	切紙	1	「下旬御上使割(年月日不詳)」1通貼
437	50	肥後様下り	戌(文久2)	3		(大庄屋元)	花瀬	夫14人・馬4疋ほか割付	切紙	1	
437	51	薩州様御登達	戌(文久2)	3		(大庄屋元)	花瀬	夫13人・馬5疋ほか割付	切紙	1	
437	52	長崎御奉行御登達	戌(文久2)	7		大庄屋元(印)	花瀬	夫9人・馬2疋ほか割付	切紙	1	
437	53	嶋津様御供達割	戌(文久2)	9			花瀬	夫7人・馬2疋書上	切紙	1	「間通四割割(戌10月)」1通貼付

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
437	54	亥間通	戌(文久2)	12		(大庄屋元)	花瀬	夫135人・馬30疋書上	切紙	1	
437	55	戌ノ間通追割	(文久2ヵ)	6		大庄屋元(印)	花瀬村	人足38人・馬12疋割付	切紙	1	
437	56	〔引越入用銭割付〕	戌(文久2)	6		大庄屋元(印)	花瀬	大穂喜平次殿引越入用銭308文割付	切紙	1	
437	57	〔役銭割付〕	戌(文久2)	11			花瀬村	長屋炭薪代持出夫ほか銭1貫431文割付	切紙	1	
437	58	〔役銭割付〕	(幕末期)				花瀬村	御茶屋砂持夫銭ほか1貫122文普請方払い	切紙	1	
437	59	〔書付〕	(幕末期)				花瀬村	夜着4つ・ふとん5つ郡屋払い	切紙	1	
437	60	〔役銭割付〕	(幕末期)			(大庄屋元)	花瀬	銭280文普請方彦四郎払い	切紙	1	
437	61	〔書付〕	(幕末期)				花瀬	ふとん5枚ほか書上	切紙	1	
437	62	〔丁銭預り〕	(幕末期)					丁銭5文預り	切紙	1	
438	1～2	〔袋〕	文久3亥	正月改ル				袋上書き「亥上納向一切諸切符入」	袋	1	438-1～2袋一括
438	1	〔米代書上〕	亥(文久3)	12		大庄屋元(印)	花瀬村	御拝借米10俵ほか代銀預73貫666文書上	切紙	1	
438	2	〔役銭割付〕	亥(文久3)	12		大庄屋元(印)	花瀬	大行事割銭1貫875文につき差引書上	切紙	1	
439	1～17	〔袋〕	元治元子	4月改ル				袋上書き「花瀬大日寺両村方 文久元酉年御拝借米御救米割渡小割書上文久亥冬ヨリ子年迄御拝借御救米割渡小割書状入　仕組根帳も入」	袋	1	439-1～17袋・紐一括
439	1	亥年迄之未進銭口書抜捨切并払出控帳	文久4子	正月				表紙墨書「捨切小割帳茂先ニ有り」	長帳	1	
439	2	御拝借米亥冬ヨリ子年迄御渡方割渡シ人別名寄帳	文久4子	3		庄屋　大和甚九郎		表紙墨書「申酉拝借渡根并御仕組金根共有り」・「類寄分根」。表紙朱書「渡計年賦上納□此帳面ヨリ取出事」	長帳	1	「御払下ヶ米請渡并諸費根帳(万延元年12月)」合綴
439	3	御拝借米亥冬ち子年迄追々御渡方割渡帳	文久4子	3				表紙墨書「花瀬・大日寺両村分」。表紙朱書「度々渡根」	長帳	1	
439	4	御拝借米并御救米小割書上控	元治元子	4				表紙墨書「花瀬・大日寺両村方」	長帳	1	
439	5	御拝借米人別渡方割根并小売米渡銭取立帳	慶応2丑	5					長帳	1	
439	6	籾囲摺立上納并諸返納米割方名寄帳	慶応2寅	11					長帳	1	
439	7	御拝借口々上納割方名寄帳	慶応3卯	10				表紙墨書「大日寺村分」	長帳	1	
439	8	〔年賦上納米等割付帳〕	(幕末維新期)						長帳	1	
439	9	〔年賦上納米等書上〕	子(文久4)	3		大庄屋許(印)	大日寺村	5ヶ年賦上納米など米25俵	切紙	1	
439	10	〔年賦上納米等書上〕	子(文久4)	3		大庄屋許(印)	花瀬村	5ヶ年賦上納米など米9俵	切紙	1	
439	11	〔年賦上納等書上〕	子(文久4)	7		大庄屋元(印)	大日寺村	3ヶ年賦上納米など18俵	継紙	1	
439	12	〔年賦上納米等書上〕	子(文久4)	7		大庄屋元(印)	花瀬村	3ヶ年賦上納米など6俵	切紙	1	
439	13	〔上納米銭書上〕	寅(慶応2)	11		大庄屋許(印)	大日寺村	当寅内借御馳分26俵ほか	書綴	1	
439	14	〔俵高銭等書上〕	卯(慶応3)	12		大庄屋元(印)	花瀬村	51貫467文大行事利助払いほか	折紙	1	
439	15	請取	辰(明治1)	12	6	大行司　喜平(印)	花せ村	安恒行之分米3俵請取	切紙	1	
439	16	大和甚九郎殿庄屋給米御割出控	(幕末維新期)					大日寺割米4俵余ほか書上	切紙	1	
439	17	覚	(幕末維新期)					米3俵2歩日割ほか書上	切紙	1	
440	1～68	〔袋〕	文久4子	正月ヨリ				袋上書き「文久四年 諸切符受取入 子正月ち巳」	袋	1	440-1～48袋・紙縒一括

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
440	1	覚	子(文久4)	12	17	飯塚　古川伝三郎(印)	花瀬村庄屋　大和甚九郎	御扶持方為替米の内13俵受取	切紙	1	
440	2	受取	丑(元治1)	3	24	蒔田庄屋　与三郎	花瀬庄屋　大和甚九郎	去冬触用銭の内12貫文につき	継紙	1	
440	3	請取	(幕末維新期)	9	2	大庄屋元(印)	大・花両村	小割帳・御納方控ほか請取	切紙	1	
440	4	受取	子(文久4)	6	29	大庄屋許(印)	庄屋　大和甚九郎	小間物など2貫491匁ほか受取	継紙	1	
440	5	四月運上	子(文久4)	4		大庄屋許(印)	花瀬村	洲口・玉子運上銀1貫470文割付	継紙	1	
440	6	受取	亥(文久3)	8	23	出勤庄屋　弥一郎(印)	大日寺村	御通用銭7月割分銭3貫408文受取	切紙	1	
440	7	〔書状〕	(幕末維新期)	8	22	五八郎	甚九郎	銀預り1両指上げ	切紙	1	
440	8	受取	子(文久4)	2	3	大庄屋許(印)	花瀬・大日寺両村役人中	両村御灯台夫銭4貫570文受取	切紙	1	
440	9	〔役銭割付〕	子(文久4)	3		大庄屋元(印)	花瀬村	長尾諸給銭并大庄屋元定飛脚夫銭1貫212文につき	切紙	1	
440	10	———(ママ)庄屋組頭乍恐御願申上ル事	(幕末期)					当村某の村預け御免願い	継紙	1	雛形
440	11	受取	(幕末期)	6	4	出勤庄屋	庄屋　大和甚九郎	野村様御泊り入用につき鶏1羽受取	切紙	1	
440	12	〔書状〕	(幕末期)	8	23	大庄屋元(印)	庄屋　大和甚九郎	願書に大日寺分勤印不足の件ほか	継紙	1	
440	13	請取	子(文久4)	8	22	大庄屋元(印)	花瀬村	御勤印2つ受取	切紙	1	No.440-12と関連
440	14	請取	子(文久4)	8	22	大庄屋許(印)	大日寺村	御勤印5つ受取	切紙	1	No.440-12と関連
440	15	受取	(幕末期)	9	10	大行事　利助(印)	花瀬村	鶏1羽受取	切紙	1	
440	16	受取	子(文久4)	7	27	普請方　野見山彦四郎	花瀬村	長尾御役所御引越人用分半縄2束受	切紙	1	
440	17	覚	子(文久4)	4			花瀬村	長尾夫銭ほか4貫469文割付	切紙	1	
440	18	請取	子(文久4)	7	27	大庄屋元(印)	花瀬村	出福入用につき鶏卵10受取	切紙	1	
440	19	〔上納銭割付切符〕	子(文久4)	正月		大庄屋許(印)	花瀬村	波奈・洲崎砲台入用材木買上銀につき	切紙	1	
440	20	〔人馬割付切符〕	亥(文久3)	12		大庄屋元	花瀬	子年御通人馬見込割	切紙	1	
440	21	受取	子(文久4)	3	29	大庄屋元(印)	格庄屋　大和甚九郎	御役所御状・御書附受取	継紙	1	
440	22	請取	(幕末期)	5	5	普請方　野見山彦四郎	大和甚九郎	長尾夫銭ほか銭6貫500文受取	継紙	1	
440	23	覚	(幕末期)					追俵口米ほか98俵余につき算用書上	切紙	1	
440	24	〔書状〕	子(文久4)	12	16	古川伝三郎	大和甚九郎	為替米13俵差出しの件	継紙	1	
440	25	受取	(幕末期)	3	19	大行事出勤	花瀬村	玉子15受取	切紙	1	
440	26	〔役銭割付切符〕	子(文久4)	11			花瀬村	利助受負渡賃ほか割付	切紙	1	
440	27	〔役銭割付切符〕	子(文久4)	8		大庄屋許(印)	花瀬大寺両村庄屋　大庄屋格　大和甚九郎	御熨斗鮑代4貫455文割付	切紙	1	
440	28	請取	(幕末期)	12	26	帯店(印)(飯塚)	花瀬村庄屋　甚九郎	米1俵請取	切紙	1	
440	29	覚	(幕末期)	12	26	飯塚頭取舟頭　和七	花セ村　御蔵方	運賃米残分1俵受取	切紙	1	
440	30	去戌過上	(幕末期)	4		大庄屋元	花瀬村	夫16人余代3貫362文につき	切紙	1	
440	31	〔役銭割付切符〕	(幕末期)			大庄屋元(印)	花瀬	大行事割銭3貫350文割付	切紙	1	
440	32	〔役銭割方切符〕	子(文久4)	12		大庄屋元(印)	花瀬村	御囲米蔵詰諸費2貫14文割付	切紙	1	
440	33	〔役銭割付切符〕	(幕末期)			大庄屋元(印)	花瀬村	戌御通石高雇舟賃6貫937文割付	切紙	1	
440	34	〔役銭薪割付切符〕	子(文久4)	12			花瀬村	内野御茶屋道具蔵材木持出夫銭710文ほか割付	切紙	1	
440	35	去御通用銭約メ不足并ニ当正月七月両度三触わり当り大割方切府前	子(文久4)	7		大庄屋元(印)	花瀬	銭1貫883文につき	切紙	1	
440	36	〔役銭割付切符〕	子(文久4)	7		大庄屋元(印)	花瀬村	御借米雑用割方930文年番払い	切紙	1	
440	37	〔役納銭割付切符〕	(幕末期)				花瀬村	長尾御役所御引越ほか銭5貫616文普請方彦四郎払い	切紙	1	
440	38	受取	(幕末期)	6	4	青柳式部(印)	花瀬　甚九郎	切手3貫400文受取	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
440	39	〔役銭割付切符〕	子(文久4)	6			花瀬	宮吉村へ関門達方につき材木持出夫銭1貫40文普請方払い	切紙	1	
440	40	〔役銭割付切符〕	子(文久4)	9		大庄屋許(印)	花瀬村	若松波除夫銭ほか銭3貫94文割付	切紙	1	
440	41	10月運上	子(文久4)	10		大庄屋許(印)	花瀬村	洲口・玉子ほか3貫113文割付	継紙	1	
440	42	請取	子(文久4)	9	30	大庄屋許(印)	大和甚九郎	若松波除夫銭400文受取	切紙	1	
440	43	請取	子(文久4)	10	17	ちとせや　孫六	花せ村庄屋　甚九郎	米1俵受請取	切紙	1	
440	44	〔役銭割付切符〕	子(文久4)	9		大庄屋許(印)	花瀬	撰米8升親村払い	切紙	1	
440	45	〔覚〕	(幕末期)					上納米3割増につき算用書上	切紙	1	
440	46	請取	(幕末期)	11	15	大庄屋役場	花瀬村、大日寺村	上納銀24貫文ほか受取	切紙	1	
440	47	受取	子(文久4)	10	14	大庄屋元(印)	花瀬村	当月御運上銀に銭2貫710文受取	切紙	1	
440	48	〔役米割付切符〕	子(文久4)	11		大庄屋元(印)	花瀬村	古川伝三郎御扶持方につき米29俵余割付	切紙	1	
440	49	〔算用書上〕	(幕末期)					19本立、17本立の代金書上	切紙	1	
440	50	〔書状〕	(幕末期)	11	8	角屋　又吉	大和甚九郎	金子利方114両請取につき手形返納の	切紙	1	
440	51	〔役米割付切符〕	子(文久4)	11		大庄屋許(印)	花瀬村	2合米2俵余行事払い	切紙	1	
440	52	〔役米割付切符〕	子(文久4)	11		大庄屋元(印)	花瀬村	御除米7俵余ほか割付	切紙	1	
440	53	御通人馬追割切符	子(文久4)	10		大庄屋元(印)	花せ	人足92人・馬20足書上	切紙	1	
440	54	〔役銭割付切符〕	(幕末期)			大庄屋元払(印)	花瀬	御代官様御仕組講4貫210文割付	切紙	1	
440	55	〔役米割付切符〕	子(文久4)	11		大庄屋許(印)	花瀬村	御郡囲・非常備米64俵割方	切紙	1	
440	56	〔書状〕	(幕末期)	11	21	普請方　野見山彦四郎	花瀬庄屋　大和甚九郎	大行事夫銭受取、御免賃銭は長尾御引越関門建方に立用の事	継紙	1	
440	57	〔役銭割付切符〕	子(文久4)	4			花瀬村	飯塚人馬継所建方材木持出夫銭2貫427文普請方払い	切紙	1	
440	58	〔役銭割付切符〕	子(文久4)	11		大庄屋許(印)	花瀬村	15本分ほか銭9貫676文書上	切紙	1	
440	59	覚	子(文久4)	10	29	帯屋　久左衛門	大和甚九郎	元利34両余受取	切紙	1	
440	60	〔役銭割付切符〕	子(文久4)	11		大庄屋許(印)	花瀬村	御郡切立米6俵余割付	切紙	1	
440	61	〔役銭割付切符〕	子(文久4)	12		大庄屋許(印)	花瀬村	銭26貫80文割付	切紙	1	
440	62	〔役米割付切符〕	子(文久4)	11		大庄屋許(印)	大日寺村	御郡切立米14俵余割付	切紙	1	
440	63	来丑御通人馬大割切符	子(文久4)	12		大庄屋元(印)	花瀬	人足273人・馬60疋書上	切紙	1	
440	64	請取	子(文久4)	12	23	大庄屋　清水宅右衛門	花瀬村	米9俵余受取	切紙	1	
440	65	〔役米割付切符〕	子(文久4)	12		大庄屋　清水宅右衛門	花瀬村	溝口掛り米9俵余割付	切紙	1	
440	66	〔御陣屋入用薪割付切符〕	子(文久4)	11			花瀬村	雑薪44〆伐取り	切紙	1	
440	67	〔割付目録〕	子(文久4)	12		大庄屋元(印)	花瀬	村割ほか22貫944文につき差引書上	折紙	1	
440	68	〔花瀬米割付書上〕	亥(文久3)	12				御村中・御庄屋甚九郎分ほか米2斗余につき	折紙	1	
441	1～43	〔袋〕	元治元	正月				袋上書き「元治元年子諸切符共受取	袋	1	441-1～43袋一括
441	1	覚	午(安政5ヵ)	3		藤本八郎大夫代　大嶋清朔(印)	花瀬村　御役元	御初穂として札16貫200文と秋札1匁神納	切紙	1	年代比定は未確定。12年前の安政期頃の可能性もあり
441	2	書状	卯(慶応3)	12	2	小野山彦三郎(印)	大和甚九郎	先月分月払正金5両受取	継紙	1	
441	3	覚	辰(明治1)	12	5	糀屋　善五郎	花瀬村　大和甚九郎	預ヶ入55貫530文につき元利差引書上	継紙	1	
441	4	受取	(幕末維新期)	4	23	秋松村庄屋　又四郎	花瀬村　甚次(郎入ルカ)	銭10貫300文受取	継紙	1	
441	5	〔米俵数書上〕	巳(明治2)	8		触口許(印)	花瀬村	安直御払下げ割当米4俵書上	切紙	1	
441	6	覚	午(安政3)	11	6	秋松村　十平	花瀬村　弥助様	銀預り元利182貫604文書上	切紙	1	
441	7	覚	午(明治3)	12		□酒屋	庄屋　甚九郎様	酒代不足14貫文書上	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
441	8	〔書状〕	（幕末維新期）	11	20	庄屋　清水寿作	庄屋　大和甚九郎様	いきす講当夏中貴兄様御受取金の内千孫名代之分未払いにつき算用願い	継紙	1	
441	9	覚	（幕末維新期）	正月		糀屋　善五郎	花瀬村　大和甚九郎	卯年算用分ほか90貫430文につき差引算用書上	継紙	1	
441	10	〔垣廻り竹・晒竹大小本数書上〕	（幕末維新期）						折紙	1	
441	11	〔奥羽出兵追割分切符〕	辰（明治1）	10		触口許（印）	花瀬村	正金1両余役場払い	切紙	1	（明治元か←触口
441	12	〔廻状〕	（明治前期）	6	16	十小区副戸長　立石三郎兵衛（印）		乞雨の為め龍王獄へ登上いたす処評義一決につき村々其心得にて登上すべき事	罫紙	1	前欠。袋とした痕跡ああり
441	13	請取	（幕末維新期）	4	6	庄屋　宅七	花瀬村	勘定奉行様御泊り入用につき鶏1羽受	継紙	1	
441	14	請取	（幕末維新期）	10	3	米屋　宗右衛門	庄屋　甚九郎	預り口に正金1両余請取	切紙	1	前欠
441	15	覚	（幕末維新期）	11	14			鶏代7貫716文硯筆代など差引残金請	切紙	1	
441	16	辰正月末進上	辰（明治1）	正月				甚一5貫780文ほか12名分書上	継紙	1	
441	17	請取	卯（慶応3）	12	28	糀屋　善五郎	大和甚九郎	米5俵ほか受取	切紙	1	
441	18	諸運上銀切符	（幕末維新期）				花瀬	洲口・玉子分銀14匁割付	切紙	1	
441	19	〔米請取〕	卯（慶応3）	8		花瀬・大日寺両村庄屋大和甚九郎（印）	大庄屋　清水宅右ェ門様	両村年貢米ほか57俵積船頭へ相払い	折紙	1	
441	20	覚	（慶応3）	7	12	彦三郎、寿作	大和甚九郎	正金35両余につき算用書上、残金3朱・札340文彦三郎へ送金願い	継紙	1	後に彦三郎より甚九郎宛、卯7月12日覚（柳助より1両1歩・札1貫620文受取、同人残分は松本分へ受取願いほか）あり
441	21	千□代（干物代ヵ）	（幕末維新期）					大日寺村・花瀬村分ほか	折紙	1	
441	22-1	〔追割切符〕	辰（明治1）	12		触口許（印）	花瀬村	関東行夫銭追割1両余割付	綴	1	
441	22-2	〔役銭割付切符〕	辰（明治1）	12		触口許（印）	花瀬	触用村わりほか64貫94文につき差引書	綴	1	
441	23	覚	辰（明治1）	12		古川助右衛門	大和甚九郎	卯12月元33両3歩利方13ヶ月分金7両2歩2朱・銀預5.94匁書上	継紙	1	
441	24	覚	う（慶応3）	12		ちとせや　孫六	花瀬村庄屋　甚九郎	小鯛1枚ほか代銭67貫240文書上	継紙	1	
441	25	覚	卯（慶応3）	12		司馬屋　藤三郎	庄屋　大和甚九郎	去寅〆・卯塩代ほか2口〆84貫680文	継紙	1	
441	26	覚	辰（明治1）	12		糀や　善五郎	花瀬村　大和甚九郎	大すき先2枚ほか代銭66貫475文引合願い	継紙	1	
441	27	普請方助役大和甚九郎口上之覚	巳（明治2）	3		普請方助役　大和甚九郎	庄屋　金子弥七郎	当村百姓2名難渋のため正金返済につき才判願い	継紙	1	
441	28	〔運上銀ほか書上〕	（幕末維新期）					洲口・玉子14匁、寸志ちん・並木松1本・宮森杉棒2本・御用櫨47斤代銀書	継紙	1	
441	29	〔米銭書上〕	（明治3）			飯塚触口元（印）	花瀬村	辰冬上納銭未進銀預321貫833文ほか	綴	1	切紙・継紙6枚糊付
441	30	〔受取書〕	午	12	29	飯塚　宿駅役所（印）	花瀬村庄屋・組頭中	備銭拝借利分に銀預95貫783文受取	切紙	1	前欠
441	31	請取	丑	12		ちとせや　孫六	庄屋　甚九郎	米2俵請取	切紙	1	
441	32	覚	（幕末維新期）	4	25	小くら屋　喜四郎	庄屋　甚九郎	半紙2足ほか代銭17貫27文につき差引残り請取	継紙	1	
441	33	〔拝借米ほか割付切符〕	（幕末維新期）	10		大庄屋許（印）	花瀬村	拝借米・弐合米相納むべき事	継紙	1	
441	34	〔役銭割付切符〕	卯	7		大庄屋許（印）	花瀬村	飛脚夫銭・愛宕山御初穂・面役紙墨料につき	切紙	1	
441	35	覚	卯	12	25	大行事蔵番　利助	花瀬村	津島村へ相渡す分米2俵書上	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
441	36	請取	卯	12	25	大庄屋　清水宅左衛門	庄屋　大和甚九郎	返納米18俵請取	継紙	1	
441	37	請取	卯	12	29	旅人方　善三(印)	花瀬村	銭940文受取	切紙	1	
441	38	〔書状〕	(幕末維新期)	12	6	庄屋　金子弥七郎	組頭　善七郎殿、同　与市郎殿	津出のため昨日指約の米を大行事へ付出願い	継紙	1	
441	39	一谷嫩軍記　三段目	(近世近代)						書綴	1	写。後欠
441	40	覚	辰(明治1)	12		乙丸紺屋　又右衛門	花瀬村　大和甚九郎	こんかせほか代銭37貫410文書上	継紙	1	
441	41	〔上納銀銭書上〕	(幕末維新期)			触口元	花瀬村	三品銀60目余ほか	折紙	1	
441	42	受取	(幕末維新期)					御郡切立切附米2俵代28貫文・触雑用切附14貫600文受取	切紙	1	
441	43	〔人別俵数書上〕	(幕末維新期)					喜助1俵ほか書上	切紙	1	
442	1～41	〔袋〕	元治2丑	3				袋上書「元治二年 大日寺村分 諸切符請取入 丑三月」	袋	1	442-1～41を一括する袋
442	1	受取		9	13	建花寺村庄屋　徳七	大日寺村蔵方衆中	撰米7升受取	切紙	1	
442	2	請取	丑(慶応1)	10	16	大庄屋元(印)	庄屋　大和甚九郎	花瀬・大日寺分当月運上銀ほか41貫350文受取	継紙	1	
442	3	摺り立上納かし付覚						伊蔵殿ヨリ平七ヨリ貸付1俵ほか書上	折紙	1	年月日不詳
442	4	請取	丑(慶応1)	6	23	飯塚宿役場(印)	大日寺村	籾囲すり立上納米之内4俵請取	切紙	1	
442	5	覚		5	20	年番　良右衛門・同　太三郎	庄屋　大和甚九郎	丁銭9貫75文請取	継紙	1	
442	6	〔上納銀ほか割付切符〕	丑(慶応1)	10		大庄屋元(印)	大日寺村	洲口・玉子ほか銀42匁余などにつき	継紙	1	
442	7	〔米俵数書上〕	丑(慶応1)	10		大庄屋元(印)	大日寺村	御当用御囲米村預り分米125俵書上	切紙	1	
442	8	〔米差引書上〕	丑(慶応1)	8		大庄屋許(印)	大日寺村	米20俵余残り片島にて相渡し	切紙	1	
442	9	〔米高書上覚〕	丑(慶応1)	5		大庄屋元	大日寺村	摺立上納分米16俵余ほか書上	切紙	1	
442	10	〔米高書上覚〕	丑(慶応1)	10		大庄屋元	大日寺村	御除米高ほか米42俵余書上	切紙	1	
442	11	大日寺村庄屋組頭乍恐連名を以御願申上候事	慶応元丑	6		大日寺村組頭　勝蔵ほか3名、同村庄屋助役　良右衛門、同村庄屋　大和甚九郎	大庄屋　清水宅右衛門	当村源次郎ほか御通行出夫の出方刻限延引などの件につき御咎め御免願	継紙	1	
442	12	覚	(幕末維新期)	5	6	出勤庄屋中	大日寺村　役人衆中	医師礼銭3貫400文ほか割方書上	継紙	1	
442	13	覚	(幕末維新期)	6	14	いきす酒屋　五八郎	相田村　半十	酒代3貫530文書上	継紙	1	
442	14	覚	(幕末維新期)	3	8	伊支須　久四郎	相田　半十、七作	肴代など代銭2貫60文ほか書上	継紙	1	
442	15	〔書状〕	(幕末維新期)	6	13	庄屋　清水寿作	大和甚九郎	儀助薬用助合の件、いきす久四郎目六の取扱いの件、医師へ御礼の件ほか	継紙	1	
442	16	雑用覚	(幕末維新期)					入湯遣銭9貫文ほか儀助分米銭書上	切紙	1	
442	17	覚	(幕末維新期)	10	22	鍛冶　吉右衛門	大日寺村　赤間曽助	細工代2貫965文請求	継紙	1	裏に人名書上あり
442	18	覚	丑(慶応1)	2	9	大行事　利助	大日寺村	白米1斗余ほか代銭2貫文など書上	折紙	1	
442	19	書上	(幕末維新期)	6	朔日	青柳市平次	庄屋　大和甚九郎	忠限日役・かしき代支払いの件	継紙	1	
442	20	請取	(幕末維新期)	4	19	郡屋　宅兵衛(印・「飯塚・郡屋」)	庄屋　大和甚九郎	触用銭6〆文	切紙	1	
442	21	受取	丑(慶応1)	4	17	大行事　利助(印)	花瀬村、大日寺村	銭2貫文ほか受取、触米取替分米2斗書上	継紙	1	
442	22	〔書状〕		6	3	清水宅右衛門	庄屋　大和甚九郎	去冬取替銭算用の件	継紙	1	
442	23	〔代銭書上覚〕	丑(慶応1)	閏5	27	大庄屋元	庄屋　大和甚九郎	大日寺村鎌売捌5斤余代4貫128文ほか書上	折紙	1	
442	24	四月運上	丑(慶応1)	4		大庄屋許	大日寺村	洲口ほか代銭23貫532文割付	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
442	25	〔書状〕	（幕末維新期）	4	12			祖父死去につき通知	切紙	1	
442	26	請取	丑（慶応1）	11	17	出勤　小野山善四郎（花	大日寺村庄屋　大和甚九	四ヶ村扶持方米6俵につき	折紙	1	
442	27	十一月上納銀	子（元治1）	11		大庄屋許（印）	大日寺村	三品銀197匁余ほか書上	折紙	1	
442	28	覚	（幕末維新期）					徳一切ほか米30俵余につき差引書上	折紙	1	
442	29	〔代銭書上〕	丑（慶応1）	11		大庄屋許（印）	大日寺村	杉・薪代11貫6文割付	継紙	1	
442	30	升改書物事	（幕末維新期）					源次郎米3升余ほか人別米高書上	継紙	1	
442	31	〔書状〕	（幕末維新期）	11	17	庄屋　彦左衛門	庄屋　甚九郎	昨日御用会聞書送付の事ほか	継紙	1	
442	32	〔代銭書上〕	（幕末維新期）				大日寺村	御免繰花代雑費共銭7貫875文いきす払い	切紙	1	
442	33	〔人別米高書上〕	（幕末維新期）					甚内5俵ほか	継紙	1	
442	34	〔書状〕	（幕末維新期）	11	8	彦四郎（普請方　野見山彦四郎）	花瀬村庄屋　大和甚九郎	大庄屋旅宿より参上の件などにつき伺い	継紙	1	
442	35	覚	（幕末維新期）					白米2升ほか代銭7貫122文書上	継紙	1	
442	36	〔書状〕	（幕末維新期）	11	15	甚内	庄屋　大和甚九郎	秋社到来の件、善兵衛上納銀の件ほ	継紙	1	
442	37	〔書状〕	（幕末維新期）	2	8	大庄屋　清水宅右衛門	庄屋　大和甚九郎	上納銭不足分支払いの件	継紙	1	
442	38	〔書状〕	（幕末維新期）	11	22	出勤庄屋　伊藤和六	大和甚九郎	諸返納米上納の件	切紙	1	
442	39	御米運賃通帳	慶応元丑	9		舟庄屋　九右衛門（印）	大日寺村		小横帳	1	
442	40	〔藩士土着居所書上〕	（幕末維新期）			花瀬村分			長綴	1	年月日不詳
442	41-1	〔米銭書上〕	（幕末維新期）					大日寺・蓮台寺・伊川・飯塚・相田村398俵ほか書上	折紙	1	442-41-1～23紙縒綴
442	41-2	覚	（幕末維新期）					米10俵代銀預550目ほか書上	切紙	1	年月日不詳
442	41-3	〔俵口掛リ米割付切符〕	子（元治1）	12		大庄屋元（印）	大日寺村	米21俵余大行事払い	切紙	1	
442	41-4	〔米代銭割付切符〕	子（元治1）	12		大庄屋許（印）	大日寺村	米代銭75貫239文書上	切紙	1	
442	41-5	〔米高書上〕	子（元治1）	11		大庄屋元（印）	大日寺村	御除米16俵余ほか書上	継紙	1	
442	41-6	〔米高書上〕	子（元治1）	12		大庄屋許（印）	大日寺村	御郡囲割当米39俵ほか書上	切紙	1	
442	41-7	〔米割付切符〕	子（元治1）	11		大庄屋許（印）	大日寺村	米5俵余大行事払い	切紙	1	
442	41-8	〔役銭割付切符〕	子（元治1）	11		大庄屋許（印）	大日寺村	杉・薪代11貫204文につき	継紙	1	
442	41-9	〔撰米割付切符〕	子（元治1）	9		大庄屋許（印）	大日寺	撰米7升蓮台寺払いほか	切紙	1	
442	41-10	〔役銭割付切符〕	子（元治1）	9		大庄屋許（印）	大日寺村	若松波除夫銭ほか1貫21文書上	切紙	1	
442	41-11	〔役銭割付切符〕	子（元治1）	3		大庄屋許（印）	大日寺村	長屋諸給銭・大庄屋元定飛脚夫銭3貫193文書上	切紙	1	
442	41-12	覚	子（元治1）	4		（大庄屋元）	大日寺村	長屋夫銭ほか7貫172文割付	切紙	1	
442	41-13	〔役銭割付切符〕	子（元治1）	12			大日寺村	内野御茶屋道具蔵材木持出ほか手伝夫銭1貫653文など書上	切紙	1	
442	41-14	〔役銭割付切符〕	子（元治1）	12		大庄屋許（印）	大日寺村	亥年拝借年賦分銭9貫228文ほか書上	切紙	1	
442	41-15	〔役銭割付切符〕	子（元治1）	正月		大庄屋許（印）	大日寺村	波奈・洲崎砲台受場入用材木買上銭ほか3貫322文書上	切紙	1	
442	41-16	四月運上	子（元治1）	4		大庄屋許（印）	大日寺村	洲口ほか銀42匁余割付	切紙	1	
442	41-17	十月運上	子（元治1）	10		大庄屋許（印）	大日寺村	洲口ほか銭8貫889文割付	継紙	1	
442	41-18	〔役銭割付切符〕	子（元治1）	12		大庄屋元（印）	大日寺村	御囲米蔵詰諸費大庄屋元払い	切紙	1	
442	41-19	〔役銭割付切符〕	（幕末維新期）			大庄屋元（印）	大日寺	大行事割銭8貫970文和六払い	切紙	1	年月日不詳
442	41-20	〔役銭割付切符〕	子（元治1）	12		大庄屋元（印）	大日寺	村割3貫文ほか書上	折紙	1	
442	41-21	覚	（幕末維新期）	12	27	大行事　利助	大日寺村	蔵番給米1斗余ほか書上	切紙	1	
442	41-22	〔御通仕組出銭高書上〕	子（元治1）	12		大庄屋許	大日寺村	銭17貫615文	切紙	1	

1117 花瀬村庄屋文書

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
442	41-23	覚	（幕末維新期）	正月	6	彦四郎	大日寺村	継所材木出方夫銭払不足386文ほか差引書上	継紙	1	
443	1～43	〔袋〕	元治2丑	3				袋上書「元治二年　諸切符請取入　丑三月　花瀬分」	袋	1	443-1～43を一括する袋
443	1	請取	丑（慶応1）	11		普請方（印）	花瀬村	大行事御茶屋五郷薪代2貫510文請取	切紙	1	
443	2	〔役銭割方切符〕	子（元治1）	12		大庄屋許	花瀬村	御通仕組出銭6貫403文書上	切紙	1	
443	3	十月運上	丑（慶応1）	10		大庄屋許（印）	花瀬村	洲口・玉子運上ほか16貫734文割付	継紙	1	
443	4	請取	寅（慶応2）	3	16	石田和七	花瀬村庄屋　大和甚九郎	去丑御茶屋手伝夫8人分雇替賃銭2貫400文請取	継紙	1	
443	5	戌御通割	丑（慶応1）	5		通方　清水寿作（印）	花瀬	銭4貫708文割付	切紙	1	
443	6	〔書状〕	（幕末維新期）	極月	23	潤野　蔵方	庄屋　大和甚九郎	撰米為替引合につき米1斗余持参願い	切紙	1	
443	7	〔書状〕	（幕末維新期）	3	5	石田和七（印）	大和甚九郎	不足分受取につき手形返上ほか	継紙	1	
443	8	〔役銭割付切符〕	（幕末維新期）				花瀬村	御免繰花代雑費共銭2貫965文いきす払い	切紙	1	
443	9	〔代銭書上〕	丑（慶応1）	12		大行事　利助	花瀬村　米払	甚九郎様分賄代ほか2貫555文につき差引不足書上	折紙	1	
443	10	覚	丑（慶応1）	11			花瀬村	大行事御蔵壁仕直しなど佐官代ほか1貫330文割付	切紙	1	
443	11	請取	丑（慶応1）	閏5	21	庄屋　野見山彦右衛門	花瀬村	銭800文受取	切紙	1	
443	12	〔役米割付切符〕	丑（慶応1）	11		大庄屋許（印）	花瀬村	産子養育備現米1俵割付	切紙	1	
443	13	〔送り状〕	（幕末維新期）	9	11	吉北村　蔵元	潤野村　御蔵方	撰米1升余受取	切紙	1	
443	14	花瀬村当春御免用普請入用左之品其村山ニ而可相渡証拠之事	丑（慶応1）	正月		岸田宅左衛門（印）	八木山村庄屋・組頭中	雑杭50本ほかにつき	切紙	1	
443	15	受取	丑（慶応1）	閏5	21	御通出勤庄屋　弥一郎	大日寺村	4月割御通用銭5貫800文受取	切紙	1	
443	16	覚	（幕末維新期）					7人御扶持方丑冬御渡高割32俵余書	切紙	1	
443	17	受取	丑（慶応1）	12	19	清水宅左衛門（印）（宅右衛門ヵ）	花瀬村	御郡囲米の内米46俵受取	切紙	1	
443	18	請取	（幕末維新期）	6	20	枝国村	花瀬村　与一郎	藁30把受取	切紙	1	
443	19	〔役銭割方切符〕	丑（慶応1）	7		大庄屋元（印）	花瀬村	御通諸費割方銭1貫313文につき	切紙	1	
443	20	請取	丑（慶応1）	閏5	21	普請方（印）	花瀬村	御茶屋郡屋手伝夫銭3貫160文受取	切紙	1	
443	21	受取	（幕末維新期）	6	20	枝国村	花瀬村　役衆中	藁18把受取	切紙	1	
443	22	〔上納銀ほか書上〕	丑（慶応1）	11		大庄屋元（印）	花瀬村	三品銀ほか銭33貫437文	折紙	1	
443	23	〔納米割方切符〕	丑（慶応1）	10		大庄屋元（印）	花瀬村	御当用御囲米籾にて村預り分米55俵	切紙	1	
443	24	〔納米割方切符〕	丑（慶応1）	12		大庄屋許（印）	花瀬村	御郡切立米6俵余	継紙	1	
443	25	受取	丑（慶応1）	5	24	大庄屋元（印）	大　甚九郎	御山札新古12枚ほか受取	切紙	1	
443	26	受取	（慶応1）	閏5	17	（印・「飯塚・郡屋」）	花瀬村	小麦わら16把受取	切紙	1	
443	27	覚	（幕末維新期）	5	9	帯屋　久左衛門（印）	大和甚九郎	4月迄利方正金2両余相済	継紙	1	
443	28	覚	（慶応1）	閏5	21	石田和七	大和甚九郎	正金2歩余ほか受取	継紙	1	
443	29	四月運上	丑（慶応1）	4		大庄屋許（印）	花瀬村	洲口・卵子運上ほか13貫826文割付	継紙	1	
443	30	〔納米割方切符〕	丑（慶応1）	4		大庄屋許（印）	花せ村	籾囲米摺立上納分7俵余ほか割付	切紙	1	
443	31	請取	丑（慶応1）	6	23	飯塚宿役場（印）	花瀬村	籾囲すり立上納米4俵受取	切紙	1	
443	32	〔納銭算用覚〕	丑（慶応1）	12		大庄屋許（印）	花瀬村	去子冬通銭22貫944文につき差引書上	折紙	1	
443	33	〔上納米割方切符〕	丑（慶応1）	10		大庄屋許（印）	花瀬村	御除半高ほか12俵余書上	切紙	1	
443	34	請取	丑（慶応1）	11	16	大庄屋許（印）	花せ村	田畠并蔵中御通3冊ほか請取	継紙	1	
443	35	請取	（幕末維新期）	7	27	普請方（印）	花瀬村	宰府薪代銭480文請取	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
443	36	請取	（幕末維新期）	7	朔日	大庄屋元(印)	大花両村庄屋　大和甚九	軸帳・徳割帳・月払受取	切紙	1	
443	37	〔納銭割方切符〕	丑(慶応1)			大庄屋元(印)	花瀬	諸藩御出勢御帰陣両達御通諸入切銭2貫226文につき	切紙	1	
443	38	〔納銭割方切符〕	子(元治1)	12		大庄屋元(印)	花瀬村	上納銀不足分銭24貫120文	切紙	1	
443	39	請取	丑(慶応1)	8	21	大行事出勤　高木徳平	花瀬村	藁28把受取	継紙	1	
443	40	〔米俵数書上〕	丑(慶応1)	8		大庄屋許(印)	花瀬村	米82俵余につき差引書上	継紙	1	
443	41	長崎御奉行下向達諸費割	丑(慶応1)	11		大庄屋　清水宅右衛門	花瀬村	銭820文につき	切紙	1	
443	42	〔納銭割方切符〕	丑(慶応1)	12		大庄屋元(印)	花瀬村	観世音寺大講堂普請金ほか銭3貫331	継紙	1	
443	43	十一月上納銀	子(元治1)	11		大庄屋許	花瀬村	三品銀60目余ほか割付	折紙	1	
444	1～38	〔袋〕	慶応元丑	11		庄屋　大和甚九郎		袋上書「慶応元年　大庄屋大和甚九郎蔵方　諸切符請取入　丑十一月」	袋	1	444-1～38を一括する袋
444	1-1	〔納米差引書上〕	寅(慶応2)	5	13	大庄屋許(印)	花瀬・大日寺両村庄屋大和甚九郎	養育備米など77俵余差引書上ほか	継紙	1	444-1-1、2糊付一括。1-1は上から1枚目
444	1-2	御郡切立	子(元治1)	5	13	大庄屋許(印)	両村庄屋　大和甚九郎	米14俵余につき差引書上	継紙	1	1-2は上から2枚目
444	2	請取	寅(慶応2)	5	26	大庄屋元(印)	庄屋　大和甚九郎	大日寺・花瀬諸上納銭不足の内受取	継紙	1	
444	3	〔書状〕	（幕末維新期）	2	20	久野作兵衛、米倉元右衛門	大日寺村庄屋役場	清水小三家内判西薗数右衛門妻に其村百姓与右衛門娘縁組に願書差出の	継紙	1	
444	4	請取	寅(慶応2)	5	28	大庄屋元(印)	大日寺村	去丑冬諸上納銭不足の内受取	切紙	1	
444	5	〔御指紙拝借米差引書上〕	寅(慶応2)	5		大庄屋元(印)	大日寺村	米13俵余につき	切紙	1	
444	6	〔人別米高書上〕	（幕末維新期）					十助9升余ほか	継紙	1	
444	7	〔米銭算用書上〕	（幕末維新期）					銭25貫181文ほか	継紙	1	前欠
444	8	覚	（近世後期～幕末維新期）			大日寺村　平次郎	万年屋　孫六	かまぼこ大1本ほか御渡し願い	継紙	1	裏に杉木ほか引渡願いあり
444	9	―――(ママ)庄屋・山ノ口乍恐指出ヲ以申上候事	慶応元	11		大日寺村山ノ口　彦右衛門ほか2名、大日寺村助役　良右衛門、同村庄屋大和甚九郎	上座下座嘉麻穂波御郡御役所	去子年分根掃夫銭4貫200文下渡し願い	継紙	1	
444	10	四月運上	寅(慶応2)	4		大庄屋許(印)	大日寺村	洲口・玉子運上ほか12貫542文割付	切紙	1	
444	11	受取	寅(慶応2)	2	14	大庄屋元(印)	大日寺村	諸上納銭の内銭30貫文受取	切紙	1	
444	12	〔納銭割方切符〕	寅(慶応2)	5			大日寺村	飯塚橋取繕大工手伝ほか銭1貫30文普請方払い	切紙	1	
444	13	請取	寅(慶応2)	5	29	普請方　野見山彦四郎(印)	花瀬村	御茶屋・郡屋・橋取繕大工手伝夫銭420文請取	継紙	1	
444	14	判ちん	（幕末維新期）					良右衛門315文ほか人別銭高書上、宗旨判の費用割か	長綴	1	
444	15	請取	寅(慶応2)	4	16	大庄屋元(印)	(大日寺村)庄屋　大和甚九郎	昨冬諸上納銭不足の内正金3両ほか受取	切紙	1	
444	16	〔納米割方切符〕	寅(慶応2)	4		大庄屋元(印)	大日寺村	田畠町数割など26俵余ほか	切紙	1	
444	17	〔夫数算用書上〕	慶応2寅	2		大日寺村庄屋助役　良右衛門、同村庄屋　大和甚九郎	大庄屋　清水宅右衛門、普請方　野見山彦四郎	当村にて御免用挽立に御召仕の夫数差出	長綴	1	
444	18	請取	寅(慶応2)	5	29	普請方　野見山彦四郎	大日寺村	両茶屋郡屋橋大工分夫銭1貫30文受	切紙	1	
444	19	請取	寅(慶応2)	4	20	大庄屋許(花押)	甚九郎	御郡切立米の内1斗余受取	切紙	1	
444	20	受取	丑(慶応1)	12	11	大庄屋　清水宅右衛門	大日寺村	非常御備口々として米67俵受取	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
444	21	受取	丑(慶応1)	12	11	大庄屋　清水宅右衛門	花瀬村	非常御備の内米22俵受取	継紙	1	
444	22	請取	寅(慶応2)	7	19	酒屋　五八郎	庄屋　大和甚九郎	福岡行鶏1羽受取	継紙	1	
444	23	〔神納割方書上〕	(幕末維新期)				大日寺村	御村中3升、御庄屋赤間浅七郎3升ほ	長綴	1	
444	24	非常之節家頼代百姓壱人宛被相渡候追増分	寅(慶応2)	6		大庄屋許(印)	大日寺村	米沢鉄之助ほか2名分につき	切紙	1	
444	25	〔役銭割方切符〕	寅(慶応2)	7		大庄屋元(印)	大日寺村	定飛脚夫銭3貫270文につき	切紙	1	
444	26	———(ママ)乍恐口上書ヲ以申上候事	(幕末維新期)					小正村□□藤一御咎め一件につき	切紙	1	雛形。閲覧不可
444	27	〔書状〕	(幕末維新期)	5	26	組頭　勝蔵	庄屋　大和甚九郎	米代引合につき金2両差出しの事	継紙	1	
444	28	〔書状〕	(幕末維新期)			良右衛門	庄屋　大和甚九郎	役場算用切立の件につき	切紙	1	
444	29	請取	寅(慶応2)	5	4	大庄屋元(印)	庄屋　大和甚九郎	諸上納銭不足の内217貫600文受取	継紙	1	
444	30	穂波郡大日寺村某々乍恐御願申上候事	(幕末維新期)			大日寺村庄屋　大和甚九郎		御仕組石灰附越などのため馬強金拝借願い	継紙	1	雛形
444	31	〔納米割方切符〕	寅(慶応2)	5		清水宅右衛門(印)	大日寺村	貧民救割当米4斗余につき	切紙	1	
444	32	考弁違之覚	(幕末維新期)	3	6	深町文庵	大庄屋、甚九郎、宗兵衛	家出の文蔵呼返しにつき	長綴	1	
444	33	覚	(幕末維新期)	12	17		大和甚九郎	大日寺人足32人分銭10貫918文ほか受取	切紙	1	
444	34	〔納銭不足分書上〕	(幕末維新期)					人参代5貫240文ほかにつき	切紙	1	
444	35	〔人名書上〕	(幕末維新期)					甚内など54名書上	切紙	1	
444	36	〔人名書上〕	(幕末維新期)					甚内ほか48軒半分書上	切紙	1	
444	37	〔算用書上〕	(幕末維新期)					451貫567文につき差引書上	切紙	1	
444	38	〔書上〕	(幕末維新期)					「此三口文久三年　幸助ニ入」とあり	切紙	1	
445	1～19	〔袋〕	慶応2寅	12		大和甚九郎		袋上書「慶応二年　諸方目録入　寅十二月　大和甚九郎」	袋	1	444-1～19を一括する袋
445	1	請取	寅(慶応2)	12	30	いきす酒屋　五八郎(印・「筑州穂・伊岐須・「ヤマ・井」・酒五」)	大和甚九郎	酒代米2俵受取	継紙	1	
445	2	覚	(幕末維新期)	正月	13	いきす酒屋　五八郎	大和甚九郎	申・亥分16貫96文書上	継紙	1	
445	3	覚	(幕末維新期)					酒代不足ほか19貫66文書上	切紙	1	
445	4	覚	寅(慶応2)	12		糀屋　善五郎	花瀬村庄屋　甚九郎	上広形ほか36貫495文書上	継紙	1	
445	5	覚	(幕末維新期)	12	29	糀や　善五郎	庄屋　甚九郎	諸品代36貫490文請取	継紙	1	
445	6	覚	寅(慶応2)	12		司馬屋　藤三郎	庄屋　甚九郎	小晒6尺余ほか代銭103貫954文書上	継紙	1	
445	7	覚	寅(慶応2)	12		乙丸紺屋　又右衛門	花瀬村　大和甚九郎	紺浅きかせほか染物代14貫820文受取	継紙	1	
445	8	〔書状〕	(幕末維新期)	12	27	相田村　利市	花瀬村　久助	吉作取銭御渡し願い	切紙	1	
445	9	覚	寅(慶応2)	12	30	普請方　野見山彦四郎	庄屋　大和甚九郎	永蔵郡家夫役代札3貫10文受取	切紙	1	
445	10	覚	(幕末維新期)	2	12	司馬屋　藤三郎	庄屋　甚九郎	大筆1本代7貫300文相済	継紙	1	
445	11	覚	(幕末維新期)	12	27	司馬屋　藤三郎店	庄屋　甚九郎	米2俵請取	切紙	1	
445	12	請取	(幕末維新期)	12	30	司馬屋　藤三郎(印・「筑前飯塚・司馬藤」)	庄屋　甚九郎	米2俵請取	切紙	1	
445	13	覚	(幕末維新期)	12	9	源次郎	藤左衛門	算用書上	継紙	1	
445	14	覚	(幕末維新期)	12	29	千孫	花せ庄屋　甚九郎	米1俵請取	切紙	1	
445	15	請取	(幕末維新期)	12	29	糀屋　善五郎	庄屋　甚九郎	米1表受取	切紙	1	
445	16	覚	(幕末維新期)	8	6	ちとせや　孫六	庄屋　甚九郎	亥年分13貫70文ほか代銭書上	継紙	1	
445	17	覚	とら(慶応2)	12		ちとせや　孫六	庄屋　甚九郎	大鯛1枚ほか代銭24貫150文書上	継紙	1	
445	18	覚	(幕末維新期)					子分22貫573文ほか米銭差引書上	折紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
445	19	覚	丑(慶応1)	極月		千年屋　孫六	花瀬村庄屋　甚九郎	人参5本ほか代銭33貫95文書上	継紙	1	
446	1～2	〔袋〕	慶応3卯	正月改				袋上書「慶応三年 御宮備・村備米帳面入 卯三月改」、袋裏書「寿賀 青柳式	袋	1	446-1、2を一括する袋
446	1-1	古野村中畠年貢米御宮備記帳	安政3辰	11	13				長帳	1	446-1-1、2合綴
446	1-2	御宮備講掛出年々記帳	文久元			甚九郎			長帳	1	
446	2	村備米借し渡覚帳	慶応2寅	正月		庄屋　大和甚九郎			長帳	1	
447	1～82	〔袋〕	明治2辰・巳	10月ヵ				袋上書「明治二年 諸切符請取入ル 辰巳十月ヵ」	袋	1	447-1～82を一括する袋。裏面に人名・数字を書き上げあり
447	1	〔書状〕		正月	13	庄屋　原宅七	庄屋　大和甚九郎	触用銭納入遅延につき催促	継紙	1	
447	2	〔米俵数書上〕	巳(明治2)	12		触口元(印)	花瀬村	去辰冬取替米11俵ほか	継紙	1	
447	3	覚	(維新期)					未進分ほか差引残銭221貫668文書上	継紙	1	年月日不詳
447	4	覚	巳(明治2)	12		古川伝十郎	花瀬　御蔵方	米4俵余につき差引不足書上	継紙	1	
447	5	〔書状〕	(維新期)	12	25	従飯塚　石田虎雄	花瀬村ニ而　大和甚九郎	正金3両余・銀預1貫830文御渡し願い	継紙	1	
447	6	借用仕証文之事	(維新期)			借主　花瀬村触格　庄屋大和甚九郎、受人庄屋和六	井川村　源次郎、惣吉、連茂四郎	利方3割付にて米2俵借用	継紙	1	年号
447	7	四月運上	巳(明治2)	4		触口許(印)	花瀬村	洲口ほか銭2貫584文割付	継紙	1	
447	8	〔納米割方切符〕	巳(明治2)	12		触口許(印)	花瀬村	養育米ほか米1俵余大行事取立	切紙	1	
447	9	〔納銭割方切符〕	巳(明治2)	12		触口許(印)	花瀬村	村割ほか代銭45貫553文飯塚払い	切紙	1	
447	10	受取	(維新期)	10	27	清水涼平	大和甚九郎	書状1封につき	切紙	1	
447	11	〔夫銭割方切符〕	巳(明治2)	12			花瀬村	飯塚内野御茶屋ほか夫銭980文普請方払い	切紙	1	
447	12	〔割方切符〕	(維新期)	10	23		花瀬	唐豆1斗余ほかにつき	切紙	1	
447	13	請取	巳(明治2)	10	28	八木山村庄屋　重五郎	潤野村庄屋　大和甚九郎	麦種駄賃銭2貫500文受取	切紙	1	
447	14-1	〔納米割方切符〕	巳(明治2)	12		触口許(印)	花瀬村　大和甚九郎	居村ヨリ米3俵余ほか	切紙	1	447-14-1、2紙縒一括
447	14-2	〔納米割方切符〕	巳(明治2)	12		触口許(印)	花瀬村	御郡切立米俵余ほか割付	切紙	1	
447	15	〔人別米数書上〕	(維新期)					山口様初穂米ほかにつき	長綴	1	
447	16	〔納銭割方切符〕	巳(明治2)	11		中村触口元(印)	花瀬	問屋下役給銭3貫567文割当	切紙	1	
447	17	〔納銭割方切符〕	巳(明治2)	10			花瀬村	内野様永住普請につき銭2貫680文普請方払い	切紙	1	
447	18	受取	巳(明治2)	11	2	庄屋　金子弥七郎(花押)	庄屋　大和甚九郎	金1両ほか拝借利足に受取	切紙	1	
447	19	〔包紙〕	(維新期)					包紙上書「中村・幸袋籾種子証文入」	包紙	1	19-1、2を一括する包紙・紙縒。明治三年午六月花瀬村庄屋大和甚九郎ほか2名より、佐伯大五郎殿・徳七郎殿宛書状断簡を再利用し
447	19-1	借用仕証文之事	明治3午	2		花瀬村庄屋　大和甚九郎、組頭　与一郎、同　甚次郎	幸袋村　又三郎	米4俵借用	継紙	1	
447	19-2	借用仕証文之事	(維新期)				佐伯大官司　徳右衛門	米3俵半借用	継紙	1	案文
447	20	〔書状〕	(維新期)	4	19	明星寺庄屋　林七	花瀬村庄屋　大和甚九郎	牛代金残り分受取	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
447	21	受取	（維新期）	12	20	帯屋店(印)	花瀬村　御蔵方	米3升余受取	継紙	1	
447	22	受取	巳(明治2)	12	20	清水流(印)	花瀬村庄屋　大和甚九郎	畠方御通1冊受取	継紙	1	
447	23-1	〔割方切符〕	巳(明治2)	11		触口許(印)	花瀬村	海藻24升8合大行事渡し	切紙	1	447-23-1、2紙縒一括
447	23-2	〔納米割方切符〕	巳(明治2)	11		触口許(印)	花瀬村	米10俵余につき	切紙	1	
447	24	〔納米割方切符〕	巳(明治2)	12		触口許(印)		大和甚九郎普請才判助役中給米日割米1斗余につき	切紙	1	
447	25	覚	巳(明治2)	12	10	角屋　和蔵	花瀬村　大和甚九郎	元利13両につき差引書上	継紙	1	
447	26	〔書状〕	（維新期）	9	3	大畠紋兵衛、篠崎和兵衛	普請方助役　大和甚九郎	相田村七作より借入米の払入につき伺い	継紙	1	
447	27	〔米差引書上〕	（維新期）					武七御徳米32俵余ほか	折紙	1	
447	28	〔納銭割方切符〕	巳(明治2)	10		触口許(印)	花瀬村	一朝軒寺納銭1貫112文書上	切紙	1	
447	29	受取	（維新期）	10	18	大行事　伝五(印)	花瀬村	空俵1俵につき	切紙	1	
447	30	受取	（維新期）	10	2	片嶋村　明順	花瀬村　惣吉	米2俵受取	切紙	1	
447	31	〔納銭割方切符〕	巳(明治2)	10		触口許(印)	花瀬村	海藻450升ほか代銭40貫200文書上	切紙	1	
447	32	〔納米割方切符〕	午(明治3)	正月		触口許(印)	花瀬村	御救助米割当小割帳分米5俵書上	切紙	1	
447	33	四月運上	辰(明治1)	4		大庄屋許(印)	花瀬村	洲口ほか代銭2貫984文割付	継紙	1	
447	34	預手形	辰(明治1)	3	16	花瀬　大和甚九郎(印)	石田和七	正金3両預り	継紙	1	
447	35	〔納米割方切符〕	辰(明治1)	11		触口許(印)		花瀬村普請方助役大和甚九郎給米1俵余につき	切紙	1	
447	36	去卯年大行事御普請中諸入切	辰(明治1)	2		普請方	花瀬村	銭2貫900文彦四郎払い	切紙	1	
447	37	覚	（維新期）					山口屋出しなど米6俵払いほか	切紙	1	
447	38	覚	辰(明治1)	9	25	庄屋　金子弥七郎(印)	花瀬村	7月割切符前24貫442文につき差引不足書上	継紙	1	端裏書「花せ」
447	39	覚	（維新期）	4	5	さつまや　新作	甚九郎	米1俵受取	切紙	1	
447	40	覚	（維新期）					囲米運賃米7俵余書上	切紙	1	年月日不詳
447	41	請取	辰(明治1)	4	15	伊蔵	花せ村　大和甚九郎	米4俵御渡し願い	切紙	1	辰後4月15日
447	42	受取	辰(明治1)	11	6	触口許(印)	花瀬村	上納銀として銭31貫文受取	切紙	1	
447	43	預手形	卯(慶応3)	12	28	花瀬村庄屋　大和甚九郎(印)	角屋　次助	米1俵預り	切紙	1	
447	44	〔囲米運賃書上〕	（維新期）					大日寺囲米442俵ほかにつき	切紙	1	
447	45	受取	辰(明治1)	3	4	帯屋店	大日寺村　御蔵方	米2俵受取	切紙	1	
447	46	受取	（維新期）	5	8	□切　次作	花瀬村　甚九郎	正金4両2分受取	切紙	1	
447	47	覚	辰(明治1)	9	25	庄屋　金子弥七郎(印)	花瀬村　組頭衆中	切符見捨て分1両余につき差引書上	継紙	1	端裏書「花せ」
447	48	〔夫割方切符〕	辰(明治1)	8		普請方　彦四郎(印)	花瀬	内野村木出方夫33人余書上	切紙	1	
447	49	登京夫銭追割并飛脚夫銭	（維新期）			庄屋元(印)	武三郎	銭3貫501文につき	切紙	1	年月日不詳
447	50	〔納米割方切符〕	辰(明治1)	10		触口許(印)	花瀬村	申酉拝借米1俵余ほか書上	継紙	1	
447	51	十月運上	辰(明治1)	10		触口許(印)	花瀬村	洲口ほか6貫200文書上	継紙	1	
447	52	受取	辰(明治1)	7	22	庄屋　金子弥七郎(印)	花瀬村　組頭衆中	長州出勢召連郡夫銭に銀預10貫140文受取	切紙	1	
447	53	受取	巳(明治2)	閏4	5	大庄屋元(印)	大和甚九郎	冥加銀80文受取	切紙	1	
447	54	〔納米割方切符〕	辰(明治1)	12			花瀬村	内野御永住普請追割分16人余書上	切紙	1	
447	55	受取	（維新期）	2	27	帯屋(印)	大日寺村　庄屋甚九郎	米6俵受取	切紙	1	
447	56	請取	（慶応1ヵ）	閏5	5	石田和七(印)	大和甚九郎	正金9両受取	継紙	1	
447	57	〔納金割方切符〕	辰(明治1)	2		大庄屋元(印)	花瀬村	御上京御用金9両余上納につき	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
447	58	〔納米割方切符〕	辰(明治1)	10		触口許(印)	花瀬村	卯御国中割追割米8升大行事取立	切紙	1	
447	59	請取	辰(明治1)	4	17	大庄屋元(印)	花瀬村庄屋　大和甚九郎	4月運上銀銀預3貫文受取	継紙	1	
447	60	〔書状〕	(明治1)	閏4	18	大庄屋　清水宅左衛門	極(格)庄屋　大和甚九郎	拝借米4俵貸付につき請取人差出の事	継紙	1	
447	61	覚	辰(明治1)	4	29	古川助右衛門(印)	花瀬村　大和甚九郎	蓮台寺村善七へ米7俵為替の事	継紙	1	
447	62	〔納米割方切符〕	辰(明治1)	11		触口許(印)	花瀬村	御郡切立米6俵余につき	切紙	1	
447	63	〔書状〕	辰(明治1)	3	7	本誓寺　世話方	大和甚九郎	奉加米寺納の件	継紙	1	
447	64	請取	(維新期)	3	10	青柳式部(印)	庄屋　大和甚九郎	正金6両請取	切紙	1	
447	65	請取	(維新期)	3	9	旅人方　吉三	大日寺村庄屋　大和甚九郎	旅人差出	切紙	1	
447	66	御茶屋郡家諸品割切符	辰(明治1)	2			花瀬	内野御茶屋井戸掘手伝夫銭1貫240文彦四郎手元払い	切紙	1	
447	67	十一月上納銀	巳(明治2)	11		触口許(印)	花瀬村	三品銀ほか427貫641文割付	折紙	1	
447	68	〔納銭書上〕	(維新期)				花瀬村	十月上納分2貫310文ほか	長綴	1	
447	69	覚	(維新期)				花瀬	大桃灯1つほか代銭触元払い	継紙	1	
447	70	請取	慶応4辰	2	21	大庄屋　清水宅左衛門	極(格)庄屋　大和甚九郎	御上京御借入金3両余ほか請取	継紙	1	
447	71	請取	辰(明治1)	2	15	大庄屋元(印)	花瀬村	直通夫銭分6両受取	切紙	1	
447	72	〔賃銭割方切符〕	辰(明治1)	正月		大庄屋許(印)	花瀬村	御上京召連夫賃銭国中割銀預15貫140文書上	継紙	1	
447	73	請取	辰(明治1)	2	8	大庄屋　清水宅右衛門	花瀬村庄屋　大和甚九郎	直通夫雇立賃銭6両余ほか請取	継紙	1	
447	74	〔納金割方切符〕	辰(明治1)	2		大庄屋元	花瀬	夫割ほか6両余書上	切紙	1	
447	75	請取	辰(明治1)	正月	16	大庄屋許(印)	花瀬村	上納銭不足分銭43貫600文請取	継紙	1	
447	76	〔納金差引書上〕	(維新期)				花瀬村	御借入金ほか15両余につき納入不足書上	継紙	1	年月日不詳
447	77	辰十月割□□	(維新期)					人馬ほか6両余につき差引書上	継紙	1	年月日不詳
447	78	覚	(維新期)					銭86貫105文につき差引書上	切紙	1	年月日不詳
447	79	十月運上	巳(明治2)	10		触口許(印)	花瀬村	洲口ほか98貫750文割付	切紙	1	
447	80	〔納銭差引書上〕	(維新期)					夫銭・鉄炮代触口元払分割方につき	折紙	1	年月日不詳
447	81	請取	辰(明治1)	4	9	大庄屋許(印)	庄屋　大和甚九郎	直通夫銭の内正金2両受取	継紙	1	
447	82	請取	辰(明治1)	2	3	大庄屋元(印)	花瀬村	去冬上納銭不足の内銭15貫130文請	継紙	1	
448	1～5	〔袋〕	明治3午	5		庄屋　大和甚九郎		袋上書「明治三年　御救助米御拝借米御払下米一切帳面入　午五月　庄屋大和甚九郎」	袋	1	448-1～5を一括する袋
448	1	〔書状〕	(明治3)	霜月	14	大宮司	武七	村役奥書を請けて証文差出す事	切紙	1	前欠
448	2	巳九月未進	(明治3)					甚一など9名分70俵書上	継紙	1	
448	3	覚	(明治3)					米6俵につき差引書上	継紙	1	
448	4	〔人別斗数書上〕	(明治3)					甚作2斗余ほか	切紙	1	前欠
448	5	請取	午(明治3)	11	28	大行事出勤(印)	花瀬村	米6俵	切紙	1	
449	1～22	〔袋〕	明治3午	8月改ル		大和甚九郎		袋上書「明治三年　大和甚九郎　大日寺村指引目録入　午八月改ル」	袋	1	449-1～22を一括する袋
449	1	〔書状〕	(維新期)	極月	18	大日寺村　組頭中	庄屋　大和甚九郎	村方指引につき庄屋立用分の算用について	継紙	1	
449	2	〔書状〕	(維新期)	4	25	普請方　彦四郎	助役　大和甚九郎	御在住一件につき手元取替分の取扱いについて	継紙	1	
449	3	〔立岩口米30俵口納入分書上〕	(維新期)					大日寺村蔵方口入22俵ほか	折紙	1	
449	4	請取	(維新期)	11	6	潤野村　儀八郎	大和甚九郎	正金3両受取	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
449	5	〔納米差引書上〕	（維新期）					不足米6俵余ほかにつき	折紙	1	
449	6	〔算用書上〕	（維新期）					日割給米4俵余ほか	切紙	1	
449	7	〔書状〕	（維新期）	12	23	大日寺　蔵方	花瀬　武三郎	貴家当納分蔵入につき納入催促	切紙	1	
449	8	〔書状〕	（維新期）	12	20	大日寺村蔵方	武三郎	御年貢口々立用分など指引致すにつき不足分御渡し願い	継紙	1	
449	9	〔元利米算用書上〕	（維新期）					辰2月米39俵につき	継紙	1	
449	10	〔年貢小割書上〕	辰（明治1）	9		大日寺村　蔵方	甚九郎	御徳米ほか米16俵余につき	折紙	1	
449	11	永代田地売渡証文之事	慶応2寅	3		売主　も四郎	庄屋　大和甚九郎	代金3両、余米6歩	継紙	1	案文
449	12	〔書状〕	（維新期）	12	27	大日寺　蔵方	花瀬　武三郎	明日年貢皆済につき大行事へ米3俵差遣し願い	切紙	1	
449	13	〔書状〕	（維新期）	4	2	立岩庄屋　麻生六郎（印）	花瀬庄屋　大和甚九郎	当村彦三郎取替一条につき処置依頼	継紙	1	
449	14	〔書状〕	（維新期）	4	4	清水孫平	大和甚九郎	種子籾口残半高秋延願につき	切紙	1	
449	15	〔書状〕	（維新期）	4	4	徳七郎	徳三郎	米返済出来ざる際の取扱いについて	継紙	1	
449	16	私抱田地幸袋村伊藤和六殿江永代売渡証文添書之事	慶応2寅	2		売主　大日寺村　平七、受人　勝蔵、儀平	庄屋　大和甚九郎	字畠田中田1反余ほか1筆売渡につき	継紙	1	案文
449	17	〔書状〕	（維新期）	5	朔日	触口　林田藤次郎（印）	花瀬村庄屋　大和甚九郎	他村山かしき伐出直段の件	継紙	1	
449	18	穂波郡花瀬村庄屋大和甚九郎乍恐口上書ヲ以御願申上ル事	（維新期）					牛馬飼料の酒粕買入につき願い	継紙	1	案文
449	19	覚	（維新期）					寅・卯・辰年分米差引につき	折紙	1	
449	20	証拠写	午（明治3）	2	8	川津村	普請方　大和甚九郎	人足6人分の証拠写到来につき立用願い	切紙	1	
449	21	〔書状〕	（維新期）	4	7	触口　林田藤次郎	花瀬村庄屋　大和甚九郎	村安直米代払方の不足分につき	継紙	1	
449	22	〔書状〕	（維新期）	4	21	立岩庄屋　麻生六郎	花瀬村庄屋　大和甚九郎	当村彦三郎より米取替一条につき引合願い	切紙	1	
450	1～7	〔袋〕	明治3	5	5日改ル			袋上書「明治三年　御在住一件書上控入　午五月五改ル」	袋	1	450-1～7袋一括
450	1	御定賃銭算用帳	明治3午	正月					長帳	1	
450	2	御国方継送人馬書上帳	明治3午	3					長帳	1	
450	3	状持夫并ニ船積水揚ヶ余夫共ニ書上帳	明治3午	3					長帳	1	
450	4	御在住御荷物送り現夫仕約メ帳	明治3午	5					長帳	1	
450	5	嘉穂両郡割控夫書上帳	明治3午	5					長帳	1	
450	6	御在住御荷物送人馬口触割方帳	明治3午	7					長帳	1	
450	7	現夫雇							長帳	1	
451	1～4	〔袋〕	（明治4～7）			〔花瀬村〕		袋上書「俵高帳　借財帳入」、袋裏上書「明治六年酉七月　騒徒一件口上書控入　花瀬村　廿才ヨリ四十才迄書上入」	袋	1	～6年まで。451-1～4袋・紙縒一括
451	1	穂波郡花瀬村相対借財道付帳	明治4未	5					長帳	1	
451	2	穂波郡花瀬村米銭借入道附帳	明治4未	5					長帳	1	
451	3	借財書上根帳	明治7	5		第七大区拾小区　花瀬村			長帳	1	
451	4	日田仮入貸[　　]根帳	（明治初年）			大庄屋　甚九郎			長帳	1	表紙一部虫損欠
452	1～6	〔袋〕	明治4未	正月改				袋上書き「御代官借根融通差引帳入」	袋	1	452-1～6袋一括
452	1	御代官借用根帳金子融通分借入分共ニ	明治4未	正月改ル					長帳	1	
452	2	〔花瀬村米銭差引書上〕	（明治初年）						長綴	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
452	3	辰年分大庄屋元	（明治初年）					卯不足銭163貫848文ほか、巳年分を含む	長綴	1	
452	4	辰米未進	（明治初年）					久右衛門米4俵余ほか	長綴	1	
452	5	融通分借用米銭	（明治初年）						長綴	1	
452	6	飯塚御返済雑目	巳（明治2）	11	2			蝋3斤三軒行進物代8貫400文ほか	折紙	1	
453	1～55	〔袋〕	明治4未	11				袋上書「諸切府入」	袋	1	453-1～12袋一括。453-1～55紙縒一
453	1	覚	（幕末維新期）					与平分ほか30俵余につき差引不足書	折紙	1	
453	2	未年通・申年通	（幕末維新期）					人名のみ	折紙	1	
453	3	〔人別米俵数書上〕	（幕末維新期）					年貢未払方算用	折紙	1	
453	4	〔利吉米差引書上〕	（幕末維新期）					米2俵余につき	折紙	1	
453	5	預り手形	酉（明治6）	2	21	伊岐須村　四方平（印）	花瀬村　久介	米3俵当3月15日まで預り	切紙	1	
453	6	〔田畠図面〕	（幕末維新期）					茂四郎分ほか	切紙	3	
453	7	〔与九郎分年貢小割状〕	明治3巳年分						折紙	1	
453	8	〔惣吉分年貢小割状〕	明治3巳年分						折紙	1	
453	9	〔過上米銭算用覚〕	（明治4年頃）					平三分米4俵ほか	切紙	1	
453	10	〔書状〕	（幕末維新期）	2	7	山口屋ヨリ　船頭十平	大和甚九郎	金子差引目録飯塚山口屋まで送付依頼	切紙	1	前欠。継紙継はずれヵ
453	11	記	明治6	2		花瀬村副戸長　福沢十平		当村谷口義一郎当季奉公につき其村面役帳へ御加え願い	罫紙	1	
453	12	〔書状断簡〕	（幕末維新期）						継紙	1	前文部分のみ
453	13	御用米銭請取通	万延2酉	3ヨリ		大庄屋元（印）	花瀬村、大日寺村		小横帳	1	
453	14	御用米銭請取通　大日寺村付	文久元酉	4ヨリ		大庄屋許（印）		四月十二日、銭4貫207文の記録のみ	小横帳	1	
453	15	御米大豆俵高面帳	文久2戌	6		庄屋　甚八郎			長帳	1	
453	16	明治三年米銭未進立帳	明治3午	12					長帳	1	
453	17	当社御殿家上替奉加帳	明治4未	10月改					書冊	1	
453	18	己年未進約メ	（明治3カ）						長綴	1	
453	19	〔年貢算用書上〕	（明治3カ）					甚一米4俵余ほか	長綴	1	
453	20-1	戌年村取替	戌（文久2）	12		良右衛門	御倉方	正月二日、160文大みかん40ほか	長綴	1	453-20-1、2合綴
453	20-2	〔人別代銭書上〕	（幕末維新期）					良右衛門みかん代320文ほか			
453	21	〔御仕組金年賦返納割付覚〕	戌	11		大庄屋元（印）	大日寺村	御仕組金拝借前残617貫438文ほか	折紙	1	
453	22	〔納銭割方切符〕	戌（文久2）	12		大庄屋元（印）	花瀬村	俵高割15貫735文ほか	折紙	1	
453	23	亥間通	戌（文久2）	12		大庄屋元（印）	大日寺	夫374人・馬82疋書上	切紙	1	
453	24	御年貢皆済	酉（明治6）	11		四宮市右衛門（印）	大日寺村	27番聞届け	切紙	1	
453	25-1	〔書状〕	（文久2）	12	2	伊川村庄屋　彦吉	大日寺村庄屋　甚九郎	貴村触雑用銭として彦三郎殿より為替手形参るにつき	切紙	1	453-25-1、2包紙一括。包紙は12月7日付、田川町庄屋彦吉宛書状断簡
453	25-2	為替手形	文久2戌	12		庄屋　彦三郎（花押）	大日寺村庄屋　甚九郎	貴村触取替過銭1貫88文分につき	切紙	1	
453	26	覚	戌（文久2）	12	14	常盤屋　佐兵衛（印）	庄屋　甚九郎	米代差引残り18貫920文甚内殿より相	切紙	1	
453	27	請取	戌（文久2）	12	15	大庄屋元（印）	大日寺村	上納銀の内銭29貫920文受取	切紙	1	
453	28	穂波郡何村百姓正平乍恐仕上ル書物之事	文久3	4		大日寺村　正平	庄屋　何某	博奕・諸勝負筋取扱い間敷につき誓紙・起請文	継紙	1	案文
453	29	面役払証拠之事	万延2	3		伊川村庄屋　彦吉（印）	大日寺村庄屋　甚九郎	当村次惣一季奉公に参るにつき当村面役指除きの事	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
453	30	覚	（幕末維新期）					人足・馬勤数書上	長綴	1	
453	31	蔵入覚	（幕末維新期）					善三郎書付分ほか	長綴	1	
453	32	書物之事	明治4未	2		甚市（拇印）、受人　甚作	村中	惣吉御郡牢捨御免仰付け願い	継紙	1	
453	33	覚	酉（明治6）	1	24	ちとせや　孫六	福沢十平	戸籍諸雑用分287貫500文支払願い	継紙	1	
453	34	〔覚〕	（明治初期）					上納米収納の件、出生死亡出入届の	折紙	1	
453	35	〔米大豆算用書上〕	（明治初年）					大豆・米納入代金書上	継紙	1	前欠
453	36	覚	（幕末維新期）					村諸入用書上	切紙	1	
453	37	〔算用書上〕	（幕末維新期）					村入用武三郎取替目録前につき	切紙	1	
453	38	覚	（幕末維新期）					又三郎米1俵余ほか	折紙	1	
453	39	〔諸払い書上〕	（明治初期）					仕組入用玉子40飯塚払いほか	折紙	1	後欠
453	40	津出し	（幕末維新期）					甚作米2俵ほか人別俵数書上	折紙	1	紙背文書「永代売渡申居屋鋪証文之事」（明治4年、売主与九郎、大和武三郎宛、上畠6歩売渡につき）
453	41	〔米高書上〕	（幕末維新期）					甚作・平三分2俵余ほか、未進米書上カ	折紙	1	紙背墨書「御年玉　伊支須　　棟築儀平」
453	42	〔算用書上〕	（幕末維新期）					半一分1俵につき	折紙	1	
453	43	〔夫数算用書上〕	（幕末維新期）						折紙	1	
453	44	〔書状〕	（幕末維新期）	12	10	林田平右衛門	副戸長　大和甚九郎	差入の預手形早々引替の申入れ	継紙	1	
453	45	〔人別俵数書上〕	（幕末維新期）					甚一17俵ほか書上	切紙	1	
453	46	〔米算用書上〕	（幕末維新期）					又三郎米1俵ほか	折紙	1	
453	47	〔米算用書上〕	（幕末維新期）					吉次郎米5俵ほか	折紙	1	
453	48	当未来ル亥迄五ヶ年不上納	未（明治4）					米・銭算用書上	長綴	1	
453	49	不足米覚	（幕末維新期）					甚市分	折紙	1	
453	50	〔儀三郎分年貢小割状〕	明治3巳年分						折紙	1	
453	51	覚	（幕末維新期）	9	27	大行事　利助（花押）	庄屋　甚九郎	正金1両余・切手1貫800文指上	継紙	1	
453	52	〔書状〕	（幕末維新期）		29	醤油屋　善右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	中村触用口別紙目録差上	継紙	1	
453	53	請取	戌（文久2）	12	13ヵ	□屋　利平	大日寺甚内	札540文受取	継紙	1	
453	54	〔御通人馬立合夫数算用〕	（幕末維新期）					大日寺分夫145人余書上	切紙	1	
453	55	〔包紙〕	（明治初年）			林田平右衛門	副戸長　大和甚九郎		包紙	1	
453	56	〔断簡〕	（明治初年）					「第七大区拾壱　穂波郡花瀬村」とあり	切紙	1	
454	1	〔袋〕	未申（明治4・	正月ヨリ				袋上書「明治五年両年諸切符入」	袋	1	454-2～9の袋
454	2	〔書状〕	（明治初年）	12	27	普請方 彦四郎	庄屋　福沢十平	夫銭支払いの件ほか	継紙	1	454-2～9袋一括
454	3-1	〔割方切符・請取ほか綴〕	（明治初年）					山口屋瀬助より花瀬村御役元へ、たまご70個ほか花瀬村上納分の覚、ほか23枚の綴。花瀬村宛の領収書など	綴	1	
454	3-2	〔書状〕	（明治初年）	1	22	古川三平	保長　大和武三郎	米13俵受取ほか	継紙	1	454-3-1の6枚目と7枚目の間に挟まれていた

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
454	4	〔割方切符・請取ほか綴〕	（明治5～7年頃）					年番宮本与三郎より花瀬へ、調所仕構諸品買立料見込割ほか花瀬村上納分につき、ほか15枚の綴。花瀬村宛の領収書など	綴	1	
454	5	〔米金算用書上〕	（明治初年）					米100俵ほかにつき	継紙	1	
454	6	記	明治6酉	9		花瀬村百姓　大和与一郎（印）、同村保長　大和武三郎（印）、副戸長　立石三兵衛平（印）	古川三平	上納金6円借用	罫紙	1	
454	7	覚	（明治初年）			芳平		申秋分6貫600文ほか差引書上	継紙	1	
454	8	受取	（明治初年）	旧4	19	入口屋　十吉	花瀬村　吉作	福沢十平分米1俵受取	切紙	1	
454	9	穂波郡大日寺村類外之村仕組御願申上候ニ付、百姓中之規定書物ヲ以御請奉申上ヶ条之覚	文久2戌	3		大日寺村　百姓中、組頭取中、組頭中、庄屋	嘉摩穂波御郡代御役所	百姓中の生活規範規定	継紙	1	付紙あり
455	1	〔袋〕	明治5壬申	10				袋上書「明治五年　御上納請取入袋　壬申十月」、袋裏書「三百三十円五十四銭七厘三毛」	袋	1	455-2～8の袋
455	2	記	（明治初年）					甚作、杢太郎ほか人名書上	書綴	1	455-2～8袋一括
455	3	〔花瀬村上納関係書類綴〕	（明治初年）					人名、金銭書上、書状等	書綴	1	
455	4	受取	癸酉（明治6）	1	25	出勤　伊藤伝五（印）	花瀬村	米4俵受取	切紙	1	
455	5	〔花瀬村上納関係書類綴〕	（明治3年頃）			大庄屋元（印）	花瀬	小学校分1歩ほか	書綴	1	
455	6	受取	壬申（明治5）	10	晦日	古川三平（印）	花瀬村	貢米為替大縄米28俵受取	切紙	1	
455	7	記	（明治初年）	3	5	八木山保長　四郎七	花瀬村　清右衛門門、甚三郎	宿銭3貫600文金札1分にて受取	切紙	1	
455	8	〔人別銭高書上〕	（明治初年）					甚介5貫文ほか	折紙	1	
456	1	〔袋〕	明治5年申酉両年分					袋上書「明治五年　諸切符請取入　申酉両年分」	袋	1	456-2～31を一括する袋。456-1～31紙縒で一括
456	2	元賦方仕組金貸渡年賦返納昨辛上納不足	（明治5年ヵ）					八木山村金1両余ほか書上	罫紙	1	456-2～31袋で一括。穂波郡飯塚触の罫紙使用。付紙あ
456	3	永代証文之事	明治5申	12		借主　小畑孫八（印）、受人　村瀬半次郎（印）、副戸長　大和甚九郎（印）、組頭　村瀬甚一郎（印）	村瀬惣十	下田4畝余差入にて米2俵借用	継紙	1	
456	4	覚	（明治初年）	10	14	糀屋　善助	善八様	米4俵代48貫文相渡	継紙	1	
456	5	仮請取	（明治初年）	10	14	竹中屋店	建花寺村　伝助	触講掛銀として銀預り550匁預り	継紙	1	
456	6	請取	酉（明治6）	2	12	手伝村(手伝使と採録しているものもあり)　伊藤登	建花寺付	戸長出福入用として玉子30受取	切紙	1	
456	7	受取	（明治初年）	10	23	沢　又五郎	大和甚九郎	銀預一封受取	切紙	1	
456	8	受取	申（明治5）	6	25	戸長元（印）	建花寺村副戸長　大和甚九郎	早田帳2冊ほか帳面など受取	切紙	1	
456	9	覚	（明治初年）	7	15	普請方	建花寺村	銀預り226匁余相渡	切紙	1	
456	10	止宿証拠之事	明治5申	4		相田村普請才判助役　野見山彦三郎（印）	福岡御県庁	建花寺村御免用石井手御普請のため同村へ止宿の事	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
456	11	請取	壬申(明治5)	7	26	副戸長　伊藤登	副戸籍　大和甚九郎	戸籍口の内へ銀預35貫文ほか請取	切紙	1	
456	12	請取	壬申(明治5)	7	13	伊藤登(印)	建花寺村	戸籍分につき銀預25貫700文受取	切紙	1	
456	13	〔書状〕	(明治初年)	8	22	彦一	大和甚九郎	請取書返上の事ほか	切紙	1	456-13～15は同折
456	14	請取	(明治初年)	8	15	彦三郎	建花寺村	銀預16貫400文請取	切紙	1	
456	15	請取	(明治初年)	8	6	普請方助役　野見山彦三	副戸長　大和甚九郎	銀預13貫600文請取	継紙	1	
456	16	花瀬村止宿証拠之事	明治5申	7		第十四区戸長 麻生賀郎(印)	福岡御県庁	田方根浚見分の節に止宿につき	罫紙	1	
456	17	受取	申(明治5)	5	15	大庄屋元(印)	建花寺村　庄屋組頭衆中	楮皮500斤入札落札上納分銀預1貫416匁余受取	切紙	1	456-17～19は同封
456	18	受取	(明治初年)	10	4	建花寺村　副戸長(印)	大和甚九郎	品代15貫文受取	切紙	1	
456	19	〔楮皮代銀預書上〕	明治5申	4			建花寺村		折紙	1	租税課の付紙(銀預1貫416匁余上納につき楮皮相渡)付
456	20	受取	酉(明治6)	1	12	麻生賀郎(印)	建花寺村	諸上納銀へ銀預15貫550文受取	切紙	1	
456	21	借用証文之事	明治6癸酉	2		借主　村瀬徳市(印)、受人宮野嘉吉(印)	副戸長　大和甚九郎	米2俵借用	切紙	1	
456	22	〔算用書上〕	(明治初年)					14人分上14貫80文ほか家格別銭高・人名書上	継紙	1	
456	23	〔書状〕	(明治初年)					御麻様引合につき本村分家格(上・中・下・極貧)別軒数書上	切紙	1	456-23,24は同折
456	24	覚	(明治初年)					上・中・下・極貧別人名書上	折紙	1	
456	25	受取	癸酉(明治6)	1	24	麻生賀郎(印)	建花寺村	諸上納米に米27俵受取	切紙	1	
456	26	〔建花寺納入関係綴〕	(明治初年)			戸長元払(印)ほか	建花寺ほか	種痘医御礼代銭21貫610文ほか	書綴	1	切紙など10点紙縒
456	27	第拾四区建花寺村貢米下タ米輸出奉願	明治6癸酉	1	8	建花寺村副戸長　大和甚九郎(印)	参事塩谷処、権参事　水野千波、団尚静	貢米石代納のため下ヶ米500俵輸出証拠願い	書綴	1	
456	28	上七ヶ村小野山籾差引	(明治初年)					米1俵代金3両余払入れにつき	折紙	1	
456	29	片島口	(明治初年)					貞六2俵出しほか人別納入俵数書上	折紙	1	
456	30	上七ヶ村小野山籾差引	(明治初年)					米1俵代金3両余払入れにつき	継紙	1	
456	31-1	〔包紙〕	(明治4年頃)					上書「未年　大庄屋元　目六入」	包紙	1	456-31-2～456-31-3の包紙
456	31-2	覚	(明治4年頃)					上納銀〆高405貫349文ほか算用書上	継紙	1	端裏書「三十」
456	31-3	未年分	(明治4年頃)					定飛脚御夫銭17貫69文ほか算用書上	継紙	1	
457	1	〔袋〕	明治6					袋上書〔明治六年　酉秋諸方目録入 」	袋	1	457-2～457-69を一括する袋
457	2	覚	(明治初年)					品代差引残り4貫950文請取	切紙	1	
457	3	覚	(明治初年)	旧12	26	紺屋　又二郎	花瀬村　大和武三郎	紺かせほか代銭99貫700文書上	継紙	1	
457	4	覚	酉(明治6)	旧5		清水徳三郎、同孫平(印)	花瀬村　役人衆中	米7俵余につき元利算用書上	継紙	1	
457	5	預り手形之事	明治7戌	2		花瀬村　宝甚三郎、同　与一郎、受人中村　清水徳三郎	中村　清水孫平	金2円預り	竪紙	1	
457	6	記	(明治初年)	3	30	酒屋　五八郎	大和甚九郎	小学校入用米1斗余書上	継紙	1	
457	7	覚	(明治初年)				花瀬甚九郎	預り分52貫840文につき差引書上	継紙	1	
457	8	〔書状〕	(明治初年)		29	児島金生	大和甚九郎	与一郎より相談の算用の件、旧証文差返しの事	竪紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
457	9	覚	(明治初年)	4	4	□(屋号ヵ)	花せ　甚九郎	品代2貫600文書上	切紙	1	
457	10	覚	(明治初年)	4	11	糀屋　善助	花瀬村　武三郎	4貫文受取	切紙	1	
457	11	覚	(明治初年)	12	12	菱屋　直平	庄屋　甚九郎	半紙1束ほか代銭52貫840文書上	継紙	1	457-12と同折
457	12	〔田反数書上〕	(明治初年)					清七ほか分第156号下田1反余書上	切紙	1	
457	13	覚	申（明治5）	12		糀屋 善助	大和甚九郎	銭取かへほか代銭151貫730文書上	継紙	1	
457	14	覚	(明治初年)	11	25	小くら屋　喜助	花瀬村　甚九郎	油1合ほか代銭17貫330文書上	切紙	1	
457	15	覚	(明治初年)	12	25	菱屋　直平	庄屋　甚九郎	米2俵受取	切紙	1	
457	16	覚	申(明治5)	12		いきす酒屋　五八郎	花瀬村　大和甚九郎	生酒3升ほか代銭書上	切紙	1	457-16、17同折
457	17	覚	申(明治5)	12		いきす酒屋　五八郎	花せ村 武三郎	生酒5升代銭6貫500文書上	切紙	1	
457	18	記	酉(明治6)	旧11	19	花村磯右衛門	大和甚九郎	米10俵代正金23両余につき差引書上	継紙	1	
457	19	記	戌(明治7)	2	14	副戸長中		賃銭割ほか花瀬村分納銭書上	折紙	1	
457	20	覚	酉(明治6)	12		惣作、勝平	花瀬　大和甚九郎	石炭9俵代5貫400文武七方支払い願	継紙	1	
457	21	請取	申(明治5)	12	29	糀屋　善助	大和甚九郎	米3俵受取	切紙	1	
457	22	覚	(明治初年)	8	20	糀屋　善助	花瀬村　彦三郎	元利1貫638文受取	継紙	1	
457	23	〔受取書〕	(明治初年)	1	21	大日寺	花せ村　武一郎	2俵受取	切紙	1	
457	24	記	(明治初年)	12	16	村相談所	穂波郡花瀬村　保長　大和武三郎	米1升余ほか代銭残り75銭余書上	切紙	1	457-24～26同折。□＝不読
457	25	記	(明治初年)	2	16	角屋　亦次	花瀬	米2俵受取	切紙	1	
457	26	覚	酉(明治6)	極月		指屋　三平	花セ　大和武三郎	百長1升ほか書上	継紙	1	
457	27	請取	(明治初年)	12	23	半市	武三郎	櫨8俵受取	切紙	1	
457	28	請取	(明治初年)	3	31	清右衛門(印)	大和甚九郎	銀預り38文受取	切紙	1	
457	29	〔書状〕	(明治初年)	1	30	山本陽平	大和甚九郎	余米の内残り分7歩請取	切紙	1	
457	30	覚	(明治初年)					借過18貫120文につき算用書上	切紙	1	
457	31	記	(明治初年)					吸物ほか品物書上	継紙	1	
457	32	記	酉(明治6)	12		角屋　又吉	大和甚九郎	かつを1本ほか代銭8貫70文書上	継紙	1	
457	33	〔書状〕	(明治初年)	2	14	村や三兵衛	大和武三郎	10円受取、残り5円につき小札両替の事ほか	継紙	1	457-33～457-35は同折
457	34	覚	(明治初年)	3	24	糀屋　善助	花瀬村　武市郎	塩2俵ほか代銭4貫150文につき算用書上	継紙	1	
457	35	請取	酉(明治6)	3	27	第七大区 仮調所(印)	副戸長　福沢重平	石代上納分89円余受取、古川三平納	切紙	1	
457	36	請取	(明治初年)	1	20	小くら屋　喜助	花瀬村　甚九郎	金札1両請取	切紙	1	
457	37	記	戌(明治7)	2	13	橋屋　三平(印・「筑前飯塚・「マル・三」・□屋」)	花瀬村　保長大和武三郎	米13俵代金札8両余相渡	切紙	1	
457	38	覚	(明治初年)	旧正月	29	糀屋　善助	花瀬村　武三郎	米代1俵代綿5斤余受取	切紙	1	
457	39	覚	(明治初年)	4	28	花瀬　大和甚九郎	菱屋　直平	極上墨1丁借用願い	切紙	1	
457	40	〔納米算用書上〕	明治5申					大和武三郎御徳米4俵余ほか	折紙	1	
457	41	覚	(明治初年)	旧12		ちとせや 孫六	花せ村 大和甚九郎	塩小鯛ほか代銭29貫25文書上	継紙	1	457-2と同折
457	42	記	戌(明治7)	1		小くら屋　喜助	甚九郎	蝋燭ほか代銭6貫750文書上	切紙	1	
457	43	覚	酉(明治6)	旧12	30	紺屋　又三郎	花瀬村　大和甚九郎	染代目録前ほか103貫850文につき引合願い	継紙	1	
457	44	請取	(明治初年)	8	11	内野　役所		杉丸太33本受取	切紙	1	
457	45	覚	(明治初年)			義八郎	武三郎	斤数書上	継紙	1	
457	46	記	(明治初年)		27	千孫	久助	小鯛1枚代銭1貫400文ほか書上	切紙	1	
457	47	記	酉(明治6)	冬		いきす酒屋　五八郎	花瀬村甚九郎	米代ほか差引書上	切紙	1	冬
457	48	覚	申(明治5)	12		いきす酒屋　五八郎	大和甚九郎	丑不足3貫198文ほか差引書上	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
457	49	覚	(明治初年)	正月	5	糀屋　善助	大和甚九郎	品代〆高ほか代銭42貫230文につき差引書上	継紙	1	
457	50	覚	(明治初年)	3	18	花村伴右エ門	大和甚九郎	伊勢講掛金につき	折紙	1	
457	51	覚	(明治初年)	12		菱屋　直平	花瀬村　甚九郎	墨1丁代銭550文ほか書上	継紙	1	
457	52	請取	申(明治5)	12	29	ちとせや　孫六	花瀬　武四郎	米2俵請取	切紙	1	
457	53	覚	申(明治5)	3		森崎屋　儀右衛門	花瀬村　大和甚九郎	巳54匁ほか書上	切紙	1	
457	54	覚	酉(明治6)	1	26	紺屋　又三郎	花瀬村　大和武三郎	目録前ほか代銭53貫260文につき差引書上	継紙	1	
457	55	覚	申(明治5)	12		いきす酒屋　五八郎	大和甚九郎	生酒8升代銭受取	切紙	1	
457	56	覚	(明治初年)	11	20	糀屋　善助	花瀬村　武七	上々塩6俵代銭7貫200文指上	継紙	1	
457	57	覚	酉(明治6)	1		紺屋　又三郎	花瀬村　大和甚九郎	こんかせほか代銭46貫660文書上	継紙	1	
457	58	覚	(明治初年)	5	27	糀屋　善助	花瀬村　大和甚九郎	綿2斤代銭9貫200文ほかにつき差引書上	継紙	1	
457	59	証券	戌(明治7)	2	16	伴藤長五郎(印)	大和武三郎	銭36貫文請取	切紙	1	
457	60	現銀染物御通	明治6酉	1		乙丸紺屋　又三郎(印)	花瀬村　大和甚九郎		小横帳	1	
457	61	〔覚〕	(明治初年)					米8合代銭640文ほか書上	継紙	1	
457	62	記	酉(明治6)	冬		いきす酒屋　五八郎	花瀬村　甚九郎	丑不足3貫198文ほか書上	継紙	1	
457	63	記	(明治初年)	4	8	□	花せ 大和甚九郎	目白1羽ほか差引代銭1貫700文請取	継紙	1	□＝屋号のため入力不可能
457	64	覚	(明治初年)	12	18	蔵方	花せ　武三郎	印税竿掛り銭5貫190文書上	切紙	1	
457	65	覚	酉(明治6)	旧正月	3	紺屋　又三郎	大和甚九郎	目録前ほか差引残り6貫500文受取	継紙	1	
457	66	明治五申年間通	明治5申					大和武三郎徳米4俵余ほか書上	折紙	1	
457	67	覚	酉(明治6)	12		糀屋　善助	花瀬村　武三郎	塩6俵ほか代銭7貫150文書上	切紙	1	
457	68	記	(明治初年)	6	17	菱屋　直平	庄屋　甚九郎	米1俵代13貫700文ほか算用書上	切紙	1	
457	69	覚	(明治初年)	4	5	糀屋　善助	花瀬村　武三郎	油5合ほか代銭8貫200文書上	継紙	1	
458	1	〔袋〕	明治6					袋上書「明治六年　花瀬建花寺両村分石代上請取入帳面入　副戸長目録入」	袋	1	458-2～458-16を一括する袋
458	2	記	(明治初年)					小野証券1619円余ほか村別金銭書上	罫紙	1	
458	3	記	(明治初年)	12	12	紙や　孫太郎(印・「博多中嶋町・紙屋孫太郎」)	建花寺村分	手数料2円余受取	切紙	1	
458	4	記	(明治初年)	12	12	紙や　孫太郎(印・「博多中嶋町・紙屋孫太郎」)	花瀬分	手数料1円余受取	切紙	1	
458	5	記	酉(明治6)	12	15	副戸長　野見山彦三郎	保長　大和武三郎	7ヶ村分小野証券1619円余につき受取	切紙	1	
458	6	記	(明治初年)	10	22	建花寺村　本村蔵方	大和甚九郎	金銭5円ほか受取	折紙	1	
458	7	〔算用書上〕	(明治初年)	12	10			1687貫830文ほか書上	継紙	1	端裏書「定目六」
458	8	佐賀県出夫之銭御渡目録	戌(明治7)	8			花瀬村	福岡出夫分などにつき	折紙	1	
458	9	癸酉石代受取証	明治7戌	6	10	第七大区　調所(印)	花瀬村保長　大和武三郎	大和甚九郎納108円余受取	切紙	1	
458	10	請取	戌(明治7)	6	9	いきす　野見山彦市(印)	大和甚九郎	建花寺村分12円余受取	継紙	1	
458	11	覚	(明治初年)					金491円余ほか算用書上	折紙	1	
458	12	記	(明治初年)					米297俵ほか算用書上	継紙	1	
458	13	貢米為替通	明治6酉	12	2	古川三平(印」)	花瀬村	米数書上、金子為替扣	小横帳	1	
458	14	癸酉石代上納之内	戌(明治7)	1	24	第七大区調所(印)	花瀬村	癸酉石代上納分金10円請取	継紙	1	付紙あり
458	15	〔算用書上〕	酉(明治6)	12				建花寺村分調所入費ほか書上	長綴	1	
458	16	覚	(明治初年)	5	24	□	大和甚九郎	金10円請取	切紙	1	□＝屋号のため入力不可能

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
459	1	〔袋〕	明治7戌	正月ヨリ				袋上書「明治七年　大和甚九郎分　諸請取切符入　戌五月ゟ」	袋	1	459-2～459-23を一括する袋
459	2	借用仕証文之事	明治7戌	旧8	朔日	借主　伴右衛門(印)	花せ村　大和甚九郎	利方に米2斗借用	竪紙	1	
459	3	〔通知〕	(幕末維新期)	1	11	三兵衛	大日寺・花瀬 保長中	伍長改正につき新伍長人選の事ほか	罫紙	1	459-4と同折
459	4	〔通知〕	(幕末維新期)	1	10	立花三兵衛(印)	大日寺村・花瀬村保長中	調所よりの納税通知の件	罫紙	1	
459	5	記	(幕末維新期)	9	22	森崎屋儀右衛門	花瀬村　大和甚九郎	吉左衛門へ糠10俵算用願い	継紙	1	
459	6	〔書状〕	(幕末維新期)	10	17	大日寺　保長中	保長　大和武三郎	勝七留守につき今日切りの調銀の件は分からざる事	切紙	1	
459	7	覚	戌(明治7)	7	29	ひしや　直平	大和甚九郎	極上々表16枚代銭36貫文ほか算用書	切紙	1	
459	8	〔届書〕	明治7	7		第七大区穂波十小区花瀬村　農　赤間甚作(印)	戸長　浦上皆渡、戸長　林田辰平	次男甚三郎満20歳につき	書綴	1	
459	9	請取	(幕末維新期)	8	18	大日寺村　赤間勝七	花セ村　大和甚九郎	銭7貫800文受取	切紙	1	
459	10	預り手形	慶応4	閏4		花瀬村　大和甚九郎(印)	青柳式部	米2俵預り	継紙	1	
459	11	覚	(幕末維新期)	8	19	糀屋　善助(印)	花瀬村　大和武三郎	塩1俵代銭1貫150文ほかにつき引合願	継紙	1	
459	12	記	(幕末維新期)					銭高算用書上	折紙	1	
459	13	記	(幕末維新期)	7	晦日	赤間勝七	大和武三郎	調所出米として米3俵受取	切紙	1	
459	14	酒御通	明治7申戌	3	吉日	糀屋　三平	花瀬村　大和武三郎	「古酒五升」他	小横帳	1	
459	15	現銀醤油通	明治7戌	2		糀屋　善作	花瀬村　大和甚九郎		小横帳	1	
459	16	現銭酒通	明治7戌	3		伊支須酒屋　五八郎	大和甚九郎		横帳	1	
459	17	〔書付〕	(幕末維新期)					嶋かや根ほか食材書上	切紙	1	
459	18	記	戌(明治7)	12	朔日	帯屋店(印)	大塚甚九郎	米2俵受取	切紙	1	
459	19	覚	(幕末維新期)			ひしや　直平	大和甚九郎	米2俵受取	継紙	1	
459	20	記	戌(明治7)	11		大和武七	蔵方	米山幸八為替銭46貫284文調達願い	継紙	1	
459	21	記	(幕末維新期)	9	14	五八郎	大和甚九郎	51貫900文につき差引算用書上	切紙	1	
459	22	覚	戌(明治7)	7		紺屋　与作	花瀬村　大和甚九郎	金物1つほか代銭19貫550文につき差引書上	切紙	1	
459	23	記	(維新期)	旧8	19	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	算用不足ほかにつき差引書上	切紙	1	
460	1	〔袋〕	明治7戌	1				袋上書「明治七年　御用諸受取入　戌一月」	袋	1	460-2～460-35を一括する袋
460	2	記	(明治初年)	12	19	花瀬村保長　大和武三郎	第七大区　御調所	薮税ほか6銭余受取	切紙	1	
460	3	記	(明治初年)					次吉10円ほか金銭・人名書上	継紙	1	
460	4	〔書状〕	(明治初年)	旧10	4	角屋　又吉	大和甚九郎	忍借願い	継紙	1	
460	5	受取	戌(明治7)	4	30	第七大区調所(印)	花瀬村	櫨実銭58銭余受取	切紙	1	
460	6	調所費証	戌(明治7)			(第七大区調所)	花瀬村	金7円50銭の納付通知	切紙	1	
460	7	受取	戌(明治7)	12	2	第七大区調所(印)	花瀬村	調所費3円受取	切紙	1	
460	8	記	(明治初年)	12		伊岐須小学	花瀬村	小学校書籍料見込みなど書上	切紙	1	
460	9	記	(明治初年)	1	3	山県藤太、熊本円作	大和武三郎	各種現反歩調手数料12円余請取	切紙	1	
460	10	〔包紙〕	(明治初年)			潤の村 児辺金生	保長大和武三郎		包紙	1	包紙のみ
460	11	受取	戌(明治7)	11	20	第七大区　調所(印)	花瀬村	金4円受取	継紙	1	
460	12	記	(明治初年)	10	12	赤間勝七	保長　大和武三郎	銭10貫文請取	切紙	1	
460	13	記	亥(明治8)	7	14	甘木や　武四郎	深町文蔵、大和甚九郎	米5俵代金につき差引書上	切紙	1	
460	14	記	戌(明治7)	5	6	第七大区　調所(印)	花瀬保長、大和武三郎	薮洲口玉子小札銭34銭余受取	切紙	1	
460	15	記	戌(明治7)	9	1	第七大区　調所(印)	花瀬村	米3俵請取	切紙	1	
460	16	請取	(明治初年)	第2	5	清水涼平(印)	大和甚九郎	金7円受取	継紙	1	
460	17	請取	(明治初年)	8	4	宮城大唱	花瀬保長　大和武三郎	15貫500文受納	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
460	18	記	(明治初年)			八木山村　役場	花瀬村　保長衆	保長衆賄い代ほか紙屋払い分11貫310文書上	折紙	1	
460	19	請取	(明治初年)	4	25	指屋　三平(印)	花せ　大和武三郎	米2俵受取	切紙	1	
460	20	〔通知〕	(明治初年)	12	17	副戸長　立石三平(印)	大和武三郎	薮税ほか6銭余上納につき	切紙	1	
460	21	〔書状〕	(明治初年)		29	副戸長　立石三平	花瀬村保長　大和武三郎	櫨実銭上納につき受取証差出の事	切紙	1	
460	22	証	明治7	12	27	福岡県　租税課(印)	第七大区　花瀬村　大和武三郎	大和武三郎分櫨実税3厘請取	切紙	1	
460	23	記	戌(明治7)	6		吉村敬七郎(印)	保長　大和武三郎	賄代11円余書上	書綴(罫紙)	1	
460	24	〔書状〕	(明治初年)	12	30	潤の村　児島金生	保長　大和武三郎	村内よりの出銅金の件ほか	竪紙	1	付紙あり
460	25	記	(明治初年)					八木山村幸八米2俵ほか算用書上	継紙	1	
460	26	〔通知〕	(明治初年)	10	10	戸長　浦上皆渡(印)	花瀬村　副戸長・保長中	田畑破免の件について	罫紙	1	
460	27	記	申（明治5)	12		清水涼平(印)、同徳三郎	花瀬副長　福沢十平、同組頭　宝岡次郎、同　同与一郎	巳冬取替元米7俵につき算用書上	継紙	1	460-27～30同折
460	28	記	戌(明治7)	旧3	4	福沢十平	大和武三郎	八木山村触用不足175貫30文受取	切紙	1	
460	29	記	申(明治5)	冬		幸袋村副戸長　伊藤七五郎	花瀬村　役人中	申冬約メ前米10俵余書上	継紙	1	年月日の箇所に「冬」とあり
460	30	覚	未(明治6)	11		幸袋村庄屋　伊藤七五郎(印)	花セ村庄屋　福沢十平、組頭衆中	上納不足分7俵余支払い願い	切紙	1	
460	31	順廻帳	明治7戌	1月改				職務記録	小横帳	1	
460	32	〔書状〕	(明治初年)	11	27	福沢十平	大和武三郎	金生殿差引未だ済まざるにつき掛合	切紙	1	
460	33	第七大区十小区花瀬村図製給料請取目録	明治7	6		吉村敬七郎(印)、柴田嶋渡(印)、吉浦正太郎(印)		花瀬村副戸長立石三兵衛の奥書あり	書綴	1	
460	34	記	(明治初年)	8	31	副戸長　野見山彦三郎(印)	花瀬　大和甚九郎	調所より借入の米金割合の件	罫紙	1	
460	35	〔書状〕	(明治初年)	旧極月	29	潤の村　児島吉左衛門	保長　大和武三郎	村方より出財の儀につき掛合	罫紙	1	
461	1	〔袋〕	明治8亥	1		大和武三郎		袋上書「明治八歳　大和武三郎　御用諸受取入　亥一月」	袋	1	461-2～461-47を一括する袋。461-1～461-47は紙縒で一括
461	2	明治八年民費上納記	明治10	8		花瀬村保長　大和武三郎	八木山村　立石三兵衛	四民関係庁用費3円余ほか書上	継紙	1	461-2～461-7は同折
461	3	調所入費上納受取証	(明治初年)	10	24	副戸長　立石三兵衛(印)	保長　大和武三郎	金31円87銭9厘受取	切紙	1	
461	4	請取	亥(明治8)	10	6	第七大区調所(印)	花瀬村	四民関係費金2円80銭受取	切紙	1	
461	5	〔受取証〕	亥(明治8)	12	27	第七大区調所(印)	花瀬村	教員月給2円50銭受取	切紙	1	
461	6	〔受取証〕	亥(明治8)	1	21	第七八大区調所(印)	花瀬村	大和武三郎納分民費金16円14銭6厘請取	罫紙	1	
461	7	〔用状〕	明治8	2		副戸長　立石三兵衛(印)	花瀬村保長　大和武三郎	花瀬村分入用割合算用願い	折紙	1	
461	8	〔書状〕	(明治初年)					40銭の受取書送付願い	罫紙	1	
461	9	記	(明治初年)	4	9	林田茂右衛門	大和武三郎	米50俵代1407貫500文につき差引算用書上	切紙	1	
461	10	記	明治8	2		第十八区横田村保長　栗田伊三郎(印)	第十四小区花瀬村保長大和武三郎	花村孫七・同与次郎ら花瀬村に出稼ぎにつき同村にて面役申付け願い	罫紙	1	
461	11	覚	(明治初年)	6	7	[　　]	保長 大和武三郎	明日より三潴県に入込の事ほか	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
461	12	記	(明治初年頃)					甚市銀預5貫277文ほか人別金銭書上	長綴	1	
461	13	御払下ヶ木代	(明治)9	1	24	第七八大区調所(印)	副戸長　立石三兵衛、保長　大和武三郎	松木2本代55銭ほか上納の事	罫紙	1	
461	14	〔書状〕	(明治初年)	旧9	14	蛭子屋　清四郎	山和甚九郎、同御い子	平三郎殿より借用米の件ほか	継紙	1	
461	15	記	(明治初年)	7	2	片嶋村舟頭　清左衛門	花瀬村　卯三郎	米2俵請取	切紙	1	
461	16	〔納米算用書上〕	(明治初年)			(第七大区調所)	花瀬村	上納石数・未納分書上	切紙	1	
461	17	何郡何村抱官林並木損木入札	(明治初年)			第何大区何村居住　何某	福岡県令渡辺清	落札報告書ほか雛形	切紙	1	
461	18	受取	(明治初年)	11	4	飯塚駅通運会社(印)	花瀬村　吏員中	操替帳1冊・送状1通・御添翰1封受取	切紙	1	
461	19	記	(明治初年頃)	6	11	糀屋　善助	花瀬村　武三郎	金巾浅帯4尺1貫540文ほか品代書上	切紙	1	
461	20	覚	(明治初年)					甚助分ほか12円につき算用書上	切紙	1	
461	21	受取	(明治)8	8	7	副戸長　立石三兵衛(印)	大和武三郎	八木山村幸八の立用為替上納分4円余受取	切紙	1	
461	22	受取	亥(明治8)	11	16	片しま村　下川清右衛門(印)、同　林田添右ェ門(印)	花瀬村　武三郎	戌年運賃米2俵受取	切紙	1	
461	23	正米納運賃	亥(明治8)	8		(第七大区調所)	花瀬村	正米納運賃米1俵余納入につき通知	切紙	1	
461	24	明治7年中就学不就学書上	(明治7年頃)					花瀬村分雛形	罫紙	1	
461	25	記	(明治初年)			川原七兵衛(印)	大和武三郎	金2円受取	竪紙	1	
461	26	記	(明治初年)					一等田1反余につき石高ほか書上	罫紙	1	
461	27	〔普請願い〕	(明治初年)			右村保長　――、副戸長―――	福岡県令渡辺清	用水樋ほか花瀬村破壊箇所につき	切紙	1	案文
461	28	記	(明治初年)					精図持吉村渡ほか4円余書上	切紙	1	
461	29	記	明治8	7	11	川原七兵衛(印)	大和武三郎	金50銭受取	切紙	1	
461	30	〔書状〕	(明治初年)			立石三兵衛	大和武三郎	調所入費10円落手の事、残分も上納の	切紙	1	
461	31	〔通知〕	(明治)8	3	2	第七大区調所(印)	花瀬村	置米分9石余蔵詰の上、預り証差出すべき事	切紙	1	
461	32	記	(明治)8	7	3	吉村敬七郎(印)	大和武三郎	品代ほか金3円余請取	罫紙	1	
461	33	並木松風転御届	明治8	2	12	第七大区十四小区花瀬村　保長　大和武三郎(印)、副戸長　立石三兵	福岡県令渡辺清	1枚目は2月12日付の松2本転木につき届出、2枚目に2月14日付の福岡県からの指示	書綴(罫紙)	1	
461	34	記	(明治初年)	4	19	立石三兵衛(印)	大和与一郎	今中幸八差引分金4円25銭上納願い	切紙	1	
461	35	請取	(明治初年)	12	31	幸袋村　伊藤長五郎(印)	花瀬村	貸米の内へ米4俵受取	切紙	1	
461	36	御郡夫御通	明治8	1		福沢久四郎			小横帳	1	
461	37	〔通知〕	亥(明治8)	8	29	副戸長　野見山彦三郎(印)		花瀬村分小学校教員月給割1円余納入につき	切紙	1	
461	38	受取	(明治初年)	5	13	蛭子屋　清四郎	花瀬村　保長衆中	手数料ほか5円80銭受取	継紙	1	
461	39	受取	(明治初年)	旧10	20	片しま　清右衛門(印)、弥右衛門(印)	花瀬村　蔵方	運賃米1俵受取	切紙	1	
461	40	受取	(明治初年)	第11	3	高崎越郎(印)	大和武三郎	調費口々1円余受取	罫紙	1	
461	41	〔書状〕	(明治初年)	旧6	7	上川平市	花瀬村保長　大和武三郎	残金の件につき相談願い	切紙	1	
461	42	受取	(明治初年)	6	28	第七大区調所(印)		花瀬村大行事年賦米17銭8厘受取	切紙	1	
461	43	受取	(明治初年)	11	7	片しま村　林田弥左衛門(印)	花瀬村　蔵方	運賃米1俵受取	切紙	1	
461	44	貢米送賃	明治8			第七大区調所(印)	花瀬村	米1石余大行事払い	切紙	1	
461	45	受取	亥(明治8)	7	27	(印・「第七大区調所」)		戌割賦帖1冊受取	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
461	46	記	(明治初年)					惣反別72丁歩分清図給料1円余ほか	切紙	1	
461	47	〔算用書上〕	(明治初年)	10	16	副戸長(印・「福岡県第七大区十四小区印」)	花瀬村　保長中	花瀬村分調所入費26円につき算用書上	折紙	1	
462	1	〔袋〕	明治8年			大和甚九郎		袋上書「大和甚九郎　明治八年亥諸方目録入」	袋	1	462-2～462-72を一括する袋。462-2～462-72はさらに、紙縒で一括
462	2	記	(明治初年)	旧6	9	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和武三郎	米2俵代金2円余につき差引不足書上	罫紙	1	
462	3	記	(明治初年)	旧6	21	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和武三郎	米2俵代金3円余につき差引残り相渡	切紙	1	
462	4	記	(明治初年)	3	10	米屋　吉兵衛	大和甚九郎	先日分5銭書上	切紙	1	
462	5	記	(明治初年)	8	24	糀屋　善助	武三郎	灯籠1つほか代銭81銭につき算用書上	切紙	1	
462	6	〔書状〕	(明治初年)	7	22	大日寺村□中	惣代　大和武三郎	庁用費ほか貸渡し願い	切紙	1	462-7と同折
462	7	〔納金高書上〕	(明治初年)					武三郎分13銭余書上	切紙	1	
462	8	記	(明治初年)	5	5	渕上徳七	大和武三郎	瀬助ほか分6円余書上	切紙	1	
462	9	記	(明治初年)					納金につき算用書上	折紙	1	462-10と同折
462	10	覚	(明治初年)	4	20	千年屋　吉平	千年屋　惣次郎	鯛1枚ほか120貫175文書上	切紙	1	
462	11	記	子(明治9)	旧7		紺屋　与作	花瀬村　大和甚九郎	金2円余請求	切紙	1	
462	12	記	(明治初年)	2	5	酒屋　五八郎	花セ　源七	米5升受取	切紙	1	462-12～462-15は同折
462	13	記	(明治初年)	1	25	酒屋　五八郎	大和　甚九郎	酒2升余代30銭受取	切紙	1	
462	14	記	(明治)9	1	25	酒屋　五八郎(印・「筑前伊岐須・□・酒屋」)	はなせ　大和武三郎	酒3斗余代4円余受取	切紙	1	
462	15	記	(明治)9	1	25	酒屋　五八郎(印・「筑前伊岐須・□・酒屋」)	はなせ　大和甚九郎	戌年分酒代ほか25貫720文受取	継紙	1	
462	16	記	亥(明治8)	12		酒屋　五八郎	花瀬村　大和甚九郎	丑不足3貫198文ほか算用書上	継紙	1	462-16～462-27は同折
462	17	記	(明治初年)	旧6	26	糀屋　善助	花瀬村　武三郎	刻1袋ほか代銭88銭余書上	継紙	1	
462	18	記	(明治初年)	正月	27	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和武三郎	品代65銭余書上	切紙	1	
462	19	記	(明治初年)	第3	11	大日寺村　蔵元ヨリ	花セ村　大和武三郎	8年未納分金14銭2厘上納の事	切紙	1	
462	20	覚	亥(明治8)	12		ちとせや　孫六	はなせ村　武三郎、与一郎、甚七郎	賄代ほか81銭余書上。子2月22日受取	継紙	1	
462	21	記	亥(明治8)	12		酒屋　五八郎	花瀬村　武三郎	酒3斗余書上	継紙	1	
462	22	記	(明治8)	12		か治屋　利七	花瀬村　甚九郎	ふち1歩ほか代銭45銭書上。子1月21日受取。	切紙	1	
462	23	覚	亥(明治8)	旧3		森崎屋　喜右衛門	花瀬村　大和甚九郎	酉54銭ほか請取	継紙	1	
462	24	記	子(明治9)	1	4	閏野　義八郎	武三郎	数量書上	切紙	1	
462	25	記	(明治初年)	5	5	山本陽平	大和甚九郎	金4円ほか受取	継紙	1	
462	26	請取	(明治初年)	4	30	山本陽平	大和甚九郎	田地代金19円50銭預り	切紙	1	
462	27	記	(明治初年)	10	29	糀屋　善助	花瀬村　武三郎	綿1斤ほか代70銭余書上	切紙	1	
462	28	記	(明治初年)	4	20	千年屋　惣次郎	大和武三郎	わら1つほか代860円書上	切紙	1	
462	29	記	(明治初年)	4	18	千年屋　惣次郎	上様	かつを2本ほか代3円余書上	継紙	1	
462	30	記	(明治初年)	4	20	千年屋　惣次郎	大和武三郎	地紙2本ほか代8円余書上	継紙	1	
462	31	記	(明治初年)	4	18	千年屋　惣次郎	上様	ジガミ2つほか書上	切紙	1	
462	32	記	(明治初年)	2	8	糀屋　善助	花瀬村　大和甚九郎	蝋燭半斤代ほか差引残金1円余受取	継紙	1	
462	33	記	子(明治9)	正月		橋屋　三平	大和武三郎	兼露ほか3升代4貫500文書上	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
462	34	〔上納関係書類〕	(明治初年)	2	2	立石三兵衛	八木山村 松尾六兵衛、大日寺村　高崎越郎次、花瀬村　大和武三郎	十七小区副戸長へ目録通り米上納すべき事	書綴	1	
462	35	記	亥(明治8)	12		糀屋　善助	花瀬村　武三郎	刻1袋ほか代23円余書上	継紙	1	462-35～462-38は同折
462	36	記	(明治初年)	12	29	糀屋　善助	花瀬村　武三郎	米2俵受取	切紙	1	
462	37	記	(明治初年)	12	28	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	金5円受取	切紙	1	
462	38	記	(明治初年)	12	25	糀屋　善助(印)	花瀬村　大和武三郎	金12円受取	継紙	1	
462	39	記	(明治初年)	7	7	糀屋　善助	大和武三郎	品代43銭書上	切紙	1	
462	40	記	(明治初年)	7	1	糀屋　善助	大和武三郎	上木綿2反代78銭指上	継紙	1	
462	41	記	(明治初年)	5	16	森崎屋　久兵衛(印・「筑前飯塚・□・□喜」)	花瀬　大和甚九郎	米7俵受取	切紙	1	
462	42	記	(明治初年)	旧5	18	糀屋　善助	花瀬村　武三郎	嶋1反代金1円余相渡	切紙	1	
462	43	記	(明治初年)	旧5	27	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和武三郎	極上刻1巻ほか代銭1円余受取	継紙	1	
462	44	記	(明治初年)					木綿2反代75銭書上	切紙	1	
462	45	記	(明治初年)	正月	19	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和御氏	極上打綿相渡	切紙	1	
462	46	〔算用書上〕	(明治初年)			(印・「福岡県第□□区□□印」□＝印字かすれにより不読)	花瀬村惣代　大和武三郎	2月分月給日割・1月分村費ほか5円余につき算用書上	切紙	1	
462	47	〔書状〕	(明治初年)	6	14	彦四郎	大和甚九郎	2歩金1両差上	切紙	1	462-47～462-62をつつむ包紙として使用。上書「諸々請取目六入」。462-46の上から紐がかけてある
462	48	受取	(明治初年)			改役　文吉	花瀬村　茂左衛門	正金2両受取	切紙	1	
462	49	請取	(明治初年)	11	朔日	石田和七(花押)	大和甚九郎	下町蔵方米2俵請取の件、代金支払い願い	継紙	1	
462	50	請取	(明治初年頃)	12	11			正金8両受取	切紙	1	
462	51	覚	(明治初年頃)	閏4	26	小野山善三郎	大和甚九郎	正金八両相渡	継紙	1	
462	52	覚	(明治初年)	11	3	石田和七(花押)	花瀬　大和甚九郎	元利9円余につき算用書上	切紙	1	
462	53	〔書状〕	(明治初年)	9	19	飯塚宿馬頭取	花瀬村庄屋　甚九郎	品物此者へ御渡し願い	切紙	1	
462	54	証拠	巳(明治2)	10	10	岩崎　久兵衛(印)	大和甚九郎	正金3両此者へ御渡し願い	継紙	1	
462	55	預り	巳(明治2)	11	9	花瀬　吉次郎	儀七	正金1両ほか15日限り引替の事	堅紙	1	
462	56	預手形	辰(明治1)	9	26	花瀬村　大和甚九郎(印)	乙丸　又右衛門	正金1両3歩預り	切紙	1	
462	57	請取	(明治初年)	11	14	糀屋　善五郎	花瀬村　大和甚九郎	米2俵請取	切紙	1	
462	58	請取	辰(明治1)	12	朔日	角屋　又兵衛(印)	花瀬村　大和甚九郎	正金2両ほかにつき	切紙	1	
462	59	預り	巳(明治2)	11		甚作、はふや武七	儀七	金1両ほかにつき	折紙	1	
462	60	請取	(明治初年)			椿村孫屋　茂平	花瀬村　大和甚九郎	切手59貫200文請取	切紙	1	
462	61	新枡拝借証拠之事	明治2巳	6		穂波郡花瀬村庄屋　金子弥七郎(印)	福田太七	御枡改につき拝借分書上。	継紙	1	
462	62	古枡納証拠之事	明治2己	5		穂波郡花瀬村庄屋　金子弥七郎(印)	福田太七	御枡改につき古枡納め分の書上。大野助右衛門宛福田太七奥書あり	継紙	1	
462	63	現銀御通	明治8亥	3		糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	品代書上	小横帳	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
463	1～83	〔袋〕	(明治)10	3	10迄	大和武三郎		袋上書「十年三月十日迄　大和武三郎明治九年諸御用受取入」	袋		463-1～463-83を一括する袋
463	1	紙屋預帳	明治8亥	8				大和甚九郎分	小横帳	1	
463	2	調所引付前	(明治)8	12	10	小区扱所(印・「福岡県第[ ]区十四小区印」)	花瀬村	戌石代未納138円余ほか差引書上	罫紙	1	
463	3	貢租負債書上	(明治8)			花瀬村			書綴(罫紙)	1	
463	4	〔地租県納計算書〕	(明治8)			(印・「福岡県第六大区二小区之印」)	花瀬村	明治8年分地租金370円余につき差引書上	罫紙	1	
463	5	記	(明治9)	2	17	八木山村　保長中	大日寺村・花瀬村　保長衆中	明治8年中小区費16円余につき算用書上	罫紙	1	
463	6	請取証	明治9	2	20	中村　清水涼平(印)	花瀬村	十三小区青柳副戸長割付米受取	罫紙	1	
463	7	受取	明治9	3	18	第弐号扱所(印・「青柳」)	花瀬村惣代　大和武三郎	大行事焼失米年賦金に8銭余受取	切紙	1	
463	8	記	(明治)9	3		蓮台寺村惣代　村瀬徳七(印)	花瀬村惣代　大和武三郎	野見山勝三郎出稼ぎにつき面役帳指除きの事	罫紙	1	
463	9	受取	明治9	4	2	第弐号扱所(印)	花瀬村	宅地林藪税金の内惣代大和武三郎納金10円受取	切紙	1	
463	10	証	明治9	4		第七大区十三小区枝国村　惣代畑中養左衛門	花瀬村惣代　大和武三郎	野見山弥平一季奉公につき請証	罫紙	1	
463	11	〔納金高差引書上〕	明治9	4		弐号扱所(印)	花瀬村	民費指引残りほか	折紙	1	
463	12	請取証	明治9	6	15	第弐小区扱所(印)	花瀬村	庁用費半額分2円余ほか受取	切紙	1	
463	13	証	(明治)9	7	29	第弐小区扱所(印)	花瀬村惣代　大和武三郎	民費銭先納金・扱所設立費・教員月給18円余請取	切紙	1	
463	14	受取	明治9	8	25	第弐小区扱所(印)	惣代　大和武三郎	庁用費1円余受取	切紙	1	
463	15	復籍請証	(明治)9	第8	27	第二小区大日寺村惣代　岸田仁蔵(印)	同小区花瀬村惣代　大和武三郎	谷口芳平1家当村戸籍帳へ差加えにつき	罫紙	1	包紙あり。包紙上書「復籍請証 大日寺村ヨリ　花瀬村行」
463	16	〔納金割方切符〕	明治9	8		二小区扱所(印)	花瀬	7月より9月まで訓導補月給戸数割1円	切紙	1	
463	17	〔納金割方切符〕	(明治)9	8		第二小区扱所(印)	花瀬村	庁用費之内2度目1円余	切紙	1	
463	18	受取証	(明治)9	9	13	第二小区扱所(印)	花瀬村	7月より9月迄教員月給1円余受取	切紙	1	
463	19	明治九年分民費金賦課	(明治)9	9		(印・「福岡県第六大区二小区之印」)	花瀬村	8円余につき	罫紙	1	
463	20	証拠	(明治)9	10	12	一小区扱所(印)	花瀬村	一等橋梁修復出夫3人につき	切紙	1	
463	21	請取	(明治)9	10	12	一小区扱所(印)	花瀬村	橋梁修復用飯塚出し杉2本請取	切紙	1	
463	22	受取	明治9	10	21	第弐小区扱所(印)	花瀬村惣代　大和武三郎	大和甚九郎納19円受取	切紙	1	
463	23	受取	(明治)9	10	20	第二小区扱所(印)	花瀬村惣代　大和武三郎	地券証印税ほか38銭受取	切紙	1	
463	24	受取	(明治)9	10	30	第二小区扱所(印)	花瀬村惣代　大和武三郎	庁用費大和甚九郎納1円余受取	切紙	1	
463	25	明治九年地租金上納期限	明治9	10		第弐小区扱所(印)	花瀬村	初納・二納ほかにつき	罫紙	1	
463	26	受取証	(明治)9	11	14	二小区扱所(印)	花瀬村惣代　大和武三郎	訓導月給の内58銭受取	切紙	1	
463	27	記	(明治)9	12	26	二小区扱所(印)	花瀬村	地租改正につき諸入費割宛ほか96銭余割付	切紙	1	
463	28	受取証	明治9	12	29	第弐号扱所(印)	花瀬村惣代人　大和武三	100分1ノ1割3歩之内7円受取	切紙	1	
463	29	受取	(明治)9	12	30	二小区扱所(印)	花瀬村	種痘医給米6銭余受取	切紙	1	
463	30	記	明治9子	旧12	晦日	中津屋与吉(印)	花瀬村　大和与一郎	楽市村助右衛門渡し分米2俵受取	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
463	31	九年分庁用費半額本月十四日限扱所納	子(明治9)	6		第二区扱所	花瀬村	田畑宅地山林地価掛2円余書上	切紙	1	
463	32	九年分庁用費弐歩五厘皆済割	子(明治9)	10		(印)(第二扱所)	花瀬村	地価掛りほか1円余書上	切紙	1	
463	33	九年一月ヨリ三月迄教員月給割切符	(明治9・10ヵ)			(印・「福岡県第[　　]十三小区[　])[　]は印字かすれにより不読	花瀬村	金1円余3月20日限り扱所払い	切紙	1	
463	34	明治九年分民費賦課金納之内	(明治9・10ヵ)			(印・「福岡県第六大区二小区之印」)		金1円余9月27日限り扱所納め	切紙	1	
463	35	九年民費皆済割	(明治9・10ヵ)			(印・「福岡県第六大区二小区之印」)	花瀬村	地租割ほか4円余11月18日限り扱所納め	切紙	1	
463	36	明治九年分諸費小区割切府	(明治9・10ヵ)			(印・「福岡県第六大区二小区之印」)	花瀬村	地租掛54銭余ほか扱所納め	切紙	1	
463	37	九年春秋両度種物配分	(明治9・10ヵ)			(印)(扱所)	花瀬村	33銭扱所納め	切紙	1	
463	38	明治七八年貢租其他上納銭受払帳　明治九年宅地林藪税	明治7～9				花瀬村		折紙	1	
463	39	受取	明治10	1	19	二小区扱所(印)	花瀬村	地租改正につき入費割64銭余ほか受	継紙	1	
463	40	病院建築并諸器械費戸主割	明治10	1		二小区扱所(印)	花瀬村	戸主18人分1円余書上	切紙	1	
463	41	記	(明治)10	1		八木山村保長　松尾六三郎(印)	花瀬村保長　大和武三郎	当地大和弥一郎出稼ぎにつき面役指除きの事	罫紙	1	
463	42	受取	明治10	2	3	二小区扱所(印)	花瀬村保長　大和武三郎	大和甚九郎納め地方税70円受取	罫紙	1	
463	43	請取証	(明治)10	2	4		花瀬村　室甚次郎、大和与一郎	米2俵受取	切紙	1	
463	44	受取	明治10	2	5	二小区扱所	花瀬村保長　大和武三郎	9年地方税29円余受取	切紙	1	
463	45	受取	明治10	2	7	二小区扱所(印)	花瀬村	大和甚九郎納め9年地方税5円余受取	切紙	1	
463	46	受取	明治10	2	24	二小区扱所(印)	花瀬村	大和武三郎納め9年地方税3円余受取	継紙	1	
463	47	〔書状〕	(明治9・10ヵ)	1	19	二小区扱所(印)	保長　大和武三郎	中教院入費割収納の件	切紙	1	
463	48	受取	(明治9・10ヵ)	第1	21	古野出張　野村卯七(印)	副戸長　立石三兵衛	花瀬村売米分18俵受取	継紙	1	
463	49	請取	子(明治9)	1	28	第七八大区調所(印・「第七大区調所」)	花瀬村	御払下ヶ木代53銭請取	切紙	1	
463	50	〔通知〕	(明治9・10ヵ)	2	15	二小区扱所(印)	保長　大和武三郎	皇太神宮初穂料57銭納入願い	切紙	1	
463	51	〔書状〕	(明治9・10ヵ)	2	21	野見山彦市	花瀬村小学校世話方　大和与一郎	教員月給納入不足分1円余上納願い	切紙	1	
463	52	〔書状〕	(明治9・10ヵ)	2	24	二小区扱所(印)	保長　大和武三郎	地方税未納分納入願い	継紙	1	
463	53	記	(明治9・10ヵ)	第5	14	惣代中	惣代　大和武三郎	4ヶ村割当分ほか2円余算用願い	切紙	1	
463	54	記	(明治9カ)	5	17	八木山村惣代　松尾六三郎(印)	花瀬村　惣代、伍長衆中	図引給料1円余受取	罫紙	1	
463	55	飯塚村太養院内野村観音堂土師村薬師堂三ヶ所入米利方明治八	子(明治9)	5	17	第弐号扱所(印・「福岡県第七大区十三小区印」)	花瀬村	明治8年分米5升につき	切紙	1	
463	56	受取	(明治9・10ヵ)	5	27	高崎越郎(印)	大和武三郎	入費23銭受取	切紙	1	
463	57	〔納金割方切符〕	(明治9・10ヵ)			(印)(扱所)	花瀬村	潤野村野添仮学校教員給料分8銭余扱所納め	切紙	1	
463	58	米受取	(明治9・10ヵ)	6	10	四小区扱所(印)	花瀬村　源七	米4升余受取ほか	継紙	1	
463	59	米預り書証	(明治9・10ヵ)	7	3	花瀬村　大和武三郎(印)、室甚次郎	陶山八十郎	米11俵預り	切紙	1	
463	60	記	(明治9・10ヵ)	7	5	第弐小区扱所(印)	花瀬村	宅地税不足1円余ほか至急納入願い	罫紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
463	61	記	(明治9・10ヵ)	8	9	酒屋五八郎(印)	大和武三郎	米9升受取	継紙	1	
463	62	記	(明治9・10ヵ)	9	27	大日寺村　保長中	保長　大和武三郎	大宮司賄いほか是迄割方前18貫330文書上	継紙	1	
463	63	受取	(明治9・10ヵ)	10	3	二小区 扱所(印)	花瀬村惣代　大和武三郎	民費金見込割1円余受取	切紙	1	
463	64	夫証拠	(明治9・10ヵ)	10	10	副戸長　大塚嘉郎作(印)	花瀬村	飯塚一等橋梁修復出夫2人につき	切紙	1	
463	65	証	(明治9・10ヵ)	12	20	二川(印)、陶山(印)	与九郎	102円余受取	切紙	1	
463	66	百分ノ三皆済目六写	(明治9・10ヵ)					金358円余につき差引書上	折紙	1	
463	67	記	(明治9・10ヵ)					教員月給ほか未納分4円余書上	罫紙	1	
463	68	記	(明治9・10ヵ)					田税351円余ほか算用書上	折紙	1	
463	69	〔算用書上〕	(明治9・10ヵ)					旧触用銭貸付分につき	切紙	1	
463	70	四月ヨリ六月迄教員月給割	(明治9・10ヵ)			(印・「福岡県第六大区二小区之印」)	花瀬村	16戸分1円余扱所払い	切紙	1	
463	71	扱所設立費割	(明治9・10ヵ)			(印・「福岡県第六大区二小区之印」)	花瀬	地租掛ほか1円余扱所払い	切紙	1	
463	72	潤野村野添仮学校雇教員雇料割	(明治9・10ヵ)			(印・「福岡県第七大区十三小区印」)	花瀬村	4ヶ月分雇料8銭余扱所払い	切紙	1	
463	73	十月ヨリ十二月迄訓導補月給割	(明治9・10ヵ)			(印・「福岡県第六大区二小区之印」)	花瀬村	前廉割不足16戸分1円余納め	切紙	1	
463	74	大行司焼失米年賦金割宛	(明治9・10ヵ)			(印・「福岡県第七大区十三小区印」)	花瀬村	金8銭余書上	切紙	1	
463	75	土木図製料皆済割	(明治9・10ヵ)			(印・「福岡県第六大区二小区之印」)	花瀬村	金61銭余扱所納め	切紙	1	
463	76	土木図製料前借三分一割	(明治9・10ヵ)			(印)(扱所)	花瀬村	金33銭来る5日限り扱所払い	切紙	1	
463	77	〔納金不足分書上〕	(明治9・10ヵ)				花瀬	三納不足7円余書上	切紙	1	
463	78	記	(明治9・10ヵ)					調所入費130円余ほか割付	長綴	1	
463	79	〔納金割方切符〕	(明治9・10ヵ)			(印)(扱所)	花瀬村	上納金手数料5銭余扱所払い	切紙	1	
463	80	〔納金割方切符〕	(明治9・10ヵ)			第二小区扱所(印・「福岡県第六大区二小区之	花瀬村	民費ほか14円余につき差引書上	切紙	1	付紙1枚あり(大行事焼失米代8銭余
463	81	〔納米金割方切符〕	(明治9・10ヵ)			二小区扱所(印)	花瀬村	種痘医給料16戸分ほか割付	切紙	1	
463	82	〔納金割方切符〕	(明治9・10ヵ)				花瀬村	学校建方割付金4円余書上	切紙	1	
463	83	〔納金書上〕	(明治9・10ヵ)			(印・「福岡県第六大区二小区之印」)	花瀬	上納金18円余書上	切紙	1	
464	1	〔袋〕	明治9	従9		大和甚九郎		袋上書き「明治九年従九月 十年巳十月迄 諸方目録入 大和甚九郎」	袋	1	464-2～72は464-1一括
464	2	記	(明治初年)	旧9	7	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和武三郎	油5合ほか代金2円余書上	継紙	1	
464	3	記	丑(明治10)	1		安田景四郎(印)	大和甚九郎	賄い代1円余受取	折紙	1	
464	4	口上	子(明治9)	旧12	28	三作	大和武三郎	借用分金16円内8円相渡し	折紙	1	
464	5	受取	明治10	9	24	第六大区二小区扱所	花瀬村　大和武三郎	訓導補月給38銭余受取	切紙	1	464-5、6同折
464	6	受取	明治10	9	24	第六大区二小区扱所	花瀬村　大和武三郎	民費金2円受取	切紙	1	
464	7	記	丑(明治10)	3	27	大日寺村　蔵方、保長	花瀬村　大和武三郎	明治9年引付写ほか差引残金1円余御渡し願い	折紙	1	付紙1枚あり(民費ほか32銭受取、高崎越郎→大和武三
464	8	〔納金割方切符〕	明治10	12	1	第六大区二小区扱所	花瀬村	民費半額ほか6銭余	切紙	1	464-8、9同折
464	9	〔納金割方切符〕	明治10	12	1	第六大区二小区扱所	花瀬村　大和武三郎	民費半額ほか5円余	切紙	1	
464	10	目録	(明治9・10ヵ)	8	17	かじや　儀平	花瀬村　甚九郎	3寸200本ほか代銭56銭受取	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
464	11	記	丑(明治10)	1		伊支須酒屋　五八郎	花瀬村　大和甚九郎	巳年払不足16貫422文ほか書上	継紙	1	
464	12	記	(明治9･10ヵ)	第9	13	米屋　吉兵衛	花瀬邑　大和甚九郎	上木綿1反ほか代金1円余請取	継紙	1	
464	13	記	(明治9･10ヵ)	12	27	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	金1円受取	切紙	1	
464	14	記	(明治9･10ヵ)	12	21	糀屋　善助(印)	大和武三郎	米4俵受取	切紙	1	
464	15	受取	明治9	10	20	大日寺村総代　高崎越郎(印)	花瀬村　大和武三郎	五厘上納金40銭受取	切紙	1	
464	16	記	(明治9･10ヵ)	新12		かじや　利七	花瀬村　大和武三郎	唐鍬ほか代金41銭受取	継紙	1	
464	17	〔納金割方切符〕	(明治9･10ヵ)					大和武三郎分民費租掛ほか30銭書	切紙	1	
464	18	記	(明治9･10ヵ)	10	8	万屋　徳次	甚九郎	なべ代差引書上	切紙	1	
464	19	記	子(明治9)	旧12		紺屋　虎一	花瀬村　大和甚九郎	こんかせ150目ほか代金6円余書上	継紙	1	
464	20	記	(明治9･10ヵ)					広東人参掛目2匁余ほか書上	切紙	1	
464	21	受取	(明治9･10ヵ)	7	29	保長　高崎越郎(印)	大和武三郎	三納民費金30銭余受取	罫紙	1	
464	22	記	(明治9･10ヵ)	旧6	19	瓦師　弥四郎	花瀬村　甚九郎	瓦代51銭余につき受取不足書上	継紙	1	
464	23	〔納金割方切符〕	明治10	12	1	第六大区二小区扱所(印)	大日寺村　大和武三郎	民費半額ほか51銭書上	切紙	1	464-23～464-27は同折
464	24	〔納金割方切符〕	明治10	11	1	第六大区二小区扱所(印)	大日寺村抱花瀬村　大和武三郎	地券税第3期分6銭につき	切紙	1	
464	25	〔納金割方切符〕	(明治9･10ヵ)					花瀬村分2銭余書上	切紙	1	
464	26	〔納金割方切符〕	(明治9･10ヵ)				大和武三郎	名寄帳2通ほか手数料13銭余書上	切紙	1	
464	27	〔納金割方切符〕	(明治9･10ヵ)					旧七大区負債償却8銭余納入の事	切紙	1	
464	28	記	(明治9･10ヵ)	2	2	糀屋　善助(印)	大和武三郎	米6俵受取	切紙	1	
464	29	〔算用書上〕	(明治9･10ヵ)					半紙界紙2状代4銭ほか書上	罫紙	1	
464	30	覚	(明治9･10ヵ)	旧12	29	紺屋　寅一	大和武三郎	紺かせほか代金6円余につき差引書上	継紙	1	
464	31	記	子(明治9)	12		森崎屋　久兵衛	花瀬　大和武三郎	上刻1袋ほか代金78銭余書上	継紙	1	
464	32	覚	(明治9･10ヵ)	旧12		ちとせ屋　孫六	花瀬村　甚九郎	ぶりほか代金1円余請取	切紙	1	
464	33	覚	(明治9･10ヵ)	8	3			石炭22俵余代72銭受取	切紙	1	
464	34	〔灰俵数書上〕	(明治9･10ヵ)					灰5俵代20銭請取ほか	切紙	1	
464	35	記	(明治)10丑	10	7	酒屋　五八郎	大和武三郎	酒代受取	継紙	1	
464	36	記	(明治9･10ヵ)	8	15	花瀬　与市郎	糀屋　善助	念仏紙ほか借用願い	継紙	1	464-36、37同折
464	37	記	(明治9･10ヵ)	8	19	糀屋　善助	花瀬村　与市	念仏紙1枚ほか代金1円余書上	継紙	1	
464	38	記	(明治9･10ヵ)	12	27	糀屋　善助	花瀬村　武三郎	米1俵受取	継紙	1	
464	39	記	(明治9･10ヵ)	6	10	糀屋　善助	大和武三郎	成生買物目録〆高56銭受取	継紙	1	
464	40	記	子(明治9)	12		糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	硯石2丁ほか代金22円余書上	継紙	1	
464	41	受取	(明治9･10ヵ)	8	20	大日寺村　赤間勝七(印)	花瀬村　保長大和武三郎	堤床上納米1斗余受取	切紙	1	
464	42	記	(明治9･10ヵ)	旧12	16	紺屋　与作	花瀬村　大和甚九郎	米2俵請取	切紙	1	
464	43	染御通	明治9丙子	1		乙丸紺屋　又三郎	花瀬村　大和甚九郎		小横帳	1	
464	44	受取	明治10	9	24	第六大区二小区扱所	花瀬村　大和武三郎	民費21銭受取	切紙	1	
464	45	受取	明治10	9	24	第六大区二小区扱所	花瀬村　大和武三郎	訓導補月給3銭受取	切紙	1	
464	46	記	丑(明治10)	1	31	野見山彦市	花瀬村	鶴松ほか月謝米4升受取	継紙	1	
464	47	受取	(明治9･10ヵ)	12	13	総代　高崎越郎	花瀬　大和武三郎	貢租金の内金2円余受取	継紙	1	
464	48	記	子(明治9)	12	20	森崎屋　久兵衛(印)	花瀬村　大和武三郎	金15円余受取	切紙	1	
464	49	記	丑(明治10)	1		伊支須酒屋　五八郎	花瀬村　武三郎	酒代2円余相済	継紙	1	
464	50	記	(明治9･10ヵ)	12	27	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	半紙1束ほか代銭60銭余相渡	継紙	1	
464	51	記	(明治9･10ヵ)	12	27	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	米2俵受取	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
464	52	記	旧子(明治9)	12	29	紺屋　又三郎(印)	花瀬村　大和甚九郎、同同彦三郎	御本家分ほか米2俵半受取	継紙	1	
464	53	〔算用書上〕	(明治9・10ヵ)					明治9年引付写ほか大和武三郎分につき	折紙	1	
464	54	〔書状〕	(明治9・10ヵ)	旧12	21	安永直	花瀬　大和甚九郎	野菜植付けの時期などの件	継紙	1	
464	55	受取証	(明治9・10ヵ)	2	5	大日寺保長　高崎越郎	花せ村　大和武三郎	地券税金ほか3円受取	継紙	1	
464	56	記	子(明治9)	旧12		糀屋　善作	花瀬村　大和彦三郎	徳用醤油2升ほか代金37銭書上	切紙	1	
464	57	〔書状〕	(明治9・10ヵ)	3	27	□□□郎	大和甚九郎	金1円受取ほか	継紙	1	
464	58	覚	(明治9・10ヵ)	3	5	儀八郎	武三郎	数量書上	継紙	1	
464	59	記	丑(明治10)	1		いきす酒屋　五八郎	花瀬村　大和武三郎	子年分生酒3斗余書上	切紙	1	
464	60	〔金銭書上〕	(明治9・10ヵ)					元金19円余につき算用書上	罫紙	1	
464	61	記	(明治9・10ヵ)	12	29	糀屋	武三郎	米1俵受取	切紙	1	
464	62	〔納金切符〕	明治10	9		第六大区二小区扱所	花瀬村　大和武三郎	地券税第2期1円余納入の事	切紙	1	
464	63	〔納金切符〕	明治10	9		第六大区二小区扱所	花瀬村　邨持	地券税第2期30銭余納入の事	切紙	1	
464	64	記	(明治9・10ヵ)	9	19	渕上徳七	大和武三郎	代金9円余ほか書上	継紙	1	464-65と同折
464	65	覚	(明治9・10ヵ)	8	8	東町かじ　儀平	花瀬村　甚九郎	二寸釘200ほか代48銭余書上	切紙	1	
464	66	請取	丑(明治10)	2	10	酒屋　五八郎	大和武三郎	米2俵受取	継紙	1	
464	67	〔納金切符〕	明治10	9		第六大区二小区扱所	大日寺村　大和武三郎	地券税第2期10銭余納入の事	切紙	1	
464	68	記	(明治9・10ヵ)	旧12	29	紺屋　又三郎(印)	花瀬村　大和甚九郎	染代米2俵受取	継紙	1	
464	69	記	(明治9・10ヵ)	2	28	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	米1俵代綿4斤余受取	切紙	1	
464	70	記	丑(明治10)	1		いきす酒屋　五八郎	花瀬村　大和甚九郎	銭35貫164文書上	継紙	1	
464	71	記	子(明治9)	12		森崎屋　喜右衛門	大和甚九郎	糠10俵ほか書上	継紙	1	
464	72	記	(明治9・10ヵ)	12	29	糀屋　善助	花瀬村　武三郎	米2俵受取	切紙	1	
465	1	〔袋〕	(明治10)					袋上書「明治十年三月ヨリ御用切符入」	袋	1	465-2～465-35を一括する袋
465	2	面役払	明治10	7		潤野村保長　川崎六郎(印)	花瀬村保長　大和武三郎	山本松次郎一季奉公につき花瀬村にて面役申付けの事	罫紙	1	
465	3	受取	明治10	6	21	二小区扱所(印)	花瀬村保長　大和武三郎	本年庁用費半額分ほか7円余受取	継紙	1	
465	4	受取	(明治)10	3	10	二小区扱所(印)	花瀬村	土木図製造分26銭余受取	切紙	1	
465	5	受取	明治10	7	28	二小区扱所(印)	花瀬村保長　大和甚三郎	三納民費の内10円受取	継紙	1	
465	6	受取	明治10	8	2	二小区扱所(印)	花瀬村保長　大和甚三郎	本年民費金の内6円余受取	切紙	1	
465	7	受取	(明治)10	5	8	二小区扱所(印)	花瀬村保長　大和武三郎	本年民費金の内5円余受取	切紙	1	
465	8	受取	明治10	3	8	二小区扱所(印)	花瀬村	病院新築費1円余ほか受取	切紙	1	
465	9	受取	明治10	8	20	二小区扱所(印)	花瀬村	病院費の内1円余受取	切紙	1	
465	10	受取	(明治)10	2	23	二小区扱所(印)	花瀬村	潤野村野添仮学校教員月給分17銭余受取	切紙	1	
465	11	受取	(明治)10	4	25	二小区扱所(印)	花瀬村	9年地券税の内3円余受取	切紙	1	
465	12	受取	(明治)10	3	27	二小区扱所(印)	花瀬村	地券税3分ほか66円余請取	継紙	1	
465	13	受取	明治10	7	16	二小区扱所(印)	花瀬村保長　大和武三郎	民費5円余受取	継紙	1	
465	14	〔書状〕	(明治10頃)	7	6	相田村保長　肘井利市(印)	花瀬村保長　大和武三郎	当村へ奉公中の花瀬村甚助の軍夫の件は当村では指支えなき事	切紙	1	
465	15	記	(明治)10	3	26	二小区扱所(印)	花瀬村	医学生徒入費戸主割11銭余納入の事	切紙	1	
465	16	記	(明治)10	3		二小区扱所(印)	花瀬村	訓導補月給物納4円余扱所納入の事	切紙	1	
465	17	〔納金切符〕	(明治10頃)			(扱所)	花瀬村	土木図製造分26銭余納入の事	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
465	18	〔納金切符〕	(明治10頃)			(印・「福岡県第六大区二小区之印」)	花瀬村	貢租金県納手数料不足1円余扱所納入の事	切紙	1	
465	19	県庁新築費賦課金切符	(明治10頃)			(印・「福岡県第六大区二小区之印」)	花瀬村	地租掛2円余ほか扱所納入の事	切紙	1	
465	20	九年地券税収納記	(明治)10	3		二小区扱所(印)		金370円余につき	罫紙	1	
465	21	記	(明治)10	3		二小区扱所(印)	花瀬村	病院費1円余扱所納入の事	切紙	1	
465	22	本年三納民費金賦課金切符	明治10	6		二小区扱所(印)	花瀬村	地租掛ほか12円余書上	切紙	1	
465	23	記	(明治)10	3		二小区扱所(印)	花瀬村	本年民費二納分12円余扱所納入の事	切紙	1	
465	24	記	(明治)9	12	22	二小区扱所(印)	花瀬村	民費金初納分12円余調所納入の事	切紙	1	
465	25	記	(明治10頃)			(印・「福岡県第六大区二小区之印」)		三分納111円余につき算用書上	切紙	1	
465	26	〔受取書〕	(明治10頃)					半紙・墨・筆ほか受取	折紙	1	
465	27	記	(明治10頃)	6	29	二小区扱所(印)	花瀬村	扱所修繕費22銭余納入につき	切紙	1	
465	28	記	丑(明治10)	6	29	二小区扱所(印)	花瀬村	訓導補月給分2円余扱所納入の事	切紙	1	
465	29	記	(明治)10	5	17	二小区扱所(印)	花瀬村	庁用費半年分3円余扱所納入の事	切紙	1	
465	30	請取	(明治)10	1	31	二小区扱所(印)	花瀬村保長	本年民費の内10円受取	切紙	1	
465	31	受取	(明治)10	4	25	二小区扱所(印)	花瀬村保長　大和武三郎	9年地券税の内5円余納入の事	切紙	1	
465	32	受取	(明治)10	2	16	二小区扱所(印)	花瀬村	神宮御初穂51銭受取	切紙	1	
465	33	面役受証	明治10	4	1	第一小区相田村保長　肘井利市(印)	第二小区花瀬村保長　大和武三郎	花瀬村赤間甚助当村にて面役申付けの事	罫紙	1	
465	34	請取	(明治)10	4	26	二小区扱所(印)	花瀬村平民　谷利吉	9年地券税皆済金2円余受取	継紙	1	
465	35	〔金銭書上〕	(明治10頃)	3	27	扱所(印)	大和武三郎	納入金66円余につき算用書上	切紙	1	
466	1	〔袋〕	(明治11)			花瀬・大日寺両村分		袋上書「明治十年九月従十一年分迄所御用切符入　花瀬大日寺両村分」	袋	1	466-2～466-42を一括する袋
466	2	〔普請人足など書上〕	(明治10頃)					用水繰掛樋につき、花瀬村分	書綴	1	
466	3	〔金銭書上〕	明治10	12		二小区 御扱所	二小区　花瀬村	大和武三郎1円余ほか花瀬村分病院寸志金出費者書上	罫紙	1	
466	4	記	(明治10頃)	11	28	学校世話方中(印)	花瀬村	月謝支払い願い、学校修繕寸志金調達額書上	書綴	1	
466	5	記	(明治)10	11		二小区扱所(印)	花瀬村	区病院変則学校設立寸志金1円余扱所納入の事	切紙	1	
466	6	区病院設立寸志金跡六分通切符	(明治)11	2		二小区扱所(印)	花瀬村	1円余扱所納入の事	切紙	1	
466	7	受取	明治11	3	25	二小区扱所(印)	花瀬村	種もの代30銭受取	切紙	1	
466	8	記	(明治)11寅	1	14	五八郎	花せ村　保長	米金9円余相渡し	継紙	1	
466	9	受取証	明治11	1	14	二小区扱所(印)	花瀬村保長　大和武三郎	民費ほか2円余受取	切紙	1	
466	10	受取	明治11	3	11	二小区扱所(印)	花瀬村	花瀬村区病院寄附金の内1円余受取	切紙	1	
466	11	記	(明治11頃)	第正月	23	小野山八郎(印)	大和武三郎	花瀬村縮図渡料書上	継紙	1	
466	12	請取	(明治)11寅	4	8	世話役　野見山利八郎(印)	花瀬村保長　大和武三郎	学校新築費1円余受取、月謝支払い願い	継紙	1	
466	13	受取	(明治)11	3	4	二小区扱所(印)	花瀬村	皇太神宮御初穂51銭ほか受取、種子物納入につき	継紙	1	
466	14	請取	丑(明治10)	1	20	事務方　野見山彦市(印)	保長　大和武三郎	月謝・学校寸志金4円余受取	切紙	1	
466	15	記	明治10	旧12	18	伊藤登(印)	大和甚九郎	米1俵・金93銭受取	継紙	1	
466	16	明治十年種痘医給	(明治)11	1		二小区取扱所(印)	花瀬村	明治10年種痘医給米5升余扱所納入の事	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
466	17	記	(明治11頃)					赤間甚七ほか田税二納分5円余受取	切紙	1	
466	18	〔納金切符〕	明治11	2		二小区扱所(印)	花瀬村	伊岐須校新築費1円余扱所払い	継紙	1	
466	19	貧民生徒資金寸志切符	明治11	3		二小区扱所(印)	花瀬村	77銭扱所納入の事	切紙	1	
466	20	〔受取書〕	(明治11頃)	12	14	二小区扱所(印)	大和武三郎	明治11年民費訓導補月給半額分51銭余受取	切紙	1	
466	21	内野村大慈□年賦米本年打切賦課切符	明治11	2		二小区扱所(印)	花瀬村	金22銭余扱所払いの事	切紙	1	
466	22	受取	(明治)11	1	26	二小区扱所(印)	花瀬村	種痘医給米5升余受取	切紙	1	
466	23	〔名前書上〕	(明治11頃)					田中貞右衛門ほか	折紙	1	紙縒状にして466-24～466-42を一括
466	24	記	(明治)10	9	21	中村　清水涼平(印)	大日寺村保長　大和甚九郎	大日寺村所有地に関する賦課金の件ほか	継紙	1	
466	25	〔金銭書上〕	(明治11頃)			(二小区扱所)	花瀬村	花瀬村分印税金62銭余書上	罫紙	1	
466	26	記	(明治11頃)	11	4	伊支須村事務方　野見山彦市(印)	花瀬村伍長　大和武三郎	学校設立追割ほか1円余請取	切紙	1	
466	27	記	(明治)10	10	30	二小区扱所(印)	花瀬村	茶種代・手数料58銭余受取	罫紙	1	
466	28	受取証	明治10	10	18	二小区扱所(印)	花瀬村伍長　大和与一郎	地券未済印税63銭余受取	切紙	1	
466	29	受取	(明治)10	12	10	二小区扱所(印)	花瀬村保長　大和武三郎	花瀬村地所取調帳・同村地券1枚受取	切紙	1	
466	30	〔通知〕	明治10	11	1	第六大区二小区扱所	花瀬村　大和武三郎	地券税第3期分85銭余納入の事	切紙	1	466-31と同折
466	31	〔通知〕	明治10	11	1	第六大区二小区扱所	花瀬村 村持	地券税第3期分18銭余納入の事	切紙	1	
466	32	記	明治10	10	10	二小区扱所(印)	花瀬村	茶種代金27銭余扱所納入の事	切紙	1	
466	33	記	(明治)10	11	30	二小区扱所(印)	花瀬村	大行事焼失米年賦8銭余上納の事	切紙	1	
466	34	記	(明治)10	11		二小区扱所(印)	花瀬村	旧七大区負積償却のため相談金5円余扱所へ納入の事	切紙	1	
466	35	証	(明治)10	12	5	二小区扱所(印)	花瀬村	大行事焼失米年賦上納8銭余受取	罫紙	1	
466	36	〔通知〕	(明治10頃)	11	16	事務方　野見山彦市	伍長　大和武三郎	生徒月謝の支払い願い	継紙	1	
466	37	〔納金切符〕	(明治)10	9		二小区扱所(印)	花瀬村	本年貢租手数料31銭余書上	切紙	1	
466	38	受取	明治11	1	7	二小区扱所(印)	花瀬村保長　大和武三郎	大区負積償却金5円余納入の事	継紙	1	
466	39	〔納金切符〕	(明治)10	8	13	二小区扱所(印)	花瀬村	畑宅林藪税3円余納入の事	切紙	1	
466	40	明治十年民費皆済納切符	(明治)10	9	10	二小区扱所(印)	花瀬村	地租金割ほか13円余につき	切紙	1	
466	41	明治十年訓導補月給十十一十二三ヶ月分賦課切符	(明治)10	9		二小区扱所(印)	花瀬村	地租金掛ほか2円余につき	切紙	1	
466	42	記	(明治10頃)	9	9	イキス　野見山彦市	花瀬保長　大和甚九郎、同村　伍長	学校所地床米代ほか5円の割方につき	折紙	1	
467	1	〔袋〕	(明治10頃)					袋上書「明治十年十一月ゟ　切符目録受取入」	袋	1	467-2～467-44を一括する袋
467	2	記	(明治10頃)	12		かじ屋　利七	花瀬村　大和甚九郎	鍬ほか代金1円余書上	継紙	1	
467	3	記	(明治10頃)	旧11	23	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	羽織物1つほか代6円余書上	切紙	1	
467	4	記	(明治10頃)	旧12	5	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	米2俵受取	切紙	1	
467	5	記	(明治10頃)	旧11	25	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	米2俵受取	切紙	1	
467	6	記	(明治)11	2	1	畠間小四郎(印)	大和甚九郎	賄い代28銭受取	継紙	1	
467	7	記	丑(明治10)	12		糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	綿1斤ほか代金15円余など書上	継紙	1	
467	8	記	(明治10頃)	11	8	釜屋　徳次	花瀬村　甚九郎	品代1円余算用願い	切紙	1	
467	9	記	(明治10頃)	旧12	5	糀屋　善助	大和武三郎	上々唐糸2百目ほか代93銭相渡	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
467	10	記	(明治10頃)	11	2	大日寺村　赤間作五郎(印)	大和甚九郎	金16銭受取	継紙	1	
467	11	記	(明治10頃)	12	27	糀屋　善助	大和武三郎	風呂敷ほか代金99銭余受取	継紙	1	
467	12	請取	寅(明治11)	2	4	石田和七(花押)	大和与九郎	御宮御普請釘代の内米1俵受取	切紙	1	
467	13	記	丑(明治10)	12		伊支須酒屋　五八郎	花瀬村　甚九郎	巳年払不足16貫420文ほか書上	継紙	1	
467	14	記	丑(明治10)	12	27	糀屋　善助	花瀬村大和武三郎	目録〆高15円余ほか相済	切紙	1	
467	15	受取	明治11	3	15	祠掌　青柳貞延(印)	花瀬村保長　大和武三郎	葺更祭典費3円受取	切紙	1	
467	16	受取	(明治11)	3	15	祠掌　青柳貞延(印)	大和武三郎	蓮根1丸受取	切紙	1	
467	17	記	丑(明治10)	12		伊支須酒屋　五八郎	花瀬　武三郎	生酒6升余代56銭余受取	切紙	1	
467	18	記	(明治10頃)	4	18	深町文蔵	大和武三郎	米1俵此者へ御渡し願い	切紙	1	
467	19	記	(明治10頃)	12	14	大和武三郎	儀平	給米ほか12俵半につき差引書上	切紙	1	
467	20	覚	(明治10頃)	旧12	14	孫平	武三郎	数量書上	継紙	1	
467	21	覚	寅(明治11)	旧2	4	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和	綿3斤余受取	継紙	1	
467	22	記	(明治10頃)	12	23	糀屋　善助	花瀬村　武三郎	米5俵受取	切紙	1	
467	23	記	丑(明治10)	12		いきす酒屋　五八郎	花瀬村　大和甚九郎	卯年分35貫164文書上	継紙	1	
467	24	記	(明治10頃)	3	28	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	縞1反ほか代金2円余書上	継紙	1	
467	25	記	(明治10頃)	3	24	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	大風呂敷15ほか代金3円余書上	継紙	1	
467	26	〔納金切符〕	明治11	3		第六大区二小区扱所	花瀬村　大和武三郎	地券税第5期14円余上納の事	切紙	1	
467	27	〔納金切符〕	明治10	12	1	第六大区二小区扱所	花瀬村　大和武三郎	地券税第4期23円余上納の事	切紙	1	
467	28	〔納金切符〕	明治11	3		第六大区二小区扱所(印)	大日寺村抱花瀬村　大和武三郎	地券税第5期1円余上納の事	切紙	1	
467	29	染物通	明治10丑	1	吉日	紺屋　登良一(印)	ハナセ　大和武三郎		小横帳	1	
467	30	記	(明治10頃)	9	9	糀屋　善助	花瀬村　大和甚九郎	手拭1筋ほか代金3円余書上	継紙	1	
467	31	覚	旧丑(明治10)	12		紺屋　与作	花瀬村　大和甚九郎	染物代4円余相済	継紙	1	467-32と同折
467	32	染物通	明治10丁丑	1		紺屋　与作	花瀬村　大和甚九郎		小横帳	1	
467	33	〔納金切符〕	(明治10頃)			本誓寺世話人	大和武三郎、同与一郎	本誓寺本堂修復費1円余納入の事	継紙	1	
467	34	記	寅(明治11)	1	29	古川さち(印)	花瀬村　大和甚九郎	丑年手賦金の内金3円受取	罫紙	1	
467	35	記	丑(明治10)	11	19	蓮台寺村　山尻儀介	花せ村　大和甚九郎	石炭33俵分1円余書上	折紙	1	
467	36	覚	丑(明治10)	旧12		紺屋　登良一	花瀬村　大和武三郎	こんかせ190匁ほか代金4円余受取	継紙	1	
467	37	〔覚〕	(明治10頃)	4	25	保長　赤間勝七	花瀬村　大和武三郎	地券2枚相渡、畑税金4銭受取	罫紙	1	
467	38	預手形	慶応4辰	5	19	花瀬村　大和甚九郎(印)	角屋　長五郎	正金8両2歩預り	切紙	1	467-38と467-39は紙縒で一括
467	39	記	(明治初年)	4	11	伊藤長五郎	大和甚九郎	元利9両余につき差引不足書上	切紙	1	
467	40	明治十一年六月賦課民費	(明治)11	6		二小区扱所(印)	花瀬村　大和武三郎	金3円余扱所納入の事	切紙	1	467-41と同折
467	41	明治十一年六月賦課民費	(明治)11	6		二小区扱所(印)	大日寺村　大和武三郎	金34銭余扱所納入の事	切紙	1	
467	42-1	明治十年分地券税達受取間通	明治10			二小区扱所(印)	花瀬村　大和武三郎	地券税書上	横帳	1	
467	42-2	〔納金切符〕	明治10	3		第六大区二小区扱所(印)	花瀬村　野見山五八郎	地券税代5期4円余につき	切紙	1	467-42-1の綴紐に括付け
467	43	明治十年分租金受取間通	明治10			二小区扱所(印)	花瀬村大日寺村分　大和武三郎	畑税・田税書上	横帳	1	
467	44	〔納品切符〕	(明治期)					花瀬村学校かへ入用につき半縄1束彦市納入の事	切紙	1	
468	1	〔袋〕	明治11	8ヨリ		大和甚九郎		袋上書き「明治十一年八月ヨリ同至十二年 諸目録入 大和甚九郎」	袋	1	468-2～56を一括する袋

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
468	2	花瀬村御山坪書上控	明治3午	9		花瀬村組頭　甚次郎、与一郎、同村庄屋　大和甚	内野御司民御曹		書冊	1	
468	3	〔納米金切符〕	(明治11・12				武三郎	村費割過金2円余	切紙	1	
468	4	記	(明治11・12頃)	11	6	米屋　徳平(印)	大和信太郎様	正字通ほか92銭余請取	切紙	1	468-4～25は紙縒で一括
468	5	記	(明治11・12	2	8	酒屋　五八郎	花瀬村　武三郎	生酒1斗余代1円余受取	継紙	1	
468	6	記	(明治11・12	8	31	江藤孫介	大和	賄い代84銭受取	切紙	1	
468	7	記	(明治11・12	旧7	27	篠栗村たんすや　幸市	花瀬村　上様	箪笥1本代金4円ほか書上	継紙	1	
468	8	〔書状〕	(明治11・12	1	6	福沢十平	大和武三郎	宅地の事について	切紙	1	
468	9	記	(明治11・12	9	7	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	蝋燭そく1斤ほか代金7円余相渡	切紙	1	
468	10	記	(明治11・12	3	6	江藤孫介(印)	大和	酒賄い代90銭書上	折紙	1	
468	11	記	(明治11・12	7	31	江藤孫介	大和	御賄い代29銭受取	折紙	1	
468	12	記	(明治11・12	9	8	森久店	大和	上刻半斤ほか代51銭余書上	切紙	1	
468	13	記	(明治11・12	6	28	森崎屋店	花瀬　大和武三郎	極上素麺1枚ほか代2円余受取	継紙	1	
468	14	記	(明治11・12	旧8	15	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和武三郎	風呂敷わらじほか代3円余相済	継紙	1	
468	15	記	(明治11・12	8	27	森久	上	巻糸3つほか代銭2銭余受取	切紙	1	
468	16	受取	(明治11・12	旧9	4	ちとせ屋　吉平	ハナセ村　武三郎	金2円受取	切紙	1	
468	17	〔斤数書上〕	(明治)11	9	19	糀屋　善助	花瀬村　武三郎	12斤余につき	切紙	1	
468	18	記	(明治11)	旧8	10	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和武三郎	米6俵ほか代金10円余受取	切紙	1	
468	19	記	(明治11・12	6	30	江藤孫介	大和	賄い代1円受取	折紙	1	
468	20	記	(明治11)	旧7	26	石田和七	大和甚九郎	2寸釘100本ほか代48銭余請取	継紙	1	
468	21	記	(明治11)				大和武三郎	新規地券証印税手数料8銭余受取	切紙	1	
468	22	記	(明治11)	7	28	米屋　太郎兵衛	大和武三郎	本縮緬ほか代26銭請取	継紙	1	
468	23	覚	(明治11・12	7	10	千年屋　惣次郎	花せ村　甚九郎	小鯛3枚ほか代36銭受取	切紙	1	
468	24	記	(明治11・12	旧8	8	糀屋　善助	花瀬村　大和甚九郎	品代1円余書上	切紙	1	
468	25	証	(明治11・12	旧7	27	鍛冶　吉右衛門	大和甚九郎	品代50銭支払い願い	切紙	1	
468	26	記	(明治11・12頃)	旧12	11	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和甚九郎	わらじ1足ほか代1円余書上	継紙	1	この文書で468-27～468-56をつつみ上から紐がけして
468	27	記	(明治11・12	12	29	糀屋　善助	大和武三郎	品代19円余受取	切紙	1	
468	28	記	寅(明治11)	極月		糀屋　善助	花瀬村　武三郎	鋤先3枚ほか代18円余引合願い	継紙	1	
468	29	〔書状〕	(明治)12	3	27	主者　野見山利八郎	大和武三郎	談合のため当校へ出頭願い	罫紙 切紙	1	
468	30	記	(明治12)	1	14	長崎屋禎作(印)	大和様	賄い代・相撲見物代6円余受取	折紙	1	
468	31	記	(明治11・12	第3	20	糀屋　善助	大和武三郎	唐糸200目ほか代2円余書上	継紙	1	
468	32	記	(明治11・12	5	31	江藤孫介	大和	賄い代36銭受取	切紙	1	
468	33	請取	(明治11・12	旧12	26	紺屋　与作	花瀬村　大和甚九郎	米4俵請取	切紙	1	
468	34	記	寅(明治11)	12		森崎屋　喜右衛門	大和甚九郎	酉54匁ほか金銭書上	切紙	1	
468	35	預手形	明治6酉	9	17	花瀬村　大和甚九郎(印)	古川伝十郎	銀預850目につき、「十一年旧十二月廿六日済」と加筆あり	罫紙	1	
468	36	記	(明治11・12					武三郎分穂実420斤書上	切紙	1	
468	37	記	(明治11・12	4	30	江藤孫介	大和	賄い代45銭受取ほか	切紙	1	
468	38	記	寅(明治11)	旧12	29	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和武三郎	塩3俵ほか代72銭受取	切紙	1	
468	39	覚	(明治11)	1	3	江藤孫介	大和甚九郎	旧冬分賄い代40銭につき	継紙	1	
468	40	記	寅(明治11)	12		紺屋　兜罷一	花瀬　大和武三郎	こんかせ150目ほか代6円余書上	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
468	41	染物通	明治10	1		紺屋　与作	花瀬村　甚九郎		小横帳	1	
468	42	記	(明治11・12	1	31	江藤孫平(印)	大和様	賄い代1円余請取	横帳	1	
468	43	〔書状〕	(明治11・12	3	22	口十五郎	大和武三郎	金3円25銭相渡	切紙	1	
468	44	記	(明治11・12	旧12	26	紺屋　善助	花せ村　大和武三郎	米8俵受取	継紙	1	
468	45	記	寅(明治11)	12	28	乙丸紺屋　兜罷一	花瀬村　大和武三郎	荒穂388斤代金6円余相済	継紙	1	
468	46	記	(明治11・12	4	4	江藤孫介	大和	賄い代1円余受取	折紙	1	
468	47	記	寅(明治11)	12		いキす酒屋　五八郎	花せ村　大和甚九郎	卯年分35貫164文書上	切紙	1	
468	48	記	寅(明治11)	12		いきす酒屋　五八郎	花瀬村　甚九郎	巳年払不足16貫420文ほか書上	継紙	1	
468	49	受取	明治12	1	21	酒屋　五八郎(印)	大和武三郎	酒代1円受取	切紙	1	
468	50	覚	(明治11・12	12		千年屋　吉平	はなせ村内　甚九郎	品代37銭受取	切紙	1	
468	51	記	寅(明治11)	12		伊支須酒屋　五八郎	花瀬村　大和武三郎	生酒1斗余書上	継紙	1	
468	52	記	(明治11・12	旧3	16	森崎屋　久兵衛	大和武三郎	米高直につき増綿指出しの事	継紙	1	
468	53	記	(明治11・12	第4	26	糀屋　善助	大和武三郎	本朱子帯1本ほか代金22円余書上	継紙	1	
468	54	記	(明治11・12	3	12	糀屋　善助	大和武三郎	縮緬紙付1枚ほか代金1円余書上	継紙	1	
468	55	記	(明治11・12	第2	3	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	生地1反ほか代金3円余書上	切紙	1	
468	56	記	(明治11・12	12		かじ屋　弥蔵	花瀬村　甚九郎	馬鍬ほか代金1円余書上	継紙	1	
469	1	〔袋〕	(明治)12	4				袋上書き「十二年四月 村々夫掛入」	袋	1	469-2～469-20を一括する袋
469	2	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・坪数・人数など	継紙	1	
469	3	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・坪数・人数など、花瀬村分	継紙	1	
469	4	〔村別人足数書上〕	(明治12頃)					相田、伊岐須、大日寺、花瀬、八木山村など	切紙	1	
469	5	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・厚さ・坪数など	継紙	1	
469	6	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・厚さ・坪数など	切紙	1	
469	7	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・厚さ・坪数など	継紙	1	
469	8	〔算用書上〕	(明治12頃)					若木堤普請につき	切紙	1	
469	9	〔算用書上〕	(明治12頃)	4	6	相田村才判人 北渕喜助		普請につき長さ・厚さ・坪数など	継紙	1	
469	10	〔算用書上〕	(明治12頃)					川普請につき	継紙	1	
469	11	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・厚さ・坪数など	継紙	1	
469	12	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・厚さ・坪数など	切紙	1	
469	13	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・厚さ・坪数など	切紙	1	
469	14	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・厚さ・坪数など	継紙	1	
469	15	道路夫掛	(明治12頃)					道路普請関係の書上	継紙	1	
469	16	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・厚さ・坪数など	継紙	1	
469	17	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・厚さ・坪数など	切紙	1	
469	18	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・厚さ・坪数など	切紙	1	
469	19	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・厚さ・坪数など	継紙	1	
469	20	〔算用書上〕	(明治12頃)					普請につき長さ・厚さ・坪数など	継紙	1	
470	1	〔袋〕	明治12	12				袋上書「明治十二年十二月ヨリ十四年一月三十日迄 御用切符入」	袋	1	470-2～470-53を一括する袋
470	2	〔通知〕	(明治)13	2	2			就学生徒4人分月謝36銭納入につき	切紙	1	
470	3	〔通知〕	(明治)13	4	11	学務委員　大和武七(印)	花瀬村	学校積立寄附金9円余納入につき	継紙	1	
470	4	受取証	(明治13頃)	5	7	第弐号扱所(印)	花瀬村	猟銃5挺受取	切紙	1	
470	5	受取	(明治)9	12	16	第二小区扱所(印)	花瀬村保長　大和武三郎	地券税146円余受取	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
470	6	受取	(明治)9	11	5	二小区扱所(印)	花瀬村	土木図製料31銭受取	切紙	1	
470	7	記	(明治)13	3	20	村役場(印)	花瀬村	大行事焼失米代年賦8銭余納入につき	切紙	1	
470	8	明治十二年度地税収納通	(明治13頃)					花瀬村分村持分につき	折紙	1	
470	9	明治十三年度地税費一期納取立	(明治13)	8	27	大和武三郎(印)	戸長　梅津又三郎	大和武七分ほか3円余書上	継紙	1	
470	10	十三年七月ヨリ十二月迄民費取立	(明治13)			五十長　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	梅津からの付紙あり	折紙	1	
470	11	明治十三年村費割方表	明治14	1	8	戸長　梅津又三郎(印)		村仕夫給ほか29円余につき	折紙	1	
470	12	明治十三年地税収納通	(明治13)					花瀬村分村持につき	折紙	1	
470	13	第四期納取立	(明治)14	1	26	惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	124円余ほか取立納金の事	切紙	1	
470	14	記	(明治)13	10	31	戸長　梅津又三郎(印)	花瀬村総代　大和武三郎	大和与作分地税ほか4円余受取	継紙	1	
470	15	〔税金取立表〕	(明治)13	12	14	花瀬村惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	第3期納・地方税ほか11円余送達の事	継紙	1	梅津より受取の旨付紙あり
470	16	各種税金取立表	(明治13頃)					大和武三郎82銭ほか4円余書上	折紙	1	記1枚貼付(金6銭納入につき)
470	17	〔税金取立表〕	(明治)13	10	24	花瀬村惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	第2期納各種税ほか20円余送達の事	継紙	1	
470	18	記	(明治)12	11	11	八木山村役場(印)		花瀬村秣場税諸掛一切・地券証印税金分60銭余書上	罫紙	1	
470	19	〔通知〕	明治12	10	23	村役場(印)	花瀬村	診察所設立仕構費・消防機器修繕費分65銭納入につき	罫紙	1	
470	20	記	(明治)12	7	9	村役場(印)	大和五十長	郡役所より土木費25銭余下附につき送	切紙	1	
470	21	請取	巳	1	8	伊岐須村　野見山五郎	花瀬村　大和武三郎	金80銭請取	切紙	1	
470	22	記	(明治13頃)	8	27	梅津又三郎(印)	衛生委員　大和武三郎	赤間甚七29銭ほか未納分につき納付催促願い	継紙	1	
470	23	面役除証	明治13	2		穂波郡舎利蔵村伍十長　石川玄市(印)	穂波郡花瀬村伍十長　大和武三郎	当村石川次平花瀬村へ奉公中につき面役申付け願い	罫線	1	
470	24	〔書状〕	(明治13頃)	12	28	梅津(印)	大和	八木山村の秣場税の受取目録の件について	継紙	1	
470	25	五期三分納取立表	明治13	3	23	花瀬村五十長　大和武三郎(印)	戸長　梅津又三郎	松岡善三郎ほか74円余取立送達の事	継紙	1	梅津からの付紙あり
470	26	記	(明治13頃)	12	14	村役場	総代　大和先醍	秣場税受取証1枚受取願い	切紙	1	付紙1枚あり(明治十三年度秣場為賦課金57銭余受取)
470	27	記	(明治13頃)			(印・「大和」)	大和武三郎	米1俵引渡しにつき	切紙	1	
470	28	記	(明治)12	12	25	谷利吉		地方税36銭ほか受取願い	切紙	1	
470	29	記	(明治13頃)					村社祭典費39銭余戸数割ほか	継紙	1	
470	30	記	明治12	12	31	村役場(印)	花瀬村　大和五十長	村協議費ほか差引残金6円余相渡	継紙	1	
470	31	学校費未納	(明治)13	10	19	戸長役場	花瀬村総代　大和武三郎	大和茂四郎5銭余ほか未納者・未納額書上、納付催促	書綴	1	
470	32	〔受取書〕	(明治13頃)	5	27	村役場(印)	五十長　大和武三郎	地書取調子帳受取	継紙	1	
470	33	記	明治12	12	10	戸長　梅津又三郎(印)	五十長　大和武三郎	各種税未納分ほか取調べ願い	罫紙	1	
470	34	十一年度村仕夫給	(明治13頃)			大和武三郎	戸長　梅津又三郎	納付金1円余ほか送付の事	継紙	1	受取の旨付紙あり
470	35	十四年一月ヨリ六月迄地方税取立	(明治)13	12	20	惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	大和与一郎ほか10円余送付の事	継紙	1	受取の旨付紙あり
470	36	記	(明治)13	3	8	伊支須校学務委員　大和武七(印)	花瀬村	校家上修繕入用につき藁19包納入の事	切紙	1	
470	37	〔算用書上〕	(明治13頃)					勝三郎8円余ほか	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
470	38	面徭払証	明治13	5	13	蓮台寺村五十長　柴田茂市郎(印)	花瀬村五十長　大和武三郎	蓮台寺村高崎千太郎花瀬村へ奉公中につき面徭役申付け願い	罫紙	1	
470	39	証	13	8	27	村役場(印)	五十長　大和武三郎	地券台帳の認め料受取書	罫紙	1	
470	40	八十服ノ内	(明治13頃)					甚作3ほか名前・数字書上	切紙	1	
470	41	〔算用書上〕						武三郎76ほか名前・数字書上	折紙	1	
470	42	放楽操願	明治13	5	14	穂波郡花瀬村三百八十弐番地居住　平民　大和与一郎(印)	嘉麻穂波両郡郡長　山中立木殿	放楽興行の許可願、戸長梅津又三郎、大野新太郎の奥印あり	罫紙	1	
470	43	記		7	19	村役場(印)	大和五十郎	地券台帳筆料と証印税の事	罫紙	1	
470	44	明治十一年度旧大区費及ヒ嘉穂両郡協議費仕払残金還附金	明治13	12	29	村役場(印)	花瀬村	3円余につき正租割・戸割書上	罫紙	1	
470	45	記	(明治13)					花瀬村宝弥次郎・松岡善次郎分の各種税額につき取調べの事	罫紙	1	
470	46	記	(明治)12	12	24	村役場(印)	花瀬村伍十長　大和武三郎	花瀬村谷利吉など4名・村持分納税額につき通知	書綴(罫紙)	1	
470	47	記	(明治)14	1	8	戸長　梅津又三郎(印)	総代　大和武三郎	明治13年5月から12月迄の衛生委員給料の事	罫紙	1	
470	48	村会議員当撰状受取証	明治13	6		花瀬村　大和武三郎(印)ほか9名	戸長　梅津又三郎		罫紙	1	
470	49	明治十三年度協議費廉附	(明治13頃)					両郡協議費ほか割付率書上	書綴	1	
470	50	〔通知〕	(明治)12	12	14	村役場(印)	五十長　大和武三郎	村社祭典費32円取立につき	罫紙	1	
470	51	受取	(明治13頃)	7	13	庄司中村　役場(印)	花瀬村	カワラ包2つ受取	切紙	1	
470	52	証	明治13	1	27	嘉麻郡穂波郡　郡長山中立木(印)	花瀬村　大和武七	税金29銭受取	切紙	1	
470	53	臨時祭典ニ付御願	明治13	7	10	大和武七(印)、大和武三郎(印)、宝長次郎(印)、大和与一郎(印)、祠掌青柳貞延(印)	嘉麻郡穂波両郡　郡長山中立木	祭典許可願い。戸長梅津又三郎の奥印、郡長山中の承認の書き添えあり	書綴	1	
471	1	〔袋〕	明治12	12		大和甚九郎		袋上書「明治十二年従十二月同十三年ニ至ル 諸目録入 大和甚九郎」、袋裏書「華墨御□(簀ヵ)」とあり	袋	1	471-2～471-56を一括する袋
471	2	記	(明治12・13	3	6	大和武三郎		米1俵相渡	切紙	1	旧3月6日
471	3	記	(明治12・13	12		かじ　弥蔵	花瀬村　甚九郎	鍬先1丁・包丁1本ほか代金1円余	切紙	1	
471	4	〔納入切符綴〕	明治13	4		村役場(印)	花瀬村　大和甚九郎ほか	学校費10銭余20日までに学務委員へ納入事ほか	書綴	1	
471	5	〔書状〕	(明治12・13頃)	1	22	戸長　梅津又三郎(印)	花瀬村五十長　大和武三郎	四期五分納取立につき御礼	継紙	1	封筒あり
471	6	覚	卯(明治12)	12		森崎屋　喜右衛門	大和甚九郎	酉54匁ほか書上	継紙	1	卯旧12月
471	7	記	(明治12・13	2	7	酒屋　五八郎	大和武三郎	粕22貫300目相渡ほか	切紙	1	
471	8	記	卯(明治12)	旧12		森崎屋　久兵衛	花瀬村　大和武三郎	大竹柄杓1本ほか代金4円余受取	継紙	1	
471	9-1	証	(明治)13	3	30	野見山五八郎(印)	大和武三郎	去冬預け米1俵受取	切紙	1	
471	9-2	記	(明治12・13	3	30	伊支須酒屋　五八郎	大和武三郎	粕15貫目代米1俵受取	切紙	1	
471	10	記	(明治12・13			キ	大和氏	綿16斤代米2俵につき算用書上	切紙	1	
471	11	記	(明治12・13	4	22	村役場(印)	大和五十郎	徴兵赤間甚三郎の割符受取	切紙	1	
471	12-1	記	(明治12・13	3	20	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和武三郎	米6俵代16円14銭指出	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
471	12-2	記	辰(明治13)	1		いきす酒屋　五八郎	花瀬村　武三郎	上酒1升書上	切紙	1	
471	13-1	記	(明治12・13	12	7	江藤孫介	大和	賄い代1円余書上	折紙	1	
471	13-2	〔金銭書上〕	(明治12・13			大和		金2円余書上	切紙	1	
471	13-3	記	(明治12・13	2	3	江藤孫介	大和	賄い代24銭書上	切紙	1	
471	14	記	(明治12・13	3	21		大和武三郎	米1斗2升借用願い	切紙	1	
471	15	染物通	明治12己卯	第1		紙屋　与作(印・「筑前飯塚・「カネ・小」・□与」)	花瀬村　大和甚九郎		小横帳	1	
471	16	記	(明治12・13	旧7	6	森崎屋　久兵衛	花瀬　武三郎	刻1斤ほかにつき差引算用書上	切紙	1	
471	17	記	(明治12・13	7	5	糀屋　善助	大和武三郎	絞り6尺ほか代金4円余受取	切紙	1	
471	18	〔書状〕	(明治12・13頃)	旧6	25	太郎丸村　小野山八郎	五十長　大和武三郎	花瀬・蓮台寺・建花寺分地租取調子帳ほか戸長役場へ送達願い	切紙	1	
471	19-1	〔見積書〕	(明治12・13頃)	旧2	9	水へ瓦屋　与茂七	花瀬村　大和武三郎	欠略430枚、唐草38枚ほか瓦枚数の書上	切紙	1	
471	19-2	記	(明治12・13	8	5	江藤孫介	大和	賄い代59銭受取	切紙	1	
471	20	明治十二年地税収納通	(明治12・13					大和武三郎・同甚九郎分につき	長綴	1	
471	21	覚	(明治12・13	旧正月	8	糀屋　善助	大和武三郎	本米沢1反ほか代金49円56銭7厘書上	継紙	1	
471	22	記	(明治)13	8	16	建花寺村戸長　梅津又三郎(印)	土木掛　大和甚九郎	32銭溜井修繕のため建花寺村へ送達の事	罫紙	1	
471	23	記	(明治12・13			惣次郎	花セ　甚九郎	地かけ3本代3円余ほか書上	長綴	1	
471	24	記	辰(明治13)	旧4		渕上徳七	花瀬村　観世音寺御世話人	人夫30人分賃銭11円40銭につき差引残金6円書上	折紙	1	
471	25	記	卯(明治12)	12		糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	キシ縞1反ほか代45円余につき差引書	継紙	1	
471	26	記	(明治12・13	3	28	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和武三郎	米3俵請取	切紙	1	
471	27	〔学校費納入通知綴〕	(明治)12	7		村役場(印)	大和甚九郎・大和武三郎	戸租掛9銭余ほか	綴	1	記3通紙縒綴
471	28	記	(明治12・13頃)					7月より9月迄ノ学費76銭5厘ほか金銭書上	切紙	1	
471	29	記	(明治12・13	6	14	森久店	大和	石油5合代ほか過上2円余指上	切紙	1	
471	30	〔瓦枚数書上〕	(明治12・13					唐草8枚ほか不足など	一紙	1	
471	31	受取	(明治12・13	閏6	22	徳七(印)	大和武三郎	金1円90銭受取	切紙	1	
471	32	記	卯(明治12)	12	29	ちとせ屋　吉平	花瀬村　武三郎	鰻・さばほか代金4円余相済	切紙	1	
471	33	記	卯(明治12)	12		ちとせ屋　吉平	花瀬村　甚九郎	小鯛・さばほか代金1円余書上	切紙	1	
471	34	〔受取書〕	(明治12・13	8	16	梅津又三郎(印)	大和武三郎	荒地起返シ分ほか書類受取	切紙	1	
471	35	記	(明治12・13	4	17	江藤孫介	大和	賄い代18銭受取	切紙	1	
471	36	記	(明治12・13	旧3	7	森崎屋　久兵衛	花瀬村　大和武三郎	米1俵ほかにつき過上分1円余指出	切紙	1	
471	37	村仕夫倍終金商割	(明治12・13				大和武三郎	金3銭3厘書上	切紙	1	
471	38	記	(明治12・13	2	7	伊支須酒屋　五八郎	武三郎	米1俵請取	切紙	1	
471	39	覚	(明治12・13	旧12	27	糀屋　善助	大和武三郎	米2俵受取	切紙	1	
471	40	覚	(明治12・13頃)	旧12	27	糀屋　善助	大和	蝋燭1斤・赤半切300枚ほか代金2円余受取	継紙	1	
471	41	記	(明治12・13	7	9	江藤孫介	大和	賄い代50銭受取	切紙	1	
471	42	記	(明治12・13頃)	4	4	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和武三郎	米6俵代金21円余相渡、米相場の変動の件	継紙	1	
471	43	記	(明治12・13	12	29	糀屋　善助	大和武三郎	22円88銭4厘受取	切紙	1	
471	44	記	(明治12・13					米38升7合6勺書上	切紙	1	
471	45	記	(明治12・13	3	12	大和与一郎	大和武三郎	米1俵借用願い	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
471	46	記	辰(明治13)	1		いきす酒屋　五八郎	花瀬村　大和甚九郎	卯年分銭35貫164文書上	継紙	1	
471	47	〔学校費納入通知綴〕	(明治12・13			村役場	大和武三郎・大和甚九郎	戸租掛55銭ほか	綴	1	記3通紙縒綴
471	48	〔納入通知綴〕	明治12			村役場	大和武三郎ほか	学校費・教員月給ほか	綴	1	記9通紙縒綴
471	49	記	(明治12・13	3	22	江藤孫介	大和	賄い代84銭請求、3月22日払済とあり	継紙	1	
471	50	〔書状〕	(明治12・13	旧2	20	舎利蔵　石川兵市	大和武三郎	石川次平米1俵代貸渡願い	切紙	1	
471	51-1	記	卯(明治12)	12	9	綿平	武三郎	正味979斤算用書上	切紙	1	
471	51-2	記	(明治12・13	旧3	16	勘場　大和甚九郎	大和武三郎	米1俵請求	切紙	1	
471	52	〔書状〕	(明治12・13頃)	旧3	8	石川兵市	花瀬村　大和武三郎	久助へ米1俵半貸渡につき先日送付の証書返却願い	切紙	1	
471	53	記	(明治12・13	2	29	水江　与茂七	花瀬村　大和武三郎	瓦代7円15銭請取	継紙	1	
471	54	染物御通	明治12卯	1		紺屋　兜蔵人(印)	花瀬村　大和武三郎	正月より12月まで〆5円13銭3厘、旧12月25日請取とあり	小横帳	1	
471	55	記	明治13	4	25	村役場(印)		花瀬村分地税第6期納の内、金43円69銭9厘受取	切紙	1	
471	56	第六期弐歩納	(明治12・13					大和茂七1円余ほか人別納入高書上	切紙	1	
472	1	〔袋〕	(明治13)					上書「明治十三年辰各目録受取入」	袋	1	472-2～472-22を一括する袋
472	2	記	(明治13頃)	12	28	糀屋　善助	花瀬村　大和武	絹糸6つほか代金89銭受取	継紙	1	
472	3	現染かよひ	明治13辰	1		こん屋　雄平	花瀬村　大和武三郎	正月より12月まで計5円11銭6厘、12月28日受取	小横帳	1	
472	4	蓮根売渡証	(明治)13	旧8	24	花瀬村　大和与一郎	伊川村　勘七	7円受取	切紙	1	
472	5	記	(明治13頃)	12	28	森久店	大和	米6俵代金につき差引残り11円84銭2厘過上返上	継紙	1	
472	6	覚	(明治13頃)	旧12	23	糀屋　善助	大和武三郎	唐糸200目ほか差引代金54円51銭9厘通帳に上げ	継紙	1	旧12月23日
472	7	覚	(明治13頃)	10	23	糀屋　善助	大和武三郎	本紺裏地1反ほか代金2円余書上	継紙	1	
472	8	記	(明治13頃)	10	15	紺屋　新三	花瀬　大信	ふとん代・風呂敷代など計5円43銭受	継紙	1	
472	9	記	辰(明治13)	12		いきす酒屋　五八郎	花せ村　武三郎	上酒1升書上	切紙	1	
472	10	覚	辰(明治13)	12		森崎屋　喜右衛門	花瀬村　大和甚九郎	上酒3升ほか書上	切紙	1	
472	11	記	(明治13頃)	11	27	江藤孫介	大和	賄い代1円余受取	切紙	1	
472	12	記	(明治13頃)	10	14	江藤孫介	大和	賄い代受取ほか	切紙	1	
472	13	〔算用書上〕	(明治13頃)					酒代ほか61銭につき差引書上	切紙	1	
472	14	〔算用書上〕	(明治13頃)					〆1446斤につき	切紙	1	
472	15	記	辰(明治13)	12		ちとせ屋　吉平	花瀬村　武三郎	鮪1斤ほか代30銭書上	切紙	1	
472	16	受取	(明治13頃)	12	7	酒屋　五八郎	大和武三郎	粕代米3俵受取	継紙	1	
472	17	記	辰(明治13)	12		酒屋　五八郎	花せ村　甚九郎	卯年分銭35貫164文書上	切紙	1	
472	18	記	辰(明治13)	12		かじ屋　弥蔵	花瀬村　甚九郎	鍬先3個ほか代金3円余算用相済	継紙	1	
472	19	記	辰(明治13)	12		森崎屋　久兵衛	大和武三郎	上刻半斤ほか代金4円余受取	継紙	1	
472	20	記	(明治)14	1	22	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	元利合計7円95銭書上	切紙	1	
472	21	現銀目録	明治13辰	1		藤井善助	大和武三郎	金銭出納帳	小横帳	1	
472	22	染物御通	明治13辰ノ	旧正月	吉日	紺屋　与作(印・「筑前飯塚・「カネ小」・醤与」)	花瀬村　大和甚九郎	計1円40銭6厘相済	小横帳	1	
473	1	〔袋〕	(明治13)					袋上書「明治十三年第八月ヨリ諸目録入」	袋	1	473-2～473-50を一括する袋

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
473	2	〔明治十四年地税収納通綴〕	(明治14)				花瀬村分大和武三郎、同大和甚九郎ほか		綴	1	4通紙縒綴
473	3	〔明治十三年地税収納通綴〕	(明治13)				花瀬村分大和武三郎、大和甚九郎ほか	土木費など	綴	1	5通紙縒綴
473	4	〔諸費納入通知綴〕	(明治)15	1		(村役場)	大和武三郎、大和甚九郎ほか	郷村社学務委員農業致成会費及び非常破損修繕費など	綴	1	記9通紙縒綴
473	5	〔諸費納入通知綴〕	(明治)14	10		村役場	大日寺村　大和武三郎ほか	学校費、地税収納通、土木費ほか	綴	1	明治14年1月まで。記など7通紙縒綴
473	6	〔諸費納入通知綴〕	(明治)13	6		村役場(印)	花瀬村　大和武三郎ほか	地方税ほか	綴	1	記4通紙縒綴
473	7	〔諸費納入通知綴〕	(明治)15	1	15	村役場	花瀬村　大和武三郎、深町文蔵	大日寺村分地券台帳7筆分4銭6厘ほか	綴	1	記2通紙縒綴
473	8	〔諸費納入通知綴〕	(明治)14	2		(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村　村持、花瀬村　大和甚九郎ほか	租掛学校費8厘ほか	綴	1	記3通紙縒綴
473	9	〔諸費納入通知綴〕	(明治)13	12		(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村　大和甚九郎ほか	11年度村仕使給租戸掛ほか	綴	1	記4通紙縒綴
473	10	記	(明治)14	7		村役場	花瀬村　大和武三郎ほか	地方税8円余ほか	綴	1	記など9通紙縒綴
473	11	記	(明治14頃)	2	17	森久店	大和	米1俵代綿7斤余ほかにて相渡	切紙	1	
473	12	〔書状〕	(明治14頃)	6	26	イツカ　橋本屋　源右衛門	大和武三郎	米3俵御渡し願い、福沢行たばこ1把受取	継紙	1	
473	13	〔書状〕	(明治14頃)	8	23	戸長　梅津又三郎(印)	花瀬村惣代　大和武三郎	八木山内秣場一件につき警察署へ届出の件	罫紙	1	
473	14	受取証	明治14	3	16	大日寺村　赤間勝三郎	花瀬村　大和武三郎	溜井地床米代1円余受取	切紙	1	
473	15	記	(明治14頃)					瓦都合287枚書上	切紙	1	
473	16	〔出頭通知〕	明治14	12	10	福岡区裁判所(印)　貝原	穂波郡花瀬村　大和甚九	中野信一より貸金勧解願出につき	切紙	1	
473	17	借用証	明治13年	旧12		花瀬村借主　谷口儀一郎(印)、同村証人　谷口儀三郎(印)、同村証人　大和与一郎	花瀬村　大和武三郎	米4斗8合借用	罫紙	1	
473	18	記	(明治14頃)	旧6	17	かじ屋　弥蔵	花瀬村　甚九郎	金わ1つほか代金1円余書上	切紙	1	旧6月17日
473	19	〔書状〕	(明治14頃)	7	13	福沢信太郎(印)	大和武三郎	米10俵借用依頼ほか	切紙	1	
473	20	記	巳(明治14)	12		伊岐須酒屋　五八郎	花瀬村　武三郎	上酒1升ほか書上	切紙	1	
473	21	記	(明治14頃)	4	21	森久店	大和	上刻1斤23銭ほか差引書上	切紙	1	
473	22	記	(明治14頃)	8	25	江藤孫介	大和	賄い代75銭受取	切紙	1	
473	23	〔領収書〕	(明治)14	1	20		大和武三郎	13年村費割、11年12年村費不足90銭受取	切紙	1	
473	24	〔諸費納入通知綴〕	(明治)15	1		(村役場)	花瀬村　大和武三郎ほか	学校費租戸掛38銭ほか	綴	1	記3通紙縒綴
473	25	記	(明治14頃)	旧4	21	ちとせ屋　吉平	花瀬村　武三郎	鯛3枚代金1円余書上	切紙	1	旧4月21日
473	26	〔書状〕	(明治14頃)	旧6	9	イツか村　江藤吉六(印)、使馬嘉作	ハなせむら　大和武三郎、同村　甚治郎	此者へ米御渡し願い	切紙	1	
473	27	〔書状〕	(明治14頃)	6	22	福沢信太郎		今朝相談の15俵はこの車力へ御渡し	罫紙	1	
473	28	〔諸費入用通知綴〕	(明治)14	7		(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村　大和武三郎ほか	学校費88銭余ほか	綴	1	記3通紙縒綴

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
473	29	〔諸費入用通知綴〕	(明治)14	12		(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村　大和武三郎ほか	地方税増割44銭ほか	綴	1	記5通紙縒綴
473	30	覚	(明治14頃)	10	6	糀屋　善助	花瀬村　休左衛門	石油1升代23銭ほかにつき差引書上	切紙	1	
473	31	記	(明治14頃)					〆733斤1合につき算用書上	切紙	1	
473	32	記	(明治14頃)	7	5	森崎屋　久兵衛	大和武三郎	京手拭ほか代金71銭余受取	切紙	1	
473	33	記	(明治14頃)					瓦170枚ほか代金2円余書上	切紙	1	
473	34	記	(明治14頃)			飯塚　徳七	大和武三郎	品代2円余差引書上	切紙	1	
473	35	記	(明治)14	1	22	五八郎	花瀬御村方	五八郎・梅太郎分村費2円余相渡	切紙	1	
473	36	記	(明治14)	10	23	森崎屋　久兵衛(印)	久左衛門	塩2俵ほか代金34銭余受取	切紙	1	
473	37	記	(明治14)					白米4升代ほか3円余につき差引書上	切紙	1	
473	38	受取	(明治)14	12	24	伊支須酒屋　五八郎(筑前伊岐須・「ヤマ井」・酒屋」)	大和武三郎	粕代米2俵受取	切紙	1	
473	39	覚	(明治14頃)	旧11	27	千歳屋　吉平	花瀬村　武三郎	鯛1枚ほか代金7円余書上	継書	1	
473	40	記	(明治14頃)	旧8	2	かじ屋　弥蔵	花瀬村　甚九郎	どふ金3つほか代金82銭書上	切紙	1	
473	41	覚	(明治14頃)	4	25	千年屋　吉平	花瀬村　武三郎	品代80銭書上	切紙	1	
473	42	覚	(明治14頃)	4	3	ちとせ屋　吉平	武三郎	鯛2枚ほか代67銭余書上	継紙	1	
473	43	記	(明治14頃)					瓦枚数書上ほか	切紙	1	
473	44	記	巳(明治14)	旧6	5	大和与市郎	大和武三郎	米3俵受取	切紙	1	
473	45	受取証	(明治14頃)	11	27	本誓寺周旋中(印)	花瀬村　武七	金1円80銭受取	切紙	1	
473	46	覚	(明治14頃)	旧5	25	ちとせ屋　吉平	花瀬村　武三郎	鯛3枚ほか2円余書上、5月26日代金受取	切紙	1	
473	47	記	(明治14頃)	10	28	森崎屋　久兵衛(印)	花瀬村　武三郎	種油1合17銭余書上	切紙	1	
473	48	覚	(明治14頃)	旧11	4	千年屋　吉平	花瀬村　武三郎	大鯛1枚ほか代90銭書上	継紙	1	
473	49	〔諸費納入通知綴〕	(明治)14	5		(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村村持、花瀬村大和甚九郎、同大和武太郎	13年分後半期備荒儲蓄費9厘ほか	綴	1	記3通紙縒綴
473	50	〔諸費納入通知綴〕	(明治)13	11		村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村　大和武三郎、同村大和甚九郎、花瀬村村持分	租懸学校費42銭ほか	綴	1	通知3通紙縒綴
474	1	〔袋〕	(明治16頃)					袋上書「明治十四年一月ヨリ　御用切符入」	袋	1	474-2～474-59を一括する袋
474	2	記	(明治)14	4	4	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)		花瀬村分11年度旧大区費及ヒ嘉麻郡穂波郡両郡協議費還付ほか、12年度協議費仕払残還附など算用書上	罫紙	1	
474	3	分家願	明治14	4	25	穂波郡花瀬村三百九拾四番地平民　室甚次郎(印)ほか3名	嘉麻郡穂波郡　郡長山中正木	弟弥次郎を戸主として分家願、戸主梅津又三郎の奥印、郡長山中立木代理大野新太郎の受理の書付(朱書)あり	書綴(罫紙)	1	
474	4	記	(明治14・15頃)			戸長　梅津又三郎	衛生委員　大和武三郎	届出書類3点の受取、次男録次郎誕生日書替の件	罫紙	1	
474	5	十四年地税第一期納取立	(明治)14	8	24	花瀬村惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	大和茂四郎18銭ほか8円30銭4厘取立	継紙	1	村役場よりの受取書1枚(同日付)貼付
474	6	受取	明治16	1	31	祠掌　青柳貞延(印)	花瀬村惣代　大和武三郎	皇太神宮御初穂米として米5斗1升7合受取	罫紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
474	7	〔納金通知〕	(明治)15	1	14	大和武三郎	戸長　梅津又三郎	13年度土木非常破損修繕費・郷社村社及学務委員農業会費ほか10円87銭8厘納付	継紙	1	戸長梅津又三郎の受取の書付あり(同日付)
474	8	十三年度土木費決算	(明治14・15頃)	6	27	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村	溜池修繕費の決算、合計16円97銭7厘差引残金16円30銭3厘ほか	罫紙	1	写
474	9	記	(明治14・15頃)			穂波郡――委員　何誰印	郡長殿	嘉麻穂波両郡組合会規則制定会委員日当の申請雛型	罫紙	1	朱書にて不足分は雛形の通り指出すよう村役場より総代大和武三郎宛の通知
474	10	14年7月ヨリ12月迄学費	14	8	9	花瀬村惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	金額と人名書上、学校費4円33銭4厘他に地方税・備荒費　朱にて受取の書き込み2ヶ所あり	継紙	1	
474	11	記	明治15	4	1	戸長　梅津又三郎(印)	総代　大和武三郎	大和茂七分14年度後半土木費49銭余受取	継紙	1	
474	12	十四年度地方税追割	(明治)14	12	24	花瀬村惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	谷利吉6厘ほか計1円95銭9厘直納、土木費など書上	継紙	1	
474	13	記	(明治)14	11	20	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	総代　大和武三郎	大和茂四郎・和田善市・谷利吉・大和宗吉ほか税関係未納者の明細、学校費、土木費ほか書上	綴(罫紙)	1	
474	13-1	記	(明治)14	12	9	戸長　梅津又三郎(印)	総代　大和武三郎	谷利吉分地方税・地券税42銭余受取	罫紙	1	474-13に挟込
474	14	金預り証	明治14	11		何村金預主　何ノ誰	戸長宛	金2円53銭9厘の預り証雛型、不足分は未納金の内から受取り、預り証を役場に提出の事	罫紙	1	474-1、474-14-1同折
474	14-1	記	(明治14頃)					13年度協議費の内避病院費2円余書	罫紙	1	
474	15	〔通知〕	(明治14・15頃)	10	22	戸長　梅津又三郎(印)	大和総代	本日7月より12月まで学校費未納分取立願い	罫紙	1	
474	16	記	(明治)16	1	31	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	大和惣代	深町文龍殿患者表1葉ほか受取	罫紙	1	
474	17	〔通知〕	明治15	1	25	嘉麻郡穂波郡々役所　庶務掛	戸長	町村分画に関する布達(乙第3号)につき	書綴(罫紙)	1	
474	18	〔書状〕	(明治14・15頃)	5	30	梅津又三郎(印)	惣代　大和武三郎	土木修繕目論見帳3ヶ村分送付の事、共有金の件	継紙	1	
474	19	明治十五年地税弐期納	明治15					大和甚一郎分ほか6円60銭ほか書上	切紙	1	
474	20	十四年度土木費弐期納	(明治)15	3	24	花瀬村惣代　大和武三郎(印)	戸長　梅津又三郎	室甚次郎分ほか合計11円40銭納付	切紙	1	村役場の受取書2通貼付
474	21	記	(明治)16	4	1	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村惣代　大和武三郎	旧伊岐須校建物費ほか金7円25銭送付	罫紙	1	
474	22	受取証	(明治)16	1	30	戸長　梅津又三郎(印)	大和武三郎	土木費残金25円87銭2厘受取	罫紙	1	
474	23	〔記〕	(明治)14	10		八木山村　役場(印)		14年度花瀬村分諸税55銭3厘書上	切紙	1	
474	24	記	(明治)16	1	12	村役場(印)	大和惣代	土木費証券1枚ほか受取	罫紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
474	25	農業学校新築ニ付寄附願	明治15	5		穂波郡花瀬村人民惣代 大和武三郎(印)	県令渡辺国武殿代理　福岡県少書記官萩原汎愛	金23銭余寄附の事、戸長梅原又三郎の添書及び朱書にて明治16年1月18日付聞届の書き込みあり	罫紙	1	
474	26	衛生資本金借用証	明治14	5	29	借主　花瀬村　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	金1円50銭9厘借用	罫紙	1	
474	27	〔通知〕	(明治)14	12	7	嘉麻穂波郡役所(印)	戸長　梅津又三郎	花瀬村赤間甚三郎の軍隊手帳送付の件	罫紙	1	
474	28	記	(明治)15	1	15	村役場(印)	花瀬村　赤間勝三郎	非常土木修繕費ほか金51銭6厘受取	切紙	1	
474	29	記	(明治)15	5		村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)		明治14年分荒地起返し地税1銭7厘納入につき	切紙	1	
474	30	〔通知〕	(明治)15	2	16	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村惣代　大和武三郎	村民へ田税4期納入期日報知願い	罫紙	1	
474	31	〔通知〕	(明治15頃)	2	16	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	総代　大和武三郎	先達て通知の町村分画につき照会	罫紙	1	
474	32	〔諸費納入書綴〕	(明治)14	10	26	花瀬村惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	14年地税第2期納・土木費・協議費・その他ほか書上	書綴	1	同日付村役場よりの受取書1通を貼付
474	33	協議費内場	(明治)15	9	25	花瀬村惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	合計2円32銭2厘納入、朱書「右正ニ受取候也」	継紙	1	
474	34	十五年度備荒儲蓄金	(明治)15	7	1	惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	計4円3銭4厘納入	継紙	1	村役場よりの受取書1通貼付
474	35	非常土木費不納	(明治15頃)					人別未納額書上、未納分につき	罫紙	1	
474	36	〔書状〕	(明治15頃)	5	27	村役場(印)	総代　大和武三郎	土木証券返却の件	罫紙	1	
474	37	明治十二年度土木修繕出役不足	(明治)14	5	7	村役場(印)	総代　大和武三郎	人足26人2分につき	罫紙	1	
474	38-1	〔書状〕	(明治14・15頃)	5	30	村役場(印)	総代　大和武三郎	本年度諸税賦課法のため田畑・宅地・山林・原野等の名寄出入りにつき照会	罫紙	1	役場用紙使用
474	38-2	〔書状〕	(明治14・15	5	30	村役場(印)	総代　大和武三郎	荒地起返地税簿控送達願い	罫紙	1	役場用紙使用
474	39	十三年度第六期弐歩納	(明治)14	4	25	花瀬村惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	惣計金46円37銭納付の事	罫紙	1	村役場の受取1通(同日付)貼付
474	40	〔賞状〕	明治14	3	18	福岡県	穂波郡　花瀬村	石坂道路修繕費の内7円68銭2厘寄附につき	切紙	1	
474	41	十五年度後期土木費	(明治)16	4	2	花瀬村惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	金10円49銭5厘、5円13銭7厘の2口につき	折紙	2	折紙2枚同折
474	42	十四年度七月地方税取立	(明治)14	7	20	花瀬村惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	地方税・備荒儲蓄金・商業税・学校費など惣計26円65銭4厘納金	継紙	1	戸長の受取書1通(同日付)貼付
474	43-1	十五年一月ヨリ三月迄学費	(明治14・15			戸長	惣代　武三郎	8名分・未納者4名分〆1円89銭9厘受	継紙	1	
474	43-2	記	(明治)15	1	31	戸長　梅津又三郎(印)	花瀬村　大和武三郎	伊岐須学補助金借用分13円84銭4厘受取	切紙	1	
474	43-3	記	(明治)15	1		村役場	大日寺村分　大和武三郎	大日寺村分学校費5銭8厘書上	継紙	1	
474	44	受取証	(明治)14	11	24	大和茂四郎(印)、和多善市(印)	惣代　大和武三郎	木屋掛料8円ほか受取	切紙	1	
474	45	記	(明治14・15	1	11	村役場(印)	花瀬村総代　大和武三郎	土木費ほか金1円82銭5厘送付の事	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
474	46	〔書状〕	(明治)15	5	27	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	惣代　大和武三郎	本年4月～5月の学費旧慣の通り予算切符を配布するよう依頼	罫紙	1	役場用紙使用
474	47	〔記〕	(明治15)					建花寺村外3ヶ村分郷村社遥拝式費24円余書上、花瀬村分明治13年非常破損修繕費13円余書上	書綴(罫紙)	1	
474	48	記	(明治14頃)	3	3	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	総代　大和武三郎	大和茂七・赤間甚介出産届など書類3通受取	切紙	1	
474	49	13年度後半額備荒儲蓄金	(明治)14	6	14	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	総代　大和武三郎	備荒儲蓄金2円余受取	継紙	1	
474	50	十四年地税第四期納	(明治)15	2	24	花瀬村惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	104円53銭2厘納付の事	継紙	1	村役場の受取1通(同日付)貼付
474	51	記	(明治14・15頃)	6	14	梅津又三郎(印)	惣代　大和武三郎	未納者13分の未納額書上、明朝郡役所へ持参のため本日中の納入につき周旋願い	継紙	1	
474	52	〔書状〕	(明治)15	5	31	村役場	惣代　大和武三郎	荒地起返帳簿・秋光次吉弟岩吉収籍証ほか受取	罫紙	1	役場用紙使用
474	53	〔書状〕	(明治14・15頃)	11	20	戸長　梅津又三郎	総代　大和武三郎	大和義四郎・和田善市の小屋掛出願書ほか送付の事	罫紙	1	
474	54	明治十四年度協議費	明治14	10		村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)		花瀬村分合計8円4銭4厘書上	書綴(罫紙)	1	
474	55	記	(明治)14	8	28	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村惣代　大和武三郎	大和宗吉・大和惣吉分学校費55銭6厘受取	切紙	1	
474	56	記	(明治14・15頃)	2	19	戸長　梅津又三郎(印)	土木委員　大和甚九郎	大日寺村非常破損堰堤防修繕費金21円64銭5厘受取	継紙	1	
474	57	記	(明治)15	11	12	花瀬村惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	本年6月ヨリ12月迄学費5円6銭7厘納金	切紙	1	村役場の受取1通(同日付)貼付
474	58	〔納金書上〕	(明治)14	第3	25	花瀬村惣代　大和武三郎	戸長　梅津又三郎	14年度1月ヨリ6月迄学校費・13年度土木費3期納・13年度地税5期納分につき	継紙	1	戸長梅津又三郎の受取1通(同日付)貼付
474	59	〔記〕	明治15	8	25	八木山村役場(印)	花瀬村惣代	八木山村分秩場租金40銭8厘上納の事、「8月31日上納済」と追記あり	罫紙	1	
475	1	〔袋〕	(明治14～18)					袋上書「明治十四年十一月　深町文龍仕立講証書帳簿入」	袋	1	475-2～475-4-6を一括する袋
475	2	記	(明治17)					明治16年旧9月29日より明治17年2月までの講金の取立	長綴	1	
475	3	花瀬村深町文龍講法則	明治14	10	29			掛金1名1度5円、金受渡及落札主確認書等預り人大和武三郎、周施人赤間儀七郎以下13名、証書雛型など	書綴(罫紙)	1	明治14年旧10月29日発起
475	4	〔包紙〕	(明治14～18)					裏に〆49円の内訳あり	包紙	1	475-4-1～475-4-6の包紙

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
475	4-1	記	(明治14～18)					与一郎・彦三郎ほか講金算用	長綴	1	
475	4-2	深町氏講座達々取立簿	明治14年	旧11	22			14年旧11月22日発記取立より16年9月29日分までの6回	長帳	1	
475	4-3	〔廻状〕	(明治14～18)	旧9	25	右担当人　大和武三郎	大日寺村　赤間儀七郎ほか28名	講開催日の連絡、1円79銭4厘持参の事	継紙	1	475-4-3～475-4-6同折
475	4-4	〔廻状〕	(明治)17	旧11	28	花瀬村右講担当人　大和武三郎(印)外三名	大日寺村　赤間儀七郎ほか23名	本年凶作にて金子不融通につき講会延期の事	継紙	1	
475	4-5	〔廻状〕	(明治14～18)	旧12	6	花瀬村右講担当人　大和武三郎(印)外三名	大日寺村　赤間儀七郎ほか27名	来ル12日午前8時講会につき掛出金御持参の上出席の事	継紙	1	
475	4-6	〔廻状〕	(明治14～18)	旧11	25	深町文蔵老講担当　大和武三郎(印)	大日寺村　赤間儀七郎ほか28名	本日29日定日につき金23銭2厘持参の上出席願い	継紙	1	
476	1	〔袋〕	明治14	旧3				袋上書「明治十四年旧三月　与九郎仕立講帳簿及証文入」	袋	1	476-2～476-11を一括する袋
476	2	講座達々取立帳	明治14	旧9				明治14年旧9月より同17年旧3月まで計8回分の取立につき	横帳	1	476-2～476-9紙縒一括
476	3	借金証	明治15	1	17	講元主当村　秋光次吉(印)、講受人　大和与一郎(印)	講御連中、講担当人　大和武三郎	田五畝歩書入れにて金13円10銭借用、印紙(1銭)1枚貼付	罫紙	1	
476	4	借用証	明治15	旧9		借主　大和茂助(印)、受人　大和武一郎(印)	大和与九郎仕立講担任　大和武三郎、外11名	金13円30銭借用	切紙	1	
476	5	金借用証	明治17	旧3	19	花瀬村金借用主　赤間甚七(印)	大和与九郎講担当　大和武三郎	金12円60銭借用	罫紙	1	
476	6	借用証	明治14	旧9		借主　室弥次郎(印)、受人　大和彦三郎	大和与九郎仕立講担任　大和武三郎、外11名	金13円借用	罫紙	1	
476	7	大和与九郎仕立講帳	明治14	旧3				講法規則(掛金1円、定日3月・9月・11月18日)など、発起人大和与九郎など13名書上、当選人の上には当選年月を記す、借用書の雛型あり	書冊	1	
476	8	〔書状〕	(明治14)	5	23	福沢十平ほか1名	大和甚九郎	母コトの糧米および後見人の取替につき協議のため来訪願い	継紙	1	
476	9	小作証	明治17	2		穂波郡大日寺村小作主　高崎文左衛門(印)、同郡同村証人　梶原惣十	花瀬村　大和武三郎	穂波郡大日寺村1269番地字内尾の田1反5畝24歩の小作証、毎年11月10日小作米1石2升付出の事	罫紙	1	
476		〔包紙〕	明治14					包紙上書「明治十四年第八月廿六日蓮台寺秣場道路ハ当村八木山村地内榎木原草薙キノ道路妨害セシヨリ告訴書及両村共熟議之取替書入」、包紙裏書き「蓮台寺村之者共秣場道路妨害スルニ付告訴状其他熟議之取遣書類	包紙	1	476-10の包紙
476	10	〔蓮台寺秣場道路係争関係綴〕	明治14	8	26			被害者大和武三郎・室甚次郎より蓮台寺村石坂甚九郎に対する告訴状(飯塚警察署宛)2通、和議の取交シ書2通ほ	綴	1	
476		〔封筒〕						封筒上書「□瀬村 □甚九郎様 □案内書付内」(封筒上部破損)、封筒裏書「秋松村　福沢十平」	包紙	1	476-11の包紙

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
476	11	〔親族中協議書類綴〕	明治18	5	21			福沢多親族協議書面に地券預り証、追加条文(明治18年5月21日付)の綴。大和甚九郎は親族惣代	綴	1	
477	1	〔袋〕	(明治14・15					袋上書「十四年旧十二月諸方切符切」	袋	1	477-2～19を一括
477	2	記	(明治14)巳	12		糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	5月分品代18円39銭6厘受取	継紙	1	
477	3	記	(明治14・15頃)	正月	朔日	糀屋　善助、使七右衛門(拇印)	武三郎	金5円受取	折紙	1	
477	4	現染通	明治14巳	1		紺屋　雄平	花瀬村　大和武三郎	1月23日より12月23日まで計9円83銭相済	小横帳	1	
477	5	石灰御通	明治14巳	3	7	相田村　御井孫平(印)	花瀬村　大和武三郎	辰ノ12月に米2俵受取(米1俵は石灰80俵に極メ)ほか	小横帳	1	
477	6	記	(明治14・15頃)	2	12	梅津又三郎(印)	花瀬村　大和直	地券証印税ほか代金50銭受取、過銭5銭返金の事	継紙	1	
477	7	記	(明治)15	2	13	村役場(印)	総代　大和武三郎	地券証印税6枚分83銭3厘ほか受取	継紙	1	
477	8	記	巳(明治14)	12	29	森崎屋　久兵衛	大和	種油ほか品代計1円18銭8厘受取	切紙	1	
477	9	記	(明治14・15頃)	2	14	江藤孫平	大和先生	賄・夫賃1円余書上	折紙(罫紙)	1	
477	10	染物御通	明治14巳	1		紺屋　与作	花瀬村　大和甚九郎		小横帳	1	
477	11	肥[　　](御通)	(明治14・15			な[　　](破損)	大和[　　](破損)	明治11年1月より肥料代につき	小横帳	1	表紙・裏表紙は破れ
477	12	記	巳(明治14)	旧12	20	森崎屋店(印)	花瀬　大和武三郎	餅米2俵書上	切紙	1	
477	13	記	(明治14・15	12		紺屋　与作	花瀬村　大和甚九郎	かせ染代ほか1円25銭相済	継紙	1	
477	14	記	巳(明治14)	12		森崎屋　久兵衛	花瀬村　大和甚九郎	綿1斤ほか代金7円62銭相済	継紙	1	
477	15	記	巳(明治14)	12		ちとせ屋　吉平	花瀬村　武三郎	鮪1斤余ほか代金13円22銭7厘書上	継紙	1	
477	16	記	(明治14・15	12	16	かじ　弥蔵	花瀬村　甚九郎	鍋つるかけほか代金1円88銭書上	折紙	1	
477	17	〔書状〕	(明治14・15	2	19	大日寺村　赤間勝三郎	花瀬村惣代　大和武三郎	堤床米受取の事	切紙	1	
477	18	記	(明治14・15頃)	2	17	岸田仁蔵	大和武三郎	学校新築費32銭8厘請求	切紙	1	付紙1枚貼紙あり(村費不足分55銭3厘請求)
477	19	記	(明治14・15	12	27	糀屋　善助	大和武三郎	手拭いほか代金72銭7厘書上	継紙	1	
478	1	〔袋〕	(明治15・16頃)					袋上書「明治十五年ヨリ切符入」、袋裏書「明治拾六年ヨリ切符入」	袋	1	478-2～44を一括する袋
478	2	記	(明治15・16	8	14	江藤孫介	大和甚九郎	賄代ほか1円17銭書上	切紙	1	
478	3	〔諸費割付切符綴〕	(明治)16	6		(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	大和武三郎、大和甚九郎	15年度協議費8銭余ほか	綴	1	記3通紙縒綴
478	4	〔受取書〕	(明治15・16			赤間儀七郎	武三郎	旧学校費半額9銭9厘受取	切紙	1	
478	5	記	(明治)16	2	23	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村　大和武三郎	大日寺村田中彦四郎名前分地税1円7銭受取	切紙	1	
478	6	受取証	明治16	8	3	椿村　青柳孫一郎(印)	花瀬村　大和甚九郎	秋松村宮崎直吉殿証書の元利金50円受取	切紙	1	
478	7	役場書類引受記	(明治15・16頃)					印鑑薄・戸籍帳など33件	書綴(罫紙)	1	写し
478	8	辞職願	明治16	5	14	相田村外二ヶ村戸長　大和武三郎	福岡令　岸良俊介	病気のため戸長及び学務委員の退職願	書綴	1	案文。医師深町文蔵の診断書付

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
478	9	記	(明治15・16頃)					雇賃書上げ、計65円を7人に割当て1人につき9円28銭5厘	折紙	1	
478	10	十六年旧二月十日字筒口溜池猪付及十五年非常破損字徳□いしき二ヶ所分夫賃金渡	(明治16)					人名別金額書上げ、18名分惣計12円70銭8厘	長綴	1	「各家清潔法心得規則」(印刷)の裏を使用
478	11	覚	(明治15・16	3	16	千年や　吉平(印)	花瀬村　武三郎	やず5つ代金55銭書上	切紙	1	
478	12	〔諸費割付切符綴〕	明治16	3		村役場(印)	ハナセ　村持、花瀬　大和武三郎ほか	明治15年後期土木費花瀬村持7銭ほか	綴	1	切紙4枚紙縒綴
478	13	〔土木費割付切符綴〕	明治16	10		村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	大日寺村　大和武三郎ほか	16年度両郡土木費前半額41銭余ほか上納につき	綴	1	切紙3枚紙縒綴
478	14	記	(明治15・16	10	10	江藤孫介	大和甚九郎	賄い代ほか書上、金1円拝借願い	長綴	1	
478	15	記	(明治)16	4	16	村役場(印)	惣代　大和武三郎	大和与一郎分土木費不足5銭7厘の通知	切紙	1	
478	16	地所書入金借用証	(明治15・16						罫紙	1	雛形。罫紙2枚
478	17	〔諸費割付切符綴〕	(明治)16	12		(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	大日寺　大和武三郎、花瀬村　大和武三郎、花瀬村　大和甚九郎	学費通知	綴	1	記3通紙縒綴
478	18	記	(明治15・16)	旧7	10	醤油屋　善三郎(印)	花瀬村　甚九郎	渕上徳七殿分米5俵受取	切紙	1	
478	19-1	証	明治16	6		穂波郡郡医　茅野玄洞(印)		大和武三郎長男・定五郎7ヶ月種痘済につき	切紙	1	
478	19-2	証	明治12	11	30	穂波郡弁分村二百八十八番　衛生方　白水玄流		大和武三郎長女むめ種痘済につき	切紙	1	
478	20	〔諸費割付切符綴〕	明治16			村役場	花瀬村　大和武三郎ほか	大和武三郎・甚九郎分の地方税、備荒儲蓄ほかの綴り	綴	1	記8通紙縒綴
478	21	記	(明治15・16	2	18	醤油屋　惣兵衛	大和武三郎	合菜3斤ほか代66銭書上	切紙	1	
478	22	〔貸借書上〕	(明治15・16頃)					17名分貸付150円50銭、4人分借用140円ほか書上	折紙(罫紙)	1	
478	23	〔書状〕	(明治15・16	9	6	飯塚ヨリ　木邨久兵衛	花瀬　大和武三郎	大日寺惣三へ米2俵御渡し願い	継紙	1	
478	24	〔各村旅費書上〕	明治14	1	9	大谷参一郎	大和武三郎	花瀬村ほか2ヶ村分17円余相渡、「明治13年度両郡連合会議事報告制定委員旅費日当下渡目録」合綴	書綴(罫紙)	1	
478	25	覚	(明治15・16	旧11	3	糀屋　善助	大和武三郎	さらし1丈ほか代金2円余書上	継紙	1	
478	26	受取	(明治)16	8	15	酒屋　五八郎	大和武三郎	酒1斗受取	切紙	1	
478	27	記	(明治15・16	7	3	森久(印)	花瀬　大和	餅米1俵受取	切紙	1	
478	28	春慶ぬり之法	(明治前期)					春慶ぬりの手法を記す	切紙	1	
478	29	御届	明治16	5	23	穂波郡相田村外二ヶ村戸長　大和武三郎	福岡軽罪裁判所	召喚中の伊支須幸市・伊作の所在不明につき届け	罫紙	1	案文
478	30	〔書状〕	(明治)16	4	16	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	惣代　大和武三郎	花瀬村の土木費未納者へ督促依頼	切紙	1	
478	31	記	(明治)16	5	10	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村　大和与一郎	13年両郡聯合会規則制定会につき建花寺村・蓮台寺村分日当70銭受取	切紙	1	
478	32	目六	(明治15・16					品代1円22銭書上	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
478	33	〔金銭書上〕	(明治15・16					深町氏分学費68銭受取	切紙	1	
478	34	受取証	(明治15・16頃)	3	8	請取主　秋光治吉、佐藤善四郎(印)ほか2名	土木員　大和甚九郎	金36円受取	罫紙	1	
478	35	〔地方税通知綴〕	(明治)16	12		(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村　大和甚九郎ほか	花瀬村　大和甚九郎、大和武三郎、大日寺村　大和武三郎分地方税通知の綴	綴	1	記3通紙縒綴
478	36	覚	(明治15・16					やず6本ほか代金24円余書上	継紙	1	
478	37	覚	(明治15・16頃)	8	31	千年や　吉平	花瀬村　大和本作	鰹120目ほか代金13円42銭8厘につき差引書上	継紙	1	
478	38-1	覚	(明治15・16	3	21	千歳や　吉平	花瀬村　武三郎	大鯛・いかほか代金2円96銭9厘書上	継紙	1	38-1～38-5同折
478	38-2	覚	(明治15・16	3	23	千年屋　吉平	花瀬村　大和武三郎	かん天・ふかほか代金1円85銭5厘書上	切紙	1	
478	38-3	〔覚〕	(明治15・16	2	23	千年屋　吉平	花瀬村　大和武三郎	代金23円60銭7厘書上	切紙	1	前欠
478	38-4	覚	(明治15・16	2	24	千年や　吉平	花瀬村　大和武三郎	塩鯛1枚ほか代金1円余書上	切紙	1	
478	38-5	覚	(明治15・16	3	12	千年屋　吉平	大和武三郎	やず・いかほか代金2円80銭書上	切紙	1	
478	39	米借用証	明治16			借用主飯塚村　―――○、証人　―――○	花瀬村　大和武三郎	米26俵借用	切紙	1	案文
478	40	記	(明治15・16					酒・諸費用書上	長綴	1	
478	41	記	(明治15・16頃)	2	20	村役場(印・「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)	花瀬村総代　大和武三郎	地券証印税12銭余ほか納入、地券証受取につき	継紙	1	
478	42	記	(明治15・16					金銭算用書上	継紙	1	
478	43	米借用証	明治16	10	28	借用主　飯塚村　江藤吉六(印)ほか1名	花瀬村　大和武三郎	米26俵借用	罫紙	1	478-39関連
478	44	村会議員当撰状	明治16	11		建花寺村外三ヶ村戸長梅津又三郎	大和武三郎		切紙	1	
479	1	仕賄金渡簿	明治15	7月ヨリ		大和甚九郎			小横帳	1	479-1～27紙縒一
479	2	巡回簿	明治18年度			大和武三郎			小横帳	1	
479	3	仕夫給渡帳	明治17年度			大和甚九郎			小横帳	1	
479	4	平常土木修繕仕役帳　第壱号	明治19年度			土木委員　大和甚九郎			長帳	1	
479	5	平常土木修繕仕役帳　第弐号	明治19年度			土木委員　大和甚九郎			長帳	1	
479	6	平常土木修繕仕役帳　第三号	明治19年度			土木委員　大和甚九郎			長帳	1	
479	7	平常土木現夫差引簿	(明治)19年度			大和			長帳	1	
479	8	平非土木修繕諸色代職工賃会計	(明治)19			第弐ノ組			長帳	1	
479	9	非常破損修繕仕役帳　第壱号	明治19年度			土木委員　大和甚九郎			長帳	1	
479	10	非常破損修繕仕役帳　第弐号	明治19年度			土木委員　大和甚九郎			長帳	1	
479	11	非常破損修繕仕役帳　第三号	明治19年度			土木委員　大和甚九郎			長帳	1	
479	12	〔秋松村土木普請人足賃金銭覚〕	(明治中期)						長綴	1	479-12～14紙縒一括
479	13	〔楽一村土木普請費見積書〕	(明治中期)						長綴	1	
479	14	〔算用書上〕	(明治中期)					坪数・代金ほか書上	罫紙	1	
479	15	十九年度平常土木費日賃渡前高金書抜	(明治中期)					花瀬村分、「六月十日戸帳役場へ出ス」とあり	長綴	1	
479	16	〔普請入用材木書上〕	(明治中期)					5寸20本ほか	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
479	17～27	〔包紙〕	明治29					包紙上書「□九年度分　土木件　瓶樋代書類入」(上部破損)、包紙裏書「明治廿九年 嘉麻穂波郡 大和」	包紙	1	479-17～27を一括する包紙
479	17	広告	明治15	6		早良郡西皿山　瓶樋受持中川武平ほか3名	村役場御中	厚焼・並焼瓶樋1本につき代価書上	紙	1	
479	18	十九年度鉄物	(明治19年度)					花瀬村樋管用	長綴	1	
479	19	十九年度鉄物　第弐ノ組	(明治19年度)						長綴	1	
479	20	明治十九年度平常土木瓶樋	(明治19年度)					花瀬・潤野・津原・舎利倉・秋松・椿・安恒各村分	長綴	1	
479	21	〔瓶樋値段書上〕	(明治)19年度						折紙	1	
479	22	記	(明治)20	5	18	原宅兵衛	土木掛　大和武三郎	瓶樋代金30円余受取	切紙	1	
479	23	[　]米受取記	(明治中期)	4(カ)	15	千年や　吉平(印)	大和武三郎		切紙	1	上部破損欠
479	24	堤防修繕願	(明治19年度)					20年度の堀池村堤防修繕につき	罫紙	1	
479	25	記	(明治中期)			飯塚村取次人　西兵七		瓶樋代金書上	折紙	1	
479	26	瓶井樋値段	(明治中期)					厚焼ほか直段書上	罫紙	1	
479	27	〔代金書上〕	(明治中期)					肥前瓦ほか	継紙	1	
480	1	〔袋〕	(明治16・17)					袋上書「明治十六年十二月ヨリ同十七年十一月迄切符入」	袋	1	480-2～66を一括する袋。紙縒1点袋入
480	2	覚	未(明治16)	12		糀屋　善助	花瀬村　大和御氏	唐糸106目ほか代金38円余引合願い	長綴	1	480-2～10同折
480	3	記	未(明治16)	12		いきす酒屋　五八郎	花瀬村　大和武三郎	上酒1升ほか8斗余書上	継紙	1	
480	4	記	未(明治16)	旧12	27	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	利子分ほか10円受取	継紙	1	
480	5	記	(明治16・17	旧12	27	糀屋　善助	大和武三郎	米2俵受取	切紙	1	
480	6	覚	(明治16・17	12	28	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	米4俵請取	継紙	1	
480	7	記	未(明治16)	12		かじ屋　弥蔵	花瀬村　武三郎	鍬先2丁ほか代金87銭書上	切紙	1	
480	8	記	(明治16・17	8	26	酒屋　五八郎	大和武三郎	上酒9斗ほか代12円余受取	切紙	1	
480	9	借用金証書	明治17						罫紙	1	雛形
480	10	〔通知〕	(明治)16	5	4	福岡県始審才判所書記局(印)	右(相田村)戸長	相田村平民谷口七右衛門ほか3名民事裁判につき	罫紙	1	「福岡始審軽罪裁判所」の罫紙使用
480	11	記	未(明治16)	12		森崎屋　久兵衛	花瀬村　大和武三郎	刻2斤ほか代金3円余受取	継紙	1	
480	12	記	(明治16・17					米26俵代金34円余ほか算用書上	継紙	1	
480	13	請取	未(明治16)	旧12	20	相田村　時井孫平(印)	花瀬村　むろ甚次郎	米2俵受取	罫紙	1	
480	14	記	(明治16・17	旧3	24	大和武三郎(印)	野見山五八郎	此者へ金銭貸渡し願い	切紙	1	
480	15	覚	(明治16・17	12	29	千年屋　吉平	花せ村　武三郎、甚次郎	塩鯛3本ほか代金8円余受取	切紙	1	
480	16	記	未(明治16)	12		醤油屋　惣兵衛	花瀬村　武三郎	合薬1斤ほか代66銭書上	切紙	1	480-16～18同折
480	17	記	未(明治16)	12	25	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	金10円受取	切紙	1	
480	18	〔書状〕	(明治16・17	1	20	野見山五八郎	大和武三郎	証書差出の件ほか	継紙	1	
480	19	記	(明治16・17	12	28	木邨久兵衛	大和武三郎	金30円につき算用書上	切紙	1	480-19、20同折
480	20	記	(明治16・17	12	10	森崎屋　久兵衛	花瀬　大和武三郎	元利28円余につき差引書上	切紙	1	
480	21	石灰御通	明治17申	3	吉日	相田村　時井孫平	花瀬村　大和武三郎		小横帳	1	
480	22	前借藍染通	明治17申	1		こんや　野見山雄平	花瀬村　大和武三郎		小横帳	1	
480	23	記	(明治16・17	12	29	糀屋　善助	大和武三郎	手拭5つほか代金53銭余書上	継紙	1	480-23～25同折
480	24	記	(明治16・17	12	29	糀屋　善助	大和武三郎	買い物代ほか差引残り7円余受取	継紙	1	
480	25	記	申(明治17)	12		糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	絹糸10ほか代金13円余書上	継紙	1	
480	26	〔書状〕	(明治16・17	10	26	大日寺村　篠原与市	花瀬村　大和甚九郎	綿代米1俵此人へ御渡し願い	罫紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
480	27	烟火発揚願	明治16	9	26	穂波郡花瀬村三百八十九番地　大和彦三郎(印)	飯塚警察署	花火打ち上げ、製造願	書綴(罫紙)	1	
480	28	藍染前借通	明治16未	1	吉日	野見山雄平	花瀬村　大和武三郎		小横帳	1	
480	29	記	申(明治17)	12	30	森崎屋　久兵衛	花瀬村　大和武三郎	赤油2合ほか代13円余につき差引書上	継紙	1	
480	30	〔算用書上〕	(明治16・17					うす50銭ほか	継紙	1	
480	31	覚	(明治16・17	12	28	千年屋　吉平	花せ村　武三郎	鯨2斤ほか代金1円余書上	継紙	1	
480	32	具	(明治16・17	7	26	千年屋　吉平	上	ふりほか代金1円余書上	継紙	1	
480	33	覚	申(明治17)	12		千年屋　吉平	花瀬村　武三郎	鯛1枚ほか代金3円余書上	継紙	1	
480	34	記	(明治16・17	2	16	糀屋	大和	2半口鍋ほか差引残金9銭受取	継紙	1	
480	35	記	(明治16・17	12		森崎屋　久兵衛	花瀬村　治吉	塩1俵ほか代金29銭余書上	継紙	1	
480	36	〔通知〕	(明治16・17頃)	9	9	大日寺村外六ヶ村　戸長行場(印)	花瀬村　大和武三郎	大日寺村分未納金17銭余につき督促	罫紙	1	
480	37	記	(明治16・17	旧9	14	九□屋　神崎弥次郎	花瀬村　大和武三郎	煙草20斤代1円余差引書上	切紙	1	
480	38	覚	(明治16・17	2	11	糀屋　善助	花瀬村　大和御氏	品代2円余書上	切紙	1	
480	39	受取	(明治16・17頃)	壬5	10	潤野村　樋口秋甫(印)	花瀬村　大和武三郎、大和甚一郎、宝甚次郎、大和彦三郎、大和与一郎	器械料1円受取	切紙	1	
480	40	〔書状〕	(明治)17	6	16	相田外二ヶ村　戸長今山利八郎(印)	大和武三郎	伊川村仲上介右衛門・順尭忠平の地方税・士木費ほか不納分弁納つき照会	罫紙	1	
480	41	記	申(明治17)	12		伊支須屋　五八郎	花瀬村　大和甚九郎	卯年分3貫564文書上	継紙	1	
480	42	記	(明治16・17	2	12	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	米4俵代6円余差引書上	継紙	1	
480	43	記	申(明治17)	12		「ヤマ・半」	武三郎	品物斤数書上	切紙	1	
480	44	受取証	(明治16・17			千年屋　吉平(印)	大和武三郎	米6俵受取	罫紙	1	
480	45	記	(明治16・17	11	10	畑中与作	花瀬　深町	米1俵代1円余相済	切紙	1	
480	46	仮間通	明治17	6	3	売渡人　大日寺村　内尾与四郎、買受人　花瀬村　大和武三郎		地主人名換願い	罫紙切紙	1	
480	47	記	(明治)17	3	31	青水孫一郎	大和武三郎	元利56円余相済	継紙	1	
480	48	受取	明次(ママ)17	旧5	17	渕上徳七(印)	大和武三郎	米2俵受取	切紙	1	
480	49	記	申(明治17)	12		いきす屋　五八郎	花瀬村　武三郎	上酒1升ほか書上	継紙	1	
480	50-1	〔納税切符〕	明治17	7	17	潤野村仮戸長役場(印)	花瀬村　大和武三郎	16年度両郡協議費31銭余につき	切紙	1	480-50-1、2紙縒綴
480	50-2	〔納税切符〕	(明治)17	7	17	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大和武三郎	16年度両郡協議費5銭余につき	切紙	1	
480	51-1	〔納税切符〕	明治17	9	23	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和武三郎	聯合町村費前期分99銭につき	切紙	1	51-1～4紙縒綴
480	51-2	〔納税切符〕	明治17	9	23	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大日寺村　花　大和武三郎	聯合町村費前期分19銭につき	切紙	1	
480	51-3	受取	(明治17ヵ)	10	7	戸長役場(印・「倉智」)	大和直	両郡町村費10銭受取	切紙	1	
480	51-4	受取	(明治17ヵ)	10	7	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印・「倉智」)	大和武三郎	地券1枚証印税24銭余受取	切紙	1	
480	52-1	記	(明治)17	6		村役場(印)	大日寺村　大和武三郎	15年度非常破損土木費32銭につき	切紙	1	52-1～3紙縒綴
480	52-2	〔納税切符〕	明治17	6		役場(印)	大和武三郎	明治15年度非常破損土木費1円余につき	切紙	1	
480	52-3	記	明治17	9	5	大日寺村六ヶ村　戸長役場	花瀬村　大和甚九郎	15年度非常土木費10銭余受取	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
480	53	記	明治18	1		大日寺村　戸長役場(印)	大日寺村　大和武三郎	村費85銭につき	切紙	1	
480	54	〔納税切符綴〕	明治17	8	28	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村 大和直、同村　大和武三郎、大日寺村　大和武三郎	戸長役場諸費につき	綴	1	切紙3枚紙縒綴
480	55	記	(明治)17	2	20	村役場(印)	花瀬村　大和武三郎	地券証印税20銭余納入につき	切紙	1	
480	56	〔納税切符綴〕	明治17	6	4	役場(印)	花瀬村　大和武三郎ほか	花瀬村・大日寺村分地方税前半期ほ	綴	1	切紙5枚紙縒綴
480	57	〔納税切符綴〕	明治16	10		村役場(印)	花瀬村　大和武三郎ほか	16年度協議費ほか	綴	1	切紙3枚紙縒綴
480	58	〔納税切符綴〕	(明治16・17	4	6	村役場(印)	大和甚九郎、大和武三郎	16年度学費につき	綴	1	記3通紙縒綴
480	59-1	〔納税切符〕	明治17	10	10	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和武三郎	学資金第1期2円余につき	切紙	1	59-1～4紙縒綴
480	59-2	〔納税切符〕	明治17	10	10	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大日寺村分　大和武三郎	学資金第1期51銭余につき	切紙	1	
480	59-3	〔納税切符〕	明治18	10	10	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大和直	学資金第1期39銭余につき	切紙	1	
480	59-4	請取証	明治17	12	1	戸長　川辺清右衛門(印)	花瀬村　大和武三郎	資本金1円余ほか書上	切紙	1	
480	60	〔地税収納通綴〕	明治16	8	15	戸長役場(印)	大和武三郎	大日寺村分・花瀬村分につき	長綴	1	
480	61	〔納税切符綴〕	明治17	12		大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大和武三郎、大和直	花瀬村・大日寺村分地方税につき	綴	1	切紙3枚紙縒綴
480	62	〔納税切符綴〕	明治18	1	20	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大和武三郎、大和直	花瀬村。大日寺村分協議費につき	綴	1	切紙3枚紙縒綴
480	63	記	(明治)17	3	28	村役場(印)	大和武三郎	衛生資本金利子30銭余ほか納入につき通知	切紙	1	
480	64	記	明治17	4	4	村役場(印)	大和武三郎、大和甚九郎	花瀬村・大日寺村分学費につき。4月4日作成1枚と1、1月4日作成2枚	綴	1	切紙3枚紙縒綴
480	65	〔納税切符綴〕	明治18	1	8	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大和武三郎、大和直	大日寺村・花瀬村分役場諸費につき	綴	1	切紙3枚紙縒綴
480	66	〔納税切符綴〕	明治16	3		村役場(印)	大和甚九郎、大和武三郎	花瀬村土木費につき	綴	1	記5通紙縒綴
481	1	〔包紙〕	(明治19頃)					上書「土木用瓶樋書類入」	包紙	1	481-2～24包紙一
481	2	受取	申(明治17)	正月	21	大里や　宅兵衛(印・「筑前飯塚・「ヤマ・阝」・大里屋」)	大和甚九郎	瓶樋代金7円請取	切紙	1	
481	3	受取	申(明治17)	第3	8	飯塚　原宅兵衛(印)	大和甚九郎	瓶樋代10円受取	継紙	1	
481	4	記	(明治)18	2		飯塚　原宅兵衛(印・「筑前飯塚・「ヤマ・阝」・大里屋」)	土木委員　大和甚九郎	厚焼瓶68本代22円余ほか書上	折紙	1	
481	5	請取	(明治)18	旧2	8	飯塚　原宅兵衛(印・「筑前飯塚・「ヤマ・阝」・大里屋」)	土木委員　大和甚九郎	瓶樋代7円余受取	切紙	1	
481	6	十八年度土木用瓶樋	(明治)18					樋官用8寸口39本ほか瓶樋代金書上	横帳	1	
481	7	記	(明治)18	3	27	原宅兵衛	大和甚九郎	厚焼樋尺口4本代1円余ほか書上	切紙	1	
481	8	新築□模費	(明治17～19頃)					追加分59円余ほか書上	継紙	1	
481	9	十七年度瓶樋記	(明治)17					5寸口2本代35銭ほか書上	横帳	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
481	10	記	(明治17～19頃)			大里や 宅兵衛(印・「筑前飯塚・「ヤマ・ド」・大里屋」)	土木委員　大和甚九郎	瓶樋代5円余受取	切紙	1	
481	11	十六年度分	(明治17～19頃)					瓶樋20本代2円余書上	横帳	1	
481	12	〔書状〕	(明治17～19頃)	旧9		原宅兵衛	大和甚九郎	厚焼瓶樋代金の問合せにつき返書	継紙	1	
481	13	〔書状〕	(明治17～19頃)	4	26	飯塚　原宅兵衛	土木委員　大和甚九郎	瓶樋代金受取の事ほか	継紙	1	
481	14	記	(明治17～19頃)					1尺口瓶樋68本代金23円余ほか書上	切紙	1	
481	15	受取	(明治)18	第4	26	原宅兵衛(印)	大和甚九郎	瓶樋代金17円ほか受取	切紙	1	
481	16	請取	(明治)19	第5	20	原宅兵衛(印・「筑前飯塚・「ヤマ・ド」・大里屋」)	大和甚九郎	瓶樋代金20円受取	継紙	1	
481	17	受取	(明治)18	第3	3	原宅兵衛(印・「筑前飯塚・「ヤマ・ド」・大里屋」)	大和甚九郎	瓶樋代金10円受取	切紙	1	
481	18	記	(明治17～19頃)	7	25	大里屋　宅兵衛(印・「筑前飯塚・「ヤマ・ド」・大里屋」)	土木委員　大和甚九郎	瓶樋代金8円余受取	切紙	1	
481	19	記	(明治17～19頃)	2	28	原宅兵衛	大和甚九郎	5寸口樋93本代金12円余ほか算用書上	切紙	1	
481	20	記	(明治17～19頃)					建花寺村分ほか瓶樋本数・代金書上	折紙	1	
481	21	受取	(明治)19	4	12	原宅兵衛(印・「筑前飯塚・「ヤマ・ド」・大里屋」)	大和甚九郎	瓶樋代金12円受取	継紙	1	
481	22	請取	(明治)19	4	22	原宅兵衛(印)	大和甚九郎	瓶樋代金13円受取	継紙	1	
481	23	記	(明治)18	6	7	飯塚　原宅兵衛	土木委員　大和甚九郎	瓶樋代残金20円余受取	切紙	1	
481	24	受取	(明治)19	6	17	原宅兵衛(印・「筑前飯塚・「ヤマ・ド」・大里屋」)	大和甚九郎	瓶樋代金7円受取	継紙	1	
482	1	〔袋〕	(明治19頃)					上書「明治拾七年十二月ヨリ諸切符入」	袋	1	482-2～55袋一括。482-1の中に、何もくくってはいない紙縒入り
482	2	覚	酉(明治18)	12		千年屋　甚平	花瀬村　武三郎	平目1本ほか代金8円余書上	継紙	1	
482	3	記	(明治17～19頃)	12		森崎屋　久兵衛	大和武三郎	木綿2反ほか代金10円余につき差引書上	継紙	1	
482	4	受取	(明治)18	7	17	原宅兵衛(印・「筑前飯塚・「ヤマ・ド」・大里屋」)	土木委員　大和甚九郎	2尺口瓶樋3本代金2円余受取	切紙	1	
482	5	受取	(明治)18	旧3	4	篠原与市(印)	大和甚九郎	綿6斤半代金2円余受取	罫紙	1	
482	6	記	(明治17～19頃)	10	28	渕上徳七	大和武三郎	代金1円余書上	切紙	1	
482	7	記	(明治17～19頃)	2	14	森久店	上様	塩1俵ほか代金24銭余請取	切紙	1	
482	8	〔納税切符〕	明治18	11	28	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和武三郎	村費6円余につき	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
482	9	記	（明治17～19頃）	10	24	糀屋　善助(印)	花瀬村　武三郎	米6俵請取	継紙	1	
482	10	記	（明治17～19頃）	旧6	12	藤井善助	花瀬村　大和武三郎	上キシ絣3尺余ほか代金1円余書上	切紙	1	
482	11	〔金銭書上〕	（明治17～19頃）				大和武三郎	土木調書帳簿筆工料49銭支払いにつき	切紙	1	
482	12	記	（明治17～19頃）	11	2	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	米5俵受取	切紙	1	
482	13	記	（明治17～19頃）	11	29	糀屋　善助(印)	花瀬村　大和武三郎様	金16円受取	切紙	1	
482	14	〔書状〕	（明治17～19頃）	旧正月	23	大日寺村　篠原与市	花瀬村　大和甚九郎	綿替米1俵此者へ御渡し願い	罫紙	1	
482	15	記	酉(明治18)	12		いき須酒屋　五八郎	花瀬村　大和武三郎	上酒5升余差引相済	継紙	1	
482	16	記	（明治17～19頃）	旧11	6	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	蝋1斤ほか代金39銭書上	継紙	1	
482	17	記	（明治17～19頃）	旧7	7	糀屋　善輔	花瀬村　大和武三郎	半紙5束ほか代金2円余につき差引書上	継紙	1	
482	18	〔納税切符綴〕	明治18	10		大日寺村外六ヶ村戸長役	大和武三郎	大日寺村・花瀬村分地租	綴	1	切紙2枚糊付綴
482	19	受取	明次18	5	25	渕上徳七(印)	花瀬村　大和武三郎	米2俵受取	切紙	1	
482	20	記	（明治17～19頃）	旧7	12	糀屋　善助	大和武三郎	上々小晒6尺ほか代金13銭書上	切紙	1	
482	21	〔納税切符綴〕	明治18	6	1	大日寺村外六ヶ村戸長役場(印)	大和武三郎	花瀬村・大日寺村分地方税などにつき	綴	1	切紙2枚紙縒綴
482	22	記	(明治)18	旧5	20	安恒村鍛冶屋　壮兵衛	花瀬村　大和甚九郎	包丁分ほか代金50銭此者へ御渡し願	切紙	1	
482	23	記	明治18	4		相田村　肘井孫平(印)	花瀬村　大和武三郎	米書上	小横帳	1	
482	24	〔納税切符綴〕	明治18	8		大日寺村外六ヶ村　戸長役場	大和武三郎、大和直	明治18年分学区聯合町村費前半期地価割通知ほか、計5枚	綴	1	切紙5枚紙縒綴
482	25	〔納税切符綴〕	明治18	2	20	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大和武三郎、大和直	大日寺村・花瀬村後半期学費につき	綴	1	切紙3枚紙縒綴
482	26	〔納税切符〕	明治19	1	27	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大和武三郎	大日寺村々費地価割31銭余につき	切紙	1	
482	27	〔納税切符〕	明治18	7		大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大和武三郎、大和直	花瀬村分地方税・役場費につき	綴	1	切紙4枚紙縒綴
482	28	記	（明治17～19頃）	1	29	綿屋　幸吉(印)(印・「筑前飯塚・綿屋幸吉」)	大和	賄い代金89銭受取	罫紙	1	
482	29	〔納税切符綴〕	明治18	10	6	大日寺村外六ヶ村　戸長役場	大和武三郎	花瀬村・大日寺村分後半期地方税につき	小横綴	1	切紙2枚紙縒綴
482	30	覚	（明治17～19頃）	旧8	8	千年屋　吉平	花瀬村　武三郎	こんぶほか代金19銭余書上	継紙	1	
482	31	記	（明治17～19頃）			糀や 善助	花瀬村　大和武三郎	芋30匁ほか代金17銭余書上	継紙	1	
482	32	〔納税切符〕	明治19	1	20	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和武三郎	花瀬村分地方税追徴2円余につき	切紙	1	
482	33	〔納税切符〕	明治19	1	20	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和直	花瀬村分地方税追徴1円余につき	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
482	34	〔納税切符〕	明治19	1	20	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大日寺村　大和武三郎	大日寺分地方税追徴47銭余ほかにつき	切紙	1	
482	35	記	明治18	12	29	岸田仁造(印)	土木委員　大和甚九郎	戸長宛の本府受取の事	継紙	1	
482	36	記	(明治17～19頃)	12	8	糀屋　善助(印)	花瀬村　大和武三郎	風呂敷10枚ほか代金1円余書上	切紙	1	482-37と同折
482	37	記	(明治17～19頃)	旧10	28	糀屋　善助(印)	花瀬村　大和武三郎	米2俵受取	切紙	1	
482	38	覚	(明治17～19頃)	11	29	千年や　吉平	武三郎	小鯛2枚ほか代金1円余書上	切紙	1	
482	39	記	(明治17～19頃)	4	20	森崎　久兵衛	大和武三郎	東城刻1袋ほか代金57銭書上	切紙	1	
482	40	証	(明治)18	10	9	大日寺村　戸長役場(印)	花瀬村　大和武三郎	自家用酒税80銭受取	切紙	1	
482	41	〔書状〕	(明治17～19頃)	3	30			籾種8斗受取ほか	切紙	1	
482	42	〔封筒〕	(明治17～19頃)			秋松村　福沢十平	花瀬村　大和武三郎		封筒	1	
482	43	記	(明治17～19頃)					金26円余につき差引算用書上	継紙	1	
482	44	〔算用書上〕	(明治17～19頃)					田税91銭余ほか	罫紙	1	482-45と同折
482	45	〔算用書上〕	(明治17～19頃)					武三郎2円余ほか	折紙(罫紙)	1	
482	46	記	(明治17～19頃)	5	7	糀や　善助	大和武三郎	米6俵計算不足ほか代金40円余相済	折紙	1	
482	47	覚	(明治17～19頃)	11	13	千年屋　吉平	上	代金44銭余書上	切紙	1	
482	48	記	(明治17～19頃)	8	5	モリ久店	上	洋釘6寸ほか代金15銭書上	継紙	1	
482	49	記	(明治17～19頃)	11	14	糀屋　善助(印)	大和武三郎	米2俵請取	切紙	1	
482	50	記	酉(明治18)	12		糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	塩2俵ほか13円余書上	横帳	1	
482	51	明治十七年分地税収納通	明治17	8	28	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大和武三郎	花瀬村・大日寺村分	綴	1	折紙2枚紙縒綴
482	52	記	(明治17～19頃)	8	21	綿屋　幸吉	大和様	賄い代1円余受取	切紙	1	
482	53	〔納税切符綴〕	明治18	11	15・18	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大和武三郎、大和直	花瀬村・大日寺村分後半期地方税ほかにつき	綴	1	切紙8枚紙縒綴
482	54	記	明治18	旧12	19	福沢十平(印)	花瀬村　大和武三郎	講金102円余相渡	切紙	1	
482	55	記	(明治17～19頃)	3	18	森崎屋　久兵衛	大和	本綿2反ほか代金67銭余書上	継紙	1	
483	1	〔袋〕	(明治20頃)					袋上書「旧18年12月ヨリ諸切符入」	袋	1	483-2～76を一括する袋
483	2	〔算用書上〕	(明治18～20頃)					杭本数・人夫数などにつき	折紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
483	3	記	（明治18～20頃）	第12	16	森崎屋　久兵衛	花瀬村　大和甚九郎	赤油3合ほか代金1円余書上	継紙	1	
483	4	八木山村地内県道修繕人足仕記	明治19	12	27	穂波郡花瀬村 大和武三郎（印）	嘉麻穂波郡郡役所雇　香椎昌	出張人足数書上	罫紙	1	483-4～6同折
483	5	〔算用書上〕	（明治20）	（1）				道路修繕につき人足数ほか書上。「20年1月17日受取」とあり	罫紙	1	
483	6	受領証	明治20	1	17	郡長宛		八木山村地内県道修繕出張費3円受	罫紙	1	
483	7	記	（明治18～20頃）	12	30	千年や　吉平	花せ村　武三郎	金30円相渡	継紙	1	
483	8	〔算用書上〕	（明治18～20頃）					人足賃・諸品代9円余ほか書上	罫紙	1	嘉麻穂波郡役所の罫紙使用
483	9	記	（明治18～20頃）			糀屋　善介	大和武三郎	塩・石油ほか代金10円余書上	長綴	1	
483	10	記	（明治18～20頃）	旧12	27	糀屋　善介	花瀬村　大和武三郎	月掛〆高ほか11円余相済	継紙	1	
483	11	記	戌（明治19）	旧12	24	森崎屋　久兵衛	花瀬村　大和武三郎	ろうそく1斤ほか代金1円余受取	継紙	1	
483	12	記	明治19	6	15	村山敦（印・「筑前穂波郡飯塚村・村山」）	大和武三郎	深町文策殿薬種残金6円の受取書	切紙	1	
483	13	目六	（明治18～20頃）	11	19	千年や 吉平	花瀬村　武三郎	平目ほか代金25銭書上	切紙	1	
483	14	〔書付〕	（明治18～20頃）				大和卯三郎	「右之物御ハたし可申候也」とあり	木片	1	
483	15	記	（明治18～20頃）	6	10	綿屋　幸吉	大和	賄い代1円余書上	継紙	1	
483	16	覚	酉（明治18）	12	27	千年屋　吉平	花瀬村　武三郎	鯛1枚代金26銭ほか書上	切紙	1	
483	17	〔書付〕	（明治18～20頃）	旧9	19	大ニ 万太郎		金銭書上	木片	1	
483	18	〔書状〕	（明治18～20頃）	旧2	7	大日寺村　与市（印）	花瀬村　大和甚九郎	善四郎へ綿替米1俵御渡し願い	罫紙	1	
483	19	受取	（明治）19	2	12	野見山七八郎（印・「筑前伊岐須・「ヤマ・井」・□□」）	花瀬村　大和武三郎	久助小作米の内米2俵受取	切紙	1	
483	20	〔納税切符〕	明治19	4	5	大日寺村外六ヶ村　戸長役場（印）	大日寺村　大和武三郎	前半期地方税30銭余につき	切紙	1	
483	21	〔納税切符〕	明治19	10	29	大日寺村外六ヶ村戸長役場（印）	大日寺村　大和武三郎	嘉穂両郡町村費地価割につき	切紙	1	483-21、22同封
483	22	〔納税切符〕	明治19	10	28	大日寺村外六ヶ村戸長役場（印）	花瀬村　大和武三郎	嘉穂両郡町村費地価割42銭余につき	切紙	1	
483	23	記	（明治18～20頃）	12	4	綿屋　幸吉	大和	米2俵代金3円余相渡	切紙	1	
483	24	〔納税切符〕	明治19	11	23	大日寺村外六ヶ村　戸長役場（印）	花瀬村　大和直	志願兵報労給与金4銭余につき	切紙	1	483-24、25同封
483	25	〔納税切符〕	明治19	11	23	大日寺村外六ヶ村　戸長役場（印）	花瀬村　大和武三郎	志願兵報労給与金15銭余につき	切紙	1	483-24、25同封

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
483	26	〔書状〕	（明治18～20頃）	旧7	27	江藤吉六	花瀬村　大和武三郎	米1俵此者へ御渡し願い	継紙	1	
483	27	〔納税切符〕	明治19	9	2	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大日寺村　大和武三郎	地方税後期追徴金1円余につき	切紙	1	483-27～29は同封
483	28	〔納税切符〕	明治19	9	2	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和武三郎	地方税後期追徴金5円余につき	切紙	1	
483	29	〔納税切符〕	明治19	9	2	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和直	地方税後期追徴金1銭余につき	切紙	1	
483	30	〔納税切符綴〕	明治19	2	19	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大和武三郎、大和直	大日寺村・花瀬村分土木費地価割につき	綴	1	切紙3枚紙縒綴
483	31	〔納税切符〕	明治19	10	15	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村 大和直	地方税戸数割12銭余ほかにつき	切紙	1	487-31～33同折
483	32	〔納税切符〕	明治19	10	15	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村 大和武三郎	地方税戸数割36銭余ほかにつき	切紙	1	
483	33	〔納税切符〕	明治19	10	15	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大日寺村　大和武三郎	両郡町村費地価割16銭余ほかにつき	切紙	1	
483	34	〔納税切符〕	明治19	3	4	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和武三郎	地方税地租割5円余ほかにつき	切紙	1	
483	35	記	戌(明治19)	12		大和彦三郎	大和武三郎	塩代ほか代金3円余相済	折紙(罫紙)	1	
483	36	送納証	明治19	3	11	穂波郡花瀬村　大和武三郎(印)	嘉麻郡穂波郡　郡役所受付	地券証印税6銭上納	罫紙	1	483-36、37同折
483	37	送納証	明治19	3	11	穂波郡花瀬村　大和武三郎(印)	嘉麻穂波郡　郡役所受付	地券証印税12銭納入	罫紙	1	
483	38	百六拾六号　染物御通	明治18酉	1	吉日	(甘木後町紺屋　深見弥太郎)			小横帳	1	
483	39	第三拾八号　染物おん通	明治19戌	1	吉日	甘木後町紺屋　深見弥太郎、受持人須恵村　深見弥平	花瀬村　大和甚九郎		小横帳	1	
483	40	現金藍染通	明治18酉	1		紺屋　雄平	花瀬村　大和武三郎		小横帳	1	
483	41	〔納税切符〕	明治19	4	15	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和直	前半期地方税戸数割12銭余ほか	切紙	1	483-41、42同折
483	42	〔納税切符〕	明治19	4	5	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和武三郎	前半期地方税戸数割36銭余ほか	切紙	1	
483	43	〔納税切符〕	明治19	1	25	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和直	所轄町村費地価割4銭につき	切紙	1	
483	44	〔納税切符〕	明治19	1	25	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和武三郎	所轄町村費地価割56銭余につき	切紙	1	
483	45	受取証	(明治)19	4	26	村山真二郎(印)	山(ママ)和武三郎	深町文策薬種代金11円受取	切紙	1	
483	46	記	（明治18～20頃）	12	29	九□屋　神崎勝次郎	花瀬村　大和武三郎	品代1円余受取ほか	切紙	1	
483	47	目六	（明治18～20頃）	12	7	千年や　吉平	大和武三郎	品代29銭余書上	継紙	1	
483	48	〔書状〕	（明治18～20頃）	8	6	千歳屋　吉六	大和武三郎	米1俵引渡の件、流行病につき山より引取の件ほか	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
483	49	〔納税切符〕	明治20	1	13	戸長　合屋利吉	花瀬村　大和直	村費戸掛42銭余につき	切紙	1	
483	50	〔納税切符〕	明治20	1	13	戸長　合屋利吉	花瀬村　大和武三郎	村費3円余につき	切紙	1	
483	51	〔煙草代書上〕	（明治18～20頃）					煙草140目入りにつき	切紙	1	
483	52	請取書	（明治18～20頃）			徳前村　平野長作	大和甚九郎	金1円請取	罫紙	1	
483	53	送納証	明治19	3	9	穂波郡花瀬村　大和武三郎（印）	嘉麻郡穂波郡　郡役所受付	地方証印税21銭余上納	罫紙	1	
483	54	〔人別金銭書上〕	（明治18～20頃）					武三郎12円余ほか	切紙	1	483-54,55は同封
483	55	〔算用書上〕	（明治18～20頃）				武三郎	671斤代金12円余書上	切紙	1	
483	56	〔覚〕	（明治18～20頃）	旧4	7	□山 青柳正平	大和武三郎	米借用願い	罫紙	1	
483	57-1	〔包紙〕	（明治19頃）					包紙上書「十九年櫨実篠栗へ付出書類入印鑑共」	包紙	1	483-57-2～6包紙一括。調査時に開
483	57-2	〔書付〕	（明治18～20頃）			山本長右衛門（印・「筑前糟屋郡箱崎村三千弐拾番地　質商坂本久次郎」）	武三郎	「櫨実此者ニ御渡可被成候」とあり	切紙	1	
483	57-3	〔書付〕	（明治18～20頃）			山本長右衛門（印・「筑前糟屋郡箱崎村三千弐拾番地　質商坂本久次郎」）	武三郎	「櫨実此者ニ御渡可被成候」とあり	切紙	1	
483	57-4	〔書付〕	（明治18～20頃）			筑前国粕屋郡箱崎村三千廿五番地　質商阪本久三郎		坂本久次郎の住所のみ	切紙	1	
483	57-5	〔書付〕	（明治18～20頃）			山本長右衛門（印・「筑前糟屋郡箱崎村三千弐拾番地　質商坂本久次郎」）	武三郎	「櫨実此者ニ御渡可被成候」とあり	切紙	1	
483	57-6	〔書付〕	（明治18～20頃）	旧12	23			堀江・藤野豊吉ほか人名など書上	切紙	1	
483	58	〔納税切符〕	明治20	1		大日寺村外六ヶ村　戸長役場（印）	花瀬村　大和武三郎	聯合町村費追加地価割18銭余につき	切紙	1	483-58～61同折
483	59	〔納税切符〕	明治20	1		大日寺村外六ヶ村　戸長役場（印）	大日寺村　大和武三郎	聯合町村費追加地価割3銭余につき	切紙	1	
483	60	〔納税切符〕	明治20	1		大日寺村外六ヶ村　戸長役場（印）	花瀬村　大和直	聯合町村費戸別割1銭余につき	切紙	1	
483	61	覚	戌（明治19）	12		千年や 吉平	花瀬村　武三郎	塩鯛1枚代金6銭余ほか受取	継紙	1	
483	62	〔納税切符〕	明治19	3	4	大日寺村外六ヶ村　戸長役場（印）	大日寺村　大和武三郎	地方税地価割1円余ほかにつき	切紙	1	
483	63	目六	（明治18～20頃）	12	21	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	米4俵請取	継紙	1	
483	64	記	（明治18～20頃）	第6	21			大和武三郎取替金50銭ほか書上	継紙	1	
483	65	〔書状〕	（明治18～20頃）	11	4	岩野幸吉	大和甚九郎	米代金1円のみ支払いの事	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
483	66	〔納税切符〕	明治19	1	21	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	大日寺村　大和武三郎	町村費后期地価割12銭余につき	切紙	1	
483	67	記	(明治18～20頃)	旧12	10	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	米1俵受取	切紙	1	
483	68	〔納税切符〕	明治18	12	5	大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和武三郎	明治18年度地税12円余につき	切紙	1	
483	69	〔納税切符〕	明治18	11		大日寺村外六ヶ村　戸長役場(印)	花瀬村　大和武三郎	明治18年度地税第3期12円余ほかにつき	切紙	1	
483	70	記	(明治18～20頃)	第11	23	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	米4俵受取	切紙	1	
483	71	記	(明治18～20頃)	第10	4	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	きせる1本ほか代金2円余書上	継紙	1	483-71～76同折
483	72	記	(明治18～20頃)	第6	1	糀や　善助	花瀬村　大和武三郎	刻1斤ほか代金92銭余書上	切紙	1	
483	73	記	(明治18～20頃)	7	15	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	塩10俵ほか代金1円余書上	継紙	1	
483	74	記	(明治18～20頃)	8	6	糀や　善助	花瀬村　大和武三郎	くず1袋ほか代金1円余書上	継紙	1	
483	75	記	(明治18～20頃)			糀屋　善助	大和武三郎	傘1本ほか代金33銭余書上	切紙	1	
483	76	記	(明治18～20頃)	第11	24	糀屋　善助	花瀬村　大和武三郎	半紙1束ほか23銭ほか受取	継紙	1	
484	1	〔袋〕	明治24年					袋上書「明治廿四年分　切符受取証入」	袋	1	484-2～12を一括する袋
484	2	三種　種痘済之証	明治24	5	14	筑前国穂波郡鎮西村　村医尾形玄林(印)	筑前国穂波郡鎮西村大字花瀬　大和金生	種痘済の証	切紙	1	484-2、3同折
484	3	初種　種痘済之証	明治24	4	29	筑前国穂波郡鎮西村　村医尾形玄林(印)	筑前国穂波郡鎮西村大字花瀬　大和武	種痘済の証	切紙	1	
484	4	記	(明治中期)	12		糀屋　善助	花瀬　大和武三郎	塩2俵ほか代金7円余払済	継紙	1	
484	5	鑑定書	明治22	7	5	獣医　樋口秋甫(印)	福岡県穂波郡鎮西村大字花瀬四百廿四　大和武三郎	牝牛鑑定書	切紙	1	
484	6	鑑定書	明治21	5	21	獣医　芝尾弘(印)	福岡県穂波郡花瀬村三百八十七番地　大和武三	牝馬鑑定書	切紙	1	
484	7	記	(明治中期)	正月	8	乙丸　善助	善三郎	425斤余代金4円余につき差引書上	切紙	1	
484	8	〔領収書綴〕	(明治24～25)				大和武三郎・大和甚九郎	明治24年度区費地価割49銭ほか	書綴	1	領収書など31枚綴
484	9	記	(明治中期)	11	22	千歳や　吉六	花瀬 与八郎	鮪2斤半ほか代金2円余受取	継紙	1	
484	10	記	(明治中期)	12	28	□□□組(印)	大和甚一郎	粳2斗余受取	継紙	1	
484	11	記	(明治中期)	1	28	幸袋　篠崎□七(印)	花瀬　大和御氏	醤油・粕代5銭受取	継紙	1	
484	12	〔代金書上〕	(明治中期)	旧8	25	元枝国村庄屋　畑中養右衛門(印)	元花瀬村　大和武三郎	平瓦ほか796枚代金6円余貸渡し願い	折紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
485		穂波郡花瀬村庄屋組頭中乍恐御願申上候事	嘉永元年	12		花瀬村組頭儀助 同弥助、同村庄屋甚九郎	上座下座嘉麻穂波御郡代御役所	村内荒廃で散田増加の為、他村へ奉公中の3人を新百姓に取立願いほか	継紙	1	端裏書「村ひかへ」。奥書1枚（佐与村大庄屋ほか→喜多村嘉兵衛ほか）貼付、切紙1枚（御役所仕法銀借用願い）
486		〔紙帯〕	（幕末維新期）					上書「平次郎拝借願書ニ付金子貸渡帳　委敷此内ニ入ル」	紙帯	1	486～491紙帯一括（486は紙帯）
487		〔貸渡金書上〕	（幕末維新期）					平次郎牛代7両・新百生居金56両ほか書上	長綴	1	
488		借用仕証文之事	嘉永2			花瀬村庄屋　甚九郎（印）	大庄屋　甚次郎	平次郎牛代として金3両を貸渡しの事	継紙	1	端裏書「三月廿二日大庄屋元ニ而金子引替申候」
489		穂波郡大日寺村庄屋組頭乍恐指出を以奉申上覚	慶応元	6		大日寺村組頭勝蔵・同田中伊平・同甚内・同弥平・同村庄屋 大和甚九郎	上座下座嘉麻穂波 御郡役所	庄屋助役良右衛門の拝借金200両村方貧窮人へ割方なきにつき訴訟の件、安政6年より良右衛門拝借金書上あり	継紙	1	
490		穂波郡花瀬村庄屋組頭乍恐願申上候事	嘉永4	2		花瀬村組頭用助、同　弥助、同村庄屋　甚九郎	上座下座嘉麻穂波　御郡御役所	村方困窮につき北ヶ浦の焚石古丁場の採掘御免願い。小田正左衛門宛幸袋村大庄屋孫助奥書あり	継紙	1	
491		穂波郡花瀬村庄屋組頭乍恐御願申上候事	嘉永元	12		花瀬村組頭　儀助、弥助、同村庄屋　甚九郎	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所	平次郎へ牛代金7両の拝借願い、永田弥次郎ほか1名宛佐与村大庄屋甚次郎奥書あり	継紙	1	端裏書「御指下ヶニ相成候　村ひかへ」
492		穂波郡堀池村庄屋彦三郎乍恐申上候口上之覚	文化15	3		堀池村庄屋　彦三郎	上原源一郎様御役所	当村不人品者3名吟味仰付けの件につき	切紙	1	案文。下部破損
493		穂波郡花瀬村庄屋組頭中乍恐御願申上候事	嘉永6	12		花瀬村組頭　儀助、同村同　弥助、同村庄屋　甚九郎	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所	散田増加につき他村奉公中の3名を新百姓に取り立て度事、永田弥次郎ほか名宛幸袋村大庄屋吉左衛門・佐支村大庄屋甚次郎奥書あり	継紙	1	付紙1枚あり（永田弥次郎ほか1名、役所仕組銀より貸付の事）
494		穂波郡大日寺村庄屋組頭乍恐口上書ヲ以申上候事	文久3	11		大日寺村組頭　田中伊平（印）、同　甚内（印）、同弥平（印）、同　勝右衛門（印）、同村庄屋　甚九郎（印）	嘉麻穂波　御郡代御役所	時雨により上納米に余升出来の件について	継紙	1	
495		穂波郡大日寺村庄屋組頭乍恐御願申上候事	万延2	3		大日寺村組頭　田中伊平（印）、同　甚内（印）、同村庄屋助役　勝右衛門（印）、同村庄屋　甚九郎（印）	嘉麻穂波　御郡代御役所	当村洪水荒立地へ再手入作りのため土入方夫米拝借願い、四宮市右衛門ほか宛中村大庄屋清水宅右衛門ほか奥書あり	継紙	1	四宮市右衛門の裏書あり（利無しにて米貸付）
496		穂波郡大日寺□□村庄屋組頭其外村中共拾壱歳以上御山御法度之趣被仰渡起請文を以御請申上候前書之事	（近世後期）					当村御山古野山ほかにつき	継紙	1	端裏書「御山誓紙書物□□分」。閲覧不可

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
497		穂波郡花瀬村庄屋組頭組頭取中起請文ヲ以申上ル前書之事	天保2			花瀬村組頭取　与八、同甚右右衛門、同村組頭弥助、同　儀助、同村庄屋甚九郎	山田新三郎	養育調子一村切り請持につき	継紙	1	案文。497～500紙縒一括
498		借用証	明治10	3		借主大日寺村　青柳正平(印)	花瀬村　大和武三郎	田2反余抵当にて米3俵借用、大和武三郎宛花瀬村保長高崎越郎の奥書あ	罫紙	1	
499		穂波郡花瀬村庄屋組頭組頭取中起請文ヲ以申上ル前書之事	(天保2ヵ)					養育調子一村切り請持につき	切紙	1	端裏書「穂波郡花瀬村養育誓詞入」
500		穂波郡花瀬村中切支丹宗門重畳御改ニ被成ニ付仕上候書物之事	嘉永4	9	23	花瀬村庄屋　甚九郎、同村大庄屋格　甚市、同村組頭　弥助、同　用助	小田正左衛門、野坂利右衛門、吉田守右衛門	慶応元年・文久元年分の書物下書あり	継紙	1	
501		穂波郡花瀬村庄屋組頭山ノ口其外百性中名子あらしニ遊民拾壱歳以上御山御法度之趣被仰渡起請文ヲ以御請申上ル前書之事	(近世後期)					当村御山古野山ほかにつき	継紙	1	
502		穂波郡堀池村庄屋組頭乍恐御願申上候事	(近世後期)					当村水漬りがちにつき新村床替地願い	継紙	1	案文
503		穂波郡大日寺村庄屋甚九郎乍恐御願申上候事	文久元	5		大日寺村庄屋　甚九郎	嘉麻穂波　御郡代御役所	御上納米銭の不足分勘弁願い、嘉穂穂波御郡代役所宛大日寺村組頭田中伊平ほか3名の添書あり	継紙	1	
504		〔達書〕	辰(近世後期)	8		田中又十郎、木村茂八郎、四宮市右衛門、川越又右衛門、肥塚次郎右衛門、水野貞之進		郡方御改革の事について	継紙	1	
505		〔書状〕	(明治期)	8	22	岸田仁蔵	副戸長　大和甚九郎	当村田中甚内より米俵借用の証人の件	罫紙	1	
506		〔借金関係書類綴〕	明治8・9					長尾借入金村控、金114円余分の借用証	綴	1	長綴1点・切紙2枚紙縒綴
507		〔借用証〕	(明治前期)			同村保長――○		地券証抵当にて金55円借用	切紙	1	案文
508		確証	(明治)9	1	23	借主　谷口儀三郎(印)	大和武三郎、同　与一郎	米2俵借用	罫紙	1	
509		確証	明治8亥	8	16	借主　大和与九郎、伍長大和与一郎(印)	大和武三郎	米1斗・金12貫160文借用	罫紙	1	
510		記	明治9	1	8	売主　大和茂四郎(印)、証人　大和与一郎(印)	大和武三郎	字六田新反別4等田5畝余売渡	罫紙	1	
511		確記	明治8	7		大日寺村借主　赤間茂蔵(印)・受人　赤間儀七郎(印)	花瀬村 大和武三郎	金2円10銭借用、大和武三郎宛同村保長高崎越郎の奥書あり	罫紙	1	
512		記	子(明治9)	7	3	陶山八十郎	大和武三郎、室甚次郎	金21円余につき差引書上	切紙	1	
513		記	(明治前期)	旧9	13	梶原伴右衛門(印)	大和武三郎	金1円伴六へ立替願い	切紙	1	
514		確証	明治8亥	2		明星寺村備主――○、受人――○、同村保長――	花瀬村――	米1俵余代金2円余借用	罫紙	1	
515		預り手形	(明治)9	2	29	預り主大日寺村　梶波伴右右衛門(印)	花瀬村　大和武三郎	金5円預り	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
516		穂波郡大日寺村庄屋組頭山ノ口中連名を以御願申上ル事	文久2	11		大日寺村山ノ口彦右衛門、同　直平、同　徳右衛門、同村組頭　田中伊平、同　甚内、同　弥平、同　勝右衛門、同村庄屋　甚九郎	上座下座嘉麻穂波　御山方御役所	土中より倒木の楠木堀出したるにつき村方へ払下げ願い	継紙	1	
517		記	明治11寅	2	13	村借主　谷利吉(印)、受人　大和与一郎(印)	村ノ　大和武三郎	米1俵借用	切紙	1	
518		預り手形之事	明治8亥	3		大日寺村　野畑平七(印)	花瀬村保長　大和武三郎	米2俵借用	罫紙	1	
519		穂波郡花瀬村庄屋組頭仕上指出之事	享和2	12		花瀬村庄屋　甚助	鈴木久左衛門様御役所	当村清七91才養育米3俵拝領のところ病死につき注進	竪紙	1	
520		永代売渡証文之事	明治7	4		花瀬村売主　大和茂四郎(印)、同人受人　大和武七(印)、同村保長　大和武三郎(印)、同村副戸長　立石三兵衛(印)	秋松村　福沢重平	下田1反歩代金5円にて売渡し	罫紙	1	
521		借用証書	明治7	10		借主　副戸長　立石三兵衛(印)	大和武三郎	米2俵借用	罫紙	1	521～571紐一括
522		確証	明治9	1	23	借主大和与九郎(印)、弁償　宝甚次郎(印)	大和武三郎	米1俵借用	罫紙	1	包紙あり。包紙上書「確証弐通　室甚次郎」
523		借用証書	明治8亥	6		花瀬村借主　室甚次郎(印)、受人　青柳直平(花押)	椿村　青柳市平次	地券証15枚引当にて金55円余借用、同村保長大和武三郎の奥書あり	罫紙	1	
524		穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上候口上之覚	申(近世)	11				上納米銭未納分など立替につき裁許願い	継紙	1	端裏書「不用」
525		穂波郡花瀬村庄屋組頭乍恐御願申上候事	嘉永4	2		花瀬村組頭　用助(印)、同　弥助、同村庄屋　甚九郎(印)	上座下座嘉麻穂波　御郡御役所	村方困窮につき焚石古丁場の堀方御免願い、小田正左衛門宛幸袋村大庄屋奥書あり	継紙	1	達書1通貼付あり(堀方聞届けにつき)
526		〔願状〕	嘉永元	11		花瀬村庄屋　甚九郎	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所	庄屋二右衛門・吉北村庄屋百助との米銭受引につき裁許願い	継紙	1	
527		穂波郡大日寺村庄屋組頭乍恐御願申上候事	文久3	2		大日寺村組頭　田中伊平(印)、甚内、弥平、勝右衛門、同村庄屋　甚九郎	嘉麻穂波　御郡代御役所	村方荒地手入れのため御夫銭救助願い	継紙	1	
528		穂波郡大日寺村庄屋組頭乍恐御願申上候事	文久3	4		大日寺村組頭　勝蔵、同田中伊平、同　甚内、同弥平、同村庄屋　大和甚九郎	嘉摩穂波御郡代御役所	頭百姓良左衛門分家の新百姓御仕居料下渡し願い	継紙	1	達書1通貼付あり(聞届けにつき)
529		穂波郡第七大区建花寺村組頭取村瀬半次郎乍恐御願申上候事	明治6酉	5		建花寺村組頭取村瀬半次郎(印)	御調所	役儀御免願い	継紙	1	
530		乍恐奉歎願候事	明治6酉	6		穂波郡第七大区小区建花寺　組頭取　小畑孫八	御調所	退役願い	切紙	1	包紙あり。包紙上書「歎願書　壱通」
531		二月八日猟師一件						福岡行き800文ほか金銭書上	長綴	1	
532		〔書付〕	(明治初年ヵ)					当村石代納め帯屋に約定の事ほか	切紙	1	後欠

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
533		穂波郡花瀬村庄屋組頭乍恐御願申上候事	嘉永元	11		花瀬村組頭　弥助(印)、同　儀助、同村庄屋　甚九郎(印)	上座下座嘉麻穂波　御役所	半次郎夫婦困窮につき屋敷普請願い、永田弥次郎ほか宛中村触聞次佐与村大庄屋甚次郎の奥書あり	継紙	1	端裏書「十一月九日　聞届ケ」
534		〔包紙〕						上書「願書控十二月廿五日出ひかへ二右衛門彦四郎百助手紙入」、「大庄屋宅右衛門様　花瀬庄屋(後欠)」	包紙	1	535～543を一括する包紙
535		〔書状〕		12	19	庄屋　百助	庄屋　甚九郎	昼夜繁多につき建花寺一件は断りの事	継紙	1	
536		穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上候口上之覚	天保15	12		花瀬村庄屋　甚九郎、同村組頭　弥助、同　儀助	上座下座嘉麻穂波　郡代御役所	建花寺村へ貸渡の米銭返済滞りにつき抵当物の馬をめぐる徒党争いの件	継紙	1	
537		穂波郡花瀬村庄屋組頭乍恐御願申上候口上之覚	嘉永2	12		花瀬村組頭　儀助、同　弥助、同村庄屋　甚九郎	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所	新百姓仕居りのため金子年賦上納のところ当年田方損亡につき上納延期願い	継紙	1	
538		〔書状〕		12	16	庄屋　二右衛門	庄屋　甚九郎	建花寺との馬一件の取扱いの件につき	切紙	1	
539		〔書状〕		12	16	いきす　彦四郎	甚九郎	建花寺一件につき日田金など片付けの件ほか	継紙	1	
540		穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上候事	嘉永4	9		花瀬村庄屋　甚九郎	上座下座嘉麻穂波　御郡御役所	散田増加につき二男に別家させたきにつき金25両拝借願い、小田正左衛門宛幸袋村大庄屋孫助の奥書あり	継紙	1	
541		穂波郡花瀬村庄屋組頭乍恐御願申上候口上之覚	天保12	閏正月		花瀬村庄屋　甚九郎、同村組頭　弥介、儀介	上座下座嘉麻穂波　御郡御役所	村方困窮につき牛代・農具・種子籾粮米代など拝借願い	継紙	1	
542		穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上候口上之覚	天保15	11		花瀬村庄屋　甚九郎(印)、同村組頭　弥助(印)、同　儀助(印)	上座下座嘉麻穂波　御郡御役所	建花寺村へ貸渡の米銭返済滞りにつき抵当物の馬をめぐる徒党争いの件	継紙	1	
543		穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ル口上之覚	天保15	12		花瀬村庄屋　甚九郎、同村組頭　弥助、同　儀助	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所	建花寺村へ貸渡の米銭返済滞りにつき抵当物の馬をめぐる徒党争いの件、病馬の薬用負担の件	継紙	1	端裏書「十二月十六日　ひかへ」
544		〔貢米通帳〕	明治8					大和武三郎分につき、明治6～8年分	長綴	1	
545		記	第亥(明治8)	11	25	庄屋　平三郎	花瀬村保長　武三郎、同与市郎	元利121円につき差引書上	継紙	1	
546		預り手形	明治9	4		伊支須村　預主　大塚四方平	大和武三郎	金3円預り	罫紙	1	
547		記	明治7戌	7		借主甚作	大和甚九郎	米2俵借用	罫紙	1	
548		〔袋〕	明治9	9				上書「明治九年九月　諸方確証返却之証入」	袋	1	袋のみ
549		預り手形	明治2巳	12		花瀬村　大和甚九郎	林田平右衛門	正金9両余預り、抹消線あり	切紙	1	549～551同折
550		記	(明治前期)	旧3	3	花瀬村　大和武七	林田平右衛門	金9円余借用	切紙	1	
551		借用証書	(明治前期)					金50円余借用	罫紙	1	
552		記	明治8亥	2		借主　赤間甚作(印)、請人　大和与市郎(印)	大和甚九郎	米1俵借用	罫紙	1	
553		記	(明治前期)					米金差引書上	継紙	1	
554		借用証書	明治9	2	20	当村借主　大和与九郎(印)、証人　大和与市郎(印)	大和武三郎	米1俵借用	罫紙	1	
555		確証	明治8亥	12	31	借主　大和与九郎(印)、伍長　大和与一郎(印)	大和武三郎	米2俵借用	罫紙	1	
556		手形記	亥(明治8)	9		大和与一郎、同　彦三郎	大和武三郎、　室甚次郎	金5円余預り	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
557		借用証	明治13	旧5		借主　赤間甚七(印)、証人　同甚作(印)	大和武三郎	米1俵借用	竪紙	1	
558		預り手形	明治3午	2		花瀬村庄屋　大和甚九郎(印)	幸袋村　又三郎	米3俵借用	継紙	1	
559		請取	(明治前期ヵ)	2	13	蓮台寺村山元　野見山儀助(印)	花瀬村　久助	米4俵請取	切紙	1	包紙あり
560		〔包紙〕	(近世近代)					上書「預証壱通　大日寺村」	包紙	1	
561		拙者売渡証文之事	天保15辰	12		椿村売主　粂吉(印)、同猪平(印)、同村請人　喜助(印)、同　用助(印)	花瀬村　甚九郎	下々田1反余代銭1貫400目にて売渡、花瀬村甚九郎宛椿村組頭・庄屋の奥書あり	継紙	1	
562		預り手形	明治3午	2		花瀬村庄屋　大和甚九郎(印)	幸袋村　又三郎	米2俵借用	切紙	1	
563		借用証	明治11	3	14	借主花瀬村　谷口儀三郎(印)、受人　大和武七	大和武三郎	米2俵借用	罫紙	1	
564		借用仕候証文ノ事	明治10	6		壬野村借主　山本両三(印)、受人花瀬村　大和与九郎(印)	花瀬村　大和武三郎	金4円借用	罫紙	1	
565		借用仕候証文之事	明治3午	2		花瀬村庄屋　大和甚九郎(印)、同村組頭　与一郎(印)、同　甚次郎(印)	幸袋村　又三郎	米4俵借用	継紙	1	
566		羽書記	亥(明治8)	9		赤間甚七、秋元次吉、受人　大和与一郎、同彦三	大和武三郎、宝甚次郎	堀方人夫につき	切紙	1	
567		確証	(明治)7	第9	10	大日寺村保長　高崎与助(印)、岸田仁蔵(印)	花瀬村　大和甚九郎	米3俵借用、副戸長立石讃兵衛の奥書あり	罫紙	1	
568		覚	亥(明治8)	7		紺屋　与作	花瀬村　大和甚九郎	染代〆64貫60文代金4円余相済	切紙	1	
569		記	明治14	7	5	花瀬村　大和与市郎	大日寺村　加原惣十	草山切立料米1俵引替につき	切紙	1	
570		確証	明治8亥	7	6	借主　大和茂四郎(印)、伍長　大和与一郎(印)	大和武三郎	金2円借用	切紙	1	
571		確証	明治9	1	8	売主　大和茂四郎(印)、証人　大和与一郎(印)	大和武三郎	新反別4等田5畝2枚売渡、副戸長立石三兵衛の奥書あり	罫紙	1	
572		〔献立〕	(近世)					かん酒、吸物はまくりほか	継紙	1	
573		〔書付〕	(明治)					武三郎分税金88銭余書上	切紙	1	
574		〔袋〕	(近世近代)					袋上書「広方牛玉紙入」	袋	1	575-582を一括する袋
575		〔下敷〕	(近世)					柱書・宛名など書上あり	切紙	1	575～578同折
576		〔下敷〕	(近世)					「帳面之毛」とあり	切紙	1	
577		〔牛玉宝印〕	(近世)					未使用	切紙	5	
578		〔起請文下書〕	(近世)						切紙	1	
579		〔切支丹宗門改め証文類綴〕	(天保8～慶応2)			(花瀬村)		「仕上げ書物之事」他、宗門改めの請書・起請文など7通	継紙	1	
580		〔袋〕	(近世)					袋上書「誓紙并書物無引入」	袋	1	581～582を一括する袋
581		〔包紙〕	(近世)			勝浦松原口　惣三	飯塚仕立屋　作兵衛		包紙	1	
582		穂波郡花瀬村中切支丹宗門重畳御改被成ニ付仕上候書物之事	延享4	8		花瀬村庄屋　介太郎、同村組頭　仁惣次	野口三兵衛、松下彦右衛門、内野太郎左衛門	端裏書「穂波郡花瀬村宗旨秋御改書物」	継紙	1	享和元年8月付の宛名部分1枚同折

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
583		〔袋〕	（近世近代）			大和甚九郎		袋上書に「大日寺村本誓名子」などとあり	袋	1	584～586を一括する袋
584		〔下敷〕	（近世）					「面役帳之毛」とあり	切紙	1	
585		〔下敷〕	（近世）					「山判之毛」とあり	切紙	1	
586		〔下敷〕	（近世）					「帳面之毛」とあり	切紙	1	
587		〔袋〕	明治4					袋上書「明治四年未三月　穂波郡花瀬村本誓紙名子誓紙　御国判外族人誓紙入」	袋	1	588～589を一括する袋
588		〔人名書上〕	（近世）					与八など50名	継紙	1	牛王宝紙使用
589		穂波郡之内花瀬村切支丹宗門重畳之御改被成ニ付起証文書上申	明治4	3		甚九郎名子　与八ほか15名	藤権大属	宗門改誓書	継紙	1	
590		〔書付〕	（近世）					日用賃ほか在方関係の備忘録	小横帳	1	前後欠。綴じはずれ
591		〔書状〕	（近世）	極月	22	赤間勝七	大和甚九郎	講米の内2俵取替の件について	継紙	1	
592		証	明治15			土木委員（印）	戸長　小野山治吉	太郎丸村字スヽ坂溜池埋樋修繕人足賃につき	切紙	1	
593		証	明治15			土木委員（印）	戸長　小野山次吉	太郎丸村字スヽ坂溜池埋樋修繕堀割人足費につき	切紙	1	
594		証	明治15			土木委員（印）	戸長　小野山治吉	太郎丸村字スヽ坂溜池埋樋修繕職工賃諸色代人足賃金金30円余支払い願	切紙	1	
595		証	明治（15カ）			土木委員（印）	戸長　小野山次吉	太郎丸村字乙井手開枠修繕職工諸色代人足賃10円余支払い願い	切紙	1	
596		証	明治（15カ）			土木委員（印）	戸長　小野山次吉	太郎丸村字萩原橋梁修繕職工諸色代人足賃41円余支払い願い	切紙	1	
597		証	明治（15カ）			土木委員（印）	戸長　小野山次吉	太郎丸村字乙井手開枠橋梁修繕職工諸色代人足賃1円余支払い願い	切紙	1	
598		〔人名書上〕	（明治）					「穂波郡花瀬村大和武三郎」とあり	罫紙	1	
599		〔人名書上〕	（明治ヵ）					赤甚、丸甚市、甚作などとあり	折紙	1	
600		記	明治15	10	2	村役場（印）	花瀬村総代　大和武三郎	地券状2通・証印税金6銭受取	切紙	1	
601		〔書付〕	（近世近代）					「□□亥三月仲院大和氏書之也」とあり	切紙	1	袋として使用か。601～803紐一括
602		〔包紙〕	（幕末期）						包紙	1	603～623を一括する包紙
603		書入証文之事	天保2	12		借主　孫吉（印）、請人組頭　伝内（印）、同　儀介（印）	庄屋　甚九郎	下々田1反余代米7俵借用	切紙	1	
604		借用仕証文之事	弘化3	3		借主与右衛門（印）、受人与八（印）、同組頭　弥助（印）、同　儀助（印）	庄屋　甚九郎	居家1軒書入にて米1俵・金1歩借用	継紙	1	
605		借用証文之事	文政12	3		借主　茂七（印）、同　与平（印）、請人　伝内（印）	庄屋　甚九郎	銭700目借用	切紙	1	
606		覚	天保5	10		百姓中（印）、組頭　茂七（印）、組頭取　儀助（印）	庄屋　甚九郎	儀助ほか連名にて銀4貫700目拝借願い	継紙	1	
607		立毛引当仕ル証文之事	天保5	4		借主　与八（印）、受人　甚太郎（印）	庄屋　甚九郎	当秋田方立毛引当にて米3俵借用	切紙	1	
608		村雑用定極相立約状之事	天保4巳	正月		百姓中	庄屋　甚九郎	軸帳の上仕払いの余米7俵2斗余相渡	継紙	1	付紙1枚あり

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
609		永代畠稲売渡証文之事	天保15	4		売主　与八(印)、受人　弥介(印)、儀七(印)	庄屋　甚九郎	下畠13歩代米2俵余売渡	切紙	1	
610		〔養育米差引書上〕	丑（幕末期ヵ）					花瀬村おすゑ養育米5俵5升相渡	折紙	1	
611		私田地売渡申候証文之事	弘化2	12		売主　弥左衛門(印)、受人組頭　弥助(印)、同　儀助(印)	庄屋　甚九郎	下々田1反代3俵余売渡	切紙	1	
612		借用仕証文之事	弘化2	11		借主　与八(印)、請人組頭　弥助(印)、同　儀助(印)	庄屋　甚九郎	家作銀上納不足につき銭25貫712文ほか借用	切紙	1	
613		借用仕証文之事	嘉永元	6		借主　与平(印)	甚助	御囲籾上納のため米1斗余借、甚助宛組頭弥助・儀助の奥書あり	継紙	1	
614		牛代銭借用仕候事	天保6	2		借主　孫吉(印)、世話人茂七(印)、儀介(印)	親村　御庄屋	金3歩借用	切紙	1	
615		覚	天保5	10		伝内(印)、利平(印)	庄屋　甚九郎	銀2貫500目拝借、未納の節は子供の賃奉公にて返済致す事	切紙	1	端裏書「拝借証文入」
616		誤書物之事	嘉永2	4		忠七、請人　弥左衛門、同十平	庄屋　甚九郎	是迄の勘弁違いの振舞につき誤り	切紙	1	
617		永代売渡し証文之事	天保3	12		売主　左平(印)、請人　儀助(印)	庄屋　甚九郎	字いむた下々田1畝代銭70目余にて売渡	切紙	1	
618		牛代借用証文之事	嘉永3	正月		借主　与八(印)	甚助	金子1両余借用	切紙	1	
619		借用仕銭之事	天保6未	4		借主　伝内(印)、受人　儀助(印)	庄屋　甚九郎	家1間書入にて銭112匁余借用	切紙	1	
620		年賦証文之事	弘化3	3		借主　与右衛門(印)、受人　甚太郎(印)、儀助	庄屋　甚九郎	米7俵借用	継紙	1	
621		私抱畠稲作永代売渡申証文之事	天保12	4		借主　儀助(印)、受人　与八(印)	庄屋　甚九郎	中畠20歩代金1両にて売渡、庄屋甚九郎宛組頭弥助・同儀助の奥書あり	切紙	1	
622		借用仕証文之事	辰(幕末期)	6		組頭　弥介(印)、同　儀介(印)、村中(印)	庄屋　甚九郎	金子7合余借用	竪紙	1	
623		借用仕証文之事	文久2戌	5		大日寺村　借主幸十(印)、請人　作五郎(印)	庄屋　甚九郎	金1両借用	継紙	1	
624		借用仕証文之事	嘉永5子	12		借主片嶋村　頭取船頭長蔵(印)、同　弥左衛門(印)、同　徳次(印)	花瀬村庄屋　甚助	金子25両船頭中借用、花瀬村庄屋宛片嶋村舟庄屋直右衛門ほかの奥書あり	継紙	1	624～636紙縒一括
625		預り手形	酉(幕末期)	6		庄屋　築崎仁右衛門、七右衛門	庄屋　甚九郎	金3歩預り	切紙	1	
626		借用証文之事	天保5	12		片崎村借主　貞次(印)、同村受人　半次(印)、同庄助(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	金3歩借用、花瀬村庄屋甚九郎宛片崎村舟庄屋直右衛門の奥書あり	継紙	1	
627		借用仕証文之事	文久3亥	12		片崎村借主船頭　長蔵(印)、同村組頭　弥助(印)	花瀬村　甚九郎	米8俵借用、花瀬村甚九郎宛舟庄屋九右衛門の奥書あり	継紙	1	
628		借用仕証文之事	嘉永3戌	12		借主　長蔵(印)、受人　藤吉(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	金5両3歩借用、花瀬村甚九郎宛舟庄屋直右衛門ほかの奥書あり	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
629		借用証文之事	天保5午	11		借主　正助(印)、受人　半次(印)	花瀬邑庄屋　甚九郎	金子4両借用、御米運賃為替にて元利返済の事、花瀬村庄屋甚九郎宛片嶋村舟庄屋直右衛門ほかの奥書あり	継紙	1	
630		村々仕組講米借用仕証文之事	文政12	11		片崎村　九助(印)、同　又三郎(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	講米より元米8俵借用の事、花瀬村庄屋甚九郎宛片崎村庄屋九蔵の奥書あ	継紙	1	
631	1	証文之事	天保3辰	12		借主　片嶋村長平(印)、受判花瀬村　仁助(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	新船1艘引当にて金子1両1歩借用、花瀬村仁九郎宛舟庄屋吉三郎の奥書あ	継紙	1	631-1、2同折
631	2	〔算用書付〕	（天保3ヵ）					巳年分金2両余ほかにつき	切紙	1	
632		講式証文之事	明治4未	3		取主　彦三郎(印)、同、茂一郎(印)、受人　与一郎(印)	御連中	正金20両2歩借用、講連中宛庄屋福沢十平ほか奥書あり	継紙	1	裏墨書「蓮台寺邑道路事件書類入諸々古証文石代金請取入」
633		借用仕証文之事	天保9戌	12		借主　直右衛門(印)、同半次(印)、同　長右衛門(印)、請人頭取舟頭　半九郎(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	米6俵借用、秋御米運賃にて元利返済の事	竪紙	1	
634		借用証文之事	文久2戌	12		借主　長蔵(印)、受人　重介(印)	花瀬村　甚九郎	米3俵借用、花瀬村甚九郎宛舟庄屋九右衛門の奥書あり	継紙	1	
635		米借用仕候証文之事	天保3	12		片崎村借主　半四郎(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	米3俵借用、花瀬村甚九郎宛片崎村庄屋勇平の奥書あり	切紙	1	
636		借用証文事	天保13			建花寺村借主　作造(印)	花瀬村　大和甚九郎	金1歩余ほか借用	切紙	1	
637		〔借用証文〕	安政6未	12		伊川村借主　卯右衛門(印)	花瀬村　甚九郎	丁銭5貫100文借用、花瀬村甚九郎宛伊川村庄屋彦吉・組頭次助の奥書あり	継紙	1	裏墨書「村証文入」。637～648紙縒
638		借用仕証文之事	文久3亥	7		借主組頭取　惣吉、受人　茂七	庄屋　甚九郎	馬代として切手3両借用	切紙	1	
639		書入仕借用証文之事	安政3卯	4	9	借主　与三郎(印)、受人　茂右衛門(印)、組頭　用作(印)、善次郎(印)	庄屋　甚九郎	米1俵2斗借用	継紙	1	
640		借用証文之事	嘉永4亥	11		川津村かり主　安右衛門	花瀬村　甚九郎	金1両1歩借用	切紙	1	
641		借用証文之事	子（幕末期頃）	2	29	河津村　安右衛門(印)	花瀬村　甚九郎	金2歩借用	切紙	1	
642		借用証文之事	（幕末期頃）	7	25	川津村かり主　安右衛門(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	金1両2朱借用	切紙	1	
643		借用仕証文之事	文久3亥	6		借主　善次郎(印)	庄屋　大和甚九郎	金子1両2歩借用、庄屋大和甚九郎宛組頭用作の奥書あり	切紙	1	
644		借用仕証文之事	慶応2寅	5		村借主　甚一、甚作(印)、久左衛門(印)、久助(印)、茂七(印)、受人組頭　善市(印)、同　与一郎(印)、頭取　惣吉(印)	庄屋　大和甚九郎	正金5両3歩借用	切紙	1	
645		借用仕証文之事	安政2	3		かり主　惣吉(印)、受人　茂右衛門(印)	庄屋　甚九郎	金子1両600文借用、庄屋甚九郎宛組頭善次郎・用作の奥書あり	継紙	1	
646		借用仕証文之事	慶応2寅	4		借主　与一郎(印)	庄屋　大和甚九郎	正金2両借用	切紙	1	
647		借用仕候証文之事	文久3	6		借主　与八(印)、受人　惣吉(印)	彦三郎	米1俵借用、彦三郎宛組頭用作の奥書あり	竪紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
648		借用仕証文之事	嘉永6丑	12		かり主組頭　用作(印)、証人組頭　善次郎	庄屋　甚九郎	銭6貫文借用	継紙	1	
649		〔包紙〕	(幕末期)					上書「運台寺　証文入　蓮台寺」	包紙	1	650～651を一括する包紙。649～651紙縒一括
650		坂ノ下講引当証文之事	弘化3午	10		蓮台寺村　半次郎(印)	花瀬村　甚九郎	金子9両余ほか借用、花瀬村甚九郎宛蓮台寺村庄屋の奥書あり	継紙	1	
651		書入分付口	天保6未	12		蓮台寺村借り主　伊蔵(印)、同　徳平(印)	花瀬村　甚九郎	上納のため畠并山畠売渡、花瀬村甚九郎宛蓮台寺村庄屋勘助・組頭両七の奥書あり	長綴	1	
652		〔包紙〕	(幕末維新期)					包紙上書「証文入　村ノ」	包紙	1	653～662を一括する包紙。652～662紙縒一括
653		借用仕証文之事	文久2	11		借主　久左衛門(印)	彦三郎	米3俵借用、彦三郎宛組頭次郎の奥書あり	切紙	1	
654		借用仕証文之事	文久3	12		借主　休左衛門(印)	彦三郎	米4俵借用、彦三郎宛組頭善次郎ほか奥書あり	切紙	1	
655		永代売渡証文之事	明治3午	11		売主　与九郎(印)、受人　甚作(印)	武三郎	下畠13歩代米3俵にて売渡、武三郎宛組頭与一郎ほか奥書あり	継紙	1	
656		借用仕証文之事	慶応3卯	11		借主　久左衛門(印)	庄屋　大和甚九郎	米3俵借用、庄屋大和甚九郎宛組頭善次郎ほか奥書あり	竪紙	1	
657		借用仕証文之事	文久3	極月		借主　久左衛門(印)	彦三郎	米3俵借用、彦三郎宛組頭与市郎ほか奥書あり	継紙	1	
658		永代売渡申田地証文之事	安政6未	2		売主　村中(印)	庄屋　甚九郎	芝原下々田1反3畝代銭7貫280文にて売渡、庄屋甚九郎宛組頭善次郎ほか奥書あり	継紙	1	
659		永代売渡申田地証文之事	安政6未	3		売主　儀三郎(印)、請人組頭　用作(印)	庄屋　甚九郎	下田7畝7歩半代銭5貫24文にて売渡、組頭甚九郎の奥書あり	継紙	1	
660	1	永代売渡申田地証文之事	慶応元			売主花瀬村　――、受人―――	秋松村　重右衛門	上田5畝余ほか1筆正金25両にて売渡	継紙	1	660-1、2同折
660	2	永代売渡申田地証文之事	慶応2未	12		売主花瀬村　与一郎、受人同村　彦三郎	秋松村　十右衛門	下々田4畝余代金21両にて売渡、秋松村十右衛門宛花瀬村庄屋大和甚九郎・同村組頭善次郎の奥書あり	継紙	1	
661		借用仕証文之事	慶応3卯	11		借主　茂四郎(印)、請人惣吉(印)、茂七(印)	庄屋　大和甚九郎	米2俵2斗5升借用、庄屋大和甚九郎宛組頭善次郎ほか奥書あり	切紙	1	
662		借用仕証文之事	慶応3卯	11		借主　惣吉(印)	庄屋　大和甚九郎	米1俵借用、庄屋大和甚九郎宛組頭善次郎ほか奥書あり	切紙	1	
663		〔包紙〕	(幕末期)					包紙上書「八木山　証文入」。包紙裏書「借用証文之事」	包紙	1	664～676を一括する包紙。借用証文の紙背を利用
664		借用仕証文之事	天保12子	12		八木山村　徳平(印)、花瀬村請人　弥右衛門(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	金子3両借用	切紙	1	
665		借用証文之事	天保8酉	12		八木山村　徳平(印)、請人　弥右衛門(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	花瀬村講金仕組より金5両借用	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
666		借用仕証文之事	嘉永元申	12		借主　八木山村徳平(印)、請人　花瀬村弥右	甚九郎	金子1両2歩借用	切紙	1	
667		借用証文之事	天保10	7		八木山　忠市、与右衛門、請人　和吉、弥右衛門	花瀬村　甚九郎	金子2歩借用	切紙	1	
668		借用仕証文之事	嘉永3酉	12		八木山村　徳平(印)、花瀬　弥右衛門(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	金子1両2歩借用	継紙	1	
669		借用仕ル証文之事	弘化3午	7		八木山借主　久市(印)、請人　幸右衛門(印)	花瀬村　甚九郎	米1俵代銭48匁借用	切紙	1	
670		借用仕銭之事	文政8酉	8		八木山村借主　平三(印)、請人武右衛門(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	糀仕入のため銭借用、花瀬村庄屋甚九郎宛八木山村組頭伝蔵の奥書あり	継紙	1	
671		借用致証文之事	嘉永4亥	5		八木山村借主　源助(印)、大日寺村受人　角右衛門(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	金子1両借用	継紙	1	
672	1	借用仕証文之事	弘化4	5		八木山借主　幸右衛門(印)、椿受人　権平(花押)	花瀬村庄屋　甚九郎	金子5両借用	切紙	1	
672	2	借用仕米事	文政8	2		八木山村借主　平三(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	蔵米2俵代60目借用、花瀬村庄屋甚九郎宛八木山村組頭伝蔵の奥書あり	切紙	1	
672	3	借用証文之事	天保9	7		八木山　忠市(印)、与右衛門(印)、証人　和吉(印)、儀右門(印)	花瀬村　甚九郎	金子1歩余借用	切紙	1	
673		質書物之事	天保8酉	12		田主　作右衛門(印)、請人　忠七(印)	徳平	字すみむた田2畝余ほか1筆にて金子9両3歩借用、徳平宛八木山村庄屋又五郎の奥書あり	継紙	1	
674		借用仕証文之事	弘化4	7		八木山借主　与右衛門(印)、文次郎(印)、佐七(印)、受人　儀助(印)、卯七(印)	花瀬村　甚九郎	金子3歩800文借用	切紙	1	
675		〔年貢算用書上〕	(幕末期)					徳米1俵余ほかにつき	切紙	1	
676		借用仕候証文之事	天保7申	12		借主　仁助(印)	庄屋　甚九郎	金子1両2歩借用	切紙	1	
677		〔袋〕	明治7申戌	12		大和武三郎		袋上書「明治七歳甲戌十二月　石代受取証入　大和武三郎」	袋	1	678～695を一括する袋。677～695紙縒一括
678		第七大区十四小区花瀬村貢租米上納通帳	明治8亥	11		花瀬村保長　大和武三郎(印)	大行事　御取立所	貢米上納書付	長帳	1	678～694同折
679		第七大区拾四小区花瀬村貢租米上納通帳	明治7申戌	11		花瀬村保長　大和武三郎(印)、同村副戸長　立石三兵衛(印)	大行事　御取立所	貢米上納書付	長帳	1	
680		亥石代金上納之内	亥(明治8)	12	7	第七大区　調所(印)	花瀬村	大和甚九郎納分石代上納分34円請取	罫紙	1	
681		〔算用書上〕	(明治前期)					花瀬村分石代書上	切紙	1	
682		受取	(明治)8	8	5	第七大区　調所(印)	副戸長　立石三兵衛	花瀬村地券証11枚分受取	継紙	1	
683		証	明治8	7	29	第七大区　調所(印)	花瀬村役員中	抵当地券所101枚預り	切紙	1	
684		明治七年分石代金受取証	明治8亥	8	6	第七大区　調所(印)	花瀬村	大和与一郎納金10円61銭2厘受取	切紙	1	
685		記	亥(明治8)	8	7	第七大区　調所(印)	花瀬村	戌年借米元利6円余石代立用の事	継紙	1	
686		戌石代金上納之内	亥(明治8)	5	26	第七大区　調所(印)	花瀬村	大和武三郎石代金納14円受取	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
687		戌石代金上納之内	亥(明治8)	5	14	第七大区　調所(印)	花瀬村	大和彦三郎石代金納80円受取	継紙	1	
688		戌石代金上納之内	亥(明治8)	4	18	第七大区　調所(印)	花瀬村	大和彦三郎石代金納35円受取	継紙	1	
689		請取	亥(明治8)	5	29	畠間子次郎(印)	花瀬村	石代金手数料の内、金18銭7厘5毛受	切紙	1	
690		明治七年分貢米石代受取証	明治8亥	4	13	第七大区　調所(印)	花瀬村	大和彦三郎納金57円受取	切紙	1	
691		甲戌石代金之内	亥(明治8)	2	5	第七大区　調所(印)	花瀬村	菱屋直平石代金納11円受取	切紙	1	
692		甲戌石代金之内	亥(明治8)	2	5	第七大区　調所(印)	花瀬村	大和武三郎石代金納66円ほか受取	切紙	1	
693		石代受取証	明治8亥	3	12	第七大区　調所(印)	花瀬村保長　大和武三郎	金22円受取	切紙	1	
694		戌石代金上納之内	亥(明治8)	4	12	第七大区　調所(印)	花瀬村	大和彦三郎石代金納50円受取	切紙	1	
695	1	覚	午(近世後期～幕末維新	3	25	花瀬　甚九郎	池尾　伊蔵	金17両余ほかにつき差引書上	継紙	1	
695	2	〔算用書上〕	(近世後期～幕末維新期)					甚九郎・伊蔵分金銭書上	折紙	1	
695	3	〔算用書上〕	(近世後期～幕末維新期)					甚九郎・伊蔵分、式部・平蔵分金銭書上	折紙	1	
695	4	覚	(近世後期～幕末維新期)					辰春請取前4両余ほかにつき算用書上	折紙	1	
695	5	覚	(近世後期～幕末維新期)					伊蔵分・甚九郎分金銭書上	折紙	1	
696		預り手形	天保14卯	4		蓮台寺村組頭　伊蔵(印)、徳平(印)	花瀬村　甚九郎	金12両余利金1両余預り	切紙	1	696～704紙縒一括
697		借用引当証文之事	慶応4辰	6		借主大日寺村　良右衛門(印)、請人同村　儀平(印)	花瀬村　大和甚九郎	下畠6畝余引当にて米2俵借用	継紙	1	
698		借用仕証文之事	慶応2寅	8		借主　良右衛門	庄屋　大和甚九郎	米1俵借用	切紙	1	698、699同折
699		借用手形之事	戌(幕末期頃)	3	15	大日寺村借主　良右衛門	花瀬村　甚九郎	米半俵借用	継紙	1	
700	1	預り手形之事	申(幕末期頃)	7		糀屋　善五郎(印)、請人善吉(印)	庄屋　甚九郎	金子5両預り	切紙	1	700-1、2包紙一括。包紙上書「預り手形壱枚　吉五郎分」
700	2	預り手形	(幕末期頃)	8	21	糀原　善五郎(花押)	花瀬村　甚九郎	2朱1角預り	切紙	1	
701		請合証拠之事	弘化4未	正月		請人安恒村　勝平(印)、同椿村　両作(印)、同村猶平(印)	花瀬村　甚九郎	茂助借用金子返済請合の事	切紙	1	
702		覚	(幕末期頃)					米16俵ほか算用書上	切紙	1	
703		〔書状〕	寅(幕末期頃)	3	27	森田屋　茂助	大庄屋格　大和甚助、同武七	潤野講一条につき詫び、一両年ほど掛次置き願い	継紙	1	
704		〔包紙〕						包紙上書「証文入　大日寺村」	包紙	1	705～736を一括する包紙。借用証文之紙背利用。704～736紙縒一括
705		借用仕証文之事	文久2戌	12		大日寺村　借主　組頭甚内(印)	花瀬村　彦三郎	米3俵借用	継紙	1	
706		永代売渡証文之事	慶応2寅	2		大日寺村売主　平七(印)、請人同村組頭取儀平(印)	幸袋村　角屋　伊藤和六	中田1反3畝20歩半・下々田1畝10歩代金8両余にて売渡証文	継紙	1	
707		借用仕証文之事	慶応4辰	5		大日寺村借主　儀平(印)	花瀬村　大和甚九郎	牛追金として正金1両借用	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
708		借用仕証文之事	文久3亥	4		借主　原組頭　又十郎(印)、同　伝右衛門(印)、同庄屋　太右衛門(印)	庄屋　大和甚九郎	当仕向粮米として米5俵借用、庄屋大和甚九郎宛大日寺村組頭勝蔵ほかの奥書あり	継紙	1	
709		借用仕証文之事	文久2戌	11		借主　大日寺村　惣平(印)、請人組頭　伊平(印)	庄屋　甚九郎	米2俵借用	継紙	1	
710		借用証文之事	天保13	8		大日寺村借主　惣右衛門(印)、受人　勝右衛門(印)、儀平(印)	花瀬村　甚九郎	米1俵借用	切紙	1	
711		借用証文之事	天保10	4		大日寺村　源平(印)	花瀬村　甚九郎	金子1歩2朱借用	切紙	1	
712		借用仕証文之事	天保13	7		大日寺村借主　弥七(印)、受人　久四郎(印)	花瀬村　甚九郎	大工町下田1反書入にて米2俵代3歩余借用、花瀬村甚九郎宛大日寺村組頭勝右衛門の奥書あり	継紙	1	
713		永代売渡申田地証文之事	天保9戌	12		大日寺村売主　儀七郎(印)、証人　又次郎(印)	花瀬　甚九郎	中田3反5畝18歩代750目にて売渡、甚九郎宛庄屋太一郎・組頭弥平ほかの奥書あり	継紙	1	
714		拙者抱田地永代売渡申証文之事	天保9戌	12		大日寺村売主　兵市(印)、受人　作次郎(印)	舎利倉村　文次郎	中田1反3畝14歩代銭297匁余にて売渡、舎利倉村文次郎宛大日寺村庄屋太一郎・組頭弥平ほかの奥書あり	継紙	1	
715		永代売渡申田地証文之事	天保9戌	12		大日寺村　売主　長作(印)、証人　喜右衛門(印)、村ノ　久平	花瀬　甚九郎	字浮熊下田1畝21歩代米2俵にて売渡、花瀬甚九郎宛大日寺村庄屋太一郎・組頭弥平の奥書あり	継紙	1	
716		永代畠売渡申ニ付証文之事	天保14卯	12		大日寺村売主　村中(印)	花瀬村　甚九郎	下々畠4畝代銭200目にて売渡、甚九郎宛庄屋儀七郎・組頭勝右衛門ほかの奥書あり	継紙	1	
717		請合証文之事	明治元辰	12	24	花瀬村　大和甚九郎(印)、受人　善次郎(印)	建花寺村　勝平	手形指入分元金4両余の返済につき	切紙	1	
718		拙者抱田地貴殿方江売渡し申証文之事	天保2	11	晦日	田代売主　嘉作(印)、請人　茂作(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	字丸ノ内中田1反代米5俵にて売渡、花瀬村甚九郎宛田代村庄屋平次郎・組頭弥平ほか2名の奥書あり	継紙	1	
719		〔紙帯〕	（嘉永5）	(12)				上書「大日寺明星寺捨子受渡入ル　捨子」	紙帯	1	720～721を一括する紙帯
720		請合書物之事	嘉永5子	12		大日寺村　角右衛門(印)、同村　茂三郎、同村受人組頭取　儀平(印)	花セ村　甚助	捨子たね眼病につき増養育米5俵受取の事	継紙	1	
721		請取	嘉永5	12	23	馬敷村　忠六(花押)	花瀬村　甚助	明星寺村与作方にて養育の捨子、死去ににつき銭600文受取	継紙	1	
722		拙者田地永代売渡証文之事	天保12	6		大日寺村借主　儀七郎(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	石見屋講掛金のため下田1反7畝12歩代金564匁にて売渡	継紙	1	
723		引付写	（幕末維新期頃）	12	26	大日寺村　蔵方	花瀬村庄屋　甚九郎	徳米4俵余、三品銀192匁ほか引合願い	継紙	1	
724		借用証文之事	明治2巳	3		大日寺村借主　儀平(印)	花瀬村　大和甚九郎	正金3歩借用	切紙	1	
725		一札之事	嘉永元	12		蓮台村庄屋　二右衛門(印)、飯塚宿庄屋　通太(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	大日寺村差引累年差縺れの分、米7俵上納にて上納米銭共皆済の事	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
726		預り手形	戌(天保9)	閏4	27	枝国村　理右衛門(花押)	花瀬村庄屋　甚九郎	札1貫700文預り	切紙	1	
727		借用仕証文之事	卯(近世)	5		大日寺村借主　卯平(印)	庄屋　大和甚九郎	米2俵借用	切紙	1	
728		借用仕証文之事	慶応2寅	5		大日寺村□□庄屋　太右衛門(印)、同組頭　又十(印)	花瀬村　大和甚九郎	正金4両借用、庄屋大和甚九郎宛大日寺村組頭勝蔵・助役良右衛門の奥書あり	継紙	1	閲覧不可
729		借用仕証文之事	慶応4辰	3		借主　伴右衛門(印)、受人　勝蔵(印)	大和甚九郎	米1俵借用	切紙	1	
730		借用仕証文之事	戌(近世)	12		大日寺村借主　精蔵(印)	花瀬村　彦三郎	米1俵借用	継紙	1	
731		借用仕証文之事	慶応3卯	4		大日寺村借主　喜助(印)、請人　良右衛門	花瀬村　大和甚九郎	米1俵借用	切紙	1	
732		借用証文仕事	天保11子	5		大日寺村借主　弥平(印)、請人　久平	花瀬村　甚九郎	米1俵借用	切紙	1	
733		借用証文之事	天保13	7		大日寺村借主　善七(印)、受人　茂右衛門(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	米1俵借用、甚九郎宛大日寺組頭勝右衛門の奥書あり	竪紙	1	
734		借用証文之事	天保13	7		大日寺　借主　長右衛門(印)、同村　請人　善七(印)	花瀬村　甚九郎	米1俵借用、庄屋甚九郎宛組頭勝右衛門の奥書あり	継紙	1	
735		借用仕証文之事	天保13	7		大日寺村　借主　長右衛門(印)、請人　善七(印)	花瀬村　甚九郎	米1俵借用、花瀬村甚九郎宛大日寺組頭　勝右衛門の奥書あり	継紙	1	
736		借用仕証文之事	戌(近世)	7	8	大日寺村　借主　伴右衛門(印)、世話人　長右衛門(印)	御庄屋様	切手2貫文借用	切紙	1	
737		〔書状〕	(近世)	3	24	大庄屋　彦右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	貴殿寸志銀未納の件ほか	継紙	1	737～745紙縒一括
738		借用証文之事	文政8酉	3		借主潤野村　庄作(印)、請人同村　大炊(印)	花瀬村　甚九郎	六銭150目借用	切紙	1	
739		請合証拠之事	文政9いぬ	5		借主大日寺原　喜右衛門	花瀬村　甚九郎	銭20目借用	切紙	1	
740		借用証文之事	文政6	6		建花寺村庄屋　権内	花瀬村庄屋　甚九郎	銭45匁8分借用	切紙	1	
741		借用仕銭之事	文政9	5	29	伊岐須村　五平(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	六銭90目借用	切紙	1	
742		借用仕銭之事	文政8	2	26	伊岐須村　五平(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	銭234匁借用	切紙	1	
743		借用仕米之事	文政元	12		花瀬村　彦七(印)、受人　和助(印)	同村庄屋　甚九郎	米3俵借用	切紙	1	
744		借用仕銭之事	文政4	5		借主　半六(印)、証人組頭　茂七	庄屋　甚九郎	中田1反余ほか書入にて銭60目借用	切紙	1	
745		借用仕証拠之事	文政8酉	12		蓮台寺村借主　作右衛門(印)、同　忠右衛門(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	六銭160目借用、花瀬甚九郎宛蓮台寺村庄屋良平ほかの奥書あり	継紙	1	
746		銭借用仕証文之事	天保7	7		横田村　次八(印)、同　与平(印)	花瀬村　甚九郎	金2両借用、花瀬村甚九郎宛横田村庄屋太惣の奥書あり	切紙	1	746～788紙縒一括
747		金子借用仕証文之事	天保4	3		横田村　甚平(印)	花瀬村　甚九郎	金2両借用、花瀬村甚九郎宛横田村庄屋太惣の奥書あり	切紙	1	
748		〔書付〕	(近世後期～幕末期)					石割書上	切紙	1	
749		永代証文之事	天保13寅	7		横田村　長次郎(印)、受人　藤十(印)	花瀬村　甚九郎	中田1反3畝6歩書入にて金3両借用、甚九郎宛横田村庄屋太右衛門の奥書	継紙	1	749、750同折

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
750		永代証文之事	天保13寅	7		横田村　長次郎(印)、請人組頭　藤十(印)	花瀬村　甚九郎	金子3両借用	切紙	1	
751		借用仕証文之事	嘉永元申	12		横田村借主　次助(印)、同村請人　又十郎(印)、花瀬村　与八(印)	花瀬村　甚助	金子3両2歩借用	切紙	1	
752		千代銭借用仕証文之事	天保12丑	2		横田山借主　又十(印)、受人　勘右衛門(印)	花瀬村　御役人中	金子1両借用	切紙	1	
753		田地引当ニテ金子借用仕証文之事	天保3	12		横田村　与平(印)	花瀬　甚九郎	金2歩借用、花瀬甚九郎宛横田村庄屋太惣の奥書あり	切紙	1	
754		借用仕証文之事	弘化4未	12		横田村借主　又五郎(印)、請人　同村源次(印)、花瀬村与八	花瀬村　甚助	金子2両借用	切紙	1	
755		借用証文之事	天保13	9		横田村　長次郎(印)、同藤十(印)	花瀬村　甚九郎	金3歩3朱借用	切紙	1	
756		〔算用書上〕	(近世後期～幕末期)					卯年余米4俵余ほか	継紙	1	
757		覚	未(近世後期～幕末期)	5		花せ　甚九郎	横田村　藤十	丑触雑用借戻し元利金2両余書上	切紙	1	
758		〔算用書上〕	(近世後期～幕末期)					元利12両余につき	継紙	1	
759		〔算用書上〕	巳(近世後期～幕末期)	4		甚九郎	長次郎	元利9両余につき	切紙	1	
760		〔算用書上〕	(近世後期～幕末期)					藤十・甚助畠代金3歩余ほかにつき	切紙	1	
761		〔書付〕	(近世後期～幕末期)					預り一件につき安之丞宅にて長次郎と面談の事	切紙	1	
762		覚	申(近世後期～幕末期)	12				寅年取替田地代6両余につき算用書上	継紙	1	端裏書「横田目録」
763		田地引当ニテ米借用仕証文之事	天保9戌	12		横田村　次八(印)、同　与平(印)	花瀬村　彦三郎	銭301匁余借用、花瀬村庄屋彦三郎宛横田村庄屋太惣の奥書あり	継紙	1	
764		永代証文之事	天保13	9		横田村　長次郎(印)、受人　藤十(印)	花瀬村　甚九郎	金子3歩借用、甚九郎宛横田村庄屋太右衛門の奥書あり	継紙	1	
765		借用証文之事	嘉永元申	12		借主　横田村　喜右衛門(印)、請人　大日寺村　久平(印)	花瀬村　甚九郎	米2俵借用	切紙	1	
766		永代証文之事	天保13寅	7		横田村　長次郎(印)、藤十(印)	花瀬村　甚九郎	下畠5畝15歩・中畠7畝15歩売渡、甚九郎宛庄屋太右衛門の奥書あり	継紙	1	覚1通貼付(藤十分中畠7畝余ほか書
767		〔算用書上〕	(近世後期～幕末期)					米6俵余につき徳米など差引書上	継紙	1	
768		覚	(近世後期～幕末期)					熊本取立分元金3両につき算用書上	切紙	1	
769		覚	酉(近世後期～幕末期)	4		甚九郎	長次郎	卯年余米ほか58俵余引合願い	切紙	1	
770		畠証文之事	天保2卯	12		横田村　惣平(印)	花瀬村　甚九郎	下畠6畝余引当にて銭60目借用、甚九郎宛横田村庄屋太惣の奥書あり	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
771		借用仕証文之事	弘化4未	11		横田村借主　次助(印)、同村請人　又五郎(印)、花瀬村　与八(印)	花瀬村　甚助	金子3両2歩借用	切紙	1	
772		借用仕証文之事	嘉永元申	12		横田村借主　次助(印)、受人花瀬村　与八(印)	花瀬村　甚九郎	馬代金に金子2両2歩借用	切紙	1	
773		借用証こ之事	天保2	正月		横田村庄屋　善六(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	正銭69匁6分借用	切紙	1	
774		借用証文之事	天保10亥	12		横田村　長次郎(印)、請人　仁助(印)	花瀬村　彦三郎	銭376匁4分借用	切紙	1	774～776同折
775		借用証文之事	天保10亥	12		横田村　長次郎(印)	花瀬村　彦三郎	銭177匁7分7厘借用	切紙	1	
776		〔証文〕	(天保10ヵ)	(12カ)		同村庄屋　太惣(印)	同村　彦三郎	証文の奥印部分	切紙	1	前欠
777		年賦証文之事	弘化3午	3		借主横田村　甚平、花瀬村請人　弥右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	銭306匁2分4厘借用	切紙	1	
778		借用仕証文之事	天保14	8		借主　安之丞(印)、同　藤十(印)、同　弥右衛門	花瀬　甚九郎	米1俵借用	切紙	1	
779		証文之事	嘉永2	9		横田村庄屋　孫右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	金子3両借用	切紙	1	
780		私田地貴殿方江売渡証文之事	天保8酉	12		借主　甚平(印)	花瀬村　甚九郎	下々田1反余代銭200目にて売渡、甚九郎宛庄屋太惣の奥書あり	継紙	1	
781		田地売渡証文之事	嘉永2酉	12		横田村借主　次助(印)、請人　惣十(印)	花瀬村　甚助	下田2反3畝代金4両にて売渡、花瀬村甚助宛横田村庄屋勝右衛門・組頭善十ほかの奥書あり	継紙	1	
782		牛玉紙	(近世後期～幕末期)					相田・伊川・伊支須ほか7ヵ村につき紙数書上	切紙	1	
783		〔書付〕	(近世後期～幕末期)					牛玉紙133枚の代金の事	切紙	1	
784		覚	(近世後期～幕末期)					人名・地名書上	切紙	1	
785		借用仕証文之事	弘化3午	4		借主横田　喜右衛門(印)、請人大日寺　久平(印)	花瀬村　甚九郎	米2俵借用	切紙	1	785～787紙縒一括
786		借用仕証文之事	嘉永元申	12		横田村借主　喜右衛門(印)、大日寺村請人　久平(印)、花瀬村　与八(印)	花瀬村　甚九郎	金子2両借用	継紙	1	
787		借用仕証文之事	嘉永2卯	6		借主横田村　喜右衛門(印)	花瀬村　甚九郎	金子1両借用	切紙	1	
788		〔包紙〕						包紙上書「証文入　椿村」	包紙	1	789～803を一括する包紙。借用証文の紙背利用。788～803紙縒一括
789		永代相伝ニ売渡申書物之事	文政12丑	12		売主　与九郎(印)、一族用助(印)、請人　大助(印)	矢野久左衛門	下々田1反2畝代六銭1貫200目にて売渡、椿村組頭孫七・庄屋孫右衛門の奥書あり	継紙	1	
790		借用仕ル証拠之事	弘化4未	6		かり主あり元　文市(印)、請人椿村　猶平(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	金1歩2朱借用	切紙	1	
791		借用仕ル証拠之事	嘉永7寅	6		椿村　猶平(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	金子1両借用	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
792		借用仕証拠之事	嘉永元申	12		かり主原　文市(印)、受人椿村　猶平(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	金子3歩2朱借用	切紙	1	
793		八幡椿宮永代神田売渡申証文之事	天保10亥	12		売主　嘉助(印)、請人小正村庄屋　長五郎(印)、一族　用助(印)	秀村丹後正	下々田3歩代銭500目にて売渡、椿村庄屋孫一郎、同村組頭孫七の奥書あり	継紙	1	
794		借用仕証文之事	嘉永2酉	11		借主椿原　文市(印)、受人同村　文左衛門(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	下々畠1町余書入にて金子3歩2朱借用、椿村組頭猶兵衛の奥書あり	継紙	1	
795		借用仕証拠之事	安政3辰	8		借主椿村　直平(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	金子1両2歩借用	継紙	1	
796		金子借用仕ル証文之事	嘉永2	12		借用主椿原　重平(印)、受人組頭　直平(印)	花瀬邨　武七	金子1両2歩借用	継紙	1	
797		〔書状〕	(幕末期)	8	12	文右衛門	甚九郎	金子13両借用願い	継紙	1	端裏書「阿恵文右衛門」。797～799紙縒一括
798		〔書状〕	(幕末期)	4	5	阿恵　文右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	金5両余返済の事ほか	継紙	1	
799		借用証文之事	弘化4未	8		阿恵村　文右衛門(印)	甚九郎	金子5両借用	切紙	1	
800		借用仕証拠之事	文政10亥	12		借主椿村　両作(印)、請人同村　与九郎(印)	花瀬村　甚九郎	米13俵借用、椿村庄屋孫右衛門の奥書あり	継紙	1	
801		借用仕証拠之事	安政6未	12		借主椿村　用七(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	銭7貫文借用	切紙	1	
802		永代売渡申田地証文之事	嘉永6丑	4		椿村売主　芳五郎(印)、同村受人　兵右衛門(印)、同　与吉(印)	花瀬村　甚九郎	中田2畝28歩代金5両にて売渡、椿村組頭猶平の証文添書あり	継紙	1	
803		借用仕証拠之事	安政6未	3		かり主椿村　茂平(印)、請人同村　直平(花押)	花瀬村庄屋　甚九郎	米1俵借用	切紙	1	
804		石経由諸略記	(近代)					宗像神社の什物彌陀経石の由緒	切紙	1	印刷。804・805紙縒一括
805		仏説阿彌陀経	(近代)					拓本	一纏り	1	切紙5枚
806		〔断簡〕	(近世)					「横田村次助」などあり	切紙	1	
807		花瀬村川土手御普請ニ被召仕候左之杭木其村御山ニ而可相渡仮証拠之事	天保13	正月		普請方　太惣(印)	大日寺村　庄屋・山口中	杭木百140本につき	切紙	1	
808		借用仕米之事	文政9戌	12		借主　孫吉(印)、受人組頭　伝内(印)	甚久郎	米3俵3斗借用	切紙	1	
809		穂波郡大日寺□□庄屋組頭中御請申上ル書物之事	(近世)					村内源左衛門が老駄を西へ引越したる件につき内済の事ほか	継紙	1	閲覧不可
810		貢米石代納御受申上候事	(明治前期)			何村何ノ何某	戸長麻生賀郎	石代納受取書雛形、同村副戸長組頭・百姓惣代・一族惣代の奥書あり	切紙	1	
811		規定	明治6酉	11		飯塚宿　古川三平(印)	花瀬村保長　大和武三郎	上納米304俵余ほか引受の事	切紙	1	811～816同折
812		記	(明治)6	8	30	副戸長　立石三兵衛(印)	保長　大和直三郎	調所納金2円余請取	罫紙	1	
813		受取	(明治前期)	第12	8	若まつ　山本喜七郎(印)	花瀬村　御蔵方	米30俵受取	切紙	1	
814		〔書状〕	(明治前期)	7	14	副戸長　立石讃兵衛(印)	保長　大和武三郎	調所諸入費御用金1円余送付願いほか	継紙	1	
815		〔書状〕	(明治前期)	12	27	立石三兵衛(印)	大和武三郎	五円札受取証送付の事、出米高書上受取	継紙	1	
816		〔覚〕	(明治前期)	1	27	第七大区　調所(印)	花瀬村役人中	籾囲米2俵余大行事へ引渡しの事	継紙	1	
817		〔書状〕	(近世)	2	25	平三郎	庄屋　甚九郎	建花寺村庄屋徳三郎仕立講掛金について	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
818		請取申事	文久3亥	正月		一朝軒　役増(印)	大日寺村・花瀬村・閏野村　御役場	宗門修行取締場宗用銭1貫700文受取	切紙	1	
819		青木孫太夫門松其村山ニ而可相渡証拠之事	慶応2寅	12		上座下座嘉麻穂波　郡方添役(印)	大日寺村庄屋・山ノ口中	門松2本につき	切紙	1	
820		〔書状〕	（近世近代）	9	16	小正　樺嶋八郎	大和御氏	聟甚だ不安心の様子の事ほか	継紙	1	
821		面役払証拠之事	天保13	2		大日寺村庄屋　儀七郎(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	花瀬村甚九郎所にて当村茂右衛門奉公中につき花瀬村での面役申付け願	切紙	1	
822		〔触書〕	安永3午	2	27	十右衛門		幕令順達の件につき	継紙	1	前欠
823	1	証拠之事	文政12	2		同郡庄司村　本誓寺勇誉(印)（花押）	秋山源内、根本源太夫	花瀬村甚九郎一家ほか浄土宗当寺旦那の事	継紙	1	823-1～5同折
823	2	証拠之事	文政12	2		同郡伊岐須村　安東寺恭山(印)（花押）	根本源太夫、秋山源内	花瀬村甚太郎ほか真宗当寺旦那の事	切紙	1	
823	3	証拠之事	文政12	2		同郡伊岐須村　安東寺恭山(印)（花押）	根本源太夫、秋山源内	花瀬村忠右衛門ほか真宗当寺旦那の事	切紙	1	
823	4	証拠之事	文政12	2		同郡伊岐須村　安東寺恭山(印)（花押）	根本源太夫、秋山源内	蓮台寺村甚次ほか真宗当寺旦那の事	切紙	1	
823	5	証拠之事	文政12	2		同郡伊岐須村　安東寺恭山(印)（花押）	根本源太夫、秋山源内	花瀬村善五ほか真宗当寺旦那の事	切紙	1	
824		米借用仕証文之事	文政5	7		相田村借主　文次(印)、伊支須村請人　吉右衛門(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	蔵米4俵代銭144匁借用	切紙	1	
825		穂波郡大日寺村庄屋組頭乍恐口上書を以申上候事	文久元	10		大日寺村組頭　田中伊平(印)、同　甚内(印)、同村庄屋助役　勝右衛門(印)、同村庄屋　甚九郎(印)	嘉麻穂波御郡代御役所	御行事御積立分の当村御米少なきにつき取調べの事	継紙	1	
826		覚	（近世後期～幕末維新期）	3	29	嘉麻穂波　郡代役所(印)		金209両余分につき銀預・銭書上	継紙	1	
827		借用仕証文之事	慶応元丑	12		借主　久助(印)、受人　与一郎(印)	庄屋　大和甚九郎	金3歩借用	切紙	1	
828		花瀬村川土手御普請入用左之品可被相渡仮証拠之事	天保13	2		普請方　太惣(印)	大日寺村　庄屋・山ノ口衆中	藁100抱相渡	継紙	1	
829	1	〔書状〕	壬（天保14ヵ）	9	29	深町元□	花瀬　彦三郎	取替分返済催促の件は出来次第少しにても遣し申す事	切紙	1	829-1・2同切
829	2	〔受取書〕	（天保14ヵ）					「右之通り御受取申上候　外ニ一両」と	切紙	1	前欠
830		穂波郡花瀬村庄屋山ノ口ヨリ御註進申上ル事	弘化4	7		花瀬村庄屋　甚九郎、同村山ノ口　弥右衛門	御山方御役所	蓮台寺村山ノ口七右衛門木桧善蔵、御山御法違反につき註進	長綴	1	
831		穂波郡堀池村庄屋組頭乍恐御願申上ル事	文政3	2		庄屋　彦三郎、組頭　貞蔵	上下嘉穂　御郡代御役所	与蔵従弟平助病気快方につき末進判御仕廻願い	継紙	1	
832		覚	（近世後期～幕末維新期）	5	13	庄屋和六	庄屋　甚九郎	寅2月3日改分残り68貫文借用	継紙	1	
833		覚	未（近世後期～幕末維新期）	正月		永田弥次郎(印)、時枝中(印)	中村大庄屋　清水宅右衛門、大日寺村庄屋　赤間儀七郎、同村　組頭中、同村　百姓中	大日寺村困窮につき新百姓家取繕い費用など六銭28貫850目余相渡	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
834		〔書状〕	（幕末期）	8	4	蒋田庄屋　六右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	浦賀異国船御用御登人馬割切符送付の事	切紙	1	
835		〔書状〕	（近世後期～幕末維新期）	9	10	普請方聞次　仁右衛門	年番庄屋　甚九郎	秋普請ほか見分人の礼物金2歩送付の事	切紙	1	
836		借用仕金子之事	（近世後期～幕末維新期）	3	29	借主　受人　久平		金3両借用、庄屋・組頭の奥書あり	継紙	1	
837		〔書状〕	（近世後期～幕末維新期）	11	20	庄屋　藤右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	講米の掛米の件につき	切紙	1	
838		〔書状〕	（近世）	4	6	孫助	甚九郎	貴村算用の件、中村へ上納不足取立不足引譲りの事ほか	継紙	1	
839		覚	（近世）			森仁	花甚	606匁余相渡ほか	継紙	1	
840		〔人別米銭書上〕	（近世）					与平銭120目・米2俵ほか	継紙	1	840～850同折
841		〔書状〕	（近世）	4	18	養育方　順平	庄屋　甚九郎	金子3両証文の認替分受取の事	継紙	1	
842		〔算用書上〕	（近世）					金14両余につき茂助掛銭ほか差引書	切紙	1	
843		受取	辰（近世）	2	2	森崎屋　儀右衛門	甚九郎	米2俵受取	切紙	1	
844		〔書状〕	（近世）	正月	27	森崎や　儀右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	残り米明日出米願い	継紙	1	
845		〔書状〕	（近世）	4	17	順平	甚九郎	先方へ証文見せ申すため証文差出願いほか	切紙	1	
846		〔書状〕	（近世）	7	12	大炊	甚九郎	御相談申上候金子2歩受納の事	切紙	1	
847		〔畝数書上〕	（近世）					中田4町余ほか1筆書上	切紙	1	
848		〔書状〕	（近世）	10	4	問屋　武助	花瀬庄屋　甚九郎	篠栗行き仕組馬代り人足2人差出願い	切紙	1	
849		覚	（近世）	8	23	瀬戸惣右衛門店	甚九郎	四枚羽釜1個代16匁ほか書上	切紙	1	
850		〔書状〕	（近世）	4	16	大庄屋　彦右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	御救方上納のため貴村永納銀差出の者へ上納仰付け願い	継紙	1	
851		田畑書入借用証	明治9	3	1		豊嶋茂平、平嶋伊八	反別9町余抵当にて金181円借用	折紙	1	
852	1	〔書状〕	（近世）	3	7	大日寺　義七郎	甚九郎	去冬御借戻米8俵御預かり分急御借渡申上の事。	継紙	1	852-2～24を一括する包紙。裏墨書「大日寺御状入　目六入」。852～854は紐一括(紐は852に同
852	2	〔書状〕	（近世）					日田借入根付分の前借の件につき	切紙	1	案文
852	3	〔米俵数書上〕	（近世）					米494俵余の人別割当	長綴	1	
852	4	覚	子（近世）	12	6	若な　弥四郎（印）	花瀬庄屋　甚九郎	麦2俵分元利銭124匁余の内不足分19匁余御渡し願い	切紙	1	
852	5	〔書状〕	（近世）	12	7	大日寺村組頭　勝右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	米貸渡し願い、早朝津出の事	継紙	1	
852	6	〔書状〕	（近世）	12	17	花瀬村　甚九郎	相田村庄屋　曽蔵	給米日割の分御渡し願い	継紙	1	包紙あり
852	7	天保十三年御米通	天保13					平次郎分、計40俵余上納方の事	折紙	1	
852	8	〔薬包紙〕	（近世）			筑前博多中嶋町　日木屋勘右衛門（印）		上書「熊胆功勝円」、効能書きあり	切紙	1	印刷
852	9	覚	（近世）					人馬出勤や雑用夫銭に関する覚書	折紙	1	
852	10	〔納銭算用書上〕	（近世）					上納一切・高割・面掛り計銭136匁余	切紙	1	
852	11	〔人別米俵数書上〕	（近世）					忠七米2斗余ほか	切紙	1	
852	12	〔米俵数書上〕	（近世）					甚助12俵ほか	切紙	1	
852	13	覚	（近世）	7	11	□□　惣四郎	相田村　武七	米8升余代663文相済	折紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
852	14	〔書状〕	（近世）	12	24	花瀬村　甚九郎(印)	蓮台寺・大日寺・明星寺・舎利蔵・津原・小正・閏野右村々同役衆中	山口御初穂の件につき	継紙	1	
852	15	〔人別俵数書上〕	（近世）					又市分1俵余ほか	継紙	1	
852	16	〔薬包紙〕	（近世）					上書「小児薬王　五疳円」、効能書きあ	切紙	1	印刷
852	17	〔書状〕	（近世）	正	11	庄屋　茂右衛門	庄屋　甚九郎	貴村御米御刎米打替につき金2両送付願い	切紙	1	
852	18	〔俵数書上〕	（近世）					上二反田清蔵分3俵余ほか	長綴	1	
852	19	〔人別斗数書上〕	（近世）					茂七ほか3斗6升余につき	折紙	1	
852	20	〔書状〕	（近世）	正	10	庄屋　左四郎	花瀬村　甚九郎	子冬算用不足の儀、当節手本大差支につき算用願い	切紙	1	端裏書「廿五匁四分二厘」
852	21	〔書状〕	（近世）	閏正	2	庄屋　左四郎	花瀬村庄屋　甚九郎	去冬御村算用残の儀、私方大差支・脇宿脇村迷惑につき算用願い	継紙	1	
852	22	〔書状〕	（近世）	4	17	安永九蔵	花瀬村庄屋　甚九郎	御村方より手許へ奉公の与八・才兵衛面役勤方の件につき	継紙	1	
852	23	〔書状〕	（近世）	12	28	次平	甚九郎	米付越の事	切紙	1	
852	24	〔白紙〕	（近世）						切紙	1	
853	1～17	〔包紙〕	（近世）						包紙	1	853-1～17紙縒・包紙一括。包紙に内容を示すとみられる書込あるも、破損のため不明
853	1	覚	（近世）	7	29	薩摩屋　新助	花瀬村　甚助	蝋燭・木綿・油など諸品代書上	継紙	1	
853	2	覚	子(近世)	12		薩摩屋　新助	花瀬村庄屋　甚助	蝋燭・薪・塩・油など諸品代書上	長綴	1	
853	3-1	覚	戌(近世)	12		ちとせや　孫六	花瀬　甚九郎様	ぼら3本ほか151匁余書上	継紙	1	853-3-1、2同折
853	3-2	覚	亥(近世)	正		ちとせや　孫六	花瀬庄や　甚九郎	上鯨2斤ほか代187匁余につき差引書	切紙	1	
853	4	覚	子(近世)	12	28	さつまや　新助	庄屋　甚助	品々目録〆高ほか33貫789文の払方につき差引書上	継紙	1	
853	5	覚	子(近世)	12		森崎屋　喜左衛門	庄屋　甚助	元利計15貫532文書上	切紙	1	裏墨書「子冬　森崎屋さん用書類入」、853-5～9一括か
853	6	覚	子(近世)	12	20	森崎屋　喜左衛門	庄屋　甚助	布1枚ほか代6貫134文受取	切紙	1	
853	7	覚	子(近世)	11	6	森崎屋　喜左衛門	庄屋　甚助	酒代ほか28貫332文請求	継紙	1	
853	8	覚	子(近世)	3	20	森喜	庄屋　甚助	酒代12貫180文につき差引書上	継紙	1	
853	9	請取	子(近世)	3	20	森崎屋　喜左衛門	庄屋　甚助	元利10貫200文の内10貫30文受取	継紙	1	
853	10	覚	子(近世)	12		ちとせや　孫六	花瀬村庄屋　甚九郎	鰤1本代18匁ほか諸品代書上	長綴	1	
853	11	〔覚〕	（近世）	10	22	嶋屋瀧三郎		煙草包丁代200文	切紙	1	阿州三ツ嶋住善の印あり。付紙か
853	12	〔書付〕	（近世）					「飯塚買掛り一切目六入　イキす酒屋分共入」とあり	折紙	1	853-1～3の包紙か。覚（上納差支につき、案文）の紙背
853	13-1	覚	亥(近世)	12		千とせや　孫六	花瀬庄屋　甚九郎	魚・鯨・塩・牛蒡など代銭174匁余書上	継紙	1	853-13-1～3同折
853	13-2	覚	子(近世)	12		ちとせや　孫六	庄や　甚九郎	酉・戌・亥年算用元利請取の事	継紙	1	
853	13-3	覚	（近世）	正	21	ハナセ　甚助	千年屋　孫六	去亥年算用書上	継紙	1	
853	14	覚	（近世）	正	23	司馬屋　藤三郎	庄屋　甚助	刻1袋代188文ほか諸品代書上	長綴	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
853	15	覚	子(近世)	12		いきす屋　卯右衛門	花セ庄屋　甚助	酒代7貫280文ほか引合願い	継紙	1	
853	16	覚	(近世)	12	29	柴屋　藤三郎	花瀬庄屋　甚助	手拭2枚ほか代金1貫265文書上	継紙	1	
853	17-1	〔書状〕	子(近世)	3	6	千年屋　孫六	花瀬村　甚九郎	魚・鯨代など145匁余御渡願い、諸品代書上あり	継紙	1	853-17-1、2同折
853	17-2	覚	(近世)	12	16	ちとせや　孫六	花セ　甚九郎	丸ふ18ほか代1貫77文書上	切紙	1	
854	1～5	〔包紙〕	(嘉永5)					包紙上書「捨子注進下地入」	包紙	1	854-1～5包紙・紙縒一括
854	1	〔書状〕	(嘉永5)	9	12	養育方　長五郎	庄屋　甚助	捨子注進の文面に加筆の事、御役所・宗旨方・御目付へ差出の事	継紙	1	
854	2	穂波郡花瀬村庄屋組頭乍恐御願申上ル事	嘉永5	9		花瀬村庄屋　甚助、同村組頭　弥助、同　用助	上座下座嘉麻穂波　御郡御役所	捨子養育御救米願	継紙	1	端裏書「「村ひかへ」
854	3	仕上ル書物之事	嘉永5	9		穂波郡伊岐須村　安楽寺	野坂利右衛門、吉田専右衛門	花瀬村捨子1人拙寺旦那に加入の事	継紙	1	
854	4	穂波郡花瀬村庄屋組頭奉願上書物之事	嘉永5	9		花瀬村組頭　用助、同　弥助、同村庄屋　甚助	宗旨方　御役所	捨子1人養育につき安楽寺旦那に加入の事、野坂利右衛門ほか宛幸袋村大庄屋孫助の奥書あり	継紙	1	
854	5	穂波郡花瀬村庄屋組頭乍恐御注進申上ル事	嘉永5	9		花瀬村庄屋　甚助、同村組頭　弥助、同　用助	上座下座嘉麻穂波　御郡御役所	捨子する当村甚平養育の事、伊岐須村真宗安楽寺に加入の事	継紙	1	
855	1	〔書状〕	(近世)	12	29	蓮台寺庄屋　良介	庄屋　甚九郎	醤油指上方の事	継紙	1	855-1～29は紙縒で一括
855	2	〔米銭書上〕	文政4			花瀬村組頭　茂七、同村庄屋　甚九郎	上座下座嘉摩穂波　御郡代御役所	米149俵余、銭7貫余捨遣しの事	折紙	1	破損大
855	3	〔包紙〕	(近世)			小正村　与吉	花瀬村庄屋　甚九郎	中身なし	包紙	1	
855	4	〔算用書上〕	(近世)					不足見込515匁につき	切紙	1	前欠
855	5-1	覚	(近世)	3	29	花瀬村	藤本八郎大夫	村中・人別御神納銭高書上	継紙	1	855-5-1～10同折
855	5-2	〔書状〕	(近世)					捨子受人の件につき	継紙	1	
855	5-3	〔書状〕	(近世)	11	20	大庄屋　彦右衛門(印)	庄屋　甚九郎	其村忠右衛門分上納銀の催促	切紙	1	紙背に書状下書あり
855	5-4	〔書状〕	(近世)	12	7	大庄屋　彦右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎殿同村組頭衆中	的野忠助殿より鶏御頼みにつき此者へ鶏1羽御渡し願い	切紙	1	端裏書「鶏触手紙入」
855	5-5	〔書状〕	(近世)	極	5	大日寺村　蔵方	花瀬村　彦三郎	当村伊三郎借用の田代銭3俵受取、残り2俵現米遣し願い	継紙	1	
855	5-6	覚	卯(近世)	12		さつまや　武兵衛	花瀬　彦三郎	取替銭・年々目録高218匁余書上	切紙	1	
855	5-7	覚	(近世)	[　](2カ)	22	嘉助	庄屋甚九郎様	金1分2朱受取	継紙	1	上部破損
855	5-8	〔書状〕	(近世)	3	3	飯塚庄屋　武七	花瀬村庄屋　甚九郎	明日肥後様御通行に際し、宮前よりの船積出は不敬につき今明朝積出し致し、掃除すべき事ほか	切紙	1	
855	5-9	〔追書〕	(近世)					此節御相談の儀御聞通り下されたく、ほか証文差出の事など	切紙	1	
855	5-10	覚	(近世)					石100斤につき川船輸送代など書上	継紙	1	
855	6	何郡何村庄屋組頭御請申上ル書物之事	(近世)			何村庄屋何かし、同　組頭中	御郡代御役所	百姓が家中・町家へ奉公するため村々が荒廃、その対策として通達された条々の書上ほか	継紙	1	
855	7	〔書状〕	(近世)	9	18	彦右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	神事御初尾として美酒・御肴御恵投の御礼	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
855	8	若松雑用取立	（近世）					表紙墨書「九俵壱斗壱升五合取立分」	長帳	1	
855	9	〔人別米銭書上〕	（近世）					人別に丑～辰年の上納不足米銭を書上、計米163俵余、銭1貫358匁余	継紙	1	
855	10	〔人別米銭書上〕	巳（近世）	正				人別に辰年までの未進米銭を書上、計米274俵余、銭4貫30目余	長綴	1	
855	11-1～2	〔包紙〕	（近世）					包紙上書「花瀬村庄屋 甚九郎殿 大庄屋彦右衛門」	包紙	1	855-11-1、2を一括する包紙
855	11-1	〔書状〕	（近世）	正	9	大庄屋　彦右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	其村御田地の内での家作、田地中の新規溝掘替や別家仕立の件について	継紙	1	
855	11-2	〔書状〕	（近世）	正	10	大庄屋彦右衛門	花瀬村庄屋甚九郎殿	郡代の出郡につき不都合なきよう掛合	継紙	1	
855	12	〔下作百姓反数ほか書上〕	（近世）					下作百姓3人の田畑反別、年貢米高、家内人数、牛馬数書上、ほか独身者1人の年齢・名前を書上	折紙	1	
855	13	〔算用書上〕	（近世）					人足代銭など書上	折紙	1	
855	14	〔書状〕	（近世）	極	12	大日寺村　勇吉	はなせ　甚九郎	御借用一件につき返済延引・借戻し願	切紙	1	
855	15	受取	（近世）	11	12	いきす庄屋　彦四郎（花押）	花瀬村庄屋　甚九郎	鶏1羽・金1歩受取	切紙	1	
855	16	覚　出馬村々〆	（近世）					大日寺村3疋ほか村別出馬数書上	切紙（2枚）	1	
855	17	〔包紙〕	（近世）			青柳大炊	甚九郎	中身なし	包紙	1	
855	18	〔書状〕	（近世）	11	6	横田庄屋　太惣	花瀬庄屋　甚九郎	雑用割付の当村分は振替願い	継紙	1	
855	19	〔書状〕	（近世）	11	18	善平	花瀬村庄屋　甚九郎	伯父次平方借米年賦返済について、村方仕組の影響など	継紙	1	
855	20	〔触別銭数書上〕	（近世）					大分・寿命・伊岐須・赤坂・山野の各触ごとに面役人数・「高」・「表」に掛かる銭高を書上	長綴	1	
855	21	〔包紙〕	（近世）			大庄屋　彦右衛門	伊川村庄屋　彦吉	中身なし	包紙	1	
855	22	〔用状〕	巳（近世）	11		甚九郎	長五郎	飯塚払い分36匁受取願い、「〆上り」米、「届上り」銭書上	切紙	1	
855	23	〔書状〕	（近世）	4	16	蓮台寺村　勘助	庄屋　甚九郎	頼母子講の座会通知	切紙	1	
855	24	〔書状〕	（近世）					大日寺村畠方米弁方の事	切紙	1	後欠
855	25	〔書状〕	（近世）					大日寺村畠方米の事	切紙	1	案文
855	26	〔覚書〕	（近世）					明朝5ツ時の御用会に持参すべき物を書上、高野薬、80才90才100才取調、肥前様未納分銀札2匁など	継紙	1	
855	27	覚	（近世）					飯塚庄屋元払銭高書上	切紙	1	
855	28-1～17	〔甚九郎宛書状など一括〕	（近世）								855-28-1～17同折
855	28-1	〔書状〕	（近世）	12	16	閏野村　青柳大炊	花瀬村　甚九郎	口入分1両3歩御貸戻し願い	継紙	1	
855	28-2	〔書状〕	（近世）	12	16	大庄屋彦右衛門	花瀬村庄屋甚九郎殿	明星寺村出勤は取りやめ	切紙	1	
855	28-3	〔書状〕	（近世）	12	16	大庄屋彦右衛門	花瀬村庄屋甚九郎殿	明星寺村畠方取立につき出勤されたく	継紙	1	
855	28-4	〔覚〕	（近世）					大日寺村堤床・蔵番米など書上	折紙	1	
855	28-5	〔書状〕	（近世）	12	13	（伊岐須村）孫次	甚九郎	延米御世話下さる量につき照会	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
855	28-6	〔書状〕	（近世）	12	10	相田　源右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	金子払方延引の事、仕組出銀一件につき飯塚へ出勤の際、山口屋へ金子1歩支払いの事	継紙	1	
855	28-7	〔蓮台寺村諸割付銭書上〕	（近世）				（蓮台寺村）	臨時割332匁余につき差引書上	継紙	1	
855	28-8	〔書状〕	（近世）	12	12	大庄屋　彦右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	高野薬代・痘寧丸代銭80銭御渡し願い	切紙	1	
855	28-9	〔書状〕	（近世）	12	12	庄屋　源平	庄屋　甚九郎	米13俵御世話願い	切紙	1	
855	28-10	〔書状〕	（近世）	12	10	いきす　儀兵衛	花瀬村庄屋　甚九郎	先日櫨代3両指上げにつき櫨実御出し願い	切紙	1	
855	28-11	〔書状〕	（近世）	12	5	大庄屋　彦右衛門	庄屋　甚九郎	花瀬村種子物代支払い願い	切紙	1	
855	28-12	〔書状〕	（近世）					大日寺村へ売米御世話願い	切紙	1	案文カ
855	28-13	〔書状〕	（近世）	12	6	又五郎	庄屋　甚九郎	当村分の取立貸渡し願い、3月頼母子講金にて返済の事	継紙	1	
855	28-14	覚	天保4	12		組頭取　儀介	庄屋　甚九郎	伝内殿御年貢米4俵代銭借用	継紙	1	写カ
855	28-15	〔書状〕	（近世）	12	18			講銭御渡し願い	切紙	1	前欠
855	28-16	〔包紙〕	（近世）			大庄屋　彦右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	中身なし	包紙	1	
855	28-17	〔覚〕	（近世）					追割・上納楮代銭の事、借用金返済延引の事ほか	折紙	1	前後欠
855	29	〔札〕	（近世）					蝗退散・五穀成就祈願	切紙	1	刷り物
856	1～8	〔包紙〕	（天保10頃）					包紙上書「光代借用証入」	包紙	1	856-1～8包紙・紙帯一括
856	1	光代金大庄屋元ヨリ借用金村割方	天保10亥	6	25				長帳	1	
856	2	光代口借入金	亥（天保10）	12	20	大庄屋　弥四郎（印）	花瀬庄屋　甚九郎、右村々庄屋衆中	伊川村ほか村々借入金高書上、配当の上証文差出の事	継紙	1	
856	3	覚	（天保10頃）	正	11	庄屋　長五郎	花瀬庄屋　甚九郎	米代銭ほか813文送付願い	継紙	1	
856	4	〔書状〕	（天保10頃）	11	19	大庄屋　弥四郎	庄屋　太惣、同　甚九郎	光代借入金・畠方手当金は明日花瀬村へ持参の事	継紙	1	
856	5	覚	（天保10頃）					相田村分の金5両2歩差引書上	切紙	1	
856	6	証拠	亥（天保10）	12	21	大庄屋　弥四郎（印）	花瀬庄屋　甚九郎	蓮台寺村米20俵受取につき光代借入金同村へ御渡願い	切紙	1	
856	7	金子借用仕証文之事	天保10	6		潤野村庄屋　儀兵衛（印）、伊川村庄屋　茂右衛門（印）、横田村庄屋　太惣（印）、花瀬村庄屋　甚九郎（印）、蓮台寺村庄屋　仁右衛門（印）、建花寺村庄屋　太一郎（印）、片嶋村庄屋　半兵衛（印）、八木山村庄屋　又五郎（印）、大日寺村庄屋　儀七郎（印）、相田村庄屋　源右衛門（印）	金取次　丸屋九助、広田屋和四郎	潤野村3両ほか金43両借用、子2月返済の事	継紙	1	
856	8	覚	亥（天保10）	12	20	横田村庄屋　太惣	建花寺村庄屋　太一郎	惣三郎かり1両ほか差引書上、残金1匁余を光代雑用に立用の事	切紙	1	
857	1	〔米銭算用書上〕	（幕末維新期頃）					久四郎分の米代銭につき	長綴	1	綴じ紐外れ。857-1～13紙縒一括

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
857	2	嘉永四亥年大福帳	嘉永4					表紙のみ	長帳表紙	1	
857	3	戌秋米銭請払帳	戌(幕末維新期頃)			大和甚九郎		表紙のみ	長帳表紙	1	
857	4-1～3	〔包紙〕	(明治6)					包紙上書「花瀬村方　明治六年面役請払証拠入　人員受払も入」	包紙	1	857-4-1～3を一括する包紙
857	4-1	人員入籍請証書之事	明治6	3		穂波郡楽市村　副戸長　古野源三郎(印)	花瀬村副戸長　福沢十平	花瀬村大和茂七長女はや儀、楽市村橋爪藤五郎と縁組の事	切紙	1	包紙あり。包紙上書「入籍証書　花瀬村行　楽市村ヨリ」
857	4-2	記	癸酉(明治6)	2		潤野村副戸長　児島金光(印)	花瀬村副戸長　福沢十平	花瀬村義一郎儀、潤野村和田徳次郎所へ一季奉公につき当村にて面役申付の事	罫紙	1	
857	4-3	記	明治6	4		横田村副戸長　浦上皆渡(印)	花瀬村副戸長　福沢十平	横田村源七儀、花瀬村へ奉公につき其村にて面役申付の事	罫紙	1	
857	5	諸税納間通	明治6癸酉	5		花瀬村保長　大和武三郎(印)	第七大区御調所	櫨実税、洲口税、鶏卵税書上	小横帳	1	
857	6	〔受取書〕	(幕末維新期頃)					札3貫余受取	切紙	1	出雲大社権祢宜ほか書上の紙背使用
857	7	覚	酉(明治6)	12		原宅七	花瀬副戸長　立石三兵衛	辰巳両年借用元利、未～酉年利息銭書上	切紙	1	
857	8	〔米俵数書上〕	(幕末維新期頃)			本誓寺	□吉	過米ほか21俵余につき差引書上	切紙	1	
857	9-1～2	〔包紙〕	(明治7)					包紙上書「戌明治七年　請証拠入」	包紙	1	857-9-1、2を一括する包紙
857	9-1	記	明治7	3		第十二区之内横田村保長　柴田伊三郎(印)	第十小区之内花瀬村保長　大和武三郎	花瀬村大和すみ儀、横田村参村卯七所へ養子縁組の事	罫紙	1	
857	9-2	記	明治7	3		第十二小区横田村保長　柴田伊三郎(印)	第十小区之内花瀬村保長　大和武三郎	横田村源七儀、花瀬村にて日雇稼につき其村にて面役申付の事	罫紙	1	
857	10	大福長帳	明治6			花瀬村　大和信太郎		手習い書付	長帳	1	
857	11	〔米銭書上〕	(近世近代)					酉年調所御用不足・諸上納銭高など書上	切紙	1	
857	12	〔達〕	(明治前期)					僕婢召置の者その人数名前など申告すべき事	継紙	1	
857	13	記	(明治前期)					石代など諸上納金人別割付、貫文換	継紙	1	
858	1～19	〔包紙〕	(嘉永2・3ヵ)					包紙上書「酉年諸受取戌九月迄分共入」、嘉永2、3年か	包紙	1	858-1～19包紙・紙縒一括。包紙は養育方長五郎宛甚九郎書状(先月分払方の事)を使用
858	1	〔書状〕	(嘉永2・3ヵ)	極	19	大日寺村庄屋　儀七郎	花瀬村庄屋　甚九郎	借用米利息引き下げ願いほか	継紙	1	
858	2	預り手形	嘉永3戌	正		花瀬村　甚九郎(印)、安恒村受人　儀平(印)	松本次助	金子25両預り、利方年1割6歩	切紙	1	
858	3	受取	(嘉永2・3ヵ)	10	24	閏の村　喜次郎	花瀬村　甚九郎	金子10両受取	切紙	1	
858	4	請取	(嘉永2・3ヵ)	4	20	司馬屋　藤三郎(印・「筑前飯塚・司・柴藤」)	花瀬　庄屋甚助	「東城」代銭680文受取	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
858	5	請取	（嘉永2・3ヵ）	7	14	飯塚　庄屋元（印）	花瀬村　甚九郎	小麦藁10把受取	切紙	1	
858	6	請取	（嘉永2・3ヵ）	5	27	庄屋　通太（印）	庄屋　甚九郎	先役頭御法事香典払替分金2朱受取	切紙	1	
858	7	覚	（嘉永2・3ヵ）	12	20	潤野村　蔵方	花瀬村庄屋　甚九郎	畠方不足米大庄屋取切符分3俵余渡方の事	切紙	1	
858	8-1～7	〔紙帯〕	（嘉永2ヵ）					紙帯上書「飯塚諸々受取入　酉十二月」	紙帯	1	858-8-1～7を一括する紙帯
858	8-1	覚	（嘉永2ヵ）	12	29	さつまや　新助	庄屋　甚九郎	銭4貫935文受取	切紙	1	
858	8-2	覚	酉（嘉永2ヵ）	12	晦	千とせ屋孫六（印・「筑前飯塚・「ヤマ・千」・孫」）	花瀬　甚九郎	米2俵・金1歩2朱・切手500文受取	切紙	1	
858	8-3	請取	酉（嘉永2ヵ）	12	30	さつまや　新助（印）	花瀬村庄屋　甚九郎	米1俵受取	継紙	1	
858	8-4	受取	酉（嘉永2ヵ）	12	30	醤油や　弥市	甚九郎	品々代銭200文受取	継紙	1	
858	8-5	請取	（嘉永2ヵ）	12	30	糀屋儀一	花瀬　甚九郎	不足分銭150文受取	切紙	1	
858	8-6	請取	酉（嘉永2ヵ）	12	30	さつまや　新助（印）	庄屋　甚九郎	米1俵受取	切紙	1	
858	8-7	覚	酉（嘉永2ヵ）	12	晦	藤本大夫代　佐伯四朗	花せ村庄屋　甚九郎	米1斗余御初穂として神納の事	切紙	1	
858	9	受取	（嘉永2ヵ）	5	朔	庄屋　長五郎（印）	庄屋　甚九郎	御普請御礼割当銭420文受取	切紙	1	
858	10	受取	酉（嘉永2ヵ）	12	27	幸袋村　兵三郎（印）	花瀬村　御蔵方	御郡切立米のうち2俵余受取	切紙	1	
858	11	請取	戌（嘉永3ヵ）	7	18	大庄屋　宅右衛門（印）	庄屋　甚九郎	小売米代のうち金3両・銭1貫800文受	切紙	1	
858	12	覚	戌（嘉永3ヵ）	7	27	森崎屋　義右衛門	甚九郎、甚助	米21俵代銭64貫520文相済	継紙	1	
858	13	〔書状〕	（嘉永2・3ヵ）	4	4	伊川庄屋　茂右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	潤野村宮講に福岡茂助殿加入につき私半口分金1両御渡し願い	継紙	1	
858	14	〔書状〕	（嘉永2・3ヵ）	9	15	彦四郎	花瀬村庄屋　甚九郎	養育方長五郎より役頭出方出銅金の儀、貴家分為替差引の事	継紙	1	
858	15	請取	（嘉永2・3ヵ）	9	朔	さつまや　新助	花瀬村庄屋　甚助	餅米2俵受取	切紙	1	
858	16	受取	（嘉永2・3ヵ）	10	9	大庄屋元（印）	花瀬村	当月運上・若松浪除杭葉代受取、転家拝借願書など飯塚より未着の事	切紙	1	
858	17	〔書状〕	（嘉永2・3ヵ）	4	6	庄屋　茂右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	潤野村宮講去冬分私半口受取につき福岡より加入の分金1両御渡し願い	継紙	1	
858	18	請取	酉（嘉永2）	12	29	山鹿屋　徳市（印・「筑前飯塚・「マル・と」・山鹿屋」）	花瀬村　甚九郎	酒代4貫262文受取	継紙	1	
858	19-1	〔納銭割方切符〕	（嘉永2・3ヵ）			大庄屋元（印）	花瀬村	櫨実代18貫820文11月10日切にて上納の事	切紙	1	858-19-1～3紙縒一括
858	19-2	〔銀銭割方切符〕	（嘉永2・3ヵ）			大庄屋元（印）	花瀬村	三品銀・山札・薮坪など諸銀銭11月10日限り上納の事	折紙	1	
858	19-3	覚	（嘉永2・3ヵ）	11	8	幸袋　役場（印）	庄屋　甚九郎	甘木余米上納など銭1貫640文上納の事	継紙	1	
859	1	覚	（嘉永6・安政1ヵ）	2		利助	甚九郎	鍵・鍬刃・釘など金物代5貫680文書上	継紙	1	859-1～23紙縒一括
859	2	〔算用書上〕	（嘉永6・安政1ヵ）					千年屋口分銭300目余につき	切紙	1	前欠か
859	3	覚	丑（嘉永6）	12		森崎屋　喜左衛門	花瀬庄屋　甚助	酒代1貫428文書上	切紙	1	
859	4	覚	（嘉永6・安政1ヵ）	5	14	ちとせや　孫六	花瀬村庄屋　甚九郎	品々買物代142匁4分受取	切紙	1	
859	5	覚	丑（嘉永6）	12		糀屋　儀市	花瀬村　甚九郎	卯年分銭203文書上	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
859	6	覚	（嘉永6・安政1ヵ）	4	25	柴屋　藤右衛門	花せ村庄屋　甚九郎	切手2歩・銀預3歩ほか受取	継紙	1	
859	7	覚	（嘉永6・安政1ヵ）					銭41貫466文につき払込分・五寸釘代など差引書上	切紙	1	後欠、859-2と接続か
859	8	請取	丑（嘉永6）	12	23	林田平右衛門	花瀬村　甚九郎	品物受取	継紙	1	
859	9	覚	（嘉永6・安政1ヵ）	極	29	善次郎	甚九郎様	紺かせ・水豆袋など布・袋物代銭2貫785文書上	折紙	1	
859	10	覚	（嘉永6・安政1ヵ）	12		ちとせや　孫六	花せ村　庄や	砂糖・鯨・油など諸品代496文書上	継紙	1	
859	11	覚	寅（安政1）	正	16	ちとせや　孫六	花瀬村庄屋　甚九郎	丑冬算用〆高34匁余受取ほか	切紙	1	
859	12	覚	丑（嘉永6）	12		司馬屋　藤三郎	花瀬村　庄屋甚九郎	綿・油・手拭・キセルなど諸品代書上	長綴	1	
859	13	覚	（嘉永6・安政		29	千年屋　孫六	花瀬村　甚九郎	鯨5斤ほか代銭1貫900文書上	切紙	1	
859	14	覚	丑（嘉永6）	12	29	醤油屋善右衛門（印・「飯塚宿・金銀不用・「マル・小」・背醤善」）	花瀬　甚九郎	生酒4升代700文につき差引書上	切紙	1	
859	15	覚	丑（嘉永6）	12		さつまや　新作	花瀬村　甚助	広方7枚ほか代銭256文書上	切紙	1	
859	16	返免入用御かよい	嘉永6癸丑	9		司馬屋　藤三郎	花瀬村庄屋　甚九郎	諸品代書上	小横帳	1	
859	17	返上口御通	嘉永6丑	9		ちとせや　孫六	花瀬村庄屋　甚九郎	鮪3斤ほか代340目余ほか書上	小横帳	1	
859	18	酒通	嘉永6丑	正	11	伊岐須酒屋　卯右衛門	花瀬庄屋　甚助	酒銘柄・量書上	小横帳	1	
859	19	覚	丑（嘉永6）	12		千年屋　孫六	花瀬村庄屋甚九郎様	肴など海産物諸品代書上	継紙	1	
859	20	覚	丑（嘉永6）	12		山鹿屋　徳市	花瀬村　甚九郎	酒代書上	切紙	1	
859	21	覚	（嘉永6・安政1ヵ）	12	23	瓦や　弥四郎	花瀬村　甚九郎	瓦代614文書上	切紙	1	
859	22	〔書状〕	（嘉永6・安政1ヵ）	12	23	大庄屋　孫三郎	花瀬村　武七	急に小中折10枚入用なれど大日寺村有合せなきにつき貴殿方より調達願い	切紙	1	
859	23	穂波郡花瀬村庄屋組頭ヨリ払捨御願申上ル事	嘉永7	正		花瀬村組頭　用作（印）、同　善次郎（印）、同村庄屋　甚九郎（印）	上座下座嘉麻穂波　御郡御役所	村方出奔の者除籍願い、山田正左衛門宛幸袋村大庄屋孫三郎奥書あり	継紙	1	
860	1～53	〔包紙〕	（文政末頃）					包紙上書「寅春ヨリ森崎屋　大庄屋元受取　其外受取り」	包紙	1	860-1～53包紙・紙縒一括
860	1	〔書状〕	（文政末頃）	11	17			宮下より米御渡仰付の件、今明日5、60駄仰付下されたく	継紙	1	端裏書「森崎店受取入」。包紙として使用か
860	2	覚	寅（天保1カ）	11		大庄屋　彦右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	御用達銀拝借当年返済分など正銀201匁余・銀札155匁余御払下げ願い	切紙	1	
860	3	覚	丑（文政12カ）	12		牛町　善次	花瀬　御役所	春・秋分25俵代銀書上	切紙	1	
860	4	〔書状〕	（文政末頃）	9	2	伴左衛門	甚九郎様	酒代について	切紙	1	
860	5	〔書状〕	（文政末頃）	3	13			金子5両才覚の事	切紙	1	
860	6	請取	（文政末頃）	9	6	舟庄屋　吉三郎（印）	花瀬村庄屋　甚九郎	運賃1升3合請取	切紙	1	
860	7	覚	（文政末頃）	3	30	中（カ）屋　善平	花瀬村　甚九郎	2歩金、2朱金など渡方の事	切紙	1	
860	8	受取	丑（文政12ヵ）	12	20	森崎や　儀右衛門（印）	花瀬庄や　甚九郎	米6俵受取	切紙	1	
860	9	受取	丑（文政12ヵ）	12	21	森崎屋　儀右衛門（印・「筑前飯塚・□・森崎屋」）	花瀬庄屋　甚九郎	和平殿分米1俵受取	切紙	1	
860	10	受取	丑（文政12ヵ）	12	27	森崎や　儀右衛門（印・「筑前飯塚・□・森崎屋」）	花瀬庄や　甚九郎	米5俵受取	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
860	11	覚	（文政末頃）	3	朔	小正　与吉	花瀬庄屋　甚九郎	2歩金1つ・2朱1つ受取願い	切紙	1	
860	12	〔書状〕	（文政末頃）	2	9	大庄屋　彦右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	御用達銀札は3ヶ年御返済の事	継紙	1	
860	13	覚	（文政末頃）	正	14	帯屋　助右衛門	花瀬村　甚九郎	うち綿3貫目代銀75匁につき差引書上	切紙	1	
860	14	覚	子（文政11ヵ）	4	4	森崎や　儀右衛門	庄や　甚九郎	金1両相渡	継紙	1	
860	15	〔書状〕	（文政末頃）	3	9	大庄屋彦右衛門	花瀬村庄屋甚九郎殿	焚石売下の儀、花瀬村は4文下げの旨山元へも通達すべし	切紙	1	
860	16	覚	（文政末頃）	3	6	武七、茂右衛門	甚九郎	153匁余相渡	切紙	1	
860	17	覚	（文政末頃）					和助講銭76匁余につき差引書上	切紙	1	
860	18	受取	（文政末頃）	3	2	諸用　平助（印）	花瀬村庄屋　甚九郎	金1朱余受取、銀札では上納できざるため、正金銀なき場合は銭札でも引替御払い願い	切紙	1	
860	19	請取	（文政末頃）	3	23	平助（印）	庄屋甚九郎様	銀札35匁ほか請取	切紙	1	
860	20	〔書状〕	（文政末頃）	3	2	蓮台寺ヨリ　勘助	花瀬庄屋　甚九郎	此辺にては銀札払方不自由のため福岡市中にて遣い申すにつき銀札だけ御貸渡願い	継紙	1	
860	21	受取	文政11子	3	2	いき須　五平（印）	花瀬村庄屋　甚九郎	面役10人分六銭200目受取	切紙	1	
860	22	受取	丑（文政12ヵ）	12	18	森崎や　儀右衛門（印・「筑前飯塚・□・森崎屋」）	花瀬庄や　甚九郎	米5俵受取	切紙	1	
860	23	覚	（文政末頃）	3	朔	彦右衛門	甚九郎	拝借米代銀不足分元利230目余書上	切紙	1	
860	24	覚	（文政末頃）	2	4	彦右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	御役所より3ヶ年戻り分銀札265匁余御受取の事	切紙	1	
860	25	請取	寅（天保1ヵ）	9	6	舟庄屋　彦三郎（印）	花瀬村庄屋　甚九郎	米1俵請取	切紙	1	
860	26	受取	子（文政11ヵ）	正	11	森崎屋　儀右衛門（印）	花瀬庄屋　甚九郎	米5俵受取	切紙	1	
860	27	受取	丑（文政12ヵ）	12	17	森崎屋　儀右衛門（印・「筑前飯塚・□・森崎屋」）	花瀬庄屋　甚九郎	米5俵受取	継紙	1	
860	28	覚	丑（文政12ヵ）	12		粕屋　酒場	花瀬村庄屋　甚九郎	酒代ほか6貫754文につき算用書上	継紙	1	
860	29	〔書状〕	（文政末頃）	7	21	森崎屋　儀右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	酒代受取、米代支払延引の事	継紙	1	
860	30	〔書状〕	丑（文政12ヵ）	12	23	森崎屋　儀右衛門（印・「筑前飯塚・□・森崎屋」）	花瀬庄屋　甚九郎	差引年月間違いの件につき今後は5月切にして4月中払込の事、金・米の受取	継紙	1	
860	31	〔書状〕	丑（文政12ヵ）	12	22	森崎屋　儀右衛門（印・「筑前飯塚・□・森崎屋」）	花瀬庄屋　甚九郎	米代取極の事、横田より米出方の事	継紙	1	
860	32	受取	丑（文政12ヵ）	12	14	森崎屋　儀右衛門（印・「筑前飯塚・□・森崎屋」）	花瀬庄屋　甚九郎	米8俵受取	継紙	1	
860	33	受取	丑（文政12ヵ）	12	23	森崎屋　儀右衛門（印・「筑前飯塚・□・森崎屋」）	花瀬庄屋　甚九郎	米5俵受取	切紙	1	
860	34	受取	丑（文政12ヵ）	12	23	森崎屋　儀右衛門（印・「筑前飯塚・□・森崎屋」）	花瀬庄や　甚九郎	米5俵受取	継紙	1	
860	35	覚	子（文政11ヵ）	7	13	さつまや　武兵衛	花瀬　甚九郎	砂糖ほか代銭2匁余書上	切紙	1	
860	36	〔書状〕	（文政末頃）	2	26	諸用　平助	庄屋　甚九郎	御用達銀は正金銀にて上納の事	継紙	1	
860	37	請取	（文政末頃）	3	7	諸用　平助（印）	花瀬村庄屋　甚九郎	金2朱4片・銭切手5匁受取、人馬目録の事、御役頭様御帰りの事	継紙	1	
860	38	受取	文政11	11	23	大庄屋元（印）	花瀬村庄屋　甚九郎	御用銀のうち274匁受取	切紙	1	
860	39	覚	（文政末頃）	4	14	諸用　平助	甚九郎	諸運上銀など御渡し願い	切紙	1	
860	40	〔書状〕	（文政末頃）	極	22	閏野村　青柳大炊	花瀬村　甚九郎	蔵米6俵差上方の事、飯塚へ付出の事など	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
860	41	〔書状〕	（文政末頃）	8	5	儀右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	米代不足猶予願い	切紙	1	
860	42	覚	丑（文政12ヵ）	12		坂ノ下　伊作	花せ村庄屋　甚九郎	酒代880文御渡し願い	切紙	1	
860	43	受取	丑（文政12ヵ）	11	30	大庄屋元（印）	花瀬村庄屋　甚九郎	金1朱ほか受取	切紙	1	
860	44	覚	（文政末頃）	7	13	茂平	花瀬村庄屋　甚九郎	切手11匁余受取	切紙	1	
860	45	覚	丑（文政12ヵ）	10	27	大庄屋　彦右衛門（印）	花瀬村庄屋　甚九郎	米40俵代銀残高、御用達銀当冬上納分など11月6日切払方の事	継紙	1	
860	46	〔書状〕	（文政末頃）					餅入用なき事ほか	切紙	1	
860	47	覚	丑（文政12ヵ）	11		大庄屋　彦右衛門（印）	花瀬村庄屋　甚九郎	銀314匁余不足、当月29日まで払方の	切紙	1	
860	48	受取	（文政末頃）	7	13	帯屋　助右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	切手19匁余受取	切紙	1	
860	49	受取	（文政末頃）	4	11	諸用　平助	花瀬村庄屋　甚九郎	切手31匁余受取	切紙	1	
860	50	〔書状〕	（文政末頃）	5	6	儀右衛門	花瀬　甚九郎	金2歩渡方の事、上酒差上の事	継紙	1	
860	51	〔書状〕	（文政末頃）	2	16	いき須　五平	花瀬村庄屋　甚九郎様	上納銀・御用達銀目戻の件につき	継紙	1	
860	52	〔納銭割方切符〕	（文政末頃）				花瀬村	軸帳前銀銭・大社初尾・棚倉夫銭・櫨実47斤半代など書上、7月切上納の事	切紙	1	
860	53	〔書状〕	（文政末頃）	6	4	儀右衛門	花瀬　甚九郎	貸替金の儀当月中は返済できざる事、今日金1両のみ渡方の事	切紙	1	
861	1	〔書状〕	（近世）	11	28	庄屋　太惣	庄屋　甚九郎	中村出勤、日田客金談取組書出来の事	継紙	1	861-1～5紙縒一括。下部虫損
861	2	〔書状〕	（近世）	[　]	27	蓮台寺村庄屋　仁右衛門、いき須村庄屋　彦四	花瀬村庄屋　甚九郎	日田銀主と幸袋にて金談の事	切紙	1	上部虫損
861	3	〔書状〕	（近世）	11	28	相田庄屋　曽蔵	普請方　太惣	日田御客と中村にて面談の事、花瀬甚九郎出張の件につき蓮台寺同役と申合せの事ほか	継紙	1	下部虫損
861	4	〔書状〕	（近世）	12	朔	諸用聞　百輔	庄屋　甚九郎	月払・御救米小割帳とも受取の事、幸袋又右衛門殿より塩代通知の事、津屋崎塩8俵代960文など塩代書上あり	継紙	1	
861	5	覚	（近世）					花瀬村庄屋甚九郎・飯塚屋分の御仕組津屋崎塩など俵数書上	切紙	1	
862	1～12	〔包紙〕	（近世）					包紙上書「大庄屋元卯辰之目六受取入　安長寺一件入　日田目六受取入」	包紙	1	862-1～12包紙・紙縒一括。包紙は石灯籠成就寄進関係の書状（勘十郎ほか15人宛）の紙背を使用
862	1	覚	戌（近世）	2		森崎屋　儀右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	酒・醤油ほか代167匁余書上	継紙	1	
862	2	亥春分ひかへ	（近世）					片満講金受払書上	切紙	1	
862	3	〔覚書〕	（近世）					立花平左衛門の事、林重郎右衛門の事ほか大坂屋敷に関する内容	切紙	1	
862	4	覚	（近世）					米11俵内訳書上、御拝借米幸袋払、久蔵・彦三郎払	切紙	1	
862	5	覚	（近世）	6	25	椿　嘉助	大和甚九郎	河内嶋1疋代・ごばん一切代・さし笠御注文分など代金3両余書上	継紙	1	
862	6	覚	（近世）					両役頭賄代の書上か、津原払、茶・酒肴代などあり	折紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
862	7	〔書状〕	（近世）	2	朔	通太	庄屋　甚九郎	十助差引一件につき御役頭衆御評決の事	継紙	1	
862	8	〔算用書上〕	（近世）					惣次郎渡し金5両ほか安長寺口の諸金高書上、柳川家来渡しなど柳川に関わる項目あり	長綴	1	
862	9	ひかへ	（近世）					安長寺質受用3両、柳川家中渡し3両ほか書上	継紙	1	
862	10	覚	卯（近世）	10		花瀬　甚九郎	横田村　長次郎	安長寺関係ほか諸金高書上	長綴	1	
862	11	〔人馬数書上〕	（近世）	5		大庄屋元（印）		花瀬村臨時分・薩摩様分の人足・馬出役数書上	切紙	1	上部虫損
862	12	〔書付〕	（近世）					むろ下水取分瓶井樋1ヶ所、山下井手水取1ヶ所ほか尺寸書上	切紙	1	
863	1	丑冬取立前	（近世）					太平分元利67匁余ほか人別代銀書上	長綴	1	863-1～17紙縒一括。米銭書上1点合綴（長綴、給米22俵余ほか書上）
863	2	〔書状〕	（近世）	5	10	相田　源右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	曽蔵宅にて銘々借用書付貸渡しの件につき話合いの事、控を送付の事	切紙	1	
863	3	〔書状〕	（近世）			相田庄屋　曽蔵	花せ庄屋　甚九郎	村方普請方の件につき	継紙	1	
863	4	覚	辰（近世）	正	21	角屋　又蔵	花瀬庄屋　甚九郎	畠方4俵余代164匁余ほか差引書上	切紙	1	
863	5	覚	（近世）	12	26	宅右衛門、又蔵	花瀬庄屋　甚九郎	米4俵ほかにつき算用書上	継紙	1	端裏書「中村目六入」
863	6	覚	（近世）	12	26	角屋　又蔵	花瀬村庄屋　甚九郎	寅年畠方米4俵余ほか算用書上	継紙	1	
863	7	〔書状〕	辰（近世）	12	26	中村　太次郎	花瀬庄屋　甚九郎	油代銀支払願い、畠田目録前430文受取	継紙	1	
863	8	〔書状〕	（近世）	正	16	青田村　忠四郎、玄内	花瀬庄屋　甚九郎	相談のため19日訪問致す事ほか	継紙	1	
863	9	覚	（近世）					粮米取替子算用残米10俵余ほか書上	長綴	1	
863	10	〔書付〕	（近世）					取立払方村中願い通りほか村政につき	長綴	1	
863	11	覚	（近世）	7	2	相田　貞平	花瀬　甚九郎	彦三郎様取替分銭15貫300文ほか引合願い	切紙	1	
863	12	〔書状〕	（近世）			曽蔵	花瀬庄屋　甚九郎	当村奉公人新作の去年未進分につき貞平方にて取調べ願いほか	継紙	1	
863	13	〔書状〕	（近世）	3	23	相田村　伝七	花瀬村庄屋　甚九郎	茂七殿田地正平跡に付置きの件につき照会	切紙	1	上部虫損
863	14	覚	（近世）	12	23	相田　貞平	花せ庄屋　甚九郎	米2斗余ほか書送り帳に書出しの事	切紙	1	
863	15	〔米銭書上〕	（近世）					米1斗余・銭1貫96文書上、丑年給米算用関係	切紙	1	
863	16	〔書状〕	（近世）	正	28	相田　玄内	花瀬村庄屋　甚九郎	其節御話の儀は大庄屋元において花瀬同役などと相談の事ほか	切紙	1	
863	17	〔書状〕	（近世）	正	16	玄内	甚九郎	藤六方一族内に病人出来につき19日訪問延引の事ほか	切紙	1	
864	1	〔追割銭高書上〕						面役割銭7貫200文ほか銭・銀口持出・山方上納松葉代・櫨実上納など銭書上	切紙	1	864-1～42紙縒一括。端裏書「追割分目六」

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
864	2	〔書状〕		12	28	懸〆役　久蔵内	大庄屋　太次郎	相田・建花寺村に対し、私方へ御郡切立給米付出を厳しく仰付け願い	切紙	1	
864	3	〔書状〕		4	10	大庄屋　太次郎	花瀬村庄屋　甚九郎	相田村諸算用約方に立会願い	切紙	1	
864	4	御通一件申定	亥	12	7			公儀役人や大名など通行の際、継道人馬の供出や夫銭に関する定	継紙	1	
864	5	〔書状〕		11	7	大分庄屋　大谷貞右衛門	庄屋　甚九郎	着米一件につき早々元利とも差引願い	継紙	1	
864	6	〔書状〕		正	29	万屋　左四郎	花瀬村庄屋　甚九郎	去冬分花瀬村算用願い	継紙	1	覚1通同折（12貫150文書上）
864	7-1	〔書状〕		2	19	相田大宮司	庄屋　甚九郎	金1歩借用願い	継紙	1	864-1～8同折
864	7-2	〔書状〕	子	正	18	組頭　忠四郎、兵内、藤六	庄屋　甚九郎	百姓中調子につき打寄り今日まで引取らざるにつきその対応の件	切紙	1	
864	7-3	〔薬効能書上〕				博多新川端町下　石川周		経験脾労丸につき	切紙	1	印刷
864	7-4	〔包紙〕				諸用聞　百輔	花瀬村　庄屋甚九郎	包紙のみ	包紙	1	
864	7-5	〔人別俵数書上〕						乙助2俵ほか	切紙	1	
864	7-6	〔算用書上〕						宮の分ほか銭2貫800目につき	折紙	1	前欠
864	7-7	口上		8	9	太一郎	甚九郎	御相談があるので勝右衛門殿宅へ御出下さるよう依頼	切紙	1	
864	7-8	〔覚〕						蓮台寺・建花寺・相田村分俵数書上	切紙	1	
864	8	〔書状〕		5	22	潤の　庄蔵	花瀬　甚九郎	安平・仁介・儀兵衛名付目録の事	切紙	1	虫損大
864	9	〔書状〕		閏5	5	大庄屋　太次郎	庄屋　甚九郎、組頭中	飯塚橋夫銭の大分・西尾村目録より支払分につき訂正	継紙	1	
864	10-1	〔書状〕		2	20	組頭　久助	庄屋　甚九郎	大庄屋元へ送金分のうち1歩不足の件	切紙	1	864-10-1、2同折
864	10-2	〔書状〕		2	19	組頭　久助	庄屋　甚九郎	牛王紙御仕送り依頼の事、新作方払証拠差上の事	継紙	1	
864	11-1	〔書状〕		2	22	わかな　弥四郎	花瀬庄屋　甚九郎	相田村郡切立米・花瀬村触雑用御切付分、払出依頼	継紙	1	864-11-1、2紙縒一括
864	11-2	〔書付〕						仕組銭去年分・同役出米の事	折紙	1	
864	12	〔書状〕		閏正	21	飯塚　宮下組頭　又五郎	花瀬　庄屋　甚九郎	当宿宮下平助離縁の妻捨子一件	継紙	1	
864	13	〔書状〕		5	9	潤野村組頭　庄作	花瀬村庄屋　甚九郎	安平馬苦労に借金出来、行方不明につき、尊公様御田地安平受作分は七平が世話する事	継紙	1	
864	14	〔書状〕		3	21	大庄屋　太次郎（印）	庄司・相田・伊川・建花寺・蓮台寺・八木山・大日寺・潤野・花瀬・伊支須右村々庄屋衆中	有安村光厳寺作牛盗難一件につき	継紙	1	
864	15	光代平山・借入覚	子	10	19	大庄屋　弥四郎	庄屋衆中	伊川・潤野・横内・花瀬・蓮台寺・建花寺・片嶋・八木山・大日寺・相田・庄司村借入金高書上	継紙	1	
864	16	〔書状〕		11	10	庄屋　六右衛門	庄屋　甚九郎	山口より借入の米借戻につき同人と談合、添状を下されたく依頼	切紙	1	
864	17	穂波郡花瀬村田方御見分帳	文化13	9					長帳	1	
864	18	〔書状〕		9	5	廻村出勤中	相田村庄屋甚九郎	見分帳2冊持参の上伊川村へ出張するよう依頼	切紙	1	
864	19-1	覚						茂蔵分帳面約写、米取立不足・御郡切立など米俵数書上	切紙	1	864-19-1～4紙縒一括

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
864	19-2	〔米金書上綴〕						御役所拝借金・御捨り拝借金・春拝借粮米・△印代馬捨り米書上と未進米書上の綴	綴	1	継紙2枚紙縒綴
864	19-3	覚						御役所拝借金・御捨拝借金・春拝借粮米・△印代馬捨り米書上	継紙	1	
864	19-4	〔算用書上〕						米66俵代残り金・米40俵粮米口金計36両余の内訳書上	継紙	1	
864	20-1	〔書付〕						1月26日～2月9日、城戸畑～青柳を経て帰城までの道程書上	継紙	1	864-20-1～13同折。前欠
864	20-2	〔書状〕		11	10	深町春山	大和彦三郎	御尋向きの件について	継紙	1	前欠
864	20-3	〔書状〕						洪水被害について、伊川堤、大日寺御割付田地丸ノ井手など	切紙	1	案文
864	20-4	〔包紙〕				庄屋　儀兵衛	花瀬村庄屋　甚九郎	裏面墨書「御年玉　い川　源右衛門」	包紙	1	包紙のみ
864	20-5	〔書付〕		12	24			「薪四〆　建花寺　与吉」とあり、裏面には借用米の調達に関する記載（書状の一部か）あり	切紙	1	
864	20-6	穂波郡花瀬相田両村九月分引払差出之事	天保11	9	29	花瀬相田両村庄屋　甚九郎、花瀬村組頭　弥助、相田村組頭　久助	郡々諸猟御見ヶ〆方中	両村での鉄砲猟・鳥猟について報告	継紙	1	
864	20-7	覚						肥前様夫銭・四月運上など銭高書上	切紙	1	後欠
864	20-8	〔書状〕						御役頭様との御掛合について	切紙	1	前後欠
864	20-9	〔包紙〕				建花寺村　作平内		「御年玉」とあり、中身なし	包紙	1	
864	20-10	〔覚〕						大酒の事、刻限の事	切紙	1	
864	20-11	〔覚〕						「光代借り」「面役銭」などとあり	切紙	1	
864	20-12	〔書状〕						山口返済米につき相談	切紙	1	案文
864	20-13	〔包紙〕						上書「石山一件　与吉一件　粉屋一件書付入」、中身なし	包紙	1	
864	21	〔書状〕		10	20	津原村儀七郎、土師　用作、舎利くら　与市郎	甚九郎	大日寺村源平一件につき源平田畑家屋敷家財一切を御請持仰付け願い	継紙	1	
864	22	〔書状〕		2	4	庄屋	甚九郎	兼ねて御話の一件につき安平方との交渉など依頼	継紙	1	
864	23	〔書状〕		9	5	相田　組頭中	庄屋　甚九郎	当村田方見分本日御仕廻につき直ちに御出願い	切紙	1	
864	24	覚	酉	12		糀屋孫吉	花瀬村庄屋　甚九郎	鰯5本ほか代銭191匁余書上	継紙	1	
864	25	〔算用書上〕						村山入田仕切取残り分銭3貫800目ほか書上	継紙	1	
864	26	〔書状〕		8	27	閏ノ　青柳式部	花瀬村　甚九郎	塩肴1尾進上の事	切紙	1	前欠
864	27	〔包紙〕				普請方　太惣	花瀬村庄屋　甚九郎	中身なし	包紙	1	
864	28	受取		正	23	大庄屋役場		当月分月払2通・新穀詰替籾囲6通受取の事、組頭退身願書の事	切紙	1	
864	29	〔書状〕		3	18	十蔵	甚九郎	藁類皆無の土地につき、藁上納は1駄のみ仰付け願い	継紙	1	
864	30	〔書状〕		7	3	相田村　源右衛門	庄屋　甚九郎	米2斗下付願いの事、御仕組米借入の事、畝詰書上の事	継紙	1	
864	31	〔書状〕		4	5	高田　武次郎	花瀬　甚九郎	当村茂四郎方奉公中の新平の件につ	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
864	32	覚						花瀬山石代貴殿目録前銭38貫467文書上	切紙	1	
864	33	〔書状〕		3	28	西川新明	はなせ村　甚九郎	破鉄砲調達の件	切紙	1	
864	34	〔書状〕		正	26	大庭喜助(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	私内職の切艾代銭の事など	継紙	1	
864	35	覚		4	16	醤油屋　弥市	庄屋　甚九郎	本葉煙草代ほか差引書上	切紙	1	
864	36-1	〔人別田畝数書上〕						甚右衛門1畝ほか田数2町余分書上	折紙	1	864-36-1～5同折。もと長帳の一部か、綴じ穴あり
864	36-2	粮米牛代取替分						太平牛代取替金2歩ほか人別金・米高書上	折紙	1	
864	36-3	〔書状〕		正	25	貞平	庄屋　甚九郎	御役頭様御出の上御救米村雑用取調の事	継紙	1	
864	36-4	〔包紙〕				松末村采真舎		「建中丸」とあり、薬の包紙か、中身無し	包紙	1	
864	36-5	〔米俵数書上〕						御下免米150俵より人別割渡・主無田地割渡など差引書上	折紙	1	
864	37	〔紙帯〕							紙帯	1	864-37-1～4紙帯一括
864	37-1	〔書状〕		3	23	諸用聞　百輔	庄屋　甚九郎	糀屋一件につき御役頭様御廻村中にて一向に引合できざる事	継紙	1	
864	37-2	〔書状〕		3	30	諸用聞　百輔	庄屋　甚九郎	糀屋一件決着のため飯塚へ明早朝出頭願い	切紙	1	
864	37-3	〔書状〕		3	20	諸用聞　百輔	庄屋　甚九郎	糀屋一件は25日迄日延の事	継紙	1	前欠
864	37-4	〔書状〕		3	29	諸用聞　百輔	庄屋　甚九郎	幸袋源助との申合につき利銭免除のうえ元銭のみ請取の事ほか	継紙	1	前欠
864	38-1	〔書状〕		8	23		良平	去冬割方の件につき	継紙	1	下部欠損
864	38-2	〔書状〕						山口屋より申上げの件	切紙	1	後欠
864	39-1	御用諸手控帳				甚九郎		村政関係、村方役人の書上や諸上納・雑用米銭書上など	長帳	1	864-39-1～6紙綴一括
864	39-2	〔村徳米ほか書上〕						村田畠畝数・石高、徳米大豆高など書上	折紙	1	
864	39-3	〔銭高書上〕						上相田・下相田分銭高書上、11月12日受取	切紙	1	
864	39-4	覚		11	16	組頭　久助	庄屋　甚九郎	三粒代銭150文受取	切紙	1	
864	39-5	覚		11	12	組頭　久助	庄屋　甚九郎	上相田分金2両1朱、丁銭7匁書上	切紙	1	
864	39-6	〔書状案文〕		3		相田村庄屋　甚九郎	麻生三右衛門様御取次	当村紙漉は止めたるにつき、御入用の白方は買求のうえ納入の事	継紙	1	端裏書「地頭行控」
864	40	穂波郡花瀬・潤野・八木山・蓮台寺・建花寺・伊川・相田・庄司・吉北・菰田・伊支須拾壱ヶ村庄屋中連名を以御伺申上ル事						田方不熟につき春御免返上の儀大庄屋へ願出の事、不足米借入にて補填の儀評議の事ほか	継紙	1	案文
864	41	〔書状〕		正	17	太一郎	甚九郎	足痛にて御宅へ不参の事、脇村御役衆村方へ出勤の儀は延引の旨願出の	継紙	1	
864	42	〔書状〕		正	14	弥山畑村庄屋　羊助	建花寺村聞次　花瀬村庄屋　甚九郎	当村新三男子貴村左八方へ養子の事	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
865	1	〔書状〕	寅	(12)	大晦日	菰田庄屋　六右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	来卯年間道割方切符銭7貫316文御渡し願い	継紙	1	865-1～15紙縒一括。865-1の裏面に「子冬買継目六入」とあり、865全体の包紙として使用か
865	2	覚	卯	12		森崎屋　喜左衛門	花瀬庄屋　甚九郎	酒1升ほか代銭300文書上	切紙	1	
865	3	覚	寅	11	29	いきす酒屋　五八郎	花瀬　甚九郎	酒代9貫450文書上	継紙	1	
865	4	覚	卯	12		柴屋　藤三郎	庄屋　甚助	諸品代書上	長綴	1	
865	5	覚		2	2	ちとせや　孫六	花せ庄や　甚九郎	生鯛ほか2貫749文ほか書上	継紙	1	
865	6	覚	卯	12		飯塚　平吾	花せ　庄屋	あさき切・上こんほか代銭1貫334文書	切紙	1	
865	7	覚	う	12		千年屋　孫六	花瀬村庄屋　甚九郎	上くじら1斤半ほか代銭181匁余書上	継紙	1	
865	8	〔書状〕		6	3	中嶋宅七(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	大日寺村洪水破損所取繕材木挽立の諸費用大庄屋より借入、花瀬村より代銭渡方の事	継紙	1	
865	9	〔書状〕		12	24	庄屋　長五郎(印)	庄屋　甚九郎	触用金銭11貫419文此者へ御渡し願い	継紙	1	
865	10	覚		2	3	千孫	ハナセ村　庄屋	諸品代書上	切紙	1	
865	11	覚		正	20	ちとせや　孫六	庄や　甚九郎	鯛1枚250文ほか代銭書上	継紙	1	
865	12	覚		11	14	ちとせや　孫六	花せ庄や　甚九郎	大海老5匁ほか代銭書上	継紙	1	
865	13	覚	子	12		森崎屋　喜左衛門	花瀬庄屋　甚九郎	酒代1貫248文書上	切紙	1	
865	14	覚						買物代・借入元利差引など算用書上	切紙	1	
865	15	覚	子	12		ちとせや　孫六	花瀬村庄屋　甚九郎	小鯛2枚ほか代銭書上	長綴	1	
866	1	借用仕銭之事	寛政11	2	12	花瀬村庄屋　甚助(墨で抹消)	大日寺村　儀七郎	□(破損)拾文銭300目借用、利2割	包紙	1	866-1～19紙縒一括。866-1は866-2～19を一括する包紙。裏面に「古証文入」とあり。上部破損
866	2	借用仕銭之事	文化13子	閏8		花瀬村借主　七右衛門(印)、請人　喜六(印)、同和助(印)	同村庄屋　喜三郎	六銭101匁5分借用、利2割	切紙	1	
866	3	薮替申書物之事	享和3	2	27	花瀬村　甚七(花押)	甚助	60文銭200目にて竹藪・田地受取の事	切紙	1	
866	4	借用仕銭之事	文化8	11		利右衛門(印)、善五郎(印)、七右衛門(印)、茂七(印)、善右衛門(印)、清九郎(印)、和助(印)、彦七(印)、受人花瀬村組頭　七右衛門(印)、同　善右衛門(印)、百姓　茂七(印)	同村庄屋　彦三郎	上納のため六銭465匁借入、利2割、来秋収納米より返済	継紙	1	
866	5	借用仕銭之事	文化4	5		借主弁分村　宅市(印)	花瀬村　甚助	銭100目借用	継紙	1	
866	6	預り覚		2	26	糀屋　孫吉(印)	大日寺村　吉蔵分	米1俵預り	切紙	1	
866	7	〔書状〕		極	29	大炊	彦三郎	押印の上、証文差上の事	切紙	1	
866	8	申極ル書物之事	文政2	12		潤野村かり主　彦七(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	元米3俵余4ヶ年にて返済の事	切紙	1	
866	9	閏濃村四分壱書入ニ借用仕上証文之事	文政3辰	2		借主　吉蔵、受人　源助	甚九郎	米2俵借入、当秋3割掛元利とも返済の事	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
866	10	借用仕銭之事	文化13子	4	5	花瀬村屋敷主　伊右衛門、受人　和助	庄屋　彦三郎	銭60目借入、利2割、屋敷書入の事	切紙	1	
866	11	借用仕銭之事	寛政11	3		餝屋　忠作(印)、世話人　喜六(印)	当村　甚助	田地売切にて60文銭200目借入の事	切紙	1	
866	12	借用仕米之事	文化14	正		花瀬村借主　利右衛門(印)、受人　才兵衛(印)	同村庄屋　彦三郎	蔵米6俵余借入、利3割	切紙	1	
866	13	借用仕米之事	文化8	4		花瀬村　半三(印)、請人　彦七(印)、世話人　喜六(印)	同村庄屋　彦三郎	蔵米6俵余借入、利3割、屋敷書入の事	切紙	1	
866	14	卯ノ暮御上納味進拾辿借用仕ル証拠之事	文政2	11		借り主　源助(印)、証人大日寺　吉蔵(印)	木村　喜六、和助、茂七	蔵米4俵借入の上、若松へ上納、利3割	継紙	1	
866	15	借用仕米之事	文化12	2		借主閏野村　大炊(花押)	花瀬村　彦三郎	蔵米1俵借用の上、上納の事、利3割	切紙	1	
866	16	借用仕米之事	文政元	12		受人　茂七(印)、借主　利右衛門(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	米3俵余借用、利3割	切紙	1	
866	17	借用証拠之事	文政2	12		借主閏野村　彦作(印)、請人　大炊(印)	花瀬村庄屋　甚九郎	米3俵余借用	切紙	1	
866	18	借用仕米之事	文政5	12		借主閏野村　彦作、請人　同村　甚次	伊岐須村　久三郎	米10俵借用	継紙	1	
866	19	借用仕米之事	文化14	正		花瀬村借主　七右衛門(印)、請人　茂七(印)	同村庄屋　彦三郎	蔵米7俵借用、利3割	継紙	1	
867	1～5	〔袋〕						袋上書「田畠分ヶ方帳入」	袋	1	867-1～5を一括する袋
867	1	〔覚書〕						信心第一、牛馬大切など百姓の心得を記す	折紙	1	もと長帳か、綴穴あり
867	2	〔田畠書上〕						田畠の字、等級、畝数、石高書上、冒頭に「定」とあり	長綴	1	
867	3	〔田畠書上〕						田畠の字、等級、畝数、石高書上、冒頭に「田地分ケ方」「丑」とあり	長綴	1	
867	4	〔田畠書上〕						田畠の字、等級、畝数、石高書上、冒頭に「勇」とあり	長綴	1	
867	5	〔田畠書上〕						田畠の字、等級、畝数、石高書上、冒頭に「武七」とあり	長綴	1	
868	1	覚	亥	12	21	万屋　左四郎(印・「筑前若松・万屋」)	花瀬村　御役場	蔵敷・運賃など米廻漕・保管経費算用書上	継紙	1	868-1～22紙縒・紐一括
868	2	〔算用書上〕						御囲籾・通付・若松下しほか米俵数書上	切紙	1	
868	3	〔人足数書上〕		8	23	大庄屋元(印)		長崎奉行下向など人足・馬数書上、花瀬村分	切紙	1	
868	4	〔書状〕						花代につき大庄屋より廻文の事	継紙	1	案文
868	5	〔書状〕		12	28	庄屋　二右衛門	庄屋　甚九郎	建花寺差引の儀につき談合の事、御聞次中給米の事	継紙	1	
868	6	〔米俵数書上〕						儀助分米1俵余書上	切紙	1	
868	7	借用仕証文之事	天保15	7		大日寺村庄屋　義七郎、同村組頭　勝右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	金子借用の事、金高記載なし、利1割半	切紙	1	上部破損欠

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
868	8	〔書状〕		12	26	庄屋　伴作、同　孫助、同　喜七郎	庄屋　芳平、同　兵右衛門ほか8名	普請方太右衛門殿方歳暮を村別弐朱1片とせし事	継紙	1	
868	9	〔書状〕						取調べの件につき書上通告の事	切紙	1	
868	10	〔算用書上〕						千人割高283石ほかにつき	切紙	1	
868	11	〔米斗数書上〕						弥右衛門分俵尻米1斗余ほか書上	切紙	1	
868	12	〔書状〕		11	14	大庄屋　清水宅右衛門	庄屋　甚九郎	上納銀不足銭3貫21文ほか支払い願い	継紙	1	
868	13	〔書状〕		1	27	大日寺村庄屋　儀七郎	花瀬村庄屋　甚九郎	金子借用のため牛引当証文差出しの	継紙	1	
868	14	〔書状〕		極月	27	大日寺村庄屋　儀七郎	花瀬村庄屋　甚九郎	利方1割用捨願い、当村御郡方切立払いのため米11俵借用願いほか	継紙	1	
868	15	〔書状〕		12	23	甚九郎	又次	当夏御口入分不足貸渡し願いほか	切紙	1	
868	16	〔受取書〕		8	17	久□屋　惣左衛門	上	品代1貫350文受取	切紙	1	前欠
868	17	〔算用書上〕						はし996斤余代銭42貫530文につき	切紙	1	
868	18	覚		正		甚九郎	助左衛門	子年目録前110貫602文につき引合願い	継紙	1	端裏書「片嶋はし目六」
868	19	〔書状〕						十助方差引一件につき	継紙	1	裏墨書「一殿様　穂波郡」
868	20-1	〔書状〕		10	23	大日寺村　勝右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	当村相談年賦口の件につき孫助殿ほかと談合の事	継紙	1	868-20-1～15紙縒一括
868	20-2	〔書状〕		10	17	組頭　勝右衛門	庄屋　甚九郎	米30俵5ヶ年賦貸付の件につき	継紙	1	
868	20-3	〔書状〕		12	1	吉助	庄屋　甚九郎	触年番受負の節、銭42匁余未納の件につき	継紙	1	
868	20-4	〔書状〕		11	15	大日寺村にて　儀七郎	花瀬村庄屋　甚九郎	村上納米年賦にて支払いの事	継紙	1	
868	20-5	〔書状〕		10	4	庄屋　儀七郎	庄屋　甚九郎	村方借財につき貴方借用分御救い願	継紙	1	
868	20-6	口舌		10	5	勝右衛門	甚九郎	去冬借用米2俵返済の事ほか	切紙	1	
868	20-7	〔書状〕		12	8	大庄屋　宅右衛門	庄屋　甚九郎	御奉行様ほか御用につき出勤願い	継紙	1	
868	20-8	証拠一札之事	辰	12	7	川津・柳橋両村庄屋　孫助(印)、吉北村庄屋　百助(印)	花瀬庄屋　甚九郎	大日寺村取替米銭の年賦残り分捨切りに致す事	継紙	1	
868	20-9	〔書状〕		12	7	庄屋　二右衛門	庄屋　甚九郎	伝蔵方馬少しむつけ模様の件、別紙年賦証文差上げにつき古証文など返却願い	継紙	1	
868	20-10	〔書状〕		12	8	帯屋　助右衛門	花せ庄屋　甚九郎	櫨実直段は牡実の方も悪敷きにつき並27文程度の事	切紙	1	
868	20-11	〔書状〕		11	18	庄屋　孫助	庄や　甚九郎	大日寺村上納米につき指引間違いの取調べの件	切紙	1	
868	20-12	〔書状〕		11	4	同　孫介	庄屋　甚九郎	大日寺村指引相違の件	切紙	1	
868	20-13	覚	卯	11	20	帯屋　助右衛門	花瀬村　甚九郎	櫨16俵ほかにつき斤数・代金書上	切紙	1	
868	20-14	〔書状〕		11	8	孫助、百助	甚九郎	大日寺村借財一件について	継紙	1	
868	20-15	〔書状〕		12	8	庄屋　孫助、同　百助	庄屋　甚九郎	大日寺村指引一件の間違い筋捨切りの件について	継紙	1	
868	21-1	〔書状〕		12	28	青柳式部	甚九郎	歳暮祝儀の御礼ほか	切紙	1	868-21-1～8紙縒一括
868	21-2	〔書状〕		10	29	勝右衛門	甚九郎	借用元金2歩余送付の事、利方返済延期願い	切紙	1	
868	21-3	手形	子	3	28	相田　源右衛門(印)	庄屋　甚九郎	米2俵代金2歩余にて支払いの事	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
868	21-4	〔受取書〕				乙丸　又次	花瀬村　甚九郎	金3両余受取	継紙	1	
868	21-5	覚		4	19	組頭　久助	庄屋　甚九郎	金3朱受取	切紙	1	
868	21-6	〔書状〕		3	24	源右衛門	庄屋　甚九郎	別紙預り手形差上げにつき米2俵貸渡し願い	切紙	1	
868	21-7	〔書状〕						御永蔵御奉行様囲米のため借米願いほか	継紙	1	
868	21-8	〔書状〕		3	8	庄屋　彦吉	庄屋　甚九郎	触講米の件は船頭弥右衛門方へ掛合願いほか	切紙	1	
868	22-1	〔書状〕		8	10	いきす　彦四郎	甚九郎	御免用大鋸大工への賃銭支払いの件	継紙	1	868-22-1～13紙縒一括
868	22-2	〔書状〕		12	29	大庄屋　彦右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	歳暮祝儀の御礼	切紙	1	
868	22-3	〔書状〕		2	16	大庄屋　彦右衛門	庄屋　甚九郎	先納銀不足44匁余支払い願い	継紙	1	
868	22-4	受取	酉	2	12	イキス　茂右衛門(印)	庄屋　甚九郎	正銭5匁ほか受取	切紙	1	
868	22-5	待雑用取替覚		11	9	横田庄屋　太惣	花瀬　甚九郎	林八太夫様御祝儀惣代2泊りほか書上	継紙	1	
868	22-6	覚				惣次郎	甚九郎	未ノ米未進辻47俵余ほか算用書上	継紙	1	
868	22-7	〔書状〕		11	8	諸用聞　半兵衛	花瀬庄屋　甚九郎	御村分上納切符送付の事	継紙	1	
868	22-8	覚						先納金雑用取替分書上	継紙	1	
868	22-9	受取		10	6	伊岐須庄屋　彦四郎(花	花瀬村庄屋　甚九郎	畠方上納分ほか1両余につき	切紙	1	
868	22-10	覚		11	13	伊川庄屋　彦吉	花瀬村庄屋　甚九郎	御議定出方大庄屋元払い分玉子10個ほか書上	切紙	1	
868	22-11	覚						御笠講ほか代銭369匁余につき差引書上	切紙	1	
868	22-12	〔書状〕		3	3	彦四郎	甚九郎	先月分月払い・人馬目録紙墨料受取ほか	切紙	1	
868	22-13	〔書状〕		霜月	17	いきす　卯右衛門	花瀬　御蔵方	昨日年貢2俵蔵入れの事ほか	継紙	1	
869	1	覚		2		源太夫	甚九郎	大工人数、杉代金などの書上	包紙	1	869-1～16紙縒一括。869-1は869-2～16を一括する包
869	2	覚	いノ	12		薩摩屋　武兵衛	花瀬庄屋　甚九郎	卯年品々代銭3匁余書上	切紙	1	
869	3	宗旨御改後入人証拠之事	文政10	3		枝国村庄屋　孫次郎(印)	花瀬庄屋　甚九郎	花瀬村より男1人、枝国村はん聟となるにつき帳面指除の旨	切紙	1	
869	4	覚		11	16	万屋　左四郎(印・「筑前若松・万屋」)	花瀬村御役場	蔵敷・運賃など米廻漕・保管経費算用書上	継紙	1	
869	5	〔書状〕		6	24	大庄屋　彦右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	徳割帳名元違いにつき修正願い	切紙	1	
869	6-1	覚		3	26	瓦や　弥平	花瀬　甚九郎	欠略360枚代銭48匁につき差引書上	切紙	1	869-6-1～5同折
869	6-2	覚	戌	11		牛町　善次	花瀬御役所	春・秋分30俵代3匁書上	切紙	1	
869	6-3	覚	亥	11		いきす酒屋　久三郎	花瀬村　甚九郎	勘助殿・忠右衛門殿代金1貫368文書	継紙	1	
869	6-4	覚		6	21	からしや　孫吉	花瀬村　甚九郎	石見ふく900目代23匁余、蝋燭1斤代3匁余書上	切紙	1	869-6-4・5紙縒一括
869	6-5	〔書状〕		4	25	相田　源右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	5、60目借用願い	継紙	1	
869	7	〔書状〕		2	27	八木山村　石河助右衛門	花瀬村正保　甚九郎	昨日講懸銭仰付けの分送付の事	切紙	1	
869	8	〔書状〕		2	26	大日寺村庄屋　平次郎	庄屋　甚九郎	半介請払の件につき照会	継紙	1	
869	9	覚		12		糀屋　八助	花瀬庄や　甚九郎	8月～12月分斗数書上	切紙	1	
869	10	覚		3	5	紙屋　仁平		絞り上2尺余ほか代銭1貫216文書上	切紙	1	端裏書「切手入」
869	11	覚	亥	12		糀屋 酒場	花瀬村庄屋　甚九郎	酒代3貫80文書上	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
869	12	〔覚〕		2	10	甚九郎	右村々御同役衆中	代銭正銭にて支払い願い、大日寺・八木山・蓮台寺・建花寺・伊川・いぎす・よこた・明星寺・花瀬の村別代銭の書上	継紙	1	
869	13	〔書状〕						前文部分のみ(「一筆申上候、昨日之御用会」)	切紙	1	後欠
869	14	〔書状〕		5	6	内野問屋　善右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	長崎奉行通行につき人を遣わし調べ、同人帰り次第返答の事	継紙	1	
869	15	覚		2		源太夫	甚九郎	借用米・蔵米など米高・銀高の書上	継紙	1	
869	16	〔代銭書上〕		12		利介	甚九郎	くわ先・馬のくつわ・釘ほか代銭6貫465文書上	折紙	1	
870	1	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ル事	天保11	12		花瀬村庄屋　甚九郎	上座下座嘉麻穂波　御郡御役所	蔵役所納方妨げの件につき飯塚宿糀屋孫吉へ再度裁許願い	継紙	1	案文。870-1～15紙縒一括
870	2	花瀬村庄屋甚九郎口上書ヲ以御願申上ル事	天保9	11		花瀬村庄屋　甚九郎	大庄屋　弥四郎	焚石兼銭未払いにつき別紙目録の通り急ぎ算用願い	継紙	1	案文
870	3	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ル口上之覚				(花瀬村庄屋　甚九郎)		閏野村抱内焚石山の利権をめぐる争論の裁許願い	継紙	1	案文
870	4-1～7	〔包紙〕						包紙上書「糀屋一件」・「丑五月十九日百助受取入」・「糀屋用目六入」	包紙	1	870-4-1～7包紙・紙縒一括
870	4-1	年賦証文之事	文政9	12		花瀬村庄屋　甚九郎(印)	糀屋　孫吉	巳春作仕向借入分米21俵5ヶ年賦にて上納の事	継紙	1	
870	4-2	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ル事	天保11	12		花瀬村庄屋　甚九郎	上座下座嘉麻穂波御郡御役所	飯塚宿糀屋孫吉の蔵役所納方妨げにつき裁許願い	継紙	1	端裏書「ひかへ」。870-1と関連
870	4-3	〔書状〕	(近世後期～幕末維新期)	12	24	大庄屋　太次郎(花押)	相田村庄屋　甚九郎	相田村積切未納の件は言語同断につき御役所へ申上げる事、糀屋一件の願書奥書の件ほか	継紙	1	
870	4-4	〔書状〕		12	17	大庄屋　太次郎	花瀬村庄屋　甚九郎	糀屋孫吉一件は同人難渋につき来る26日まで待ち申す事、相田村納方不埒の件ほか	継紙	1	
870	4-5	〔書状〕		12	25夕	川津庄屋　孫助	相田村庄屋　甚九郎	若松表へ余米代金差送りにつき金子調達の件、若松の人員など取り計らいの件ほか	切紙	1	端裏に貼紙あり。端裏書「取込御免　川津ヨリ大早」
870	4-6	〔書状〕		12	24夕	庄屋　孫助	相田村庄屋　甚九郎	積切一件は明日金子持参にて若松へ組頭出張せざれば相済ざる事	継紙	1	870－4－5と関連か
870	4-7-1	糀屋差引受取入〔留〕助分	(丑)	5	19	諸用聞　百輔	庄屋　甚九郎	拝借米小割帳・糀屋行金子不足分2歩受取ほか	継紙	1	端裏書「糀屋差引受取入　百助分」。870-4-7-1、2同折。未開封
870	4-7-2	受取	丑	5	19	諸用聞　百輔(印)	花瀬庄屋　甚九郎	金子2歩受取、飯塚糀屋善右衛門方指引相済	切紙	1	
870	5-1	〔覚〕						「日田借り入村々踊銀主前」、公儀目付在出人高、賃銭払など覚書	切紙	1	870－5－2の断簡か。870-5-1～5-4同折
870	5-2	〔覚〕						村順の書上	継紙	1	870－5－1の断簡か
870	5-3	覚						取替・物代・余米・日割給米など米高、銀高の書上	折紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
870	5-4	書状(案)						日田より村方入用として20両借入につき、証文写の書取を願う、給米日割の	折紙	1	
870	6	覚	午	12		中村　太次郎	花瀬庄屋甚九郎	借用銀書上、うち残銀47匁5分8厘受取の旨	継紙	1	
870	7	借用仕證拠之事	文政10亥	12		借主椿村与九郎(印)	花瀬村甚九郎	田数12歩を抵当とし、来子年から9ヶ年、1ヶ年米1俵3歩宛返納す。	継紙	1	同村庄屋孫右衛門(印)奥書あり
870	8	花瀬村庄屋組頭口上書ヲ以御願申上ル事	天保9	11		花瀬村庄屋甚九郎(印)、同村組頭弥助(印)	大庄屋弥四郎	文政4年飯塚宿糀屋孫吉から借入の米21俵返済をめぐる争論の裁許を求める	継紙	1	糀屋一件と関連
870	9-1	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ル口上之覚	天保14	11		花瀬村庄屋甚九郎	上座下座嘉麻穂波御郡代御役所	村内借渡米の算用をめぐり、庄屋役退役の願い	継紙	1	870－9－1は9－2を内包
870	9-2	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ル口上之事				〔花瀬村庄屋甚九郎〕		〔閏〕野村抱焚石山の石売買をめぐる争論の裁許を求める	継紙	1	端裏書に「〔閏〕野一件願下地」とあり
870	10	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ル口上之覚	天保7	4		花瀬村庄屋甚九郎	上座下座嘉麻穂波御郡御役所	潤野村抱焚石山の石売買の借入金をめぐり難渋につき別紙目録の通り片付を求める	継紙	1	
870	11-1	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願も申上ル口上之覚	(天保7)			〔花瀬村庄屋甚九郎〕		潤野村抱焚石山の石売買の借入金をめぐり難渋につき別紙目録の通り片付を求める	継紙	1	870－10の案文か。870－11-1は11-2を内包
870	11-2	~~穂波郡~~花瀬村庄屋甚九郎口上書ヲ以御願申上ル事	天保9	11		〔花瀬村庄屋甚九郎〕	大庄屋弥四郎	飯塚宿糀屋孫吉との借入金返済をめぐる争論の裁許を求める	継紙	1	案文か
870	12	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ル事	嘉永4	8		花瀬村庄屋甚九郎	上座下座嘉麻穂波御郡御役所	混納のため二男別家、金子25両拝借の願い	継紙	1	同年同月、小田三左衛門宛幸袋村大庄屋孫助奥書あり
870	13-1	〔覚〕						貸付銀高の書上か	切紙	1	断簡か。870－13－1～12紙縒一括
870	13-2	〔書状〕		12	20	庄屋百〔藏〕	庄屋甚九郎	兼ねて頼みの願書について、今日中に認め差出の旨	継紙	1	端裏書に「大早御用有之」、「略封御免〔〕」とあり
870	13-3	〔書状〕		11	朔	庄屋喜七郎	花瀬村庄屋甚九郎	待雑用切付について、小払口分受持の手元分は去年算用分から立用のこと	切紙	1	端裏書に「急御用」、「〆御免」とあり
870	13-4	〔書状〕		正	6	庄屋二右衛門	庄屋甚九郎	年始挨拶、旧冬の一件は難しいがよく申し上げておいたので、本日の御用会は儀七同道にて出席のこと	継紙	1	
870	13-5	〔書状〕		12	20	大庄屋宅右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	先日提出の願書は印形して2通指出の旨、また昨日提出の願書は引合の上で奥書する旨	継紙	1	
870	13-6	〔書状〕		12	23	大庄屋宅右衛門(印)	庄屋甚九郎	先日提出の庄屋退役願書の文面再考の旨、明朝まで指出がない場合は本文の通り指出。	継紙	1	
870	13-7	受取		2	3	角屋新助(印)	花瀬村庄屋甚九郎	米7升3合受取	切紙	1	
870	13-8	〔書状〕		12	2	庄屋百輔	庄屋甚九郎	甚九郎庄屋退役願提出を案ずる旨、餅米の件、養育方の件	継紙	1	
870	13-9	〔書状〕		12	8	庄屋百輔	庄屋甚九郎	甚九郎庄屋退役願提出を案ずる旨、弥右衛門牛一件、金1両2歩出納の件	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
870	13-10	〔書状〕		12	21	大庄屋宅右衛門	庄屋甚九郎	甚九郎庄屋退役願書未提出、代筆でもよいから至急差出の旨	継紙	1	
870	13-11	〔書状〕		12	3	大庄屋宅右衛門	庄屋甚九郎	甚九郎庄屋退役願書を承知、後日役所で詮議、後悔ないよう覚悟のこと。小田様へ内意伺いは勝手次第の旨	継紙	1	
870	13-12	〔書状〕		12	8	庄屋百輔	庄屋甚九郎	弥右衛門牛一件、甚九郎庄屋退役願書至急提出の旨	継紙	1	端裏書に「大早御用」、「御答奉得候上」とあり。継目1箇所剥離
870	14-1～24	〔包紙〕						包紙上書「森崎屋用交」。反古紙（書状裏紙）使用	包紙	1	870-14-1～24包紙・紙縒一括
870	14-1	覚	巳	7		森崎儀右衛門	花瀬庄屋甚九郎	貸付米57俵、差引残606匁8分3厘払分書上	切紙	1	
870	14-2	明星寺払目書写						明星寺関係支出833匁内訳の書上	切紙	1	
870	14-3	年賦證拠事	天保6未	5		森崎儀右衛門（筑前森儀飯塚印）	花瀬庄屋甚九郎	173匁3分6厘支払	切紙	1	
870	14-4	覚						払米代銭の書上	切紙	1	
870	14-5	〔書状〕		2	22	せき屋伊平	花瀬庄屋甚九郎	森崎屋一件について、当年中月わりでも仕廻りの願い。酒粕・酒差上の旨	切紙	1	14－6～7を内包
870	14-6	〔書状〕		正	4	儀右衛門	甚九郎	酒用切付前金目違につき	継紙	1	
870	14-7	〔書状〕		8	21	せき屋伊平	花瀬庄屋甚九郎	森崎屋一件について、同人面会の願	切紙	1	
870	14-8	触雑用切符	戌	12				花瀬村分。銭250目8分の内、不足分222匁4分を大庄屋払い	切紙	1	14－8～14－10は平紙紐で一括。平紙紐に「戌　触」のウワ書あり
870	14-9	〔覚〕						花瀬村分、銭220匁4分4厘森崎や払い	切紙	1	
870	14-10	〔書状〕	戌	7	4	庄屋太次郎・同　又五郎・同　仁右衛門・同　太惣・同　儀作	花瀬村庄屋甚九郎	飯塚宿山口屋座敷普請のため米2俵差出の旨	切紙	1	
870	14-11	覚	午	3	7	森崎屋儀右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	切手代金80目受取の旨	継紙	1	
870	14-12	年賦證拠事	天保6未	5		森崎屋儀右衛門（筑前森儀飯塚印）	花瀬村庄屋甚九郎	173匁3分6厘支払	切紙	1	
870	14-13	覚	午	10	27	森崎屋儀右衛門	庄屋甚九郎	月別酒代と人別の酒代金の書上	継紙	1	14－13～14－16は同折
870	14-14	覚	午	10	27	森崎屋儀右衛門	御年番庄屋甚九郎	月別酒代の書上	継紙	1	
870	14-15	〔書状〕		11	1	儀右衛門	甚九郎	関伊殿方への書状拝見、先日相談の件、当節差し支えのため今少々延引の	切紙	1	
870	14-16	受取		10	17	森崎屋儀右衛門	甚九郎	茂右衛門殿分2朱1分受取	継紙	1	
870	14-17	覚		4	9	さつま屋武兵衛（印）	花瀬庄屋甚九郎	切手50目受取	切紙	1	印には地名・屋号があるが不鮮明のため解読できず
870	14-18	年賦證拠之事	天保6未	5		森崎屋儀右衛門（筑前森儀飯塚印）	花瀬庄屋甚九郎	米代払残りとして173匁3分6厘支払	切紙	1	
870	14-19	覚	午	7	13	森崎屋儀右衛門	甚九郎、い〔ち〕	金1両の代銭内訳書上	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
870	14-20	〔書状〕		8	6	儀右衛門	甚九郎	籾囲米積立の件、切手124匁送付につき受取のこと	継紙	1	切手代銭の覚書あり
870	14-21	〔書状〕		4	21	〔いゝ　屋〕仁左衛門	花瀬　甚九郎	儀右衛門一件について、何れ仁右衛門と儀右衛門間で相談の旨。明後23日法光寺へ罷出、伊平へ相談等によりそれ迄待ってほしい旨	継紙	1	
870	14-22	覚		3	22	さつまや新助	甚九郎	正銭50匁受取	継紙	1	
870	14-23	覚		9	5	森崎屋儀右衛門	甚九郎	金2歩の代銭内訳書上	継紙	1	
870	14-24	〔書状〕		5	7			年賦証拠及び米代などとして金1両送	継紙	1	
870	15-1	覚		11	9	船屋〔　〕七	庄屋甚九郎	諸品代金として銀67匁4分7厘受取の旨。内訳書上あり	継紙	1	15－1～15－6は紙縒で一括。15－1～15－3は同折
870	15-2	覚		11	9	小間物屋甚平		諸品代書上	継紙	1	
870	15-3	覚		11	9	かた〔をひ〕屋　善次	役頭	諸品代金受取	折紙	1	
870	15-4	借用證文事	嘉永3戌	4		建花寺村作藏(印)	花瀬村甚九郎	金子1両借用、来秋に元利共に返済	切紙	1	
870	15-5	田地書入證文之事	文政8酉	2		借主小正村與吉(印)	花瀬村庄屋甚九郎	銭受取、田地受返。余米にて元利ともに返納す	継紙	1	同年3月甚九郎宛、受人小正村庄屋大助(印)による奥書あり
870	15-6	〔證文〕	天保5	12		利総(印)・才兵衛(印)・受人伊兵衛(印)・同左助	庄屋甚九郎	利惣・才兵衛両人あらたまり出精につき書物指出の旨	切紙	1	
871	1～20	〔包紙〕						包紙上書「丑冬　買掛り目録入ル」	包紙	1	871-1～20包紙一括
871	1	〔手習い〕						「相」「度」のみ判読可	切紙	1	破損大
871	2	〔書状〕						今朝御用会の件、深町文蔵の病気の件、当村神事の件	継紙	1	後欠
871	3	〔覚〕						使用人と支払代金の書上か	継紙	1	
871	4	略暦	嘉永5壬子			大経師降屋内匠、弘所大阪平野町神明前松浦			切紙	1	木版刷
871	5	〔書状〕		3	20	同〔甚十郎〕	庄屋甚九郎	別紙1通送付、蓮台寺内札の件	継紙	1	
871	6	〔書状〕						大日寺村文蔵老方への見舞、及び見舞に行けないことへのお詫び	継紙	1	草稿か
871	7	〔書状〕	辰	3	23	〔煙草〕屋弥作	庄屋甚九郎	鉄屋一件内談、庄屋六右衛門より明日提出につき差引のこと	切紙	1	端やぶれあり、端裏書に「略封御免可申候」とあり
871	8-1	穂波郡蓮台寺村庄屋山口乍恐口上を以申上ル事				〔蓮台寺村庄屋〕		鬼木栄蔵通行の際に、当村竹山内で咎めをうけた当村甚助の一件をめぐる口上書か	継紙	1	8-1・2同折。端やぶれあり、後欠。口上書の下書
871	8-2	穂波郡蓮台寺村庄屋山口乍恐口上を以申上ル事				〔蓮台寺村庄屋〕		8-1と同内容か	切紙	1	後欠。継紙が剥離したものか
871	9	〔お手本〕						「九州筑前穂波郡花瀬邑」「御手本也」の上に手習いの文字あり	包紙	1	元は包紙か

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
871	10	〔覚〕	巳	10		大庄屋(印)		花瀬分。半縄ほかを明14日早朝郡屋払いのこと	切紙	1	
871	11	〔覚〕						村別人名と俵数の書上	折紙	1	横帳端紙
871	12	〔覚〕	辰	9	15	建花寺村藏役所	花瀬庄屋甚九郎	選米1斗3升7合送り、受取のこと	切紙	1	
871	13	〔書状〕						書状断簡。「一筆申上候、然者別紙月払指出申上候間」	切紙	1	継紙が剥離したものか
871	14	〔書状〕		9	吉	御師藤本八郎大夫吉次(花押)	庄屋甚九郎	祈祷祓大麻及び祝儀として土産を進上の旨	切紙	1	宛所は墨書、それ以外は木版刷か
871	15	〔覚〕						人名と俵数の書上	継紙	1	正月15日当賀、庄屋甚九郎宛庄屋六右衛門書状の反古紙を使用
871	16	〔覚〕						収支書上	折紙	1	前後欠
871	17	〔手習い〕						「穂波郡花瀬邑」の手習いあり	継紙	1	7月13日、庄屋甚九郎様宛彦三郎書状の反古紙を使用
871	18	〔手習い〕						「花瀬村」「安政四年」ほか手習いあり	切紙	1	
871	19	〔覚〕						人名書上	切紙	1	継紙が剥離したもの。6月朔日庄屋甚九郎様宛伴七書状の反古紙を使用
871	20	〔折紙〕						白紙	折紙	1	書状反古紙を使用
872	1	回章		5	13	副戸長立石三兵衛(印)	大日寺邑、閏野邑、花瀬	当春種痘小児人欠を至急書上げ、提出のこと	罫紙、切紙	1	872-1～11紙縒一括。罫紙に切紙が糊付される。罫紙に「大日寺邑・閏野邑・花瀬　副戸長立石三兵衛　保長中順達」と上書。871-1で871-2～11を一括
872	2	〔回章〕		5	13	副戸長立石三兵衛(印)	大日寺邑、閏野邑、花瀬	村費、末社・村社合併ほか4ヶ条書上提出のこと。大日寺村、諸税金上納延引のこと	切紙	1	前欠
872	3	〔書状〕		5	5	西町吉屋ヨリ與一郎	保者大和武三郎	弟、福岡にて「御けん切」を押し隠した件につき、明日受取のこと	切紙	1	書状案か
872	4	覚						生こんにゃく、熨斗ほか諸品書上	切紙	1	
872	5-1	永代売渡申田地證文之事	同	同		同村庄屋大和甚九郎(印)、同村組頭善次郎(印)、同与一郎(印)	重右衛門	久助・久右衛門田地永代売渡の奥書	継紙	1	5-1は5-2を内包
872	5-2	永代売渡申田地證文之事	慶応元丑	12		売主花瀬村久助(印)、同久右衛門(印)、請人武七(印)	秋松村重右衛門	久助・久右衛門田地永代売渡	継紙	1	同年同月重右衛門宛、同村庄屋大和甚九郎(印)・同村組頭善次郎(印)・同与一郎(印)の奥

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
872	6-1	〔書状〕		5	13	第七大区調所	十小区副戸保長中	工商雑税、至急上納のこと	切紙	2	本紙の上に副戸長立石三兵衛作成による別紙（5月13日付大日寺邑宛）が糊付される。6-1～3は
872	6-2	記		3	25	伊支須酒屋五人衆	大和甚九郎	柳樽2丁（上酒4升7合）の納入書	継紙	1	
872	6-3	〔書状〕		5	15	三兵衛	武三郎	貴村願い立ての秣場設置について、古茶屋の下を閏野へ渡すことを打診	切紙	1	
872	7	〔書状〕		4	5	従太郎丸村福沢久四郎	椿村青柳直平	此状が着き次第、花瀬へ出勤し荷物迎の者指出の願い	罫紙	1	包紙あり
872	8	返報				八木山三兵衛	花せ武三郎	大日寺村内溜井敷、秣場願立の件について確認を求める	切紙	1	「大日寺村ヨリ早々」とあり
872	9	〔書状〕		4	24	副戸長立石三兵衛	花瀬村大和武三郎	地券下地受取の件、八木山秣場の件	罫紙	1	
872	10	〔書状（案）〕						明治6年布達貢祖石代相場、今般別紙の通り改正のこと	罫紙	1	
872	11	〔包紙〕				大日寺村保長中	花瀬村保長大和武三郎		包紙	1	872-11-1・2を一括する包紙。一部破損あり
872	11-1	〔書状〕		5	8	大日寺村保長中	花瀬村保長大和武三郎	別紙願書入札持参で副戸長元へ出頭の旨	切紙	1	
872	11-2	〔書状〕				八木山村川原七兵衛	大日寺村保長岸田仁藏、同高崎與助	囲所願書入札について、今日中に拵え差出の旨	罫紙半折	1	
873	1	〔覚〕	戌	12		大庄屋元（印）		花瀬村分、上納銀高書上	折紙	1	綴端紙。873-1～4紙縒一括
873	2	覚	戌	9		庄屋甚九郎	大庄屋元、御役場	花瀬村分の触雑用その他上納銀高書	継紙	1	
873	3	〔覚〕	亥	正				御免用賃銭、郡代泊りほか正月の出費書上	切紙	1	
873	4	〔覚〕	戌	12		大庄屋元（印）		花瀬村分触雑用・借用その他上納銀高書上及び不足銀高の書上	綴	1	
874	1	覚	戌	7	3	萬屋左四郎（筑前若松萬□印）	花瀬村御役所	米代金受取の書上	切紙	1	本紙破損のため印の一部欠。874-1～18紙縒一括
874	2	預り手形	戌	7	4	出勤庄屋和六（印）	花瀬村庄屋甚九郎殿、米払儀平殿	米3俵、触中上納につき諸払として預かり	切紙	1	
874	3	請取		6	13	庄屋孫□（紙破損）	花瀬村仁平	札1貫700文受取	切紙	1	下欠
874	4	〔覚〕				役場（印）		花瀬村分の運賃、その他上納米高の書上	綴	1	切紙3枚が糊付される
874	5	覚	戌	12		花瀬村庄屋甚九郎	大庄屋元御役場	花瀬村分上納銀高の書上	切紙	1	端裏書に「大庄屋元用六入」とあり
874	6	覚		2	14			小物代、白砂糖その他諸品代金書上	切紙	1	
874	7	〔書状〕		2	3	大庄屋孫助（印）、大庄屋宅右衛門（印）	花瀬邑甚九郎	当季□返り一件につき評議、面会したき旨	継紙	1	飯塚よりの書状
874	8	〔書状〕		3	8	庄屋甚九郎	庄屋長五郎	出綱登1歩差上げの旨、役頭旅宿まで書状送付の旨	継紙	1	書状端に「長五郎（印） 受取申候」と墨書あり

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
874	9	覚	戌	4	4	普請方孫助	庄屋甚九郎	銭912文受取の旨	切紙	1	継紙が剥離したものか
874	10	受取		3	24	役場(印)	花瀬村甚九郎	金3両受取の旨	切紙	1	
874	11	〔覚〕						「十二月廿二日川津ニ而和六へ遣ス、元利三貫八百八十弐文、元り同貫六百五十八文　中村用六、外ニ相田一件」	切紙	1	継紙が剥離したものか
874	12	覚						上納不足分の米高代銀の書上	切紙	1	後欠
874	13-1	受取		12	17	大庄屋元(印)	花瀬庄屋甚九郎	荒畑帳2冊受取、牛馬祈祷料差下及び畠方納方引取のこと	継紙	1	13-1・2同折
874	13-2	請取		2	21	山口孫作(印)		書状受取の旨	継紙	1	
874	14	覚		12	21	庄屋和六	庄屋甚九郎	不足分、利分、若松口ほか銭高の書上	継紙	1	
874	15	〔覚〕	戌	7		大庄屋元(印)		花瀬村分、定飛脚賃米として銭979文上納の旨	切紙	1	
874	16	〔覚〕	戌	7		大庄屋元(印)		長崎奉行下向の際、花瀬村より人足15人、内10人分の銀とその他諸雑用の銀上納のこと	切紙	1	
874	17	〔覚〕						米代銭6貫583文の書上	切紙	1	
874	18	〔書状〕		7	13	庄屋通太	庄屋甚九郎	上納米代銭取替の件について、村方より上納の旨	継紙	1	
875	1-1	〔書状〕		12	29	庄屋百助	庄屋甚九郎	牛房御礼、願書奥書の件、上納銀口の件でいずれお目にかかりたい旨	継紙	1	875-1～22紙縒一括。875-1-1～1-16紙縒一括、さらに1-1～1-9紙縒一括
875	1-2	〔覚〕						上納米、触雑用ほか米銭高書上と借用など金銭に関わる覚書	切紙	1	
875	1-3	〔覚〕						村方上納米銭高書上、庄屋関係の諸覚書	継紙	1	1－2と同筆か
875	1-4	御達書写	卯	9				当秋実抜けにつき、当用上納米銀、宝蔵銀その他を返納踊とする旨。当秋より踊・繰りのみ興行する村書出のこと	継紙	1	端裏書に「御達書写」とあり
875	1-5	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ルロ上之覚	天保14	11		花瀬村庄屋甚九郎	上座下座嘉麻穂波御郡代御役所	甚九郎、百姓への貸し渡し米銭仕置をめぐり、庄屋退役願い	継紙	1	
875	1-6	〔覚〕	卯	12		大庄屋元(印)		花瀬村、同郡切立として米6俵8升2合払うこと	切紙	1	
875	1-7	〔覚〕						12月15日大日寺村へ呼び出しの件、岩見行金郡切立の覚ほか、庄屋関係諸覚書	継紙	1	
875	1-8	覚						年賦残り・上納未進米の書上あり	折紙	1	横帳端紙
875	1-9	未進凡捨切後取替分						人名別に米・銭高を書上。他村取替として相田村分あり	継紙	1	後欠か
875	1-10	〔覚〕						12月21日天道〔華〕付許可の件ほか、庄屋関係諸覚書	継紙	1	
875	1-11	〔覚〕						「子年銀百七文、其前亥年百十四文大庄屋取切符ニ書込有之」	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
875	1-12	〔覚〕	辰	11		大庄屋元(印)		花瀬村分、9日切上納銀高の書上。合銭41貫340文。	綴	1	1-12～1-16紙縒一括。1-12は折紙2枚を糊付する。
875	1-13	〔覚〕	卯	11		大庄屋〔宅〕右衛門(印)		花瀬村分、8日切上納銀高の書上	折紙	1	
875	1-14	〔覚〕						花瀬村分、15日切大庄屋元払の上納銀高書上	切紙	1	
875	1-15	〔書状〕		11	22	庄屋喜七郎	庄屋甚九郎	宗旨判取替、丑ノ年分取替払い、支払割付の件	継紙	1	端裏書に「喜七郎方ヨリ」とあり。書状奥裏に貼紙あり
875	1-16	〔覚〕						村入用7貫140文の内、5貫100文目録立用、2貫40文違のこと	切紙	1	前欠か
875	2-1	建花寺證文、相田質物一件							切紙	1	反古紙(伝蔵家内4人、与八上納不足の書上)を使用。875-2-1～2-6紙縒
875	2-2	〔書状〕		12	23	蛭子屋十助	花瀬村庄屋甚九郎	郡屋より甚九郎通所潤野山不足分金8両咄合、その内金4両算用の願い	折紙	1	2－2と2－3はひねり綴で一括
875	2-3	覚		8		蛭子屋十助	花瀬村庄屋甚九郎	合正銭38貫467文受取前の内容書上。潤野山入合関係か	折紙	1	「右手紙用六写」の墨書あり
875	2-4	受取	辰	11	24	建花寺村	花瀬庄屋甚九郎	惣太郎牛代わりに牛1疋受取の旨	切紙	1	
875	2-5	覚	子	12	27	次平	花瀬甚九郎	代金書上と借用金銭残355文支払の旨	切紙	1	
875	2-6	〔覚〕	卯	12		大庄屋元		花瀬村分、13日切上納銀高の書上。残銭26貫125文	継紙	1	元は綴か
875	3	〔書状(案)〕						重助指引一件について、同人より申立。差引評議の件について	継紙	1	後欠か、裏に「渕」と墨書あり
875	4-1	太惣儀作證文・重助手紙入、建花寺證文入						表題のみ	切紙	1	剥離したものか。875-4-1・4-2は紙縒一括
875	4-2	〔書状〕		7	8	庄屋七右衛門	庄屋甚九郎	たってから頼みの願いの件は、役所の長崎一件混雑などで延引のこと、帯屋・彦右衛門一件は先前の文の趣意を考案のこと	継紙	1	
875	5-1	〔書状〕		5	10	片嶋村通右衛門	花瀬　甚九郎	太惣掛出の目録中にある小三郎分ふり付間違いの件について、貴家に取調べを願う	切紙	1	875-5-1～5-9紙縒一括
875	5-2	〔書状〕		4	7	太右衛門	庄屋甚九郎	講金の件は何分手段がないこと、郡屋での語々の件	切紙	1	
875	5-3	〔書状〕		12	28	庄屋太右衛門	庄屋甚九郎	講金払不足の件で、伴作と申し合わせ春仕る事とし同人方へも追々引合わせ	継紙	1	
875	5-4	覚						金利、余米、畠代残り、講金など金銭書上	切紙	1	
875	5-5	〔書状〕		5	5	庄屋大右衛門	庄屋甚九郎	講金の件につき太一郎方掛米取り出しのこと、甚平の件は直接相談のこと	継紙	1	
875	5-6	〔書状〕		7	23	庄屋百輔	庄屋甚九郎	横田一件、太右衛門殿も殊外喜び御礼。養育方より冬季□日指出の旨	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
875	5-7	〔書状〕		2	25	吉北村庄屋百輔	花瀬庄屋甚九郎	太右衛門殿より噂の横田指引の件を書中で掛合、金利書上	継紙	1	
875	5-8	〔書状〕		12	7	儀作・太惣・次郎一	庄屋甚九郎	直右衛門講割戻しの件は直接掛合済みのこと	切紙	1	
875	5-9	〔書状〕		12	29	庄屋太惣	庄屋甚九郎	待用口算用の件、私借用分返済を早春迄待ってほしい旨、与一郎講金の件は相談の旨	継紙	1	
875	6	覚						大庄屋元去年不足元、大日寺村上納、去冬救、休助一件、利惣一件、重助一件等、手元控用の金銭書上。	綴	1	切紙1枚、折紙1枚を一穴綴
875	7	〔書状控〕	辰	12	29	甚九郎	帯屋休助	役交代の際の焚石益銭目録引き継ぎの件、御用金返済をめぐり片付の掛合	継紙	1	「辰十二月卅日掛合ひかへ」の奥書あ
875	8	〔書状〕		12	25	大庄屋宅右衛門	庄屋甚九郎	建花寺一件願書奥書の件、横田さし引きの件は年内取扱いは難しい旨、今日中諸口々不足銀26貫725文支払い	継紙	1	
875	9-1	覚	巳	5	29	蛭子屋重助	花瀬村庄屋甚九郎	彦郎、花瀬村利右衛門・大日寺村吉蔵預り分の銭高書上	切紙	1	875-9-1～9-27紙縒一括
875	9-2	〔覚〕						借用米高と利分の書上	切紙	1	元は継紙か
875	9-3	〔覚〕	丑	11		大庄屋太次郎(印)		8日迄に花瀬村分上納銭86貫169文支払のこと	綴	1	9－3～9－7は綴（紙縒、一穴綴）
875	9-4	〔覚〕				大庄屋元		11月8日切取立、花瀬村分上納銭高の書上	綴	1	
875	9-5	〔覚〕	亥					花瀬村分軸帳前ほか上納銭高の書上	綴	1	
875	9-6	覚	戌					軸帳前ほか上納正銭15貫711文の金銭書上	綴	1	
875	9-7	覚	酉	12	3	諸用所半兵衛	花瀬村庄屋甚九郎	軸帳前、講金ほか上納銭書上。薬売れ残りの時は如達丸2貼代700文、神痢丸1貼代1貫文返却のこと	綴	1	
875	9-8	〔書状〕		4	3	相田玄内	花瀬村庄屋甚九郎	先日より掛合の指引一件は蓮台寺庄屋二右衛門様へ委細御願いのこと	切紙	1	
875	9-9	〔書状〕		4	28	庄屋二右衛門	庄屋甚九郎	相田指引一件について、去る25日玄内参り26日貴宅へ人別罷出のところ延引のため、今日中にお手元へ罷出の旨	切紙	1	
875	9-10	〔書状〕		7	27	庄屋百助	庄屋甚九郎	相田指引一件について、役頭も御内意あり、二右衛門同道で貴家へ罷出掛合のこと	継紙	1	
875	9-11	〔書状〕		8	14	相田村玄内	花瀬村庄屋甚九郎	先刻御出の礼、藤六は今日蓮台寺に来ず御人払方とともに帰宅、昨日拝借の傘返却の旨	継紙	1	
875	9-12	〔書状〕		7	28	庄屋二右衛門	庄屋甚九郎	相田一件につき、百助同道で貴宅へ参る前に同村へ見合に参る旨	切紙	1	
875	9-13	〔書状〕		5	晦日	相田村役中、彦惣	花瀬村庄屋甚九郎	昨日掛合の当村借用米銭の件について、役中日田銀返納の道はなく、高割にすること。それについて両人派遣の	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
875	9-14	〔覚〕						人別に借用金銭を書上	綴	1	9-14～9-19は綴（紙縒、一穴綴）
875	9-15	覚						花瀬山関係金銭書上	綴	1	
875	9-16	覚						花瀬山関係金銭書上	綴	1	
875	9-17	覚						花瀬山関係金銭書上	綴	1	
875	9-18	覚						休助預御用金、えひす屋十助分の金銭書上	綴	1	
875	9-19	覚						両村山関係金銭収支書上	綴	1	
875	9-20	〔覚〕						人別に上納銭高書上、上納銭内訳あり	横帳	1	紙縒（はずれ）1点あり。875-9-20・21は綴（紙縒、一穴綴）
875	9-21	〔覚〕						人別に年貢米高書上、内訳あり	横帳	1	
875	9-22	〔覚〕						庄屋関係金銭収支書上、相田村分金銭書上	綴	1	紙縒一穴綴。貼紙あり
875	9-23	〔書状〕		3	19	相田村玄内	庄屋甚九郎	当村役中指引一件。去冬仰付の御用書今1通書記のこと、明後20日より苗代取掛のため当月引延のこと	切紙	1	
875	9-24	〔書状〕		7	4	庄屋二右衛門	庄屋甚九郎	相田指引一件につき、組頭玄内より未進百姓と甚九郎算用が大いに違う報告あり、甚九郎の意見を聞きたい旨	継紙	1	
875	9-25	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ル口上之覚					〔甚九郎〕	相田村庄屋掛持甚九郎より、上納立替のための借入金の返済をめぐり裁許を求める	継紙	1	
875	9-26	〔覚〕						相田村分米銭高書上。人別に取替代金書上あり	横帳	1	貼紙あり
875	9-27	〔覚〕						借用米高、村雑用、益銭御用金口など金銭書上	折紙	1	横帳端紙
875	10	〔覚〕						「辰年上納受取」	切紙	1	継紙が剥離したものか
875	11	覚						人別に借用、上納、未進の金銭書上。大日寺上納一件、上納諸口、建花寺一件、利助一件ほか	折紙	1	
875	12	〔覚〕						人名・村名の書上	切紙	1	前後欠。端に破損あり
875	13-1	〔覚〕	辰	3		大庄屋元（印）	庄屋甚九郎		折紙	1	横帳端紙。875-13-1～13-5紙縒一括
875	13-2	〔覚〕				大庄屋元		花瀬村畠雑用割不足銭高、喜七分不足銭高249匁4分7厘を11月限り支払のこと	折紙	1	綴穴あり。大庄屋印あり。875-13-2～13-5は平紙紐で一
875	13-3	〔覚〕	卯	12		大庄屋元	庄屋甚九郎	花瀬村分、上納不足銭高の書上	折紙	1	
875	13-4	受取	辰	10	13	吉北庄屋百助（印）	庄屋甚九郎	上納銀切符〆方等として銭7貫769文、金1歩受取	継紙	1	
875	13-5	〔覚〕	辰	極		大庄屋元（印）		花瀬村割当銭高を来15日切で支払のこと、去卯割落の宗旨入用は当春算用のこと	継紙	1	端上部に綴穴2箇所あり

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
875	14	〔書状〕		12	25	庄司庄屋儀作	花瀬庄屋甚九郎	質物請返しの件、太右衛門殿へ引合のこと	継紙	1	
875	15-1～13	〔花瀬村上納関係書状、受取、覚一括〕									15-1～13は紙縒で一括
875	15-1	聞書						11月24日～12月22日の聞書と大日寺籾取用の覚書。相田一件あり	綴	1	折紙2枚を綴。875-15-1～15-13紙縒一括。さらに875-15-1～15-10は紙縒で一括
875	15-2	覚		11	13	大庄屋役場(印)	花瀬村	切符揃〆高不足銭5貫718文、明日出方で支払のこと	継紙	1	15-2は15-3～10を内包
875	15-3	〔覚〕						畠近割・寅触用銭高書上、大日寺上納丑年取過仕る分米高の書上	切紙	1	
875	15-4	〔覚〕						畠諸口辰冬返済分及び当冬上納金高の書上	切紙	1	前欠か
875	15-5	〔覚〕						卯春宗旨判指除ケの分立用見えず。喜七郎引合の上、当年分立用	切紙	1	前後欠か
875	15-6	受取	辰	12	20	大庄屋元(印)	庄屋甚九郎	切手取合等として金1歩、銭395文受取	切紙	1	
875	15-7	受取	辰	11	21	大庄屋元(印)	花瀬村庄屋甚九郎	11月上納銀の内、金1歩2朱受取	切紙	1	
875	15-8	受取	辰	12		大庄屋元(印)	庄屋甚九郎	諸口銭として金1両2歩、米2俵受取	切紙	1	15-8は15-9を内包する
875	15-9	請取		12	29	飯塚宿庄屋通太	花瀬村庄屋甚九郎	米1俵受取	切紙	1	
875	15-10	受取		12	15	大庄屋出役所(印)	庄屋甚九郎	目録上納残りの金3両3歩2朱受取	継紙	1	同月日付、庄屋甚九郎様宛百助(印)の餅米代受取もあり
875	15-11	〔書状〕		11	29	大庄屋宅右衛門	庄屋甚九郎	日田上納未進のため、此状着き次第拙宅へ御出のこと。なお御出は少しお待ちのこと	継紙	1	庄屋印あり
875	15-12	〔書状〕		12	30	大庄屋宅右衛門	庄屋甚九郎	今日中に払米を幸袋兵右衛門か拙者へ指出のこと、太右衛門・儀作より口入の品々については、世話人へ問い合わせの旨	継紙	1	
875	15-13	〔書状〕		12	20	大庄屋宅右衛門	庄屋甚九郎	再三の呼出に関わらず甚九郎参らず。此状着き次第御出のこと	継紙	1	
875	16	〔書状〕		6	23	庄屋徳三郎	庄屋甚九郎	相談中の證文認め差上の一件について、組頭取新藏へ差出、御礼を述べる	継紙	1	
875	17	〔書状〕		2	朔	飯塚庄屋通太	花瀬庄屋甚九郎	去冬より掛合の重助差引の儀は役頭御帰りの上で評議のこと。自身も先日より阿蘭陀献上物途中。	継紙	1	
875	18	覚						借用米代銭と利息の書上	継紙	1	8875－19・875－20を内包
875	19	借用證文之事	天保10亥	5		建花寺村太一郎(印)	花瀬甚九郎	金子2両3歩借用。当11月限元利返納。万一差引できなかった場合は上納講米立用のこと	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
875	20	書入證文之事	天保5午	4		片嶋村借主正助(印)	花瀬村庄屋甚九郎、横田村庄屋太惣	引当新船1艘を抵当に金子受取、及び金子2両借用。返済は当秋年貢運賃で立用とす。	継紙	1	同年同月船庄屋直右衛門(印)、頭取舟頭善右衛門(印)の奥書あり
875	21	〔書状〕		正	10	庄屋百助	庄屋甚九郎	和平方で出会、大日寺一件はそれぞれ受持口へ引合、建花寺村一件、糀屋一件預り書は拙者引合、大日寺村訴訟の件	継紙	1	
875	22	御書付之写	亥	11	28	大庄屋弥四郎(印)	飯塚・片嶋・幸袋・中村・伊支須・花瀬　各村々庄屋衆中	11月23日付真鍋儀作・吉沢善吉より大庄屋5人に渡された、給米・寸志米差出の者への称誉についての書付写と庄屋格式覚書	横帳	1	
876	1	〔書状〕				片嶋清〔二〕郎	保長大和〔武〕三郎	昨日談判の横田附口上納の件、平三郎殿得心通りのこと	継紙	1	後欠、端破損大。876-1～22紙縒一
876	2	〔覚〕						「御銀預申上候外人数も格別」	切紙	1	前後欠
876	3	〔書状〕		4	27	副戸長山口角藏(印)	地租改正者代補助大和甚九郎	諸帳簿取調のところ浦上戸長より引合、明後日枝国で藁検査のため日繰りを伺う	罫紙	1	綴穴1箇所あり。追伸で只今入村を願う
876	4	〔通達〕		4	20	副戸長立石三兵衛	大日寺村、花瀬村保長中	摯成様より金子・詣拝領の返礼として1戸につき金2厘充献上のこと	罫紙	1	追伸に大日寺村より申出、小宝可への給料の件記す
876	5	記						人別に米高を書上。総合計93俵8歩6	罫紙	1	
876	6	〔手習い〕							切紙	1	「村『糸遣』(漢字入力不能、一字)返達可被下候補助…」の反古紙を使用
876	7	〔書状〕				蛭子屋〔清〕四郎	大和武三郎	先日談判の件は横田村付口何某・何十蔵・内々下作者より借用分は此方より調べ、直に案書提出のこと	継紙	1	
876	8	〔書状〕				花瀬村副戸長立石三兵衛	片島村井田平三郎		罫紙	1	包紙あり、封糊付のため開封できず
876	9	〔書状〕				花瀬村副戸長立石三兵衛	片島村井田平三郎		罫紙	1	包紙あり、封糊付のため開封できず
876	10	〔封筒〕				副戸長立石三兵衛	大日寺村・花瀬村保長中	「到着二布達紙順達」の墨書あり	封筒	1	罫紙反古紙を使用。10-1～・を一括する封筒
876	10-1	〔布達(写)〕		5		副戸長立石三兵衛(印)	大日寺村・花瀬村保長中	5月3日付第7大区調所より野見山副戸長・立石副戸長・青野副戸長宛へ出された収穫米下検に関する布達写	綴	1	罫紙4枚を一穴綴(ひねり綴)する。収穫米下検心得方概略あり
876	10-2	〔布達(写)〕		5	3	十四小区副戸長立石三兵衛(印)	大日寺村・花瀬村保長中	8年4月27～30日付で第7大区調所、福岡縣令渡辺清からだされた宿屋貸座敷、乞食に関する布達写	綴	1	罫紙2枚を一ツ綴する。
876	11	〔通達〕		4	25	区長井上碌郎(印)、戸長林田辰平(印)	副戸長立石三兵衛	大日寺村・花瀬村貢租未納につき調所で取約メのこと、至急皆納のこと	罫紙	1	綴穴1箇所あり

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
876	12	〔封筒〕		4	25	区長井上碌郎（第七大区調所印）、戸長林田辰平	副戸長立石三兵衛	「至急役用答」の墨書あり	封筒	1	封筒のみ、876-11の封筒か
876	13	〔通達〕		4	18正午時	副戸長立石三兵衛（印）	大日寺村・花瀬村保長中、伍長中	保長・伍長、調所へ至急出方のこと、手紙持参のこと	罫紙	1	
876	14	〔書簡〕		5	14	第七大区調所（第七大区調所印）	花瀬村副戸長、保長中	置米8石3斗9合未納につき取立の上、上納のこと	継紙	1	封筒あり。封筒上書「花瀬村第七大区 副戸長 保長中 調所 大至急」
876	15	〔書状〕		5	2	矢野五	大和甚九郎	掛合承知、互いに出張のこと。清水在家鐘太鼓でも御披索の御趣向のこと	継紙	1	
876	16	〔通達〕	8	5	14夕	第七大区調所	副戸長中	貢租不納催促として派出林帷節、深谷知賢が本日調所入込につき、副戸長・保長貢納取立帳持参の上出頭のこと	罫紙	1	綴穴1箇所あり
876	17	〔通達（写）〕		5	14	第七大区調所	副戸長中	5月13日付福岡県十五等出仕深水知賢・十一等出仕村帷節から第七大区戸長中へ出された調所出張に関する通達写。早急に貢租皆納のこと	綴	1	罫紙3枚を一ツ綴
876	18	〔書状〕		4	23	戸長浦上皆渡（印）	改区補助大和甚九郎	総代清水涼平病気退職に関して貴殿勉強のこと	罫紙	1	綴穴1箇所あり
876	19	〔封筒〕				副戸長立石三兵衛	大日寺村・花瀬村保長中	封筒上書「大日寺村 花瀬村 副戸長立石三兵衛 保長中 早々順達」	封筒	1	罫紙を使用。19-1・2を一括する封筒
876	19-1	〔通達〕			30	立石三兵衛（書印）	大日寺・花瀬村保長中	留守中名代取立につき別紙の通り届出のこと、説諭のこと、花瀬村へ申出の入費口の件、大日寺村図引給料の件	罫紙	1	
876	19-2	御届（案）	明治8	4	30	八木村保長漢四郎七〔〕六三郎、大日寺村保長田中甚内、花瀬村保長大和武三郎、副戸長立石三兵衛（印）	第七大区御調所	三兵衛出福のため四郎七、甚内、武三郎3名を留守中副戸長名代とする旨	罫紙	1	三兵衛より甚内殿・武三郎殿宛で早急に提出の旨端書きあり
876	20	〔通達〕		4	27	副戸長立石三兵衛（印）	大日寺村・花瀬村百姓中	昨26日、貢租未納の件につき区長井上より厳しい達あり、明日まで皆納ない者は極貧同様に申出の旨。	綴	1	罫紙2枚を一ツ綴。拙者入村迄も不名義の者は名前を区長に申し出る旨尚々書あり
876	21	〔通達〕		4	27	〔立石〕三兵衛（印）	大日寺村・花瀬村保長中	当村手厳しく糺明につき、拙者入村前に貴殿より小前へ弁解し勉強才判の願い	罫紙	1	封筒あり。封筒上書「大日寺 花瀬村 副戸長立石三兵衛 保
876	22	〔封筒〕				副戸長立石三兵衛	大日寺村・花瀬村保長中	封筒上書「大日寺 花瀬村 副戸長立石三兵衛 保長中 大早御用」	封筒	1	22－1・2を一括する封筒
876	22-1	〔通達（写）〕			25	〔立石〕三兵衛	大日寺・花瀬保長中	〔卯〕月25日付第七大区調所より出された田畠等級決定のための実地検査に関する通達の写	罫紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
876	22-2	〔通達(写)〕			25夕	〔立石〕三兵衛	大日寺・花瀬保長中	〔卯〕月25日付区長井上碌郎より出された、石代未納につき明26日午前10時保長・伍長出頭の通達写	罫紙	1	
877	1	〔覚〕						「丑年受取入り」の墨書あり	折紙	1	平恒村分、枝国村分田数書上の反古紙を使用。877-1～28一括。調査時に全体にかけた紙縒
877	2	書物之事	明次3	7		百姓甚市(印)、久右衛門(印)、久助(印)、吉次郎(印)、茂七(印)、惣吉(印)、儀三郎	庄屋大和武三郎、組頭与市郎、同甚次郎	粮米預、救助米拝借及び牛代金追金としての百姓触口出方について取調、評議の結果御用捨につき以後出方の旨	継紙	1	
877	3	急持廻り		7	10	年番庄屋甚九郎(印)、同伴藏(印)	伊支須、横田、川津、幸袋、中村、目尾、柳橋、津島、吉北、庄司、相田、伊川、建花寺、蓮華寺、八木山、大日寺、潤の、右村々御同役衆中	千歳屋より諸方暑気見舞代銭催促のため1村400文宛支払いのこと	綴	1	切紙1点、継紙2点を糊付する。触用取替目録指出、通奥〆出銅支払の旨尚々書あり
877	4	〔書状〕		7	13	相田村七作	花瀬村庄屋甚九郎	踊雑用銭の内700文遣わすので受取のこと、残り分は秋まで手合のこと	継紙	1	書状裏に「午春ヨリ八月迄、諸方　請取入」の墨書あり(書状とは異筆)
877	5	覚	辰	12	21	〔魚〕屋助右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	切不(付ヵ)合5貫125文、金銭差引の覚	継紙	1	
877	6	受取	巳	3	23	本誓寺(印)	花瀬村庄屋甚九郎	年賦銭金3歩受取の旨	切紙	1	
877	7	覚	巳	12		〔魚〕屋助右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	寅12月切触用切付不足分、5貫125文の書上	継紙	1	
877	8	〔書状〕		6	25	〔左〕かん	甚九郎	懸書の件委細承知、取り込み中にて礼が言えず無礼のお詫び	継紙	1	書状末尾に「弐歩四百七十文」と墨書あ
877	9	おぼへ	午	11	20	糀屋源藏	花瀬村庄屋甚九郎	糀2斗5合受取の旨	切紙	1	
877	10	〔書状〕	亥	5	15	伊支須卯右衛門	潤野勘兵衛	講金催促につき不足分目録送付、受取のこと	継紙	1	講金の覚あり、1両153文渡の旨
877	11	〔書状〕		6	20	庄屋芳平	庄屋甚九郎	先日より触用金預かり1歩2朱宛のところ、預り書改には1歩とあるため使い派	継紙	1	
877	12	請取		6	朔	煙草屋平右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	5貫100文(切手3歩)請取の旨	継紙	1	
877	13	請取	卯	12	24	〔魚〕屋助右衛門	花瀬村甚九郎	1貫400文受取の旨	継紙	1	
877	14	請取	午	6	10	庄屋伴藏(印)	花瀬村庄屋甚九郎	当年分として切手1両受取の旨、残金1歩だけは急々仕送りの旨	切紙	1	
877	15	〔書状〕		7	10	潤の勘兵衛	庄屋甚九郎	触状の趣承知、当村宮講金はいぎすより延引になる分から見合せ、雑用中切銭は1歩2朱であるので算用見合せの	継紙	1	
877	16	覚	午	7	9	ちとせや孫六	触年庄屋伴藏、同甚九郎	魚代、酒代ほか書上	切紙	1	
877	17	〔書状〕		6	9	庄屋元伊藤和六	庄屋元甚九郎	私失念より触用金取替の件で1貫700文遣わしの旨、〔い〕わミ屋割仕合の件	継紙	1	書状端に「銭壱歩川津」受取の旨あり

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
877	18	〔書状〕		2	5	和六	甚九郎	借用口々、預り口渡分の内5貫金1両返済の旨	継紙	1	尚々書に、頃日相場7貫400文～50文の旨あり
877	19	覚	午	4	28	かじ甫助	花瀬村甚九郎	火はし、鍬先、せんぞく等代金書上	切紙	1	
877	20	覚		4	8	御製煉取次所〔魚〕屋與平	上	たんの妙薬柊皮会利別、入物代等、代金書上	切紙	1	
877	21	覚	午	10	12	花田元栄	花瀬村庄屋	付薬、せん薬、丸薬ほか薬代として2貫648文貸渡の願い	切紙	1	
877	22	覚		2	10	伊藤和六	甚九郎	午2月借用の正金1両、銀札3貫900文受取のこと、私より入金した預り分は私が受取の旨承知のこと	切紙	1	
877	23	口上		10	15	庄司花田元栄	花瀬村庄屋	2貫648文貸し渡しの願い	継紙	1	
877	24	請取		3	28	伴藏	庄屋甚九郎	切手4貫250文受取の旨	切紙	1	
877	25	請取	午	9	朔	普請方彦四郎	庄屋甚九郎	普請礼として切手3貫400文受取の旨	継紙	1	
877	26	請取	午	3	21	伊支須村庄屋卯右衛門	庄屋甚九郎	蓮台寺村郡切立米として切手3貫400文受取の旨	切紙	1	
877	27	覚	卯	7	24	〔魚〕屋助右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	1両預り不足の内、5貫100文受取の旨	切紙	1	作成者、宛所は裏に書かれる
877	28	受取	午	8	25	大庄屋元(印)	庄屋甚九郎	長尾御門番給、同所諸口給銭、若松波除夫銭として銭545文受取の旨。ほかに5文過銭返す旨	切紙	1	
878	1	〔覚〕	寅	11		甚九郎		寅年分、甚九郎渡し分(鶏、玉子ほか)の書上	折紙	1	本紙奥に「丑冬御用受取入」の墨書あり。878-1を外側にし紙縒で878-1～117を一括
878	2	覚		3	朔	柴屋藤三郎	花瀬村甚九郎	諸品代金書上	継紙	1	
878	3	請取		5	26	飯塚非常方(印)	花瀬村	非常銭口割当り分として銭675文受取の旨	切紙	1	
878	4	請取	(卯)	10	20	庄屋通太(印)	庄屋甚九郎	札1貫400文受取の旨	切紙	1	
878	5	覚		閏	21	庄屋儀平	花瀬甚九郎	脇方より雇込みにて甚だ差支えにつき明日中に金1歩支払いの願い	切紙	1	
878	6	請取		12	4	本誓寺納所(印)	大和甚九郎	1貫文受取の旨	切紙	1	
878	7	覚		5	24	かじ甫助	花セ甚九郎様入用	3月25日～5月24日まで入用のひぢつぼ、かにつめ他諸品代金書上	切紙	1	
878	8	覚		4	13	難波屋用作	花瀬村庄屋甚九郎	文蔵菜種代の件はその内御礼申し上げる旨。銭5貫100文の内3貫400文受取、1貫700文不足の旨	継紙	1	
878	9	〔手習い〕						「イキ須庄屋」「彦四郎殿」の手習いあり	切紙	1	書状断簡(米下落、金子入用…)の反古紙を使用する
878	10	覚		12	29	〔さつ〕新	彦三郎	米1俵置く旨	継紙	1	
878	11	覚		3	23	庄屋甚九郎	庄屋和六	面役帳紙墨代として1人に付1人筆宛、銭57文指上の旨	切紙	1	「慥受取、大庄屋元(印)」あり

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
878	12	覚	丑	4	5	印銭方(印)	所々御番所	石崎村馬問屋広作の他領出馬1疋通行の旨	切紙	1	年月日、「石崎村馬問屋広作」は墨書、それ以外は木版刷り。今津紋太所渡。
878	13	〔書状〕		2	14	庄屋長五郎	庄屋甚九郎	先日頼んだ大日寺大宮司無心の件、再び無心あり、金1歩2朱渡す旨を願う。その内3朱は手元触雑用より払う旨。	継紙	1	書状端、天地逆に「役方　目録入」の墨書あり
878	14	覚		2	(　)	ちとせや孫六	花せ庄や甚九郎	諸品代金書上	切紙	1	
878	15	請取		9	21	本誓寺納所(印)	花瀬村	銭410文、薦、大根、粟受取の旨	切紙	1	
878	16	〔書状〕	丑	12	21	庄屋甚九郎	花瀬村武七	片嶋村から遣わした書状。養育米証拠の儀につき今日南尾村に罷出、茂右衛門方へ咄をしたので今日金子お渡しのこと。与八へ当夏多く渡したが此の分も一同手元より取り、代銭を渡し置くこと。証拠はこちらで受取の旨	継紙	1	尚々書2箇所あり。書状端に記された尚々書は墨筆で消される。
878	17	覚				高野山三十間院使僧(印)		初穂米1升9合受納の旨	切紙	1	切紙奥に「御使」の墨書あり
878	18	養育備米代	丑	12		大庄屋元(印)	花瀬村	12月20日限銭3貫673文（米大豆442俵1斗5升8合当たりの分）上納の旨。なお同18日取立の旨	切紙	1	
878	19	請取	丑	3	20	〔森喜〕	庄屋甚助	1貫303文受取の旨	切紙	1	
878	20	覚	丑	12		紺屋新三郎	花瀬庄屋	子4月7日分、千草形ちりめん1反代金14貫5分の書上	継紙	1	
878	21	覚		8	5	司馬屋藤三郎	花瀬甚五郎	油、蝋、たばこ他諸品代金書上、合1貫85文	継紙	1	
878	22	覚		11	13	若松　貞八(店印)	弥四良	濡米10俵の代銭32貫文、算用済みの旨	継紙	1	店印不鮮明のため解読不可
878	23	覚		12	29	さつまや新作	庄屋甚九郎	米1俵受取の旨	切紙	1	
878	24	覚		7	3	司馬屋藤三郎	花瀬甚九郎	諸品代金書上と金銭書上、合8貫404文支払のこと	継紙	1	
878	25	請取		6	6	〔いキす〕酒屋卯右衛門	花瀬甚九郎	切手2歩（他に利方）請取の旨	継紙	1	
878	26	覚		7	28	〔いキす〕酒屋卯右衛門	花瀬甚九郎	赤油代銭280文受取、切手400文は先日飯塚で取替の分	継紙	1	
878	27	覚		3	16	さつまや新作	庄屋甚九郎	代銭書上、米1俵請取、他ろうそく半斤あり	切紙	1	
878	28	請取		6	20	庄屋卯右衛門(書印)	庄屋甚九郎	暑気見舞出銅として切手850文受取	継紙	1	
878	29	覚		5	23	畳や	甚九郎	7貫700文から差引し、甚九郎へ60文渡す旨	切紙	1	
878	30	受取		霜	2	大日寺惣右衛門	庄屋甚助	米4俵受取の旨	切紙	1	
878	31	覚		12	29	魚屋藤吉	花瀬村彦三郎	肴代として205文受取の旨	継紙	1	
878	32	覚						松代銭合1貫350文の書上	切紙	1	後欠
878	33	覚		12	晦	千歳屋孫六	花瀬庄屋元	米2俵受取の旨	切紙	1	
878	34	覚		2	24	弥四郎	甚九郎	米2俵受取と1貫350文引合の旨	切紙	1	
878	35	覚	丑	11	10	枝国村　利藏	花瀬村甚九良	博多しぼり、もみじち々〇ほか諸品代銭書上	切紙	1	染みあり

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
878	36	受取	丑	11	26	大庄屋直平(印)	幸袋触	御成入用の内、金2両2分受取の旨	切紙	1	「右村々」の端書あり。前欠か
878	37	請取		正	27	薦田村庄屋六右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	仕組出銭内場として金1両受取の旨	継紙	1	
878	38	〔受取〕		11	2	舟頭和七	花瀬村與平	米2俵受取の旨	切紙	1	
878	39	〔覚〕				大庄屋元(印)		花瀬村分、御免返上控木処出代その他合銭1貫664文を来る10日切で上納のこと	切紙	1	
878	40	受取	丑	12	29	山鹿や内兵四郎	花セ　甚九郎	札300文受取の旨	切紙	1	
878	41	請取		12	29	千孫	甚九郎	米2俵請取の旨	継紙	1	
878	42	〔覚〕	丑	12		大庄屋元(印)	花瀬村	郡切立として米6俵8升2合書上。内、4俵は庄屋甚九郎払、2俵8升2合は大庄屋払のこと	切紙	1	
878	43	受取		10	8	大庄屋元(印)	右村々庄屋衆中	当月運上として今日中支払のこと。花瀬分は玉子20、大日寺分は玉子50	切紙	1	
878	44	受取		4	5	幸袋村庄屋長五郎(印)	花瀬村庄屋甚九郎	藁100抱受取の旨	継紙	1	
878	45	覚		5	15	司馬屋藤三郎	花瀬村甚九郎	餅米2俵受取の旨	切紙	1	
878	46	請取	寅	10	28	まつ屋弥市(筑前飯塚松浦屋印)	花瀬甚九郎	米2俵請取の旨	切紙	1	
878	47	覚		7	26	ちとせや孫六	花セ庄や甚九郎	諸品代金書上	継紙	1	
878	48	〔書状〕		12	29	庄屋元〔平三〕郎	花瀬村庄屋甚九郎	仕組金の件承知、証拠だけ金子差出、受取のこと。850文宛雑用銀方より受取、貴家様分425文だけ受取の旨。	継紙	1	
878	49	覚		10	4	本誓寺	花瀬村	8軒分銭1貫960文、2貫50文出納銭入につき90文過分の書上	切紙	1	
878	50	覚		3	4	萬屋左四郎(□□若松□屋印)	花瀬村庄屋甚九郎	米3俵受取(他に利足として5升1合)、算用済みの旨	切紙	1	店印不鮮明のため解読不可
878	51	口上	酉	7	4	畳や儀平	花セ甚九郎	畳草購入のため切手1貫500文借用の願い	切紙	1	
878	52	〔覚〕		6	17	大庄屋元	甚九郎	講金2両1朱お渡しのこと。去丑冬上納の内返納等は貴殿より助九郎へ伝えれば申し出に及ばないこと。	継紙	1	
878	53	〔書状〕		正	15	庄屋甚九郎	大庄屋孫太郎	昨日仰付けの出納金1歩を今日差し上げの旨	継紙	1	書状端に同日付花瀬村宛大庄屋元(印)、金受取の旨あり
878	54	〔覚〕	丑	12		大庄屋元	花瀬村	廻郡達急場分両郡見込わり当り、銭3貫411文。内出銅を引き860文の書上。	切紙	1	
878	55	覚		9	20			蓮根・薦・大根・粟を21日に本誓寺詰方役所へ払いのこと。人足4人22日出方。金1朱今日渡し。甚九郎・儀助22日極早朝詰方のこと。花瀬村分出方・上納の書付	切紙	1	
878	56	覚		7	27	ちとせや孫六	花せ村庄屋甚九郎	諸品代金書上	切紙	1	
878	57	覚		閏	14	畳屋儀平	甚九郎	1貫700文受取の旨	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
878	58	〔書状〕		10	12	庄屋甚九郎	大庄屋孫三郎	10月運上銀延引のところ、今日銭1貫519文差出の旨	継紙	1	書状端に役場(印)、寅10月運上受取の旨あり
878	59	請取		12	29	大日寺村藏方	花瀬村甚九郎	切手2貫文受取の旨	切紙	1	
878	60	〔覚〕	寅	10		大庄屋元(印)		花瀬村分、玉子ほか代銭として1貫470文(他に49文判持)10月8日切で支払のこと	切紙	1	
878	61	請取	丑	12	16	庄屋通太	花瀬村庄屋甚九郎	郡切立分として米2俵8升2合請取の旨	継紙	1	
878	62	〔覚〕						花瀬村郡切立大庄屋支払分米2俵8升2合の書付。飯塚積切達の節、庄屋通太引合渡す事	切紙	1	
878	63	覚		12	29	瓦や弥四郎	花瀬村甚九郎	瓦代600文受取の旨	切紙	1	
878	64	請取		12	24	大庄屋元役場(印)	花瀬村甚九郎	鶏1羽請取の旨	切紙	1	
878	65	〔書状〕		3	4	相田村兵内	庄屋甚九郎	甚九郎が持たせた曽藏殿講金の内お預かり手形分を慥かに請取、預かり手形を使いに直に渡した旨	継紙	1	
878	66	受取		12	7	勝右衛門	甚九郎	1貫700文残り高内、1貫500文受取の旨	切紙	1	
878	67	〔覚〕						子年～寅年分の玉子・鶏代銭支払の書上。寅年分に仕向拝借につき取立覚あり	折紙、綴	1	折紙2枚を一穴綴にする
878	68	〔書状〕		12	29			歳替の祝儀として米1俵、御急利へ成す。忝なく残らず受納する旨	継紙	1	
878	69	受取		12	27	柴屋藤三郎	花せ庄屋甚助	米2俵受取の旨	切紙	1	
878	70	〔書状〕		12	24	大庄屋孫三郎	庄屋甚九郎	除米今朝津出を承知、郡切立銭口残り早々支払のこと	切紙	1	
878	71	預り手形	卯	2	15	花瀬村甚九郎	御連中	当月22日切で金2歩1朱預り。内400文は米代立用とす	継紙	1	
878	72	覚						甚九郎分支払、21両202朱の内訳。座料・竈代・人別割当など	折紙	1	
878	73	覚						人別金銭割当の書付	折紙	1	
878	74	〔覚〕						「一、米壱升五合、甚九郎様、若松雑用」と墨書あり	切紙	1	付紙が剥離したものか
878	75	〔書状〕		12	26	藤四郎六右衛門	花セ村庄屋甚九郎	花瀬村、御通銭払口銭1貫652文未納につき1人差立支払いのこと	継紙	1	
878	76	〔覚〕						「すて、ろふそく、払、油、まり、助蔵引合」と墨書あり	切紙	1	継紙が剥離したものか
878	77	受取		12	29	大庄屋孫三郎(印)	庄屋甚九郎	福岡行願出銅として銭300文(玉子10)受取。花瀬村銭口未納につき明朝飛脚差出す旨	継紙	1	
878	78	覚	寅	12		萬屋五八郎	花セ村甚九郎	酒2升(夫太20)4人より算用済みの旨。他に100文4人分受取の旨。	継紙	1	「御酒」と端裏書あり
878	79	請取	寅	12	20	司馬屋藤三郎	花瀬甚九郎	米13俵請取の旨	継紙	1	継目1箇所ヤブレあり
878	80	受取	卯	9	10	蓮台寺村庄屋半次郎	花瀬村庄屋甚九郎	撰米8升4合受取の旨	切紙	1	
878	81	受取		10	28	舟頭清右衛門	花瀬村与平	米4俵受取の旨	切紙	1	前後欠

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
878	82	請取		12	29	千歳や孫六	花瀬庄屋元	米2俵請取の旨	継紙	1	「千様」と端裏書あり
878	83	受取	子	12	28	大庄屋元(印)	花瀬村	寅年郡切立米として2俵8升2合、若松奉行行として玉子10受取の旨	切紙	1	
878	84	受取	寅	12	28	庄屋卯右衛門(書印)	庄屋甚九郎	歳暮出銅分として切手1歩受取の旨	継紙	1	
878	85	覚		正	27	柴屋藤三郎	花せ村甚九郎	打綿3斤向として米2俵受取	切紙	1	
878	86	請取	卯	6	23	ちとせや孫六(筑前飯塚千孫印)	花瀬村庄屋甚九郎	切手7貫150文受取の旨	切紙	1	
878	87	請取		11	20	司馬屋藤三郎	花瀬甚九郎	先日5貫文分立用として米2俵請取の旨	切紙	1	
878	88	請取	寅	12		いきす酒屋五八郎	庄屋甚九郎	内□川5升、与八七三より請取の旨	切紙	1	
878	89	覚						米2俵代として丁銭6貫文渡す旨	切紙	1	
878	90	請取	みヵ	12	5	司馬屋藤三郎	庄屋甚九郎	米1俵請取の旨	切紙	1	
878	91	覚	子	12		森崎屋喜左衛門	花瀬武七	先日用録にて申置分御用付の節として8月15日分、3貫400文の書上	継紙	1	
878	92	覚	丑年	12	15	新吉	大日寺村貞右衛門	米1俵受取の旨	切紙	1	
878	93	来寅仕組出銭割	丑		12	大庄屋元(印)	花瀬村	薦田六右衛門払として銭11貫924文の書付	切紙	1	
878	94	〔廻文〕		12	26	年番庄屋甚九郎(印)	幸袋村庄屋長五郎(書印)、相田村同勝右衛門(書印)、目尾村同安平(書印)、片嶋村同六右衛門(書印)、中村同仁右衛門(書印)、〔　〕村同野七(書印)、柳橋村同佐八(書印)、吉北村同甚十郎(書印)、庄司村同孫市(書印)、伊支須村同卯右	先日大日寺村・飯塚村同役願出により、歳暮支度出納銭として1村1貫文宛今日お渡しのこと。脇村々からは昨日銭受取の旨	継紙	1	書状裏に「諸方請取、諸用交、書共」と墨書あり
878	95	受取	卯	8	8	庄屋彦右衛門(印)	花瀬村	奉行下向達雑用銭として銭295文受取の旨	切紙	1	
878	96	覚		12	16	さつまや新作	庄屋甚九郎	金銭下地指引の書付、不足分220文受取の旨	切紙	1	
878	97	〔覚〕						「寅丑冬受取入ル卯夏迄入」と墨書あり	切紙	1	金銭書上の反古紙に記される
878	98	請取		3	6	司馬屋藤三郎	花瀬村庄屋甚九郎	米1俵受取の旨	切紙	1	
878	99	預り手形	安政2卯	2		花瀬甚九郎(印)、安恒幸吉(印)		当卯3月5日限り引替として丁銭3貫600文預りの旨	切紙	1	後欠か
878	100	請取		12	25	司馬屋藤三郎	花瀬甚九郎	米2俵受取の旨	切紙	1	
878	101	おぼへ	寅	12	17	幸袋又夫貞右衛門	花瀬甚九郎	十助仕立講金として5貫865文受取の旨	切紙	1	
878	102	請取	寅	12		司馬屋	甚九郎	米2俵受取の旨	切紙	1	
878	103	覚		12	26	柴屋藤三郎	花セ甚助	米2俵受取の旨	切紙	1	
878	104	覚		12	29	ちとせや孫六(筑前飯塚千孫印)	花瀬村甚九郎	米1俵支払のこと	継紙	1	
878	105	請取		12	26	司馬屋藤三郎	花瀬村~~与八~~甚九郎	1貫322文受取の旨	切紙	1	「柴屋受取」の端裏書あり
878	106	受取	丑	12	22	南尾村左吉〇	花瀬武七	すえ養育米代として銭5貫700文受取の旨	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
878	107	覚	寅	11		花瀬村庄屋甚九郎	御役場和六	役場払、出福費用等として銭・鶏・玉子支払いの書上	継紙	1	
878	108	請取	子	3	16	花瀬□右衛門		半縄2束請取の旨	切紙	1	印2箇所あり
878	109	覚		7	10	薩摩屋新作	庄屋甚九郎	米2俵代6貫文の内、2貫85文支払不足のこと	切紙	1	
878	110	請取	卯	2	14	ちとせや孫六	花瀬村庄屋甚九郎	預り口の内米1俵受取の旨	切紙	1	
878	111	受取		11	15	ちとせや孫六（筑前飯塚千孫印）	花セ村庄ヤ甚九郎	米1俵受取の旨	切紙	1	
878	112	請取		11	23	舟頭庄右衛門	花瀬甚郎	米6俵受取の旨	切紙	1	
878	113	覚	丑年	12	24	徳屋	花瀬村庄屋甚九郎	米13俵、他に運賃米として1斗5升2合請取の旨	切紙	1	
878	114	受取	丑	8	3	秋松村十藏（印）	花瀬村大和甚助	大日寺・川津・伊川かし米利方不足分として銭14貫570文受取の旨	継紙	1	
878	115	請取		2	14	青柳大炊（花押）	花瀬村庄屋甚九郎	拝借金3朱受取の旨	切紙	1	
878	116	請取	寅	12	29	いきす酒屋五八郎	花せ村甚九郎	米2俵受取の旨	切紙	1	
878	117	〔折紙〕						何も記されず、白紙	折紙	1	借用仕證文之事（嘉永7年寅正月、萬屋佐四郎殿宛花瀬村庄屋甚九郎（印）、米3俵借用の旨）の反古紙を使用
879	1～44	〔袋〕						袋上書「卯年 切符請取入 大日寺村」、袋裏書「役目調子」	袋	1	879-1～44を一括する袋
879	1	覚	卯	10	8	古川助右衛門	花瀬村庄屋大和甚九郎	米82俵日田方口に受取、他丑冬暮米25升4合3勺不足のこと	継紙	1	
879	2	〔書状〕		12	11	庄屋伴藏	庄屋大和甚九郎	当村喜郎貸戻しの件につき、同人御紙面の趣を承知せず。入割を諭し、半高4段だけ取るよう談じたので是迄の證文持参の節付落に指立の旨。	継紙	1	
879	3	〔覚〕	卯	12		大庄屋清水宅右衛門（印）		大日寺村分、人馬出方・大〔銀〕送り・非常3触送り等銭高勘定のこと	継紙	1	
879	4	〔覚〕						鶏代銭の支出金銭書上	折紙	1	
879	5	十月運上	卯	10		大庄屋許（印）		大日寺村分、来る8日切の10月分運上銭369貫501文の書上。	継紙	1	
879	6	〔覚〕				大庄屋許（印）		大日寺村分、明後2日限で杉・松代として丁銭2貫737文、ほかに1貫780文支払のこと	継紙	1	
879	7	〔覚〕	卯	7		大庄屋許（印）		大日寺村分、来る10日限で飛脚夫銭・愛宕山御初穂・面役紙墨料等銭支払のこと	継紙	1	
879	8	〔覚〕	卯	11		大庄屋許（印）		大日寺村分、来る8日限で11月上納銀支払のこと。上納銀高の書上あり	折紙	1	
879	9	穂波郡大日寺村庄屋組頭乍恐御願申上ル事（案）	慶応3	10		大日寺村庄屋〔弥〕作、田中儀平、同村々一	上座下座嘉麻穂波御郡御役所	当村庄屋卯右衛門、先代より證文を頂戴した御山の伐除き跡に杉檜植え立てを願う。山の坪数書上あり	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
879	10	覚						子冬未進銭差引ほか、米高・銭高差引の書上	継紙	1	
879	11	〔覚〕	卯	11		大庄屋許(印)		大日寺村、又左衛門・勝作の明星寺山杉代銀、村中免用末葉代など合銀16貫445文を当月限で支払のこと	切紙	1	
879	12	〔覚〕	卯	11		大庄屋許(印)		長防再征、及び口々国中割出銭分として大日寺村銀504貫600文を今月限で支払のこと	継紙	1	
879	13	〔覚〕	卯	11		大庄屋許(印)		大日寺村分、櫨実代銭805文、林木余米代20貫787文を来る29日限りで支払のこと	継紙	1	
879	14	〔書状〕		12	晦日夕	中村庄屋三右衛門	大日寺庄屋大和甚九郎	大日寺村分皆納されないため、藏奉行より大庄屋へ当用運賃備分取立の命あり。今夕この書状到着次第組頭を以て備運賃支払いのこと。私指示通りに證文を認め持たせれば私よりもなるだけとりなし開済になるよう取りはからう旨。	継紙	1	
879	15	―――(ママ)庄屋組頭乍恐御願申上候事(案)	慶応3	4		~~大日寺村組頭取作五郎~~作五郎、同村組頭弥作、同田中儀平、同村庄屋助役良右衛門、同村庄屋大〔和〕甚九郎	上座下座嘉麻穂波御郡御役所	当村又五郎、庄司村幸右衛門女子養育、生活難渋などで月米1俵1升3合未納につき、裁許を願う	継紙	1	
879	16	四月運上	卯	4		大庄屋許(印)		花瀬村分銀2貫84文、来る9日限りで支払のこと	切紙	1	綴穴1箇所あり
879	17	四月運上	卯	4		大庄屋許(印)		大日寺村分銀7貫682文、来る9日限りで支払のこと	切紙	1	綴穴1箇所あり
879	18	覚		2	20	儀七郎	庄屋大和甚九郎	目録を添え17貫700文を御役頭様へ送ること、残分は今夕中に取立て送ること	切紙	1	
879	19	〔書状〕		極	30	和三郎	大和甚九郎	御仕廻になったか尋ねる。先日より相談の金子差支の件につき、私名代として悴が参る旨を伝える	切紙	1	
879	20	〔覚〕	卯	10		大庄屋許(印)		大日寺村の大行事取立分(新穀詰替半高、養育米ほか)米高を記す	切紙	1	
879	21	〔覚〕	卯	11		大庄屋許(印)		郡切立米として大日寺村米14俵2斗4升4合を来たる29日限りで支払のこと	切紙	1	
879	22	受取	卯	12	25	か〔と〕や次助(印)	大和甚九郎	大日寺卯平より米2俵受取の旨	切紙	1	
879	23	案文　御当用御備運賃米御囲分御願申上ル證札之事	慶応3卯	12		大日寺村組頭一、一、同村庄屋一	大行事御取立所御役所	備運賃米として米一預り。早春藏出前に利足を加え大行事に付出、納める旨	継紙	1	
879	24	〔覚〕						人名書上。計47人	折紙	1	
879	25	十一月上納銀	寅	11		大庄屋元(印)		大日寺村分上納銀高の書上	折紙	1	綴穴1箇所あり
879	26	穂波郡大日寺村庄屋組頭乍恐御願申上ル事(案)						当村頭百姓良右衛門、近年作方悪く、分家等で難渋のため再び抱田地の不上納と救助を願う	継紙	1	
879	27	請取	卯	11	24	帯屋〔助〕(印)	大日寺村御一所方	不足分の米4俵受取の旨	切紙	1	
879	28	〔覚〕		10		大庄屋許(印)		大日寺村、御通分上納米高の書上。	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
879	29	〔穂波郡大日寺村庄屋乍恐御願申上ル事(案)〕	—	—	—	大日寺村庄屋—、同村組〔頭〕—	御武具方御役所	当村茂平仕組炭貫売につき詮議あり、当4月中頃笹栗村炭問屋甚蔵に1俵500文宛、10俵貫売したことに対し寛大な処分を願う	継紙	1	
879	30	請取		6	22	庄屋清水寿作(印)	庄屋大和甚九郎	武具方納金善兵衛分として銀札21貫800文受取の旨	切紙	1	
879	31	〔請取〕		12	23	角屋次吉	庄屋大和甚九郎	米2俵受取、残米も今日中に支払のこと	切紙	1	
879	32	〔覚〕	寅	12		大庄屋許(印)		林木余米代として大日寺村銭26貫125文を来る23日限りで支払のこと	継紙	1	
879	33	旅人運上銀当月分		5	5	良右衛門	庄屋大和甚九郎	銭1貫120文と玉子30請取の旨	切紙	1	
879	34	預り手形	慶応3卯	5		花瀬村大和甚九郎(印)、證人飯塚宿源太夫〇	小野善三郎	正金18両の預り手形。来る10月20日限り引替のこと(同日まで利無し)	切紙	1	
879	35	〔書状〕		8	29	柳橋庄屋？右衛門	庄屋大和甚九郎	大日寺村聞頭中良右衛門、仕組諸払切の内、私買取分を同人未進のため貴様立用のこと。良右衛門へは手形お渡しのこと	継紙	1	
879	36	受取	卯	3	7	大庄屋許(印)	大日寺村組頭勝蔵	上納銭不足分として正金8両1朱(銀預80文)受取の旨	継紙	1	
879	37	〔覚〕	卯	11		大庄屋許(印)		大日寺村、来る29日限りで米12俵5升7合囲米運賃大行事取立の旨	継紙	1	
879	38	〔覚〕		11	15	普請方彦四郎	庄屋大和甚九郎、大日寺組頭勝蔵	花瀬村、大日寺村、大行事大工手伝夫銭未払いにつき、お渡しのこと	切紙	1	
879	39	〔覚〕	卯	10		大庄屋元(印)		大日寺村、本米の内諸差紙上納として米126俵差出のこと	切紙	1	
879	40	———(ママ)庄屋組頭乍恐口上書を以申上ル事(案)	(慶応3)	10		大日寺村□□、庄屋、組頭	御仕組革御会所	当村□□次右衛門不勘弁の儀あり、9月8日召捕。同人以外に当村卯一、新助、隣家の者も不埒の儀あり。寛大な処分を求める	継紙	1	同紙奥に同内容の案文あり。閲覧不可
879	41	〔覚〕	卯	12		大庄屋元(印)		大日寺村分上納銭高の書上。不足分83貫354文は、改役文吉・大行事利助・大庄屋元から支払う	折紙	1	綴穴2箇所あり
879	42	平七諸品付立						すりうす、やり木、桶ほか品名と数量を記す	横帳	1	折紙4枚(内1枚後欠)を一ツ綴
879	43	〔覚〕						「ひの給、於両給、さんじ給」	切紙	1	
879	44	受取		11	21	〔水〕へ千武七(印)	庄屋大和甚九郎	大縄束14渡、預り置く旨	切紙	1	
880	1～54	〔包紙〕	酉	11	20	花瀬甚九郎(花押)	〔　〕(破損)久左衛門	鶏1羽、但生作りの預り手形の反古紙断簡を使用	包紙	1	包紙・紙縒で880-1～54一括
880	1	請取	亥	12	30	いきす酒屋(店印)	花瀬甚九郎	米2俵受取の旨	切紙	1	店印不鮮明のため解読不可

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
880	2	覚		12	23	源次郎	大日寺村庄屋大和甚九郎	切手8貫106文を正金3歩で支払、90文返す旨。手形通り正金2歩2朱差送り、請取のこと	継紙	1	
880	3	覚		正	4	ちとせや孫六	庄屋甚九郎	諸品代1歩2朱書上	継紙	1	
880	4	覚		9	21	かじ利助	花瀬村彦三郎	3月2日、9月18日のすきの葉金入れ、鍬先ほか諸品代金7貫175文の書上	切紙	1	
880	5	覚	亥	12		孫一	花瀬彦三郎	正月24日～5月21日分、12月分の諸品代金書上	継紙	1	880-6～9を880-5で一括。880-5全体を平紙紐（反古紙）ひねり結びで一括
880	6	受取		10	28	司馬藤	甚九郎	札20貫文、米1俵受取の旨	継紙	1	880-6と880-7は同
880	7	請取	亥	12	28	ちとせや孫六	花瀬庄屋甚九郎	米1俵受取の旨	切紙	1	
880	8	受取		12	28	司馬屋藤三郎	花瀬村彦三郎	諸品代銭6貫340文受取の旨	切紙	1	880-8と880-9は同
880	9	覚	亥	12		ちとせや孫六	花せ村庄屋甚九郎	諸品代銭2貫240文請取の旨	切紙	1	
880	10	覚	子	5	4	かじや利助	大和甚九郎	正月～5月分、馬のかませ金、又火ばしほか諸品代銭1貫520文の書上	継紙	1	
880	11	約定書之事	寅	3	朔	尾崎屋酒場	花瀬清衛門	煎から代の内300文手付請取、残金を当月20日限で引替のこと	切紙	1	
880	12	請取	丑	12	21	古川伝三郎（印）	花瀬村庄屋大和甚九郎	扶持米上物として蔵米24俵受取の旨	切紙	1	
880	13	覚		4	18	釜屋惣右衛門	上	銭1貫250文請取の旨	切紙	1	
880	14-1	覚		7	26	司馬屋藤三郎	大和甚九郎	諸品代銭書上、計13貫254文	継紙	1	14-1と14-2同折
880	14-2	覚	子	7	26	ちとせや孫六	大和甚九郎	諸品代銭書上、計1貫560文	継紙	1	
880	15	請取		2	19	司馬屋藤三郎	庄屋甚九郎	蔵米3俵受取の旨	切紙	1	
880	16	受取		12	18	紙屋新助（印）	花瀬村甚九郎	米2俵受取の旨	切紙	1	
880	17	請取	戌	4	26	さつま屋新作	庄屋甚九郎	米2俵受取の旨	切紙	1	
880	18	人別證拠之事	文久2	2		同郡飯塚宿明正寺（印）、無住ニ付無極寺掛持散詮（花押）	牧市内、寺井茂八郎	穂波郡花瀬村仁平女房・くま・せい・芳五郎4人が当寺旦那であることを記す	切紙	1	
880	19	覚		3	18	いきす酒場	又三郎	3月16日に酒3升請取の旨	切紙	1	
880	20	覚	亥	12	27	あいた与右衛門	花瀬彦三郎	3貫400文の内、2貫430文請取の旨	切紙	1	
880	21	請覚	亥	12	27	いきす酒屋五八郎	庄屋大和甚九郎	米1俵（内3合欠）請取の旨	切紙	1	
880	22	請取		7	24	中村然右衛門（印）	花瀬村庄屋大和甚九郎	銀預51匁受取の旨	切紙	1	
880	23	請取		12	13	司馬屋藤三郎	花瀬村庄屋甚五郎	夜前に銀札3貫文請取の旨	切紙	1	
880	24	請取	戌	4	12	枝国村庄屋半右衛門	大日寺村庄屋甚九郎	触用銭15貫588文請取の旨	切紙	1	
880	25	覚	戌	4	12	古川久右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	11月・3月の借用金書上。合銀2貫371匁6分。	切紙	1	
880	26	覚		7	16	千孫	花瀬村庄屋甚九郎	諸品代銭1貫210匁受取の旨	継紙	1	
880	27	覚		4	20	勝右衛門	庄屋甚九郎	面役紙墨料と針代口々として銭422文請取の旨	切紙	1	
880	28	覚		4	16	蛭子屋平左衛門	花瀬村庄屋甚九郎	3月21日金子8両貸に対し元利合わせて56貫576文返済、請取の旨	継紙	1	
880	29	〔覚〕						名古屋、高山、是永等の地名と数量、代銭を記す	継紙	1	前後欠か
880	30	請取	子	11	3	片嶋出役中（印）	花瀬村	囲米64俵受取の旨	切紙	1	
880	31-1	〔請取〕				片嶋長藏分		米1俵請取の旨	切紙	1	31-1～3同折

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
880	31-2	請取	亥	12	27	糀屋源右衛門(店印)	花瀬村庄屋甚九郎	米1俵受取の旨	切紙	1	店印不鮮明のため解読不可
880	31-3	請取		12	27	ちとせや孫六	花瀬甚九郎	米3俵受取の旨	切紙	1	
880	32	請取	亥	12	29	糀屋源藏	花せ村庄屋甚九郎	米2斗6升請取の旨	切紙	1	
880	33	請取	亥	12		ちとせや孫六	花瀬庄屋甚九郎	米2俵受取の旨	切紙	1	
880	34	請取	亥	12	28	紺屋又右衛門(印)	庄屋大和甚九郎	銭4貫文請取の旨	継紙	1	
880	35-1	覚		10	20	かじ利助	花瀬村甚九郎	諸品代銭計5貫265文の書上	継紙	1	35-1・35-2同折
880	35-2	覚	子	10	9	かじ利助	花瀬村庄屋甚九郎	10月分、諸品代銭の書上	切紙	1	
880	36	請取		6	14	大庄屋元(印)	庄屋大和甚九郎	深町文蔵殿寸志夫銭として銀預1貫250文請取の旨	切紙	1	
880	37	覚	亥	4	20	帯屋久右衛門(印)	大和甚九郎	戌11月・12月の借用金算用書付。残金296匁4分	継紙	1	880-37は880-37-1～5を内包
880	37-1	受取	亥	5	3	出勤庄屋直右衛門(印)	花瀬村	大庄屋元割付雇夫給人賃分として銭3貫600文請取の旨	切紙	1	
880	37-2	請取		3	10	三経寺(印)	花瀬庄屋甚九郎	銀預1両、口々の門銀1貫900文寺納の旨	切紙	1	
880	37-3	覚				庄尾や重右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	諸品代銭書上、計6貫290文	切紙	1	
880	37-4	覚	未	7		庄尾や重右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	御買物代、3貫210文書上	切紙	1	
880	37-5	請取		11	25	山口屋和七	花瀬村	玉子15請取の旨	切紙	1	
880	38	覚	寅	7		ちとせや孫六	花瀬村甚九郎	正金札供々30貫文請取の旨	継紙	1	
880	39	おほへ		4	20	さつ新	甚九郎	米1俵代4貫650文の内3貫770文支払のこと	切紙	1	
880	40	覚	卯	3	11	かじ利助	花瀬村甚九郎	正月～3月の諸品代銭書上、計3貫840文	切紙	1	
880	41	覚		11	13	角屋和蔵	花瀬村甚九郎	六右衛門殿替分、56貫168文請取の旨	継紙	1	
880	42	覚		6	30	柴屋藤三郎	花瀬村庄屋甚九郎	諸品代銭書上、計8貫250文	継紙	1	
880	43	おぼへ		4	28	かじ甫助	花セ甚九郎様入用	諸品代銭書上、計560文	切紙	1	
880	44	覚		2	21	ちとせや孫六	庄屋甚九郎	諸品代金書上、計520匁	継紙	1	
880	45	請取	酉	12	朔	いきす酒屋五八郎	花せ甚九郎	銭口として八木2俵受取の旨	切紙	1	
880	46	請取	酉	12	朔	さつま屋新作	庄屋甚九郎	餅米2俵受取の旨	切紙	1	
880	47	覚		4	18	いきす酒屋五八郎	庄屋甚九郎	上製6升ほか酒代金書上。計4貫830文	切紙	1	
880	48	〔書状〕		正	27	大宮司	庄屋甚九郎、組頭勝右衛門	大学改宗并加行につき上納銀2月17日限で両村整えのこと、未年以来の借用金元利につき桜井出方前に算用のこと、払證拠案文差出のこと	継紙	1	
880	49	請取		4	23	川津村組頭〔くに〕作(書印)	大日寺村庄屋甚九郎	銀札6貫220文請取の旨	切紙	1	
880	50	請取	戌	4	13	本寺役僧(印)	庄屋甚九郎、武七	米1斗わり、銭300文わり寺納の旨	切紙	1	
880	51	覚		4	18	いきす酒屋五八郎	花瀬村甚九郎	申5月～酉6月の酒代金算用。残り11貫315文不足	継紙	1	
880	52	請取		5	16	小倉屋喜四郎	花瀬甚九郎	からせ6升3合請取の旨	切紙	1	
880	53	宗旨御改ニ付證拠之事	文久2	2		穂波郡大日寺村庄屋甚九郎	桜井大宮司様御役所	当村居住磯吉殿、当村宗旨帳面指除。以後御支配帳面に加える旨を記す	切紙	1	奥書に「外に白紙ニ印判被成御送可被遣候」とあり

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
880	54	受取		6	6	太三郎	花瀬村	2貫462文請取の旨	切紙	1	金額に見消あり。奥書に「枝国村分」とあり
881	1～23	〔袋〕	子	12	4			袋上書「元治元年 目録入 子十二月四日 大和彦三郎」	袋	1	881-1～23を一括する袋。金銭書上等の反故紙を使用。上から紙縒がかけてある
881	1	覚		5	22	ちとせや孫六	花せ儀三郎	米1俵受取の旨	継紙	1	
881	2	覚	子	12		さつまや新作	花せ村庄屋甚九郎	「5貫180文、亥年同6貫」	継紙	1	
881	3-1	〔書状〕		12	29	然右衛門	大和甚九郎	清右衛門殿前給銭の内、当冬分受取の旨。〔篠〕崎氏より談合になり、残分は来丑6月・11月両度に支払の願い。清右衛門預ヶ物書上あり	継紙	1	881-3-1～3同折
881	3-2	受取		12	29	大行事利助（書印）	花瀬村	3貫305文請取の旨	切紙	1	
881	3-3	〔書状〕		12	27	大庄屋清水宅右衛門	庄屋大和甚九郎	諸上納銭大造不足につき催促	継紙	1	
881	4	覚		12	24	司馬屋藤三郎	庄屋甚九郎	米2俵受取の旨	切紙	1	
881	5	酒通	文久4子	正	11	伊支須酒屋五八郎	庄屋大和甚九郎	正月～12月にかけての御通帳。人名、酒の名・量・代金を書上	小横帳	1	下げ二ツ目綴、全20丁（内、墨付6丁）、表紙・裏表紙あり
881	6	替し手形		12	29	〔花〕野　宮（書印）	大和甚九郎	まかなひ代として米1俵お渡しのこと	切紙	1	
881	7	請取		12	26	司馬藤	甚九郎	米4俵受取の旨	切紙	1	
881	8	覚		12	24	源太夫	正や甚九郎	「米2俵　宛」	切紙	1	
881	9	覚	子	12		紙屋新助	花瀬　甚九郎	亥ノ年染代銭15貫515文の内、残り3貫465文請取の旨	継紙	1	
881	10	請取		12	29	こんや又右衛門	花瀬　甚九郎	銭4貫500文請取の旨	切紙	1	
881	11	請取	子	12	28	糀屋源蔵	花せ村庄屋甚九郎	糀代として米1俵、同2斗4升請取の旨	切紙	1	
881	12	覚	子	12		糀屋源蔵	花せ村庄屋甚九郎	8月～11月にかけての糀の量、合6斗5升4合の書上	切紙	1	
881	13	受取		正	28	〔醤〕屋正五郎（筑前□□□屋印）	花瀬村儀三郎	米8俵受取の旨	切紙	1	店印不鮮明のため解読不可
881	14	覚	子	12		乙丸紺屋又右衛門	花瀬村庄屋大和甚九郎	代銭書上、合4貫560文。亥ノ不足分900文と合わせて5貫460文	継紙	1	
881	15	覚						金銭出納書上	継紙	1	
881	16	覚						かつを、くじら、べにうこんほか諸品代銭と数量書上。ほかに卯三郎行、源太夫行、紺屋行あり	切紙	1	上部1箇所ヤブレあり
881	17	覚	子	12		かじ利助	花瀬彦三郎	諸品代銭書上、合600文	切紙	1	
881	18	覚	子	12		伊き須酒屋五八郎	庄屋大和甚九郎	人別に酒代金書上	継紙	1	
881	19	覚	子	極		蛭子屋平左衛門	花瀬村庄屋甚九郎	預り手形入分ほか金銭書上	切紙	1	
881	20	覚		12	27	司馬藤	花瀬村庄屋甚九郎	金銭書上、合2貫620文	継紙	1	
881	21	覚		4	13	司馬屋藤三郎	花瀬庄屋甚九郎	金銭差引の書上、18貫552文不足	切紙	1	
881	22	覚	子	11		司馬屋藤三郎	花瀬村庄屋甚九郎	諸品代銭書上、合58貫557文	継紙	1	
881	23	覚		3	23	司馬屋藤三郎	花瀬庄屋甚九郎	金銭差引の書上、22貫667文不足	継紙	1	
882	1～18	〔袋〕						袋上書「戌冬請取入」	袋	1	882-1～18を一括。袋は反故紙を使用

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
882	1	請取		12	27	左兵衛	庄屋甚九郎	歳暮贈として蓮根1丸請取の旨。役所帰宅の上、届ける旨	切紙	1	
882	2	受取		12	27	角屋長兵衛	甚九郎	銭24貫500文請取の旨。手形は七右衛門預りのため、同方より急便で送る旨	継紙	1	
882	3	覚	戌	12		紙屋新助	花瀬甚九郎	7月～11月にかけての諸代銭2貫200文請取の旨	継紙	1	
882	4	覚	戌	12		か〔屋〕孫一	花瀬彦三郎	諸品代銭書上	切紙	1	
882	5	受取	戌	12	16	青柳式部(印)	甚九郎	返済、当年給料米として2俵1斗受取の旨	切紙	1	
882	6	受取申上候事		極	16	帯屋伝三郎(印)	花瀬村彦三郎	銭7貫837文請取の旨	切紙	1	
882	7	受取		12	16	カメヤ惣市(印)	花瀬村茂四郎	米1俵受取の旨	切紙	1	
882	8	受取	戌	12	14	〔花〕野　宮(印)	甚九郎	米4俵6升受取の旨	切紙	1	
882	9	覚	戌	12		千年屋孫六	花瀬村与平	米2俵受取の旨	継紙	1	
882	10	覚	亥	3	19	山口太夫　町口平馬(印)	花瀬大日寺両村御庄屋大和甚九郎	山口宮初穂入1封受取の旨	継紙	1	
882	11	覚	亥	2	28	かじ利助	花瀬村庄屋甚九郎	ゑべす金ほか諸品代銭書上、合1貫文	切紙	1	
882	12	覚		12	28	〔川旦〕山口屋和七	花瀬村	米1斗受取の旨	切紙	1	本紙端下部破損あ
882	13-1	請取	戌	12	23	さつま屋新作	庄屋甚九郎	米1俵請取の旨	切紙	1	13-1と13-2は同折
882	13-2	請取	戌	12	24	ちとせや孫六	花瀬庄屋甚九郎	米4俵受取の旨	切紙	1	
882	14	請取		正	21	深町又蔵	庄屋甚九郎	米4俵受取の旨	切紙	1	
882	15	〔書状〕		12	22	庄屋伴七	庄屋甚九郎	当村撰り米代わりとして米1斗1升9合、内山口初穂分を引いた2升9合お渡しのこと	切紙	1	
882	16	〔書状〕	戌	12	28	椿村庄屋青柳市平次	花瀬村庄屋甚九郎	去冬取替の金子元利として銭12貫220文請取の旨。證文は追って返す旨	継紙	1	継目に剥離ヶ所あり
882	17	覚	戌	12		さつまや新作	花セ村庄屋甚九郎	代銭差引、諸品代銭の書上。2貫700文の内、残る1貫200文受取の旨	継紙	1	
882	18	請取	戌	12	29	紺屋又左衛門(印)	花瀬甚九郎	切手2歩請取の旨	切紙	1	
883	1～8	〔袋〕						袋上書き「酉五月廿一日 石代上納書類入 花瀬建花寺両村分」	袋	1	883-1～8を一括。罫紙反故紙を使用
883	1-1	記		3	27	林田平三郎、林田平右衛門	両村副戸長衆中	石代2歩5厘納分差出として金札81円（蓮台寺村同40円50銭、建花寺村銅40円50銭）渡す旨	切紙	1	883-1-1は883-1-2～4を内包。883-3～5を同折
883	1-2	石代上納目録	申	11	26	〔林〕屋彦五郎	建花寺村副戸長大和甚九郎	貢米、貢大豆合113円42銭上納の書上	継紙	1	
883	1-3	〔書状〕		1	3	戸長麻生賀太郎(印)	各村々副戸長衆中	石代上納半高不足につき明日中飯塚役場へ払込のこと。相田村、伊川村、蓮台寺村・建花寺村、伊枝須村の不足分書上あり	継紙	1	相田村、伊川村、伊枝須村の下には書印あり
883	1-4	記		3	27	小野組取次高崎四郎八(印)	建花寺蓮台寺村	77円納手数料として銭37銭受取の旨	切紙	1	
883	2	覚		12	2	紅屋嘉平	中上彦吉様	金銭差引の書上。2円69銭2厘不足	切紙	1	奥書に「建」と墨書あり
883	3-1	請取	酉	5	22	七大区調所（第七大区調所印）	建花寺村	石代上納仮証券1枚として金173円82銭7厘請取の旨	切紙	1	883-3-1は3-2を内包。印は朱印

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
883	3-2	〔記〕		5	23			建花寺村分、金173円82銭7厘手数料として金1円39銭1厘を5月23日納の旨を記す	切紙	1	印あり
883	4	請取	酉	3	26	第七大区仮調所(印)	建花寺村副戸長大和甚九郎	石代上納として金140円請取の旨。甚九郎納。	切紙	1	
883	5	請取	酉	3	27	第七大区仮調所(印)	建花寺村	石代上納として金38円請取の旨	継紙	1	
883	6	請取	壬申	12	2	金子融(印)、伊藤登(印)	中上彦吉	280円89銭6厘請取の旨。内、証247円86銭9厘は中上彦吉納。	罫紙	1	綴穴1ヶ所あり
883	7	記		3	26	小野組取次高崎四郎八(印)	建花寺村	140円納手数料として銭67銭2厘請取の旨	継紙	1	
883	8-1～2	〔包紙〕						包紙上書き「建花寺村石代上納納メ請取入ル」。罫紙反古紙(記・明治6年酉5月23日付、建花寺村保長大和甚九郎(印))を使用	包紙	1	包紙・紙縒で8-1～2を一括
883	8-1	記	酉	5	16	古川三平	花瀬村	酉・申年上納金銭書上。端裏書「古川三平殿用六、花瀬村石代上納納メ目録入」あり。切紙1点(酉5月22日付、花瀬村宛七大区調所(第七大区調所印)の請取)が糊付される	切紙	1	
883	8-2	穂波郡壬申税収納帳写						花瀬村分田税、畑税、口米、口大豆の書上	罫紙	1	綴穴2ヶ所あり
884	1～13	〔袋〕						袋上書き「辰正月ヨリ 切符請取入 大日寺村」	袋	1	884-1～13を一括。袋は反故紙を使用
884	1	〔書状(写)〕		正	21		大庄屋ニ当ル	長崎非常手当のため郡夫差出のこと、この節□取計のことは蒸気船で大阪より御用揚陸のこと。村ごとに派遣人数書上あり	折紙	2	書状写か。折紙2枚あり
884	2	〔覚〕	辰	2		大庄屋許(印)		大日寺村分、御上京御用金として金2両3歩を来る13日限で上納のこと。勝蔵・彦右衛門、田中伊平の名あり	切紙	1	
884	3	請取	辰	2	21	大庄屋清水宅右衛門(印)	極庄屋大和甚九郎	御上気雇夫銭として銀預17貫700文請取の旨	切紙	1	
884	4	〔書状〕		2	朔	石田和七(印)	大日寺村庄屋大和甚九郎	御茶屋御用の小竹武束竹根伐につき去冬大日寺村勝蔵に證拠を渡すが、未だに出方なし。急々入用につき取り計らいのこと。又、彦四郎と申合、早々出方のこと	継紙	1	
884	5	〔書状〕		3	6	勝蔵	庄屋大和甚九郎	借用銭并に惣平払の分として切手6貫600文今日差出、請取のこと	継紙	1	
884	6	〔覚〕						村名(頭文字のみ)及び人名21人書上	折紙	1	
884	7-1	〔書状〕		2	17	庄屋和六	庄屋大和甚九郎	大日寺村余米口を請取しているか確認。下落につき甚だ難渋、1日でも早く先方に渡したいので1両日中に付出しのこと。一昨年口割米口より良右衛門殿せり物その他證文につき御用懇を頼	継紙	1	884-7-1は7-2を内包

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
884	7-2	〔書状〕		2	22	和六	大和甚九郎	手元差し支えにつき急ぎ付出のこと。卯・寅年分の人別米高書上あり、これも延引ないよう願う	継紙	1	
884	8	請取	辰	2	9	大庄屋清水宅右衛門	極庄屋大和甚九郎	御上気御借り金として正金2両受取の	継紙	1	
884	9	〔書状〕		正	10	上下嘉穂郡役所(印)	庄屋大和甚九郎	村送高〔毛〕、立込のため代除く旨	切紙	1	
884	10	正月十八日飯塚役宅出会御用談		正	18			用談内容の書付。農兵御立内達の御趣意立入評議之事。領内急変の際上下凡300人差越につき、覚書内容を心得のこと	継紙	1	
884	11	覚		2	11	助役儀七郎	庄屋大和甚九郎	上京雇立夫銭残金請取の旨	継紙	1	
884	12	〔書状〕		3	7	庄屋和六	庄屋大和甚九郎	当地證文請取余米延引につき早々附出のこと	継紙	1	
884	13	請取	辰	2	12	大庄屋許(印)	大日寺村	〔丞〕通人足雇賃金として銭98貫328文、正金2両2朱請取の旨	切紙	1	
885	1～4	〔袋〕						袋上書き「村雑用書上入 花瀬 大日寺両村」	袋	1	885-1～4を一括。袋は反故紙を使用
885	1	〔書状〕		3	19	安永直	福沢十平、大和甚九郎、同姓武七	薄田藤右衛門と相談、捨切承知のこと。閏野大宮司への返答は勝七引合で早々否を伝える旨	継紙	1	
885	2-1	覚						借用金銭差引の書上。銭306貫39文不足	継紙	1	855-2-1は2-2を内包
885	2-2	覚						借用金銭差引の書上	継紙	1	
885	3	〔包紙〕						包紙のみ	包紙	1	包紙反古紙を使用する
885	4	〔書状〕		2	25	安永直	大和甚九郎	角七より大日寺明日入込取調の上返答の旨あり、そのため触口へ御願いの儀は当村見合のこと。	切紙	1	
886	1～13-12	〔包紙〕			15			包紙上書き「いぎす五平 休助殿書類 十助一件 十五日□□」	包紙	1	886-1～13-12包紙・紙縒で一括。ほどけた平紙紐1点、紙縒1点あり。包紙は包紙反故紙を使
886	1-1	覚	辰	3		大庄屋(印)	庄屋甚九郎	当年不足分・触講・巳仕組銭ほか9貫745文支払のこと、今日より郡役所より1人入込の旨	継紙	1	886-1-1～7紙縒で一括
886	1-2	〔覚〕						包銭、日田追割関係書付	継紙	1	
886	1-3	〔覚〕						「五貫弐百七文　日田、弐貫三百八文触用」	切紙	1	
886	1-4	口上				大日寺村助右衛門	甚九郎	去冬貴方より村方米3俵御救について、貴方より借用ある者へは渡さず、未進百姓救いに使った旨。この代料残りを割渡した口々より取立指返すしかほか返済の方法はないこと	切紙	1	
886	1-5	覚						人別に上納・返済米銭高を書上	折紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
886	1-6	覚						花瀬村分上納金高を書上、2両5合8勺5才惣不足	折紙	1	886-1-7を内包する
886	1-7	〔書状〕		正	16	大庄屋宅右衛門	庄屋甚九郎	其村日田年賦銭不足分今日中支払のこと、賄證拠別紙送るので請取のこと	継紙	1	
886	2	〔覚〕						安平より頼込一件についての覚書	切紙	1	
886	3	覚						庄屋関係諸覚書。川普請関係、休助・十助一件あり	綴	1	切紙1枚、継紙1枚、全2枚を一穴ひねり綴する
886	4-1	覚		11		甚九郎	休助、□□	両村山益銭高、巳年御用金元3両代合銭6貫701匁5分5厘引合の旨	切紙	1	後欠。886-4-1～16紙縒で一括
886	4-2	〔書状〕		4	13	大庄屋彦右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	願書拝見、願書勝手次第のこと	切紙	1	
886	4-3	〔書状〕		4	23	大庄屋彦右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	先年又蔵・利助焚石益銭請負の件で、御用六へ益銭相封じ、休助より弁ずることについて話し合いのこと	継紙	1	
886	4-4	〔覚〕						「和助、半六、与平、茂七、利右衛門〆五人、外ニ三両丑春御拝借立用」	切紙	1	
886	4-5	〔書状〕		2	4	大庄屋清水宅右衛門	庄屋甚九郎	明日御用会の出欠を問い合わせ	継紙	1	
886	4-6	〔覚〕						庄屋関係諸覚書	切紙、継紙、綴	1	切紙3枚、継紙1枚、全4枚を一穴ひねり綴する
886	4-7	〔書状〕		正	7	中村三四郎	花瀬村庄屋甚九郎	旧冬罷越すも甚九郎不快で面談できず。使者同道で拙宅まで罷出るか組頭1人・一族間より1人差越のこと	切紙	1	
886	4-8	〔書状〕		12	26	庄屋儀兵衛	庄屋甚九郎	安平儀について、私才判できないため、名代組頭か一族から1人安平方と話し合いを提案。その可否を問う	切紙	1	
886	4-9	〔書状〕		2	2	中村三四郎	花瀬村庄屋甚九郎	先比より手元へ罷越すよう掛合うもいまだ出方なし。貴殿不快ならば一族内、組頭を早急に遣わすこと	切紙	1	
886	4-10	〔書状〕		12	28	庄屋通太	庄屋甚九郎	当宿十助差引の儀につき、来正月15日過に出儀のこと	継紙	1	
886	4-11	〔書状〕		11	17	大庄屋卯平	花瀬甚九郎	重助一件、いづれ両人立会、聞人として彦右衛門と私罷出につき、お手元より日限究め、伊支須へも相談のこと	継紙	1	
886	4-12	〔書状〕	午	8	23	山元見ヶ〆役四方平	花瀬庄屋甚九郎	郡代郡屋泊なし、一昨日閏野庄屋へ近々出会を願い、日限わかり次第お知らせの旨。蛭子屋方目録取置のこと	継紙	1	
886	4-13	〔書状〕		11	23	大庄屋彦右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	焚石一件、十助方殊の外痛み年内囲米上納できず。半六救いの件について	継紙	1	
886	4-14	〔書状〕		8	21	飯塚庄屋通太	花瀬村庄屋甚九郎	十助一件、頃日委細普請方十蔵殿へ咄合を頼み、同人承知の旨	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
886	4-15	〔書状〕		11	5	大庄屋清水宅右衛門（印）	川津（書印）、横内（書印）、潤野、大日寺、花瀬、伊支須（書印）右村々庄屋・組頭衆中	上納銀切符の件。触雑用の内米出の件。触用取替の鶏玉子ほか触用分は急ぎ喜七へ目六を出すこと	継紙	1	本紙端に切紙3点（潤野村・大日寺村・花瀬村分種子物請取）が一穴片結びで綴られる。本紙奥に書状1点（11月5日付、柳橋口番孫助より大日寺村庄屋儀七郎殿宛、糊付あり開封不可）糊付される。
886	4-16	穂波郡花瀬村庄屋組頭乍恐御伺申上ル口上之覚	天保9	3		花瀬村庄屋甚九郎、同村組頭茂七、同弥助	上座下座嘉麻穂波御郡御役所	花瀬村百姓6人が飯塚宿糀屋孫六より借り入れた米の返済をめぐり、甚九郎證文奥書について伺う	横帳	1	折紙6枚を一ツ綴。
886	5	〔覚〕						庄屋関係諸覚書。石山一件（安平、いいづか十五郎、彦七関係）、田地下作、川土手普請ほか	継紙	1	「二月五日ニ出方仕」と端裏書あり
886	6-1	〔書状〕		12	27	イキス彦右衛門	花瀬甚九郎	五平・半兵衛より六蔵・貴公へ遣わし見通しにつき、勝手次第取り計らいのこと	継紙	1	886-6-1～4紙縒で一括
886	6-2	〔書状〕		極	29	庄屋半兵衛	庄屋甚九郎	親父算用残りにつき、正月面談の上片付けのこと。覚代・かり金・雑用も私より差出のこと	継紙	1	
886	6-3	預り		3	3	いき須　五平（印）	花瀬庄屋甚九郎	私上納分替わりとして金子3両1歩2朱請取	切紙	1	
886	6-4	〔書状〕		2	19	いきす五平	花せ村庄屋甚九郎	先日より引き合いの金子の件について記す	継紙	1	
886	7-1	覚	戌	8		蛭子屋重助	花瀬村庄屋甚九郎	金銭書上。合銭38貫467文請取前の旨	折紙	1	綴穴2箇所あり。886-7-1～8紙縒で
886	7-2	覚	巳	12		花瀬甚九郎	蛭子屋重助	金銭差引の書上。〆銭372貫524文	継紙	1	「蛭十」「十助」の端裏書あり
886	7-3	〔覚〕						庄屋関係諸覚書。川土手、十助石代、相田一件、建花寺一件ほか	切紙	1	後欠か
886	7-4	覚	午	3	17	四方平、又蔵、利助	甚九郎	金銭書上（若松会所甚九郎通、潤野通ほか）。3貫600文不足の旨	切紙	1	
886	7-5	〔書状〕	午	12	23	蛭子屋重助	花瀬村庄屋甚九郎	役頭様より閏野山催金話し合い、半決として其元様算用のこと	継紙	1	
886	7-6	〔書状〕		12	23	庄屋通太	庄屋甚九郎	当宿重助一件につき、彦右衛門家屋敷質入、同人甚だ難渋のこと	継紙	1	7-6～8は平紙紐で一括
886	7-7	約定證拠之事	天保4巳	4	21	いいづか蛭子屋重助（筑飯蛭子重印）	花瀬村庄屋甚九郎	焚石100斤につき代銭32文を出方の上追々算用の旨	切紙	1	
886	7-8	覚						重助分、金銭書上。〆銭372貫524文	切紙	1	後欠。「蛭子十助分」と端裏書あり
886	8-1	穂波郡花瀬村庄屋組頭乍恐御願申上ル口上之覚（案）	弘化4	4		花瀬村庄屋甚九郎、同村組頭弥助、同儀介	上座下座嘉麻穂波御郡代御役所	洪水により田地損毛、又当村人少につき上納不足。当年未進拝借を願う	継紙	1	886-8-1～2紙縒で一括

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
886	8-2	穂波郡花瀬村庄屋組頭乍恐御願申上ルロ上之覚（案）				〔花瀬村庄屋、組頭〕	〔上座下座嘉麻穂波御郡代御役所〕	洪水により田地損毛、上納不足につき金子拝借を願う、又甚九郎悴甚助より上納不足米銭貸し渡しについてお救いを願う	継紙	1	
886	9	覚						粮米代、給米請取不足ほか米銭高書	折紙	1	一穴綴、紙縒あり
886	10	〔書状〕		12	25	若菜ヨリ弥四郎	花瀬村庄屋甚九郎	今日帯屋に罷出、休助焚石益銭預り分一切払うとの返答あり。入割について段々話し合いのこと	継紙	1	
886	11	〔書状〕		2	14	中村三四郎	花瀬村庄屋甚九郎	安平儀につき昨日罷越、約定の通り潤野村役場迄早々出儀のこと	切紙	1	
886	12	〔覚〕						普方夫の人着くこと、安平隠高のこと、当村川土手のことほか記す	切紙	1	上部欠
886	13-1	潤野山買上ケ一切取替ひかへ帳	天保4巳	4	吉	大和甚九郎		十五郎、中〔　〕方ひかへ。表紙上書き「十五郎、石代」。おほへ、諸品取替など金銭書上	横帳	1	全7丁（墨付7丁）。886-13-1～12紙縒で一括
886	13-2	〔書状〕		12	22	大庄屋彦右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	石山一件郡屋で調べ、卯平の申す通り十五郎方へ申付の筈。郡切立米遣わすこと。内野下代殿おくさ代受取の旨	継紙	1	
886	13-3	御請申上ル事	午	3		花瀬村庄屋甚九郎	大庄屋清水宅右衛門	3月11日に大庄屋へ差し出した、安平一件に関して述べたもの	綴	1	13-3～8紙縒で一括。13-3はほかに切紙1点（安平関係）を一穴綴する
886	13-4	覚						安平一件、巳年御用金、益銭ほか庄屋関係諸覚書	切紙	1	
886	13-5	花瀬村庄屋甚九郎口上書ヲ以御願申上ル事	天保9	11		花瀬村庄屋甚九郎（印）	大庄屋弥四郎	蛭子屋重助、石倉屋十五郎に売り渡した花瀬潤野山焚石代銭・益銭をめぐり、急ぎ算用片付を願う	継紙	1	
886	13-6	覚	戌	11		花瀬村庄屋甚九郎	大庄屋弥四郎	休助受持御用金・益銭、石倉屋十五郎分、蛭子屋十助分の金銭高書上	折紙	1	綴穴1ヶ所あり。13-5と関連か
886	13-7	御仕組焚石郡屋約定證文之事	天保4巳	3		四方平（印）、又蔵（印）、利助（印）	花瀬村庄屋甚九郎	益銭六銭1貫目上納の旨	切紙	1	
886	13-8	御仕組焚石郡屋請負約定證文之	天保4巳	3		山元見ヶ〆役四方平（印）	花瀬村庄屋甚九郎	潤野山分益銭6銭900目請負の旨	継紙	1	
886	13-9	〔書状〕		10	20	大庄屋弥四郎	花瀬庄屋甚九郎	帯屋休助・石倉屋十五郎・蛭子屋十助掛合差引の件につき、善吉様指示により以後拙者差引の旨	継紙	1	
886	13-10	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ルロ上之覚	天保9	3		花瀬村庄屋甚九郎	上座下座嘉麻穂波御郡御役所	焚石山仕組をめぐる安平、蛭子屋重助、石蔵屋十五郎借用金一件の経過を記し、裁許を願う	継紙	1	
886	13-11	〔請取綴〕				筑前飯塚石蔵屋十五郎ほか	甚九郎、儀三郎ほか	石蔵屋を中心に請取證文類をまとめたもの	綴	1	切紙27点を一穴綴する。破損注意
886	13-12	〔書状〕	午	閏5	28	勝屋三五郎	花瀬村甚九郎	花野村石山丁場仁助差引の件につき、当春より御願いの通り丁銭差出なし。これを承知の人は明朝出儀のこと	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
887	1～9	〔袋〕						袋上書き「大和甚九郎担当分 ~~改正~~皆済帳受取纏連 一二三四五六」	袋	1	887−1～9は紙縒で一括した上、袋に入る。罫紙反古紙を使用する
887	1	第七大区合計写				大和甚九郎		朱筆で「官有地民有地合計案文、田畑収穫増布達」とあり。第7大区の土地面積の書上	竪帳	1	全7丁（墨付7丁）。紙縒で二ツ綴
887	2	合計				保長印、副戸長印、区長印（朱筆）	福岡県令渡邉清	山林合計面積書上の例文。ほかに明治8年11月付の議事案例文あり	綴	1	全6丁（墨付6丁）。紙縒で二ツ綴。付紙
887	3	第七大区中宅地山林藪秣場代償書上控簿	9	4				大和甚九郎分	竪帳	1	全9丁（墨付9丁）。紙縒で二ツ綴。
887	4	仮請取証	明治9	4	29	浦上皆渡（印）	大和甚九郎	金15円の受取証	切紙	1	
887	5	〔記〕						民林地代償20ヶ年分金14万7051円の内訳書上	罫紙	1	綴穴1ヶ所あり、付紙あり
887	6	〔書簡〕		7	28	浦上皆渡（印）	大和甚九郎	□講備の金30円借用の証書送付のこと、野見山の件について	罫紙	1	綴穴1ヶ所あり
887	7	記						金子銀伊東万六負償金下込請持分、買上余米渡代1季分など金銭算用書上	綴	1	折紙1枚、罫紙3枚を紙縒で一ツ綴する
887	8	〔通達〕		12	13			山林について公有地・民有地か取調のこと。別に通達令1条～12条あり	綴	1	全5丁（墨付5丁）。紙縒で二ツ綴。罫紙は福岡県銘のものを使用
887	9	第七大区村々新田■（入力不能、方にりっとう）書写帳						新田全3168町8反7畝21歩の内訳書上	竪帳	1	全5丁（墨付5丁）。紙縒で一ツ綴。
888	1～19	〔袋〕						袋上書「子六月弥右衛門一件帳面并書類入ル 子二月師子一件雑用書入ル」、袋裏書「□組合人数四十六人 内男弐拾六人女弐拾人 歳十六 喜六男子 又□ 子八月 二平一件書類入ル」、	袋	1	888-1～19袋一括。袋は反古紙を使用、紙縒あり
888	1	〔覚〕						七右衛門取立の上納銀高と11月12日売立割取帳にて割当覚。人別に金銭高を書上る	綴	1	折紙1枚、継紙1枚を紙縒で一ツ穴ひねり綴
888	2	〔受取〕		9	9夕	福井邑善六	弥助	金3歩受取の旨	切紙	1	
888	3	諸品売立代銭取立帳	子	12改				人別に金銭高書上	横帳	1	全5丁（墨付5丁）。紙縒で一ツ綴
888	4	〔覚〕	子	10	22改			弥右衛門分ほか人別に金銭高書上。雑用入切及び受取帳あり	綴	1	全5丁（墨付5丁）。紙縒で一ツ穴綴
888	5	〔覚〕	子	10	22改			正平分ほか人別に金銭高書上	綴	1	全3丁（墨付2丁）。紙縒で一ツ穴ひねり
888	6	〔覚〕						金銭算用覚、人別に金銭書上あり	綴	1	全8丁（墨付8丁）。紙縒で一ツ綴
888	7	〔覚〕		8	13改			二平牛代一件につき、明星村二助立会の上、申合の諸品代金書上。ほか上助未進銭高書上、諸品代金書上あり	綴	1	全3丁（墨付3丁）。紙縒で一ツ穴綴。紙縒結び目に史料2点

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
888	8	覚						人別に金銭高書上	横帳	1	全3丁（墨付3丁）。紙縒で一ツ綴
888	9	覚			12			～9月9日迄、渡した金銭高を人別に書上	横帳	1	全3丁（墨付3丁）。紙縒で一ツ綴。紙縒に史料1点が結びつけられている
888	10	〔覚〕						仁平分〆1貫708文の内訳書上。人別に金銭高を書上	折紙	1	
888	11	覚						金銭書上。割当金・諸雑用・肝煎役并手伝共に礼物〆10両2朱の割当を書上	折紙	1	
888	12	覚						諸品代金書上	綴	1	折紙3枚、切紙1枚を紙縒で一ツ穴綴
888	13-1	〔廻文〕		5	9	花瀬村庄屋甚九郎、建花寺村肝煎役甚七	鞍手郡下村兵次郎、粕屋郡山尾与六、同郡若杉村儀平、八木山村徳次、伊川村正次郎、建花寺村利助、嘉麻郡鷺三緒村藤治郎、片嶋村武市、中村和平、村ノ甚太郎	当村弥右衛門大金引負、道付のため家敷売払。この相談のため来る12日当村へ集まることを願う	継紙	1	13-1～5平紙紐で一括
888	13-2	〔覚〕		8	12	花瀬村仁平（印）、同仁助（印）	福井村右平、善六	牛代金不足3歩しばらくお待ちのこと	切紙	1	
888	13-3	預り手形之事		4	24	花瀬邑弥右衛門	下三緒邑藤次郎	牛代金1両の預り手形。当28日限り	切紙	1	
888	13-4	證文	子	5	4	花瀬村彦次郎（書印）	鶴三緒村藤次郎	売主弥右衛門の牛代金2両2歩、内1両当月8日限り算用のこと	切紙	1	
888	13-5	牛馬買入手形	嘉永5	4		借主弥右衛門（印）、受人彦二郎（印）	鷺三緒村藤二郎	作牛1疋を1両2歩で買取の旨	切紙	1	
888	14	〔廻文〕		5	9	花瀬村庄屋甚九郎、建花寺村肝煎役甚七	鞍手郡下村兵次郎、粕屋郡山尾与六、同郡若杉村儀平、八木山村徳次、伊川村正次郎、建花寺村利助、嘉麻郡鷺三緒村藤治郎、片嶋村武市、中村和平、村ノ甚太郎	当村弥右衛門大金引負、道付のため家敷売払。この相談のため来る12日当村へ集まることを願う	継紙	1	13-1と同内容
888	15	〔書状〕		5	15	笹栗改役新平	建花寺村肝煎役甚七	花瀬村弥右衛門、山王畑与六へ作牛代金未払いにつき代金支払いを求める	継紙	1	
888	16	〔書状〕		5	9	鷺三緒藤弐郎	花瀬村庄屋甚九郎、建花寺村肝煎役甚七	私儀弥右衛門殿不仕切のところ御免、いずれお目に掛かる旨	切紙	1	
888	17	證拠之事	嘉永4亥	4		花瀬村買主弥右衛門（印）、同邑庄屋甚九郎（印）	片嶋邑武市	牛1疋、代金1両2歩1朱にて買取の旨	切紙	1	
888	18	〔覚〕						諸方割合手元より取立分の金銭高書上	折紙	1	史料下部欠、綴穴2ヶ所あり
888	19	〔覚〕						人別に諸品代金書上	継紙	1	史料裏に手習いあり

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
889	1～34	〔包紙〕						包紙上書「椿横　四藏引付入」	包紙	1	889-1～34包紙・紙縒で一括。包紙は8月25日付甚九郎殿宛清水宅右衛門書状の反古紙を使用
889	1	申御上納御通り				大日寺村藏方	花瀬村彦三郎	徳米・同大豆・諸上納ほか全6俵1斗3升2合書上。三所銀・諸口割ほか全3貫321文書上	折紙	1	
889	2-1～9	〔包紙〕						包紙上書「椿年々引付入ル」	包紙	1	889-2-1～9包紙・紙縒で一括。包紙は極月晦日付甚九郎殿宛□助書状の反古紙を使用する
889	2-1	嘉永二年分御上納目録	酉	12		椿藏方(印)	武七	徳割・追割・津出しとして米全2俵4升9合、内4升9合不足。銭口〆5匁4分	切紙	1	889-2-1～5迄紙縒一ツ穴綴で一括
889	2-2	覚	酉	3		椿藏方(印)	武七	申年分米1斗1升1合、銭18匁1分1厘受取の旨	切紙	1	
889	2-3	弘化四年分上納受取		6	5	庄屋孫右衛門(印)	甚九郎	〆1俵3斗2升7合、残り5升1合不足の旨	切紙	1	
889	2-4	覚	午	11		椿村藏方(印)	甚九郎	弘化3年分御年貢米受取の書上。〆2俵5升9合の内5升9合不足。銭口〆5匁8分4厘	継紙	1	
889	2-5	弘化二年分御年貢米通	巳	11		藏方(印)	甚九郎	〆2俵4升3合、内4升3合不足。銭口〆4匁6分	折紙	1	
889	2-6	安政五年分御上納目録	午	12		椿村藏方(印)	花瀬村甚九郎	〆米7俵1斗4升7合の内5俵1斗4升7合不足。銭口〆5貫640文	折紙	1	
889	2-7	嘉永四亥年分上納目録	未	4		椿村庄屋市平次(印)	花瀬村庄屋甚九郎	嘉永4亥年～午年分の上納米・銀の書上	横帳	1	全5丁(墨付5丁)。紙縒一ツ綴で一括
889	2-8	覚	未	7	12	庄屋市平次(印)	庄屋甚九郎	田地代銭40貫600文の内、12貫800文請取の旨	継紙	1	
889	2-9	安政四年分御上納目録	巳	12		椿村藏方(印)	花瀬甚九郎	〆米6俵1升2合の内4俵1升2合不足。銭口〆4貫684文	折紙	1	
889	3	目録				横田村藏方		子年分上納銀・津出ほか不足銭高920文、借用銭高の内不足分7貫577文の書上	切紙	1	
889	4	請取	寅	6	12	横田村庄屋彦三郎	花瀬村甚九郎	丑冬藏不足分・銭不足分〆7貫454文の内3貫254文請取の旨	切紙	1	
889	5	藏目録	酉	12		藏方	花セ甚九郎	徳米・諸上納・村雑用ほか〆3俵1斗1升の内4升不足。銭口〆1貫143文内702文不足	折紙	1	
889	6	覚	子	11		花瀬甚助	儀右衛門	借用銭高算用の書上。〆銭3貫994文	継紙	1	
889	7	〔覚〕						花甚助分の触若松出銀書上。18日切	切紙	1	
889	8	覚		12	28	庄司勝右衛門	花瀬甚九郎	銭高引合、17貫530文請取のこと	継紙	1	
889	9	嘉永六年丑藏通	(嘉永6)			横田藏方		甚九郎分。〆5俵1斗9升9合の内3俵2斗3升4合不足の旨	折紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
889	10	嘉永七寅藏通	(嘉永7)					甚九郎分。徳米・諸上納ほか〆3俵2斗6升。上納銀・返上口郡屋ほか銭1貫386文の書上	折紙	1	
889	11	〔覚〕		12		横田村蔵方(印)	花瀬村庄屋甚九郎	元り合米6俵2斗3升8合8勺の書上	切紙	1	
889	12	嘉永四年分藏通	亥	12		横田村蔵方	花瀬村庄屋甚九郎	徳米・諸上納ほか合3俵2斗5升4合。残り2俵2斗4升2合	折紙	1	
889	13	〔藏通〕	嘉永3			蔵方	甚九郎	徳米・諸上納ほか〆3俵7升9合の書上。上納銀指割共に残り銭312文	切紙	1	継紙が剥離したものか。付紙1点あり
889	14	〔上納目録〕						戌年分の米3俵7升9合と亥上納通前米3俵2斗5升4合の書上	継紙	1	
889	15	〔覚〕						甚九郎丑ノ年分の跡割・上納銀・刎取・津出銭高799文の書上	切紙	1	
889	16	〔覚〕	丑	正	24		花瀬村勘助	「丑正月廿四日、花瀬村勘助殿」	切紙	1	前後欠か
889	17	覚	牛	12	22	船頭勝次	花瀬村蔵方	花瀬より大日寺上納として米2俵受取の	切紙	1	
889	18	〔請取〕				蔵方	甚九郎	米1斗5升8合請取の旨	折紙	1	
889	19	嘉永七年分御上納目録	寅	10		椿村蔵方(印)	武七	徳米・追割・津出し合米3俵1斗1合。残り1俵1斗1合不足	折紙	1	
889	20	〔上納目録〕	巳	12		横田蔵方		甚九郎分。徳米・諸上納ほか合3俵1斗5升8合の書上	折紙	1	
889	21	覚						米銭高差引の書上	切紙	1	後欠
889	22	〔書状〕		11	晦	よこた蔵方	花瀬村甚助	去冬銭不足あり、今日中にお払いのこと。不足銭高書上あり	継紙	1	
889	23	〔上納目録〕	卯			蔵方		甚九郎分。徳米・諸上納ほか合3俵2斗9升1合の書上。上納銀もお払いのこと	折紙	1	
889	24	受取	丑	12		蔵方	助藏	米1斗7升受取の旨	折紙	1	
889	25	〔上納目録〕	嘉永5子	12		蔵方善十、角右衛門	甚助	花瀬甚九郎分。徳米・諸上納ほか〆3俵1斗4升9合の書上	折紙	1	
889	26	覚		12	25取	藏方	甚九郎	去不足元□・大豆た□・上納銀・講割〆銭1貫81文の算用書上	折紙	1	折り目に破損あり。□は破損
889	27	〔上納目録〕	(安政3辰)			横田村蔵方	花瀬村甚九郎	安政3年辰年分。徳米・諸上納ほか合3俵1斗4升4合。触雑用若松見込割・津出不足ほか銭1貫28文の書上	切紙	1	史料上部に付紙1点あり(巳7月25日付甚九郎様宛横田村蔵方善十による銭受取の旨)。
889	28	覚						銭受取、上納関係銭高書上か	継紙	1	
889	29	〔覚〕	申	12		横田村蔵方善十	甚九郎	上納銀不足・跡割・大豆上納ほか〆銭3貫282文。残り2貫67文不足の旨	継紙	1	
889	30	〔上納目録〕		12	24	横田蔵方		甚九郎分。徳米・諸上納ほか〆3俵1斗5升6合の内1升6合不足。津出不足・上納銀ほか〆1貫311文	折紙	1	
889	31	〔書状〕		11	20	横田村庄屋聞次彦〔四〕郎	花瀬村甚助	お手元受持の年貢米上納未進につき早急にお払いのこと。不足銭高書上あ	継紙	1	
889	32	覚		12	18	小〔竹〕直三郎	花セ村　甚五郎	米4俵受取の旨	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
889	33	〔覚〕						花　甚助、畠方割戻り亥拝借年賦同9合、津出不足銭90文。ただし子ノ12月19日切	切紙	1	前欠か
889	34	〔切紙〕						何も記載されず	切紙	1	紙縒2点を内包する
890	1～31	〔包紙〕						包紙上書「未年ヨリ申秋迄受取入ル」	包紙	1	890-1～31包紙・紙縒で一括。包紙は申12月25日付大和甚九郎様宛弁分村庄屋善次郎書状の反古紙を使用
890	1	受取	未	12	24	中村惣次郎、同惣左衛門	庄屋甚九郎	この者へ米2俵お借渡しを願う	切紙	1	
890	2	〔書状〕		4	14	蛭子屋平左衛門	花瀬村庄屋甚九郎	手形分金1両2朱差し上げ、受取のこと	継紙	1	史料端の上部欠
890	3	覚	申	12	12	青柳市平次	甚九郎	11月お預かり入銭10貫200文の差引書	切紙	1	
890	4	覚	申	7	3	市平次(印)	庄屋甚九郎	元利合わせて銭73貫100文請取の旨	継紙	1	
890	5	覚	未	12	27	藤本八郎太夫代　宮城浅右衛門(印)	花瀬村御庄屋甚九郎	初穂として米1斗9升3合5勺神納の旨	切紙	1	
890	6	覚		8	22	さつまや新作	庄屋壬九郎	餅米2俵受取、内4貫500文切手お渡しの旨	切紙	1	
890	7	受取		7	13	青柳式部(印)	花瀬村甚九郎	銭6貫800文請取の旨	切紙	1	
890	8	覚				米助	花せ庄屋甚九郎	なべつる、馬くさり作りかえほか代銭466文の書上	切紙	1	
890	9	覚	申	正		御仕組銀受持　帯屋〔栄〕三郎	花瀬村甚九郎	巳年～未年分丁銭3貫530文上納のこと	継紙	1	
890	10	〔書状〕		正	朔	大日寺村組頭勝右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	先日庄屋より掛合の□□又三郎前給弥助へ渡す件について、米1俵弥助へ貸し渡しを願う	切紙	1	閲覧不可
890	11	覚		7	2	司馬屋藤三郎	花瀬村庄屋甚九郎	諸品代金書上	切紙	1	
890	12	覚		8	21	まつうら屋十五郎	庄屋甚九郎	打綿全17斤の内訳を人別に書上。打綿11斤分代銭米2俵受取の旨	継紙	1	
890	13	請取		2	18	山口屋	花瀬村	鶏410目受取の旨	切紙	1	
890	14	覚				本誓寺	花瀬村甚九郎	不足分3両3分、6貫375文を納めること	継紙	1	
890	15	覚						花瀬分、夫15人分代2貫250文、3ヶ年賦不足6貫375文の書上	切紙	1	
890	16-1	受取		4	23	米屋市三	彦三郎	からせ5升2合請取の旨	切紙	1	890-16-1は890-16-2～9を一括
890	16-2	〔請取〕		2	29	片嶋貞七(印)	花瀬村庄屋甚九郎	札14貫600文請取の旨	切紙	1	16-1と同折
890	16-3	覚	申	3		ちとせや孫六	庄屋甚九郎	午4月10貫567文の書上	切紙	1	
890	16-4	覚		12	19	〔柴〕屋藤三郎	甚助	諸品代金書上	切紙	1	
890	16-5	請取		12	29	椿村孫一郎	花瀬村庄屋甚九郎	丁銭10貫800文請取の旨	切紙	1	
890	16-6	覚	申	閏3		高野山上〔知〕院	花瀬村御庄屋	寄付銀800文寺納の旨	継紙	1	
890	16-7	受取		3	28	大庄屋元(印)	花せ村	銭568文請取の旨	切紙	1	
890	16-8	〔覚〕						金銭高書上。彦三郎、村中、武七各々の数量と代金を書上。〆6貫144文	切紙	1	
890	16-9	受取		5	27	米屋市三	花せ村彦三郎	くわふろ15工受取の旨	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
890	17	〔書状〕		11	26	市平次	甚九郎	相談の金子正金1両預かり持たせの件につき、使者から金子受取のこと	切紙	1	
890	18	請取	申	8	27	清水寿作	花せ村甚九郎	〔香椎〕方講掛金用銭として銀預3貫980文請取の旨	切紙	1	
890	19	覚	申	12		糀屋源右衛門	花せ村庄屋甚九郎	糀分量の書上	切紙	1	
890	20	覚	申	3	11	さつまや新作	甚九郎	残り米2俵請取の旨	切紙	1	
890	21	請取	申	正	27	明星寺村忠次郎	花瀬庄屋甚九郎	金子1両受取の旨	切紙	1	
890	22	〔書状〕		7	8	御通方伊藤孫助	花瀬村庄屋甚九郎	貴村切付の〔薩摩様〕達両年分出銭の内、300文を青柳大炊様方御通り祈祷料へ振替、同人へ渡すこと	切紙	1	
890	23	おぼへ	申	4		かじ甫助	花せ庄屋甚九郎	未の正月～申4月迄の代金書上	折紙	1	
890	24	覚		8	26	かじ利助	甚九郎	6月12日～8月23日迄の代金書上	切紙	1	
890	25	請取	申	2	12	伊岐須酒屋五八郎（筑州穂伊岐須〔萬〕五印）	花せ村甚九郎	米10俵請取の旨	切紙	1	
890	26	〔書状〕		4	21	中嶋宅七	山□屋用作	焼酒の礼。目録通り1貫350文差出、請取のこと	切紙	1	
890	27	覚		7	3	いき須酒屋五八郎	花瀬村甚九郎	米10俵代38貫文の内訳。人別に金銭高を書上	継紙	1	同月付、花瀬村宛いき須庄屋元の切手600文の請取あり
890	28	請取		8	23	まつうら屋十五郎	庄屋甚九郎	米2俵請取の旨。4貫文だけ渡し、残り銭は明日にでも算用の旨	継紙	1	
890	29	受取		10	4	建花寺徳藏	花瀬甚九郎	与九郎出送につき切手入1封預りの旨	切紙	1	
890	30	請取		7	9	大日寺村青柳大炊（印）	大和甚九郎	御通方伊藤孫助より銭300文初穂、御手元様の命で請取の旨	切紙	1	
890	31	覚	未	5	10	米屋市三	花せ村甚九郎	からせ7升5合預りの旨	切紙	1	
891	1	覚	申	12		こんや又三郎	花瀬村甚九郎	織宮かせほか諸品代銭書上〆6貫目90文	継紙	1	891-1と紙縒で891-2～37を一括
891	2	〔人別印形仕候申事〕	子	12		甚平（印）、鹿吉（印）、惣平（印）、甚右衛門（印）、忠作（印）、喜平（印）、吉次郎（印）、半六（印）、与平（印）、又七（印）、与右衛門（印）、勝平（印）、武助、彦三郎（印）、武七（印）、与八（印）、久助（印）、勝右衛門（印）、与作（印）、武右衛門（印）、太平（印）、馬吉（印）、才平、組頭弥助、同用助		御山での生木ほか伐採禁止の達を伝達、人別印形のこと	継紙	1	前欠
891	3	家作二月十四日ヨリ三月九日迄之分凡見込						家作普請の費用書上。〆銭244貫970文	折紙、綴	1	折紙2枚を紙縒一ツ穴綴
891	4-1	当季本通受負臨時孫臨時夫仕組積帳	弘化5申	正				阿蘭陀献上登り、久留米様登りほか飯塚・内野通行の際に請負の人足・馬高を記す	横帳	1	全7丁（墨付7丁）。紙縒一ツ目綴。891-4-1～4-4紙縒

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
891	4-2	〔書状(案)〕						正左衛門近々出郡、本通本人高ほか。後欠	切紙	1	嘉永3年12月付花瀬村庄屋甚九郎殿宛、頭取舟頭長藏・弥右衛門・徳次書状反古紙に記される
891	4-3	覚						本通人足分の銭高書上	継紙	1	後欠か。4-4を内包
891	4-4	人足賃銭定						木屋瀬行、内野行の人足・馬賃銭高書上	切紙	1	
891	5	嘉永五年子二月普請中見舞控帳	嘉永5子	2		大和甚九郎		人別に見舞品を書上	横帳	1	折紙4枚を紙縒で一ツ目綴
891	6	〔覚〕	嘉永2	正				～嘉永4年11月にかけての御役所関係證拠、願書、借用証文等の覚書	綴	1	全12丁（墨付12丁）。紙縒で一ツ目綴。1丁目は後欠
891	7-1～3	〔包紙〕							包紙	1	7-1～3は包紙・紙縒で一括
891	7-1	預り	丑	4		庄屋中	庄屋甚九郎	金100疋の預り。触割の節に引替の旨	切紙	1	
891	7-2	〔書状(案)〕		5	25	甚九郎	与九郎	□□怪我の件について、そのようなことはないことを述べる。「小正掛合」の奥書あり	折紙	1	7-2は7-3を内包する。閲覧不可
891	7-3	〔書状〕		5	26	庄屋与九郎	庄屋甚九郎	当村□□庄屋又十作平押さえ取りの件をめぐり、一昨夜村方より大勢押し掛け。この件について掛合に及ぶ	切紙	1	閲覧不可
891	8	〔書状〕		8	17	組頭勝蔵	庄屋大和甚九郎	調銭取調の件、弥一郎殿より毎度引合の件	継紙	1	書状に破損あり
891	9	〔書状〕		正	24	庄屋長五郎	庄屋甚九郎	證拠送付の件承知、不足分1貫441文支払のこと。金銭高差引の目録あり	切紙	1	
891	10	〔覚〕	巳	11				11月24日請取済の諸口米ほか上納米高と同26日請取済の上納銀割ほか上納銭高書上	折紙	1	綴穴1ヶ所あり
891	11	覚		12	29	大日寺村蔵方	花瀬村庄屋甚九郎	米銭算用書上。山口様御初尾お手元よりお納めのこと	折紙	1	
891	12	安政二卯年収納通	安政2卯					甚九郎分。〆米大豆7俵1斗1升	折紙	1	綴穴1ヶ所あり
891	13	〔収納通〕						甚九郎分。〆米大豆5俵1升4合の差引書上	折紙	1	
891	14	〔目録〕	巳	4	29	大日寺村組頭弥平	花瀬村庄屋甚九郎	上納米〆6俵2斗9升2合、上納銭〆2貫866文の書上。内、2貫72文を巳4月29日請取。	継紙	1	891-15と関連
891	15	〔書状〕		4	29	組頭弥平	花せ村庄屋甚九郎	銭2貫76文請取、別紙目録差し上げの旨	継紙	1	891-14と関連
891	16	嘉永七年御通	嘉永7					甚九郎分。徳米・諸上納ほか上納米大豆〆7俵5升2合の書上	折紙	1	
891	17	〔覚〕						甚九郎分、11月8日切上納銭高〆1貫688文の書上	折紙	1	綴穴1ヶ所あり
891	18	〔覚〕						諸口割ほか上納銭高〆2貫745文の書上	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
891	19	〔藏通〕	丑					甚九郎分、上納米大豆〆6俵2斗4升3合の書上。残り5俵3斗1升5合不足	折紙	1	綴穴1ヶ所あり。奥側に綴穴3ヶ所あり
891	20	〔覚〕		12	7	大日寺蔵方	花瀬村庄屋甚九郎	上納銭高〆2貫771文書上。ほかに米5升2合不足、今日お払いのこと	継紙	1	
891	21	嘉永七年寅米通	嘉永7寅	12	23	大日寺村蔵方	甚九郎	上納米高〆7俵5升2合の書上	折紙	1	嘉永7年寅年通帳もあり。甚九郎分上納銭高〆2貫771文の書上
891	22-1	〔藏通〕	嘉永3戌	9				甚九郎分、上納米大豆高〆7俵1斗1升9合の書上	折紙	1	22-1～5迄は綴（紙縒一ツ穴綴）で一括
891	22-2	〔藏通〕						甚九郎分、上納銭高〆2貫201文の書	折紙	1	
891	22-3	〔藏通〕	酉	12	15	大日寺蔵方	甚九郎	上納銭高〆2貫44文の書上	折紙	1	同日付、甚九郎様宛大日寺村蔵方の銭1貫100文の請取
891	22-4	〔藏通〕	嘉永2					甚九郎分、上納米大豆高〆7俵1斗1升9合の書上	折紙	1	
891	22-5	〔藏通〕	弘化4未	12		大日寺村蔵方助右衛門、又右衛門		甚九郎分、上納米大豆高、上納銭高の書上	折紙	1	
891	23-1	〔藏通〕	子	12	29	大日寺村蔵方	花瀬村庄屋甚助	上納米大豆高〆6俵2斗7升5合、上納銭高〆1貫594文の書上	折紙	1	23-1～4は綴（紙縒ひとつ穴綴）で一括
891	23-2	子ノ藏通	子					甚助分、上納米大豆高〆6俵8升7合の書上	折紙	1	
891	23-3	〔藏通〕						甚九郎分、上納米高（6俵8升6合）、同大豆（1斗3升）の書上。ほか御供米、村雑用等合わせて〆8俵2升6合	折紙	1	
891	23-4	〔藏通〕						甚九郎分、上納銀高〆2貫462文の書	折紙	1	
891	24	覚	戌	12				花瀬村分、米銭高算用書上	折紙	1	
891	25-1	〔藏通〕	戌					戌の年分、上納銭高〆2貫210文の書上。内、2貫28文不足	切紙	1	25-1と25-2は同折
891	25-2	覚	巳	11	11	大日寺村蔵方	甚九郎	上納米高〆6俵2斗4升2合の書上。明後日早朝飯塚迄付け出しのこと	継紙	1	
891	26	辰銭帳通	（辰）					上納銭高〆1貫350文の書上	切紙	1	
891	27	万延元申藏通	万延元申					花瀬村甚九郎分、上納米高2俵2斗8升4合の書上	折紙	1	
891	28	〔覚〕						甚九郎上納銀不足銭93文、畠方銭1貫906文の書上	切紙	1	
891	29	〔書状〕		12	23	彦次郎	花瀬村庄屋甚九郎	蔵方算用目録差し込み、不足分今日お渡しのこと	切紙	1	
891	30	〔覚〕	卯	12				徳割米、諸口割ほかとして上納銭高〆1貫235文の書上	折紙	1	綴穴1ヶ所あり
891	31	〔包紙〕						包紙上書き「大日寺村　藏通入、大日寺引付入ル」。包紙のみ	包紙	1	包紙は12月23日付庄屋甚九郎様宛、大日寺村蔵方書状の反古紙を使用す

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
891	32	安政三辰御通	安政3辰					上納米大豆高〆6俵2斗9升2分の書上。内、3俵は11月3日入	継紙	1	
891	33	戌之年引附写	戌					上納米大豆高〆7俵1斗1升5合の算用書上。残1斗3升9合代銭1貫890文上納のこと	切紙	1	
891	34	覚		12	29	大日寺村蔵方	花瀬村甚九郎	村借用金、秋松米返納不足ほか米銭算用書上。内1俵2斗8升4合不足分を今日お渡しのこと。	継紙	1	
891	35	覚	酉	12		大日寺村蔵方、庄屋〔素〕間鳥助	花瀬甚九郎	上納米高〆12俵9升3合（内運賃1斗5升7合）の算用書上。12月15日すべて払い済み	継紙	1	
891	36-1	覚	辰	6		大内左内	甚九郎	金32両の算用書上。残り金23両差出の	継紙	1	36-1は36-2を内包
891	36-2	覚	辰	6		大内左内	甚九郎	卯4月～辰5月迄の金銭書上	継紙	1	
891	37	〔書状〕	辰	12	17	大日寺村蔵方弥平	花せ村庄屋甚九郎	上納口并に薪代を今日この者へお渡しのこと、別紙引付写を請取のこと	継紙	1	
892	1～28	〔袋〕						袋上書き「糀屋受取横田蔵通入、酉冬請取入、粕」	袋	1	892-1～28を一括する袋。反古紙を使用
892	1	請取	酉	12	28	青柳式部（印）	庄屋甚九郎	米2俵、惣辻16俵請取の旨	切紙	1	
892	2	口舌		12	28	〔閏〕ノ　青柳式部	大日寺ニ而　甚九郎	良右衛門殿余米如何ほどになるか今朝勝蔵様より咄合を伝言する。もし不納の場合は源次郎より持ち込みの金子より算用する旨	切紙	1	
892	3	請取	酉	12	29	いきす酒屋五八郎	花せ村甚九郎	米2俵請取の旨	切紙	1	
892	4	請取	酉	12	29	いきす酒屋五八郎	花せ村甚九郎	人別に請取の米俵数を書上	継紙	1	
892	5	覚	酉	12	23	長三郎	甚九郎	銀預40貫800文の算用書上	継紙	1	
892	6	覚		12	22	庄屋甚九郎		米68俵2斗2升3合の内訳書上	切紙	1	
892	7	請取		12	29	ちとせや孫六	花せ庄屋甚九郎	札1両、米1俵請取の旨	切紙	1	
892	8	請取	酉	12	30	糀屋卯三郎	花せ村久助	米1俵請取の旨	切紙	1	
892	9	〔書状〕		12	30	七右衛門	甚九郎	手形・60文請取のこと。良右衛門口は、かり戻し銀主へ入割の旨を談ずる	継紙	1	
892	10	請取	酉	12	30	大庄屋元（印）	花瀬村	郡切立の内米2俵1斗9升6合請取の旨	切紙	1	
892	11	請取	酉	12	30	大庄屋元（印）	花瀬村	諸上納銭の内、銭2貫文請取の旨	切紙	1	
892	12	覚			大晦日	大行事　利助	花瀬村御蔵御役所	980文請取の旨	切紙	1	
892	13	請取		12	30	米屋彦□	花瀬甚九郎	1貫500文、190文請取の旨	切紙	1	
892	14	覚	酉	12	28			9貫160文の内訳を書上。数量と金銭高を記す	切紙	1	
892	15	受取	酉	12	28	〔笹〕栗村　利八	庄屋甚九郎	米1俵代3貫800文受取の旨	切紙	1	
892	16	請取	酉	12	晦日	大庄屋元（印）	大日寺村	上納銭の内、13貫150文請取の旨	切紙	1	
892	17	〔書状〕		12	30			未進書上、月払い請取のこと。七左衛門より借用の件につき7両だけ借り戻しを承知。又その件の引き合いについて記す	継紙	1	
892	18	〔書状〕		12	晦日	勝右衛門	庄屋甚九郎	今朝迄も未進取約しめるが出来ず、9貫160文遣わすのでこれで取り計らいを願う	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
892	19	請取	酉	12	30	七右衛門(印)	甚九郎	七右衛門内用口外として銭2貫100文請取の旨	継紙	1	同晦日付、大日寺村宛大庄屋役場(印)の米請取あり
892	20	覚		12	30	千歳屋孫六	庄屋甚九郎	米2俵請取の旨	切紙	1	
892	21	受取		12	29	千歳屋孫六	花瀬庄屋甚九郎	米2俵請取の旨	切紙	1	
892	22	藏通		12	28取	横田蔵方	花瀬村甚九郎	講割・三品銀・川出し〆銭1貫143文。内残り703文の旨	折紙	1	
892	23	口舌		12	27	〔閏〕の　青柳式部	大日寺に而甚九郎	16俵の内14俵受取、残り2俵拝借の件は此の節断りの旨	切紙	1	
892	24-1	〔書状〕		12	28	大庄屋役場	庄屋甚九郎	今日付出の米の内、3俵欠立をお聞き置きのこと	継紙	1	24-1は24-2を内包
892	24-2	請取		12	28	大庄屋元(印)	大日寺村	米6俵請取の旨	切紙	1	
892	25	請取	酉	12		糀屋源〔右衛門〕	花瀬村彦三郎	糀代として米2俵請取の旨	切紙	1	
892	26-1	覚		12	28	司馬藤(印)	彦三郎	諸品代金1貫790文請取の旨	継紙	1	26-1と26-2は同折
892	26-2	覚		12	28	ちとせや孫六	花せ彦三郎	諸品代金1貫537文請取の旨	継紙	1	
892	27	受取		12	24	青柳式部(印)	利九郎	米2俵受取の旨	切紙	1	
892	28	請取				司藤(印)	花瀬庄屋甚九郎	正金2両代158匁受取の旨	切紙	1	
893	1～25	〔包紙〕						包紙上書「辰年諸目六入」	包紙	1	893-1～25は包紙・紙縒出一括。包紙は7月12日付花瀬村甚九郎様宛、大日寺村勝右衛門書状の反古紙を使用す
893	1	受取		6	14	森崎屋儀右衛門	花せ甚助	代金609匁受取の旨	切紙	1	
893	2	打綿御通	辰	正	吉	糀屋善五郎(飯塚宮ノ下糀善印)	庄屋甚九郎	名前と代金を記す	小横帳	1	全6丁(墨付6丁)、下げ二ツ目綴で一括
893	3	覚		11	25	糀屋善五郎	庄屋甚九郎	使茂右衛門様渡分の打綿代金書上	切紙	1	
893	4	覚		11	13	松〔岡〕十七	花瀬甚九郎	杉板代金の書上	切紙	1	
893	5	覚						三寸釘代金の書上	切紙	1	
893	6	覚	卯	12		糀屋善五郎	庄屋甚九郎	糀代金と名前の書上。残り1貫403文不足	継紙	1	
893	7	覚		9	5	糀屋善五郎	庄屋甚九郎	糀代金と名前の書上	切紙	1	
893	8	覚		11	2	ちとせや孫六	甚九郎	諸品代金書上	切紙	1	
893	9	覚	卯	11	13	酒屋重五郎	千年屋孫六	諸品代金書上	切紙	1	
893	10	〔覚〕						名前と数量を記す	継紙	1	前後欠か
893	11-1	〔書状(案)〕				甚九郎	百助	金子来季上納の件、去寅年諸足御見用の件、上納銀の件	切紙	1	書状断簡の反古紙を使用する。11-1～3同折。元は継紙だったものが剥離したものか。紙縒はずれ1点あり

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
893	11-2	〔書状(案)〕						去寅年諸足用六の件、当年分銀払の件	継紙	1	元は11-1の2条目の貼紙か。11月29日付甚九郎様宛庄屋儀七郎書状の反古紙を使用する
893	11-3	〔書状(案)〕		12	5	甚九郎	百助	尚々書。退身願いの件について、餅米お受取のこと	継紙	1	
893	12	〔書状〕						重助差引一件について	切紙	1	
893	13	覚	卯	7	12	甘木や勘兵衛	庄屋彦三郎	金銭算用書上、「きめう丸」、「五かん像」ほか〆1貫332文の書上	切紙	1	
893	14	覚		8	25	ちとせや孫六	花せ庄や甚九郎	諸品代金書上	継紙	1	
893	15	〔書状〕						秋月方大坂登り取計の件について	切紙	1	
893	16	覚		5	4	糀屋儀右衛門(筑前飯塚糀儀印)	庄屋甚九郎	不足分1貫825文をこの人へお渡しのこと	継紙	1	
893	17	受取	卯	9	23	飯塚宿船庄屋元	花瀬忠右衛門	若松行杭木2本受取の旨	切紙	1	
893	18	〔書状〕						日田上納返済の件、去亥年相田村上納差支の件について	切紙	1	
893	19	覚		7	9	糀屋善吉	庄屋甚九郎	諸品代金の書上、〆1貫556文	切紙	1	
893	20	覚		9	17	ちとせや孫六	花せ庄や甚九郎	諸品代金書上	継紙	1	
893	21	覚		7	16	糀屋善五郎	庄屋甚九郎	6月2日米2俵代銭の算用書上	切紙	1	
893	22	〔覚〕						寅年分算用書上。名前と数量を記す	切紙	1	
893	23	覚		4	19	糀屋善五郎	庄屋甚九郎	諸品代金書上、〆2貫202文	切紙	1	
893	24	〔書状〕		12	16	帯屋助右衛門(筑前飯塚帯屋印)	花せ甚九郎	御村内櫨実取組につき、馬3疋差出を願う	継紙	1	
893	25	〔覚〕						寅年分算用書上。上納関係か。	切紙	1	
894	1	〔書状〕		6	13	庄屋彦助	花瀬村□□	先約定の金数延引、今日差出しにつき受取のこと、深町左へも御序宜しくお伝えのこと	継紙	1	後欠。894-1で894-2～100迄を一括し、全体を紙縒で一括。紙縒はずれ1点内包する
894	2	受取		7	24	元吉	大和甚九郎	正金6両の内3両請合の旨。長三郎不在のため同人へ引合の上で申し上げる	切紙	1	
894	3	覚		5	15	田部屋太助	大和甚九郎	油かす15斤半代受取の旨	切紙	1	
894	4	覚						借入金、金3両の算用書上	継紙	1	
894	5	請取		12	25	糀や善五郎	庄屋大和甚九郎	甚助殿分買物代16貫300文、米1俵請取の旨	切紙	1	
894	6	覚		6	28	糀屋善五郎	花瀬村大和甚九郎	餅米2斗2升3合請取の旨	切紙	1	
894	7	口演	未	11	5	石田和七(花押)	庄屋大和甚九郎	米2俵の手形請取の旨。年貢為替につき俵拵は勿論、念を入れ引替のこと	切紙	1	
894	8	覚	辰	12		こくら屋き四郎	庄屋甚九郎	借入金算用、〆3貫340文の書上	切紙	1	
894	9	覚		4	25	徳〔前〕町太助(印)	花瀬村大和甚九郎	からに1斗2升請取の旨	切紙	1	
894	10	覚		10	13	蛭子屋庄	吉次郎	銀預90貫400文請取、品渡し済みの旨	切紙	1	
894	11	覚		5	6	糀屋善五郎	花瀬村大和甚九郎	借用金、正金6両の差引書上。内2両5歩請取の旨	切紙	1	
894	12	覚	丑	霜	25	帯屋伝三郎	大和甚九郎	借用金、正金31両2歩の差引書上	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
894	13	覚		3	14	糀屋善五郎	花瀬村甚九郎	1貫409文渡し、4貫205文請取の旨	切紙	1	
894	14	請取		12	29	司馬屋藤三郎(筑飯司馬屋印)	大和甚九郎	餅米1俵請取の旨	切紙	1	
894	15	請取		7	20	内野郡役所(印)	普請方彦四郎	大縄15束、半縄5束請取の旨	切紙	1	破損1ヶ所あり
894	16	〔覚〕		11	12切	役場払(印)		花瀬村の去冬不足分・甘木余米去年分・同当年分の書上	切紙	1	付紙あり
894	17	〔覚〕	辰	10		触口許(印)		花瀬村分。諸口割ほか正金〆6両3合2才5毛の書上。残り銀64貫702文を雇夫賃金正月～当月迄割撰として上納のこと	切紙	1	
894	18	覚						「一、九両六合七勺五才、〆」とあり	継紙	1	後欠
894	19	覚						米65俵の内訳を書上げたもの。人別に俵数を記す	切紙	1	継紙が剥離したものか
894	20	預手形				花瀬村大和甚九郎(印)		正金9両2歩の預り手形。来6月限りで元利共に手形引替の旨	切紙	1	後欠か。破損あり。全体が墨消しされる
894	21	〔覚〕		7	15	かしや利助	花瀬村甚九郎	右の金をこの者へお渡しのこと	切紙	1	前欠
894	22	覚		5	8	角屋和助(筑前幸袋和助印)	花瀬村大和甚九郎	銀預110貫文請取の旨	切紙	1	
894	23	〔達〕			29			其村触用銭7貫500文お払いのこと	継紙	1	
894	24	覚						借用金銭差引の書上	切紙	1	後欠
894	25	〔達〕		3	29	触口役場(印)	花瀬村庄屋、組頭衆中	其村払の米代の内、正金2歩判差廻し。引替急速お払いのこと	切紙	1	
894	26	覚	巳	12	5	石田和七	花瀬村庄屋大和甚九郎	3月切分金3両の内、当月分ほか合わせて3両2合7勺をこの者へお渡しのこと	切紙	1	
894	27	覚	巳	11	26	石田和七(印)	大和甚九郎	蔵米2俵ほか〆3貫120文の算用として、金4両8勺立用のこと	切紙	1	
894	28	覚		12	16	石田和七	大和甚九郎	辰12月～巳12月迄取替金銭の算用書上。差引のため金4両辻をこの者へお渡しのこと。證文はお返しの旨	継紙	1	
894	29	覚	午	7	16	石田虎雄(花押)	大和甚九郎	借用分銀預38貫130文請取の旨	切紙	1	
894	30	覚		正	9	糀屋善五郎	花瀬村庄屋大和甚九郎	正金41貫430文の算用書上。不足分55貫530文お渡しのこと	継紙	1	
894	31	おほへ	辰	12	3	立岩伴右衛門	大和甚九郎	正金23両7合5勺の算用書上。不足分32貫544文お渡しのこと	継紙	1	
894	32	記		3	19	薬屋平一	横田村武七	粳2俵請取の旨	切紙	1	
894	33	〔覚〕						金銭算用書上	切紙	1	前後欠か
894	34	覚	卯	6		帯屋助右衛門	大和甚九郎	合金33両3歩の金銭算用書上	継紙	1	
894	35	覚		12	21	〔糀〕屋善五郎	大和甚九郎	諸品代金書上、〆1貫440文	切紙	1	
894	36	〔覚〕						花瀬分、安直御払下米代正金10両7合6勺の書上。4月29日切で触口元払いのこと	切紙	1	朱筆で見せ消あり
894	37	覚		6	7	酒屋五八郎	大和甚九郎	金札1円の金銭算用書上	継紙	1	
894	38	〔覚〕	寅	3		藤井与三兵衛(印)	大日寺村庄屋山ノ口中	枝国村、若草村、秋松村の杭数等の書上	継紙	1	前欠
894	39	請取	卯	7	7	大行事　利助(印)	花瀬村	杉板124枚受取の旨	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
894	40	〔御郡夫通約〆〕	慶応3			普請方彦四郎(印)		花瀬村分郡夫書上。〆122人不足	折紙	1	綴穴一ヶ所あり
894	41	請取		正	26	難波屋養作(店印)	大和甚九郎	米種代として正金2両、札10貫文請取の旨	切紙	1	店印不鮮明のため解読不能
894	42	請取		正	27	大庄屋元(印)	花瀬村	米3俵請取の旨	切紙	1	
894	43	受取	卯	正	28	〔波〕田屋市藏(印)	花せ大和甚九郎	銀預19貫200文受取の旨	切紙	1	
894	44	覚	卯	12	4	帯屋助右衛門(印)	大和甚九郎	6月元〆33両5歩の算用書上。内、3両5合4勺3才7毛受取の旨	継紙	1	
894	45	〔書状〕		7	27	小正村庄屋卯平	花瀬村庄屋大和甚九郎	ばくろうより出銭、銀札700文を其村惣吉殿へお渡しのこと	継紙	1	
894	46	請取		正	18	大庄屋役場(印)	花瀬村	正金2歩1朱、札3貫900文請取の旨	切紙	1	
894	47	諸返納口々請取	卯	12	11	大庄屋清水宅右衛門	花瀬村	米4俵請取の旨	切紙	1	
894	48	受取	卯	3	11	大庄屋許(印)	庄屋大和甚九郎	田方御通1冊受取の旨	継紙	1	
894	49	請取	卯	2	29	古川助右衛門(印)	大和甚九郎	□米6俵請取の旨	切紙	1	
894	50	受取		7	7	旅人方善三(印)	庄屋大和甚九郎	旅人運賃として7貫550文受取の旨	継紙	1	
894	51	夫通	慶応2	5		花瀬村		郡夫出方の書付か	小横帳	1	全4丁(墨付2丁)、一ツ目綴で一括
894	52	去ル子年洪水未タ荒代地起立再手入料御願帳	文久3亥	2		穂波郡大日寺村		荒代地書上、郡代役所への願書写あり	横帳	1	全6丁(墨付6丁)、一ツ目綴で一括
894	53	覚						村関係の金銭・俵数等算用書上	継紙	1	
894	54	〔覚〕						運賃藏建方夫銭として7貫100文を7日切で花瀬庄屋甚九郎払いのこと	切紙	1	
894	55	〔覚〕						定飛脚夫銭として銭910文、来る12日切で触口元へ花瀬村払いのこと	切紙	1	印1ヶ所あり
894	56	上納銀不足						人別に上納不足銀高を書上	継紙	1	後欠か
894	57	覚	午	12	26	代ヵ屋平三郎	花瀬村久助様	米6俵の金銭算用書上。内、145貫920文渡す旨	切紙	1	
894	58	覚		6	14	頭取和七	花せ村	唐米3俵お預かりの旨	切紙	1	
894	59	〔書状〕						昨日依頼の金子の件について脇方承知、銀預65貫400文送付の旨	継紙	1	
894	60	〔書状〕		7	16	大行事喜平	花瀬村甚九郎	金子受取の旨、先日お預けの手形お返しのこと、送付の2歩金について	継紙	1	
894	61	花瀬村置門普請入用左之篠竹其村山ニ而開相渡證拠之事	寅	3		藤井与三兵衛(印)	伊岐須村庄屋山之口中	郷条竹6把渡す旨	切紙	1	
894	62	受取	卯	10	13	山口屋ニ而直右衛門、同家和七	花瀬村	鶏1羽受取の旨	切紙	1	
894	63	請取	卯	3	9	本誓寺納所(印)	大和甚九郎	家別割として正金2両1歩寺納の旨	切紙	1	
894	64	〔覚〕	卯	11		大庄屋許(印)		花瀬村郡切立米として米6俵8升2合を来たる29日限りで払いのこと	切紙	1	
894	65	〔覚〕	卯	11		大庄屋許(印)		花瀬村庄屋足給米として米3俵6升6合を来たる29日限りで払いのこと	切紙	1	
894	66	覚		9	5	かじ利助	甚九良	諸品代金書上、〆1貫600文	切紙	1	後欠か。「惣算用相済」の裏書あり
894	67	受取	卯	6	3	継所(筑前飯塚問屋印)	花瀬村	女鶏1羽(但し460目)を預かる旨	切紙	1	
894	68	〔覚〕	卯	10		大庄屋元(印)		本米の内諸差前上納分として花瀬村米55俵払いのこと	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
894	69	請取	卯	3	15	大庄屋元(印)	花せ村	不足分〆米1俵1斗4升6合請取の旨	切紙	1	
894	70	〔覚〕	卯	11		大庄屋許(印)		御囲米運賃大行事取立分として花瀬村来る29日限りで米5俵1斗1升8合払いのこと	切紙	1	
894	71	請取	卯	12	21	山鹿屋嘉平(印)	花瀬村甚九郎	米2俵請取の旨	切紙	1	
894	72	〔覚〕	卯	3				花瀬御免踊諸品割銭9貫694文ほか、来る11日限で伊岐須村払いのこと	切紙	1	
894	73	〔覚〕	卯	8		大庄屋許(印)		大行事病手伝夫銭として花瀬村銭7貫520文を来たる29日限りで普請方へ払いのこと	切紙	1	
894	74	受取	卯	正	29	帯屋助右衛門(筑前飯塚□□印)	大和甚九郎	米4俵受取の旨	切紙	1	店印不鮮明のため解読不能
894	75	〔覚〕						給米高を人別に書上、ほか備油関係切符写あり	折紙	1	綴穴2ヶ所あり。本紙は裏を表側に折ってある。
894	76	〔覚〕	辰	11		触口許(印)		借入金持判、飛脚夫銭ほかとして花瀬村銭24貫442文来る22日限りで払いのこと	継紙	1	付紙1ヶ所破損
894	77	請取	巳	9	朔	触口許(印)	花瀬村	御上御救米2俵代として正金4両受取の旨	切紙	1	
894	78	〔覚〕	辰	8		触口許(印)		登京夫両市中にて雇立賃金追割として花瀬村正金3両7勺を来る29日限りで払いのこと	切紙	1	
894	79	〔覚〕		3	24			「登京夫銭割方分銭、役頭同族宿ヨリ御引合、御状着御割出し」の書上	折紙	1	
894	80	〔覚〕	巳	9		触口許(印)		御上御救米持割代金として花瀬村銭1貫600文を明日上納のこと	切紙	1	
894	81	覚	卯	3	7	大庄屋元(印)	庄屋大和甚九	正金1両3歩請取の書上	切紙	1	
894	82	請取		11	16	大庄屋役場(印)	庄屋大和甚九郎	花瀬村、大日寺村両村の上納銀請取の旨	継紙	1	
894	83	覚						人別に不足銭を書上	継紙	1	
894	84	〔覚〕						人別に切銭高を書上	切紙	1	
894	85-1	大日寺藏引合〆						花瀬村と大日寺村上納米高の引合を書上	継紙	1	85-1と85-2は同折
894	85-2	覚						蔵方関係米高、銭高の書上	切紙	1	
894	86	覚	辰	12		司馬屋藤三郎	大和甚九郎	諸品代金書上、卯冬不足分と合わせて〆19貫120文。	継紙	1	
894	87	〔覚〕						麦種子代金を人別に書上、ほか穂代の書上あり	折紙	1	
894	88	〔覚〕						人別に田畑畝数と収穫高を書上	切紙	1	前後欠、破損あり
894	89	證拠		10	3	金山和(印)		人足1人、枝国まで荷物送りに召し仕うこと	継紙	1	
894	90-1	〔覚〕	辰	9		触口許(印)		親村花瀬村、来る13日までに撰米1俵大行事へ上納のこと	切紙	1	90-1は90-2～4を内包

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
894	90-2	〔覚〕	辰	9		先旅人方取締役善三（印）		花瀬村分運上銀上納不足銭500文の書上	切紙	1	切紙2点が上部を糊付けし一括。90-2の下に辰7月付触口役場（印）覚あり
894	90-3	〔覚〕	辰	10		触口元（印）		花瀬村□俵1俵縄共に明5日、大行事嘉平へ払いのこと	切紙	1	元は90-2の付紙か
894	90-4	〔覚〕						買米行夫銭として花瀬銭2貫880文連割触口元払いのこと	切紙	1	元は90-2の付紙か
894	91-1	請取	丑	12	28	伊岐須酒屋五八郎（筑州穂伊岐須〔萬〕五印）	庄屋大和甚九郎	米3俵請取の旨	切紙	1	91-1～4同折
894	91-2	請取	丑	12	26	イキす五八郎（筑州穂伊岐須萬五印）	庄屋甚九郎	畠方米の内、米3俵請取の旨	切紙	1	
894	91-3	請受	丑	12	28	いきす酒屋五八郎（筑州穂伊岐須萬五印）	庄屋大和甚九郎	米1俵請取の旨	継紙	1	
894	91-4	請取	丑	12	29	いきす彦三郎	庄屋甚九郎	米2俵請取の旨	切紙	1	
894	92	覚		12	29			金銭算用書上。17両3合4勺7才5毛の内、7両6合7勺2才5毛不足	継紙	1	
894	93	受取	午	7	27	仁右衛門（印）	〔深〕町文蔵	麦6斗6升受取の旨	切紙	1	
894	94	覚		3	22	石田和七	大和甚九郎	借用金正金8両の算用書上。元利合わせて8両2歩2朱札163文	継紙	1	
894	95	請取申上候		霜	19	いキス市平	花瀬村庄屋大和甚九郎	米2俵請取の旨	切紙	1	
894	96	請取	辰	8	20	大分村〔与〕屋元	花瀬村	鶏1羽請取の旨	切紙	1	
894	97	覚		10	23	頭取和七	花瀬村	当6月若麦送り御囲米運賃内として米3俵請取の旨	切紙	1	
894	98	覚		12	3	下町重藏	花瀬大和甚九郎	餅米1俵代15貫文の算用書上。残り1貫文は御入り用の時分に渡す旨	継紙	1	
894	99-1	〔書状〕		7	5	清水宅右衛門	組頭与一郎	取替の米預り返済延引につき手形引替の願い	継紙	1	印あり。99-1は99-2を内包
894	99-2	〔書状〕		12	17	大日寺村赤間儀七郎	花瀬村庄屋大和甚九郎	畠上納2斗6升現米受取藏上納仰せ付けにつき、この者へ上納だけはお渡しの事	切紙	1	
894	100	〔覚〕	巳	5		触口許（印）		登京夫銭并才料苦労共両郡割撰として花瀬村銭8貫276文を来たる15日切で払いの事	切紙	1	
895	1～7	〔袋〕						袋上書き「証書返却ノ分、蓮台寺村ニ係ル秣場道路事件書類、木原彦市事件、相田村外弐ヶ村戸長在勤中書類、福沢十平父久四郎抱亡跡事件書類」	袋	1	罫紙で作られた袋。895-1～7一括
895	1	借用証	明治14	旧正	4	借主伊川村淀川又四郎（印）	花瀬村大和武三郎	金5円を利子月2分5厘で借用の旨	切紙	1	
895	2-1～2	〔所有建物書入借用証、建物図一括〕									2-1は2-2を内包する

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
895	2-1	所有建物書入借用証	明治12	2	5	穂波郡花瀬村借主谷口儀三郎(印)、同村証人大和与一郎(印)	花瀬村大和武三郎	正米6斗8升を居家1棟を抵当にして借用。利子は3割定	専用紙	1	「證券界紙」銘の専用紙を使用。戸長梅津又三郎(印)の奥書あり
895	2-2	〔建物図〕	明治12	2	5	穂波郡花瀬村十七番地居住建物持主　谷口儀三郎(印)	大和武三郎	抵当の居家1棟の図	切紙	1	割印あり
895	3	〔書状〕		8	8	松尾六三郎(印)	大和武七	金子証をこの者へお貸し渡しのこと	切紙	1	
895	4	〔受取証〕						包紙糊付につき開封不可。包紙あり。包紙上書「木原彦市中野信市ヨリ願付ル勅解差紙及受取証入」	罫紙	1	
895	5-1～15	〔包紙〕						包紙上書「戸長在勤中受取証入」	包紙	1	895-5-1～15を一括。包紙は罫紙を使用する
895	5-1	役場書類引譲						相田村ほか2ヶ村分の役場関係書類目録。「野見山」の印あり	罫紙	1	全罫紙2枚。5-1～4迄は紙縒一ツ穴ひねり綴で一括。
895	5-2	記	16	6	8	大和武三郎(印)	野見山利八郎	地券証印税ほか〆金9円65銭5厘渡す旨	罫紙	1	全罫紙1枚。綴穴4ヶ所あり
895	5-3	記		6	11		野見山利八郎(印)	金銭算用書上	罫紙	1	全罫紙1枚。綴穴4ヶ所あり
895	5-4	戸長在勤中諸進達間通扣		5	7			～6月3日迄の戸長への通達概要の書	罫紙	1	全罫紙1枚
895	5-5	證	明治16	4	30	穂波郡壱番学区学務委員末松市九郎(印)	相田戸長役場　御中	小学校学費金2円支払いのこと。金額、名前以外は印刷	一紙	1	5-5～14迄は紙縒一ツ穴ひねり綴で一括
895	5-6	證	明治16	5	10	嘉麻郡穂波郡郡長山中立水(印)		戸長大和武三郎より地券証印税金2円20銭4厘受取の旨	一紙	1	
895	5-7	証		5	12	学務委員末松市九郎	戸長大和武三郎	金1円支払いのこと	罫紙	1	全罫紙1枚
895	5-8	証	明治16	5	11	学務委員末松市九郎	戸長大和武三郎	金5円支払いのこと	罫紙	1	全罫紙1枚
895	5-9	御受証	明治16	5	21	穂波郡伊川村□□与曽吉(印)	戸長大和武三郎	券証受取の旨	罫紙	1	全罫紙1枚
895	5-10	受取	16	5	17	野見山利八郎(印)	戸長大和武三郎	地券受取の旨	継紙	1	
895	5-11	〔記〕	16	5		村役場(役場印)		相田村大村新弥、6月5日限りで金12銭2支払のこと	切紙	1	役場印不鮮明のため解読不可
895	5-12	〔記〕	16	5		村役場(役場印)		相田村大村新弥、6月5日限りで金2銭6支払のこと	切紙	1	綴穴1ヶ所あり。役場印不鮮明のため解読不可
895	5-13	承諾証	明治16	5	25	伊岐須村野見山利八郎(印)	戸長大和武三郎	相田村・伊岐須村・伊川村戸長選挙開会のところ、野見山当選につき承諾の	罫紙	1	全罫紙1枚
895	5-14	受取証	明治16	5	20	伊岐須村惣代野見山雄平(印)	戸長大和武三郎	平常土木受下ヶ金として金67円34銭受取の旨	罫紙	1	全罫紙1枚
895	5-15	御届						平時免役、国民軍のほか免役の人の名前を書上	罫紙	1	綴穴1ヶ所あり。5-6と5-7の間に挟まれ
895	6	受取	明治16	12	24	渕上徳七(印)	花瀬村大和武三郎殿	借用金16円56銭の内、9円10銭9厘受取の旨	罫紙	1	綴穴1ヶ所あり

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
895	7	約定証(案)	明治11	2		花瀬村大和武三郎、与市郎、甚次郎、茂七	竪山梅太郎	花瀬村何某の負債を武三郎等が引受、竪山が田地買取。田地小作は武三郎等が引き受ける旨	罫紙	1	綴穴1ヶ所あり
896	1～13	〔包紙〕						包紙上書き「丑ノ受取一切入目六共」	包紙	1	896-1～13は包紙・紙縒一括。包紙は10月26日付庄屋甚九郎様宛魚屋重蔵(筑前□□□□印)覚の反古紙を使用
896	1	受取		11	25	かうしや孫吉(店印)	花せ村甚九	米1俵受取の旨	切紙	1	店印不鮮明のため解読不可
896	2	覚						定次殿分、買物代金の受取	継紙	1	
896	3	覚		霜	7	蛭子屋十助、大庄屋茂平	花瀬村庄屋甚九郎	米8俵受取の旨	切紙	1	
896	4	覚		12	22	勝野大助	花瀬村庄屋甚九郎	米4升8合の札代受取の旨	切紙	1	
896	5	請取	丑	12	22	大庄屋彦右衛門(印)	甚九郎	拝借米代として金1両1歩請取の旨	切紙	1	
896	6	覚	丑	12		帯屋助右衛門	花瀬庄屋甚九郎	諸品代銭書上。内、銀札60目受取の旨	継紙	1	
896	7	請取		12	27	大庄屋元(印)	甚九郎	郡切立として米2升4合請取の旨	切紙	1	
896	8	覚		12	9	かうしや孫吉		登鰹差し上げの旨	切紙	1	
896	9	覚		12	26	醤油屋二藏	甚九郎	10匁5分受取の旨	切紙	1	「又九七殿」と端裏書きあり
896	10	覚		4	6	庄屋茂右衛門	花瀬村甚九郎	79匁1分お受取のこと	切紙	1	
896	11	〔書状〕		12	5	小正与吉	庄屋甚九郎	延引の講銭差し上げ、請取のこと。講銭の算用覚あり	継紙	1	
896	12	覚	寅	正	5	幸袋村長五郎(印)	花瀬甚九郎	銭334文、米2斗4升の算用書上	切紙	1	
896	13	覚		11	6	かうしや孫吉	花瀬村甚九郎	銀札20匁お受取のこと	切紙	1	
897	1～30	〔包紙〕						包紙上書き「午冬ヨリ未四月与請取入」	包紙	1	897-1～30包紙・紙縒一括。包紙は12月2日付甚九郎殿宛大庄屋宅右衛門覚書の反古紙を使
897	1	〔書状〕		4	15	椿与一郎	花瀬村庄屋甚九郎	余米の件について、是迄度々お断り。余米は言うに及ばず田地代金共に出来ない旨ご承知のこと	切紙	1	
897	2	〔覚〕						花瀬村分、寅年～巳年迄の囲米算用覚。拝借囲米と合わせて〆52俵	切紙	1	
897	3	受取	午	9	20	蓮台寺村蔵方	花瀬村蔵方	撰米9升3合受取の旨	切紙	1	
897	4	〔書状〕		12	28	道隣	甚九郎	利方1貫360文及び藏敷米1斗3升受取の旨。去年分手形2通お受け取りのこと	継紙	1	
897	5	おぼへ	午	11	29	薩新	庄屋甚九郎	餅米3俵代の内1両2歩渡す旨	切紙	1	
897	6	覚	午	12	29	ちとせや孫六	花せ彦三郎	諸品代金書上	継紙	1	
897	7	〔書状〕		12	28	寿作	庄屋伊和六	種子籾大根ほか取立帯屋へ質入れのこと、昨日大庄屋元諸口銭払い切りのこと、飯塚おさたとの頼みの□代指向の件について仕送りの御願い	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
897	8	覚	巳	4		椿直平	甚九郎	丑年、卯年ほか糀の量を月別に書上	綴	1	折紙2枚を紙縒一ツ穴綴で一括
897	9	覚	午	12	28	ちとせや孫六	花せ庄屋甚九郎	米2俵受取の旨	継紙	1	
897	10	請取		12	28	司馬屋藤三郎	花瀬甚九郎	米3俵請取の旨	継紙	1	
897	11	請取		12	23	土師　源太夫	庄屋甚九郎	米1俵、餅米半俵請取の旨	切紙	1	
897	12	請取		12	29	源太夫	甚介	金子1両、米2俵請取の旨	切紙	1	
897	13	覚		12	22	源太夫	花せ甚九郎	米2俵請取の旨	切紙	1	
897	14	覚		3	朔	片嶋庄屋貞藏	花瀬庄屋大和甚九郎	直に太夫殿へ渡すため、札包にて慥かに請取の旨	切紙	1	
897	15	〔覚〕						手拭いほか諸品代金書上	切紙	1	前後欠か
897	16	請取	午	12		いきす酒屋五八郎（筑州穂伊岐須酒五印）	花瀬村甚九郎	酒代として八木2俵請取の旨	切紙	1	
897	17	覚	午	12	29	川津翔也伊藤和六	甚九郎	飯塚おさだとのへ払う手当7貫196文お支払いのこと、当村貴公様より借用の内当季分は払い入れの旨	切紙	1	
897	18	〔尚々書〕						7貫196文は川津へ借入、口々内取を請取お渡しのこと。大日寺への切符請取の件。元利今日中お支払いのこと	継紙	1	
897	19	請取		3	2	松浦屋十五郎（店印）	花瀬甚九郎	米2俵請取の旨	切紙	1	店印不鮮明のため解読不可
897	20	覚		12	28	山口屋和七	花瀬村庄屋甚九郎	銭4貫275文請取の旨	切紙	1	
897	21	受取		3	16	庄屋彦右衛門	花せ彦次郎	道板2枚、床、まへ、むしろ受取の旨	切紙	1	
897	22	覚	午	12	29	ちとせや孫六	花せ庄屋	米2俵受取の旨	切紙	1	
897	23	〔書状（案）〕		4	28			浦田一件御世話について与一郎へ御世話申付のこと、私抱え田地につき手入れしないよう申付のこと、又これに関連して余米上ケ約定違反につき村役人衆の才判を願う	継紙	1	前欠か
897	24	請取	午	8	8	堀池庄屋伴藏（書印）	花瀬村庄屋甚九郎	踊出銅分として銭1貫550文請取の旨	切紙	1	
897	25	〔村役々号　覚〕						大庄屋、大庄屋格以下、村役人の号を記す	折紙	1	
897	26	請取	午	11	29	大庄屋役場（印）	大日寺村庄屋赤間貞助	日田金返納として銭47貫600文請取の	切紙	1	
897	27	〔覚〕	午	9				花瀬村分撰米9升を19日に蓮台寺支払のこと	切紙	1	
897	28	覚						りざひてんの神様寄進として当5月に潤野村へ金1歩2朱を願う	切紙	1	
897	29	花瀬村種痘人数	未	2		庄屋長平		種痘を受ける人の名前を書上	継紙	1	
897	30	種痘定日割	午	8		才判長平（印）		花瀬村7人が8月14日に種痘を受ける	切紙	1	
898	1～8	〔袋〕						袋上書き「大日寺村差引根帳入、未二月限」	袋	1	898-1～8を一括する袋。ヤブレあり
898	1-1	慶応三年卯年約〆分	慶応3卯					未進米高と銭高を人別に書上	横帳	1	1-1と1-2は紙縒一ツ穴綴で一括。全7丁（墨付7丁）、一ツ目綴で一括

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
898	1-2	米代銭立ニ而借入直段高下に付欠銭取出之覚						欠銭の算用書上、又人別に未進米代銭書上	横帳	1	全4丁（墨付4丁）、一ツ目綴で一括
898	2	〔覚〕	未	12		大日寺村蔵方	花瀬大和武三郎	徳米、諸上納ほか大和武三郎分の上納米高の書上	綴	1	折紙2枚を紙縒一ツ目綴で一括
898	3-1	辰年引付	辰					甚九郎分、上納米高・銭高の算用書上	折紙	1	3-1～8紙縒一ツ目綴で一括
898	3-2	明治二巳九月御米通	明治2巳	9		大日寺村蔵方(印)		大和甚九郎分、上納米高算用書上	折紙	1	
898	3-3	〔藏通〕	午	11		大日寺蔵方(印)		武三郎分、上納米高算用書上	折紙	1	庄屋許(印)覚1点を貼り付ける
898	3-4	〔覚〕		12	12	大日寺村蔵方	花瀬村庄屋大和甚九郎	上納関係米高算用書上、残り4俵1斗9升8合不足の旨	折紙	1	綴穴2ヶ所あり
898	3-5	〔覚〕	(未)	12				上納関係米高算用書上。未12月3日大日寺役宅にて庄屋殿・勝七殿・仁蔵立会の上約〆。	折紙	1	
898	3-6	〔覚〕						辰年分、巳年分の上納銭高書上	折紙	1	3-7とつながりあるか
898	3-7	〔覚〕						手付分ほか、上納関係銭高書上	折紙	1	
898	3-8	〔覚〕						花瀬村分庄屋給米ほか米高算用書上	折紙	1	綴穴4ヶ所あり
898	4	寅未進立	(寅)					未進米高・銭高を人別に書上	横帳	1	折紙7丁（墨付7丁）、紙縒一ツ目綴で一括
898	5	覚		3	16			立岩彦三郎救切分として金8両6合6勺6才の書上	切紙	1	898-6の別紙か
898	6	〔書状〕		3	16	庄屋金子融	庄屋福沢十平	救米捨切について、立岩彦三郎殿分別紙の通り貴村よりお書上のこと	継紙	1	
898	7	辰年御蔵通	(午)	(正)	27			辰年分、巳年分、午年分の上納米高書上。午正月27日儀七郎殿宅にて伊平殿・勝蔵殿・儀七郎殿立会約〆	横帳	1	折紙3丁（墨付3丁）、紙縒一ツ目綴で一括
898	8	穂波郡花瀬村武三郎ヨリ居村大日寺伊川椿四ヶ村江牛代粮米貸付分捨切書上帳	明治3午	9		花瀬村庄屋甚次郎、与一郎、同村庄屋大和甚九郎	内野御司民御曹	人別に金銭算用書上。惣合米104俵1斗8升2合、銭548貫903文	横帳	1	折紙13丁（墨付13丁）と継紙1点を一ツ目綴で一括
899	1-1	覚		11	25			花瀬村銭164匁7分として2朱900文を12月5日限りで支払のこと。紙色染みあり	継紙	1	899-1～8紙帯で一括。899-1-1～10紙縒で一括。紙帯ハズレ1点あり。899-1-1と1-2は紙縒一ツ穴綴で一括
899	1-2	覚		11	25			若殿様御成雑用銭27匁4分1厘として、花瀬2朱14匁5分を来月5日切で飯塚郡屋へ払いのこと	切紙	1	
899	1-3	覚	寅	12		伊岐須酒屋久三良	花瀬村甚九郎	寅4月～7月迄の酒代金〆銭1貫704文の書上	切紙	1	
899	1-4	〔書状〕		11	11	せ〔き〕屋伊平	花瀬庄屋甚九郎	今日森崎〔屋〕と面談、金1歩請取渡しにつき、この分を請取のこと	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
899	1-5	〔書状〕		12	10	いき須太惣	花瀬庄屋甚九郎	借用仰付の銭納所の件について、未だ1俵舟積みせず。利方なりとも請取の旨宜しくお聞き返しのこと	継紙	1	
899	1-6	覚	丑	12		庄屋伊八	花瀬甚九郎	諸費用書上及び算用。〆87匁7分余り	継紙	1	
899	1-7	覚	寅	12		糀屋源藏	花瀬村庄屋甚九郎	人別に代銭書上、〆7貫117文	継紙	1	
899	1-8	覚		9	16	糀屋孫吉	花せ村茂七	諸品代銭書上、〆28匁	継紙	1	
899	1-9	覚	丑	12	10	帯屋助右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	打綿代458匁支払のこと	切紙	1	
899	1-10	覚		12	15	糀屋孫吉	花せ村甚九郎	諸品代銭書上	継紙	1	
899	2	〔書状〕		□	1	米屋吉次	花瀬村庄屋甚九郎	去冬糯米の手形、今日約定の件について	継紙	1	
899	3	〔覚〕	丑	12	14	甚久郎	貞次	米代金差引の書上。	継紙	1	「貞次」の端裏書あり
899	4	覚		5	8	紺屋小七	花瀬村甚九郎	口上書。米3俵この者へお渡しのこと	継紙	1	
899	5-1	覚	寅	5	11	薩摩屋武兵衛（□□□□薩武印）	花瀬庄屋甚九郎	諸品代銭書上	継紙	1	899-5-1～7紙縒で一括。店印不鮮明のため解読不可。5-1～4迄同折
899	5-2	〔覚〕						金銭算用書上、〆12貫400文	切紙	1	
899	5-3	覚	寅	5	7	薩摩屋武兵衛（□□□□薩武印）	花瀬庄屋甚九郎	諸品代銭書上	継紙	1	店印不鮮明のため解読不可。899-5-3と5-4は紙縒一ツ穴綴で一括
899	5-4	覚	寅	5	8	薩摩屋武兵衛	庄屋甚九郎	諸品代銭書上	切紙	1	
899	5-5	覚		8	11	糀屋孫吉	花瀬村甚九郎	札取替分ほか金銭算用書上	継紙	1	899-5-5は5-6を内包
899	5-6	覚		8	11	糀屋孫吉	花瀬村甚九郎	5月中若松行舟ほか金銭算用書上	切紙	1	
899	5-7	〔書状〕		2	19	かうしや孫吉	花瀬村甚九郎様	枝国村石山石舟場買上をめぐり、〔釜〕1数、〔すいなち釜〕1曲をお渡しのこと	継紙	1	
899	6-1	〔書状〕		11	25	大庄屋彦右衛門	花瀬村庄屋甚九郎殿	其村上納の内、切手を請取、引替の上早々支払いのこと	切紙	1	899-6-1～13平紙紐で一括
899	6-2	請合						「むかい原、□屋喜右衛門、同　吉藏」と墨書あり	切紙	1	
899	6-3	覚						米40俵代銀算用書上	継紙	1	「花瀬」と端書きあり
899	6-4	〔書状〕		12	16	伊岐須太惣	花瀬庄屋甚九郎様	川津口今夕少々持参につき、明日私持参、両3日内には約束通り片付きの	切紙	1	
899	6-5	〔書状〕			29	甚九郎	宅右衛門様	触雑用切符手当について平次郎方へ掛合の否を尋ねる。蓮根1丸差し上げの旨	切紙	1	
899	6-6	〔書状〕		12	5	飯塚問屋武助	花瀬庄屋甚九郎様	村方仕組出銭を今日間違いなくお持たせのこと、郡切立米も今日付出のこと	継紙	1	
899	6-7	覚	丑	12		□屋七右衛門	花瀬村甚九郎様	鉄大先ほか諸品代銭書上	継紙	1	
899	6-8	覚	丑	11	26			飯塚問屋より触付次第、人足7人を花瀬差出のこと	切紙	1	
899	6-9	〔書状〕		12	5	弁分村善平	花瀬庄屋甚九郎様	山口様初穂米1斗4升2合別紙添え献上の旨	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
899	6-10	請取	丑	11	25	船頭取十藏(筑飯蛭子重印)	伊岐須村久三郎様	花瀬分として藏米3俵請取の旨	切紙	1	
899	6-11	覚		4	16	米や惣七	庄屋甚九郎様	米2俵代として120目渡す旨	切紙	1	
899	6-12	〔覚〕						米代金算用書上	切紙	1	
899	6-13	〔書状〕		12	28	相田伝七	花瀬甚九郎様	御世話の礼。今日参る私代理の者へお渡しのこと	切紙	1	
899	7	覚		6	26	つはき与九郎(印)	花瀬村甚九郎様	麦2斗を利方2割で借用の旨。	切紙	1	
899	8	〔書状〕		9	25	太惣	花瀬庄屋甚九郎様	片嶋吉三郎講竈入について貴公加わりのこと	継紙	1	
900	1～10	〔包紙〕						包紙上書き「森崎屋手紙入ル、石山分、石山分」	包紙	1	900-1～10包紙・紙縒で一括。包紙は反古紙断簡を使用
900	1	覚		12	22	竹屋四方衛	大庄屋彦右衛門様	イキス山上焚石代銭の算用書上	切紙	1	
900	2	〔書状(案)〕						当村焚石山につき、金行き届かず別紙證文1通差し上げの旨。貴公様より当時御世話のこと	切紙	1	
900	3	〔書状(案)〕						当村仕組焚石山につき、銭繰り難しく少々石積み下す旨。また別紙證文1通差し上げ、金子借用のこと	切紙	1	金子借用證々あり
900	4	覚		2	4	儀右衛門	甚九郎様	諸品代銭書上、取替銭高書上	切紙	1	
900	5	覚		2	朔	彦四郎	甚九郎様	銀110匁お受取のこと	切紙	1	
900	6	〔書状〕		2	15	〔仁〕左右衛門	花瀬甚九郎様	川端勘場嘉助へなれば幸平へ兼ねて取替の分取り計らいの旨	切紙	1	
900	7	口上		2	25	かんば嘉助	庄屋甚九郎様	積み下り舟5艘売り払いについて、出銭見合わせの金子について	継紙	1	
900	8	口上		2	15	嘉助	庄屋甚九郎様	兼ねてより相談の金子この者へ借用のこと	切紙	1	
900	9	〔書状〕		2	16	かんば嘉助	山元甚九郎様	舟積みにつき船頭5艘中へ酒代2朱余りの旨を掛合。黒石積入、100斤につき1文半では舟に入らない旨	継紙	1	
900	10	〔書状〕		2	19	仁左衛門	甚九郎様	石出し銭切手渡しの件につき勘場より請取のこと、又私方石出し人別に銭渡したところ大いに混雑、1日の出方〆上げ勘場より請取にした旨	継紙	1	
901	1～2	〔花瀬村藏目録　一括〕						包紙上書き「椿　上納、横田□平」のみ判読可	包紙	1	901-1～2包紙・紙縒で一括。包紙破
901	1	覚						花瀬分、めぐろ町上田2畝11歩の高4斗6升2合5勺の書上	折紙	1	
901	2-1	〔覚〕		12	25	横田村蔵方	彦三郎様	亥年分上納不足米銀今日中に支払のこと	切紙	1	901-2-1～24迄紙縒一ツ穴綴で一括。2-1～2-18紙縒一ツ穴綴で一括
901	2-2	〔覚〕	子	12		横田村蔵方	花瀬村彦三郎殿	徳米ほか上納米高書上	折紙	1	付紙剥離1点あり
901	2-3	覚	子	2	24	花瀬甚九郎	横田次八殿	去冬上納不足米代銭算用の書上	継紙	1	
901	2-4	〔覚〕	天保12丑	12		蔵方	花瀬彦三郎様	徳米ほか上納米銭高算用書上	折紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
901	2-5	〔覚〕	亥	11		横田村藏役所	花瀬村彦三郎殿	上納米大豆高算用書上	折紙	1	
901	2-6	〔覚〕				蔵方		辰年分、上納米大豆高書上	折紙	1	
901	2-7	〔覚〕	巳	12		横田村蔵方	花瀬村彦三郎殿	上納米大豆高書上	折紙	1	
901	2-8	〔覚〕	午	11		横田村蔵方	花瀬村彦三郎殿	上納米大豆高、三品銀高書上	折紙	1	
901	2-9	覚						巳年、甚九郎分銭高と仁助分米高の書上	折紙	1	
901	2-10	〔覚〕	未	12	28	横田村蔵方	花瀬村彦三郎様	上納米大豆高、銭高の書上	折紙	1	
901	2-11	〔覚〕		12	28	蔵方	花瀬彦三郎様	申年分上納銀請取の旨	切紙	1	
901	2-12	〔覚〕	天保7申	12		横田村藏役所	花瀬村彦三郎殿	上納米高の算用書上	折紙	1	
901	2-13	〔覚〕						酉年彦三郎分出銭の算用書上	切紙	1	
901	2-14	〔覚〕	酉	12		横田藏役所	花瀬村彦三郎殿	上納米大豆高の書上	折紙	1	
901	2-15	覚						米2斗6升6合3勺の代銀書上	切紙	1	
901	2-16	藏目録	戌	12		横田村藏役所	花瀬村彦三郎殿	上納米大豆高の書上	折紙	1	
901	2-17	〔覚〕	天保14卯	6		横田村蔵方	花瀬村彦三郎殿	上納米大豆高、銭高の書上	折紙	1	
901	2-18	〔覚〕	天保14卯			横田村蔵方	彦三郎殿	上納米大豆高、銭高の書上	折紙	1	付紙あり。付紙1点剥離
901	2-19	藏目録	天保15辰	12	15	よこたむら蔵方	花瀬村庄屋甚九郎様	上納米大豆高の算用書上	切紙	1	901-2-19～24紙縒一ツ穴綴で一括
901	2-20	覚		12	14	横田村蔵方	花瀬村庄屋甚九郎様	上納銭高、不足米高の書上	切紙	1	
901	2-21	藏目録	天保15辰	12		横田村蔵方	花瀬甚九郎様	上納米大豆高の算用書上	折紙	1	
901	2-22	〔覚〕	巳	12		横田村藏役所	花瀬村甚九郎様	上納米大豆高の算用書上	折紙	1	
901	2-23	〔覚〕	巳	12	23	横田村藏役所	花瀬村甚九郎様	上納米大豆高の算用書上	折紙	1	
901	2-24	〔覚〕	未	12		横田村藏役所	花瀬村甚九郎様	上納米大豆高の算用書上	折紙	1	未12月29日付横田村蔵方による付紙1点あり
902	1	〔覚〕	戌	11		大庄屋元(印)		大日寺村11月上納銀高の書上	折紙	1	902-1～14紙縒一括。綴穴2ヶ所あり
902	2	〔覚〕	戌	4		大庄屋元(印)		大日寺村4月運上の書上	継紙	1	
902	3	間通四番割	戌	10				大日寺村割当。夫105人、馬33疋の書	切紙	1	
902	4	覚				米儀右〔洲〕	大日寺村庄屋儀七郎殿	12月、5月、7月の納物の書上	継紙	1	
902	5-1	青木孫太夫門松其村山ニ而可相渡證拠之事	文久元酉	12	4	岸田宅左衛門(印)	大日寺村庄屋山之口中	門松2本を渡す旨	切紙	1	902-5-1と5-2は同折。「二百廿」、「四日」の朱筆あり
902	5-2	岸原虎走門松其村山ニ而可相渡證拠之事	文久元酉	12	8	岸田宅左衛門(印)	大日寺村庄屋山之口中	門松2本を渡す旨	切紙	1	「三百八十六」の朱筆あり
902	6-1	覚	戌	8	14	御村組合受持平三郎		子12月に借用の金50両算用書上	切紙	1	902-6-1～35迄同
902	6-2	〔覚〕	戌	10		大庄屋元		大日寺村10月運上銀の書上	切紙	1	
902	6-3	〔覚〕	戌	10		大庄屋許(印)		花瀬村米2俵2斗2升5合を来たる28日勘定役迄支払のこと	切紙	1	
902	6-4	〔覚〕	戌	10		大庄屋許(印)		大日寺村未年拝借、除ケ米ほか〆米59俵7合を大行事現米上納のこと	継紙	1	
902	6-5	請取		2	14	山口屋和七	大日寺村	わら42包、そふり15足請取の旨	継紙	1	
902	6-6	覚		11	29	船頭惣市(印)	大日寺村藏役所	米2俵請取の旨	切紙	1	
902	6-7	〔覚〕	戌	9		大庄屋元(印)		大行事中出藏番利介給米として、大日寺村米1斗2升2合を同人へ払うこと	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
902	6-8	〔覚〕	戌	11				長尾炭薪代持出夫坂廻り仕調、内野宿郡家□（糸偏に遣）所御茶屋、大隈町郡家取締り手伝夫銭として大日寺村銭支払のこと	切紙	1	
902	6-9	請取				〔尾〕江半右衛門内安村大助	大日寺村庄屋甚九郎殿	筵、栗箸、夫銭ほか請取の旨	継紙	1	
902	6-10	〔覚〕	戌	11		大庄屋元（印）		来る12日迄に未年米借用銭19貫500文、酉年同3貫900文、ほか819文を大日寺村支払のこと	切紙	1	
902	6-11	〔覚〕	戌	12		大庄屋元（印）		大日寺村、申年・戌年拝借年掛ほか〆銀預126貫817文の書上	継紙	1	
902	6-12	請取	戌	12		谷口瀬一郎（印）	大日寺村庄屋甚九郎殿	預銀20匁受取の旨	切紙	1	
902	6-13	請取	戌	12	22		大日寺村江	岸原払元、銭900文の書上	継紙	1	
902	6-14	請取	戌	12	21	青木孫太夫（印）	大日寺村庄屋甚九郎殿	餞竹幸木ともに門松1餞請取の旨	切紙	1	
902	6-15	請取	戌	12	20	青木孫太夫（印）	大日寺村庄屋甚九郎殿	戌年中夫銭として銀預り30目受取の旨	切紙	1	
902	6-16	受取	戌	12	20	櫛橋内膳内肥川多吉	大日寺村庄屋甚九郎殿	夫銭として銭300文受取の旨	切紙	1	
902	6-17	請取		12	21	嶋井市太夫内鳥飼孫作（印）	大日寺村庄屋甚九郎殿	例年通り納品々請取の旨	切紙	1	
902	6-18	覚		12	21	角屋儀助	大日寺村分	筵ほか諸品代銭〆4貫860文請取のこと	継紙	1	
902	6-19	〔請取〕				鳥居守右衛門		850文請取の旨	切紙	1	
902	6-20	請取		12	22	山田茂三郎	大日寺村	稲初穂4合請取の旨	切紙	1	
902	6-21	〔書状〕		12	23	〔鷹〕川伝太夫	大日寺村庄屋甚九郎殿	例年納品々請取の由承知、これについて用事があるため屋敷まで出役のこと	切紙	1	
902	6-22	請取	巳	12	21	青木孫太夫（印）	大日寺村庄屋彦四郎殿	門松・夫銭納物代受取の旨。ほか大日寺村午冬～辰冬迄の借財返済について記述あり	切紙	1	
902	6-23	覚		7	11	又之進方台所	大日寺村庄屋江	例年納物について、当年は不足のまま請取、以後例年通り納めること	切紙	1	
902	6-24	尾江半右衛門門松其村山可相渡證拠之事	文久元酉	12	3	岸田宅左衛門（印）	大日寺村庄屋山之口中	門松2本を渡す旨	切紙	1	「百五十七」、「三日」と朱筆あり。綴穴1ヶ所あり
902	6-25	保田喜太夫門松其村山ニ而可相渡證拠之事	文久元酉	12	14	岸田宅左衛門（印）	大日寺村庄屋山之口中	門松2本を渡す旨	切紙	1	「六百六十七」の朱筆あり。綴穴1ヶ所あ
902	6-26	請取	酉	12	22	〔鷹〕川伝太夫	大日寺村庄屋甚九郎殿	御雇賃高直につき90文増しの390文請取の旨	切紙	1	
902	6-27	受取		12	27	青柳式部（印）	又五郎様	米2俵受取の旨	切紙	1	
902	6-28	請取	酉	12	21	谷口瀬一郎（印）	大日寺村庄屋甚九郎殿	正銭30目受取の旨。正銭未納の場合は正金1歩納めること	切紙	1	
902	6-29	〔覚〕						大庄屋元払い金銭高内訳の書上。〆47貫780文は払込、残り204貫501文の	切紙	1	
902	6-30	受取		12	27	青柳式部（印）	花瀬庄屋甚九郎様	花瀬村賄料米として米1俵受取の旨	切紙	1	
902	6-31	請取	酉	12	29	花瀬甚九郎	大日寺御蔵方	山口初穂として米目録通請取の旨	切紙	1	
902	6-32	覚	酉	12	3	菓子屋利平（印）	大日寺村甚九郎様	京都〔松〕岩山として銭480文請取の旨	切紙	1	
902	6-33	請取	酉	12	21	鳥居守右衛門（印）	大日寺村庄屋	銭受取の旨	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
902	6-34	請取	酉	12	21	青木孫太夫(印)	大日寺村庄屋甚九郎殿	門松、夫銭納物代30目受取の旨	切紙	1	
902	6-35	〔覚〕						人別に銭高を書上	折紙	1	後欠。手習いの文字あり。綴穴2ヶ所あ
902	7	〔覚〕	戌	6		大庄屋元(印)		大穂喜平次殿引越入用として大日寺銭858文支払のこと	切紙	1	
902	8	〔覚〕	戌	10		大庄屋許(印)		大日寺村、米6俵3升を勘定役まで支払のこと	切紙	1	
902	9	戌間通追割		6		大庄屋元(印)	大日寺村	人足105人、馬33疋の書上	切紙	1	
902	10	〔書状〕		9	24	普請方彦四郎	大日寺村甚九郎様	大日寺村日田年賦当季納物につき和六より目録遣わす旨	切紙	1	902-11と関連あり
902	11	覚	戌	9	17	庄伊和六	普請方彦四郎様	日田年賦丑～戌迄5ヶ年分を当季切にて済ました旨。これにつき当冬11月上納一同納めたき旨	継紙	1	
902	12-1	〔覚〕	酉	12		大庄屋元(印)		大行事藏番利助給米として大日寺村米1斗3升支払のこと	切紙	1	12-1～39紙縒一ツ穴綴で一括
902	12-2	覚	酉	12	25	飯塚長崎屋初太郎(印)	大日寺村	宿米米2俵請取の旨	継紙	1	
902	12-3	覚		12	22	大行事藏番利助	大日寺村御蔵御役所様	米5俵請取の旨	切紙	1	
902	12-4	〔覚〕	酉	12				来季御通仕組出銭として大日寺村、銭18貫97文を大庄屋元払いのこと	切紙	1	印あり
902	12-5	〔覚〕	酉	11		大庄屋元(印)		未年荒畝起拝借米、酉年代地起再手入料拝借年賦米ほかとして大日寺村〆銭24貫840文支払のこと	切紙	1	
902	12-6	〔覚〕	酉	12	15	伊藤彦三郎	大日寺村	出米分預り置く旨。籾4俵の書上あり	継紙	1	前欠か
902	12-7	覚		12	15	大行事蔵方内利助(書	大日寺村	米3俵請取の旨	切紙	1	
902	12-8	請取	酉	12	14	大庄屋元	大日寺村	除ケ米并に返納口々2合米として餅米2俵、米78俵請取の旨。	切紙	1	
902	12-9	請取		12	14	大庄屋清水宅右衛門	大日寺村	返納口々として米1俵請取の旨	切紙	1	
902	12-10	〔覚〕	酉	12		普請方彦四郎	頭取勝右衛門殿、組頭中	大日寺村分、諸費用算用書上。残り銭3貫410文不足分をお支払いのこと	折紙	1	
902	12-11	請取	酉	11	19	大庄屋元(印)	大日寺村	当月諸上納銀の内、銭8貫800文請取の旨	切紙	1	
902	12-12	種子物覚						春の分と7月分。人別に数量を書上	折紙	1	
902	12-13	〔覚〕	酉	12		大庄屋元(印)		大日寺村、一朝軒送料として銭1貫365文を支払のこと	切紙	1	
902	12-14	〔覚〕	酉	12		大庄屋許(印)		大日寺村、米14俵2斗4升4合を大庄屋許迄支払のこと	切紙	1	綴穴1ヶ所あり
902	12-15	〔覚〕	酉	11		大庄屋許(印)		大日寺村、大行事へ米6俵3升を支払のこと	継紙	1	
902	12-16	〔覚〕	酉	11				大日寺村分、上納銭高算用書上	切紙	1	印あり、綴穴1ヶ所あり
902	12-17	〔覚〕	酉	11		大庄屋元(印)		大日寺村分、蓮台寺山杉・松代金ほか書上。人別に金銭高を書上。〆銀7貫955文を支払のこと	継紙	1	綴穴1ヶ所あり
902	12-18	〔覚〕	酉	10		大庄屋許(印)		大日寺村分、去冬～当夏迄拝借ほかとして米156俵1斗5升を支払のこと	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
902	12-19	〔覚〕	酉	10		大庄屋元(印)		未年拝借、除ケ米、運賃藏中等として大日寺村米27俵4升3合を支払のこと	継紙	1	
902	12-20	〔覚〕	酉	9		大庄屋元(印)	大日寺村	人足数・馬高及び銭高の書上	切紙	1	
902	12-21	〔覚〕	酉	10				大日寺村分、長崎奉行帰府のため夫19人、馬3疋の書上	切紙	1	印あり
902	12-22	外国御奉行秋月様割当	酉	9			大日寺	人足数・馬数の書上	切紙	1	印あり
902	12-23	請取	酉	9	22	片嶋村舟頭〔九〕吉(印)	大日寺村	撰米1俵ほか運賃請取の旨	切紙	1	
902	12-24	十月運上	酉	10		大庄屋元(印)		大日寺村分。〆7貫122文支払のこと	切紙	1	
902	12-25	請取	酉	9	14	大庄屋元(印)	大日寺村	雷山祈祷料として銭600文請取の旨	切紙	1	
902	12-26	目録		9	14	大庄屋元(印)	庄屋甚九郎殿	若松波除ケ夫銭、大分宮繕出銅、雷山祈祷料ほか〆銭2貫558文を大日寺と花瀬支払のこと	継紙	1	
902	12-27	〔覚〕	酉	9		大庄屋元(印)		親村・大日寺、撰米1俵を取立の上支払のこと	切紙	1	
902	12-28	〔覚〕	酉	8		大庄屋元(印)		大日寺、銭4貫452文を庄屋彦七より支払のこと	切紙	1	
902	12-29	覚						山方上納、運上銀不足分として〆銭17貫172文支払のこと	切紙	1	
902	12-30	〔覚〕						長崎奉行下向のため夫9人・馬3疋、雑用銭ほかとして銭932文を大日寺差出のこと	切紙	1	
902	12-31	〔覚〕	酉	8		大庄屋元(印)		若松浪除夫銭として大日寺村銭575文差出のこと	切紙	1	
902	12-32	〔覚〕	酉	8		大庄屋元(印)		大分宮拝殿板張仕替料として、大日寺村銭432文差出のこと	切紙	1	
902	12-33	〔覚〕	酉	8				大日寺銭1貫583文を普請方へ支払のこと	切紙	1	印あり
902	12-34	〔覚〕	酉	7		大庄屋元(印)		長尾御門番給として大日寺村銭1貫910文を差出のこと	切紙	1	
902	12-35	〔覚〕	酉	6		大庄屋許		申□□面役銭1貫236文と長尾御門番給并定飛脚夫銭として3貫667文を大日寺村支払のこと	切紙	1	閲覧不可
902	12-36	〔覚〕	酉	6		大庄屋許(印)		大日寺村、種麦3俵9升6合を飯塚古賀屋藏に差出のこと	切紙	1	
902	12-37	〔覚〕	酉	6		大庄屋元(印)		大日寺村にたいし7月4日、拝借米として米16俵を大行事にて渡す旨	切紙	1	
902	12-38	請取		5	25	伊岐須庄屋儀兵衛	大日寺村庄屋勝右衛門	小野但馬様初穂として麦6升請取の旨	切紙	1	
902	12-39	〔書状〕		12	10	清水七右衛門	庄屋甚九郎	余米13俵の処理のこと。九右衛門と面会、大日寺の件につき少々口論のこと。又、明日片嶋にて差引につき付出	継紙	1	
902	13-1	覚						2月～10月の神社祭事関係費用書上	継紙	1	902-13-1と13-2は同折
902	13-2	〔書状〕		11	20	大宮司	庄屋甚九郎様、組頭中	来る22日青柳式部同道にて罷越、去年よりの諸初穂目録并現米整えのこと	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
902	14	〔覚〕	戌	2		大庄屋許(印)		大日寺村ほか上納銭高算用書上	綴	1	折紙2枚を紙縒一ツ穴綴で一括
903	1	〔願書(案)〕					~~庄屋百助~~	近年の村の窮状を訴え、村役の退役を願う	継紙	1	903-1～9紙縒で一括。貼紙あり
903	2	〔覚〕						触雑用、私退身願いほか庄屋関係諸覚書	切紙	1	
903	3	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ル口上之覚(案)	天保14			〔花瀬村庄屋甚九郎〕		横田村甚平田地売渡をめぐる森崎屋儀右衛門との問題の裁許と、講金掛米をめぐり引残分算用を願う	継紙	1	後欠か
903	4	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ル口上之覚(案)				〔花瀬村庄屋甚九郎〕		近年の村の窮状を訴え、庄屋役退役を願う	継紙	1	
903	5	〔覚〕						庄屋関係諸覚書と借米銭目録書付	折紙	1	
903	6	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ル口上之覚(案)	天保15	正		〔花瀬村庄屋甚九郎〕		花野村山焚石売買をめぐる蛭子屋重助との調停をめぐり、休助殿が行っていた交渉が延引、裁許を求める	継紙	1	
903	7-1	〔覚〕						12月9日伴作持出しのところ村方より聞付、八木山迄参ること。ほか村関係諸	継紙	1	903-7-1～7-6紙縒一ツ穴綴で一括
903	7-2	〔覚〕						諸口借入返済触内村々出金ほか金銭算用関係覚書	切紙	1	
903	7-3	〔覚〕						宗旨判、日田利方ほか金銭算用関係覚書	継紙	1	
903	7-4	〔覚〕						庄屋関係諸覚書	切紙	1	
903	7-5	〔覚〕						庄屋関係諸覚書	継紙	1	
903	7-6	〔覚〕						金銭算用関係覚書、相田取替給米のこと	切紙	1	
903	8	穂波郡花瀬村庄屋組頭乍恐御願申上ル事	天保15	正		花瀬村儀助、弥介、同村庄屋甚九郎	大庄屋宅右衛門様	当村利惣、才平は不人品につき、取引しないよう両郡村々へ知らせるため人相書を送る旨記す	継紙	1	
903	9	〔書状〕		9	26	相田庄屋曽蔵	花瀬庄屋甚九郎様	窮状について委細は清十両人から聞いてほしいとの旨	継紙	1	
904	1	覚	午	12		鉄屋勘右衛門(印)	花瀬庄屋甚九郎様	金銭書上	切紙	1	904-1～4紙縒で一括
904	2	覚	巳	12		片島勘右衛門	花瀬庄屋甚九郎殿	21貫509文不足につき、支払い請求	切紙	1	
904	3	〔覚〕						人数書上	切紙	1	
904	4	〔書状〕		2	21	儀七郎	甚九郎様	当村伝平と貴村与右衛門の初役の儀、惣右衛門と内談したい旨	継紙	1	
905	1	〔書状〕		正	18	福岡ヨリ利三	花瀬村方才兵衛殿	存寄によって福岡で屋敷奉公をしていることを家内や近所に伝えてほしい旨	一紙	1	905-1～5紙縒で一括
905	2	〔覚〕						日用品などの書上	切紙	1	
905	3	〔書状〕		12	28	油屋茂平	花瀬庄屋甚九郎様	利惣と面談できなかったので、引き合せてほしい旨	継紙	1	
905	4	〔覚〕						支出名目の書上	切紙	1	
905	5	覚						金銭書上	継紙	1	
906	1	〔書状〕		11	4	儀七郎	甚九郎様	上納差し支えにつき、忠右衛門らと相談。皆済する旨	継紙	1	906-1～5紙縒で一括

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
906	2	〔書状〕		11	4	大日寺村庄屋儀七郎	花瀬村庄屋甚九郎様	上納についての相談	継紙	1	
906	3	〔書状〕		11	3	大庄屋宅右衛門(印)	庄屋甚九郎殿、同儀七郎殿	御用のため、花瀬村から忠右衛門、弥右衛門、大日寺村から組頭取久平を明朝呼び出す旨	継紙	1	
906	4	〔書状〕		10	朔日	庄屋孫助、同百助	庄屋甚九郎	中村社家にて触中日講を開催。大日寺が(借財等で)難渋しているので、協力を依頼	継紙	1	
906	5	〔書状〕		10	19			日田借財年賦にて上納を一同納めること等、上納、借財につい	継紙	1	
907	1	〔書状〕						退役の願書提出について	継紙	1	907-1～7紙帯で一括。前後欠
907	2	〔覚〕	子	12	29	萬屋古四郎(印)	花瀬村御役所	金銭算用の書上	継紙	1	前欠
907	3	〔覚〕						米、銭の使途等の書上	切紙	1	
907	4	覚	寅	12	29	萬屋古四郎(印)	花瀬村御役所	米の出入内訳を記す	切紙	1	
907	5	覚	寅	12	29	萬屋古四郎(印)	花瀬村御役所	金銭算用の書上	継紙	1	
907	6	〔覚〕						米の出入内訳を記す	切紙	1	前後欠
907	7							金銭算用の書上	切紙	1	前後欠
908	1	〔書状〕		2	20	庄屋百助	庄屋甚九郎	様々な件について孫助に尋ねることを記す	継紙	1	908-1～3紙縒で一括
908	2			2	19	庄屋甚九郎	庄屋孫助	印判指出について	継紙	1	
908	3	覚		2	21	庄屋百助	庄屋甚九郎	金銭算用の書上げ。大庄屋宅右衛門が病気になったことについての奥書あり	継紙	1	継目一箇所虫損大
909	1	〔書状〕		12	8	庄屋徳三郎	庄屋甚九郎	御村方弥右衛門の取計を当村甚右衛門へ預け置いた件で茶山にて離れたため、その対応をめぐり双方話し合う。借財の件で大庄屋に相談し対応した旨の	竪紙	1	909-1～3紙縒で一括。909-1～3は関連文書
909	2	〔書状〕		12	11	庄屋徳三郎	庄屋甚九郎	弥右衛門の取計らいの件について、半助を派遣したが、再度余人を派遣するようにとのこと。詮議の結果、思召しの通りにして早く解決してほしいとの結論	竪紙	1	
909	3	〔書状〕		12	12	庄屋徳三郎	庄屋甚九郎	計らいの件は昨日申し上げた通り、役頭に申上げ、思ったようにしてほしい旨。こちらから人を派遣しない旨	竪紙	1	
910	1	〔書状〕						千年記へ預手形を差入置いた分は、去冬村方が払出できず、当春より催促があるので相談して当事者で解決することになったが、さらに間違いがあったので裁許を求める	継紙	1	910-1～19は紙縒で一括。挿入文書あり
910	2	〔書状〕					曽蔵	去冬上納方に間違いがあった由、その際の上納は村方の願出通り、村方に任せてられたが誰が算用したか知らない旨記す	継紙	1	910-1の挿入文書
910	3	覚	丑	4		片島勘右衛門(印)	花瀬庄屋甚九郎	算用書上	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
910	4	〔書状〕		12	22	相田兵内	花せ庄屋甚九郎	金子借用の催促の件は繰り合わせが難しいので、その後、相談しなかったが調査するとの旨	竪紙	1	
910	5	覚	丑	4	2	片島勘右衛門(印)	花瀬庄屋甚九郎	金銭書上	継紙	1	
910	6	受取	ね	正	元	久助(印)	儀平殿	金子1歩。小竹貨物利方に遣わす	切紙	1	
910	7	覚		2	27	傳七	甚九郎	36貫786匁支払いのこと	切紙	1	
910	8	〔覚〕						諸上納の取計らい、上納銀の直段の件、給米日割りの件、米直段、日田借りの利方の件、大風後の貸取、大風後の他村救切米の件など、様々なことを記	継紙	1	
910	9	〔書状〕						手元大いに難渋し、催促をうけても銭がない旨。取立帳面を持参し、引き合せ過不足を調べる旨	継紙	1	挿入文書あり
910	10	〔書状〕						金子差返させるのか尋ねる	切紙	1	910-9と関連か
910	11	〔書状〕						上納未進の米銭の取扱や、去冬曽蔵殿へ実状を掛合ったが、その後返答がなく返答を求める旨、当春も米が払底して支障がある旨など、村の窮状について記す	継紙	1	
910	12	覚	丑	12	14	相田兵内	花瀬甚九郎	米銭の算用書上	継紙	1	虫損
910	13	覚		正	29	傳七	庄屋	金子3両1歩3朱、正銭1貫389文の支払い内訳を記す	継紙	1	
910	14	〔書状〕	丑	12	28	相田重助	花瀬村庄屋甚九郎	借用金拂不足について今日1歩返上。不足目録を作成してほしい旨。来季、速やかに算用してくれるよう頼む	竪紙	1	
910	15	覚	子	12	26	石見屋新助	相田村庄屋甚九郎	銭43貫629匁の代金のうち差引、13貫匁629匁の支払い	継紙	1	
910	16	覚						借用金銭、元利の書上	切紙	1	虫損等による破損
910	17	覚		12		片島平右衛門	相田喜作	金銭書上	切紙	1	破損あり
910	18	〔覚〕						金銭書上	切紙	1	
910	19	〔書状〕		12	16	相田新六	花瀬村庄屋甚九郎	金銭に関する内容カ	継紙	1	虫損大
911	1	覚	午	12		山鹿屋徳兵衛	花瀬甚九郎	酒の売渡に関する書上	切紙	1	911-1～4紙縒で一括。
911	2	覚	午	12		鶴崎屋緑右衛門	花瀬村甚九郎	代金書上	切紙	1	
911	3	覚	午	12	13	糀屋善吉	庄屋甚九郎	代金書上	継紙	1	
911	4	覚		5	27	山鹿屋治兵衛	庄屋甚九郎	金銭算用の書上。37匁不足	切紙	1	
912	1	覚	酉	4		庄屋孫助	庄屋甚九郎	算用書上。触講で申冬に取当りの金11両1分代、申の触立不用分など書上	継紙	1	912-1～12紙縒で一括。割印あり
912	2	覚						米22斗1升3合熊本など、米の分配の書	切紙	1	
912	3	〔書状〕		12	19	庄屋孫助	庄屋甚九郎	去冬の役物過上渡しにつき、10貫565文の面上で算用し、村々の不足分を取立て差し上げる旨	切紙	1	
912	4	覚	酉	12		庄屋甚九郎	大庄屋元御役場	上納銀、触雑用など71貫52匁、引残8貫882匁過上を引合せるように願う	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
912	5	〔書状〕		12	晦日	蓮台寺半次郎	花瀬甚九郎	引合せの件について、季内手形が無代なので来春粮物を渡すまで延期したい。その節、間違いの旧算用を用捨してほしい旨	切紙	1	
912	6	覚	酉	10		庄屋甚九郎	幸袋御役場	大庄屋元諸目録。銭25貫356匁の算用	継紙	1	
912	7	覚		12	20	大庄屋宅右衛門(印)	庄屋甚九郎	仕組出銭、上納銀など合7貫965匁を問屋へ渡すこと	継紙	1	
912	8	請取	酉	3	15	庄屋通兵(印)	花瀬村	鶉1羽の受け取り	切紙	1	
912	9	覚		4				酉冬の惣仕詰の節に算用した分を、引合せた。915匁不足。年々目録を作成し、孫助、百助両人へも目録の指出を命じる	継紙	1	
912	10	覚	酉	12		庄屋甚九郎	相田村	米、銭、本銀、幕、半鐘の請取	切紙	1	
912	11	覚		4		花瀬甚九郎	横田長次郎	田地証文分の書上や熊本免杉畑櫨余米の見込などの書上	継紙	1	
913	1	〔覚〕	午	正		岡部覚十郎、濱田義八郎(印)	穂波郡堀池村與助	去巳年の年貢米十月切皆済し、兼ねての達しを守ったので奇特の至り。以後も出精するようにとの旨	継紙	1	913-1～5紙縒で一括。継目一ヶ所剥離、割印あり
913	2	〔覚〕	巳	4		岡部覚十郎(印)、濱田義八郎	穂波郡堀池村佐平、与市	去寅年の年貢米十月切皆済し、兼ねての達しを守ったので奇特の至り。以後も出精するようにとの旨	継紙	1	割印あり、「堀池村」の貼紙あり
913	3	〔覚〕	辰	5		岡部覺十郎	穂波郡堀池村左平	去卯年の年貢米、村で一番に皆済し、兼ねての申し付けを守ったので奇特の至り。以後も出精するようにとの旨	継紙	1	
913	4	證拠之事	文政4巳	12		若菜村庄屋弥四郎(印)、證人高田村庄屋武七(印)	堀池村庄屋彦三郎	来午年に仕組みを行うので積帳を差出した。損失しても決して貴公様へ弁掛はしない。そのため拙者の抱田地を大庄屋殿へ証文し、同役の受判も取継置く旨	竪紙	1	
913	5	仕組出銭之内預手形	巳	12	10	若菜村庄屋弥四郎(印)	堀池村庄屋彦三郎	銭300目を手形と引替て渡す旨	竪紙	1	
914	1	〔書状〕		12	26	潤野村組頭用作	花瀬村庄屋甚九良	触雑用丑ノ年分の催促の件、先日も申し述べた通り、取り立ての日延を願い出る旨	切紙	1	914-1～21紙帯で一括。914-1～5は紙縒で一括。1～5は関連文書。
914	2	〔書状〕		12	28	潤野村庄作、用作	庄屋甚九良	催促のため、明日九日少し持出し、残る分は、日延を願う旨	切紙	1	
914	3	〔書状〕		12	24	潤ノ用作	花せ庄屋甚九良	去丑の触用金について御手元払いは延引していたので迷惑をかけたこと。当年は損毛作のため、来春まで待ってほしいこと。	竪紙	1	
914	4	〔書状〕		12	27	庄屋用作	庄屋甚九良	金子指上の件について、当年は金詰りで借りられないため、農具、家財を預かること	切紙	1	914-4、51は関連文書

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
914	5	〔書状〕		12	29	組頭庄作、同用作	甚九良	稲こきを預けること。来春に田地を売り、金子を工面する旨。鍋釜の類は指上げない。奥書に覚として千把こき四丁を預ける旨を記す	継紙	1	
914	6	〔覚〕						勝右衛門殿から村方末近升口は御用捨、助左衛門殿は参ること	切紙	1	前後欠ヵ
914	7	〔書状〕		12	29	庄屋七右衛門	庄屋甚九郎	贈り物の礼状	切紙	1	914-7～10紙縒で一括
914	8	覚	辰	12		庄屋甚九郎	大庄屋元御役場	卯年不足御目録分など19貫7文を納めた証文	切紙	1	
914	9	〔受取証文〕		12	29	大庄屋宅右衛門	庄屋甚九郎	酉年分その外諸口を受取り、目録を別紙に作成した旨。不足分は速やかに納めること	継紙	1	
914	10	〔書状〕		12	29	大庄屋宅右衛門	庄屋甚九郎	村の諸口渡が、(花瀬村だけ)未納であるが、どのように心得ているのか	継紙	1	
914	11	〔書状〕		12	29	つりけ善作	花せ村組頭儀助	頼んでいた秋春の角力の御華を、この間に預かるよう頼んでいたが、金子でお世話になるよう望む	継紙	1	
914	12	〔書状〕		12	28	庄屋儀七郎	庄屋甚九郎	米2俵を恵んでもらった御礼。目録指出の件で、爰元は大差支にて大庄屋様から催促されている。貴家は不足分を遣わすか否か知らせてほしい旨	継紙	1	
914	13	〔書状〕		12	28	大日寺村助右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	去冬遣わされた金子1両を取戻す件で、私から働きかけ、利方をおまけしてほしい旨、利方の割合は委細書面で話し合いたい旨	継紙	1	
914	14	〔書状〕		12	27	大庄屋宅右衛門	庄屋甚九郎	諸口が指支えるので、今日中に払うように。飯塚出し米は1俵ずつ払い、幸袋出し米は、3斗5升ずつ払うこと	継紙	1	
914	15	〔書状〕		12	29	飯塚庄屋通太	花瀬庄屋甚九郎	仕組出銀の分、米1俵指出されたので、確認したところ、御蔵方が取立てる米ではないとのこと	切紙	1	
914	16	〔書状〕		12	28	大日寺村蔵方助右衛門、久平	花瀬村庄屋甚九郎	貴家の上納米、畠方上納の未納について、借りて上納するよう掛合う	継紙	1	914-16～17は関連文書ヵ
914	17	〔書状〕				蔵方助右衛門、久平	甚九郎	昨日の手紙で貴家の上納について返答を頼んだ。只今、大庄屋から呼出されて参ったところ、上納未進は払うようにとのことであったので、返書に心得置くよう改めて申上げる	切紙	1	
914	18	〔書状〕		12	19	庄屋儀七郎	庄屋甚九郎	村方の者の借用元利を取切ること、貴家の上納分も古借振りなので立用とすること。初秋当村借財年賦について相談のため、同役を2人貴家へ送り、一切の品を五ヵ年賦年6俵と決めた。年賦の返済は久平をもって内済とすること	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
914	19	〔書状〕		12	24	大日寺村庄屋義七郎	花瀬村庄屋甚九郎	当村の上納未進について、大庄屋元払いができないため、呼出があった。貴家も追々皆済してほしいが、貸し付は当冬は待ってほしい。明日上納を済ませるか返答をまつとのこと	継紙	1	
914	20	〔覚〕						金銭書上。禁令等の一ツ書	切紙	1	
914	21	〔書状〕		12	16	甚九郎	彦四郎	村方の米銭差支につき、堀池村などと引合を行ったこと	継紙	1	
915								品代受取など、亥年・子年・丑年・卯年分がそれぞれ紙帯にくくられ、全体を括って一括　近世。甚九郎あて	切紙		
915	1	覚	子	12	20	千歳屋孫六	花せ甚九郎	米2俵の受取証文	継紙	1	915-1～5は紙縒で一括
915	2	受取		12		千とせや孫六	花せや甚九郎	米3俵の受取証文	切紙	1	
915	3	覚	子	12	29	千歳屋孫六(印)	花せ甚九郎	米2俵の受取証文	切紙	1	
915	4	覚		12	17	ちとせや孫六	花せ庄屋甚九郎	米1俵の受取証文	切紙	1	
915	5	覚		12	20	千歳屋孫六(印)	花せ庄屋甚九郎	米2俵の受取証文	継紙	1	継目剥離のおそれあり
915	6	覚	丑	12	29	孫六	花せ甚九郎	1匁の受取証文	切紙	1	915-6～10は紙縒で一括
915	7	覚	丑	12	29	ちとせ屋孫六(印)	甚九郎	米2俵の受取証文	切紙	1	
915	8	覚	丑	12	29	孫六(印)	甚九郎	米2俵の受取証文	継紙	1	
915	9	覚		12	29	孫六(印)	甚九郎	米2俵の受取証文	切紙	1	一部破損
915	10	覚	丑	12	27	ちとせや孫六	花せ甚九郎	12月14日の品代として11匁3分余	切紙	1	
915	11	覚		12	29	孫六	甚九郎	米2俵の受取証文	継紙	1	915-11～14は、「亥年」と墨書された紙縒で一括
915	12	受取		12	29	孫六	花せ村甚九郎	米1俵の受取証文	継紙	1	
915	13	覚		12	21	千歳屋孫六	甚九郎	米2俵の受取証文	切紙	1	
915	14	覚		12	29	孫六	花せ甚九郎	米1俵の受取証文	切紙	1	
915	15	覚	う	12	29	ちとせ屋孫六	花せ甚九郎	米2俵の受取証文	切紙	1	915-15と16は、「卯年」と墨書された紙縒で一括
915	16	覚		12	29	ちとせや孫六	花せ庄や	米2俵の受取証文	切紙	1	
916	1	〔書状〕		4	15	伊川彦吉	庄屋甚九郎	尊二様の聞次給米の日割について、去冬の日割の割合を上げると庄屋が言ったが上がらず、手元が難渋しているので、話してくれるように頼んだもの	継紙	1	916-1～60紙縒で一括
916	2	〔書状〕		4	4	庄屋茂右衛門	庄屋甚九郎	去丑年雑用は潤の村へ切付おき、払うようにしていたが、同村より引合があり、近々、御用合なので、委細はそこで話し合う旨	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
916	3	〔書状〕		正	20			一昨年触用の証文で取替えた金子1両と触構米不納の扱いについて。この件について御親父様から先年言われて御用金と焚石益銭を休助殿へ預けた分、2人で蛭子屋十郎に貸した分を返してほしい旨	継紙	1	
916	4	〔雑綴〕						代金書上。目録の写。未年の未納分を5両で済ませる旨の書状。目録分の支払いについて返答を与吉へ話すようにとの書状。受取証文	書綴	1	全6丁墨付。
916	5	〔書状〕		8	11	庄屋□□	庄屋甚九郎	籾囲について山付村々へ申し出、役所へも伺ったが、何の才判もないので、入替えの時は指示を頼む。遠右衛門の件について奥書あり	継紙	1	
916	6	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上候口上之覚						焚石山を預かり採掘していたが、出石が悪く、飯塚宿の十五郎へ相談し、採掘の権利と石を3貫500目で売渡した。その後、採掘した石を飯塚宿の惣市に売渡たいと潤野村の安平が申し出、その代銭をめぐる問題で裁許を求める	継紙	1	概要を記した貼紙あり
916	7	〔覚〕						川の土手改修の状況を記す	継紙	1	
916	8	〔書状〕		12	18	伊川庄屋茂右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	去夏の触雑用の取替は、潤の村へ催促して受取ること。触構の掛米を渡すこと。半給日割を受取ること	継紙	1	916-8～10は紙縒で一括
916	9	〔書状〕		2	5	潤野村庄屋、組頭中	花瀬村庄屋甚九郎	触用銭の件で支払えないことについての相談	継紙	1	
916	10	〔書状〕		12	21	庄屋茂右衛門	庄屋甚九郎	彦吉の日割給米を渡すこと。当年の触雑用の取替は目録が喜七郎の手元にあるので申出て役中で評議のこと。去年の雑用取替の件、構米の支払いに	継紙	1	
916	11	〔書状〕		11	14	太助	庄屋甚九郎	構銭2両2歩不足の支払い、当春借用分も元金2歩ずつ支払うこと。利銭は算用のこと	継紙	1	916-11～26は紙縒で一括。
916	12	〔覚〕						甚平、与平、惣平の支払い残高の書上	切紙	1	
916	13	〔覚〕						花瀬村の備分として、12俵年貢立用に16俵。	切紙	1	
916	14	〔覚〕						花瀬村分の米9俵、内1斗5合は過上米引。残り8俵2斗2升5合	切紙	1	
916	15	〔覚〕						米高書上。米7斗3升5合	切紙	1	
916	16	覚						代金書上	切紙	1	
916	17	覚						支払い金銭の書上	綴	1	
916	18	〔書状〕		4	22	片島真右衛門	庄屋甚九郎	目録の写取りについて。目録の取調子について	継紙	1	
916	19	覚						甚九郎受持分の書上。6両5合3夕8才	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
916	20	〔書状〕		12	20	大庄屋彦右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	人馬仕組の出銭未納により、支払うこと。当年分を支払わなくても過上銭を渡せないので、この届を渡すこと	継紙	1	
916	21	預り	酉	12	20	庄屋五平（花押ヵ）	花瀬村庄屋甚九郎	六銭130目の受取証文。奥書に49匁7分を去冬に出池立用いた分を算用した	切紙	1	
916	22	證拠	申	11		庄屋中	花瀬村庄屋甚九郎	六銭47匁7分は当冬の人馬仕組の出銀に用いた旨	継紙	1	
916	23	〔書状〕		11	28	庄屋卯右衛門	花瀬庄屋甚九郎	年貢を延引して申し訳ないこと、今日2俵を儀助が納め、蔵入するので受取ってほしいこと。去冬の残りは、酒代の目録から算用し、不足分は納めること	継紙	1	916-23～26まで紙縒で一括
916	24	〔書状〕		5	27	いきす久三郎	花瀬村甚九郎	酒代の支払いについて。講銀立用の分ではなく、子年の秋判の酒代として上納未進から立用して欲しい旨	切紙	1	
916	25	覚	丑	3		伊岐須酒屋久三郎	花瀬村甚九郎	申年と戌年の酒代6貫284匁、子9月12日の3貫600匁の書上	切紙	1	
916	26	覚	寅	12		いきす酒久三郎	花瀬村甚九郎	申年、戌年、子年の酒代の書上	切紙	1	916-25と同金額
916	27	大鋸一件		4	27	庄屋二右衛門	庄屋甚九郎	御家作の伐木で木挽を雇う件。大日寺の善右衛門は出奔したが、弟子を雇うか思召し次第のこと。先日の証文につ	継紙	1	
916	28	〔書状〕		12	20	大庄屋彦右衛門	はなせ村庄屋甚九郎	人馬仕組出銭について。不足を催促しているが、支払われないことについて	継紙	1	
916	29	〔書状〕		4	12	相田兵内	花瀬村庄屋甚九郎	予てより掛合っていた米銭未進の調べのため、今日来るように要請したもの。委細は指出したものより申上げるとのこ	切紙	1	
916	30	〔書状〕		12	29	片島五三郎	甚九郎	掛合の講銀口入について	継紙	1	
916	31	〔覚〕						去冬から喜七と百助が頼み、役改から調べたが、御才判が遣わされていないので、当6月に陶山氏に言って小田氏	切紙	1	後欠ヵ
916	32	〔書状〕		4	8	相田平内	花瀬村庄屋甚九郎	蔵方仕詰め目録は苗代後に早速指出すところ、公役などがあったため延引したが、善作と貞平が申合せて仕詰めさせたこと	切紙	1	
916	33	請取		10	7	庄屋与一郎（花押）	花瀬庄屋甚九郎	惣救銭として2朱1斤の受取証文	切紙	1	
916	34	〔書状〕		3	8	相田庄屋曽蔵	花瀬庄屋甚九郎	子冬の仕詰について掛合いのこと。善作が帳面を所持しているのは大間違いのこと。今日帳面を使いへ渡したので、お手元で御仕詰めた後、指返して欲しいこと	継紙	1	計8冊の帳面の書上あり
916	35	〔覚〕						代金書上	切紙	1	
916	36	〔書状〕						焚石益銭一件と糀屋一件を弥四郎へ尋ねる。糀屋一件について中村御役頭へ才判を求める	継紙	1	
916	37	覚書上控之事	卯	2				甚九郎や彦三郎、日田借からの米金の書上。〆金61両3歩、米173石	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
916	38	〔書状〕		2	12	庄屋	甚九郎	安平方一件について。工夫して宜しく取計うこと	継紙	1	
916	39	覚		9	24	御部や宅七	甚九郎	600文御切手2枚をたしかに受取ったこと	切紙	1	
916	40	覚		7	26			銭28匁5分。酒代の代金書上	切紙	1	
916	41	〔覚〕		4	3			安平、村方などからの5文半を両会所通銭として約定のこと	切紙	1	「十五組定無之」と端裏書あり
916	42	〔書状〕		11	18	潤野庄屋	花瀬村庄屋甚九郎	半六殿の仕立講の座会は、私方目録の片付けの前に仕舞ってはどうか。先年の安平の仕立講の処理について調べること	継紙	1	
916	43	〔書状〕		6	17	庄屋	甚九郎	当村次右衛門が御尊家の抱田地へ牛を追掛、(稲を)喰わせた件で取調べたが、追掛ておらず、(牛が)つなぎを離れて稲を喰ったとのこと。一人同道で詫びに行くこと。同業のことなので勘弁してほしいこと	継紙	1	
916	44	覚						5貫527文の受取証文	切紙	1	「付先一件」と端裏書あり
916	45	〔書状〕		2	19	庄屋	甚九郎	安平一件について。飯塚で出会いのこと。甚九郎より付先受取の約定のこと	継紙	1	
916	46	〔書状〕		2	20	庄屋	甚九郎	安平方一件について。惣市との御咄合は、貴若様と惣市を貴宅へ呼んでほしいこと。日時は都合がよい時に報せてほしいこと	継紙	1	916-45の関連文書
916	47	〔書状〕		2	28	相田庄屋曽蔵	花せ庄屋甚九郎	貞平は眼気、善作も正月頃から病気のため認めた帳面を持参できないが、それでも良いか尋ねる。村方よりの仕詰の儀も願う	継紙	1	
916	48	〔覚〕	卯	11				両村山兼銭高として3貫233匁8分5厘と、巳冬の御用金3両代他を午から卯までの十ヶ年利で支払いを求める	継紙	1	
916	49	〔書状〕		2	27	相田庄屋曽蔵	花せ庄屋甚九郎	子冬の仕詰で、蔵掛の者を派遣するようになっていたが、貞平は眼気のため行けないので、認めた帳面は送るべきか。御入込の上で御仕詰をするべきかなど尋ねる	継紙	1	
916	50	〔書状〕		2	8	相田兵内	花瀬村庄屋甚九郎	庄屋儀は今日飯塚を通るので出勤するようにとの書状の旨承知したこと。庄屋から報せがあるので心得ておいてほしいこと	切紙	1	虫損大
916	51	覚	丑	8	25	蛭子屋十助	花瀬村甚九郎	花瀬村焚石24万680斤をはじめ30万8080斤の書上	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
916	52	〔書状〕		7	8	諸事聞百輔	庄屋甚九郎	暑中見舞いに椎茸の恵投の御礼。糀屋へ指入に求めて預けていた書の返却について。定飛脚の賃銭受取のこと	継紙	1	916-52～58は紙縒で一括。916-52と53は紙縒で一括。「糀屋兼や入」と貼紙あり。
916	53	〔書状〕		9	8	諸事聞百輔	庄屋甚九郎	御神酒恵投の御礼。糀屋の預り書の返却について善右衛門との遣り取りについて	継紙	1	916-52の関連文書
916	54	穂波郡花瀬村庄屋甚九郎乍恐御願申上ル事	天保11	12		花瀬相田両村庄屋甚九郎(印)	上座下座嘉麻穂波御郡御役所	去る戌年に飯塚宿の糀屋孫吉方の指引について裁許により片付いたが、去る十日、相田村蔵役所で積切米の手筈をしていたところ、孫吉が裁許済み指引をきびしく催促し、納方を妨げた。その後、私宅へも参ったため大庄屋に取計いを依頼したが、解決しないので裁許を求める	継紙	1	
916	55	請取	丑	卯	2	糀屋孫吉(印)	花瀬村庄屋甚九郎	金子3両2歩の受取証文	切紙	1	
916	56	〔覚〕	戌	11	16			米18石2斗8升3合は春秋付口差引のこと	継紙	1	
916	57	聞書						亥正月8日から3月朔日の間の聞書。惣市一件に関する調べなど	折紙	1	
916	58	借用仕米之事	文政4年巳	11		花瀬村組頭茂七(印)	糀屋孫吉	当春村方に借用の米。午9月15日に返済のこと。同村庄屋甚九郎(印)から、かうしや孫吉殿に宛てた奥書あり	継紙	1	
916	59	〔書状〕		正	19	庄屋二右衛門	庄屋甚九郎	山口実様御初穂の催促のため差上げのこと。私方余米と村方借り分共に余米を今日差し上げる筈のところ、調達できずお断りすること	継紙	1	
916	60	〔覚〕						粮物、牛代貸渡、給米貧民救のこと、当役給米ハ不申及臨時取立のことなど村方の負担について	切紙	1	
917	1	〔書簡〕		3	14	戸長肘井利一	戸長梅津又三郎	補助金は、一昨日大和庄三郎が出役したが受取証がなく受け取れなかったので、取計ってほしいこと	継紙	1	917-1で917-2～15を一括
917	2	〔書簡〕		旧5	9	ちとせや吉六	大和武三郎	米6俵タメの車夫を指立てるので、持渡してほしいこと	切紙	1	
917	3-1	〔包紙〕						包紙上書き「立岩目尾川嶋証文写入」	包紙	1	包紙は反故紙。917-3-1～6は紙縒で一括。 917-3-1は3-2～6の包紙
917	3-2	永代賣渡證文之事	明治2年巳	12		売主穂波郡花瀬村茂一郎(印)、 請人彦三郎	川嶋村高次藤右衛門	下田7畝15歩、高6斗8合を正金20両で売り渡すこと	継紙	1	貼紙2点あり。うち1点は添証文

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
917	3-3	永代賣渡證文之事	明治元年辰	12		売主穂波郡花瀬村大和甚九郎、 受人彦三郎	川嶋村高次藤右衛門	下田7畝15歩、高6斗8合を正金20両で売り渡すこと	継紙	1	同村庄屋金子弥七郎(印)、同組頭善次郎(印)、同与一郎(印)の奥書あり
917	3-4	永代賣渡證文之事	明治元年辰	12		売主穂波郡花瀬村大和甚九郎、 受人彦三郎	川嶋村高次藤右衛門	下田7畝15歩、高6斗8合を正金20両で売り渡すこと	継紙	1	917-3-3と同内容
917	3-5	永代相傳ニ賣渡申證文事	明治元年辰	11		売主花瀬村大和甚九郎、受人同村彦三郎、同目尾村八右衛門	目尾村平三	下田1反20歩を正金27両2歩で売渡すこと	継紙	1	奥書に「別紙ニ添証文事」として証文あり
917	3-6	〔包紙〕						包紙上書き「巳二月立岩彦三郎証文	包紙	1	917-3-6-1と2の包
917	3-6-1	預り手形	慶応四年辰	2		花瀬村大和甚九郎(印)	立岩村彦三郎	正金39両9合を利方月2歩で米30俵代として預けること。当秋に元利を手形と引き替えること	継紙	1	
917	3-6-2	預り手形	明治元年辰	12		花瀬大和甚九郎	立岩村彦三郎	米39俵は6月限り手形と引き替えること	継紙	1	
917	4	〔書簡〕	卯	7	21	伊川村中山彦吉	花瀬村大和武三郎	寄付金について脇方は、当月施餓鬼の時に払うとのことで貸して欲しい。西京表へも23、24日頃発足の予定なので御願いする	罫紙	1	
917	5	〔覚〕						〆25貫370匁の金銭書上	切紙	1	「右千歳瀬や」と端裏書あり。
917	6	覚		12		千歳屋孫六	花せ甚九郎	年之分の金銭書上	切紙	1	
917	7	覚		12		ちとせや孫六	花頼大和甚九郎	年之分、辰年の〆22貫870文の金銭書	継紙	1	
917	8	覚		2	24	千歳屋孫六	花せ庄屋甚九郎	代銭12貫970文の受取証文	継紙	1	
917	9	覚						辰年分15貫520文、巳年分6貫500文、午年分5貫200文の代銭書上	切紙	1	「右いきす酒屋」と端裏書あり。
917	10	覚	午	12	26	伊支須酒屋五八郎	大和甚九郎	去年の酒代5貫400文の受取証文	切紙	1	
917	11	覚	午	12		いきす酒屋五八郎	花せ村甚九郎	巳年分35貫500文他の代銭書上	切紙	1	
917	12	記	亥	12		酒屋五八郎	花瀬村甚九郎	酒代の書上。残高5貫300文	切紙	1	
917	13	覚	巳	12		伊匱須酒屋五八郎	花せ甚九郎	酒代合計57貫120文、他切手代などの代銭書上。	継紙	1	
917	14	覚	午	12		いきす酒屋五八郎	庄屋大和甚九郎	丑、卯年の酒代の書上	切紙	1	
917	15	〔紙〕						白紙	切紙	1	
918		子秋米銭請払覚帳				大和甚九郎		片崎助右ェ門櫨算用追送り帳面	横帳	1	918～931紙縒で一括
919		丑秋米銭請払覚帳				大和甚九郎		米、金銭書上	横帳	1	
920		寅秋米銭請払帳						米、金銭書上	横帳	1	
921		辰秋米銭請払帳				大和甚九郎		米、金銭書上	横帳	1	
922		〔覚〕						石数書上	竪紙	1	前欠
923		穂波郡花瀬村嘉永元申年村切立之内差引有之分御算用目録							継紙	1	
924		覚	寅	12		花瀬　甚九郎	手つ屋　元右ェ門	金銭書上	長綴	1	
925		覚	寅	12		鐵屋元右ェ門	花瀬庄屋　甚九郎	金銭書上	長綴	1	
926		覚	卯	12	20	鐵屋助右衛門	花瀬庄屋　甚九郎	金銭書上	切紙	1	
927		覚	戌	12		手津屋　裕右ェ門	花瀬庄屋甚九郎	金銭書上	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
928		〔書簡〕		12	6	鐵屋助右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	横田村次助の借入金の事について	継紙	1	
929		覚		11	10	鐵屋元右ェ門	花瀬村甚九郎	櫨実代金差引	継紙	1	
930		〔書簡〕		12	11	鐵屋元右ェ門	花瀬庄屋甚九郎	目録算用の事	継紙	1	
931		覚						金銭書上	端紙	1	横帳綴じはずれヵ
932		〔覚〕						石積方の事	切紙	1	
933		〔覚〕						メモ帳	小横綴	1	
934		〔覚〕						天保3年、4年分の石数など書上	横帳 端紙	1	
935		記						品代、支払金など書上	横綴	1	
936		七大和武同正臣合併七日法会至来帳	大正4	7	12ゟ 施行			到来物書上	横帳	1	
937		故大和甚九郎肴米帳	明治30	旧1	11			葬式費用、到来物など書上	横帳	1	
938		嘉永六年丑五月ヨリ大庄屋書目録并御仕組合借用ニ付手形并添証文入ル	嘉永6			庄屋　甚九郎		袋のみ		1	
939		〔覚〕	慶応4			花瀬村庄屋	触口	誓紙押印者書上	横帳	1	日付の箇所に「明治2，3，4年」
940		〔覚〕						金銭書上	横帳 端紙	3	
941		〔覚〕						金銭書上	横帳 端紙	1	
942		〔覚〕	未	12		花瀬村組頭中	庄屋　福沢十平	花瀬村関係金銭書上	横綴	1	
943		〔覚〕						文右ェ門・卯平・甚久助・与平分金銭など書上	横帳 端紙	4	943、944は同一の横帳の端紙か
944		〔覚〕						文右ェ門・卯平分の金銭など書上	横帳 端紙	3	
945		酉斗御宮備米						御備米書上。酉年～子年	横綴	1	
946		〔覚〕						雇銭切符書上	横綴	1	
947		上三諸触村々庄屋組頭出米内留主中諸御用聞次名元書上申事						名前と押印書上	横綴	1	
948		〔覚〕						金銭書上	横綴	1	
949		御通	巳	2		利介	甚九郎	数量書上	小横帳 端紙	1	
950		〔覚〕						甚三助分米銭書上他	横帳 端紙	2	
951		〔覚〕						米作に関する賃銭等書上げ及津出しの覚	綴	1	一度とじひものはずれたものを紙縒で一ヶ所のみとじてある。表紙裏表紙なし
952		〔覚〕						花瀬村の地勢（総家数・橋・都市道法・寺社など）	綴	1	
953		〔覚〕						筑前国内村名書上	綴	1	破損あり
954		〔記〕						「奥州仙台白石の城下＝女敵討有り」	小横帳	1	
955		〔覚〕						金銭書上、糀屋分など	端書	2	横帳綴じはずれヵ
956		〔覚〕						籾上納書上げ　弥右衛門・与八以下14	綴	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
957		〔覚〕						嘉平以下　各人受付田数及石高書上	綴	1	
958		己年、散田付筋						〆176俵2斗6升10合人名ごとの書付け	綴	1	
959		〔証文綴〕	（嘉永4）					川津村庄屋和六、頭取舟頭長蔵外2名、川津村次平・安右衛門より甚九郎あての借用証文3通の写	綴	1	
960		永代売渡申田地之覚				良右衛門		〆金65両分の売渡土地の書上	綴	1	
961		午未進覚						忠七　弥左衛門はか　人名別未進分の書上げ	綴	1	
962		〔覚〕						寛政13年ほか、借銭米のひかえ25名分計米149俵1斗3升6合銭7貫77匁4分	綴	1	
963		〔覚〕				大庄屋(黒印)		子・丑・寅3ヵ年分の花瀬村分村費の収支か	綴	1	
964		〔覚〕						人別米払出し書上げ、又三郎以下5名	綴	1	
965		〔覚〕						清七以下8名分米払出し書上	綴	1	
966		幸袋中村両触村調金受取覚						各村夫賃銭等書上	綴	1	
967		〔覚〕		11	(4～5)			村夫書出し、魚代受取り、糀屋孫吉買物通をつづる	綴	1	
968		〔覚〕						13日夕の献立	綴	1	
969		子ノ3月未進約〆						亥年分〆189〆653文、返上分の書上げもあわせる	綴	1	
970		〔覚〕						金銭・米書上	端紙	1	横帳綴じはずれヵ
971		〔覚〕						すやき等書上	端紙	2	小横帳綴じはずれヵ
972		〔覚〕						金銭書上	端紙	2	横帳綴じはずれヵ
973		〔覚〕						金銭書上	端紙	1	小横帳綴じはずれヵ
974		〔覚〕						金銭書上	端紙	1	小横帳綴じはずれヵ
975		〔覚〕	明治40～43					構生会買物費書上	横綴	1	
976		諸切銭割方根帳	弘化2巳	正月	11	庄屋甚九郎		表紙のみ	端紙	1	
977		〔覚〕						石数書上	端紙	2	横帳綴じはずれヵ
978		〔覚〕						儀市分、銭書上	端紙	1	横帳綴じはずれヵ
979		〔覚〕						甚吉分、新吉分銭書上	端紙	2	横帳綴じはずれヵ
980		〔覚〕						15番～22番迄の田数書上	端紙	12	小横帳綴じはずれヵ
981		〔覚〕						金銭書上げ断簡	端紙	1	横帳綴じはずれヵ
982		〔図面〕						水車図　完形図ではない	継紙	1	一部剥離か
983		〔書状断簡〕						前後欠　金子1歩2朱の聞合せ	切紙	1	
984		〔書状〕		3	23	青柳大規	甚九郎	借金の依頼状	切紙	1	
985		〔書状断簡〕		6	21	庄屋　藤右衛門	花瀬　甚九郎	お世話を依頼　前欠	切紙	1	
986		〔書状断簡〕						前後欠　御米不足分の催促	切紙	1	
987		〔覚〕						11月29日よりの米納め高書上げ　〆195俵　「若松□生屋」の黒印	切紙	1	
988		〔書状断簡〕						前後欠	切紙	1	
989		〔効能書〕						筑前博多中嶋町甘木屋甚右衛門製山田振繁	切紙	1	
990		〔覚〕						金銭書上	切紙	1	
991		〔覚〕						米高書上	切紙	1	
992		石山仕操入切取替控帳	文政13	2				表紙のみ	切紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
993		〔覚〕						弥吉分　しょうけほか買物控	切紙	1	
994		〔覚〕						品代書上げ	切紙	1	
995		〔覚〕						酉入米の控	切紙	1	
996		〔覚〕						6番　むろ下より前田迄　田数4反5畝3歩半	切紙	1	
997		書物之事	亥	正月		組頭茂七、同伝内、組頭表与平、儀助、一旅中	庄屋甚九郎	和助不法の儀に付詫び状	竪紙	1	
998		〔覚〕						金銭・米書上	横帳端紙	1	
999		覚	未	極月	22	庄方	武三郎	金銭算用書上	折紙	1	
1000		穂波郡花瀬村触口木各甚九郎武七連名ニ而御願申上候事	明治4	正月		花瀬村触口格大和甚九郎、同村同茂七	触口頭麻生賀三郎	金銭借入の事について	横綴	1	
1001		〔覚〕						辰年　元利の覚　子年、丑年分の書上げ　捨切の覚	綴	1	
1002		〔書簡〕						金子御手形の事	継紙	1	
1003		〔覚〕		3	23	平嶋□	花瀬　大和甚九郎	仮調所に出方くださるべし	継紙	1	
1004		〔書状〕				勝七	大和甚九郎	去冬の講米銭の返済について	継紙	1	
1005		〔書状〕		2	2	副戸長　立石三兵衛	大和武三郎	貴村久助、借用の針4俵未返済の事について	継紙	1	
1006		〔書簡〕		11	22	孫三郎	庄屋　甚九郎	上納銀不足につき支払いを求む	継紙	1	
1007		〔覚〕		2	19	高崎実行		御出役を願う	切紙	1	
1008		〔書簡〕		12	29	片崎直右ェ門	花瀬　甚九郎	講金取り立ての事について	継紙	1	
1009		〔書簡〕		2	12	伊支津　彦四郎	甚九郎様	先日の件お礼	継紙	1	
1010		〔書状〕		12	23	諸方平助	庄屋甚九郎	上納銭不足分の事	切紙	1	
1011		〔達〕		3	19	庶務課	建花寺・伊支津庄屋野見山彦市花瀬村大和甚九	来る22日役所へ出頭の事	継紙	1	
1012		〔書簡〕		12	5	仁右ェ門	庄屋　甚九郎	手形証文を今日夕に引替くださる様	継紙	1	
1013		〔書上〕		6	10	大庄屋　麻生賀郎(印)	建花寺村庄屋　大和甚九郎	石炭の受け取り数書上	継紙	1	
1014	1	〔書簡〕		11	27	目尾村次右ェ門	花瀬村　大和甚九郎	別紙の件、承知の事	切紙	1	1014-1と2は同折
1014	2	〔書簡〕		11	24	目尾村次右ェ門	花瀬村　大和甚九郎	田地証文にて金子取替の事	継紙	1	
1015		〔書簡〕		11	22	大庄屋宅右ェ門(印)	庄屋　甚九郎	調べが行き届かず御入用の控がまだ渡せない事	継紙	1	
1016	1	〔書簡〕		12	18	片崎　助右ェ門	花瀬庄屋　甚九郎	御取替した櫨代金のことについて	切紙	1	1016-1と2は同折
1016	2	覚	卯	12	18	片崎　助右ェ門(印)	花瀬庄屋　甚九郎	櫨代金書上	継紙	1	
1017		〔書簡〕		極月	20	醤油屋善右ェ門	花瀬庄屋　甚九郎	金一両、いまだ片付き申さざる事	継紙	1	
1018		〔書簡〕		11		目彦山	花瀬村　大和彦三郎	御約束の奉加米をお渡し下さる様	切紙	1	
1019		〔書簡〕		3	15	戸長　清水宅右ェ門	副戸長　大和甚九郎	伊川副戸長の諸御用お聞き次ぎの事	継紙包紙有	1	
1020		〔書状〕		5	14	庄屋　二太川	花瀬村庄屋　甚九郎	叔父に御状進上の事	切紙	1	
1021		〔書簡〕		6	5	次右ェ門	花瀬　甚九郎	触講に此方参加の事について	継紙	1	
1022		〔書簡〕		12	2	蓮台寺村蔵方	花瀬村庄屋　甚九郎	受蔵方へ持ち出しの分を花瀬村で受け取る様に	継紙	1	
1023		〔書簡〕		12	25	与一郎	庄屋　甚九郎	去年触雑用払不足分の事について。加勢を願う	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1024		〔書簡〕		7	11	セヲヤ　伊平	花瀬村庄屋甚九郎	森津一仲延引の事をわびる	切紙	1	
1025		〔覚〕		12	25	いきす五平	花瀬村甚九郎	御算用書上	竪紙	1	
1026		〔書簡〕		9	26	第7大区調所(印)	保長 八木山 □ロ卯七、稲永卯七、漢久五郎　松尾六三郎　大日寺村　岸田仁蔵　畠崎越郎　田中甚内　花瀬　大和武三郎	月給其の他諸費受取目録提出延引に付県庁より催促の事	継紙	1	
1027		〔書簡〕		2	11	鬼木栄蔵(印)	花瀬村庄屋甚九郎	松稲苗掘立の事について	継紙	1	
1028		〔書状〕				川つ　安之丞	花瀬　甚九郎	先日申し上げ候事、24日迄にお返し候事	竪紙	1	
1029		〔書簡〕		旧3	26	初治拝	花瀬村　大和武三郎	至急入用20円お渡し下さる様	竪紙	1	
1030	1	〔書簡〕		11	朔日	青木孫太夫	大日寺村庄屋　大和甚九郎	別紙の門松証拠を落手下さる様	継紙	1	1030-1と2は同折
1030	2	青木孫太夫門松其村山ニ而可相渡証拠之事	文久3	12	朔日	峯田宅左衛門(印)	大日寺村庄屋衆中	門松2本の書上	切紙	1	
1031		〔書状〕		12	21	大庄屋元 百助	花瀬 甚九郎	当季産子存生・死失書上げの件他2件依頼	継紙	1	
1032		〔書状〕		6	23			森崎殿埒明かず、工夫を依頼	継紙	1	
1033		〔書状〕		7	9	長次郎	甚九郎	金子の世話を依頼、本日自分も出かける筈の所病気のため欠席	切紙	1	
1034		花瀬村農久助利吉御願申上候事	酉	7		花瀬村農久助・利吉	副戸長　立石三兵衛	田地受戻しの件	継書	1	
1035		〔回章〕		11	22　卯上刻	大庄屋　孫三郎	花瀬　卯左衛門・彦三郎・甚九郎	「村次大早」脇触の上納の不足分の支払いを依頼	継紙	1	
1036		〔通太状〕		2	10	庄屋　通太	甚九郎	役所印判送り及び　春鳴毛筆拾箱(いわし町分)の代銭立替えを依頼	切紙	1	
1037		〔書状〕	未	9		花瀬村庄屋　甚九郎	陶山平市	嘉麻郡御出郡の際、方角の関係で殿様が私方へお立寄りになる件	切紙包紙有	1	
1038	1	〔書状〕		6	10	久右衛門	彦三郎	清算の掛合の件中に1038-2を同折	切紙	1	
1038	2	〔書状〕		2	25	庄屋平次郎	花瀬村庄屋甚九郎	半助払の一件	継紙	1	
1039		〔覚〕		9	13	彦四郎	甚九郎	洲口・玉子の受取	切紙	1	
1040		〔書状〕		9	4	庄屋　六右衛門	庄屋甚九郎	人馬雇の雑用銭をお渡し願裏には「丑分御通1件切米共受取入ル分」とあり	継紙	1	
1041		〔覚断簡〕						川土手破損箇所の築立の件	切紙	1	
1042		〔覚〕				示七	花瀬　甚九郎	依頼されていた品が少々値下がりしたので、米を売った分、受取ってほしい	切紙	1	
1043	1	〔書状〕		11	16	大庄屋　孫三郎	庄屋　甚九郎	当月切口上納の件	継紙	1	1043-1と2は同折
1043	2	〔覚〕	寅	11	25	大庄屋元	花瀬村	御成達進わり　銭1貫45文	切紙	1	
1044		〔書状〕		2	4	大日寺　保長	潤野村　花瀬村　保長	学講の義ニ付、談合したい、この手紙着き次第、役場まで出勤のこと	切紙	1	
1045		〔書状〕		10	15	花瀬村庄屋　甚九郎	大庄屋　孫三郎	飯塚御酒蔵雑用銭　切手　指上げに付、それぞれ御受取下されたし	継紙	1	
1046		〔書状〕		極月	後29	大日寺村	庄屋　甚九郎	御渡方に相成候金子頂戴1件	継紙	1	
1047		〔書状〕			3	甚九郎	直惣	一昨日御談の金1両・半米代　御埒参を御待ち申し候	切紙	1	
1048		〔書状〕						上納諸口取替えの件など	継紙	1	前後欠

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1049		〔書状〕		正月	22	大分　矢野久左衛門	花瀬　甚九郎	先日借用の雨具のお礼と返却のしらせ	継紙	1	
1050		〔書状〕		7	13	蓮台寺村庄屋　二左衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	木挽善蔵松板頼り飯塚へ出発の件	継紙	1	
1051		〔書状〕		3	30	野見山　彦一	大和甚九郎	今日御呼出しの人数は源平・彦三郎・立石殿・浦上殿の4名	継紙	1	
1052	1	覚	亥	10	9	米屋　甚七	茂三郎	封切米16俵、代544匁の支払証	切紙	1	1052～1056は紙縒で一括。1052－2を同折
1052	2	覚		10	20	米甚	茂三郎	封切米23俵　代690目の支払証1052-1と同折	切紙	1	
1053		覚	亥	11	7	古乎屋　茂三郎	花瀬村　甚九郎	金14両2歩の内訳	継書	1	
1054		〔書状〕		11	23	古乎屋　茂三郎	花瀬村庄屋　甚九郎	催促の代銭差上げ	切紙	1	
1055		覚	亥	11	23	古乎屋　茂三郎	花瀬村　甚九郎	代銭29貫259文の受渡し	継紙	1	
1056		〔覚〕		11	20	古乎屋　茂三郎	花瀬村庄屋　甚九郎	本日分受取　代銭はいずれ今日之内に差上	継紙	1	
1057		〔包紙〕				手伝使　伊藤登	花瀬村ニ而　大和甚九郎	「伊伎須ハ早々」	切紙	1	
1058		〔書状〕		正月	晦日	いきす庄屋　彦四郎	花瀬村庄屋　甚九郎	貴村の火事により当村松山類焼に付取調べ願い	継紙	1	継目にハズレ有り(2ヶ所)
1059	1	覚	午	12	21	中村屋　長五郎	花瀬村庄屋甚九郎	鰯割切符　引合受取	継紙	1	
1059	2	受取	午	12	3	大イ屋　彦右衛門	孫市	玉子30	切紙	1	
1060		〔書状〕		3	23	嘉助		石積込みの件で舟がないので文助との咄し合いの結果追てお知らせ	一紙	1	
1061		〔書簡〕		12	19	石田和七	庄屋大和甚九郎	金子操り困難に付、今冬だけお断申し候事	継紙	1	
1062	1	〔書簡〕		12	8	触口麻生賀郎	花瀬村庄屋大和甚九郎	明後10日惣吉を連れて飯塚代官所において下さる様	継紙	1	
1062	2	〔書簡〕		12	8	民事方(印)	麻生賀郎	花瀬村惣吉明後10日飯塚代官所へ出頭の事1062-1に同折	切紙	1	
1063		〔書簡〕						文蔵呼び返し、勝蔵田地代の事など下書きか	竪紙	1	
1064	1	〔書簡〕		4	8	彦四郎	甚九郎	源平殿仕立の掛銭の請書の事につい	継紙	1	1064-1と2は同折
1064	2	〔書簡〕		3	24	いきす　彦四郎	花瀬村甚九郎	目録の通り、2，3日中に御請けになられる様	継紙	1	
1065		〔書簡〕		5	26	深町文広	大和甚九郎	大庄屋惣兵衛下僕3人折寄文蔵1件の事	継紙	1	
1066		〔書状〕		師走	20	源太夫	花セ甚九郎	2朱4つの受取	切紙	1	
1067		日延願						本日13日出頭のところ　取調べが終わらないので20日午前までの延引を願	継紙	1	継目にハズレ有り
1068		〔書簡〕		5	7	林田平右ェ門	建花寺副戸長大和甚九郎	石代米銭御附書引き合わせ、承知仕り候事	切紙	1	
1069		〔書簡〕		5	26			銭を間違いなく送って下さる様	竪紙	1	
1070		〔書簡〕		12	19	2小区扱所	保長　大和武三郎	御調方にて木土取調雛形を写し、早々お返し下さる様	切紙	1	
1071		〔書簡〕		2	2	2小区扱所(印)	保長　大和武三郎	民費金1円の催促	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1072		〔書簡〕		9	18	普請方	建花寺(花押)蓮台寺(花押)山木山大日寺(印)花瀬(花押)右之村々庄屋衆中	割方切府催促の事			
1073		〔書簡〕		5	6	高崎左兵衛　勝睦(花押)	大日寺村庄屋元	庄屋名子判新三を手元家来判に召抱の事	継紙	1	
1074		〔書簡〕		11	16	いきす儀兵衛	花瀬村　甚九郎	何事もお手元より私方へ仰せつけ下されたき事	切紙	1	
1075		〔書簡〕						証書に御印をいただきたき事	切紙	1	後欠
1076		〔書簡〕		2	5	森崎屋　儀右ェ門	花瀬庄屋　大和甚九郎	金銭借賃の事。先日の目録に間違いあり	継紙	1	
1077	1	〔書簡〕		旧6	29	清水清	大和甚九郎	御助替金延引の事について	継紙	1	1077-1と2は同折
1077	2	請取	明治15	旧7	3	中野武栄(印)	大和甚九郎	請取金の書上	罫紙	1	
1078		〔書簡〕		5	9	第2号扱所(印)	花瀬村惣代大和武三郎	小区内別の村毎の田畑宅山林蒔秣場各種合計取調の事	切紙	1	
1079		〔書簡〕		2	11	惣次郎	甚九郎	御拝借受永納銀指上申し候者名前書上	継紙	1	
1080		〔書簡〕		2	2	三兵衛(花押)	花瀬村潤野村保長中	戸籍銀帳を調所に持参し引きかえの事	継紙	1	
1081		〔書簡〕		2	5	伊藤長五郎(印)	大和甚九郎	貢米の儀、一昨日安東寺よりご出銀の事など	継紙	1	
1082		〔書簡〕		9	28	福沢十平	大和甚九郎　大和武七	地所取調帳清算にご配慮いただき、お隠をもって上納のこと	継紙	1	
1083		〔書簡〕				青柳式部	甚九郎	神事の初穂のお礼	竪紙	1	
1084		〔書簡〕		3	3	第7大区調所	副戸長立石三兵衛　同野見山彦三郎	石代金ニ納未進の村あるに付、催促	罫紙	1	
1085		〔書簡〕		10	2	相田玄内	花瀬庄屋甚九郎	借用分の取調べの事について	竪紙	1	破損
1086		〔書簡〕		10	3	淀川徳蔵	大和武三郎	9月9日節句の事について	竪紙	1	包紙有
1087		〔書簡〕		12	16	大庄屋孫助(印)	庄屋甚助	津出米の書上	継紙	1	
1088	1	〔書簡〕		閏2	13	多平	花瀬庄屋甚助	選米の米の儀について	継紙	1	1088-1～3は同折。破損有
1088	2	〔覚〕	丑	8	12	大庄屋次右ェ門(印)諸方写多平(花押)	花瀬村甚助	定飛脚夫銭受取の事	切紙	1	
1088	3	〔書簡〕				多平	甚助	春めん受留の事	継紙	1	
1089		記		9	10	八木山村野見山幸右ェ門	花瀬村大和甚九郎	米2俵お渡しの証書	竪紙	1	
1090		〔書簡〕		8	13	森仁	花甚	酒代の事について	切紙	1	破損、閲覧不可
1091		〔書状〕		7	25	大日寺　勝右ェ門	花瀬村庄屋甚九郎	御貸渡の証文の事	切紙	1	
1092		〔書簡〕		2	11	潤野作次郎	花瀬村庄屋彦三郎	椿両作を当年もお召仕いになるかを尋ねる	切紙	1	破損
1093		〔書簡〕		4	24	潤の庄作	庄屋　甚九郎	先日お含の1件についてご催促にあずかり気の毒の事	継紙	1	
1094		〔書簡〕		2	7夕	庄屋□右ェ門	庄屋甚九郎	金子受取の事について	継紙	1	破損
1095		〔書簡〕		7	4	次左ェ門	花瀬　甚九郎	金子1両講掛金受取の事	継紙	1	破損
1096		〔書状〕						地引方、入込の事	継紙	1	
1097		〔書簡〕		5	1	麻生賀郎(印)	大和甚九郎	底樋掃上げの人足を出している村の事について	継紙	1	前欠

1117 花瀬村庄屋文書

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1098	1	〔書簡〕		12	29	石田和七	庄屋大和甚九郎	御手形の内、3両お渡しの事1098-1,2は同折	継紙	1	
1098	2	請取		6	21			花瀬村久助の半縄請取の事	切紙	1	
1099		〔書簡〕		6	29	□左ェ門(破損よめず)	花瀬庄屋甚九郎	金子借入の事　講の事	継紙	1	破損
1100		〔書簡〕		9	18	大日寺村庄屋儀七郎	花瀬村庄屋甚九郎	潤野村より口上書指出に付、貴方同様口上書お指出や否や	継紙	1	
1101		〔書状〕		12	29	古川	花瀬保長大和武三郎	酒造米差し支えのこと	一紙	1	
1102		〔書状〕		12	22	大庄屋彦右衛門(黒印)	花瀬村甚九郎	郡屋割方の件	一紙	1	
1103		〔書状〕		12	11	伊藤七五郎	福沢十平	去十月横田村抱えの内往還端死人一件の際の経費請求	一紙	1	
1104		〔書状〕		3	朔日	作兵衛	甚九郎	惣市へも掛け合いを依頼	一紙	1	
1105		〔書状〕				森崎屋儀右衛門	花瀬甚九郎	米代を用意したので証文をもって受け取りに来て欲しい	一紙	1	
1106		〔書状〕		7	1	儀兵衛　庄作	甚九郎	前欠、組頭へ差し出しの分明朝間違いなく差し出すことを知らせる	一紙	1	
1107		〔書状〕						肥前様御参府のため来月八日飯塚宿お泊まり、割り当て銀の差し出しについて	継紙	1	
1108		〔書状〕		11	15	大庄屋孫三郎	庄屋甚九郎	上納銀未納の督促	継紙	1	
1109		〔書状〕		正月	24	綿屋九蔵	[　]屋[　]郎(虫損)	ことの次第を内々に問い合わせ	一紙	1	虫損あり
1110		〔書状〕		7	20			米代を用意したので証文をもって受け取りに来て欲しい	継紙	1	
1111	1	〔書状〕		8	2	森崎屋仁左衛門	花瀬庄屋甚九郎	金子が届いた件	一紙	1	1111－1と2は同折
1111	2	覚		8	2	森仁	花甚	金二歩の受取	一紙	1	
1112	1	〔包紙〕				花瀬庄屋甚九郎	於若松米払忠七		包紙	1	1112－2の包紙
1112	2	〔書状〕		11	16	庄屋甚九郎	米払忠七	銀主への支払いを依頼	継紙	1	
1113		〔書状〕		2	10	川原七兵衛	高崎越郎、田仲甚内、大和武三郎	石代金の件につき呼出し	罫紙	1	
1114		〔書状〕					林田辰平	福岡にて金子借り入れの件	一紙	1	後欠
1115		〔書状〕		12	27	庄屋二左衛門	庄屋甚九郎	当春預かりの米の件	一紙	1	
1116	1	〔覚〕	辰					石数・金銭書上	一紙	1	1116－1と1116－2は紙縒で結びつけられていた
1116	2	〔覚〕						金銭書上	一紙	1	断簡
1117		〔書状〕		5	28	庄屋柳助	花瀬村庄屋大和甚九郎	次八殿への送金の件について	継紙	1	
1118		〔覚〕	丑	12		花瀬村庄屋大和甚九郎		花瀬村御神納分書上	折紙	1	
1119		覚	子	5	5	普請方野見山彦四郎	庄屋大和甚九郎	金銭の受取分と不足分書上	継紙	1	
1120		〔書状〕		2	24	勝蔵	庄屋大和甚九郎	切手入用の際には承知仕る事	一紙	1	
1121		〔書状〕		11	25			指引の件につき御出浮を願う	一紙	1	
1122		目録		11	9	勇平	甚九郎	賄雑用之取替物書上	継紙	1	
1123		〔書状〕		6	17			写し持参の事など	継紙	1	
1124		〔書状〕		9	26	浜地厳次	中村大庄屋　清水宅左衛門	大日寺村荒畝代地起の件について	継紙	1	
1125		〔書状〕		1	29	蛭子屋平左衛門	大和甚九郎	預手形の入分延引の件について	継紙	1	
1126		〔書状〕		11	22	庄司村庄屋孫平	花瀬村庄屋甚九郎	賄雑用銭・目録を差し上げ申し候事	一紙	1	

1117 花瀬村庄屋文書

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1127	1	覚	巳	11		花瀬村甚九郎	常屋休助	金銭書上。御引き合わせを願う	一紙	1	1127－1～5は同折。さらに1127－1～8は紙縒で一括
1127	2	〔書状〕		7	21	大庄屋休助	庄屋甚九郎	彦左衛門殿方引き合いの事など	継紙	1	
1127	3	〔書状〕		12	7	弥一郎	甚九郎	御目に掛かりたき儀あるに付き、お伺い申す	継紙	1	
1127	4	〔覚〕		4				金銭書上	一紙	1	
1127	5	〔書状〕	亥	6	24	帯屋助右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	金子の件、お断り申し上げ候事	継紙	1	
1127	6	〔書状〕						石数書上	横帳	1	
1127	7	覚						夫役人数書上	継紙	1	
1127	8	〔書状〕		8	13	普請方彦四郎	花瀬村庄屋甚九郎	目尾村出夫人数の確認、蒋野村川渡夫米の件について	継紙	1	
1128		〔書状〕		4	27	庄屋野見山彦右衛門	庄屋大和甚九郎	触用金二歩を大日寺村分として取り替えを願う	一紙	1	
1129	1	〔書状〕		2	4	第七大区調所(印)	副戸長立石三兵衛　花瀬八木山保長中	八木山・花瀬の惣計を急ぎ指し出す様	継紙	1	
1129	2	〔書状〕		2	5	大和武三郎	立石三兵衛	伺いたき儀あり、出勤を求む	継紙	1	
1130		〔書状〕		8		大日寺村保長中	花瀬村保長大和武三郎	収穫平均の儀、帳簿納め候や否やを問う	一紙	1	
1131		〔書状〕						金子借用の件について	継紙	1	
1132		〔書状〕						一通指し出し候こと	一紙	1	
1133		〔書状〕		12	19			櫨実附出の件について	一紙	1	前欠
1134		こん立		3	16	ちとせ屋　孫六	庄屋　甚九郎	献立書上	継紙	1	
1135		〔書状〕						御手元より遣わされ候者の給米の事について	一紙	1	
1136		〔書状〕		5	17	良左衛門	庄屋大和甚九郎	旅人運上銀書上	一紙	1	
1137		〔書状〕		6	29	次左衛門	花瀬庄屋甚九郎	講への参加を問う	一紙	1	
1138		〔書状〕		12	6	四谷市右衛門内徳田登	花瀬村庄屋大和甚九郎	来る一五、一六日のご案内	一紙	1	
1139		〔書状〕		11	29	建花寺村与蔵　弥助	花瀬村庄屋甚九郎	給米の事について	一紙	1	
1140		〔書状〕		2	14	福次十平	花瀬村保長大和武三郎	百姓書き譲りの控えを金生殿へお渡し下さる様	一紙	1	
1141		〔書状〕		12	25	普請方二左衛門	庄屋甚九郎	三両借用の依頼	一紙	1	
1142		〔覚〕						雑用切付のこと	一紙	1	紙の終わり天地を逆にして南尾村分銭高書上げを載せる
1143		〔書状〕		11	26	福沢久四郎	大和武三郎	11月20日限り約定の借入金の件	継紙	1	
1144		〔書状〕		11	19	組方	彦三郎	不足分103匁余送付願い	継紙	1	前欠
1145		〔書状〕		11	11	いきす大右衛門	明星寺庄藤右衛門　潤野庄屋久郎　花瀬庄屋甚九郎	御拝借米代一件	一紙	1	
1146		〔書状〕		6	29	普請方弥四郎	花瀬庄屋甚九郎	銀札支払いの件	継紙	1	
1147		〔書状〕		3	3	いきす五平	花瀬村庄屋甚九郎	彦三郎様お手紙の件	継紙	1	
1148	1	〔書状〕		12	22	庄屋弥四郎	久保白庄屋幸吉　漆生庄屋市郎左衛門　目尾庄屋次左衛門	若様ご祝儀のお払いがあったこと	継紙	1	1148-2～4を同折

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1148	2	〔書状〕		5	9	目尾庄屋　伴作	年番庄屋　甚九郎	夫銭立用銭26匁1分6厘の請求	一紙	1	
1148	3	請取	午	9	29	小国屋幸助	弥四郎	赤坂お出の節夫物雑用代95匁	一紙	1	
1148	4	請取	未	4	21	小国屋幸助	花瀬村庄屋甚九郎	銀札30匁	一紙	1	
1149		〔書状〕		7	16	庄屋弥四郎	花瀬庄屋甚九郎	触割当の利方の事について	継紙	1	
1150		〔書状〕		7	29	庄屋二左衛門	庄屋甚九郎	善蔵願木材木の件について	継紙	1	
1151		〔書状〕		7	2	次左衛門	花瀬甚九郎	講銀の件、不明の事について	継紙	1	
1152		〔書状〕		11	16	大庄屋彦右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	上納銀の事について	継紙	1	
1153		〔書状〕		12	24	ちとせ屋　孫六	花瀬庄屋　甚九郎	弥助殿御出しの米の儀、承知の事	一紙	1	
1154		〔書状〕		4	25	組頭勘兵衛	大日寺村庄屋大和甚九	五〆百文の切付	一紙	1	
1155		〔書状〕		9	17	伴七郎	花瀬村大日寺庄屋甚九	安平儀貴宅指引筋不埒、内済の事など	継紙	1	
1156		拙者・糀屋願入候分						役頭より惣市呼びつけの事など	継紙	1	
1157		〔書状〕		2	23	いつ木又五郎	庄屋甚九郎	御引合のお礼の事	継紙	1	
1158		〔書状〕		6	19	潤野村庄屋	庄屋甚九郎	一昨日御掛合の一件について	継紙	1	
1159		〔書状〕		3	16	庄屋	甚九郎	安平一件、不承知にて御役頭へ願出の事	一紙	1	
1160		覚		12	29	花瀬大和甚九郎	庄屋善五郎	品代書上	一紙	1	1160～1165まで一括
1161		覚		3	26	ちとせや孫六	花瀬村甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	全体に抹消の線あり
1162		請取	午	12	29	普請方彦四郎(印)	大和甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1163		覚	午	12		藤十郎	花瀬村　甚九郎	元利金25両余につき	切紙	1	
1164		受取	午	12	29	伊藤七五郎	花瀬村庄屋大和甚九郎	米受取の事	継紙	1	
1165		覚	午	12		古川傳十郎	大和甚九郎	金銭の不足書上	一紙	1	
1166		御郡切立	亥	11		大庄屋許(印)	大日寺村	米書上	一紙	1	1166と1167は一括
1167		〔覚〕	亥	12		大庄屋許(印)	大日寺村	拝借五ヶ年賦と貧民御救切の書上	一紙	1	
1168		覚				甚九郎	千年屋孫六	金銭書上、御引合を求む	継紙	1	破損あり
1169		請取		5	21	旅人方善三(印)	花瀬村	運上銀受取の事	一紙	1	1169～1173－2は一括
1170		請取		6	26	平八	花瀬	半縄書上	一紙	1	
1171		請取	寅	12	25	飯塚　源助	花瀬村庄屋　甚九郎	宿米1俵半受取	切紙	1	
1172		〔書状〕		2	23	庄屋直右衛門	庄屋大和甚九郎	引き合いの事等	継紙	1	
1173	1	覚	寅	5	12	帯屋傳三郎(印)	大和甚九郎	金銭書上	一紙	1	
1173	2	覚	寅	4	10	菰田伴蔵	花瀬村大和甚九郎	世話申し上げ候金銭書上	一紙	1	
1174		覚	午	12		山鹿屋　嘉平	花瀬　甚九郎	辰籾4俵代14貫400文ほか代金書上	切紙	1	
1175		〔覚〕		12	29	伊川村源市	花瀬村弥八	受取書	一紙	1	前欠
1176		覚	午	12		角屋酒場	花瀬庄屋甚九郎	酒代書上	一紙	1	
1177		覚	午	12		醤油屋　源右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	卯年分2貫380文書上	切紙	1	
1178		覚		12	29	□□□	大和甚九郎	札16貫500文此者へ御渡し願い	切紙	1	
1179		覚	午	12		糀屋善五郎	花瀬村与市郎　甚九郎	金銭書上	一紙	1	
1180		〔覚〕		12	26			触用の内より遣わし候分の返済を求む	竪紙	1	
1181		覚	午	12		司馬屋藤三郎	花瀬村庄屋大和甚九郎	金銭書上	一紙	1	
1182		覚		11	18			米二俵吉作殿送取の事	一紙	1	
1183		覚	丑	12	27	竹屋伊三郎(印)	花瀬甚九郎	米書上。受取の事	継紙	1	
1184		〔書状〕		12	16	普請方彦四郎(印)	助役大和甚九郎	夫銭受取の事	継紙	1	
1185		請取	午	12	22	川崎村高次左衛門	花瀬村庄屋大和甚九郎	金銭受取の事	継紙	1	
1186		〔書状〕		12	26	庄屋茂平	庄屋甚九郎	受取仰せ付け下され候様	一紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1187		〔書状〕		12	25	又三郎	大和甚九郎	米仰せ付けの儀、承知の事	継紙	1	
1188		覚		12	29	彦四郎	花瀬甚九郎	金銭書上	一紙	1	
1189		請取		12	29	茂七	花瀬庄屋甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1190	1	手形壱通							包紙	1	1190－2の包紙
1190	2	預り手形	明治3午	4		花瀬村大和甚九郎　請人九郎丸村久三	弥山村和作	金二十両の預り手形	竪紙	1	
1191		請取		12	29	糀屋善五郎(印)	花瀬村庄屋大和甚九郎	米受取の事	一紙	1	1191～1195一括
1192		請取		12	27	糀屋善五郎(印)	花瀬庄屋大和甚九郎	餅米代金受取の事	一紙	1	
1193		請取				糀屋善五郎(印)	花瀬庄屋大和甚九郎	米受取の事	一紙	1	
1194		請取		12	21	糀屋善五郎	花瀬村庄屋大和甚九郎	米受取の事	一紙	1	
1195		糀屋口上覚						金銭書上	折紙	1	
1196		覚	戌	旧12		ちとせや孫六	花瀬村大和甚九郎	金銭書上	継紙	1	1196～1205一括
1197		記	戌	12		角屋又吉	花瀬大和甚九郎	算用落御座候事	継紙	1	
1198		記	戌	12	29	紺屋又三郎	大和甚九郎	染代として米受取の事	継紙	1	
1199		記		3	7	糀屋善助	武三郎	金銭書上	継紙	1	
1200		記						金銭書上	一紙	1	
1201		記	戌	12		糀屋善助	花瀬村大和武三郎	金銭書上	継紙	1	
1202		記						伊藤氏分金銭書上	一紙	1	
1203		〔覚〕	戌	12	28	伊藤和六	大和甚九郎　平七	平七分米数書上	一紙	1	
1204		〔書状〕		4	29	伊藤昇	大和甚九郎	大日寺村の差し引きの事、支払いを求める	罫紙	2	
1205		〔覚〕	戌	本	20			村継の事	一紙	1	断簡
1206		〔請求書〕		5	23	ちとせや孫六	大和甚九郎	野菜〆191貫650文	継紙	1	
1207		油御通〔　〕	慶応2寅	4		上町半次郎	花瀬村甚九郎	油の売り掛け帳	小横帳	1	表紙破損
1208		覚		12	13	深町文蔵	庄屋　甚九郎	切手2貫文請求、同日付けの太日寺甚九郎宛佐与惣右衛門の受取の書込みあり	切紙	1	1209と一括
1209		〔御用捨米指引〕							一紙	1	断簡
1210		請取		12	24	山口屋和七	花瀬村庄屋甚九郎	米一俵の請け取り	一紙	1	
1211		覚	卯	11	7	諸用聞　平助(印)	庄屋　甚九郎	大庄屋殿為替証拠1枚分金五両請取	切紙	1	
1212		受取		12	20	孫十郎	花瀬村甚九郎	米二俵の受取	一紙	1	
1213		記		5	25	江藤孫介	大和	金銭書上、残り80銭5厘	一紙	1	
1214		覚						未追立68俵14名分書上	一紙	1	
1215		〔書状〕		12	29	飯塚問屋武助	花瀬庄屋甚九郎	仕組銭の件	継紙	1	
1216		覚		12	29	司馬屋藤二郎(黒印)	甚九郎	米二俵の受取	一紙	1	
1217		覚		3	27	花瀬大和甚九郎	伊支須酒屋五八郎	酒二斗の注文	一紙	1	
1218		請取	亥	卯月	27	出勤庄屋　直右衛門	花瀬村	丁銭4貫700文請取	継紙	1	
1219		〔記〕		10	25			嘉助以下12名分俵数書上、後欠	一紙	1	庄屋彦三郎宛書簡の包紙を再利用したものヵ。1219と1220は紙縒で一括
1220		〔記〕						品名書上、飯わん5つなど	一紙	1	断簡

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1221		「覚」						甚九郎分米・大豆高書上	一紙	1	1221～1224紙縒で一括
1222		〔追而書〕						先年よりの立用目録もまた払い出しできかねることの断り	一紙	1	断簡
1223		辰ノ引付写		12	28	大日寺村庄屋義七郎	花瀬村庄屋甚九郎	〆11俵1斗7升8合の不足をしらせる	継紙	1	
1224		〔記〕						丑・寅・卯年の上納銭書上	継紙	1	
1225		請取		9	11	普請方聞次二左衛門	花瀬村庄屋甚九郎	金子二歩の請取	一紙	1	
1226		覚		7	9	ちとせや孫六	彦四郎	代〆5貫609文	一紙	1	
1227		覚	申	10	6	大庄屋詰	庄屋彦三郎	銀5匁6分7厘の受け取り	一紙	1	
1228		受取	未	11	11	大庄屋元百助	花瀬村庄屋甚九郎	当月上納銀2両3歩2朱と当季畠上納の代金受け取り	継紙	1	
1229		記	戌	12		伊支須酒屋五八郎	花瀬甚九郎	酒代9升分請求	一紙	1	
1230		受取		11	17	弥四郎	花瀬村蔵方	米47俵受け取り	一紙	1	
1231		〔記〕						大日寺村・花瀬村分米高書上	一紙	1	貼り紙二枚あり、内一枚は8月21日付け大行事出勤より花瀬村宛ての不足米受け取り書き
1232		記		4	1	村役場	御総代大和武三郎	地券名替願いほか書類の受け取り	継紙	1	
1233		〔記〕	亥	4				花瀬村分雑用費書上	継紙	1	
1234		記	戌	12		いきす酒屋五八郎	花瀬村大和甚九郎	〆35貫64文請求	継紙	1	
1235		受取	亥	12	29	片島村孫左衛門	大日寺村蔵方	米2俵の受け取り	一紙	1	1235～1238一括
1236		覚	亥	12	29	潤野村弥市	花瀬村大和甚九郎	銀札25貫520文・十貫文受け取り	一紙	1	
1237		請取	亥	12	27	大庄屋清水宅右衛門	大日寺村	米2俵の受け取り	一紙	1	
1238		口上	亥	12	25	庄屋野見山彦右衛門	庄屋大和甚九郎	大日寺村聞き次料の件	一紙	1	
1239		記		12	11	糀屋善助	武三郎	米1俵の請け取り	一紙	1	
1240		記	戌	12		紺屋又三郎	花瀬大和甚九郎	品代書上	継紙	1	1240と1241一括
1241		記	亥	正月	6	紺屋又三郎	大和甚九郎	品代書上	一紙	1	
1242		記	戌	旧12		小くら屋喜助	花瀬村甚九郎	油代ほか〆638匁の請求	一紙	1	
1243		記		12	24	糀屋善助	花瀬村武三郎	品代書上	一紙	1	1243～1245一括
1244		記		12	20	糀屋善助	花瀬村武三郎	米一俵の請け取り	一紙	1	
1245		覚		正月	12	糀屋善助	武三郎	米一俵の請け取り	一紙	1	
1246		記	戌	12		ひしや　直平	甚九郎	砂糖代400文書上	切紙	1	
1247		記	戌	12		加嶋屋善次郎	花瀬村庄屋	酒代書上	一紙	1	
1248		覚		旧12	25	かじや利七	大和甚九郎	風呂あみ代	一紙	1	
1249		覚						米一俵1円85銭の内訳	一紙	1	
1250		記						金銭書上	継紙	1	
1251		記		8	6	糀屋善助	花瀬村大和甚九郎	金銭書上	継紙	1	
1252		記						村方取立金書上	罫紙	1	後欠、下半分は反故
1253		覚		11	4	千歳屋吉平	花瀬村武三郎	品代書上	継紙	1	1253～1254一括
1254		覚	明治15午	10		千歳屋吉平	花瀬村大和武三郎	品代書上	一紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1255		覚		1	18	戎屋　平三郎	建花寺村　藤助、同　直平ほか4名	土地永代売渡代金100両の算用書上	継紙	1	
1256		記		11	21	糀屋善助	花瀬村大和武三郎	品代書上	継紙	1	
1257		記		15	11	福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印	大和武三郎	租税通知書8枚	綴	1	
1258		記		6	3	村役場	大和総代	役場用紙使用	罫紙	1	
1259		受取		9	3	ちとせ屋	花せ村	品代書上	継紙	1	
1260		覚	子	3		糀屋孫吉	花瀬村甚九郎	金銭書上	一紙	1	
1261		記		9	15	石三兵衛	大和勘三郎	金銭受取の事、徴兵書上の事など	一紙	1	
1262		覚	亥	12		紙屋新助	花瀬村彦三郎	金銭書上	一紙	1	
1263		〔覚〕	寅	5		普請方掛		花瀬村分金銭書上	一紙	1	
1264		〔覚〕	明治11	1	5	戸長梅津又三郎(印)		大和武三郎分民費賦課金通知	一紙	1	
1265		〔書状〕		2	24	ちとせや吉平	大和甚九郎	返済金の事について	一紙	1	
1266	1	覚						牛、米、籾書上	継紙	1	12661－1と1266－2は同折
1266	2	〔覚〕						糧米書上	一紙	1	
1267		記	10	4	23	建花寺村野見山源内代印村瀬半次郎(印)	大和甚九郎	金銭受取の事	罫紙	1	
1268		受取		3	24	庄屋長五郎(印)	庄屋甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1269		覚	午	12		ちとせ孫六	花瀬村甚九郎	金銭書上	一紙	1	
1270		覚	亥	12		乙丸紺屋　又右衛門	花瀬村庄屋　大和甚九郎	織糸かせほか代銭490文書上	継紙	1	
1271		覚	戌	12		紺屋興作	花瀬村大和甚九郎	品代書上	継紙	1	
1272		覚	酉	12	26	□原　善右衛門	はなせ村庄屋甚九郎	貸付金元利5両御渡し願い	切紙	1	
1273		〔覚〕		12	15	平助	甚九郎	御通写三枚、願書一冊受取の事	一紙	1	
1274		記	亥	2	5	古川傳十郎(印)	大和甚九郎	金銭書上	一紙	1	
1275		記		9	9		大和様	金銭書上	横帳	1	
1276	1	記		10	31			金銭書上	一紙	1	1276－1と1276－2は同折
1276	2	記		9	31	巻崎友次郎	花瀬村	地券証代価受取の事	継紙	1	
1277		明治十四年度非常破損土木費	明治16	2		村役場(印)	大日寺村大和武三郎　花瀬村村持地　花瀬村大和甚九郎　花瀬村大和武三郎	非常破損土木費通知	書綴	1	通知書4枚
1278		請取	卯	5	25	(「郡屋」の印あり)		花瀬分米受取の事	一紙	1	
1279		覚	戌	1		彦三郎	大工源太夫	人夫や金銭等の書上	継紙	1	継ぎはずれあり
1280		覚	辰	5		紺屋又次	花瀬村甚九郎	品代書上	一紙	1	
1281		請取		9	14	役場(印)	庄屋甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1282		受取	未	10	11	大庄屋役場(印)	花瀬村	金銭受取の事	一紙	1	
1283		覚		12	23	安生村蔵方	花瀬村甚九郎	諸経費書上	継紙	1	継ぎはずれあり
1284		覚		11	7			米数書上	一紙	1	
1285		〔覚〕						酒代等書上	一紙	1	
1286		〔覚〕	未	12	14	大庄屋元(印)	庄屋甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	虫損あり
1287		若松波除杭葉夫銭	丑	8		大庄屋元(印)	花瀬村	丁銭53文書上	切紙	1	
1288		覚		11	15	大庄屋渡三郎	庄屋甚九郎	不足分の催促	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1289		請取	寅	3	10	いきす酒屋　左八郎	大和甚九郎	金銭受取の事	継紙	1	
1290		請取	申	2	22	森儀庄屋甚左衛門	庄屋甚九郎	酒代として米受取の事	継紙	1	
1291		覚	酉	10		庄屋甚九郎	大庄屋御役場	金銭書上	継紙	1	
1292		覚		12	29	糀屋津市	花瀬庄屋甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1293		覚	午	12	22	正し庄屋　孫市	花瀬庄屋　甚九郎	過銭9分余相渡	継紙	1	
1294		受取	子	11	6	役場出勤長五郎	花瀬庄屋甚助	借入銀の内金六両受取の事	一紙	1	
1295		覚		12	28			金銭書上	一紙	1	
1296	1	覚	子	5	5	大庄屋元(印)	花瀬庄屋甚九郎	金銭書上	継紙	1	12961－1～1296－3は同折
1296	2	〔覚〕				大庄屋元(印)		花瀬村分郡切立の通知	一紙	1	
1296	3	江戸御本殿両御塩年賦夫銭				大庄屋元(印)	花瀬村	金銭書上	一紙	1	
1297		受取	寅	11	17	大庄屋元(印)	花瀬村	上納銀受取の事	一紙	1	
1298		〔覚〕	子	12				花瀬村分返納大阪登米積立不足米	一紙	1	
1299		〔覚〕	丑	1		大庄屋元(印)		花瀬村分若松費他書上	一紙	1	
1300		覚	子	12	13	川津村庄屋和吉	花瀬村庄屋甚助	金銭貸付の事について	継紙	1	
1301		当年拝借				大庄屋元(印)	花瀬村	拝借金書上	一紙	1	
1302		〔覚〕						品物書上	一紙	1	
1303		請取		12	11	中村早当(印)	大和武三郎	利子金受取の事	一紙	1	
1304		覚		12	21	仕組方(印)	花瀬村庄屋甚九郎	人夫人数、金銭等書上	継紙	1	
1305		〔覚〕						品物書上	一紙	1	下部破損
1306		御成達一件惣触追わり	寅	11		大庄屋元(印)	花瀬村	上納銀額通知	一紙	1	
1307		覚	亥	12		かみや新助	花瀬村甚九郎	金銭書上	継紙	1	
1308		〔覚〕						御用銀書上	継紙	1	
1309		覚						花瀬村分金銭書上	一紙	1	虫損あり
1310		記		2	6	後藤孫助	大和	賄い代など書上	小横帳	1	
1311		記	午	12		森崎屋嘉右衛門	花瀬村大和甚九郎	金銭書上	一紙	1	受取の加筆と全体に抹消の線あり
1312		〔覚〕				大庄屋元(印)		花瀬村分染米上納通知	一紙	1	
1313		記		9	4	田中善七	大和甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1314		キ		12	23	岩勢商店(印)	御上様	金銭受取の事	一紙	1	
1315		受取		8	18	大庄屋役場	花瀬村	金銭受取の事	一紙	1	
1316		覚		7	10	かじ甫助	花瀬甚九郎	経費の書上	一紙	1	
1317		請取	亥	12	21	片しま出勤庄屋　角七(花押)	大日寺村	鶏1羽受取	切紙	1	1317～1323一括
1318		覚						金銭書上	端紙	1	横帳綴じはずれヵ
1319		請取	亥	11	10	菰田与三郎(印)	大日寺村	米二俵受取の事	継紙	1	
1320		請取	亥	3	19	大庄屋元(印)	大日寺村	金銭受取の事	継紙	1	
1321		請取	亥	4	27	中村七右衛門	大甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1322		請取	亥	4	17	大庄屋元(印)	両村庄屋大和甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1323		請取	亥	4	17	大庄屋元(印)	大日寺村	金銭受取の事	一紙	1	
1324		受取	寅	8	20	大庄屋元(印)	大日寺村	金銭受取の事	一紙	1	1324～1325一括
1325		〔覚〕	寅	11		大庄屋元		花瀬村米数書上	一紙	1	
1326		〔覚〕						金銭書上	継紙	1	
1327		〔覚〕		11	21	ちとせや吉文	はなせ庄屋武三郎	品代書上	一紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1328		記		6	29	森崎屋久兵衛	大和	金銭書上	一紙	1	
1329		記		11	6	森崎屋店(印)	ハナセ武三郎	品代書上	一紙	1	
1330		記		旧9	7	森崎屋久兵衛	花瀬大和武三郎	品代書上	継紙	1	
1331		〔覚〕						米数、名前書上	一紙	1	
1332		飯田屋積り金下り						金銭、名前書上	端紙	1	横帳綴じはずれヵ
1333		〔覚〕	寅	11		大庄屋元(印)		金銭書上	一紙	1	1333～1338一括
1334		覚		12	22	花瀬村大嶋清判	大庄屋元	初穂神納の事	一紙	1	
1335		請取		1	7	庄屋儀兵衛	庄屋大和甚九郎	金銭受取の事	継紙	1	
1336		覚		12	17	大和甚九郎	石田和七	返済金書上	一紙	1	
1337		〔覚〕	寅	10		大庄屋許(印)		花瀬村分十月運上の通知	継紙	1	
1338		〔覚〕	寅	12		大庄屋許(印)		花瀬村分御郡切立の通知	一紙	1	
1339		覚	寅	12		片嶋鉄屋助右衛門	花瀬庄屋甚九郎	金銭書上	一紙	1	
1340		〔覚〕				大庄屋元(印)		人足費等の通知	一紙	1	
1341		請取		4	13	大庄屋役場(印)	大和甚九郎	運上受取の事	一紙	1	
1342		記	午	12		森崎屋久兵衛	花瀬村大和武三郎	品代書上	継紙	1	受取の印あり
1343		記						米数、名前書上	一紙	1	
1344		請取		8	19	旅人方善三(印)	花瀬大日寺両村庄屋大和甚九郎	七，八月分運上金受取の事	一紙	1	
1345		〔覚〕	寅	12		大庄屋元(印)		大日寺村分納付金額通知	継紙	1	
1346		〔覚〕	明治元辰	金銭				飛脚夫銭、上納銀割等書上	折紙	1	
1347		〔覚〕						櫨上建坪書上	継紙	1	
1348		〔覚〕						大工材料等書上	端紙	1	横帳綴じはずれヵ
1349		触雑用銭切符						花瀬村分触雑用銭切符	端紙	1	横帳綴じはずれヵ
1350		覚	亥	12		庄屋源五郎	花瀬村庄屋甚九郎	米数書上	一紙	1	
1351		請取		4	5	かじ七右衛門	花瀬村甚九郎	代銭受取の事	一紙	1	
1352		〔覚〕						金銭書上	一紙	1	1352～1354一括
1353		請取		8	10	片嶋庄屋〔虫食い〕八	花瀬庄屋甚九郎	請書帳・御用櫨受取の事	一紙	1	
1354		請取		3	2	加藤助右衛門役所		金銭受取の事	一紙	1	
1355		覚		12	20	藤本八郎太夫　佐伯村右衛門	花瀬村甚九郎	初穂上納の事	一紙	1	
1356		〔覚〕						花瀬村夫書上	一紙	1	
1357		覚						金銭、名前書上	一紙	1	
1358		公儀御印札并長崎異国船ニ付国々御家中大早御往来人高割	丑	10		大庄屋元(印)		人足十三人、馬二匹の事	一紙	1	
1359		〔覚〕	丑	6				花瀬村夫数書上	一紙	1	
1360		〔覚〕		12	15	花瀬村弥左衛門　半九郎	蔵方	金銭受取の事	一紙	1	
1361		受取		2	27	中村屋吉左衛門	花瀬村大和甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1362		〔覚〕	寅	5		大庄屋許(印)		花瀬村分米、銭書上	継紙	1	
1363		受取	壬申	10	29	古川三平	花瀬村副戸長福沢十平	米72俵受け取り	継紙	1	
1364		「記」	寅	12		大庄屋元	花瀬村	来卯年間通出世銭割銭7貫316文	一紙	1	
1365		覚						金銭書上	継紙	1	
1366		請取		2	3	さつまや新助	花瀬村甚助	235文請け取り	継紙	1	
1367		請取	丑	2	14	大庄屋	花瀬村	〆4貫500文	一紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1368		請取		2	27	若葉村庄屋弥一郎	大日寺村	杭五本	一紙	1	
1369		覚		12	14	ちとせや孫六	花瀬村甚九郎	品代書上	継紙	1	1369と1370一括
1370		覚		11	15	ちとせや孫六	甚九郎	品代書上	継紙	1	
1371		請取	亥	2	16	大庄屋元	花瀬村	品代書上	一紙	1	
1372		請取		4	26	ちとせや孫六	花瀬庄屋甚九郎	4貫400文の請け取り	継紙	1	
1373		覚	文久3亥	12	21	花瀬大日寺両村庄屋大和甚九郎	嘉麻穂波御郡代御役所	花瀬村・大日寺村年貢の通帳の返納	一紙	1	
1374		「記」						与八ほか米高覚	一紙	1	花瀬庄屋甚九郎あて書簡の包紙を使用
1375		「記」						甚七2円37銭9厘ほか不足の書上	一紙	1	
1376		蛭子屋行地券証渡記						人名と枚数の書上	継紙	1	
1377		「記」						品々書上	一紙	1	裏面はご禁制の写しヵ
1378		「記」						米高書上	一紙	2	長帳よりはずれたも
1379		受取		3	29	正元	宮	米一俵の受け取り	一紙	1	
1380		「記」	寅	11		大庄屋元	大日寺村	金銭書上	継紙	1	
1381		「記」						花瀬米高覚え	一紙	1	断簡ヵ
1382		未納記						甚七51銭4厘2毛ほか不足の書上	一紙	1	裏面は明治8年3月の土地調べの控え
1383		「記」						米高書上	一紙	1	
1384		「記」						金銭書上	継紙	1	
1385		「記」						米高書上	一紙	1	前欠
1386		請取	亥	12	27	大庄屋清水宅右衛門	大日寺村	米6俵の受け取り	継紙	1	
1387		請取		4	27	大庄屋役場	花瀬大日寺	223人、銭335文の受け取り	一紙	1	
1388		覚	亥	12	28	大庄屋清水宅右衛門	大日寺村花瀬村	米17俵2斗6升の受け取り	一紙	1	
1389		「記」		6	22	森崎屋儀左衛門	庄屋甚九郎	金銭書上	一紙	1	前欠
1390		受取	申	2	22	塩屋與兵衛(黒印)	花瀬村甚助	買い物代として米の受け取り	継紙	1	1390と1391紙縒で一括
1391		請取		2	22	森崎屋儀右衛門	庄屋甚九郎	米一俵の受け取り	一紙	1	
1392		請取	未	12	29	森崎屋儀右衛門	庄屋甚九郎	米12俵の受け取り	一紙	1	
1393		覚		11	23	大庄屋元百助	花瀬庄屋甚九郎	畠方勘定	継紙	1	
1394		「覚」						人別品代書上	継紙	1	1394と1395は一括
1395		覚						諸費用書上	長帳	1	
1396		受取	未	12	24	森儀	花瀬甚九郎	米2俵の受け取り	一紙	1	1396～1401は一括
1397		受取	未	12	27	森崎屋儀右衛門	花瀬庄屋甚九郎	米1俵の受け取り	一紙	1	
1398		受取	未	12	20	森儀	甚九郎	米2俵の受け取り	一紙	1	
1399		受取	未	12	25	森崎屋儀右衛門	庄屋甚九郎	米7俵の受け取り	一紙	1	
1400		受取	未	12	30	森崎屋儀右衛門	花甚九郎	米2俵の受け取り	継紙	1	
1401		受取	未	12	29	森崎屋儀右衛門	花甚九郎	米2俵の受け取り	一紙	1	
1402		御許借米諸雑費書上控						借米63俵1斗9升1合割高、下書き	継紙	1	1402は1403と一括
1403		何村去申春粮物拝借ニ付諸雑費割方書上帳	嘉永2酉	正月				拝借米などの際の書類の雛形	長帳	1	
1404		覚		11	14	庄屋和六	庄屋甚九郎	不足金54貫400文の引き合い	継紙	1	破損あり
1405		覚						元利〆2貫759匁4分	一紙	1	後欠

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1406		覚						若松売銭160文	一紙	1	
1407		覚						金銭書上	一紙	1	1407は1408と一括
1408		夫銭取立村々						明星寺・片島ほか9村〆130円	一紙	1	
1409		〔書状〕		12	26	片しま　助左衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	櫨実仕切の件	継紙	1	1409は1410と一括
1410		覚	酉	12		手津屋　祐右衛門	花瀬村　庄屋甚九郎	辰算用不足17貫924文ほか書上	切紙	1	
1411		上納銀切符		11	7	大庄屋野見山利左衛門	花瀬庄屋彦三郎	97匁9分1厘	継紙	1	
1412		覚		9	4	ちとせや孫六	花瀬庄屋甚九郎	品代書上	継紙	1	
1413		「記」				源左衛門	甚九郎	銭4分3厘	一紙	1	
1414	1	請取	亥	10	19	相田庄屋源左衛門	花瀬庄屋甚九郎	銭9匁4分6りんの請け取り	一紙	1	1414-1と1412-2は同折
1414	2	受取		10	19	相田村役所	花瀬村	蒻10枚の受け取り	一紙	1	一紙の頭から3分の1のあたり上から約3分の1を残して破れ
1415		佐賀雑夫出覚						甚作ほか賃銭の書上、裏面は前欠で第150貫986文の内訳	一紙	1	
1416		覚	丑	12		庄屋元	米払公儀中	田方御本米393俵1斗1升2合の内訳	一紙	1	貼り紙あり
1417		覚		11	23	官多利助	大日寺村	玉子35個の内30個受け取り	一紙	1	
1418		請取	亥	12	27	大庄屋清水宅右衛門	大日寺村	米4俵の受け取り	一紙	1	
1419		受取	未	12	晦日	山鹿屋酒右衛門	花瀬甚九郎	米1俵の受け取り	一紙	1	
1420		定飛脚夫銭				大庄屋元	花瀬村	当月26日切りで銭457文	一紙	1	
1421	1～3	「記」						金銭書上、祈祷諸費用ヵ	一紙	1	1421-1～3は同折、長帳よりはずれたも
1422		「記」						金銭書上	一紙	1	長帳よりはずれたも
1423		「記」	戌	12		伊伎須酒屋五八郎	花瀬村甚九郎	品代書上	継紙	1	虫損多し
1424		覚		11	14	目尾庄屋伴作	年番庄屋甚九郎	銭71匁7分を当年の切符より支払うよう依頼	継紙	1	
1425		受取	子	10	15	大庄屋元	大日寺村	当月御運上銀の受け取り	一紙	1	
1426		覚		2	11	ちとせ屋孫六	花瀬村庄屋甚九郎	品代書上	一紙	1	
1427		〔覚〕	申	11		大庄屋甚次郎(印)		花瀬村分上納額通知	横折	1	
1428		〔覚〕	亥	12		大庄屋許(印)		大日寺村分上納米通知	一紙	1	
1429		覚	寅	12		大庄屋元(印)	花瀬村	養盲備米代など花瀬村の上納額の書上と通知	書綴	1	一紙と横折の書綴
1430		覚		9	5	大庄屋元(印)	庄屋大和甚九郎	花瀬村・大日寺村に渡した金額の書上	継紙	1	
1431		受取	未	12	21	大庄屋元市助(印)	庄屋甚九郎	諸口切符代受取の事	一紙	1	
1432		地券渡記						名前書上	一紙	1	1433－1～1433－3は同折
1433	1	覚	戌	12	24	いきす酒屋五八郎	花瀬村甚九郎	米受取の事	一紙	1	
1433	2	請取	戌	12	29	いきす酒屋五八郎	花瀬村庄屋甚九郎	米受取の事	一紙	1	
1433	3	請取	戌	12	29	いきす酒屋五八郎	花瀬村甚九郎	酒代受取の事	一紙	1	
1434		覚		10	朔		若菜庄屋弥四郎	品代書上	書綴	1	小国屋幸助と柴屋藤三郎差出の覚二通の書綴
1435		庄尾屋拂目録							紙帯	1	1436～1438-2を一括する紙帯
1436		覚		2		甚九郎	庄尾屋重右衛門	品代書上	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1437		覚		12		庄尾屋重右衛門	花瀬庄屋甚九郎	品代書上	一紙	1	
1438	1	覚		6	13	庄尾屋重右衛門	花瀬村甚九郎	久留米絣一反受取の事	継紙	1	
1438	2	覚	酉	12	10	庄尾屋重右衛門	花瀬村甚九郎	金銭受取の事	継紙	1	
1439		〔覚〕						去秋苅上ヶ一件等、一件の名称の書上	継紙	1	
1440		〔覚〕	丑	8		庄屋六右衛門	花瀬村組頭用作	長崎奉行下向につき、雑用費等	一紙	1	
1441		記		4	19	糀屋善助(印)	花瀬村大和武三郎	米受取の事	一紙	1	
1442		〔覚〕						地価書上	一紙	1	
1443		記		3	20		大和武三郎	米受取の事	一紙	1	
1444		記					大和武三郎	米御渡の事	継紙	1	
1445		覚		12	5	いきす久兵衛	花瀬村甚九郎	数値書上	継紙	1	破損あり
1446		請取		12	晦	山口屋瀬助	花瀬村庄屋甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1447		覚	未	11	21	(「筑前福岡油屋利吉」の印あり)	吉北村庄屋百助	金銭受取の事	一紙	1	
1448		請取		5	25	大庄屋役場(印)	大日寺村	金銭、願書等受取の事	継紙	1	
1449		覚		4	7	大庄屋役場	庄屋甚九郎	願一件出納等、金銭受取の事	一紙	1	
1450		覚		11	10	萬屋左次郎(印)	花瀬村御役所	算用目録	継紙	1	
1451		津出〔破損〕不足覚						未、申年の不足分と名前の書上	一紙	1	
1452		覚	未	12	30	森崎屋儀右衛門	花瀬儀助	金銭受取の事	一紙	1	
1453		〔覚〕	寅	12		大庄屋元(印)		大日寺村分上納額通知	一紙	1	
1454		受取		2	20	庄屋彦四郎	花瀬村	鶏一羽受取の事	一紙	1	
1455		〔覚〕	寅	11		大庄屋元(印)	花瀬村	御除米の上納額通知	一紙	1	
1456		覚		1		いきす屋五八郎	大和甚九郎	酒代受取分書上	継紙	1	
1457		請取		4	23	大庄屋役場(印)	大日寺村	金銭受取の事	一紙	1	
1458	1	覚	未	5	9	庄屋安永直(印)	花瀬村庄屋福沢十平殿 組頭衆中	金銭書上	継紙	1	1458－1と1458－2は同折
1458	2	〔書状〕		5	朔	花瀬村組頭中	仕組方安永直	小字講掛銭差出の事	一紙	1	
1459		〔覚〕				伊川村聞次花瀬村庄屋甚九郎	御役所アテ	伊川村永納銀、名前書上	横折	1	
1460	1	覚						算用金、算用米書上	横折	1	
1461		覚		4	19	蛭子屋平左衛門	大日寺村庄屋甚九郎	金銭受取の事	継紙	1	
1462		覚						金銭書上	継紙	1	
1463	1	覚						夫人数、馬数書上	一紙	1	1463－1～1463－3は同折
1463	2	覚						金銭書上	一紙	1	
1463	3	〔覚〕						金銭書上	一紙	1	前欠
1464		請取		10	6	飯塚弥尾	大日寺村役場甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1465		受取		12	28	片しま村　新右衛門	大日寺村	米2俵受取	切紙	1	
1466		覚	子	5	4	帯屋久左衛門(印)	大和甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1467		請取	子	10	17	庄屋江藤和六　弥兵衛	大日寺村	触用の口として米受取の事	継紙	1	
1468	1	覚	子	3	24	蛭子屋平左衛門	花瀬村庄屋甚九郎	金銭書上	継紙	1	1468－1～1468－3は同折
1468	2	預り手形	文久3	4		花瀬村大和甚九郎(印)	林田平左衛門	金銭借用証文	一紙	1	
1468	3	預り手形	文久2	極		花瀬村庄屋甚九郎(印)	蛇子屋平左衛門	切手二両三歩の借用証文	一紙	1	
1469		〔覚〕	丑	12		事務方野見山彦市		花瀬村分上納額通知	書綴	1	
1470		覚	子	2	12	藤本八郎太夫代大嶋清	大日寺村庄屋甚九郎	初穂神納の事	一紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1471		請取	寅	11	4	庄屋清水七右衛門	大和甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1472		受取		3	20	伊支す　彦惣(印)	花瀬村	鶏1羽受取	切紙	1	
1473		請取		12	21	山口屋和七	花瀬村庄屋甚九郎	米受取の事	一紙	1	
1474		受取	卯	4	晦	帯屋彦(印)	大日寺村庄屋大和甚九	米受取の事	一紙	1	
1475		請取	亥	11	14	大庄屋元(印)	大日寺村	上納銀の内、受取の事	一紙	1	
1476		受取		12	21	□□屋　平蔵(印)	花セ　甚九郎	米1俵の受け取り	一紙	1	
1477		覚	卯	11	24	小野山善三郎	花瀬村庄屋大和甚九郎	正金13両の受け取り	一紙	1	
1478		受取		10	16	大庄屋元役場	両村庄屋大和甚九郎	大日寺村・花瀬村両村分十月運上金その他の受け取り	継紙	1	
1479		「記」	明治12	1		村役場	大日寺村大和武三郎	明治11年分田税3期分の受け取り	一紙	1	1479は1480と一括
1480		「記」	明治12	1		村役場	花瀬村大和武三郎	明治11年分田税3期分の受け取り	一紙	1	
1481		覚	寅	5	4			大日寺分遣わしもの、費用書上	継紙	1	
1482		「記」	(明治)12年	1	6	村役場	大日寺村大和武三郎	税金の請求及び教員費の受け取り	綴	1	
1483		戌八月朔日不足分						人別金額書上、前欠	継紙	1	
1484		覚						428貫369文の内訳	継紙	1	
1485		「記」	寅	12		大庄屋元		花瀬村分銭5貫213文の内訳	継紙	1	
1486		受取		9	8	蓮台寺蔵方	花瀬村	操り米7升の受け取り	一紙	1	
1487		受取	子	4	6	大庄屋元	花瀬村　大日寺村	〆4貫400文の受け取り	継紙	1	
1488		請取		11	22	戎屋　善五郎	大和甚九郎	金10両受取	切紙	1	
1489		受取	卯	4	17	大日寺庄屋大和甚九郎	帯屋庄	米10俵の受け取り	一紙	1	
1490		井手式						山下・いしき・あやヶ坪の人名書上	一紙	1	裏は明治15年、綾部彦七宛て足料33円35銭の証書、抹
1491		覚				ハナセ甚九郎	喜平	品代書上、酉12月分・戌7月分の2通あ	継紙	1	
1492		「記」	卯	11		大庄屋許		花瀬村分櫨実代ほか来る29日限り	一紙	1	
1493		覚		3	7	大庄屋許	花瀬村	銀220貫文の受け渡し書	一紙	1	
1494		「記」						藤四郎・甚助・利吉分計算書き	継紙	1	
1495		請取	卯	9	朔日	大庄屋許	大和甚九郎	花瀬村・大日寺村分飛脚夫費用など	継紙	1	
1496		覚	酉	12	26	万屋佐七郎	花瀬村御役所	米の算用書き	一紙	1	
1497		請取	寅	4	13	大庄屋許	庄屋大和甚九郎	花瀬村分・大日寺村分の受け取り	一紙	1	1497～1517まで一括
1498		請取		3	23	大庄屋許	花せ村		一紙	1	
1499		当年子御通人馬大割切府	子	4		大庄屋元	花瀬	人足129人、馬28疋	一紙	1	
1500		諸処御出勢御往来非常御通行分本人馬追割切符	子	11		大庄屋元	花瀬	人足103人、馬22疋	一紙	1	
1501		「記」	寅	8		大庄屋許	花瀬村	米3俵2斗1升、前欠	一紙	1	
1502		「記」	寅	12		大庄屋許	花瀬村	銭4貫138文来る23日限り甘木余米代	一紙	1	
1503		「記」	寅	11		大庄屋許	花瀬村庄屋大和甚九郎	銀33匁6分の請求	一紙	1	
1504		「記」	寅	12		大庄屋許	花瀬	米1俵7升2合養育備米	一紙	1	
1505		定飛脚夫銭	寅	7		大庄屋許	花瀬村	銭1貫363文来る11日切り	継紙	1	
1506		受取	寅	5	15	大庄屋元	花瀬村	運上銀銭1貫190文	一紙	1	
1507		請取	寅	12	18	大庄屋元	庄屋大和甚九郎	田方御通1冊ほか	一紙	1	
1508		「記」	寅	11		大庄屋元		花瀬村庄屋定給米米3俵6升6合来る28日切	一紙	1	
1509		「記」	寅	4		大庄屋元		花瀬村分米高書上	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1510		四月運上	寅	4		大庄屋許	花瀬村	〆2貫584文来る8日切	継紙	1	
1511		「記」	寅	5		大庄屋元	花瀬村	〆1貫190文来る15日切、並木枯松代	継紙	1	
1512		覚	寅	5	19	大庄屋元	花瀬村	金銭書上	継紙	1	
1513		請取	寅	5	19	大庄屋元	花瀬村	銭200文の受け取り	継紙	1	
1514		請取	寅	11	17	大庄屋許	庄屋大和甚九郎	当月上納銀花瀬村分・大日寺村分の受け取り	一紙	1	
1515		「記」	寅	11		大庄屋元	花瀬村	米1俵2斗9升9合替米大日寺納め	一紙	1	
1516		請取		正月	11	大庄屋役場	花瀬村	銀預12貫600匁・正金2両1歩の受け取	一紙	1	
1517		「記」	寅	12		大庄屋許	花瀬村	金銭書上	一紙	1	
1518		「記」		正月		本誓寺世話人	花瀬村八軒	金銭書上、不足分7貫220文の請求	一紙	1	
1519		受取	子	4	17	草屋店	花瀬村庄屋　大和甚九郎	米8俵受取	継紙	1	
1520		覚						11月中の人夫・品代の書上	一紙	1	
1521		覚	申	12		蛭子屋平左衛門	建花寺村藤助・直平ほか4名	田地永代売渡の算用	一紙	1	
1522		記						米代書上	一紙	1	1522と1523は一括
1523		記						米代書上	継紙	1	
1524		「記」						学校入費に関する覚	継紙	1	
1525		覚	丑	12		鉄屋元右衛門	花瀬庄屋甚九郎	辰年以降の算用不足書上	一紙	1	
1526		米預り証		旧12	19	花瀬村大和武三郎	田中彦四郎	米1俵の預かり	一紙	1	
1527		記	(明治)15	5	29	野見山利八郎	大和武三郎	判決書2冊、訴状控1冊ほか村政に関する書類10点の受け取り	継紙	1	1527と1528は一括
1528		記	(明治)15	5	29			1527号の控え	一紙	1	
1529		「記」						地番書上、見取り図あり	継紙	1	
1530		覚	亥	12	29	甚九郎	七右衛門	支払い2匁3分3厘のため2匁3分5厘の切手渡し書	一紙	1	
1531		請取	辰	12	28	いきつ酒屋五八郎(印)	花せ大和甚九郎	米受取の事	一紙	1	
1532		覚				こんや　伊八	甚九郎	金1両受取	継紙	1	
1533		記	午	12		いきす酒屋五八郎	花瀬大和武三郎	酒代書上	継紙	1	
1534		〔覚〕	寅	12		大庄屋許(印)		大日寺村分養育約米通知	継紙	1	
1535		覚		3	5	糀屋善五郎	大和甚九郎	金銭書上	一紙	1	
1536		請取		11	7	大工休右衛門	花瀬村庄屋甚九郎	金2両受取の事	一紙	1	
1537		記	午	12		乙丸光屋良右衛門	花瀬村大和武三郎	金銭受取の事	一紙	1	
1538		請取	子	4	10	ちとせや孫六(印)	大日寺村庄屋甚九郎	金4両受取の事	一紙	1	
1539		記		5	7	森久店	大和	米2俵御渡の事	一紙	1	
1540		〔覚〕						数値書上	一紙	1	紙背に書き込み有り
1541		覚	子	5	4	大庄屋清水宅右衛門	花瀬村庄屋大和甚九郎	金銭書上	一紙	1	
1542		〔覚〕	丑	4		片しま　助右衛門(印)	花瀬庄屋　甚九郎	櫨代差引残り22貫686文引合願い	一紙	1	
1543		覚						金銭、米書上	継紙	1	1544～1550－2を1543で包み一括している
1544		〔書状〕	元治1子	12	27	大日寺村庄屋大和甚九	大庄屋清水宅左衛門	銀預三三両の利方の事	一紙	1	
1545		受取		12	27	大庄屋許(印)	庄屋大和甚九郎	金銭受取の事	継紙	1	
1546		御定法	嘉永6丑	4		高橋杢之進		明和一年の銀、米利方天保六年より改訂の事	竪紙	1	
1547		〔覚〕	子	12		大庄屋元(印)		大日寺村分上納銀通知	一紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1548		来丑御通人馬大割切府	子	12		大庄屋元(印)		大日寺村分の人足の事	一紙	1	
1549		穂波郡大日寺村庄屋組頭乍恐指出申候申上候事	元治1	12		大日寺村組頭勝蔵　甚内　田中伊平　弥平　同村庄屋大和甚九郎	上座下座嘉穂穂波御郡御役所	御拝借米年賦上納11俵の御引き合わせを願う	継紙	1	上から紙縒がかけてある
1550	1	請取申上候事	子	極	28	大川傳三郎(印)	大和甚九郎	米30俵受取の事	一紙	1	1550－1と1550－2は同折
1550	2	受取	子	12	28	大庄屋清水宅左衛門	庄屋大和甚九郎	受取の米書上	竪紙	1	
1551	1	花瀬大日寺両村庄屋大庄屋様大和甚九郎御伺申上候事	元治1	10	何	花瀬大日寺両村庄屋大和甚九郎	大庄屋清水宅左衛門	村預の身分で喧嘩・口論をした茂三郎の処置について	継紙	1	1551－1と1551－2は同折
1551	2	〔書状〕		10	6	庄屋清水藤作	庄屋大和甚九郎	茂三郎出蔵の儀について	継紙	1	
1552		〔覚〕						米、名前書上	継紙	1	
1553		記						金銭書上	継紙	1	
1554	1	覚		3	7	大庄屋許(印)	大日寺村	銀相渡候事	一紙	1	1554－1と1554－2は同折
1554	2	受取	亥	6	29	大庄屋元	大日寺村	金銭受取の事	一紙	1	
1555		覚	亥	12	20	甘木屋勘兵衛	庄屋彦四郎	品代書上	継紙	1	
1556		覚	未	12		庄尾屋　重右衛門	花瀬村庄屋　甚九郎	〆高金1両余ほか書上	切紙	1	
1557		請取		7	9	大行事嘉平	花瀬村大和甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1558		覚		4	3	醤油屋市蔵	庄屋大和甚九郎	金銭書上、算用を求む	一紙	1	
1559		受取		11	11	御代官役所	伊岐津村普請方	受取書	一紙	1	
1560		記						金銭、名前書上	書綴	1	
1561		記	15	6		(印－判読不能)		大和宗吉分上納額通知	一紙	1	
1562		覚		11	26	帯屋傳三郎(印)	大和甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1563		受取	丑	12	21	菰田伊藤	花大両村庄屋大和甚九	金子受取の事	継紙	1	
1564		記						宝甚次郎分米、金銭書上	一紙	1	
1565	1	〔覚〕						人足書上	一紙	1	1565－1と1565－2は同折
1565	2	〔覚〕						人足書上	一紙	1	
1566		〔覚〕	寅	5		清水宅左衛門(印)		花瀬村分割り当て書上	一紙	1	
1567		請取				飯塚大工休右衛門	庄屋甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1568		請取	卯	12	3	大庄屋九蔵(印)	花瀬庄屋甚九郎	御笠郡御仕組講状持夫銭など受取の事	継紙	1	
1569	1	記	午	12		糀屋善助	花瀬村大和武三郎	品代書上	継紙	1	1569－1と1569－2は同折
1569	2	記		旧12	25	糀屋善助	花瀬村大和武三郎	金銭受取の事	継紙	1	
1570		〔覚〕	巳	11		庄屋彦三郎		年貢米書上	一紙	1	
1571	1	覚		5	11	安岡貞右衛門	庄屋甚九郎	米数書上	継紙	1	1571－1と1571－2は同折
1571	2	〔書状〕		5	11	安岡貞右衛門	庄屋甚九郎	御約定米の代金の引き合わせの事等	継紙	1	
1572		請取		11	8	御代官役所(印)	花瀬村役人中	木材受取の事	一紙	1	
1573		記		旧8	21	かじ弥蔵	花瀬村甚九郎	金銭書上	一紙	1	
1574		記				福原徳次郎	花瀬村借用主御連中	金銭書上	罫紙	1	
1575		覚	慶応三	1	29	八木山村庄屋　漢又五郎(印)	花瀬村庄屋大和甚九郎	寅触雑用代銭の事	一紙	1	
1576		覚		11	13	糀屋孫吉	花瀬村庄屋甚九郎	触用金銭書上	継紙	1	1576と1577は一括

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1577		〔札〕						「菊の鶴」とあり	一紙	1	
1578		〔覚〕						金銭書上	折紙	1	
1579		覚		4	朔	茂助	甚九郎	品代書上。「申上分書付入」とあり	一紙	1	1579～1581は一括
1580		覚	午	11		茂助	甚九郎	品代書上	一紙	1	
1581		覚		2	9	[　　]五兵衛	亀屋御内茂助	金2歩ほか書上	継紙	1	
1582		〔覚〕		2	24	飯塚宿問屋平右衛門	花瀬御役場	肥後様雑用銭受取の事	継紙	1	
1583		〔覚〕						大庄屋元、野見山彦右衛門等の差出による受取書、上納額通知	書綴	1	
1584		〔覚〕						数値書上	一紙	1	
1585		〔覚〕	15	6		(印－「福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印」)		大和武三郎、大和甚九郎、村持宛地方税通知	書綴	1	
1586		記		5	4	御前役所	大和甚九郎	金銭受取の事	横折	1	
1587		受取	丑	11	17	曽蔵(印)	花瀬村甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1588		請取	寅	12	24	大庄屋元	花瀬村	米受取の事	一紙	1	
1589		記		9	4	立石三兵衛	大和甚九郎	上納額通知	罫紙	1	
1590		米代残分目録参候分						金銭書上	継紙	1	
1591		〔覚〕						儀七郎分銭・米書上	一紙	1	
1592		覚	酉	4	20	福原十平		善右衛門・吉左衛門・甚次郎宛金銭書	書綴	1	
1593		請取		1	14	由右衛門	花瀬村保長大和武三郎	米受取の事	一紙	1	
1594		〔覚〕				大庄屋元払		花瀬村分金銭書上	一紙	1	
1595		〔覚〕	寅	6		普請方(印)		花瀬村薪上納分通知	一紙	1	
1596		〔覚〕		5	13	副戸長三兵衛	武三郎	諸税納の事	継紙	1	
1597		〔覚〕						数値、名前書上	書綴	1	
1598		〔書状〕		5	17	大和武三郎	副戸長立石三兵衛	諸税不足分お伺いの事について	継紙	1	1598と1599は同折
1599		先月被相納候諸税		5	20	第七大区調所(印)	花瀬村副戸長保長中	諸税不足分書上	継紙	1	
1600		預り		旧10	19	たる屋三平	花瀬村武三郎	米御預かりの事	一紙	1	
1601		〔覚〕		12	24	副戸長立石三兵衛(印)	保長大和武三郎	金札受取の事	一紙	1	
1602		〔覚〕		9	30	保長大和武三郎	副戸長立石三兵衛	金銭受取の事	一紙	1	
1603		記						米・大豆書上	一紙	1	
1604		記	明治6	旧12	5	山本喜七郎代万平(印)	花瀬村御蔵元	米受取の事	一紙	1	
1605		記	酉	5	18	樽屋三平(印)	花瀬村	米受取の事	一紙	1	
1606		覚	酉	9	3	古川伝十郎	大和甚九郎	元利銀預5貫442匁余書上	継紙	1	
1607		覚						賃銭	一紙	1	
1608		覚		8	11	森儀	花甚	金2歩支払い	継紙	1	
1609		覚		11	12	糀屋孫吉	花瀬村庄屋甚九郎	品代書上	継紙	1	
1610		受取	丑	11	19	大日寺野見山利左衛門	花セ彦三郎	米5升1合5勺	一紙	1	
1611		覚	亥	12		紙屋新助	花瀬村甚九郎	品代書上	継紙	1	
1612		覚	子				花瀬村甚九郎	品代書上3通	綴	1	
1613		〔記〕						卯年分、辰年分品代書上	継紙	1	虫損により破損あり
1614		受取		10	13	大庄屋元	花瀬村	金1両、ほかに鶏	継紙	1	
1615		受取	戌	2	27	出勤副戸長野見山彦三	花瀬村	金札6円75線の受け取り	一紙	1	1615～1623は一括
1616		記	酉	10	2	古川三平	花瀬村保長武三郎・与一	金一円の受け取り	一紙	1	
1617		〔記〕						米高書上	一紙	1	
1618		記	酉	5	21	古川三平	花瀬村	米代3円53銭8厘1毛の上納	一紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1619		覚	酉	4	25	橘屋三平	花瀬村蔵方	大豆代米4俵1斗6合の受け取り	継紙	1	
1620		記					花瀬村	90銭5厘の受け取り	一紙	1	
1621		記		2	29	第七第区出張所	花瀬村	夫1人分賃金1円の受け取り	一紙	1	
1622		〔記〕						賃銭書上	一紙	1	
1623		記	酉	5	21	調所(印)	花瀬村	諸税90銭5厘受け取り、残り7銭7厘	一紙	1	
1624		〔届〕		7	3	大塚嘉良作	大和甚九郎	早朝出勤の所差し支えのためお暇願	一紙	1	1624～1631は一括
1625		〔書状案文〕						下区検地図帳簿引き合いの件	継紙	1	
1626		〔書状案文〕						下区検地図帳簿引き合いの件	継紙	1	
1627		〔断簡〕						下区検地図帳簿引き合いに関する	継紙	1	
1628		〔書状断簡〕						書き出しの部分のみ	一紙	1	
1629		〔書状断簡〕						書き出しの部分のみ	一紙	1	
1630		〔封筒〕				戸長矢野	大和甚九郎	封筒裏書き「舎利蔵明星寺華瀬ヨリ巡回先江大早達」	封筒	1	
1631		〔包紙〕				大塚嘉良作	甚九郎	包紙上書き「幸袋片嶋ヨリ早則御達可有候」	包紙	1	
1632		〔袋〕						袋上書き「子年請取入並入用状外ニ約メ帳入」	袋	1	1632～1639は一括
1633		〔記〕						米高書上	横帳	1	
1634		〔包紙〕						包紙上書き「亥年請取入」	包紙	1	
1635		覚		12	26	嘉穂郡代役所(印)	大庄屋清水宅右衛門	銀預1貫735匁8分、新百姓へ貸し渡し	継紙	1	
1636		〔記〕	子	12		郡代役所(印)		大日寺村代地再手入料銀預275匁	一紙	1	
1637		受取		4	11	大庄屋許(印)	大日寺村　花瀬村	当月運上銀の受け取り	継紙	1	
1638		受取		12	20	大庄屋清水宅右衛門	大日寺村	米58俵	一紙	1	
1639		請合書物之事	子	12		大日寺村遊民　善次郎	御武具方御役所	御武具方御用炭付出御免札頂戴の請書、大和甚九郎の奥書あり	継紙	1	控え
1640		〔覚〕						花瀬村分夫人数、田畑等書上	横折	1	破損あり
1641		〔覚〕						田畑書上	一紙	1	
1642		〔書状〕		12	29	庄屋長五郎	同大和甚九郎	籾種子受取の事、御支払の事など	継紙	1	
1643		〔書状〕		5	24	桂又五郎	大日寺村庄屋組頭衆中	預かりの者の世話に等について	継紙	1	
1644		〔書状〕		4	19	旅人改役所(印)	花瀬村庄屋大和甚九郎	老年にて渡世難儀の者運上銀ご容赦の事	継紙	1	
1645		仮請証		9	28	副戸長立石三兵衛(印)	保長大和武三郎	上納金皆納に付き受取書	罫紙	1	
1646		請取証				副戸長立石三兵衛(印)	保長大和武三郎	調所納金受取の事	罫紙	1	
1647		調所入費并村吏給料三月・十二月迄割当	明治6	12		花瀬村		割当金書上	罫紙	1	
1648	1	〔覚〕						田畑書上	継紙	1	1648－1と1648－2は同折。虫損あり
1648	2	〔覚〕				何村庄屋何　同村組頭何	上原源一郎様御役所	田畑書上	継紙	1	
1649		〔覚〕		7	16			米、名前書上	継紙	1	破損あり
1650		〔覚〕	卯	11		大庄屋許(印)		花瀬村割賦通知	一紙	1	
1651		回達						第七大区調所よりの調所納の金子催促とこの件についての副戸長立石三兵衛からの通知	書綴	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1652		御達写		閏3	29	庄屋平五郎	源平　与一郎　良平　又五郎　藤右衛門　儀兵衛　甚九郎　善六	産子養育の事。頭取医の事、懐婦着帯の者調べの事など	書綴	1	
1653		第七大区内用要水道費并井堰守給料				十四小区副戸長[　　]		花瀬村分井手守給料書上	罫紙	1	後欠
1654		明治八年四月分花瀬村保長許諸入用受取目六	明治8			保長大和武三郎		諸入費書上	一紙	1	
1655		〔覚〕						出生者、死亡者、入籍者等書上	継紙	1	
1656		〔覚〕				花瀬大日寺両村庄屋甚九郎	大庄屋清水宅右衛門	名前など書上	横帳	1	
1657		〔包紙〕				第七大区十一小区ノ内伊岐津村十番地所真宗安東寺高城天順		包紙上書き「春之分受払入」	包紙	1	1658～1663を一括する包紙。「証」(死亡、埋葬見届けの事)を包紙として利用。上から紙縒掛け
1658		証	明治6	5	6	第六大区十九小区副戸長船越俊次(印)	第七大区建花寺村副戸長野見山彦三郎	養子不縁につき帰籍証	罫紙	1	
1659		記	明治6	2		片嶋村副戸長宮ギ与三郎(印)	建花寺村副長大和甚九郎	建花寺の者、片嶋村へ移籍の事	一紙	1	
1660		〔送籍届〕	酉	3		建花寺村副戸長大和甚九郎		養子に付き送籍の事	罫紙	1	
1661		記	明治6	1		蓮台寺村副戸長仲上彦吉(印)	建花寺村副戸長大和甚九郎	建花寺村の者、蓮台寺村へ移籍の事	罫紙	1	
1662		記	明治6	2		蓮台寺村副戸長仲上彦吉(印)	建花寺村副戸長大和甚九郎	蓮台寺村の者、建花寺村へ移籍の事	罫紙	1	
1663		除籍証拠	明治6	2		長尾村副戸長中野二郎(印)	建花寺村御役衆中	長尾村の者、建花寺村へ移籍の事	罫紙	1	
1664		記	15	6		村役場(印)		村持地、大和甚九郎、大和武三郎分学校費通知	横帳	1	
1665		記						金銭書上	横折	1	紙背は、大庄屋役場から庄屋甚九郎宛、自蓮台寺村□書を以□□□当時御上納一件に付書
1666		年番江村方ゟ取立						米、酒など書上	横帳	1	
1667		〔書状〕		12	12			弥右衛門牛一件の事について	継紙	1	
1668		〔書状〕	天保14	12		花瀬村庄屋甚九郎		退役仰付につき、上納立替給米等を巡る混雑について	継紙	1	
1669		〔書状〕						散田を引当として新庄屋御仕居金を返済する事について	横折	1	
1670		〔書状〕						新百姓御仕合金年賦上納の儀、引当なき三人は村散田を引当とする事について	一紙	1	
1671		〔覚〕						伝染牛疫予防の事	罫紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1672		御届	明治18	11	5	飯塚警察署長警部龍岡篤敬(印)	大和武三郎	大和提出の埋葬した牛の死骸泥棒の遺留品御届けと一年経過につき遺失物取扱規則に従い遺留品を給与する旨の龍岡からの通知	書綴	1	
1673		〔覚〕						村運営の事	継紙	1	
1674		御拝領米并畠金納拝借ニ掛ル当季年賦上納米割付	寅	11		大庄屋元(印)	花瀬村	上納米割付通知	継紙	1	
1675		御切出写		11	12	大庄屋孫三郎	庄屋甚九郎	大川仕組銀拝借年賦返済についての郡役所の指示を伝達す	継紙	1	
1676		佛証拠	文政2	2		庄司本誓寺(印)	飯塚明正寺	花瀬村十助の旦那寺変更の事	一紙	1	破損
1677	1	畑火施行願	明治15	10	18	大和彦三郎(印)	嘉麻郡穂波郡郡長　山中立木	母四周忌の為、畑火施行の許可を願う。戸長梅津又三郎の奥印と郡長山中立木の許可の書き込みあり	罫紙	1	1677－1と1677－2は同折
1677	2	臨時祭典ニ付獅子舞巻願	明治15	10	18	大和甚九郎(印)、宝甚次郎(印)、大和与市郎(印)、祠掌　青柳貞延(印)	嘉麻郡穂波郡　郡長山中立木	人牛馬安全のため獅子舞巻許可願い。戸長梅津又三郎の奥印と嘉麻郡穂波郡郡長山中の許可の朱書あり	書綴（罫紙）	1	
1678	1	御用覚		10	25	役場	庄屋甚九郎	御用書上	継紙	1	1678－1～1678－3は同折、1678と1679は紙縒で一括
1678	2	長崎奉行御帰府達	申	10	28	大庄屋元(印)		花瀬村分人足馬数通知	一紙	1	
1678	3	長崎奉行御帰府達人馬切府		10	25	大庄屋元(印)		花瀬村分人足馬数通知	一紙	1	
1679	1	〔書状〕		10	30	大庄屋甚次郎(印)	右村々庄屋衆中	御通府賃銭切府催促	継紙	1	1679－1と1679－2は同折
1679	2	〔書状〕		10	30	イ川庄屋茂右衛門	花瀬庄屋甚九郎	講の割り戻し三八二文をお受け取り下さる様	一紙	1	
1680	1	〔覚〕						米数書上	折紙	1	1680－1と1680－2は同折。1680－1は紙背に書き込みあり
1680	2	〔覚〕						「御受取申候事」とあり	一紙	1	
1681		〔覚〕	寅	12		大庄屋元(印)		花瀬村分金銭書上	横折	1	
1682		〔覚〕						村毎人数書上	一紙	1	
1683		〔覚〕	酉	11		大庄屋元(印)		花瀬村分上納額通知	書綴	1	
1684		〔覚〕	卯	11		大庄屋許(印)		花瀬村十一月上納銀通知	横折	1	
1685		百姓中より合入用						米数書上、名前書上	横折	1	破損
1686		〔書状〕		4	23	清水宅左衛門(印)	庄屋大和甚九郎	苅敷料お渡しに付き算用の事	継紙	1	
1687		触雑用銭切符	卯	12				花瀬村分触雑用銭通知	継紙	1	
1688		〔覚〕	卯	10		大庄屋元(印)		十月運上額通知	一紙	1	
1689		〔書状〕		5	30	大和武三郎	副戸長立石三兵衛	民費書上	継紙	1	
1690		〔覚〕	明治9	12		花瀬村売主大和興九郎　同大和茂四郎　同谷利良　同赤間甚助　同谷口儀三郎　証人大和甚九郎　宝甚次郎		田畑書上	一紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1691		納証	明治12	3	22	筑前国嘉麻郡穂波郡郡役所雇大和甚九郎(印)		地税、車税、医院費の納証	罫紙	1	
1692		拙者畠田地貴殿へ永代売渡証文之事						永代売渡証文の案文	一紙	1	
1693		金子取帳之事						儀兵衛・伊祐以下取立金子の書上	一紙	1	
1694		〔記〕	丑	9	20	庄屋六左衛門	花瀬村	人足1人・馬4疋の賃銭受け取り	一紙	1	
1695		〔記〕	寅	11		大庄屋許(印)		花瀬分米高書上	綴	1	
1696		人別証拠之事	文政12	2		同郡飯塚宿明正寺大空(花押)	秋山源内　根本源太夫	穂波郡花瀬村仁助・女房・嘉助・弥右衛門・すへ・下人忠平以上6人の宗門	継紙	1	
1697		御礼廻勤覚						新大工町小田正左衛門様名札ほかお礼廻りの家々を列挙、計14軒	一紙	1	
1698		穂波郡花瀬村当田方春御免御請留申上ル書物之事	文政2	8		花瀬村庄屋　甚九郎(印)、同村組頭　才兵衛(印)	上座下座嘉麻穂波　御郡代御役所	古田24町7畝9歩半、稲作9畝13歩の春御免御請留書	一紙	1	
1699		証拠之事	天保2	2		同郡庄司村本誓寺勇誉	秋山源内　根本源太夫	穂波郡花瀬村甚九郎家内男6人女5人外10軒分の宗門書	継紙	1	1699と1700は一括
1700		人別証拠之事	天保2	2		同郡飯塚宿明正寺大空	根本源太夫　秋山源内	穂波郡花瀬村仁助・女房・弥右衛門・女房・すへ以上5人の宗門書	一紙	1	
1701		尾白総助門松其村ニ而可相渡証拠之事	文久3	12	3	岸田宅左衛門	大日寺村庄屋山之口中	門松2本分	一紙	1	
1702		穂波郡堀池村両酉年八十歳以上之者書上申事	文政8	3		堀池村庄屋彦三郎	上座下座嘉麻穂波御郡代御役所	喜平母84才	一紙	1	
1703		米四拾五俵六升壱合御田地足米人別割渡し覚						久平・玄蔵など30名分	綴	1	
1704		〔書状〕		3	19	花瀬村使者　大和武三郎	御役所	不就学の者書上の指しだしと三歩上納の未納者の件につき報告、後欠、未納者の件につき返事の貼り紙あり	一紙	1	
1705		〔算用書上〕		4	13	勝右衛門	庄屋　甚九郎	散田折合の節入用ほか3件分〆6貫914文書上	継紙	1	
1706		受取		正月	22	旅人方善三(印)	花瀬村庄屋　大和甚九郎	指出2通と銭640文の受け取り	一紙	1	
1707		〔覚〕		3	3		甚九郎	出方の給料計算、安平ほか〆4文	一紙	1	
1708		〔覚〕						甚内ほか38名分の上納書上、〆1貫906文	綴	1	
1709		薩摩様本通達人馬割	丑	6		大庄屋元(印)	花瀬村	人足16人、馬2疋など	一紙	1	
1710		穂波郡大日寺村庄屋組頭山之口乍恐連名ヲ以御願申上ル事	元治	2		大日寺村山之口彦左衛門・直平・徳左衛門以下組頭4名・庄屋1名	上座下座嘉麻穂波御山方御役所	下書き、杉植え立ての許可願い	継紙	1	
1711		記	明治2	第3	10	月形四八郎	区戸長中	回状の写し、拝領山の境検分のしらせ	継紙	1	
1712		慶応三年卯村司書上	慶応3					入用書上	一紙	1	
1713		春免状	文政2卯	2		岡部覚十郎　天野藤九郎	秋松村大庄屋又兵衛　堀池村庄屋彦三郎　同村組頭中　百姓中	卯辰巳春反別4斗1合古田ほかの書き付け	一紙	1	
1714		払証拠	文政12	2		飯塚宿明正寺	庄司村本誓寺	花瀬村仁助女子とらが中村甚四郎に嫁いだため、明正寺から本誓寺へ帳面が移ったことの証文	一紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1715		免状之事	文政11	9		三島市太夫　梶原源十郎	庄屋組頭百姓中	穂波郡花瀬村の春徳米438俵5升2合	一紙	1	
1716		〔書状〕		9	28	山口村より元三郎	五平	組頭にても1人□遣わすべきこと	一紙	1	
1717		〔記〕						花瀬村米46俵1升分の籾その他	一紙	1	
1718		〔書状〕		4	12	深町宗明	花瀬　彦三郎	久兵衛殿の件	一紙	1	
1719		〔書状〕		閏8	23	加藤助左衛門役所	花瀬村庄屋彦三郎	御茶屋作事御用の件	一紙	1	1719は1720を同折
1720		〔記〕						断簡、夫3人	一紙	1	
1721		〔書状〕		10	晦日	深町宗明	彦三郎	正銭35匁ほか借用願い	一紙	1	
1722		〔書状〕		8	28	塩屋与四郎	花瀬庄屋彦三郎	前欠、大ねぎ苗の件ほか	一紙	1	
1723		〔記〕	文化14	11		花瀬村庄屋彦三郎	養育方儀兵衛	前欠、裏は米の上納覚に使用	一紙	1	
1724		〔記〕						前後欠、12月15日大日寺村において村方調べの件	継紙	1	
1725		〔記〕	弘化3			花瀬村庄屋甚九郎　同村組頭弥助　同儀助		前欠、「弘化4年2月非常備籾並弐拾五文切帳面大庄屋元受取返入」とあり	継紙	1	
1726		〔達〕		7	朔日		庄屋太左衛門　同彦四郎同孫助	日田表より明2日大庄屋ほかが来るので鶏を左の通り今日中に差し出すこと	一紙	1	
1727		天保五年午三月分誓紙判形人数						庄屋甚五郎・組頭茂七以下名前書上	綴	1	3枚綴り、紙面中央下部大きく破れ
1728		〔記〕		10	15			品代書上	一紙	1	綴りよりはずれたもの
1729		〔記〕						数取り帳、甚内ほか50名分	綴	1	
1730		〔記〕						人別米高書上	綴	1	同一の綴りよりはずれたと思われる2枚を新たに綴じる
1731		〔記〕						人別金銭書上、土地に関する税金ヵ	綴	1	
1732		〔記〕						金銭書上	一紙	1	綴りよりはずれたも
1733		〔記〕						忠七・与平分金銭書上	一紙	1	綴りよりはずれたもの
1734		〔記〕	丑	12		大庄屋元		大日寺村分金銭書上	一紙	1	綴りよりはずれたもの
1735		目録	午	12		糀屋善五郎	花瀬村庄屋　大和甚九郎	品代書上	綴	1	
1736		〔記〕						甚作以下5名分田畑書上、明治9年1月12日付の借用書を合綴	綴	1	
1737		借金証						金36円、明治9年12月借り10年4月20日返金の約定	一紙	1	
1738		伊川組頭又三郎日田借り金借用佐助控覚　写	午	12		大日寺村　赤間佐助	大庄屋　清水宅右衛門	借金返済につき双方に行き違いがあるため裁許願い	継紙	1	
1739		拙者抱田地貴殿方江永代売渡申証文之事				大日寺村弥平　勝右衛門	花瀬甚九郎	証文の雛形	継紙	1	
1740		預手形	亥	2	10	花瀬村甚九郎	こまや新助	金子2匁3歩	一紙	1	
1741		借用仕金子之事						後欠、金3両受取	一紙	1	
1742		借用仕米之事	文化13子	4		花瀬村左平　請人喜六	同村庄屋彦三郎	蔵米1俵の借用	一紙	1	
1743		借用仕銭之事	文政9	2		伊川村庄屋源平(印)　組頭久七(印)　同惣次(印)同伝左衛門(印)	花瀬村甚九郎	6銭200目の借用、大庄屋彦左衛門の奥書あり	継紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1744		引当証文事	慶応元	12		借主儀三郎	庄屋甚九郎	蔵米2俵の借用、組頭善次郎・同与一郎の奥書あり	一紙	1	
1745		未上納指出ニ付借用仕米之事	文政6未	11		借主与平　請人甚吉	庄屋彦三郎	米4俵26升5合の借用	一紙	1	
1746		借用仕米之事	文政元	12		請人茂七(印)　借主助蔵(印)	庄屋甚九郎	米7俵の借用、裏に書き損じあり	一紙	1	
1747		借用仕証文之事	慶応3卯	4		借主花瀬村大和甚九郎(印)　請人武七(印)		米10俵の借用	継紙	1	前後欠。紙背に花瀬村分の人名書上
1748		借用仕金子証文之事	嘉永2酉	11		庄司勝左衛門(印)	花瀬甚九郎	金子6両の借用	一紙	1	
1749		借用仕ル米之事	文政6未	12		借主甚吉(印)	庄屋彦三郎	蔵米3俵の借用	一紙	1	
1750		売渡証拠之事	嘉永6	11		八木山村庄屋勘十郎(印)	伊川村次惣　花瀬村仁平	杉木4本、櫟木1本、代35両	一紙	1	
1751		明治十五年地税収納通	明治15			村役場		花瀬村分、大日寺村分大和武三郎と花瀬村分村持の地税通知	書綴	1	
1752		借用認替之事	明治9	7	27	大和与太郎　大和武三郎　上尾清四郎	片嶋村　林田平三	田地地券証をもって金子借用の証書書き換えの事	罫紙	1	
1753		〔覚〕				第七大区十四小区大日寺村保長〔破損〕		田畑書上	罫紙	1	断簡。上から別の書き込みもあり。
1754		〔覚〕		4	12	二小区扱所(印)	大日寺村伍長衆中	未納分の引合の事に付き池田友助を扱所へ出頭させるべき事	継紙	1	
1755		記		12	16	戸長　梅津又三郎(印)	花瀬村　大和武三郎	金銭受取の事	一紙	1	
1756		判決書写	明治15	5	12		福岡訟審裁判所	公租立替米売却の借用金未返済一件の判決書	書綴	1	
1757		〔覚〕						金銭書上	罫紙	1	
1758		キ						金銭書上	横折	1	抹消の墨あり
1759		舌代						食料品代金等書上	罫紙	1	
1760		〔覚〕						保長心得筋の事	罫紙	1	両面に書き込みあり。片面は抹消の墨あり。
1761		請取	11	10		中村早苗(印)　豊嶋友次郎(印)	谷利吉	本年3月14日貸付金利子の内20円の受け取り	罫紙	1	
1762		〔記〕	14	10		村役場(福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印)	大和武三郎	花瀬村・大日寺村分諸税納付の綴り、8件	綴	1	
1763		〔記〕	15			村役場		15年4月大和武三郎分変換地林税・15年3月花瀬村分大行事焼失米代の納	綴	1	1763～1769は一括
1764		〔記〕	15	11		(福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印)		本年協議費大和甚九郎・村持ち分	綴	1	
1765		〔記〕	15	9		(福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印)		花瀬・大日寺大和武三郎、大日寺村持ち分協議費	綴	1	
1766		〔記〕	15	11		(福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印)	大和武三郎	花瀬村・大日寺村分協議費	綴	1	
1767		証	明治15	2	4	イセ大島清朔	花瀬村　大和武三郎	三神御像5本代2円の受取	一紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1768		〔記〕	15	5		(福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印)		花瀬村大和武三郎・大和甚九郎・村持ち分学費	綴	1	
1769		〔記〕	15	6		(福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印)		大和武三郎、大日寺村大和武三郎、村持ち分備荒儲蓄	綴	1	
1770		〔記〕	明治11	10		第六大区二小区扱所(印)	花瀬村　大和武三郎	地券税第二期五分納1円43銭	一紙	1	1770～1777まで一括
1771		〔記〕	明治11	8		第六大区二小区扱所(印)	大日寺村　大和武三郎	地券税4銭上納のこと	一紙	1	
1772		〔記〕	明治	9		第六大区二小区扱所(印)	大日寺村　大和甚九郎	民費二期納19銭7厘上納のこと	一紙	1	
1773		〔記〕	明治11			第六大区二小区扱所(印)	大日寺村　大和武三郎	地券税6銭4厘上納のこと	一紙	1	
1774		〔記〕	明治11	9		第六大区二小区扱所(印)	花瀬村　大和武三郎	民費二期納2円6銭2厘上納のこと	一紙	1	
1775		〔記〕	明治11	8		第六大区二小区扱所(印)	花瀬村　大和武三郎	地券税57銭上納のこと	一紙	1	
1776		〔記〕	明治			第六大区二小区扱所(印)	花瀬村　大和武三郎	地券税4銭上納のこと	一紙	1	
1777		〔記〕	明治11	12		第六大区二小区扱所(印)	花瀬村　大和武三郎	地券税86銭上納のこと、外に38銭3厘の受取貼り紙あり	一紙	1	
1778		キ	大正1□	□	12			収入金ほか1186円余ほか書上	一紙	1	焼損による穴あり、後欠
1779		〔記〕	12	3		村役場(印)	大和武三郎	諸税綴り、3件	綴	1	
1780		〔記〕	明治12	11		村役場(印)	大和武三郎	小学区費81銭9厘	一紙	1	
1781		〔葉書〕	大正8	6	18	国光生命保険相互会社	大和定五郎	半年払い保険料の払込期日のお知ら	葉書	1	
1782	1	封筒			8	福岡県嘉穂郡鎮西村役	広重峯太郎		封筒	1	
1782	2	〔許可書〕	大正10	2	4	福岡県嘉穂郡長　川島淵明(印)	広重峯太郎	大正10年1月27日付寄留地受検通常願許可書	罫紙	1	嘉穂郡役所用箋
1783	1	封筒		12	24	伊川　吉田伊三郎	花瀬　大和定五郎		封筒	1	
1783	2	〔書状〕				伊川　吉田伊三郎	花瀬　大和定五郎	金の支払いの猶予を依頼	継紙	1	
1784		左官勤怠表						甲乙2名の出勤表	一紙	1	
1785	1	封筒	(大正) 5	9	22	国光生命保険相互会社	大和定五郎	消印より(大正)5年9月22日	封筒	1	
1785	2	〔書状〕	大正5	9	22	国光生命保険相互会社(印)	大和定五郎	保険料の払い込みがないので返還金より貸し付け今期分に充当する旨の通	一紙	1	
1785	3	〔追而書〕						すでに払い込み済みの場合は先の貸付は取り消される	一紙	1	
1786		〔記〕					大和定五郎	石工賃の計算書き	一紙	1	
1787	1	封筒		8	11	大和秀雄	大和定五郎		封筒	1	
1787	2	〔書状〕		8	11	秀雄	定五郎	母の病気の世話のお礼と依頼品発送の知らせ	罫紙	1	(福岡県)農工銀行用箋
1788		〔葉書〕	(明治)38	11	5	大根町宮崎卯太郎方　大和武三郎	鎮西村大字花瀬　大和金生	あと3、4日はこちらに滞在の予定	葉書	1	
1789		委嘱書	明治38	9	22	賛襄正二位伯爵油小路隆董ほか2名	深町文龍	神風教会への入会勧誘の世話係を委嘱	一紙	1	
1790	1	封筒	明治44	12	25	倉智胃腸科医院	大和武		封筒	1	
1790	2	「記」	明治44	8	6		大和武	診察料など30円86銭の請求	罫紙	1	倉智胃腸科医院用箋
1790	3	「記」	明治44	12	25		大和武	8月請求分ほか薬代〆39円36銭	罫紙	1	倉智胃腸科医院用箋

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1791		〔書状〕				城丸久吉	大和本家	急用のため本日の約束を明日にして欲しい	一紙	1	
1792		領収証				嘉穂郡鎮西村収入役石井新平	大和定五郎	10銭公簿閲覧	専用紙	1	
1793		下士以下在郷軍人願届心得						各種願届の種類と手続きの大要・期日・罰則の一覧、印刷物	一紙	1	
1794		「九曜表」	明治42					明治42年の暦、継ぎ目よりはずれ	折り本	1	
1795	1	封筒				牟田鉱業所浅野吉次郎	大和定五郎		封筒	1	
1795	2	〔書状〕	大正2	7	30	浅野吉次郎	大和	今朝のご相談の件、別紙の通りでよいか、詳しくは今夕面談の上、別紙はなし	牟田鉱業所用箋	1	
1796		「記」						「旧正月廿二日ヨリ廿五日迄御忌仏餉説教師本誓寺」、刷り物	一紙	2	1796～1803は紙縒で一括
1797		「記」						「旧十月三日ヨリ七日夕迄十夜仏餉説教師御本山巡教師本誓寺」、刷り物に一部書き入れ	一紙	3	
1798		「記」						「旧十月二日ヨリ六日夕迄十夜仏餉説教師豊前国福円寺殿本誓寺」、刷り物に一部書き入れ、外に朱にて「ご本山派出員上田鳳倫」	一紙	1	
1799		「記」						「旧正月廿二日ヨリ廿五日迄御忌仏餉説教師本誓寺」	一紙	2	刷り物
1800		「記」						「旧正月廿二日ヨリ廿五日迄御忌仏餉説教師本誓寺」	一紙	2	刷り物
1801		名刺						官幣中社赤間宮祢宜鳴瀬嘉貞	一紙	1	
1802		「記」						「旧十月二日ヨリ六日夕迄十夜仏餉説教師本誓寺」	一紙	2	刷り物
1803		「記」						「旧正月廿二日ヨリ廿五日迄御忌仏餉説教師本誓寺巡教師與芝真道殿」	一紙	1	刷り物
1804		感謝状	明治39	2	15	嘉穂郡尚武会長嘉穂郡長従六位勲六等鶴田正義	大和定五郎	日露戦争出役の感謝状、裏に40年7月計算一日平均食米2升2合などの書込あり	一紙	1	
1805		記	大正4	5	6	淵上家具店	大知（マヽ）	1円70銭受取	一紙	1	
1806		キ		5	7	三宝惣三郎		10円50銭受取	一紙	1	1806と1807は同折
1807		記		5	7	木村商店	上	木綿1反ほか代銭58銭受取	切紙	1	
1808		記	大正4	5	7	藤井善合名会社	大和	96銭上等醤油4升8合代の受け取り、裏に買い物書上あり	一紙	1	
1809		生徒保証人心得	明治38			嘉穂中学校		心得条々、印刷物	一紙	1	
1810		〔書状〕	大正3	12	7	淵上初瀬吉	大和実五郎	借金の返済を待って欲しいとの依頼	罫紙	1	泉水炭坑用箋
1811		家業補助休暇通知書						帰省許可通知書を一緒につづる	綴	1	鎮西村役場用箋
1812		〔葉書〕	(明治42)	10	4	神崎松五郎	大和直　定五郎	来る22日午前10時ヨリ祖母が開くお茶会の案内	葉書	1	
1813	1	封筒	(大正14)	5	31	岩本忠	大和定五郎		封筒	1	
1813	2	〔書状〕	(大正14)	5	31	岩本忠	大和定五郎	村長当選の祝辞	一紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1814	1	封筒	(大正14)			潤野坑　横山松太郎、園田秀一、武山為吉	大和定五郎		封筒	1	1814-1、2封筒一括（1811は封筒）
1814	2	〔書状〕	(大正14)	5	10	横山松(柏カ)太郎、園田秀一、武山為吉		村長当選祝いに魚一尾を送る	一紙	1	
1815		〔書状〕	3	6	9	山口岩本忠	大和定五郎	突然転勤のため失礼のお詫び	簡易封書	1	
1816	1	封筒	(大正14)	6	8	柴田鹿之助	村長　大和定五郎		封筒	1	
1816	2	〔書状〕	(大正14)	5	8	柴田鹿之助	村長　大和定五郎	村長当選披露の席にやむを得ず欠席の挨拶状	罫紙	1	
1816	3	〔書状〕	(大正14)					欠席にも関わらずお膳を届けてもらったお礼	一紙	1	
1817	1	封筒	(大正14)	5	29	田中精右衛門	村長　大和定五郎		封筒	1	
1817	2	〔書状〕	(大正14)	5	29	田中精右衛門	村長　大和定五郎	村長当選のお祝い	一紙	1	
1818		〔葉書〕	3	6	1	柴田一郎	大和定五郎	村長当選のお祝い	葉書	1	
1819		祖母十三回忌・武一周忌・伯父藤右衛門五十年忌法会到来帳	大正5	4	15				長帳	1	
1820	1	封筒				青柳真幸	大和定五郎		封筒	1	
1820	2	〔書状〕		8	4	青柳真幸	大和定五郎	先日の神社予算書は各区氏子総代宛ご返送ください	罫紙	1	
1821		〔葉書〕		6	1	野見山巍　同ふみ子	大和定五郎　ふさ子	村長当選のお祝い	葉書	1	
1822		記	大正11	9	14	茅野商店	上	領収書、金額部分に破れあり	専用紙	1	1822～1830は一括
1823		「記」						飯塚行の費用書上ヵ	一紙	1	
1824		記		9	15	三宝惣郎	上	葬式費15円の受け取り	一紙	1	
1825		記		9	15	新開呉服店	上	色モス5尺代1円の受け取り	一紙	1	
1826		キ		9	14	綿惣支店	上	野菜代24銭の受け取り	一紙	1	
1827		記	大正5	9	15	藤井善合名会社	上	醤油代96銭の受け取り	罫紙	1	藤井善合名会社用
1828		記		9	15	三宝惣郎	上	金20銭の受け取り	一紙	1	
1829		記	大正5	9	14	永田商店	上	金50銭の受け取り	専用紙	1	
1830		記						カメ1円60銭ほか品代書上、〆2円68銭	一紙	1	
1831		「記」						土地及び石高書上	一紙	1	
1832		〔書状断簡〕		7	24	大和定五郎	房子	賞与送付、来客をもてなすため、使者にチリ用の鶏と食事代15銭を渡されたし、前欠	罫紙	1	牟田鉱業所用箋
1833		〔葉書〕	13	6	6	本郡足白村字屏籾井市太郎	村長　大和定五郎	村長就任の披露宴に次男死去のため忌引中につき欠席のお断り	葉書	1	
1834		「記」						「約束、石30個を以て1坪とし一個の現価6銭5厘、一個の運搬費4銭5厘」など	一紙	1	1834～1839は同折
1835		〔書状〕		10	14	中村石や　佐伯覈負	大和定五郎	金15円程借用願い	切紙	1	
1836		「記」						根回り8K5分などの心覚え	一紙	1	
1837		「書状案」						非常に立派な仕立ての着物がたくさん届いたことを知らせる手紙の下書き、表裏2通、鉛筆書き	一紙	1	
1838		「記」						図面や坪数、値段などのメモ	一紙	1	
1839		封筒		5	20	牟田鉱業所淵上初瀬吉	大和定五郎	封筒のみ、「備考五月九日頃吉田伊三郎氏ニ金五円取り換貸し渡ス」とあり	一紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1840	1	封筒				大和定五郎	ウルノ大和伍七郎	「在中封筒ハ御迷惑なから弁分白水医院行状序ノ際御持参被下度頼候也」	封筒	1	
1840	2	受取		1	6	白水玄山	大和定五郎	金2円の受け取り	罫紙	1	
1841		封筒						「進上　福沢十平」、封筒のみ	封筒	1	
1842		〔葉書〕				飯塚琴平町築木良実　さかゑ	大和定五郎　外御一同	村長就任祝い	葉書	1	
1843		「記」						歳入・歳出の覚え書き	罫紙	1	
1844		請取券	8	2	5	伊藤長五郎	花瀬村村吏衆中　大和甚九郎	種モミ取り替え米4俵	罫紙	1	無印紙証書用紙 福岡県管下
1845		「包み紙」						「明治十八年一月改メ大分村新溜池繰元大分秋松太郎丸橋梁請負証入」	一紙	1	1845は1846～1849を包む
1846		受負ニ付受証	明治16	11	30	筑前国穂波郡太郎丸村81番地　本人松永助右衛門ほか身元引受人2名	嘉麻穂波両郡内二ノ組戸長総代児嶋惣右衛門　同土木委員大和甚九郎	穂波郡枝国村字上古川橋梁架設を99円58銭で落札、契約条々	罫紙綴り	1	
1847		受負証						溜池新築の請負人の提出すべき受け負い証下書き	一紙	1	
1848		証	明治18	2	20	穂波郡大分村外五ヶ村戸長役場	土木委員大和甚九郎	板橋架け替え2カ所を大分村鶴田善八が28円49銭で落札した報告	罫紙	1	
1849		受負証	明治17	10	15	嘉麻郡山野村若日宮展右衛門　山本伊右衛門	戸長林田藤作　土木委員大和甚九郎	穂波郡大分村字赤幡溜池新築の受け負い証、大和じんくろうより差出人2人に宛てた金89円の約束証をつづる	罫紙綴り	1	
1850		地券抵当受取証	明治10	2	1	大和武三郎代印福沢十平　大和與九郎ほか10名	福原伝次郎　中村早苗	合計地券証44枚代価100円の受け取り	罫紙綴り	1	
1851		〔葉書〕				国光生命保険相互会社	大和定五郎	保険料の払い込み日の通知	葉書	1	
1852		〔葉書〕				国光生命保険相互会社	大和定五郎	配当金1円59銭の通知、保険料と相殺し、残額のみ振り込むよう依頼	葉書	1	
1853		「記」						福岡県より各区戸長宛て丙第39号土石開坑願いの件の写し、裏は罫紙で越前・加賀の地誌を記す	一紙	1	1853は1854を同折
1854		「記」						県よりの通知丙第38号を写す、土石開坑場検査の件、裏は罫紙で羽後の地誌を記す	一紙	1	
1855		染物控帳	明治40	旧正月	吉日	新町中野染物所	大和武三郎		小横帳	1	
1856		「記」						花瀬村米高書上、455俵1斗4升7合、裏は米出しの件につき書状下書き、断簡	一紙	1	
1857		記		2	14	森崎屋店	武三郎	米2俵の受け取り	一紙	1	
1858		覚					藤吉	品代書上、〆6匁2分3厘	一紙	1	
1859		「記」	15	5		福岡県穂波郡建花寺村蓮台寺村大日寺村花瀬村役場印		14年度協議費予算、村持ち・大和武三郎・大和甚九郎分	綴	1	
1860		記						石丸村住土井庄蔵　母きその戸籍書き	罫紙	1	1860～1864は一括
1861		附籍願				第六大区二小区建花寺村十九番地居住平民国の甚蔵		分家していた弟、国野武七を私の籍に加えたく願い出、草稿ヵ	罫紙	1	第六大区用箋

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1862		地所売買ニ付地券御書換願	明治10	6		売渡人谷口儀三郎　買受人野見山利八郎ほか3名	福岡県令　渡辺清		罫紙	1	
1863		三月分加除届	明治11			筑前国穂波郡花瀬大日寺両村		表紙のみ	罫紙	1	
1864		「記」		正月	22			「地券証壱枚大和彦三郎」など覚え	罫紙	1	第六大区用箋
1865		「達」	(明治11)	3	2	二小区扱所	川崎六市　大和武三郎	明治11年2月26日付・県令渡辺清よりの日本坑法発令の達しを受け、地方の営業者への通知	罫紙綴り	1	
1866		「所得申告書用紙」						大正年間の第三種所得金額申告書用紙、未記入のもの	専用紙	2	
1867		証	明治13	12		土木係	戸長小野山次吉	椋本村字観音寺溜池修繕費、金額なし、抹消線入り	専用紙	1	
1868		証				大和三次郎	筑前電気軌道株式会社創立事務所	大正2年までに会社が成立しなかった場合の証拠金返還の領収書、金額・日付など記載なし、印刷物	一紙	1	
1869	1	封筒	(大正6)	9	2	不二商会	大和定五郎		封筒	1	
1869	2	送品伝票	大正6	9	2	大阪市玉江町不二商会	大和	バランスタイヤー26吋一組・送料立替金計409円	専用紙	1	
1870		「記」				新町染物所	大和武三郎	〆2円82銭5厘、断簡	一紙	1	
1871		荒地仕戻出夫帳						明治37年旧5月洪水の修復工事、出夫控え	小横帳	1	
1872		染物控帳	明治42	旧正月	吉日	鎮西村新町　中野染物所	花瀬　大和定五郎	品代書上	小横帳	1	
1873		記	10	1	10	花瀬村保長　大和武三郎	林田平三郎	抵当の地券証の名義換えの件	罫紙	1	
1874	1	封筒		1	9	福岡県農工銀行　大和秀雄	嘉穂郡鎮西村役場内大和定五郎		封筒	1	
1874	2-1，2	〔書状〕		1	9	秀雄	定五郎	金200円の借金申込	罫紙	2	福岡県農工銀行用箋
1875		「電報」	13	6	7	シロマル	ヤマトサダゴロウ	ご当選を祝す　支え　欠礼	専用紙	1	
1876		「注文書」						自転車付属品の注文下書き	罫紙	1	鎮西村役場用箋
1877	1	封筒	11	2	17	福岡銀行中島支店	大和定五郎		封筒	1	
1877	2	〔書状〕		2	17	秀雄	定五郎	かねて拝借の金子の返済を今しばらく猶予願う	一紙	1	
1878		米銭通	明治8亥	正月		花瀬邑源七			小横帳	1	
1879		〔葉書〕	大正10	6	14	国光生命保険相互会社	大和定五郎	保険料払込期日の通知	葉書	1	
1880		「名刺」				村田幾太郎		「鎮西炭坑実務係」	名刺	1	
1881		「手帳」						「大正六年徴兵所出願人名」を記入	手帳	1	
1882		書留郵便物請取証	明治15	7	16	穂波郡伊岐須村　野見山彦三郎	長崎樺島町小松屋停方山口角蔵	書状一通	専用紙	1	
1883	1	封筒				元野木録次郎	大和定五郎		封筒	1	
1883	2	〔書状〕	大正				大和定五郎	国光生命保険相互会社より保険料未納の照会があったが報告漏れであったことが分かったので、本社へも報告したのでそのまま放置してよいことの知らせ	便箋	1	文堂元野木書店用箋
1884		〔葉書〕		12	1	大和金生	直方古町安永徳次殿方ニテ　大和武三郎	定五郎様、本月5日頃凱旋予定、用事済み次第至急帰宅のこと	葉書	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1885		伊勢神宮永代日参特別大々御神楽奉奏加盟人名簿	明治37	2	15	伊勢国神宮地(山田岡本町)神風教会本部		教会主旨・会則を載せる、名簿は未記入	綴	1	1885は1886・1887を同折
1886		戦勝祝賀平和克復特別大々御神楽奉奏趣意書	明治38	8		神風教会本部祭典部			一紙	1	印刷物
1887		「記」				神風教会本部式務部	世話人中	「今回奉奏の戦勝家内安全実業隆盛特別大々御神楽奉奏大祈祷に加名者世話人には特に今回に限り左の紀念品を贈呈し以て其功労を表彰す」	一紙	1	印刷物
1888		「書」							一紙（大幅）	1	虫損甚大のため閲覧不可
1889		「貯金申込書綴」				福岡銀行			専用紙綴	1	
1890		三年五年貯金案内				福岡銀行		福岡銀行の業務案内広告	一紙	3	印刷物
1891		「手帳」						未記入	手帳	1	小型、留め具付、1892～1894を挟む
1892	1～10	領収証書	大正6			嘉穂郡鎮西村収入役　高崎信太郎	深町文載	大正6年度の地租・地租割	専用紙	10	
1893	1～10	領収証書	大正7			嘉穂郡鎮西村収入役　高崎信太郎	深町文載	大正7年度の地租・地租割	専用紙	10	
1894	1・2	受領証	大正8	3		合資会社幸袋工作所	大和貞五郎	臨時点灯料及び取り付け費	専用紙	2	
1895		「手帳」						大正2～4年頃、諸届の様式等記載あり	手帳	1	
1896		「手帳」	大正5					大正5年、福岡新聞の写し・徴兵署へ出頭人名など	手帳	1	
1897		「手帳」						諸届様式・一覧形式など	手帳	1	
1898		「手帳」	明治42頃					当区耕地整理排水工事出勤簿2月より	手帳	1	手帳表紙なし
1899		「メモ」						メモに「通行税　50哩未満1銭・・」などの記入あり		1	革製名刺入れ付ペンケースか
1900		「手帳」						表紙裏に「大正弐年八月三十日求ム記憶帳」とあり、	手帳	1	留め金付
1901		〔覚〕				秋松村　福沢久四郎	花瀬村　大和武三郎	差出と宛所のみ	一紙	1	断簡
1902		御年玉				平三郎			包紙	1	断簡
1903		記						米数と名前書上	一紙	1	紙背に書き込み有り
1904		覚	卯	12		鍛冶利助	甚九郎	鎌、鍬先代金等書上	一紙	1	
1905		〔覚〕						米数と名前書上	一紙	1	
1906		請取		12	29	ちとせや孫六	花瀬甚九郎	米二俵受取の事	一紙	1	
1907		〔覚〕						割方書上	一紙	1	
1908		覚	午	12		市治	甚九郎	米、銭書上。算用を求む	一紙	1	
1909		覚	卯	7	29	締方孫右衛門	庄屋甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1910		送り						村算扣、絵図等の書上	一紙	1	
1911		〔覚〕						米数書上	一紙	1	
1912		〔覚〕	寅	11		大庄屋許(印)		大日寺村分割賦通知	一紙	1	
1913		椿村付地券渡記						金額、名前書上	一紙	1	紙背に書き込み有り
1914		覚		11	18	大日寺蔵番利助(印)	大日寺村	米四俵受取の事	一紙	1	
1915		覚		11	7	いきつ醤油や	八木山村庄屋又五郎	醤油代金書上	一紙	1	
1916		〔覚〕		1	晦	北古賀村庄屋甚介		金銭受取の事	一紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1917		請取		2	14	津平	猶平様	金銭受取の事	一紙	1	
1918		〔覚〕						米数、名前書上	一紙	1	
1919		覚		6	9	義蔵	作助	金銭書上	一紙	1	
1920		覚		4	16	瓦師弥四郎	甚九郎	瓦代金書上	一紙	1	
1921		口上	辰	9	23	惣吉	儀助	米受取の事	一紙	1	
1922		覚		12	12	かじや与五郎	花瀬村庄屋武九郎	金銭書上	一紙	1	
1923		覚	戌	12	23	孫右衛門	庄屋甚九郎	金銭受取の事	一紙	1	
1924		刷書		8	4	左官新助(印)	花瀬村甚九郎	左官代金受取の事	一紙	1	
1925		葉書	(大正)3	2	13	大和ふさこ	大和定五郎	13日出立のところ、都合により12日に出立し福岡に到着したこと、潤野への帰宅は15日か16日、花瀬へはその翌日になること	葉書	1	
1926		葉書	大正8	12	15	庄司本誓寺保存金会計係	大和定五郎	保存金の増額分に対する半額以上を本月25日までに回金してほしいこと	葉書	1	
1927		〔記〕	丑	3	7			人名書上	一紙	1	綴りよりはずれたも
1928		〔記〕						新助分300円の内訳	一紙	1	綴りよりはずれたも
1929		〔記〕							一紙	1	綴りよりはずれたもの、破損あり
1930		〔規則写〕						「第三條、甲者ニ於テ鉱業修業ノトキハ諸土地ヲ原形ニ復シ乙者へ返地スルモノトス」他1條	一紙	1	
1931		覚	巳	11	19	秋松村　重右衛門	花瀬村 武七 彦三郎	借米と田地売渡の覚	継紙	1	継ぎはずれ
1932		〔記〕						助蔵他3名分	一紙	1	綴りよりはずれたも
1933		〔記〕						十平他5名分	一紙	1	綴りよりはずれたも
1934		〔記〕						善作他8名分	一紙	1	綴りよりはずれたも
1935		〔長帳表紙〕						「亥間通出銭割方 戌ノ村雑用割方戌諸上納　石割帳 戌触雑用割方」とあり	一紙	1	表紙のみ、綴りよりはずれたもの
1936		〔覚〕						金銭書付	一紙	1	
1937		〔番付〕						相撲の番付	一紙	1	
1938		〔組合〕						4日目から6日目の組合一覧	一紙	3	
1939		電信賃銭表	明治14	11				東京から東日本の各都市への料金表	表	1	秋田より青森までの料金改正を伝える紙貼付
1940		〔包紙〕						「御神楽久米」とあり	包紙	1	
1941		熊胆円						薬袋のみ、「富山県富山市梅沢町三里□広貫□ 郎津金広」	袋	1	中身なし
1942		小児薬王 五疳円						小児用の薬、「筑前博多中嶌町 調合所 甘木屋勘右衛門」	薬	1	中身あり
1943		〔丸薬〕						包紙に「めまい頭病ニよし」とあり	薬	1	中身あり、ビニール袋に入れる
1944		〔牛蒡種〕						包紙に「請合博多 極上牛蒡種 牛町善次」とあり	種	1	中身あり、ビニール袋に入れる
1945		〔針と糸〕						針2本に糸を通したもの		1	
1946		〔小銭入れ〕								1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
1947	1	〔袋〕				大和甚九郎		和紙を貼り合わせて作った袋。表に「村々証文控帳 大和甚九郎」とあり	袋	1	
	2	〔記〕						「一、米二拾一俵」ほか	一紙	1	虫損あり
	3	〔記〕						宅地租2円91銭の内訳	罫紙	1	
	4	稼業証控						裏面に大和カツ殿など書付け	専用紙	1	
	5	〔紙〕	大正10					「大正十年簡閲点呼執行済」印を紙一面に押す	一紙	1	
	6	〔書状〕					平野彦四郎	米売買の相談。案文	一紙	1	
	7	〔書付〕						「カシ粉、餅九升」ほか書付け	紙	2	
	8	〔記〕						「向畠地百坪ノ内廿坪ハ鉱業□間甲者ハ乙者ヨリ地上□□□(破損)スルモノトス」とあり。図あり	罫紙	1	破損あり
	9	こより							こより	2	
1948	1	〔断簡〕	近世					「穂波郡花せ村庄屋甚九郎乍恐御願申上ルロ上之覚」とあり。後欠	一紙	1	
	2	受取	酉	12	20	大日寺		草履50足、わらじ18足の受取	一紙	1	
	3	飯塚						時刻の書上	罫紙	1	
	4	納額告知諸・領収証書	大正7	8	25	嘉穂郡鎮西村八木山区長事務所	大和定五郎	大正7年度秣税の請求	専用紙	1	
	5	〔綴〕	近世				花瀬	御救助米関連	綴	1	
	6	〔記〕	近代					米代13円の内訳、3円20銭新宅払ほか	罫紙	1	
	7	〔綴〕						紙2枚綴り	綴	1	
	8	〔断簡〕		7	28			「右ハ朝五ツ西方七り半上り」とあり	一紙	1	
	9	記						「一、米二俵 村分 甚郎」などとあり	継紙	1	
	10	〔紙片〕							紙	5	
	11	画鋲						紙に包まれた画鋲	画鋲	5	
	12	こより							こより	4	
1949	1	御丸御用夫銭受取	近世					「一銭拾五文壱弐厘」とあり	紙	1	
	2	〔断簡〕	卯	11	11	御用聞平助	庄屋甚九郎	前欠。1949-1の続きヵ	紙	1	
	3	〔断簡〕		9	17		大和				
	4	〔断簡〕						朱筆で「概里程記載なし」とあり	紙	1	
	5	案内状	明治	42	19	日本赤十字社嘉穂郡委員部	社員大和定五郎	26日に飯塚高等小学校で五分区連合分区総会開会につき、参集を願う	紙	1	
	6	〔達〕	申9	5	18	坪丸誠吉(印)	大和□	仕様書と異なる材料を使用するものがあるので調査を命じる	紙	1	
	7	〔書付〕						「大和学」ほか人名等書付け	紙	1	
	8	〔書付〕						「昨日」「五百三十二歩	紙	1	
	9	〔書付〕						「九拾五銭九厘」とあり	紙	1	
	10	〔書付〕						「〆一斗四升三合四勺、右ハ犬年ニ揚ル」とあり	紙	1	
	11	〔書付〕	近代					「陸軍大将」などとあり	紙	1	
	12	〔書付〕						「十二月六日、一、三合」などとあり	紙	1	
	13	〔書付〕						「大日寺ゟ廻候」「蓮台寺庄屋 仁右衛門殿」などとあり	紙	1	
	14	〔書付〕						「一、夫八人 枝国」などとあり	紙	1	

史料番号		表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
	15	〔書付〕						「只今別紙之通被相至候条…」とあり	罫紙	1	
	16	〔書簡〕	近代	4	27	大和彦市	大和定五郎	駐在所は建花寺としたい由にて、12時半より行かれた旨。前欠	紙	1	
	17	〔紙片〕						白紙の紙片	紙	14	
1950	1	〔袋〕	明治7歳甲戌			大和甚九郎		罫紙で作成した袋。袋上書き「明治七戌 大和甚九郎 諸方目録入 甲戌」	袋	1	
	2	〔封筒〕	明治			二小区 扱所	大和武三郎	封筒のみ。封筒上書き「花瀬村保長 大和武三郎殿 至急 二小区 扱所」	封筒	1	
	3	〔封筒〕	明治			二小区 扱所	大和武三郎	封筒上書き「花瀬村保長 大和武三郎殿 至 二小区 扱所」、封筒裏書き「神仏合説書上此モノへ可被相渡候」	封筒	1	
	4	〔封筒〕						「大和」などと書付け	封筒	1	
	5	〔書付〕						「花瀬村 武三郎殿」などと書付け	紙	1	
	6	〔断簡〕	明治					「地券御渡奉願候事 筑前国穂波郡伊岐須村 農 辻惣左衛門」とあり	紙	1	
	7	〔封筒〕						「元野□録次殿」とあり。破損	封筒	1	
	8	〔包紙〕						「花瀬村与大日寺」などとあり	包紙	1	
	9	〔封筒〕	明治6					「大和武七」「以幸便ヲ伝言仕」などとあ	封筒	1	
	10	〔袋〕	明治6歳酉	正月				「明治六歳 御用米銭切符一 酉正月」	袋	1	
	11	〔封筒〕	明治					封筒上書き「明治十五年切符入」	封筒	1	
	12	〔封筒〕						「大和定五郎殿」などとあり	紙	1	
	13	〔包紙〕						「御祝儀」とあり	包紙	1	
	14	〔封筒〕	明治			二小区 扱所	大和武三郎	封筒上書き「花瀬村保長 大和武三郎殿 至急 二小区 扱所」	封筒	1	
	15	〔袋〕	明治3					袋上書き「内用 明治三午年之 目録□返入」。破損	封筒	1	
	16	〔袋〕						袋上書き「十月二日ヨリ六日夕迄」「十夜仏餉 説教師 本誓寺」、袋裏書き「大根種」	袋	1	
	17	〔封筒〕	近代					封筒上書き「例口鶏卵税 建花寺村 金五十九銭一厘」、裏に内訳	封筒	1	
	18	〔封筒〕	明治			二小区 扱所	大和武三郎	封筒上書き「花瀬村保長 大和武三郎殿 至急 二小区 扱所」	封筒	1	
	19	〔書付〕						「諸高業願」などとあり	紙	1	
	20	〔袋〕						袋上書き「諸歳賦根帳 庄屋 大和甚九郎代」。破損	封筒	1	
	21	〔袋〕						袋上書き「御称誉御書付写入 御遺書	袋	1	
	22	〔紙片〕						白紙、断簡等	紙	5	
1951		〔紙片〕						包紙、断簡、計算等の書付け、白紙の罫紙等	紙	21	